

# 実践報告集

(第2集)

研究主題 グローバル社会を協働的に創造する資質・能力の育成

～グローバル市民性が育つ学びをつくる～

## 目 次

巻頭言		学校長
I. 小中高共同研究総論	研究の経緯と概要	研究部
II. 各教科等の取り組み		
1. 国語科	言葉の架け橋 ～ “訳” の挑戦を探究する～	永井 涼子
2. 社会科	金融リテラシーを育む経済学習	田中 誠也
3. 数学科	比例と反比例 ～ドミノ倒しに隠れた関数とは～	井場 恒介
4. 音楽科	77期生オリジナル合唱曲より演奏表現を探究する	山部 智可
5. 理科	大地の成り立ちと変化 ～総括課題から逆向き設計～	松本 遼
6. 美術	洞窟壁画を通して美術の本質を探る	長崎 大樹
7. 技術・家庭科 (技術分野)	自動車の自動走行について考える ～計測と制御～	浅野 浩志
8. 英語科	Connections: My Hometown, My Action	中田 未来

### Ⅲ. イケトーク(夏季実践報告会)資料

1.社会科	問題解決能力を育む地理学習 地誌学習×パフォーマンス課題	田中 誠也
2.社会科	地理的分野における持続可能な 社会に挑むパフォーマンス課題	藤井 大介
3.数学科	パフォーマンス課題と普通の授業のつながり ～証明の学習において～	井場 恒介
4.理科	子どもの能力を引き出すパフォーマンス課題とルーブリックの設定	中塚 麻衣子
5.音楽科	創作活動の過程における 思考力・判断力・表現力の育成について	山部 智可
6.保健体育科	「長距離走の魅力」に迫るパフォーマンス課題 ～生涯スポーツを楽しむ生徒をめざして～	福井 明
7. 英語科	Authenticity にフォーカスを置いた 教科横断の英語パフォーマンス	鳥居 敦子
7.養護・安全	不登校課題を抱える生徒支援 ～課題の見える化～	吉田 かえで

## 巻頭言

### グローバル社会を協働的に創造する資質・能力の育成

日頃より、大阪教育大学池田地区附属学校研究発表会の取り組みにご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。今年度、私たちは「グローバル社会を協働的に創造する資質・能力の育成」を目標に掲げ、教育・研究の充実に努めてまいりました。

今年度の重点は、グローバル市民コモン・ルーブリックを活用した学習のあり方の追究でした。池田地区のコモン・ルーブリックを各教科・活動にローカライズさせることは、単なる知識の習得だけではなく、自ら考え、問いを立て、解決策を導く力を高めることと同値です。どの教科・活動においても、単なる知識の蓄積ではなく、異なる事象間の関連を見いだしながら深い理解へとつながることを目指しました。

国際的な視野を広げることは重要です。異文化理解の学習やディスカッションを通じて、生徒たちは異なる背景を理解し、論理的に自分を表現する技術を磨きました。こうした経験を重ねることで、異文化に対する寛容さや柔軟な思考を養い、グローバルな課題にも主体的に取り組む姿勢を身につけることを目指しました。

また、ICT 機器を活用した創造的な表現活動にも力を入れました。デジタルツールを用いた表現活動に取り組むことで、従来の枠にとらわれない多様な創作の可能性を探求しました。これにより、情報技術を単なる消費の手段としてではなく、創造の道具として活用する力を育むことを目指しました。

さらに、探究活動の一環として、地域社会との連携を深める取り組みも行いました。地域の企業や自治体と協力し、実際の社会課題をテーマにしたプロジェクト学習を展開しました。これにより、生徒たちは、理論の学びにとどまらず、現実社会における課題解決プロセスを実践的に学ぶことができました。フィールドワークやインタビューを通じて得た知見をもとに具体的な提案を行うことで、自分たちの学びが社会とつながっていることを実感できる機会となりました。

これらの成果は、令和7年11月16日開催の研究発表会で報告されました。今後も、この成果を活かし、生徒のさらなる成長を支える教育の充実に努めてまいります。皆様の変わらぬご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

令和6年3月

大阪教育大学附属池田中学校長  
串田 一雅

# I.総論

-研究の経緯と概要-

## R6 小中高研究総論

### グローバル社会を協働的に創造する資質・能力の育成

#### ～グローバル市民コモン・ルーブリックを活用した学習のあり方～

## 1. 研究の背景と目的

### (1) 社会的背景

現代は予測が難しく、変化の激しい時代である。そして、その変化は今後より急激に進み、現存しない職業に就いたり、技術が求められたり、これまで直面したことのないような問題を解決することが求められるようになると言われている。実際に、新型コロナウイルス感染症の拡大により、このことが現実のものとなった。日常の急激な変化と先が見えない日々の中で、いかにして生活を進めていくかを考え、行動することが求められる。こうした急激に変化する社会に対して、子どもたちはどのような力を育むことが必要なのだろうか。

学習指導要領(小中学校平成29年告示・高等学校平成30年告示)の改訂の経緯においても、今の子どもたちや、これから誕生する子どもたちが成人して活躍する頃には厳しい挑戦の時代を迎えていることが予想されている。子どもたちがさまざまな変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極め概念的知識の獲得を実現した上で情報を再構成するなどして新たな価値につなげていくこと、複雑な状況変化の中で目的を再構築すること(\*5)ができるようにすることが学校教育において求められているとされている。

また、OECD(Organisation for Economic Cooperation and Development:経済協力開発機構)においては、2015年から”OECD Future of Education and Skills 2030”プロジェクト(以下、「Education2030 プロジェクト」と表記)を進めてきた。「Education2030 プロジェクト」でも示されており、2030年はより”VUCA”な時代となることが予想されるという。VUCAとはvolatile,uncertain,complex,ambigusの頭文字をとった言葉であり、より「予測困難で不確実、複雑で曖昧」(\*2)な時代になるということを意味するものとして使われている。「Education2030 プロジェクト」の提案書においてもこのプロジェクトの目的として、「2030年のより予測困難で不確実、複雑で曖昧となる世界に向けて、生徒が準備していく『コンピテンシー』をよりよく理解するための枠組みを構築する」(\*2)ことが明記されている。ここでいう「コンピテンシー」とは、ある職務または状況に対し、基準に照らして効果的、あるいは卓越した業績を生む原因として関わっている個人の根源的特性とされ



▲ OECD の Education2030 プロジェクトで創り上げた  
ラーニング・コンパス (学びの羅針盤)

ている。具体的には、動因、特性、自己イメージ、知識、スキルから構成されている。これに追加して AI の発達や移民の増加などは 2000 年代に入ってから大きなトレンド（傾向）として考えられるが、他にも地球温暖化による環境の変化や家族の形態の変化など、様々な変化が生じている。さらに、国や文脈や時代によって「求められるコンピテンシー」もまた変わってくるとされている。

結局のところ、「コンピテンシー」としては、多種多様なものが想定されるとしても、それが重要なもの、あるいは「キー・コンピテンシー」となるものかどうかは、それぞれの文脈において求められるかどうかによるのである。別の言い方をすれば、「コンピテンシー」とはある文脈では非常に重要なものであっても、別の文脈では重要なものとはされないと考えられている。

このような時代の変化や必要な資質・能力に対して、OECD は 2019 年 5 月に「ラーニング・コンパス（学びの羅針盤）2030」を公表した。これは、生徒が教師の決まりきった指導や指示をそのまま受け入れるのではなく、未知なる環境の中を自力で歩みを進め、意味のある、また責任ある意識を伴う方法で、進むべき方向を見出す必要性を強調することが意図されたものである。知識、スキル、態度・価値という「コンピテンシー」の構成要素をコンパスの針とし、さらに「より良い未来の創造に向けた変革を起こす力」（①新たな価値を創造する力、②対立やジレンマに折り合いをつける力、③責任ある行動をとる力）をコンパスの外側に、さらにその外周を沿うように、見通し（anticipation）・行動（action）・振り返り（reflection）の「AAR サイクル」を示し、個人のみならず社会の「ウェルビーイング」（究極的に人々が心身共に幸せな状態）をめざして学んでいくというイメージを描いている。その道を照らして歩いていく原動力となるのが「生徒エージェンシー」であり、ラーニング・コンパスの中心概念においても「生徒エージェンシー」がある。そして、エージェンシーを「より良い未来の創造に向けた変革を起こすために目標を設定し、振り返りながら責任ある行動をとる能力」（\*1）として定義づけている。

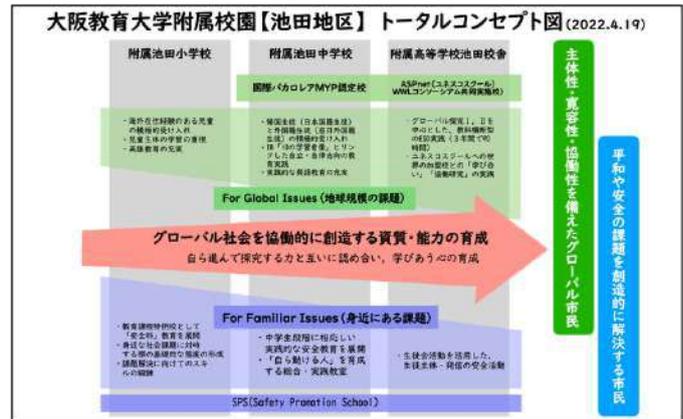
その「生徒エージェンシー」は自分 1 人だけで育まれるものではなく、親や仲間、教師やコミュニティなど、周囲との関係性の中で育まれていくとされている。そこで必要となるのが、「共同エージェンシー（Co-agency）」であり、生徒を取り巻く周りの親や仲間、教師やコミュニティなどとの関わりの中で学習していくことが大切とされている。特に、集団や社会のレベルのエージェンシーを発揮していくためには、めざすべき方向を共有しながら、一人一人が社会的な責任を果たしていくことが重要になってくる。

日本に目を向けると、現行の学習指導要領の下で学校教育が実施されるのは概ね 2020 年から 2030 年であり、2030 年に向けての教育という OECD の考え方に一致している。OECD のラーニング・コンパス 2030 の開発においては文部科学省も参加しており、共通した考え方が現行の学習指導要領に取り入れられている点もあると思われる。学習指導要領の中には、「エージェンシー」という言葉は使われておらず、エージェンシーを育むことについても、直接的に述べられているところはない。しかし、学習指導要領を読み解くと、OECD の提唱しているエージェンシーの概念と類似した考え方を示している部分もある。グローバル化する時代においては、多くの課題が複雑に絡み合っており、それらの課題を解決するためには多様な考え、価値観を持つ人々と見方・考え方を共有し議論を重ねることが一層求められる。すなわち、このような VUCA の時代の中、これからの社会を創り出していく児童・生徒がグローバル性を育む必要が出てくる。

## (2) 池田地区の研究背景

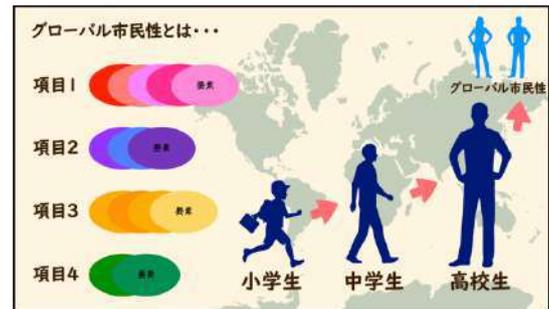
池田地区は、トータルコンセプト図に則り、2019 年度より「社会とつながり明日を切り拓く資質・能力の育成」を共通の研究テーマに掲げ 4 年間研究に取り組んできた。Familiar Issues（身近にある課題）や、Global Issues（地球規模の課題）に対して、自ら考えながら「つなぐ力」を持った子どもの育成に取り組んできた。実

際に、池田地区の12年間の学習の中には、各教科の授業をはじめ、総合的な学習の時間、多種多様な学校行事、安全教育、国際バカロレア MYP プログラム、グローバル探究などの WWL 関連カリキュラム、国際枠生徒の受け入れなど、子どもたちにとって、グローバル性を育む重要な学習機会がある。そうであればこそ、池田地区としては、12年間の子どもの発達に則し、多様性を認めながら個々の可能性が伸びる学習目標やそれらを見取る評価規準・基準が必要となってくる。しかし、現状では、12年間の発達を見据えた学習目標や評価規準・基準が明確ではなく、曖昧になりやすいという課題がある。



### (3) めざす児童・生徒像と主題設定の理由

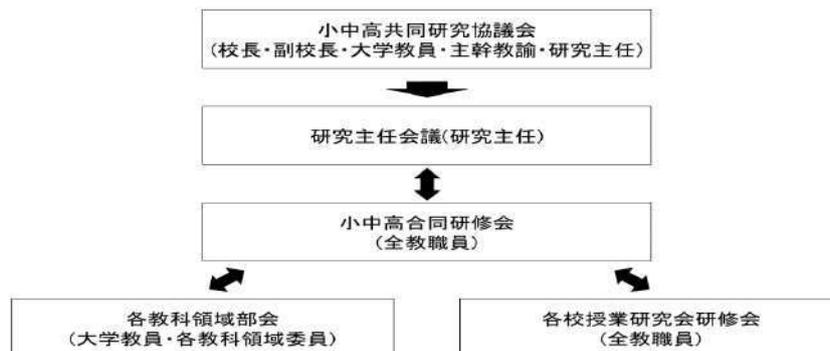
上記で述べたような時代背景や地区の課題を踏まえ、池田地区のトータルコンセプト図にもあるとおり、池田地区では、「平和や安全の課題を創造的に解決する市民」とあるとともに「主体性・寛容性・協働性を備えたグローバル市民」として、グローバル社会を協働的に創造することができるような人材を、12年間の教育を通して育成することをめざしていくこととしている。それでは、「グローバル市民」に必要な資質・能力とはいったい何か。目の前にいる子どもの姿を見取ることを通して、「グローバル市民」とは何かを明らかにし、その資質・能力の育成に向けた共通・ループリックの作成および教育法の開発を展開していく。



## 2. 研究運営・研究の進め方

### (1) 研究組織

池田地区では、下の図のように各校種が協働的に研究を進められるよう研究組織を編制している。「小中高共同研究協議会」では、池田地区の現在と将来像を管理職・大学教員・主幹教諭・研究主任で議論している。それをもとに「研究主任会議」で協議を重ね、論点を整理した提案を策定し、「小中高合同研修会」にて提案する。そして、「小中高合同研修会」における共通理解を基に、「各教科領域部会」や「各校授業研究会研修会」で理論を深めていくこととしている。



池田地区の研究組織図

## (2) 研究の進め方

本研究でめざすところは、上記でも述べているように池田地区として12年間の教育活動を通してグローバル社会を協働的に創造することができる人材を育成することにある。そのために、3年間を通して次のように研究を進めていく。

1 年次は、池田地区がめざす「グローバル市民に必要な要素」とは何なのかを「探る」。「探る」とは、子どもの学びの姿を見取る作業から始まる。日々の授業や教育活動の中で、「グローバル市民に必要な要素」を発揮している姿が垣間見える場面は、多様に存在すると考える。その多様な場面を見出し、小中高の12年間の発達の段階と照らし合わせながら、系統的に分析していくことで、「グローバル市民に必要な要素」とはどのようなものか、それが育つ過程とはどのようなものかが明確になってくると考える。そして最終的に、小学校低学年・小学校高学年・中学校・高等学校の3年ごとの発達の段階を踏まえた「コモン・ルーブリック」を作成する。

2 年次は、1 年次に作成した「コモン・ルーブリック」を基に、各教科領域や各学校行事等にローカライズさせた教育活動を行う。それらの教育活動の中で培われる力を明確にすることで、より実践的で汎用性のある「コモン・ルーブリック」の活用が図ることができると考える。

3 年次は、それまで開発してきた「コモン・ルーブリック」を評価・検証することとなる。2 年間の研究で、様々な教育活動や子どもの姿から仮説的に立てた「グローバル市民に必要な要素」について見直し、さらには「グローバル市民に必要な要素」が育つような教育活動が成されているのかを評価する必要がある。評価の視点として、短期的な授業での見取りだけでなく長期的な児童生徒の変容を基に判断していく。

以上のように、本研究では「グローバル市民に必要な要素」を子どもの学びの姿から見取ることを足掛かりにする。そして、その「グローバル市民に必要な要素」が育ち、発揮される学びについて、段階的に研究を進めていく。

## (3) 1 年次の取り組み

1 年次は、「グローバル市民に必要な要素」を明らかにしていくために研究を進めてきた。そこで、各校種の人数が均等になるように9 班のチームを作成した。このチームは、教科の専門性という枠組みにとらわれないものとなっている。理由として、「グローバル市民に必要な要素」を教科の枠を超えた視点で見取り、児童生徒が12年間の教育活動を経たのちに必要となる力を幅広い視点から探るためである。

まずは、5 月～7 月にかけて各校種による相互授業参観を行い、子どもたちの姿から「グローバル市民に必要な要素」を見取った。これは、日々の授業の中に「グローバル市民に必要な要素」を発揮している姿が垣間見える場面は、多様に存在するという仮説から実施したものである。そのため、子どもの姿から「グローバル市民」を構成する要素を多角的に見取り、その後分類することで整理することとした。構成要素は、「発信する力」「表現力」のように類似するものも合わせると32もの要素となった。

整理する方法として、まずは OECD の DeSeCo プロジェクト (Definition and Selection of Competencies) で示されたキーコンピテンシーに関する「異質な集団で交流する」「自律的に活動する」「相互作用的に道具を用いる」の3つのカテゴリーをもとに、32 の構成要素を分類した。これは、「どのような文脈であっても適用できる、汎用性の高いコンピテンシーを特定しよう」(\*2)とする DeSeCo の考え方を取り入れるためである。そして、池田地区という文脈に即して構成要素を整理するために、トータルコンセプト図をもとに構成要素を関連付け次の4つにとりまとめた。

主体的な人	自ら進んで行動し、自己調整しながら、自律的かつ粘り強く物事に取り組む
つなぐ力のある人	様々な知識と世の中の出来事とを関連づけて考えたり、多様な人とのつながりを大切にしたりする
探究力のある人	身近なものごとや世界の出来事に関心を持ち、夢中になって真理や理想を探究する
寛容な人	身近な他者や異なる文化の価値観をも尊重し、互いに認め合う

上記で示した4つの要素が「グローバル市民」を構成するものである。そして、4つの要素を小学校低学年・小学校高学年・中学校・高等学校の3年ごとの発達段階を踏まえて「コモン・ルーブリック」を作成した。

### 「グローバル市民」コモン・ルーブリック

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、 <b>新たな試みの視点</b> などから目標を持ち、その達成に向けて <b>自主的に粘り強く、創造的に</b> 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 <b>試みの視点</b> などから目標を持ち、その達成に向けて <b>自主的に粘り強く</b> 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 <b>試みの視点</b> などから目標を持ち、その達成に向けて <b>自主的に</b> 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだことから <b>目標</b> を持ち、その達成に向けて <b>進んで</b> 取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて <b>創造的に</b> 物事を考え、 <b>周りの人たちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践</b> することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 <b>地域社会の人たちとの協働を構想・実践</b> することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 <b>学校の人たちと協力して取り組む</b> ことができる。	これまでの経験や知識をもとに物事を考え、 <b>学級の人たちと力を合わせて取り組む</b> ことができる。
探究力のある人	自らの問題として、 <b>身近なコミュニティや世界の出来事</b> から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 <b>振り返りながら、創造的に追究</b> することができる。	自らの問題として、 <b>身近なコミュニティ</b> から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 <b>振り返りながら追究</b> することができる。	自らの問題として、 <b>身の回り</b> から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 <b>振り返り</b> することができる。	自らの問題として、 <b>身の回りの課題</b> に気づき、その解決に向けて取り組みすることができる。
寛容な人	他者の意見や考え方に対して <b>共感と傾聴</b> の姿勢で接し、 <b>多様性を尊重しながら相互理解</b> を深めることができる。	他者の意見や考えに対して <b>共感</b> の姿勢で接し、 <b>多様性を受け入れ相互理解</b> を進めることができる。	他者の意見や考えに対して <b>共感の姿勢</b> で接し、 <b>相互理解</b> を進めることができる。	他者の意見や考えに対して <b>共感の姿勢</b> で接することができる。

#### (4) 2年次の取り組み

2年次は、1年次に作成した池田地区「グローバル市民コモン・ルーブリック」を、あらゆる教育活動に具体的にローカライズしていく。教科授業だけでなく教科外活動にも、このコモン・ルーブリックを活用して、池田地区における12年間の教育活動全体で、「主体的な人」「つなぐ力のある人」「探究力のある人」「寛容な人」を育てることをめざす。

コモン・ルーブリックをローカライズする流れは、次のとおりである。

- ・ 4つの「人」のうち、教育活動（授業の単元、学校行事など）で育みたい「人」を1つ以上選択する。
- ・ 選択した「人」と学習内容とが、どのように関連しているのかを言語化する。池田地区「グローバル市民コモン・ルーブリック」は、あらゆる教育活動に用いることを想定しているため、抽象度が高い文言で表現されている。その文言を、各教科・各行事の特性と関連付けて具体的に解釈・説明し、言語化する。
- ・ 選択した「人」を育てていくために、どのような「力」を身につけさせるかを言語化する。
- ・ 身につけさせたい「力」が備わったかどうかについて、どのように評価するかを言語化する。
- ・ 教育活動を終えた後に、実践内容をまとめて、成果と課題をふりかえる。

このコモン・ルーブリックを活用することのねらいは、池田地区における12年間の教育目標を「見える化」・「意識化」することである。これまでも、池田地区全体で安全教育に取り組む・国際教育に取り組むという共通目標はあった。小中高間で協働でカリキュラム設計されている教育活動もあった。とはいえ、小学校1年生から高校3年生までの、12年間という教育期間は非常に長い。子どもの発達段階の違い、義務教育か否か、教科性が強いかな否か等の要因により、小中高全体で教育に取り組むという視点が充分だったとは言い難い。しかし、コモン・ルーブリックを活用することで、各授業・各行事の計画段階に、校種固有の教育目標のみならず、池田地区全体の教育目標も必然的に意識することになる。また、小中高の教員で相互授業参観をしたり指導案検討をしたりする際に、各校種特有の文化や特性にこだわらず、池田地区の教育目標に照らし合わせた議論をすることが可能になり、池田地区全体の12年間連続した教育改善につながる。このようにして、総勢80名弱の小中高教員が、同じ教育目標・共通言語をもって、子どもたちの成長・発達に関わっていけるようになることを、池田地区としてめざしていく。

#### (5) コモン・ルーブリックをローカライズして活用することについて

上で述べたように、コモン・ルーブリックとは、教育活動全般にわたり、子どもの学習や成長を評価するための共通の基準や目標を設定するツールである。これをローカライズ(学校や学年、教科、行事ごとに具体化)することにより、多様な学習場面や行事において一貫した教育目標を持つことができると考える。

以下4つの項目に分けてコモン・ルーブリックの活用することで期待されることについて述べる。

##### ①池田地区における教育活動の共通認識

コモン・ルーブリックをローカライズすることで、全ての教育活動において一貫した目標と評価基準を適用できる。これにより、教員間での評価のズレが少なくなり、子どもに対しても明確な期待と目標を伝えることが可能となる。12年間で同じ基準を用いることで、子どもの成長過程を同じ目線で追跡できることが期待される。また、コモン・ルーブリックを活用した目標設定を子どもと教師とで共通認識することにより、教員間だけではなく子どもとの意識のズレも少なくなり、教育効果が高まると考える。

コモン・ルーブリックを子どもと共有することは、子どもにとっても学習の意欲を向上させる要因となると考える。授業や行事において明確な目標と評価基準を設定することにより、子どもは自らの達成度を客観的に理解することができる。また、自分の強みと弱みを把握することで自己成長に向けた具体的な行動をとることが可能になることが期待される。

##### ②各教科・行事への具体的な適用

様々な教科や行事において、コモン・ルーブリックをそれぞれの特性に合わせてカスタマイズすることで、より具体的で実践的な目標設定と評価が可能になる。例えば、数学の授業では「主体的な人」として、自ら問題解決のプロセスを進め、計画的に取り組む姿勢を評価する。体育大会では、「つなぐ力のある人」として、チームワークや協力の精神の目標設定と評価する。このように適用範囲を広げることで子どもの多面的で多角的な成長を促進

できるとともに教科活動をはじめとする様々な教育活動の目標に整合性が生成されることが期待される。

### ③教育活動の改善とフィードバックを通じたコモン・ルーブリックの永続的な改善

小中高の12年間でコモン・ルーブリックを活用することにより、教師は子どもの達成度や学習過程について詳細なフィードバックを行うことが可能である。これにより指導方法やカリキュラムの改善も容易になると考える。また、様々な学習活動においてコモン・ルーブリックのローカライズを行い、より池田地区に適応した形にするべく改善策を探し出していく。このようなコモン・ルーブリックの定期的な評価を通して、目標設定の見直しを行うことにより、子どもの実態にあったコモン・ルーブリックの改善が図れることが期待される

## 3. 引用・参考文献

- \*1 秋田喜代美ほか 2020 「OECD Learning Compass 2030 仮訳 OECD ラーニング・コンパス (学びの羅針盤) 2030」
- \*2 白井俊 (2020 年) ミネルヴァ書房, 『OECD Education2030 プロジェクトが描く教育の未来-ニューエージェンシー資質能力とカリキュラム-』 P.10,P.33
- \*3 文部科学省(平成 29 年度告示) 『中学校学習指導要領解説【総則編】』
- \*4 文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程企画室 「OECD Education 2030 プロジェクトについて」
- \*5 文部科学省 中央教育審議会 2016 年 12 月 21 日「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)」

## II. 各教科実践事例

言葉の架け橋  
～“訳”の挑戦を探究する～

授業者 附属池田中学校 永井 涼子

1. 対象 附属池田中学校 第2学年C組(36名)

2. 単元目標

・知識及び技能に関して

- ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむ。(3)ア
- ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方について知ることができる。(3)イ

・思考力、判断力、表現力等に関して

- ・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。B(1)エ
- ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。C(1)エ
- ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。C(1)オ

・学びに向かう力、人間性等に関して

- ・言葉がもつ価値を認識するとともに、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

3. 指導に当たって

(1) 単元を通して育む「グローバル市民」と学習との関連

・グローバル市民の選択項目と単元／学習との関連について

- ・この単元では「主体的な人」としての資質を育みたい。

「枕草子」の三種類の現代語訳を比べ読みし、そのうち一冊の書評を作成することを本単元のパフォーマンス課題とする。この活動に至るまでの学習を通じて、生徒に作品は読み手を意識して作られていることを理解させ、今後の自分の創作活動につながる表現力を育てたい。また、訳はあくまで訳であるため、原文の意図や雰囲気は完全には表現しきれない場合がありうることを理解した上で、それでも訳があることで文学作品は長く広く読み継がれてきたことを認識し、自分の言語文化にも、異なる言語文化にも、親しみ、尊重する態度を育てたい。

・目標達成するためにつけるべき力

- ・訳者が選んだ言葉や表現に気づき、それが意図することをこれまでの経験や学んだこととつなげて考えようとする力。
- ・仲間との対話を通して自らの考えを整理し、それを言語化する力。
- ・読み手の立場に立って文章をまとめ、紙面の構成を工夫する力。

## (2)教材観

平成 23 年(2011 年)4 月より、小学校国語科でも古典が本格的に導入されるようになった。

現行の小学校学習指導要領では、第 5 学年及び第 6 学年の内容として、音読などを通して、言葉の響きやリズムに親しむことが挙げられている。加えて、古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることが挙げられており、古典への興味・関心を深めるようにすることが重要とされている。

小学校での学習を受けて、中学校学習指導要領では、第一学年の内容として、訓読の仕方を知り、音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことが挙げられている。そして、第二学年の内容では、作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことに加え、現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることが挙げられている。

本単元で取り上げる「論語」及び「枕草子」は、生徒たちに比較的馴染みがあり、また、作品に表れたものの見方や考え方をとらえやすい古典作品だと思われる。その理由として、「論語」「枕草子」ともに、小学校の教科書にも多く取り上げられていることと、その内容について、「論語」は日本の社会・学校・家庭において「当然」の考え方として浸透していること、「枕草子」は随筆という特性上、作者自身のものの見方や考え方が直接表現されている箇所も多いことがあげられる。したがって、二作品とも、古典の世界に親しみ、古典に表れたものの見方や考え方を知るには、適した教材だと考える。

ところで、自分が不自由なく使える言語以外で書かれた文学作品を学ぶ際、小学校課程及び中学校課程においては、ほとんどの場合“訳”を参照する。それは外国語の作品のみならず、古典文学を学ぶ際も例外ではないことは、先述の学習指導要領の内容からも明らかである。しかし、訳には必ず訳者の解釈や意図が反映されるため、原文は同じでも訳者ごとに異なる訳がなされうる。場合によっては、訳す過程で原文から失われるものがあるかもしれないし、意図や雰囲気をも十分に伝えきれないものもあるかもしれない。

本単元で取り上げる「論語」の訳には、大きな解釈の相違が見られないものもあれば、「子在川上曰」のように、原文の解釈に相違が見られるものもある。ここから、訳には訳者の解釈が反映される、つまり、対象が同じであっても、そのとらえ方は、社会状況も含めた“視点”によって異なる場合があるということを学ばせたい。また、「枕草子」は、一般的な現代語訳をしたものに加えて、コミカライズしたものや超訳とよばれるものも数多く出版されている。それぞれの現代語訳が作者の意図をどの程度反映しているのか、意図を十分に伝えきれない部分があるとするれば、それはどのような点なのか、といったことについて比較・検討することで言語感覚を豊かにし、今後の読書において役立てられるようにしたい。また、作品は読み手を意識して作られていることを理解し、自身の創作活動に活かせる表現力を育むことへつなげたい。

### (3) 生徒観

知識及び技能(3)ア(「作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむこと。)」について、生徒は、小学校での学習に加え、中学校では、一年生時に「竹取物語」「故事成語」などを通じて、歴史的仮名遣いをはじめとする文語のきまりを学習している。また、二年生である今年度は、一学期に「平家物語」の祇園精舎及び敦盛の最期を通して、音読することで語り物としての特徴を実感したり、敦盛及び熊谷の生き方を通して武士としてのものの見方や考え方について学習したりしている。

今回の授業に先立ち、授業者が今回の授業対象者の附属池田中学校二年生に対しアンケート(有効回答数 130)を行なったところ、「古典の学習が好きですか」という項目に対し、49人(37.7%)の生徒が「好き」「どちらかという好き」と回答しているのに対し、60人(46.2%)の生徒が「好きでない」「どちらかという好きでない」と回答しており(図1)、どちらかという古典に拒否感を持つ生徒が多いようである。

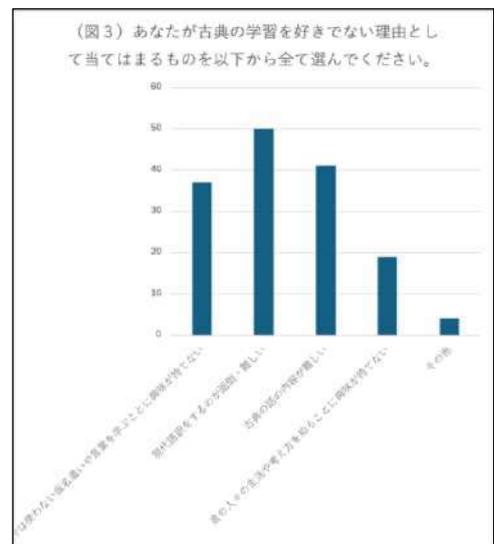
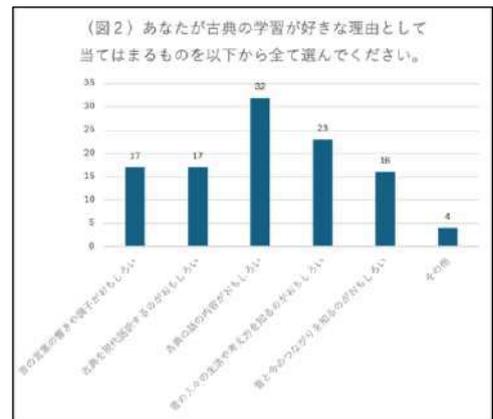
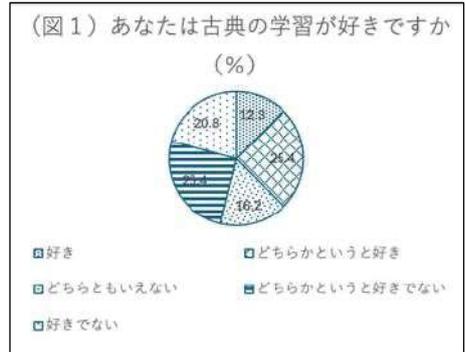
次に、「好き」「どちらかという好き」と回答した生徒に、その理由を複数選択で聞いたところ、最も多いものが「古典の話の内容がおもしろい」で、「昔の人々の生活や考え方を知るのがおもしろい」「昔と今の繋がりを知るのがおもしろい」と続いた(図2)。

一方、「好きでない」「どちらかという好きでない」と回答した生徒にも、その理由を複数選択で聞いたところ、「現代語訳をするのが面倒・難しい」が最も多く、「古典の話の内容が難しい」がそれに続いた(図3)。

「どちらともいえない」と回答した生徒(21名・16.2%)には、自由記述で「どのような要素・手助けがあれば、古典の学習が好きになれそうですか」と聞いたところ、18名の回答があり、最も多かったのが「現代語で書かれていたら」のような現代語訳に関する記述と「話の面白さ」など教材の内容に関する記述であった(どちらも5件)。それに続くのが「アニメ」や「イラスト・絵」などの視覚からの情報を求めるものであった(3件)。

以上のことから、今回授業対象の生徒たちにとって、古典が独特の言葉や文法で書かれており、不自由なく使える言語の形ではないことが、古典作品に親しみ、そこに表れているものの見方や考え方を知ることの妨げになっていると思われる。したがって、今回の単元では、教科書に載っているような現代語訳以外にもさまざまなものがあることを提示することで、古典に親しむ態度を養いたい。

また、思考力、判断力、表現力 B(1)エ【読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えること。】及び C(1)エ【観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること】並びに C(1)オ【文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。】については、今年度、一学期の学習のパフォーマンス課題として、エッセイまたは作文を作成し、コンクールに応募するという課題を課した。その課題に取り組むにあたり、過去の



コンクールの受賞作品を読み、出だし・まとめの工夫、構成の仕方、言葉の選び方や表現の仕方など、その作品のいいところを分析し、自分の作品に活かすという活動を行なった。そののち、自分の作品のテーマ決定のために、授業で学んだり、身近なところで感じたり体験したりした世界の課題について振り返ってテーマを選択し、そのテーマに対し、自分たちはどんなことができるかを考える活動を行なった。これらの活動の中で、生徒たちは言葉の選択や表記の仕方などの表現の効果についてはよく理解し、指摘できていた。しかし、構成については、導入の工夫についての言及は比較的多くの生徒ができていたものの、展開・まとめの工夫についての言及はほとんど見られず、言及が見られたものも多くが時系列関係の指摘にとどまっていた。したがって、効果的な構成の工夫に気づき、自分の文章に生かしていくことが今後の課題の一つとして考えられる。また、自分の考えを知識と結びつける際に、知識を根拠として自分の考えを述べることはできているが、その考えを具体的な場面に落とし込むには至っていない生徒が見受けられた。したがって、他者の考えの道筋などを知り、自分の考えと比較することなどを通して、自分の考えを広げたり深めたりすることも課題の一つとして挙げられる。

これらの生徒たちの課題に対し、古典やその古典が書かれた背景を理解する過程で、教科書以外の文献にもふれ、その構成の仕方や論理の展開の仕方についても意識して読ませるようにしたい。加えて、後述する「書評を書く」というパフォーマンス課題に取り組む前に、実際の書評をいくつか読ませ、どのような構成の工夫が、人をひきつけたり、考えを伝えやすくしたりするのかを考えさせたい。その上で、自分が実際に書く活動を行う中で、自分の考えをよりわかりやすく、実感を持って伝えるにはどうしたらいいかを読み手の立場に立って考えさせたい。その際、構成に加え「具体的」な場面を想定することで自分自身の考えも深まり、相手への説得力も増すということに気づかせたい。

#### (4) 指導観

今回授業対象の生徒たちにとって、古典作品が古典独特の言葉と文法で書かれていることが、作品に親しみ、そこに表れているものの見方や考え方を知らぬことの妨げになっていると思われるのは先述の通りである。しかしながら、現行の教科書には、ほぼ例外なく現代語訳または語注がついている。それがあってなお、生徒からこのような声上がるのはなぜなのか。それは、教科書に載っているような現代語訳には、生徒たちにとって馴染みの薄い表現が用いられており、その結果、古典作品で描かれる話は「自分とは異なる世界の話」になってしまい、その世界観を具体的にイメージできないからではないか。

しかし、裏を返せば、これは先述のアンケートもふまえて考えると、馴染みのある表現で現代語訳がなされれば、古典の話の内容や、そこに表れているものの見方や考え方によって、生徒が古典に魅力を感じるようになる可能性は大きいのではないかと推察される。現に、一学期に「平家物語」を学習した際に、一人の生徒が振り返りに「古典文学と今の作品を完全に分離して考えすぎていたかもしれない。古文も現代文と同じように小説としても楽しめるし、今と違った考え方もあるから新たな視点の勉強にもなる。あと、いい話が多いし今までとは違った表現が多いから読んでいて新鮮。敬遠していないでもっと早く触れればよかった。古典文法とかを覚えさせれば現代文より楽しめる、一つの文学のジャンルとして成立していると思った。」(原文ママ)と記述している。だが一方で、馴染みのある表現にすれば、伝わりにくくなることや失われるものもあるかもしれない。

そこで、本単元の指導に当たり、「論語」及び「枕草子」を読む際に、教科書以外の資料も提示しながら、時代背景や作者及び登場人物の人物像をしっかりと把握させ、なぜその作品が生まれたのか、どのような意図で書かれたのかということを生徒たちに考えさせたい。

その上で、本単元のパフォーマンス課題として、書評家になり切って書評を書くという言語活動を行う。具体的には、授業者が提示した「枕草子」の三種類の現代語訳を読み比べ、それぞれの現代語訳が原文の意図や雰囲気をどの程度反映しているのか、意図や雰囲気を十分に伝えきれていない点があるとするれば、それはどのような点なのか、といったことについて考察し、読み比べた物の中から一冊を選び、書評を書くという活動を行わせる。以下はパフォーマンス課題の状況を設定した GRASPS (Goal、Role、Audience、Situation、Product、Standard の頭文字をとったもの) である。

Goal (目的)	枕草子を読みたいと思わせるような書評を書く。
Role (役割)	書評家
Audience (相手)	書評雑誌の読者
Situation (状況)	出版社に「今古典がおもしろい！」というテーマで、人々が古典に親しめる本を紹介する原稿の執筆を依頼された。
Product (作品)	書評 (A4 サイズ 見開き 1 ページ)
Standard (評価の観点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介する本に使われている言葉や文体、表現等について、適切な指摘ができていないか。</li> <li>・自分の考えを論理的に説明するのに適した構成になっているか。</li> <li>・読み手を意識した作品になっているか。</li> <li>・適切な言葉を使用し、正しい文法で書けているか。</li> </ul>

この活動を通じて、生徒たちには、訳はあくまで訳であるため、原文の意図を伝えきれなかったり、場合によっては誤った印象を与えたりすることがあるかもしれないことを理解させた上で、それでも訳があることで文学作品は長く広く読み継がれる可能性があることを認識させたい。そして、自分の言語文化にも、異なる言語文化にも、親しみ、尊重する態度を育てたい。また、作品は読み手を意識して作られていることを理解させ、今後の自分の創作活動につながる表現力を育てたい。

本時では、先述のパフォーマンス課題に向けて授業者が提示した三種類の現代語訳について、個人で現代語訳の考察を行う活動と、個人の考察を共有し深める活動とを行う。これらの活動を通して、訳者が選んだ言葉や表現に注目し、訳者の意図をこれまでの経験や学習とつなげて考えようとする力と、仲間との対話を通して自分の考えを整理しようとする力を育てたい。そしてさらに、生徒が古典を「自分とは異なる世界の話」ではなく、「自分たちにつながる話」としてとらえ、「古典を学ぶ意義」を見出すことにつなげたい。

#### 4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア</p> <p>・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方について知っている。(3)イ</p>	<p>・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。B(1)エ</p> <p>・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。C(1)エ</p> <p>・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ</p>	<p>・古典に表れたものの見方や考え方を積極的に知ろうとし、学習の見通しをもって現代語の言語感覚とつなぎ合わせ、我が国の言語文化への理解を深めようとしている。</p>

#### 5. 単元の指導計画(全25時間)

時間	学習内容	主な評価規準	評価の観点			評価方法
			知技	思考	態度	
1・2	<p>・単元全体の確認をする。</p> <p>・シェル・シルヴァスタイン作「大きな木」(絵本)の本田錦一郎訳と村上春樹訳を読み比べ、共通点・相違点等を見出す。</p>	<p>同じ原文をもとにしても、訳者によって異なる訳がなされ、それにより読み手が受ける印象が異なることに気づいている。</p>		●	●	ワークシート OPPシート※
3	<p>漢文の訓読の方法について理解する。</p>	<p>訓点に基づき、訓読文を書き下し文にできている。</p>	●		●	ワークシート OPPシート
4~6	<p>「二千五百年前からのメッセージ —孔子の言葉—」より「学而」「顔淵」「為政」の内容を、教科書掲載の和訳を参照しながら、理解する。</p>	<p>読んで理解したことや考えたことを、自分の知識や経験と結びつけている。</p>		●	●	ワークシート OPPシート
7	<p>「子在川上曰」(子罕第九)について、漢和辞典を用いて和訳する。</p>	<p>漢和辞典等で調べたことに基づいて、自分なりの和訳ができている。</p>	●		●	ワークシート OPPシート
8・9	<p>孔子やその弟子及び論語についての知識や孔子の生きた時代、古注・新注が生まれた時代等についての理解を深める。</p>	<p>今後の学習に繋がられるように、作品の周辺人物の人物像や時代背景について理解している。</p>		●	●	ワークシート OPPシート

10・11	「子在川上曰」(子罕第九)の古注と新注とを比較し、解釈の妥当性について考える。	資料を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを持っている。		●	●	ワークシート OPPシート
12	歴史的仮名遣いの復習を行い、「枕草子」(「春はあけぼの」)を音読する。	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直し、音読することができる。	●		●	ワークシート OPPシート
13・14	「枕草子」(「春はあけぼの」)について、現代語訳をもとに理解し、「古今和歌集」から授業者が作成した資料と比較しながら、作者のものの見方や考え方をとらえる。	文章を読んで理解したことと資料から得た知識をもとに、自分の考えを表現している。		●	●	ワークシート OPPシート
15	「枕草子」(「うつくしきもの」)について、音読ののち、語注をもとに内容を理解する。	語注に基づき、本文の内容を理解している。	●		●	ワークシート OPPシート
16	「枕草子」(「雪のいと高う降りたるを」)について、音読ののち、示された語注をもとに内容を理解する。	語注に基づき、本文の内容を理解している。	●		●	ワークシート OPPシート
17・18	清少納言や「枕草子」が書かれた時代や書かれた意図について、資料を読み、理解する。	作品の周辺人物の人物像や時代背景について理解している。	●		●	ワークシート OPPシート
19	パフォーマンス課題の確認をしたのち、既習の「うつくしきもの」について、三種類の現代語訳(原文により忠実なもの・超訳的なもの・コミカライズされたもの)を読み、それぞれの印象を掴む。	パフォーマンス課題を意識しながら、それぞれの現代語訳の全体的なイメージをつかんでいる。		●	●	ワークシート OPPシート
20 【本時】	・既習の「春はあけぼの」と「雪のいと高う降りたるを」のいずれかの章段についての異なる三つの現代語訳を精読し、その特徴や表現の効果等について考察する。	既習事項を関連づけて、担当の章段の現代語訳の特徴及び表現の効果について考察し、自分の考えを表現している。		●	●	ワークシート OPPシート
21・22	前時の考察について全体で共有し、「古典」が読み継がれるために必要なことを考える。	三種類の現代語訳について、前時に示した観点から、自分の考えを深めている。		●	●	ワークシート OPPシート

23	パフォーマンス課題に取り組むにあたり、実際の書評を読み、表現や構成の工夫について考える。	読み手を意識した表現や構成について考察し、自分の考えを深めている。		●	●	ワークシート OPPシート
24~25	パフォーマンス課題(書評)に取り組む、完成させる。	読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章・紙面を整えている。	○	○	○	ワークシート OPPシート 書評【パフォーマンス課題】

●・・・形成的評価(指導に活かす評価) ○・・・総括的評価(記録に残す評価)

※OPPシート…一枚ポートフォリオ評価でもちいる。このシートに学習者が学習前・中・後の履歴を記録することで、学習や授業に関わる認知過程の実態を可視化され、形成的評価を図ることができる。

## 6. 本時の展開

### (1) 本時の目標

- ・時代背景や作品の周辺人物の人物像などの既習事項も踏まえて、種類の異なる現代語訳について、それぞれの特徴、表現の効果、表現しきれない部分等について粘り強く考察し、自分の考えを持つことができる。

### (2) 本時の評価規準

- ・訳者が選択した言葉や表現などに注目し、原文の意図や雰囲気をもどの程度反映しているのか、表現しきれない点があるとすれば、それはどのような点か、といったことについて、自分の考えを表現している。(思考・判断・表現)
- ・自分の考察と相手の考察を比較しながら、自分の考えを広げたり、深めたりしている。(思考・判断・表現)
- ・学習の見通しをもって、古典を現代語の言語感覚とつなぎ合わせ、我が国の言語文化への理解を深めようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

### (3) 本時の学習とグローバル市民コモン・ルーブリックとの関連

①項目 主体的な人

②内容 これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。

(4)展開

学習過程	学習活動および内容	指導上の留意点	評価の観点・方法
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあて及び学習内容を確認する。</li> <li>・課題を確認し、班内で、考察する章段を分担する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習の目的を図示しながら説明する。</li> <li>・教室座席の縦列で、考察する章段を指定する。</li> </ul>	
展開 35分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の「春はあけぼの」「雪のいと高う降りたるを」のいずれかについて、現代語訳を三種類読み比べ、読み手に与える印象が変わると感じた言葉や表現に印をつける。(授業者からの例示・3分、個人・4分)。</li> <li>・同じ章段を担当した者同士で、線を引いた部分を共有する。(ペア・2分)</li> <li>・「枕草子のたくらみ」をもとに解釈した、清少納言が枕草子を書くことへの思いについて確認し、清少納言がどのような作品にしたかったのかを確認する。(全体・5分)</li> <li>・“清少納言は枕草子をどんな作品にしたかったのか”という視点から、それぞれの現代語訳は清少納言の意図の何を表現できているのか、あるいは不十分なのかを考える(授業者からの例示・3分、個人・8分)</li> <li>・4人班で、担当の章段から見えてきたことを共有し、グループで一枚、ロイロ・ノートのシートにまとめ、提出する(グループ・10分)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業者から各章段一つずつ、例を示してから活動に入らせる。</li> <li>・自分では気づかなかった部分があれば、加えて線を引かせる。</li> <li>・前々時の活動で生徒から出た「枕草子に込めた清少納言の思いを表現するために、訳をするときに大切にしたいこと」をP.P.で映しながら、確認する。</li> <li>・授業者から「雪のいと高う降りたるを」を用いた例を示してから活動に入らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訳者が選択した言葉や表現などに注目し、どのような点が原文の意図や雰囲気を反映しているのか、表現しきれていない部分があるとするれば、それはどのような点か、といったことについて、自分の考えを表現している。(思考・判断・表現)ワークシート</li> <li>・自分の考察と相手の考察を比較しながら、自分の考えを広げたり、深めたりしている。(思考・判断・表現)ワークシート・観察</li> <li>・学習の見通しをもって、古典を現代語の言語感覚とつなぎ合わせ、我が国の言語文化への理解を深めようとしている。(態度)ワークシート・観察</li> </ul>

まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回、それぞれの現代語訳について班で共有したことを全体で共有した後、古典が読み継がれるために必要なことを考えることを伝える。</li> <li>・本時の学習の振り返りを OPP シートに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時の学習に見通しを持つよう、促す。</li> <li>・本時の学習で一番大切だと考えたことを記入するよう、促す。</li> </ul>	
-----------	---	--	--

## (5) 準備物

教科書、国語便覧、ワークシート、OPP シート、Chromebook

## 7. 成果と課題

### (1) 本時について

\*本時についての生徒の OPP シートより(原文ママ。下線部のみ授業者)

- ・どの訳にも共通していることは、定子を尊敬していることや、雅びで明るい雰囲気だと思う。ただ、それが尊敬の仕方にも違いがあって、新訂は「めっちゃ尊敬!」で、なりきりとマンガは「仕えれて嬉しい!仲良い!」みたいな感じかなと思った。また、新訂の方が明るいけれど、落ち着いている感じがするなど思った。
- ・文章では清少納言と定子という師弟関係であるため、敬語であることは共通していたが、敬語の重みや表現の仕方が違うだけで、清少納言の定子への思いや尊敬の重みが読み手の感じ方に大きく影響するとわかりました。
- ・今回原文から翻訳者の部分に着目してきたわけですが、各社で印象が全然違いました。例えば、新訂は原文に近い言葉なものが多く、かなりフォーマルで定子への尊敬の念をよく感じれるが、なりきり訳は少しカジュアルすぎるので、その部分に欠けている。しかしながら、新訂には少ない定子のために書いた感がある。3つそれぞれに上手な表現があれば少しできていない表現があり、面白かった。

### 《成果》

・生徒の記述を見ると、前時まで「枕草子のたくらみ」等で学んだ、枕草子執筆当時の定子の状況や清少納言と定子の関係などを踏まえて、各現代語訳の特徴をとらえ、自分の言葉でその共通点や相違点について、指摘できているものが多かった。この点では、「観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる」という本単元の目標をある程度達成できたと考えられる。

### 《課題》

・ワークシート及び OPP シートに、現代語訳の言葉と言葉、あるいは原文の古語と現代語訳の言葉を対応させた記述をしている生徒が少なかった。ここから「訳者の言葉や表現の選択が、原文の意図や雰囲気はどこまで反映できているのかを検討する」、「古典を現代語の言語感覚とつなぎ合わせる」といった点では、感覚的な理解にとどまり、実証的に相手に説明できるという段階の理解にまで至っていないことが推察される。現代語訳の比較・検討を行い、原文に立ち戻り、再び現代語訳を検討し直す…という思考のサイクルまでに持ち込めなかったのは、課題である。

・全体で交流する中で、同じものを見ながら他の人がどのように考えたのかに触れることで気づきもたらされ、そこから「主体性」が生まれるため、そういった意味で、時間的制約はあるが、この授業において最後の全体共有の活動にまで至れなかったのは、大きな課題である。授業構成の面での工夫をさらに考えていきたい。

## (2) 単元全体及びグローバル市民としての資質の育成について

\*単元全体についての生徒の OPP シートより(原文ママ。下線部のみ授業者)

・昔の言葉を翻訳する際には、正解というものはないけれどその時代の歴史や周りの人の言葉から意味を考えることが出来ると思いました。翻訳をする際には、伝えたいことをメインとしてその時の時代背景や登場人物の立場、話し方などを気をつける必要があると思います。また、翻訳したものを読む人の年齢に合わせた書き方をすることも重要だと思います。

・訳する人によって、何を重要視するかが違うため、当たり前ですが、人の考え方が違うことによって訳にも違いが生まれることは重要なことだと思いました。また、著者の考えから本が生まれ、その本をさらに別の人の意見も交えながら翻訳するため、翻訳された本が必ずしも著者の考えそのままではないことに気がきました。著者の意図を感じ取るためには、同じ文章でも一つの翻訳だけではなく、いくつかの翻訳を読んで、自分なりに内容を理解することが大切のかなと思います。

・訳すことは、「他の言語を自分の使う言語に直すこと」だと考えていたけど、もちろんそれもそうだけど、今は「訳し方は人によって違い、それによって読み手が受ける印象も全然違うもの」というイメージに変わりました。だから、目的に合わせて訳を変えることで、作者からのメッセージをどんな時代・環境の人にも伝えることが出来るのだと思った。翻訳は他の言語を訳すというだけの手段ではなく、メッセージを少しでも多くの人のために伝える手段だと思いました。

### 《成果》

・翻訳作品も、誰にどのようなことを伝えたいのかという訳者の意図によって表現の仕方が異なるため、翻訳作品は原作者の意図をそのまま表しているとは限らないということに、一定数の生徒たちが気づくことができた。また、この点から、作品を本当に自分で理解しようと思うと、その作品が書かれた背景を様々な視点から理解したうえで読む必要があると考えることができた。その一方で、目的に応じた訳があるからこそ、文学作品に込められたメッセージは長く広く読み継がれていることに目を向けられた。

### 《課題》

・与えられた、明確な正解のない課題に対して主体的に取り組むという点では、主体的に取り組み、これまでの学習経験も踏まえた発言・記述をすることができていた。しかし、自ら課題を見つけるという段階には至っていない。さらには、先述の通り、現代語訳と原文との対応という視点にまで立たせることはできなかった。ただ、中学校 2 年生の段階で、古典単元において、生徒自ら課題を見つけたり、原文で用いられる古語のニュアンスを感じ取ったりというのは、まだ難しい面もあると思われるので、現段階では、課題に対する多角的なものの見方やアプローチの仕方を提示しながら、今後も、生徒たちの言語感覚を豊かにするような実践を積み重ねていきたい。

## 8. 参考文献

- ・文部科学省『中学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説 国語編』東洋館出版社、2018 年
- ・文部科学省国立教育政策研究所『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校 国語』2020 年
- ・松本修・佐藤多佳子・桃原千英子編著『続・その問いは、文学の授業をデザインする』明治図書、2022 年
- ・堀哲夫監修、中島雅子編著『一枚ポートフォリオ評価論 OPPA でつくる授業 子どもと教師を幸せにする一枚の紙』東洋館出版社、2022 年
- ・シェル・シルヴァスタイン作・絵、本田錦一郎訳『おおきな木』篠崎書林、1976 年
- ・シェル・シルヴァスタイン作・絵、村上春樹訳『おおきな木』あすなろ書房、2010 年

- ・吉川幸次郎『論語 上・下』角川ソフィア文庫、2020年
- ・本間康司 絵と文、越田 年彦 執筆・監修『世界の思想家ガイドブック 覚えておきたい人と思想 100 人』清水書院、2014 年
- ・春日井明監修、石井溪漫画『学習漫画 中国の歴史 I 中国文明のあけぼの』集英社、2006 年
- ・春日井明監修、阿部高明漫画『学習漫画 中国の歴史 5 宋王朝と北方民族の興隆』集英社、2006 年
- ・高田祐彦『新版 古今和歌集 現代語訳付き』角川ソフィア文庫、2009年
- ・山本淳子『枕草子のたくらみ 「春はあけぼの」に秘められた思い』朝日新聞出版、2017年
- ・清少納言著、河添房江・津島知明訳注『新訂 枕草子 上・下 現代語訳付き』角川ソフィア文庫、2024 年
- ・清少納言著、八篠忠基翻訳『なりきり訳 枕草子 平安の衣食住を知れば古典がわかる』淡交社、2021年
- ・平田喜信監修・森有子マンガ『教科書にでてくる古典 マンガでさきどり 枕草子』くもん出版、2019 年

## 8.資料

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、 <b>新たな</b> 試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて <b>自主的に粘り強く、創造的に</b> 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 <b>試みの</b> 視点などから目標を持ち、その達成に向けて <b>自主的に粘り強く</b> 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 <b>試みの</b> 視点などから目標を持ち、その達成に向けて <b>自主的に</b> 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだことから目標を持ち、その達成に向けて <b>進んで</b> 取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて <b>創造的に</b> 物事を考え、 <b>周りの人たちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践</b> することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 <b>地域社会の人たちとの協働を構想・実践</b> することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 <b>学校の人たちと協力して</b> 取り組むことができる。	これまでの経験や知識をもとに物事を考え、 <b>学級の人たちと力を合わせて</b> 取り組むことができる。
探究力のある人	自らの問題として、 <b>身近なコミュニティや世界の出来事</b> から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 <b>振り返りながら、創造的に</b> 追究することができる。	自らの問題として、 <b>身近なコミュニティ</b> から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 <b>振り返りながら</b> 追究することができる。	自らの問題として、 <b>身の回り</b> から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 <b>振り返り</b> することができる。	自らの問題として、 <b>身の回りの</b> 課題に気づき、その解決に向けて取り組むことができる。
寛容な人	他者の意見や考え方に対して <b>共感と傾聴の</b> 姿勢で接し、 <b>多様性を尊重</b> しながら <b>相互理解</b> を深めることができる。	他者の意見や考えに対して <b>共感の</b> 姿勢で接し、 <b>多様性を受け入れ相互理解</b> を進めることができる。	他者の意見や考えに対して <b>共感の姿勢</b> で接し、 <b>相互理解</b> を進めることができる。	他者の意見や考えに対して <b>共感の姿勢</b> で接することができる。

金融リテラシーを育む経済学習  
～ファイナンシャル・ウェルビーイングをめざして～

授業者 附属池田中学校 田中誠也

1. 対象 附属池田中学校第3学年 A 組 (37名)

2. 単元目標

・知識及び技能に関して

身近な消費生活を中心に経済活動の意義、市場経済の基本的な考え方、現代の生産や金融などのしくみや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義および労働基準法の内容について理解する。

社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解できる。また、財政および租税の意義、国民の納税の義務について理解する。

・思考力、判断力、表現力等に関して

個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割および雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現する。

市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。また、財政および租税の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。

・学びに向かう力、人間性等に関して

市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。

国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。

3. 指導に当たって

(1) 単元を通して育む「グローバル市民」と学習との関連

①グローバル市民の選択項目「探究力のある人」

「自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら追究することができる。」

②単元との関連

経済分野の学習では、経済学の基本的な見方・考え方を学習する。経済学の基本的な見方・考え方は抽象的な面もあるので、具体的な社会事象を用いて理解することが肝要である。生徒にとって身近なコミュニティには、さまざまな経済社会の課題が見られる。それらの課題を多面的・多角的に考察することが、「探究力のある人」を育成することにつながると考える。

③目標達成するためにつけるべき力

i) 問題把握力 (社会的事象に内在している問題を発見し、それに対して問いを設ける)

ii) 問題追究力 (問題の解決策としての対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などの経済的概念を用いて思考・判断できる)

iii) 問題解決力 (問題としての問いと解決策に用いた経済的概念を踏まえ、実際に問題を解決していくプロセスをとる)

## (2) 教材観

### ①学校における金融教育の年齢層別目標

金融広報中央委員会が発行している『金融教育プログラム—社会の中で生きる力を育む授業とは—』によると、金融教育について、以下のように定義されている。

金融教育は、お金や金融の様々な働きを理解し、それを通じて自分の暮らしや社会の在り方について深く考え、自分の生き方や価値観を磨きながら、より豊かな生活やよりよい社会づくりに向けて、主体的に判断し行動できる態度を養う教育である。

金融教育で取り扱う内容の多くのものが公民的分野の経済学習において、有効である。お金や金融に関する知識を学習して、よりよい社会づくりについて考えることが重要であると考えます。金融教育で取り扱う内容を全て本単元で扱うわけでないが、本単元で扱うことができるものを取り入れて、単元を計画した。

そこで、金融広報中央委員会が作成した「学校における金融教育の年齢層別目標」（以下、「年齢層別目標」）をもとに、学習する内容を単元計画に取り入れることにした。「年齢層別目標」は、小学校、中学校、高等学校で身につけるべき金融リテラシーについて、4つの分野と重要概念について整理されている。右図は、「年齢層別目標」に示されている図である。達成する目標には、学習指導要領に照らし合わせて、達成する目標を学習する教科も示されている。「年齢層別目標」を活用することで、経済学習の充実と金融リテラシーの確実な育成を図ることができるのではないかと考えた。単元計画の学習内容には、「年齢層別目標」に示されているものを示している。「年齢層別目標」において、教科名が示されていない部分については、本単元で取り扱うことができるものは、単元計画に盛り込むこととした。

### ②社会科教育と金融教育の関係

本単元は学習指導要領、内容項目B私たちと経済(1)市場の働きと経済、(2)国民の生活と政府の役割を取り扱っている。小学校では、第3学年「地域の生産・販売」、第5学年「我が国の農業や水産業」「我が国の工業生産」「情報産業と情報化した社会」において、経済的な概念について学習している。その内容を受けて、本単元の実践となる。本単元は、本格的な経済的な概念を身につける機会となっている。

現代社会の見方・考え方として、①対立と合意、②効率と公正、③分業と交換、④希少性の4つが、学習指導要領では提示されている。『金融教育プログラム』には、重要な概念として、⑤選択、⑥機会費用、⑦トレード・オフ、⑧長期的視点、⑨情報の非対称性、⑩市場、⑪公正で持続可能な社会、が提示されている。本単元において、①～⑪の概念を経済社会の見方・考え方として定義し、指導の中に活用していく。経済社会の見方・考え方の確実な理解を促す指導計画を考える必要がある。

◆金融教育の4つの分野と重要概念



### (3) 児童・生徒観

#### ① 15歳のお金とくらしに関する知識・行動調査

金融広報中央委員会が「15歳のお金とくらしに関する知識・行動調査」を実施している。調査の趣旨として、義務教育終了段階の子どもの年齢層別目標における金融リテラシーの状況を把握するために実施されているアンケート調査である。設問の特徴として、金融リテラシーにかかる知識と望ましい行動に関する設問と、お金とくらしに関する行動・考え方等を問う設問で構成されている。本来は、高校1年生を対象とした調査であるが、義務教育終了段階の子どもの金融リテラシーの状況を測ることができるため、経済学習をはじめる前の生徒たちの学習状況を把握するツールとして活用した。設問の中で「中学校」と表記されているものは、「小学校」と読み替えている。今回は、第3学年を対象に実施した。

#### ② 調査結果と考察

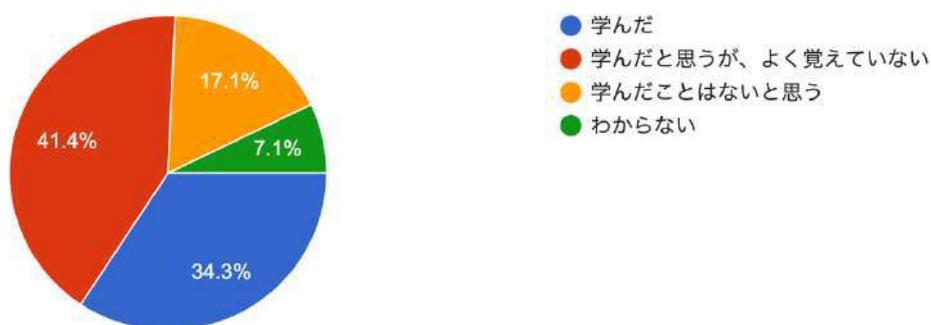
本校生徒にアンケート調査をした結果を概観する。全国平均の数値と比べることで、生徒たちの現在の金融リテラシーを測ることができると考えた。金融リテラシースコアについて、次のようになった。

	全体	家計管理	生活設計	金融取引の基本	金融・経済の基礎	保険	ローンクレジット	資産形成	外部の知見活用
対象者%	56.7	56.4	35.6	64.0	64.8	72.7	34.3	37.9	59.6
全国平均%	60.3	65.6	35.7	62.0	68.8	81.1	42.2	46.9	58.7

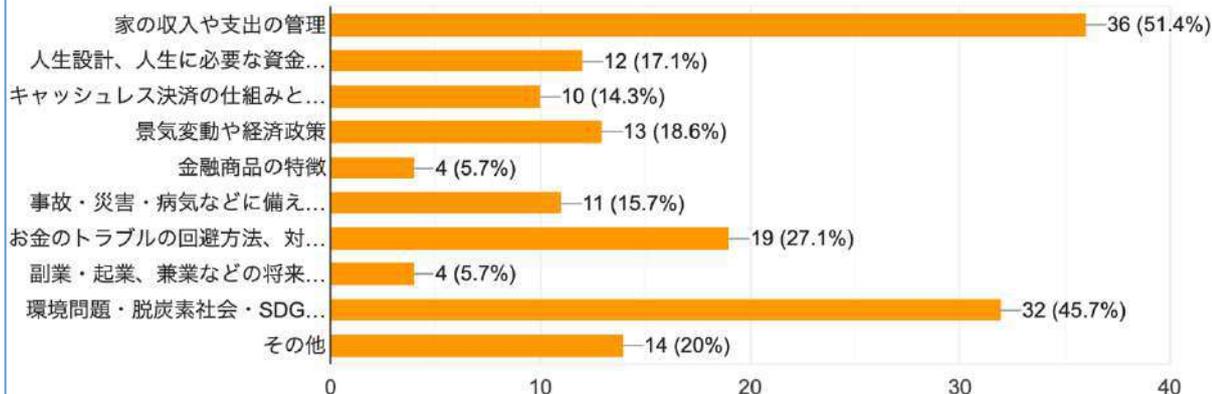
「金融リテラシースコア」

全体として、全国平均と比べると、3.6ポイント低い。全国平均と比べて、ポイントが高い分野は、「金融取引の基礎」(2ポイント)、「外部の知見活用」(0.9ポイント)となっている。全国平均と比べて、ポイントが低い分野は「家計管理」(9.2ポイント)、「生活設計」(0.1ポイント)、「金融・経済の基礎」(4ポイント)、「保険」(8.4ポイント)、「ローンクレジット」(7.9ポイント)、「資産形成」(9ポイント)となっている。学習を通して、金融リテラシーを高めていきたい。

小学校の社会科や技術家庭科、総合的な学習、特活などの授業でお金のことについてまなびましたか



小学校の社会や家庭科、総合、特活などの授業で...だお金のことについて該当するものを選びなさい  
70件の回答

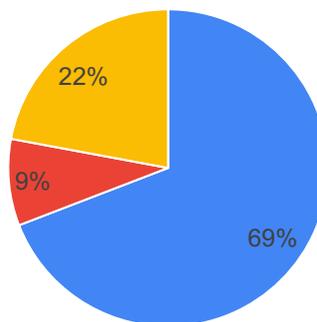


小学校でのお金のことについて学んだ経験としては、34.3%となっている。学習した内容としては、「家の収入や支出の管理」「環境問題・脱炭素社会・SDGsについて」の数値が大きい。小学校では、身近なお金について学習していることがわかった。意識的にお金のことについて学んでいるというより、無意識のうちに学校教育の中でお金に関する学習をしてきたと言える。

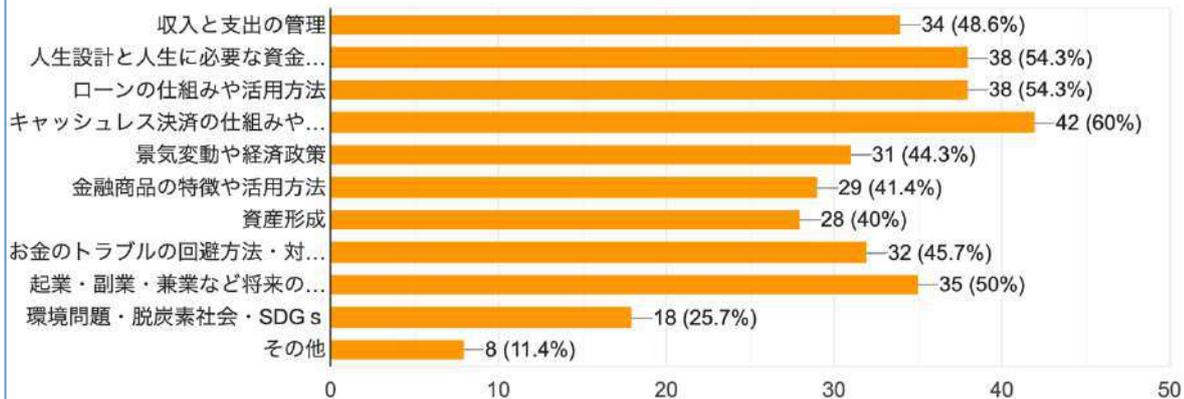
中学3年生となり、授業でお金のことを教えてほしい割合は、69%となっていて、関心が高い。内容について聞くと、バランスよく金融の知識を学びたいと考えていることがわかる。

学校の授業でお金のことについておしえてほしいですか

■ そう思う ■ そう思わない ■ どちらとも言えない



学校の授業で教えてほしいと思うお金のことについて、該当するものを選びなさい  
70件の回答



#### (4) 指導観

##### ①金融リテラシーの育成

金融リテラシーを育成するために、幅広い経済の知識を習得することが必要になるだろう。単元計画に「年齢層別目標」を取り入れることで、金融リテラシーについて幅広く学習できるようにする。ニュースで見られるような経済的な現象は、さまざまな要因が関わっているが、経済学習を始めた生徒にとって、具体的な場면을想定しながら、経済的な概念を身につけることが必要であろう。教科書には、経済の図解が多く掲載されている。それらを活用しながら、経済的な概念を身につけられるようにしていく。

##### ②問題解決的な学習

学習過程として、問題解決的な学習を意識して行うことが大切だと考える。経済的な問題を取り扱うことで、実際の場면을イメージしながら、学習を行うことができる。教科書学習では、経済的な概念がシンプルに学習でき、実際起きている経済的な問題では、経済的な概念が複雑に重なり合っていることを学習できる。問題解決的な学習過程によって、問題解決能力を育成することができ、これはグローバル社会で活躍できる人を育てることにつながるだろう。実際の授業においても、教科書を使用した学習と、実際の経済問題を扱った学習を活動として取り入れていく。

#### 4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。</li> <li>・市場経済の基本的な考え方について理解している。その際、市場における価格の決め方や資源の配分について理解している。</li> <li>・現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。</li> <li>・勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。</li> <li>・社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。</li> <li>・財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件について多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</li> <li>・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</li> <li>・国民生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</li> <li>・新聞などのメディアやインターネットなどの情報手段から経済社会に関する情報を得る習慣を身につける。</li> <li>・経済社会の課題について幅広く関心をもつ。</li> <li>・少子高齢化やグローバル化、情報化に伴う経済にかかわる問題について関心をもつ。</li> </ul>

## 5. 単元の指導計画(全27時間)

時間	学習内容	主な評価規準	評価の観点			評価方法
			知技	思考	態度	
第1次 私たちの生活と経済						
1	単元の見通しを設定する。 新聞などのメディアやインターネットなどの情報手段から経済社会に関する情報を得る習慣を身につける。	単元の見通しをもち、学習の方向性を定めている。	●	●	●	振り返りシート
2	「経済活動とお金の役割」 財やサービスの有限性、希少性を理解し、よりよい選択をしようとする。お金の役割を理解する。	財やサービスの有限性、希少性を理解し、よりよい選択をしようとする。お金の役割を理解している。	●			ワークシート
3	「お金の使い方と経済の考え方」 効率・公正などの概念を用いてよりよい意思決定ができる。	効率・公正などの概念を用いてよりよい意思決定をしている。		●		ワークシート
4	「価格の働きと経済」 市場経済において価格が希少性のある資源を効率よく配分する働きをもつことを理解する。	市場経済において価格が希少性のある資源を効率よく配分する働きをもつことを理解している	●			ワークシート
第2次 消費者と経済						
5	「家計の収入と支出」 家計の収入・支出について理解する。さまざまな決済の仕組みと方法について理解する。各種カード、スマートフォンなどを用いた様々な支払い方法のしくみを理解する。個々人の消費や支出の行動が現在および将来の社会に与える影響について考え、その影響を踏まえて行動する態度を身につける。	個々人の消費や支出の行動が現在および将来の社会に与える影響について考え、その影響を踏まえて行動する態度を身につけている。	●		●	ワークシート
6	「消費生活と流通の関わり」 環境や社会に配慮した消費生活ができる。 消費生活に関する情報を活用し、比較・選択する力を身につける。	消費生活に関する情報を活用し、比較・選択する力を身につけている。		●		ワークシート
7	「消費者問題と政府の取り組み」 消費者基本法について理解し、消費	消費者基本法について理解し、消費者の権利			●	振り返りシート

	者の権利や責任について知り、日常生活に活かす態度を身につける。売買契約のしくみや契約を守ることの重要性を理解する。製造物責任について理解し、商品の購入・使用の際に活かす態度を身につける。	や責任について知り、日常生活に活かす態度を身につけている。				
第3次 企業と経済						
8	「わたしたちの生活と企業」 企業の機能と役割、社会的責任について、模擬企業づくりなどを通じて実践的に理解する。起業の意義を理解する。	企業の機能と役割、社会的責任について、模擬企業づくりなどを通じて実践的に理解している。	●			ワークシート
9	「企業活動のしくみ」 企業が行うさまざまな資金調達方法について理解する。企業は調達した資金で設備投資を行っていることを理解する。模擬企業づくりなどを通じて、会社経営の仕組みや工夫、努力の必要性を理解する。	模擬企業づくりなどを通じ、会社経営の仕組みや工夫、努力の必要性を理解している。	●			ワークシート
10	「金融のしくみとはたらき」 金融機関の種類と機能について理解する。間接金融、直接金融の仕組みについて理解する。起業を支える金融の役割を理解する。	金融機関の種類と機能について多面的・多角的に考察し、表現している。		●		ワークシート
11	「ライフプランからお金について考える」 継続して貯蓄・運用に取り組む態度を身につける。金利計算(複利)を理解する。金融商品には株式や債券などがあることを理解する。リスクとリターンの関係について理解する。お金を投資することの生活設計上の意味を理解する。	継続して貯蓄・運用に取り組む態度を身につけている。		●	●	ワークシート
12	「企業競争の役割」 企業が競争を通して発展していくことを理解し、独占や寡占がもたらす弊害について考察できる。	企業が競争を通して発展していくことを理解し、独占や寡占がもたらす弊害について多面的・多角的に考察し、表現している。		●		ワークシート

13	「働くことの意義と労働者の権利」 勤労の意義と社会における役割、および勤労の権利と義務について理解する。労働者の権利と義務について理解する。	労働者の権利と義務について多面的・多角的に考察し、表現している。		●		ワークシート
14	「労働環境の変化と私たち」 労働と賃金ややりがいとの関係について理解する。	労働と賃金ややりがいとの関係について理解している。			●	ワークシート
15	「企業の社会的責任」 企業の機能と役割、社会的責任について、模擬企業づくりなどを通じて実践的に理解する。	企業の機能と役割、社会的責任について、模擬企業づくりなどを通じて実践的に理解している。	●			ワークシート
第4次 これからの日本経済						
16	「景気の変動とその影響」 景気や物価の変動が人々の生活に影響を及ぼすことを理解する。現実の経済の動きと経済指標の関係を理解する。	現実の経済の動きと経済指標の関係を多面的・多角的に考察し、表現している。		●		ワークシート
17	「日本銀行と金融政策」 中央銀行の機能について理解する。中央銀行が行う金融政策について理解する。	中央銀行が行う金融政策について理解している。	●			ワークシート
18 本時	「グローバル化と日本経済」 家計、企業、金融機関、政府、海外の間の財・サービスやお金の流れを理解する。円高・円安の意味と人々の生活への影響を理解する。グローバル化の意味と影響を理解する。	円高・円安によって、家計、企業、金融機関、政府、海外の間の財・サービスやお金の流れや影響を多面的・多角的に考察し、表現している。		●		ワークシート
19	「これからの日本の経済と私たち」 経済社会の課題について多面的・多角的に考察する態度を身につける。	経済社会の課題について多面的・多角的に考察し、表現している。		●		ワークシート
20~ 21	パフォーマンス課題 生活設計・マネープランシート	生活設計の必要性を理解し、自分の価値観に基づいて生活設計を立てている。	○	○		
第5次 財政						
22	「私たちの生活と財政」 社会保障や公共サービスなど、政府	社会保障や公共サービスなど、政府の経済活	●			ワークシート

	の経済活動の意義について理解する。	働の意義について理解している。				
23	「国の支出と収入」 財政および租税の意義と役割、国民の納税の義務について理解する。	財政および租税の意義と役割、国民の納税の義務について理解している。	●			ワークシート
24	「社会資本の役割と環境への取り組み」 経済活動に対する規制および規制緩和の意義について理解する。	経済活動に対する規制および規制緩和の意義について理解している	●			ワークシート
25	「社会保障と私たちの生活」 社会保障について、その基本的な内容を理解する。事故や災害、病気などのリスクや負担を軽減させるための手段の一つに保険があることを理解する。	事故や災害、病気などのリスクや負担を軽減させるための手段の一つに保険があることを理解している。	●			ワークシート
26	「これからの日本の財政」 政府の経済政策や財政の状況と暮らしとの関係について理解する。	政府の経済政策や財政の状況と暮らしとの関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。		●		ワークシート
27	単元の振り返り 新聞などのメディアやインターネットなどの情報手段から経済社会に関する情報を得る習慣を身につける。 経済社会の課題について幅広く関心をもつ。	経済社会の課題について幅広く関心をもっている。			○	

●・・・形成的評価（指導に活かす評価）    ○・・・総括的評価（記録に残す評価）

## 6. 本時の展開

### (1) 本時の目標

円高・円安によって、家計、企業、金融機関、政府、海外の間の財・サービスやお金の流れや影響を多面的・多角的に考察し、表現する。

### (2) 本時の評価規準

円高・円安によって、家計、企業、金融機関、政府、海外の間の財・サービスやお金の流れや影響を多面的・多角的に考察し、表現している。

### (3) 本時の学習とグローバル市民コモン・ルーブリックとの関連

#### ①項目

探究力のある人

#### ②内容

自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら追究することができる。

### (4) 展開

学習過程	学習活動および内容	指導上の留意点	評価の観点・方法
導入 5分	<p>・本時に関わる金融リテラシーを確認する。</p>		
<p>探究の問い「円高や円安は、私たちの生活にどのような影響を与えているのか？」</p>			
展開 40分	<p>・円高・円安のしくみを、金利、物価上昇率と組み合わせて理解する。</p> <p>・円安や円高のとき、家計、企業、政府、金融機関、海外の間の財やサービスのお金の流れを経済の循環図で表現する。</p> <p>・個人で「経済の循環図」に書き込んだあと、班で交流を行う。</p> <p>・現在を生きる私たちにとって、円高・円安のどちらが幸福を最大化できるかについて考察する。</p>	<p>・円とドルの需要と供給に基づいて、円高・円安が決定されることを説明する。</p> <p>・自動車会社と電力会社を例にして、それぞれの企業と、他の主体との関係を図示するようにする。</p> <p>・物価上昇率や株価などに着目して、考察させる。</p> <p>・日本の産業の中核となっているのは輸出企業である一方、私たちの生活の財やサービスは海外から輸入しているものが多いことに気づかせる。</p> <p>・それぞれの立場によって、為替相場による影響が異なることに気づかせる。</p>	<p>・ワークシート(思考)</p>
まとめ 5分	<p>・振り返りシートに本時のまとめをする。</p>	<p>・金融リテラシーについて、目標をどの程度達成できたかを振り返るようにする。</p>	

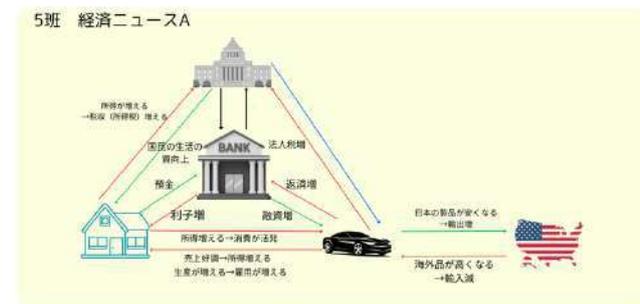
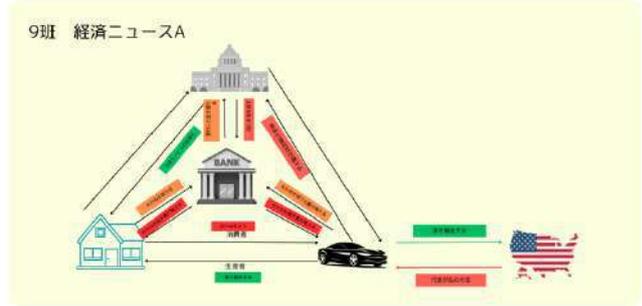
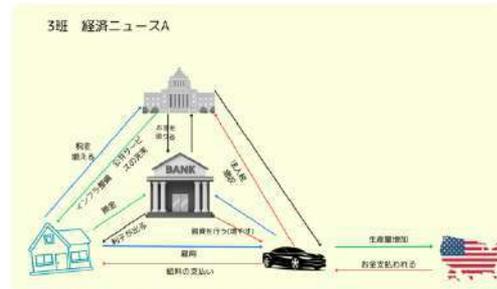
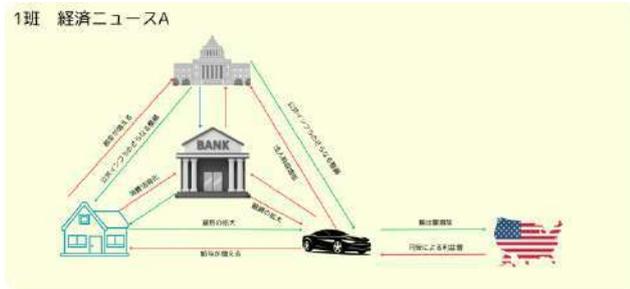
### (5) 準備物

教科書、資料集、Chromebook

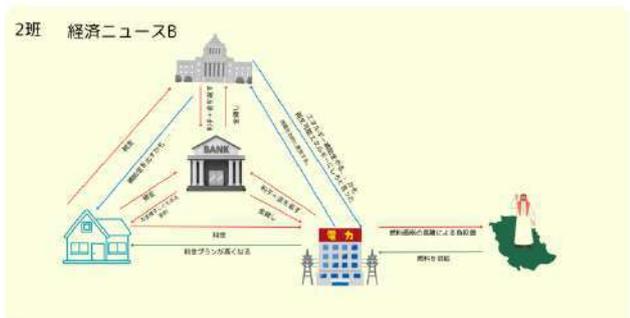
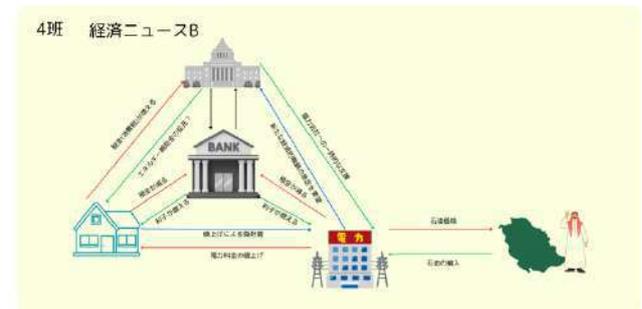
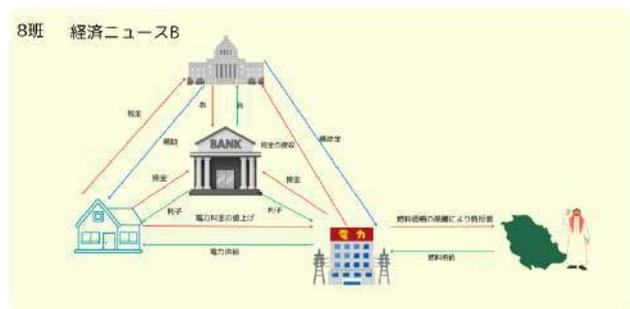
## 7. 成果と課題

本実践の成果と課題について、①生徒のワークシート、②研究授業参加者アンケート、③「15歳のお金とくらしに関する知識・行動調査」の3つの視点から、考察していきたい。

### ①生徒のワークシート



### 資料1「経済ニュースAに対する経済の循環図」



### 資料2「経済ニュースBに対する経済の循環図」

資料1と資料2は、生徒が経済ニュース A と B を読んで、班で協働して作成した「経済の循環図」を示している。経済ニュース A では、円安の際に日本の自動車会社がアメリカに車を輸出する場合の経済の動きについて言及されている。経済ニュース B は、円安の際に日本の電力会社が中東から石油を輸入する場合の経済の動きを取り上げている。生徒たちは、これらの経済ニュースをもとに、家計、政府、企業、金融機関、海外との関係性を整理する活動を行った。特徴的な部分として、経済ニュース A では企業から政府への法人税や、家計から政府への所得税が増加する点が挙げられる。また、金融機関が企業に対して融資を増やす部分も特徴的である。一方、経済ニュース B では、政府が家計に対して電気料金値上げに対する補助金を提供し、電力会社に対しても補助金を提供する点が特徴的である。これらは現在起きている社会的事象と関連しており、生徒にとって身近な問題と想定される。

### (1) 成果

「経済の循環図」を通じて、経済の動きを表現し、経済主体の関係性を意識したお金や物の動きを示すことができた。これにより、為替変動について多面的に考える機会が得られたと考える。

### (2) 課題

経済ニュースに記載されていない事象を「経済の循環図」に表現するのが困難であるという点である。特に金融機関の動きについては、経済ニュースに記述がなかったために、金融機関と家計、金融機関と政府との関係での経済の動きが希薄になってしまった。この点についてはさらなる改善が必要である。

## ②研究授業参加者アンケート

研究会当日参加者から授業に関するアンケートを学校として実施している。本授業に対する感想や意見について、スタディポケット(生成 AI)を用いて、KJ法による分析を行った。以下の表に示す通り、整理された。

1授業の質と意識の高さ	2金融教育と経済理解	3探究学習の手法	4社会情勢と学習内容への適用
<ul style="list-style-type: none"> <li>・レベルの高い授業</li> <li>・生徒や教師の高いレベル</li> <li>・大人も考えさせられる内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融教育に関する話題</li> <li>・為替変動や貿易の影響</li> <li>・経済主体との関わりの探究</li> <li>・経済単元の難しさ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の思考を促す課題設定</li> <li>・探究の連続</li> <li>・ICTツールの活用</li> <li>・自主性を引き出す授業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会情勢に対する生徒の意識</li> <li>・グローバルな視点の強化</li> <li>・循環図の作成の取り組み</li> </ul>

### (1) 成果

アンケートの結果から、多くの参加者が授業の質と生徒の学習意欲の高さを評価していることが判明した。特に、為替変動や金融教育の取り組みは、生徒が主体的に経済活動を理解する機会を提供していたと考えられる。また、ICT ツールを活用した探究学習により、学びへの深い関心と参与が促進されていた。これらをもとに、今後も探究型授業の工夫を続け、生徒の成長を支え、現代社会に即した教育を推進できると考えられる。

### (2) 課題

アンケートから明らかになった課題として、円高・円安の定義について、教員と生徒の間で共通認識を持てていなかったことが挙げられる。最後の授業展開で「円高・円安のどちらが幸せか」という問いかけをした際に、こ

の円高・円安が現在の為替相場からの変動なのか、ある基準（例えば 1 ドル=〇円）からの変動なのかが曖昧であった。現在の急激な円安状況を考慮すると、どの視点で考えるべきかを丁寧にアプローチする必要がある。また、授業の終末での学習内容の締めが不十分であった。授業の終末で、生徒が作成した経済の循環図を基に学習内容をまとめる必要がある。

### ③「15歳のお金とくらしに関する知識・行動調査」

	全体	家計管理	生活設計	金融取引の基本	金融・経済の基礎	保険	ローンクレジット	資産形成	外部の知見活用
学習前	56.7	56.4	35.6	64.0	64.8	72.7	34.3	37.9	59.6
学習後	64.6	76.7	40.9	65.3	66.9	70.7	82.5	43.7	68.3
全国平均%	60.3	65.6	35.7	62.0	68.8	81.1	42.2	46.9	58.7

資料3「本単元終了後の金融リテラシースコア」

#### (1) 成果

全体の金融スコアが全国平均と比較しても優位に上昇したことが確認できる。特に「家計管理」「生活設計」「金融取引の基本」「ローン・クレジット」「外部の知見活用」の項目で優位な上昇が見られた。これらは中学校の学習段階で、十分に金融リテラシーを育成できたことを示していると考えられる。本授業の学習内容に関連する設問では、「1ドル=120円から1ドル=140円になったら円高である」という問いに対し、全国平均の65.5%を上回る76.6%の正答率を示した。また、「円安は一般的に輸出が中心の日本企業には有利で、輸入が中心の企業には不利である」という問いに対しても、全国平均の53.6%に対して64.8%の正答率となった。これらの結果から、中学生が身につけるべき金融リテラシーを十分に身につけた生徒が多かったと考えられる。

#### (2) 課題

全国平均と比較して下降した項目として、「金融・経済の基礎」「保険」「資産形成」が挙げられる。「金融・経済の基礎」では、好景気と不景気におけるモノの値段、生産量、失業者数の変化を問う設問がありましたが、正答率が低く誤った選択が多く見られた。授業中にこれらの概念の定着が不十分だったと考えられる。「保険」に関しては、自転車での事故による損害賠償に備えて自転車保険に加入しているかどうかを問う設問があり、全国平均を下回る50.6%の生徒が「はい」と答えた。生徒自身が、自転車保険に加入しているかどうかを認識していない可能性が考えられる。「資産形成」に関しては、「リスクが低くリターンが高い金融商品はない」という設問において正答率が低く、一部の生徒はこのような夢の金融商品が存在すると考えている可能性がある。

①生徒のワークシート、②研究授業参加者アンケート、③「15歳のお金とくらしに関する知識・行動調査」の3つの視点から成果と課題をまとめると以上ようになった。これからは、改めて金融リテラシーを育成する単元計画の見直しを行い、中学校段階での金融リテラシーを育成できるように授業改善をおこなってきたい。

## 8. 参考文献

- ・唐木清志 編(2023)『社会科の「問題解決的な学習」とは何か』東洋館出版社
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター(2020)『「指導と評価の一体化」のための学習指導に関する参考資料【中学校 社会】』東洋館出版社
- ・文部科学省『中学校学習指導要領解説 社会編』文部科学省,平成 29 年 7 月
- ・長瀬勝彦(2016)『改訂新版 図解 1時間でわかる経済のしくみ』ディスカヴァー・トゥエンティワン
- ・金融広報中央委員会「15歳のお金と暮らしに関する知識・行動調査 2023年」
- ・金融広報中央委員会(2023)『金融教育プログラムー社会の中で生きる力を育む授業とはー』
- ・小塩隆士(2024)『高校生のための経済学入門【新版】』ちくま新書
- ・小塩隆士(2024)『経済学の思考軸ー効率か公平かのジレンマ』ちくま新書

## 比例と反比例

～ドミノ倒しに隠れた関数とは～

授業者 附属池田中学校 井場 恒介

### 1. 対象 附属池田中学校第1学年B組(36名)

### 2. 単元目標

比例, 反比例について, 数学的活動を通して, 次の事項を身につけることができるよう指導する。

・知識及び技能に関して

関数関係や座標の意味を理解している

比例, 反比例について理解する

比例, 反比例の関係に着目し, その特徴を表, 式, グラフなどに表す技能を身につけている

・思考力, 判断力, 表現力等に関して

比例, 反比例として捉えられる二つの数量について, 表, 式, グラフなどを用いて調べ, それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる

・学びに向かう力, 人間性等に関して

数学的活動の楽しさや数学の良さに気付いて粘り強く考え, 数学を生活や学習に生かそうとする態度を養う  
問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う

多面的に捉え考えようとする態度を養う

### 3. 指導に当たって

#### (1) 単元を通して育む「グローバル市民」と学習との関連

①選択項目「つなぐ力のある人」

②学習との関連

この単元では, 比例, 反比例の学習を通して「関係性」についての概念を深めていく。その際, 小学校時代に学習してきた関数の概念を深め, 広げたり, 伴って変わる2つの数量の関係性を見出したりと, 数学的に処理することが必要となってくる。この際, 数学の知識と身の回りの事象をつなぎ合わせることや, 比例や反比例とみなして処理することが必要となる。またこのような学習をクラスメイトと協働的に学習しながら自分の知識や他者の知識をつなぐことも必要となる。また, 地域社会の問題においても数学を使って解決することにつながると考える。

③目標達成するためにつけるべき力

i)身の回りの事象から伴って変わる2つの数量の関係性を見いだす力

ii)様々な関係性という概念を表, 式, グラフという数学的手法を用いて相互に関連づけて表現する力

iii)クラスメイトと協働的に考えを構築していく力

④評価規準の設定

i)身の回りの事象から伴って変わる2つの数量の関係性を見いだしている

ii)様々な関係性という概念を表, 式, グラフという数学的手法を用いて相互に関連づけ表現している

iii)クラスメイトと協働的に考えを構築している

## (2) 教材観

本単元は中学校学習指導要領(平成29年7月告示)第3章各学年の目標及び内容を受けて設定した。小学校算数科では、第4学年から第6学年にかけて、変化の様子を表や式、折れ線グラフを用いて表したり、変化の特徴を読み取ったり、伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、変化や対応の特徴を考察したりしてきている。また、比例や反比例の関係も理解しこれを用いて問題解決をしてきている。中学校数学科において第1学年では、これらの学習の上に立って、具体的な事象の中から伴って変わる2つの数量を取り出して、その変化や対応の仕方に着目し、関数関係の意味を理解できるようにすることが必要となっている。また、比例、反比例の学習においては、日常生活において数量間の関係を探究する基礎ともなるものである。これらの学習においては具体的な事象を考察することを通して関数関係を見出し考察し表現する力を養う。また、数の拡張や関数の概念をもとにして、小学校算数科で学習した比例、反比例を関数として捉え直すことも必要である。また、関数関係とは、関係する2つの数量について、一方の値を決めれば他方の値がただ一つ決まるような関係を意味している。この関数関係の意味理解については小学校算数科においても学習してきているが、「関数」という言葉で改めて学習を進めていくことになる。そのため、これから始まる関数の世界への第一歩として重要な要素を占める単元である。

## (3) 生徒観

関数の分野においては苦手意識の高い生徒が多い傾向にあると考える。国立教育政策研究所による令和5年全国学力・学習状況調査の分析においても、関数分野については全国的にも課題が多い分野であるといえる。

### R5(2023)反比例出題

- ◆反比例の意味の理解に引き続き課題がある。
- ◆与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることに課題がある。
- ◆事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することに引き続き課題がある。
- ◆事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに引き続き課題がある。

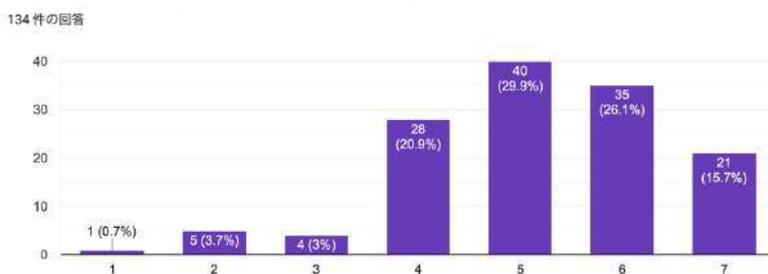
### R3(2021)比例出題

- ◇与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることはできている。
- ◆関数の意味の理解に引き続き課題がある。
- ◆事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに引き続き課題がある。

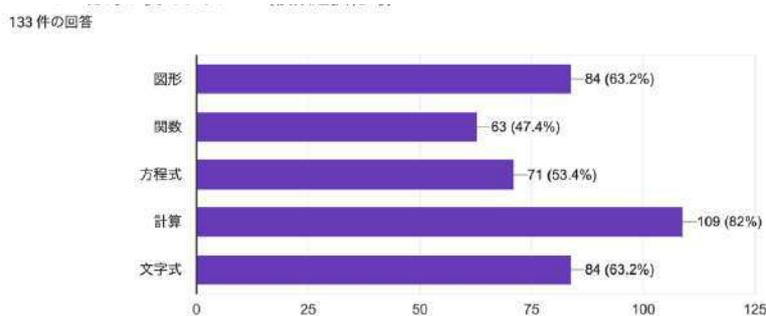
これらの背景にあたる1つの要因として、教科書や問題集に関しては伴って変わる2つの数量を生徒に提示して学習が進められていることが考えられる。さらに、比例、反比例を活用する場面においても事例に対して  $x, y$  が指定されていたり、グラフに記入されていたりすることが大半である。そのため、生徒は事象から伴って変わる2つの変数を自ら見出す経験をしてきていない。それにより、全国学力・学習状況調査の分析から見えるように、関数関係の意味理解や、事象を数学的に解釈し問題解決の方法を数学的に説明することに対する課題が出ていることにつながると考える。

本単元の指導にあたり、事前調査として以下のアンケートを実施した。(中学1年生 144名)

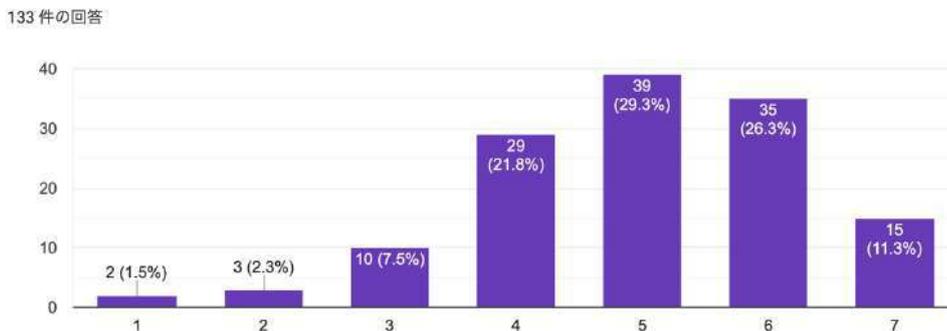
① 実生活や実社会の課題解決をするために数学は使えると思いますか



② 実生活や実社会の課題解決をするためにどの分野が使えますか



③ 比例や反比例といった関数の考え方は問題を解決する上で役にたつと思いますか



生徒のアンケート結果から分かるように、実生活の問題解決のために数学は使えるという意識は高いと感じられる。しかし、分野別に見てみると関数分野に関しては意識が低いことが分かる。単元を通して関数が身近でありながら問題解決の1つのツールとして生徒に認知されることを期待したい。

(4) 指導観

生徒の実態を踏まえて、身の回りの事象と関数関係を関連させながら学習を進めていく。その際、個人の思考を中心としながら、他者をつながり、考えを共有する学習を仕組んでいく。この際、数学的活動を通して対話的で深い学びの実現を行なっていく。これに関しては、学習指導要領において資質・能力を育成するためには、数学的活動を通して、数学的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びの実現を行うことが必要とされている。この内容として、「日常の事象や社会の事象から問題を見出し解決する活動」や「数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動」を今回の単元では重視する。その際、答申で示された(図1 算数・数学の学習過程のイメージ図)を参考に、現実の世界と数学の世界を行き来するように思考を促していく。さらに、言語活動を充実させ、それぞれの過程や結果を振り返り、評価・改善することができるようする。具体的には、学習の中で、日常や自然の事象を数学の世界に持ち込み、関数関係として捉える目を養うことである。また関数として捉えることで数式で

表現し、未来を予測する活動も仕組んでいく。さらに複雑な事象においてはパターン化や一般化を行い、比例、反比例といった数学としてみなす活動を通して、数学科としての目標を達成していきたい。またこれらの活動において自律的かつ協働的に学ぶことができるように指導することにより生徒の資質・能力の育成を行うことができると思う。

本時に至るまでにブラックボックスを用いた関数の学習を指導してきた。その際、「1対1対応」の意味や2つの数量について「変われば変わる」という概念を取り上げた。さらに、伴って変わる2つの数量に関しても、数の入力と出力の関係から表や式で表すことの学習も行なった。さらに、身の回りに溢れる関数関係を探す活動を通して生徒は関数関係の多さや広さを感覚的に体感している。

本時においては、ドミノ倒しの事象を使って伴って変わる2つの数量を見出していく活動を行なっていく。ドミノ倒しは生徒にとって馴染みのある内容であると思う。しかし、ドミノ倒しで遊ぶことはあっても関数として捉えることはないと思う。そこで身近な事象である「ドミノ倒しの中に関数関係を見いだす」学習を通して、因果関係があるのかどうかを考えることにより、「関数」を身近に感じさせるとともに関数関係への関心を高め、関数関係への素地を作っていく。個人追究やグループでの活動を通して、ただ単に関係性があるというので終わるのではなく、数学的に表現するためには数値を示したり、数値をまとめるために表といったモデルで表現する必要性を指導していく。この際、数学として扱える部分とそうでない部分があるということも指導していく必要があると思う。そして単元の最後にはドミノ倒しについての総括的評価課題(図2)を設定している。ドミノ倒しの事象から見出した関数関係を使ってドミノが倒れるおおよその時間を予測する課題を与える。生徒へは授業で提示していきながら単元のゴールを意識させた中で関数の学習を進めていく。

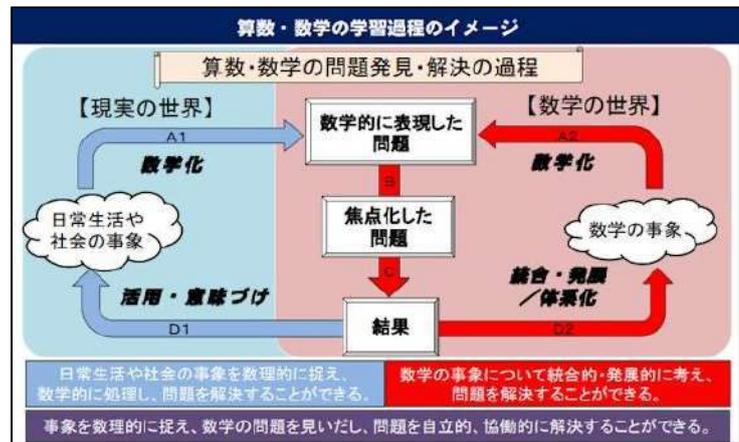


図1 算数・数学の学習過程イメージ図

**パフォーマンス課題 「ドミノの未来を予測しよう」**

**Goal** 関数関係を使ってドミノの倒れる大方の時間を予測できるようになる

**Role** 中学1年生 ドミノ研究部部长

**Audience** 公民館館長

**Situation** 新年(2025年)を迎えるにあたって、「公民館館長」から0:00にピッタリ合わせて倒れるドミノを設計してほしいと依頼がありました。中学1年生の関数の学習で得たことを活かして「**ドミノ倒しピッタリ企画書**」を作成しましょう。

**Product**  
ドミノ倒し企画書(デジタルB4サイズ横向き, 1枚)

**Standard**  
別紙参照



図2 総括的評価課題

●グローバル市民コモン・ルーブリックのローカライズに関して

本単元においては「つなぐ力のある人」を設定した。知識をつなぐだけではなく、身の回りの事象における変化をつなぐことができるように指導をしていく。さらに知識だけをつなぐのではなく、個人が持っている考えや価値観、見方を他者とつなぐことにより人とのつながりを通して地域社会の人々とつながることへの布石にしたい。関数の学習で得たつながりを転移させ、他教科や社会とのつながりに関しても広げていけるように指導を行う。

4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 関数関係の意味を理解している ② 比例、反比例について理解している。 ③ 座標の意味を理解している ④ 比例、反比例を表、式、グラフなどに表すことができる。	① 比例、反比例として捉えられる2つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。 ② 比例、反比例を用いて、具体的な事象を捉え、考察し、表現することができる。	① 比例、反比例、関数関係のよさに気づいて、粘り強く考えようとしている。 ② 比例、反比例、関数関係について学んだことを生活や学習に活かそうとしている。 ③ 比例、反比例、関数関係を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 ④ グループの中で自分と他者の数学的な見方・考え方をつなぎ、課題解決に向かおうとしている。

5. 単元計画(全21時間)

時間	学習内容	主な評価規準	評価の観点			評価方法
			知技	思考	態度	
1	【関数】 ブラックボックスの働きを考えることで、関数の定義について理解する、1対1対応について理解する	関数関係について理解している。入力出力の関係、1対1対応について理解している。	●		●	ワークシート OPPシート
2	【伴って変わる2つの数量】 xを決めるとそれに伴ってyもただ1つ決まること 身の回りの事象の中から関数関係を見出すこと 表の縦横の見方	xを決めるとそれに伴ってyもただ1つ決まることを表を用いて表現することができる。身近な事象から伴って変わる2つの数量を見だし、シートに表現することができる。	●		●	ワークシート OPPシート
3	【ドミノに隠れた関数を探そう	「伴って変わる2つの数量		●	●	ワークシート

	<p>【本時】</p> <p>ドミノ倒しにおける関数関係を見つけ出す</p> <p>伴って変わる2つの数量を表にまとめる</p> <p>表を使って関数関係を表現する</p>	<p>を複数個」見つけ出すことができる。ドミノの事象における, 伴って変わる2つの数量を「表や数値」を用いて表現することができる。グループの中で自分と他者の数学的な見方・考え方をつなぎ, 課題解決に向かうことができる。</p>				OPPシート
4	<p>【比例を表す式】</p> <p>比例の定義</p> <p>式をもとに比例であるかどうかを判別すること</p>	<p>文章で表された事象を式で表現し, 式から比例と判断することができる。</p>	●		●	ワークシート OPPシート
5	<p>【比例と変域】</p> <p>水を入れる事象をもとに変域の意味</p> <p>以上以下未満の表し方</p>	<p>事象を式で表現し, さらに不等号を用いて変域を表現することができる。</p>	●		●	ワークシート OPPシート
6	<p>【座標】</p> <p>電車, 映画館など座席の表し方や地図上の位置の表し方をもとにした座標の概念</p> <p>座標の読み方, 表し方</p>	<p>座標で示された暗号を解読することができる。座標で示された三角形の面積を求めることができる。</p>	●	●	●	ワークシート OPPシート
7	<p>【比例のグラフの特徴】</p> <p>式から得られる入力出力の関係と表との関係を見出す</p> <p>表の値と座標の関係を見出す</p> <p>GeoGebra を用いて点の集まりが線になっていることを見出す</p>	<p>グラフと式の関係性を図を用いて, 自分の言葉で表現することができる。</p> <p>GeoGebra を用いて比例のグラフをかくことができる。</p>		●	●	ワークシート OPPシート
8	<p>【<math>y=ax</math> のグラフをまとめよう】</p> <p>複数の比例のグラフをまとめることにより, 比例定数 <math>a</math> とグラフの関係性について見出す</p>	<p><math>a</math> の値がグラフの傾きにどのように影響するかを言葉(傾き)と式を用いて表現することができる。複数ある式とグラフを関連づけて選ぶことができる。</p>	●		●	ワークシート OPPシート
9	<p>【比例のグラフのかき方】</p> <p>式から得られる入力出力の関係性をもとに比例のグラフを手際よくかく方法を見つける</p>	<p>比例の式を原点ともう1つの点からかくことができる。原点以外の2つの点からグラフをかくことができる。</p>	●	●	●	ワークシート OPPシート 小テスト

10	【比例の式の求め方】 表やグラフと式の関係性を表現する 表, 式, グラフの関係性をまとめる	表やグラフで表されたものから入力出力の関係を見出し, 式を求めることができる。	●	●	●	ワークシート OPP シート 小テスト
11	【反比例を表す式】 反比例の定義を理解し, 式をもとに反比例であるかどうかを判別する	文章で表された事象を式で表現し, 式から反比例と判断することができる。	●		●	ワークシート OPP シート
12	【反比例のグラフ】 式から得られる入力出力の関係と表との関係を見出す 表の値と座標の関係を見出す GeoGebra を用いて点の集まりが線になっていることを見出す 点を細かくとることで双曲線になっていることを見出す	反比例のグラフのかき方, 特徴を自分の言葉で表現することができる。 GeoGebra を用いて反比例のグラフをかくことができる。		●	●	ワークシート OPP シート
13	【反比例のグラフの特徴, 式の求め方】 複数のグラフから比例定数とグラフの関係を学習する。比例同様に表, グラフから式が得られることを学習する。	表やグラフで表されたものから入力出力の関係を見出し, 式を求めることができる。反比例のオリジナル問題を作ることができる。	●		●	ワークシート OPP シート
14	【比例の表, 式, グラフの活用】 現実事象を表現したグラフを2つの方向からみることにより2本のグラフにおける関係性を表現する	複数のグラフの問題におけるグラフの読み方や比例の学習とのつながりを自分の言葉で表現することができる。		●	●	ワークシート OPP シート
15	【比例, 反比例の活用】 身近な事例の中から関数関係を見出し問題を解決する	比例, 反比例とみなすポイントを自分の言葉で表現することができる。		●	●	ワークシート OPP シート
16	【関数問題】 数学の世界で表現された関数の問題に対して表, 式, グラフの関係性を見出し表現する	表, 式, グラフの関連を意識して比例, 反比例のつながりを表現することができる。		●	●	ワークシート OPP シート
17	【エコキャップは全部で何個】 身近な事象から関数関係を見出し, 比例とみなすことにより未	比例, 反比例とみなして問題解決ができ, 自分の言葉で表現することができる。		●	●	ワークシート OPP シート

	来予想を行う					
18	【総括的評価課題①(ドミノ)】 指定された時間でドミノがピッタリ倒すためにドミノをどのように並べるかを実験をもとに考える		● (○)	● (○)	○	ワークシート OPPシート
19	【総括的評価課題②(ドミノ)】 指定された時間でドミノがピッタリ倒すためにドミノをどのように並べるかを実験をもとに考える 表, 式, グラフで表現し未来を予測する		● (○)	● (○)	○	ワークシート OPPシート
20	【総括的評価課題③(ドミノ)】 レポート作成を行う		● (○)	● (○)	○	ワークシート OPPシート
21	【総括的評価課題④(ドミノ)】 レポート作成を行う		○	○	○	ワークシート OPPシート

●・・・形成的評価(指導に活かす評価)      ○・・・総括的評価(記録に残す評価)

## 6. 本時の展開

### (1) 本時の目標

- ①ドミノの事象において、「伴って変わる2つの数量を複数個」見つけ出す
- ②ドミノの事象における、伴って変わる2つの数量を「表や数値」を用いて表現する力を養う
- ③グループの中で自分と他者の数学的な見方・考え方をつなぎ、課題解決に向かう態度を養う

### (2) 本時の評価規準

- ①ドミノの事象において、「伴って変わる2つの数量を複数個」見つけ出すことができる
- ②ドミノの事象における、伴って変わる2つの数量を「表や数値」を用いて表現することができる
- ③グループの中で自分と他者の数学的な見方・考え方をつなぎ、課題解決に向かうことができる

### (3) 本時の学習とグローバル市民コモン・ルーブリックとの関連

項目: つなぐ力のある人

内容: これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、地域社会の人たちと協働を構想・実践することができる

(4) 展開

学習過程	学習活動および内容	指導上の留意点	評価の観点・方法
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>●探究テーマ, ATL スキルの確認</li> <li>●既習事項の確認</li> <li>●ドミノの動画から伴って変わる2つの数量を探す</li> <li>●総括的評価課題(パフォーマンス課題)を理解する</li> </ul>	<p>【探究テーマ】 事象の関係性を見出し, モデルを用いて, 変化を予測することは, 現実社会における問題の解決につながる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の OPP シートの記述を紹介して, 関係性を探す良さを認識させる・変われば変わるものを考えさせる</li> <li>・単元のゴールとなる課題を意識させる</li> </ul>	
展開 35分	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">問い「ドミノ倒しにはどんな関係性があるだろうか」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●個人の学び(6) <ul style="list-style-type: none"> <li>・配布されたドミノを観察しながら伴って変わる2つの数量を探す →「ワークシート」に記入</li> <li>・見出した2つの数量を共有する</li> </ul> </li> <li>●小集団(6人×6班)の実験(24) <ul style="list-style-type: none"> <li>・関数関係があることを示すためにはどのような数学的表現があるかを考える</li> </ul> </li> </ul> <p>【実験の種類】</p> <p>A: 個数と時間の関係 B: 間隔と時間の関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の種類のドミノを使って実験をしながら数値と表を「関係性カード」にまとめ提出する</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●全体の学び(5) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロイロノートを使って提出された「関係性カード」を共有する</li> <li>・間隔と時間の関係性について他の要因を考える</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机間指導にて課題への理解度を把握する, 必要に応じて個別指導を行う</li> <li>・関係性を見つけにくい生徒には何によって時間が変わるかを考えさせる</li> <li>・目的であるドミノが倒れる時間を予測するための数量の関係性を考えさせる</li> <li>・個数が増えれば時間も増えるといった当たり前とされる事象に対して「なぜ?」と問いかけ数学的に説明するようにさせる。その際, 関係性を示すためには「2つの変数」「数値」「表」を用いることを対話の中から導く</li> <li>・役割分担することを指示する</li> <li>・実験データを複数とることを指示する</li> <li>・「関係性カード」を見ながらドミノの隠れた関係性を考えさせる</li> <li>・幅と時間では要素が複雑に絡み合っていることに気づかせ, 数学で処理する考え方に繋げる →変数として処理するために固定する数量がある →数学として捉えるために要素を削ぎ落とす</li> </ul>	<p>思考① ワークシート, 観察</p> <p>思考② ワークシート 観察</p> <p>思考③ 観察</p>
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ドミノ倒しを予測するための方法を考える</li> <li>●OPP シートの記入, 提出(ロイロ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習に追加してグラフや式の関係性を学習する必然性を意識させる</li> <li>・学習履歴に「授業のタイトル」「一番大切だと思ったこと」「考えたこと, 疑問」を記入させる。</li> </ul>	<p>態度① OPP シート</p>

(5) 準備物

ワークシート, Chromebook, ドミノ, 工作用紙, iPad, ロイロノートノート

7. 参考文献

文部科学省 2017 中学校学習指導要領解説 数学編

文部科学省 国立教育政策研究所 2021 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料

堀 哲夫 2020 「一枚ポートフォリオ評価 OPPA」一枚の用紙の可能性 東洋館出版社

中等教育プログラム MYP「数学」指導の手引き

8. 資料

関数-3 ドミノ倒しに隠れた関係性を探せ 月 日

実験: 自分の班が選んだ要素で数値を取ろう

問い 関係性を見いだすためにはどのような考え方が必要だろうか

探究1: 「伴って変わる2つの数量」を見いだすとはどういうことだろうか

x **変** y **変**  
が かわれば (決まれば) が かわる (決まれば)

~memo~

年 組 番 名前

関数-3

x **変** y **変** 関係性  
が かわれば が かわる 班

実験で得た数値を表にまとめ、関係性を探ろう

x							
y							

自分の考え

伴って変わる2つの数量

主体的な  
人

自ら進んで行動し、自己調整しながら、自律的かつ粘り強く物事に取り組む

寛容な人

身近な他者や異なる文化の価値観をも尊重し、互いに認め合う

つなぐ力  
のある人

様々な知識と世の中の出来事とを関連づけて考えたり、多様な人とのつながりを大切にしたりする

探究力  
のある人

身近なものごとや世界の出来事に関心を持ち、夢中になって真理や理想を探究する

小学生

中学生

高校生

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、 <b>新たな試みの視点</b> などから目標を持ち、その達成に向けて <b>自主的に粘り強く、創造的に</b> 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 <b>試みの視点</b> などから目標を持ち、その達成に向けて <b>自主的に粘り強く</b> 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 <b>試みの視点</b> などから目標を持ち、その達成に向けて <b>自主的に</b> 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだことから <b>目標</b> を持ち、その達成に向けて <b>進んで</b> 取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて <b>創造的に</b> 物事を考え、 <b>周りの人たちや異なる文化圏の人たちとの協働</b> を構想・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 <b>地域社会</b> の人たちとの協働を構想・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 <b>学校</b> の人たちと協力して取り組むことができる。	これまでの経験や知識をもとに物事を考え、 <b>学級</b> の人たちと力を合わせて取り組むことができる。
探究力のある人	自らの問題として、 <b>身近なコミュニティや世界の出来事</b> から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 <b>振り返りながら、創造的に</b> 追究することができる。	自らの問題として、 <b>身近なコミュニティ</b> から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 <b>振り返りながら</b> 追究することができる。	自らの問題として、 <b>身の回り</b> から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 <b>振り返り</b> することができる。	自らの問題として、 <b>身の回りの課題</b> に気づき、その解決に向けて取り組むことができる。
寛容な人	他者の意見や考え方に対して <b>共感と傾聴</b> の姿勢で接し、 <b>多様性を尊重</b> しながら <b>相互理解</b> を深めることができる。	他者の意見や考えに対して <b>共感</b> の姿勢で接し、 <b>多様性を受け入れ相互理解</b> を進めることができる。	他者の意見や考えに対して <b>共感の姿勢</b> で接し、 <b>相互理解</b> を進めることができる。	他者の意見や考えに対して <b>共感の姿勢</b> で接することができる。

## 9.成果と課題

### 成果

- ① 生徒が伴って変わる2つの数量には様々な情報が絡み合っていること理解した
- ② 生徒が事象における未来を予測するために関数の考え方を使うことの良さや有用性を得た

#### ① について

現実社会の問題を解決していく上では、現実の世界の事象を数学化する必要がある。算数・数学の問題発見・解決の過程の図(図1)が提示されているが、このサイクルを回すためにはどのような資質・能力が必要だろうか。現実社会の問題を解けば数学化する力が育まれるのだろうかと考える時に、本実践においては、生徒自身が数学化するための資質・能力の育成をめざした。本実践前では身の回りの「伴って変わる2つの数量」を探し出す場面において、直接的な因果関係が強いかどうかを生徒自身が考えることが少なかった。しかし、本実践ではドミノ倒しにおいて、「個数と時間の関係」と「間隔と時間の関係」を対比して考えることにより、ある事象の関係性を見出すためには直接的な因果関係が強い2つの数量を抽出する必要性があることを生徒は体感した。(図3)その結果、別の場面において数学化するために、「情報を整理する,精査する」といった意見や考えが出るようになった。

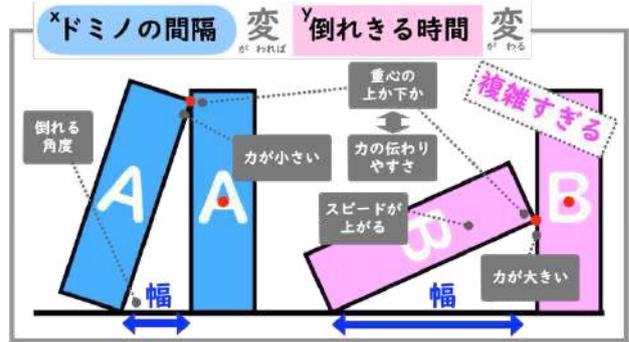


図3 複雑な要素が絡み合う

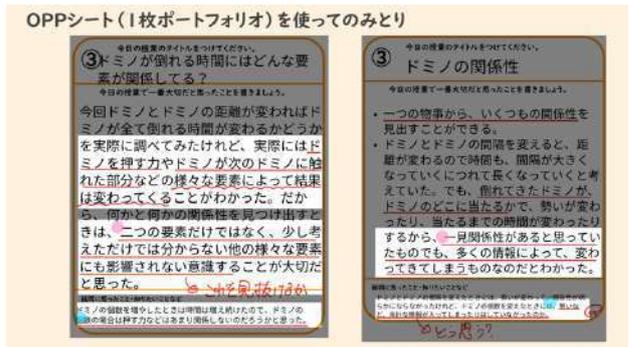


図4 生徒の振り返り

#### ② について

関数の学習において、モデル(表,式,グラフ)を関連(図5)させて考えることにより未来を予測するということの有用性を生徒に会得させることは重要である。また、学習指導要領においても、数学的活動の楽しさや数学の良さに気づいて、粘り強く考え、数学を生活や学習に活かそうとする態度を養うことは目標として定められている。これらについて単元の終末において生徒が取り組んだパフォーマンス課題を通して、生徒たちは事象を関数として捉えるよさに対して大きな気づきを得た様子であった(図6)。5秒ぴったりで倒れ切るドミノの個数を求める課題を解決するために、実験データを表やグラフや式で表現し、関係性を見出していた。その際に、個数を求めるためにデータからグラフを作り出し、式化していった。

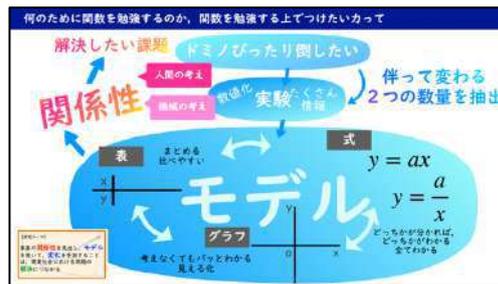


図5 関数で育む力

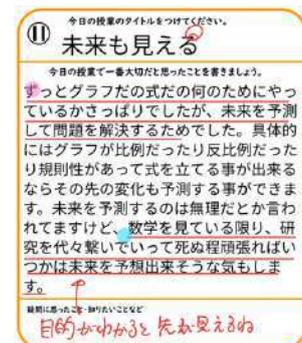


図6 生徒の振り返り

## 課題

- ① ドミノ倒しにおける関係性を表現することの難しさ
- ② ドミノ倒しにおける実験の精度を上げること

### ① について

本実践においては、実際に実験を通してドミノ倒しに隠れる関係性を表現することを重視した。ただ、中学1年生で学習する比例、反比例でドミノ倒しにおける「個数と時間」の関係性を表現することは容易ではない。しかし、これに関しては、実社会においても同様のことが考えられる。例えば、新型コロナが流行り出した時には、今ある関数に当てはめて未来を予想していた。同様に、ドミノ倒しにおいても今ある知識をつなぎ合わせて、比例、反比例を活用して未来を予測する体験が必要と考えた。そこで、生徒には比例で学んだことは何か。正負の数で学習した「0の概念」を使えないかと問いかけ、基準を変えることで比例の考え方が使えるという視点を与えた。その結果、約33.1%の生徒が比例の考えを用いて結論を出しており、約59.3%の生徒が1次関数の考えを用いて結論を出していた。他には実験やデータをじっくり観察する中で、倒れ始めは加速しており、途中から一定の速さになると考えた生徒が約7.6%いた。全員が同じ考えを持って結論を出す必要はないと思うが、より知識をつなぎ合わせることができると手立てが必要と感じた。

### ② について

実際に実験をするとなると色々な要素が出てくる。例えば、ドミノを倒す力加減、ドミノを並べる時にできる微妙な角度である。そういったことに関しては、生徒からどんどん意見が出てきた。さらに、iPadとiPhoneを使って時間を測定する時に出てくる誤差やドミノが倒れ切るタイミングなど色々な誤差があることに生徒たちから意見が出てきた。精度を上げるためにはさらなる工夫が必要だと感じる。

## 10. 本時のまとめ

ドミノ倒しの動画を見せ、そこから伴って変わる2つの数量を探し出すことから授業はスタートした。生徒にドミノを配布して観察をさせたところ、生徒たちは関係性を8種類程度見つけ出した(図7)。そこから、数学として扱うために、前時で学習した内容である3つのポイントで削ぎ落としていくと、2つが残ることとなった(図7)。そこで、グループになり、実際にドミノを倒す実験を通して数値を抽出させた。iPadのスローモーション撮影を使って測定を行い、表にまとめさせた。実験にあたっては、マス目のついた厚紙を用意し、その上に丁寧にドミノを並べさせた。ドミノを並べる係、iPadで撮影する係、表にまとめて傾向を出す係と役割を分担して実験を効率よく進めた(図8)。授業時間が50分という制約の中であつたので、精密な実験はできなかったものの、【個数と時間の関係】に関し

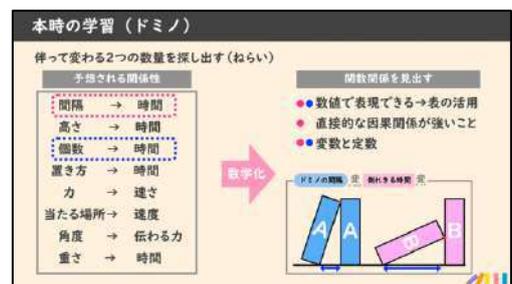


図7 授業で扱った2つの関係性



図8 実験の様子

ては「個数が増えれば、時間も増えていく」、【間隔と時間の関係】に関しては、「間隔による傾向は見られなかった」というデータが得られた。事前に教員が実験して得られたデータとも同様の傾向が見られたので、生徒に提示した(図9)。授業の終盤では、【間隔と時間の関係】においてなぜ傾向が現れなかったのかをクラス全体で考察した。生徒からは以下のような意見が出た。(図3)

●ドミノの間隔が変わることにより

- ・加速するスピードが変わる
- ・次のドミノに当たるときの角度が変わる
- ・ドミノの重心より上に当たるか下に当たるか

生徒は、ドミノを並べる間隔が変わることにより、倒れきる時間以外にも色々な要素が絡み合っ変化していることに気づくことができた。また、数学として捉えるためには、直接的な因果関係が強い2つの数量を抽出する必要性についても授業の中で理解をしていた。



図9 教師が事前に実験しておいたデータ

1.1. 総合的評価課題(パフォーマンス課題)

**ドミノの未来を予測しよう!**  
1年A組26番 福留 真裕

**A ドミノの個数と倒れきる時間の関係性**  
(5秒間で倒れるドミノの個数を予測するために必要)

**B 5秒間で倒れるドミノの個数予測**

**C 自分の予測の妥当性**

**D 大変! 水漏れ発生!**

**ドミノをピッタリ倒すには?**

**ドミノの個数と時間の関係**

**5秒で倒れるドミノの数は?**

**ドミノを5.0秒で倒す**

**実験してデータを得る**

**5.0秒で倒せるドミノの個数を予測**

**式の妥当性を証明**

**式を使って予測できる他の例**

**ドミノは比例? 反比例? それともその他?**

**ドミノをピッタリ倒すチャレンジ**

**自分の予測の妥当性**

**必要なドミノの個数**

**モデルを使って変化を予測する関数の考え方と具体例**

## 音楽科学習指導案

### 77期生オリジナル合唱曲より演奏表現を探究する

～歌で奏でる145人の平和の願い～

授業者 附属池田中学校 山部 智可

#### 1. 対象 附属池田中学校第3学年B組(36人)

#### 2. 題材目標

・知識及び技能に関して

「77期生オリジナル合唱曲」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。

・思考力、判断力、表現力等に関して

「77期生オリジナル合唱曲」のテクスチャ・強弱・速度を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「77期生オリジナル合唱曲」にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。

・学びに向かう力、人間性等に関して

「77期生オリジナル合唱曲」の歌詞が表す平和の願いに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組むとともに合唱曲に親しむ。

本題材で扱う学習指導要領の内容

第2学年及び第3学年[A表現](1)歌唱及び[共通事項](1)

ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫すること。

イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること。

(ア)曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わり

ウ 次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。

(イ)創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能

[共通事項](1)

本題材の学習において、生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素

テクスチャ

#### 3. 指導に当たって

(1) 単元を通して育む「グローバル市民」と学習との関連

① 選択項目：寛容な人

② 学習との関連

「77期生オリジナル合唱曲」にふさわしい歌唱表現を創意工夫するにあたり協働学習を通じて他者の意見や考えに対して共感の姿勢で接し他者の多様な音楽表現の創意工夫や音楽の捉え方、感じ方を尊重し多様性を受け入れ相互理解を進めることで自身の感性に磨きをかけ音楽表現を豊かにすることと関連づけている。

### ③目標達成するために付けるべき力

- i)自身の考えを相手に伝える力
- ii)他者の意見や考えを聴く力
- iii)他者の意見や考えを受け入れる力
- iv)各声部の声を聴きながら他者と合わせて歌う力
- v)1つの事象に対して多角的な視点を持つ力

### ④評価規準の設定

- i)自身の考えを要約して相手に的確に伝えている
- ii)他者の意見や考えに耳を傾け聴こうとしている
- iii)他者の意見や考えに共感し受け入れようとしている
- iv)自分以外のパートの音を意識し合わせて歌おうとしている
- v)複数の意見を受け入れ相互理解をし、最もふさわしい考えを生み出そうとしている

## (2)教材観

本題材のねらいは、演奏表現の創意工夫を通して時代や世代、国を超えて人間に内在されている思いや意図を聴き手に効果的に伝えることをねらいとしている。音楽科が第3学年で設定している重要概念は「コミュニケーション」であり、学びの実感を積み重ねるために表現領域・鑑賞領域の両面により音楽を1つの媒体とした人間に与える影響力と演奏者における発信力について探究を続けている。本題材は、1年間の集大成の取り組みと位置付けている。

本題材は、本校の国際バカロレア校の取り組みの1つである IDU(学際的な単元)の一連の流れの中で行うものである。第3学年の IDU の取り組みのテーマは「平和」であり、連携する教科は、社会・英語・音楽の3教科で進めていく。最終的なゴールとしては、平和への願いを発信するために、平和の願いを込めた歌を作詞・作曲し学校行事を通じて発信することである。各教科の役割として、社会科の授業では、歴史的背景から平和について学び、英語科の授業では、世界共通語の英語で歌詞の作り方を学ぶ。音楽科の授業では、サビのメロディーの創作と完成した合唱曲の演奏表現について学ぶ。本題材は、完成した合唱曲の演奏表現を探究することに焦点を当てているが、この合唱曲が完成するまでの取り組みの過程と今後の展開を述べたいと思う。

平和をより具体的にイメージするために修学旅行の取り組みと関連づける試み 教科:社会・総合

本校の修学旅行先が長崎ということもあり、事前学習として、平和学習を3時間行った。平和学習の構成としては、下記に示した通りである。

実施内容	時数
8月9日、長崎に投下された原子爆弾についてと核兵器の実態について	1時間
DVD鑑賞(NHKアーカイブス) 自らも被爆しながら放射線医学の研究をし続けた永井隆博士のドキュメント「長崎の鐘は鳴り続ける」	1時間
平和宣言について/平和宣言で使いたいキーワードのピックアップ/千羽鶴作成	1時間

本校は、国際枠で入学する生徒たちも多数いるため「平和」に対する捉え方も様々である。生徒同士が平和に対して多角的な視点から見ることによって、多様性が育まれると同時に「平和とは何か?」「自分が大人になった

時、世界がどうなっていたら平和だと思うのか?」「平和な世界に近づくために日々の生活の中で、あなた自身が心がけていきたいことは、どのようなことなのか」ということを1人の人間として改めて考えるきっかけになったと考えている。

また、修学旅行で平和セレモニーを実施するにあたり学年の代表者と共に学年からピックアップされた平和宣言で使いたいキーワードを基に平和宣言を作成した。(資料1)平和について、いかに自分事として捉えることができるのか、実際、修学旅行先の長崎市平和公園・長崎原爆資料館で自身が目にしたもの体感したものを軸に今後のIDUの取り組みに活かしてほしいと考えている。

さらに、修学旅行後には、社会の時間に「平和の定義」について学び、生徒一人ひとりが考案する時間を設けた。

実感したこと・体感したことを音楽に活かす試み 教科:音楽

●歌唱指導 歌「花の街」 作詞:江間 章子 作曲:團 伊玖磨

この曲は終戦後に作られた曲である。作詞・作曲者の背景にあるものとしては、戦後、何もかも失った喪失感と同時に近い将来、日本が輝かしい再建を果たし子ども達の未来が明るいものになることを願ってこの曲が作られた。授業の中で焦点を当てた部分は、歌詞で示すと「輪になって 輪になって 駆けて行ったよ 春よ春よと 駆けて行ったよ」という部分である。(楽譜1)この曲の曲想から言うと、一番盛り上がりを感じる部分である。ところが、盛り上がった状態で曲が終わるのではなく、「春よ春よ」の歌詞の部分に演奏記号の mp が楽譜に記されている。作曲者はなぜ、ここに mp の演奏記号をつけたのか?どのような思いや意図をこの演奏記号にこめたのかということを生徒に考えさせた。また、自身が考えたことを実際、演奏表現するために、どのような歌い方の工夫をしたらよいのかということを実演を通して考えさせた。生徒にとっては、音楽を形作っている要素や要素同士の関わりを知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるきっかけになったと考えられる。

(楽譜1)

① *mf* cre - - - - - scen - - - - - do

わになつて わになつて

か けて い つ た よ ー ー は る よ り  
おどつていたよ ー ー は る よ り  
は る の ゆ う ぐ れ ー ー は る よ り

は る よ と か け て い つ た よ  
は る よ と か お ど つ て い た よ  
は る よ と か お ど つ て い た よ

(生徒が書いたワークシートの一例)

①の部分	
歌詞にこめられた作詞者の思い	戦争により、はらばらになった人たちが、またつながりを持つ(輪を作る)という意味の作詞で、かけていたよ、おどっていたよ、春の夕暮れの部分では、人と輪を作ったあとにしたいこと、希望を表そうとしたのではないかと思います。 戦争中の希望です
旋律の動き	だんだん大きくなるとともに、音も高くなって、全体的に大きくなっていく
作者の思いや意図	先ほど考えた人との輪をどんどん大きく、人とのつながりを広げていくことを伝えるために、だんだん大きくしていったのではないかと思います。しかし、一番最後がデクレッシェンドになっているのは、最後の部分は戦争じの回想ぶぶんにも繋がる部分があると思ったので、小さくしたんだと思いました。
どのように演奏表現したいと考えているか	音量や音階とともに少し抽象的な表現になってしまうんですが、自分の歌うスケール(周りがどんどん広がっていくようなイメージに聞こえる歌い方)を大きくしていくような歌い方をしたいと思いました。
②部分	
歌詞にこめられた作詞者の思い	最後の、一人寂しく泣いていたよの部分は、作詞者が戦争時の苦しみを表したものと述べているため、戦争中の回想シーンとなります。そのためこの部分は上の2つも戦争部分の回想につながるシーンだと考えました。また、上の2つは、先ほど戦争中の希望を持っていると考えた部分でも出てきていますが、今回は弱くなっていきます。そのため戦争で叶わないという残酷さを表現したいのではないかと思います。 幻想と現実の同じ言葉だけ書かれている状況が全く違う現実に戻ってくるということを表現
旋律の動き	さきほどに上げに上げた音の高さと歌う強さの強さを音の高さもだんだん低くなり、音の強さもmpを使うなど小さくなっていく
作者の思いや意図	繰り返して上げた音を小さく、低くすることで、今までさんざん希望が膨らんでいたのが一気にしぼむ切ない感じを表現するために、この様な旋律の動きにしたのではないかと思います。また、最後のまじろ一回だけクレッシェンドが入ってすぐにデクレッシェンドで打ち消されています。ここはすべて状態を表すと言ったような内容の歌詞になっていて、今回の歌詞において、今どの様な状態なのかは期間のなかで進むストーリーととても深く関わるためとても大事な要素となっています。なので、その前だったり、かけていたり、泣いていたり、という部分を引きたせめるために一度クレッシェンドを入れたのではないかと思います。
どのように演奏表現したいと考えているか	はるよはるよと、の部分ほどどちらかどつぶやくような感じで歌い、最後の部分は音の波を意識しながらうたいたい

●創作活動 77期生オリジナル合唱曲のサビの作成

修学旅行の取り組み、歌「花の街」の取り組みを通して自分自身が考える「平和」とは何か?そして、自身が考える「平和の願い」を形にするためにメロディーを作成する授業を行った。メロディーを作成するために必要な知識としては、リズムの作り方、法則に基づいた旋律の作り方、和声に基づいた音と音の組み合わせ方、といった部分が必要となる。用いた教材は、教科書「中学生の音楽1」My Melody(教育芸術社)/教科書「中学生の音楽2・3下」My Melody(教育芸術社)である。これらのことを学んだ上で、聴き手に伝えたい平和の願いをイメージし、旋律の動きにどのような工夫を加えたら、より思いや意図が伝わるのか生徒に試行錯誤させた。生徒にとっては、1つのまとまりのある旋律を生み出すために音楽を形作っている要素や要素同士の関わりを知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて演奏表現を創意工夫するきっかけになったと考えられる。

(生徒が作った一例)

あなたの思う平和とは...

平和とは暴力や戦争がない状態であるだけでなく、人々が協調して助け合いながら生きていくことができる社会のこと。また平和はみんなが頑張るって作る特別なものではなく、一人一人が相手のことを思いやり大切にしたりする気持ちから自然と生まれるものだと思う。そのため、平和を実現することは一人一人の考え方を変えなければならないということにもなるので、非常に難しいものである。しかし、一人一人が自分の行動や価値観を見直し、他者への理解を深めることによって平和への道は近づいてくる。互いのことをよく知るといって、一人一人の平和を大事にする行動が大切である。また、長年の平和宣言でもあった通り他人事として考えるのではなく、常に自分事として考えて、絶えず平和にするための努力をしていかなければならないものだと思う。

平和の定義との関連 楽曲の工夫について 自分の思いや意図を述べなさい

リズムを工夫した点

5、6小節目を順次進行で持ち上がるようにしたり、二分音符にして演奏するときにはリタラントをつかったりなどをするようにして、たっぷり聞かせることができ、盛り上がりつつあることを感じさせるようにした。また、全体的に16分音符や8分音符が連続することを避けて、ゆびのびとした雰囲気になるようにし、編が音楽を優雅に跳んでいるような平和を象徴するようにした。4小節目と6小節目の最後で必ず部分を入れることによってよりゆったりとした感じを出している曲だと聞き手に思わせるようにしようとした。

旋律を工夫した点

この曲はoboeの二部形式でつくられており、後半より盛り上がるようにした。具体的には、5小節目から8小節目にかけてだんだんと高くなっていくようにして、盛り上がるだけではなく、平和を象徴させることができるようにした。また前半は低い音の連続であったのに対し、5小節目からクレッシェンドをしていき後半でだんだんと高くしていったことにより躍動させることができるようにした。また「リズム」の部分がまた盛り上がり、平和の象徴である輪が希望を象徴している事をイメージして作り、「さらさら」に優しく感じさせるようにした。また、全体的に穏やかなメロディーにすることでより上品にも思わせたいと、「輪が音階を優雅に跳んでいる」という世界全体が目覚めたい平和を象徴するようになした。

このサビに込めた自分自身の思い

このサビに込めた自分自身の思いは、今の戦争が起きている社会から、社会全体が協力しあい平和をつかってほしいということである。初めは下のほうの音で静かに始まり、後半のほうになるにつれてだんだんと高くなることによって、この願いをより分りやすくするやわやわするようにした。具体的には前半の平和な雰囲気によって今の現状、つまり平和にならうと努力しているがまだ戦争が起きている多岐、をあらわした。そして後半の盛り上がる部分で、世界がだんだんと平和に向かって歩み始めるように思わせたいという願いが聞き手に届くようにした。また、全体的に穏やかなメロディーにすることでより上品にも思わせたいと、「輪が音階を優雅に跳んでいる」という世界全体が目覚めたい平和を象徴するようになした。

ソプラノ

グランドピアノ

♩ = 80

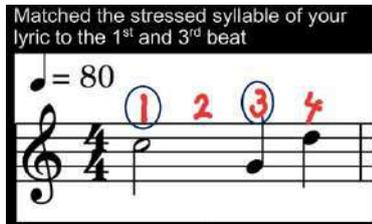
5

rit.

p

**実感したこと・体感したことを歌詞に活かす試み 教科:英語**

音楽科で作成した曲に合う歌詞を考える授業を行った。具体的には、まず教科書の教材にもなっている映画音楽に関して、その音楽が映画に与える影響を分析する授業を行い、また自分の好きな映画音楽についての映画のワンシーンと音楽との関連性についてのブログを書いた。この中で、音楽の要素(リズム・速度・旋律・テクスチャ・強弱・形式・構成・音色)を英語でどのように表現するのかを前述の「花の街」の英語版分析を挟むことで知識として身に着けるようにした。その後、音楽科で作成した曲にサビと A メロ B メロを英語で歌詞を書いた。その際には、英語の詩の修辞法である、反復法・比喩(隠喩・直喩等)・脚韻・頭韻や、音節を1音にはめ込むこと等を学習した。



場所・風景	<ul style="list-style-type: none"> <li>flower garden</li> <li>Sunrise</li> <li>Sunset</li> </ul>
出来事	<ul style="list-style-type: none"> <li>All people of world recognize each other.</li> </ul>
色・香り・	<ul style="list-style-type: none"> <li>good smell of flowers</li> <li>There are many color of several flowers</li> <li>yellow, red, blue, orange</li> </ul>
気持ち(比喩を使って)	<ul style="list-style-type: none"> <li>What a great development peace is!</li> <li>Peace makes us happy.</li> <li>It's like a dream.</li> <li>It's like a heaven.</li> </ul>



そして、上記青のシンキングツールを使いながら、リズムや音程に合うように実際の楽譜に当てはめていった。左は、生徒が実際に楽譜に書いた歌詞の一部である。生徒は、音の上がり下がりや4分の4拍子のビートの強弱などを考えながら、歌詞をあてはめていった。1音に1音節を当てはめるのに苦労している生徒が多く、アドバイスをしたり、辞書で音節を確認

させたりしながら試行錯誤をして書き直しをした。

これをまとめたのが、左のシートである。工夫した点の部分を抜き出すと、「単語の選び方については、「自由の鳥」や「平和の光」といった表現を用いることによって、歌詞が抽象的な概念を具体的なビジュアルでとらえやすくした。また、Step forward などのようなポジティブな表現を使うことで、希望や前向きな気持ちが伝わるようにした。技法については、Let's move on というフレーズを繰り返すことで、歌詞にリズム感を与え、反復することで歌詞に力強さと覚えやすさを加えた。聴衆を鼓舞するような歌詞にした。」と書いている。このように、語彙選択においては詩的にビジュアルを創造できるような工夫をし、技法面では、歌詞ならではの技法を使うことができていた。

**A×□ (4行)**

Fly like the freedom bird  
Wings embrace world  
Light of peace  
Wrap around the world

**B×□ (4行)**

Let's move forward let's move forward  
Aim for brighter world  
Step forward cherish each day  
Now, let's move on

**工夫した点 (単語・技法・コミュニケーション)**

単語の選び方  
「自由の鳥」や「平和の光」といった表現を用いることによって、歌詞が抽象的な概念(自由や平和)を具体的なビジュアルで捉えやすくした。また、「Wrap around」, 「Wings embrace」, 「Wrap around」などの表現を用いることで、希望や前向きな気持ちが伝わるようにした。

技法  
「Let's move forward」, 「Aim for brighter world」, 「Now, let's move on」, というフレーズを繰り返すことで、歌詞にリズム感を与え、覚えやすさを加えた。反復することで、歌詞に力強さと覚えやすさを加えた。

コミュニケーション  
「Fly like the freedom bird」, 「Wings embrace world」, というフレーズを用いることで、聴衆に希望や前向きな気持ちを伝えるためのコミュニケーションを行った。

このコミュニケーション  
本学で最も重要な授業がこれだといえる。また、「Step forward」, 「Let's move forward」, というフレーズを用いることで、聴衆を鼓舞するようになることができた。

**客観的に音楽を聴き平和について考える試み 教科:総合**

サビの旋律・歌詞が出来あがった段階で、クラス鑑賞会を行った。クラス全員の平和の願いがこもったサビを聴き、平和の曲を作るにあたり最もふさわしいサビを投票で1つ選んだ。さらに英語の時間に選ばれたサビに歌詞をつけ、クラスでサビの練習を行い、学年で各クラスのサビを発表する発表会を開いた。同じ学年の生徒たちがどのような音楽を作っているのか客観的に聴くことで自分自身への刺激となったり自分自身の引き出しが増えることで、今後、音楽との向き合い方の参考になるきっかけになったと考えられる。

このような過程を経て、最終的に学年から平和を表現するサビとして最もふさわしいメロディーが1つ選出され、作曲に関心がある生徒たちによってサビ以外の曲の部分が作られ合唱曲が完成した。

作曲家が生きた時代背景における音楽の役割と音楽を媒体として後世に残したメッセージについて考える試み

教科:音楽

今後の授業において、連作交響詩「ブルタバ」の鑑賞の授業を通して、作曲家のスメタナが生きた時代背景とスメタナの作曲人生に音楽がどのような影響力を与えたのか音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりを中心に授業を展開したいと考えている。また、時代を超えてスメタナが残した功績と後世にどのような影響力を与えたのか考察する予定をしている。

本題材では、ここまで作った土台を基に、77 期生オリジナル合唱曲をどのように演奏表現の創意工夫をすることで平和に関する思いや意図を音楽を通じて聴き手に伝えることができるのかというところに焦点を絞りたいと考えている。音楽科で育成を目指す資質・能力として「生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力」と規定されている。また、資質・能力の育成に当たっては、生徒が「音楽的な見方・考え方」を働かせて学習活動に取り組めるようにする必要がある。音楽科における「音楽の見方・考え方」とは、「音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと関連付けること」であると考えられる。音楽的な見方・考え方を働かせるために次の 3 点を授業展開に加えて実践することとする。

(1) 知覚と感受の場の設定

音や音楽を知覚・感受する場を適切に設定する

(2) 思考を促すワークシートや授業中の発問の工夫

音楽を形づくっている要素と要素同士の関わりを感じ取るために、知覚・感受したことを思考の流れに沿って記述したり、生徒の姿をよく見取り適切に投げかけたりする

(3) 対話的な学びの設定

音楽的な学びを支えにしながら他者との対話を通して自らの考えを深めたり広げたりするために生徒同士で関わり合う場を設定する

今回の学習における「音楽的な見方・考え方」を働かせて育つ資質・能力を

ア 合唱における音と音との重なり・強弱や速度変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、聴き手に平和のメッセージを伝えるために楽譜に記されている演奏記号だけでなく、表現方法を楽譜に言葉で追記したり演奏記号を付け加えたりしながら自身の思いや意図を伝えようとする力

イ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解し、自身がこの曲に込める思いや意図について考える力

演奏表現を創意工夫し全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けようとする力

ウ 自他の演奏や意見を客観的に捉え分析することにより多角的な物の見方、考え方を受け入れる力

と捉えている。

また、協働学習の取り組みを通して、他者の多様な音楽表現の創意工夫や音楽の捉え方、感じ方を尊重し受け入れると同時に自分自身の内面と向き合い、自身の感性に磨きをかけられるような指導を心掛けたと考えている。そして、本題材を通して生徒が音楽をコミュニケーションツールの一つとして人々や社会に何を発信することができるのか、音楽が社会に与える影響力や音楽の存在価値について探究し続けてほしいと考えている。

## 題材構想(25時間)

歌唱 歌「花の街」(7時間)  
この曲に込められた作詞・作曲者の思いや意図を感じ取って歌う



創作活動 77期生オリジナル合唱曲のサビを創作する(7時間)  
サビを創作するにあたり自身が思う「平和への願い」を旋律を作る時の法則に基づいて作る



鑑賞 連作交響詩「ブルタバ」(2時間)  
作曲家のスメタナが生きた時代背景とスメタナの作曲人生に音楽がどのような影響力を与えたのか音楽の特徴とその背景となる文化や歴史,他の芸術との関わりについて考える。

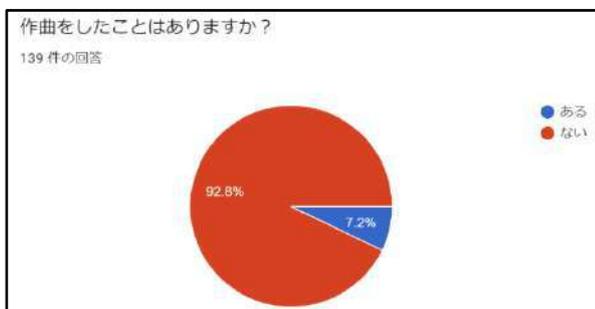


歌唱 合唱「77期生オリジナル合唱曲」(9時間)  
77期生 145人一人ひとりが,歌詞が表す「平和への願い」をイメージし曲にふさわしい演奏表現を創意工夫し思いや意図を持って歌う。

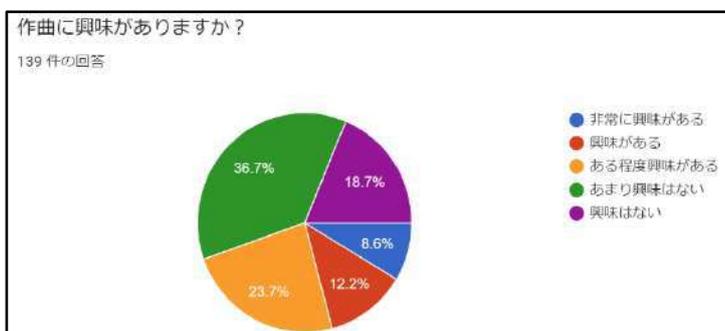
学びの連続性を意識し,1つの題材が単体で終了するのではなく,点と点が線となって最終ゴールへ向かっていく授業展開を1年間を通して考えていきたいと思う。そして,生徒にとって,この題材を学ぶ意味や意義を実感できるように授業を目指したいと考えている。

### (3) 生徒観

第3学年の生徒たちは,自ら何かを創意工夫することに対して意欲的な生徒が多い。今回,IDUの取り組みを行うにあたり,作曲についてアンケートを行った。作曲経験がある生徒は,全体の7.2%で多くの生徒は作曲すること自体が初めての経験であることが分かった。さらに作曲することに興味があるか5段階の選択から聞いたところ,非常に興味がある,興味がある,ある程度興味があると答えた生徒は,44.5%で,あまり興味はない,興味はないと答えた生徒は55.5%という結果になった。このデータから生徒の心情を推測すると曲を作るということにハードルの高さや何か難しいことをするのだろうかなど捉えているのではないかと考えらえる。

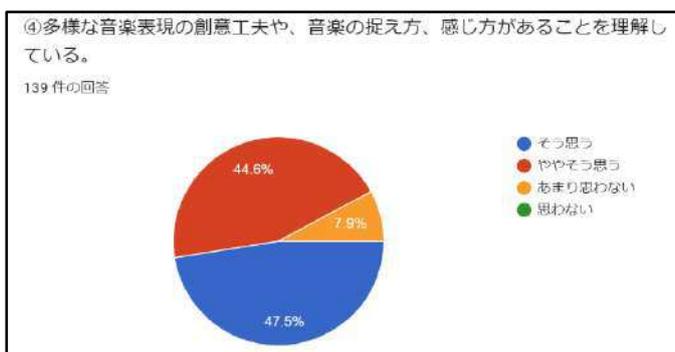


ある 7.2%  
ない 92.8%

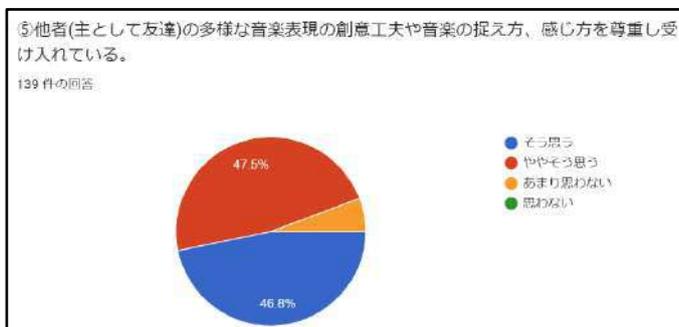


非常に興味がある 8.6%  
興味がある 12.2%  
ある程度興味がある 23.7%  
あまり興味はない 36.7%  
興味はない 18.7%

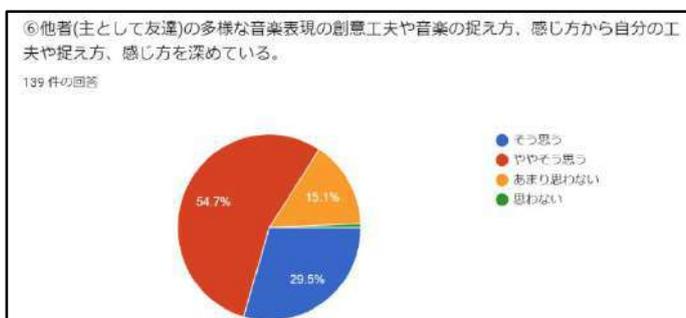
また、第3学年の生徒は全体的に音楽の授業の中で行っている協働学習においては、自分の意見を明確に意思表示すると共に他者の意見に対しても耳を傾け前向きに受け入れようとする姿勢がみられる。しかし、第3学年の最初の授業で行ったアンケート結果(4段階から選択)からは、他者の多様な音楽表現の創意工夫や音楽の捉え方、感じ方があることを理解し尊重し受け入れていることに肯定的に答えた生徒が94.3%で、あまり思わないと答えた生徒が5.7%という結果だった。また、それらを自分自身の創意工夫や捉え方、感じ方を深めているという部分において肯定的に答えた生徒が84.2%で、あまり思わないと答えた生徒が15.1%という結果だった。このようなアンケート結果から、他者の多様な音楽表現の創意工夫や音楽の捉え方、感じ方から自分の工夫や捉え方、感じ方を深める部分に課題があることがわかった。これを受けて、本題材の中で、77期生オリジナル合唱曲を自分自身がどのように演奏表現したいのか対話的な取り組みの中から自身の思いや意図を明確にし総括課題のプレゼンテーションにおいて自身の考えを発揮する場面を設定した。



そう思う	47.5%
ややそう思う	44.6%
あまり思わない	7.9%
思わない	0%



そう思う	46.8%
ややそう思う	47.5%
あまり思わない	5.7%
思わない	0%



そう思う	29.5%
ややそう思う	54.7%
あまり思わない	15.1%
思わない	0.7%

#### (4) 指導観

##### GRASPS

##### (G)Goal 目的

77 期生オリジナル合唱曲に込めた自分自身の思いや意図を演奏表現やプレゼンテーションを通して聴き手に伝えることである

##### (R)Role 役割

アーティスト

##### (A)Audience 対象

音楽出版社の人々

##### (S)Situation 状況

77 期生オリジナル合唱曲を音楽出版社の人々にアピールしている状況

##### (P)Product 成果物

合唱曲の楽譜/合唱曲の音源/プレゼンテーションで使うスライド

##### (S)Standard 評価基準

・プレゼンテーションで使うスライド(A ii ,B ii ,D i ,D ii )

A ii :77 期生オリジナル合唱曲における曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて詳しく述べる

B ii :曲にふさわしい演奏表現を創意工夫するために音楽を形作っている要素と芸術的意図を明確に提示し説明する

D i :この曲の最大の魅力を分析する

D ii :自身が考える音楽を媒体として聴き手に与える影響力について分析する

本題材のゴールは、77 期生オリジナル合唱曲に込めた平和のメッセージをどのように演奏表現を工夫したら聴き手に伝わるのか、スライドを作成し自分の思いや意図をプレゼンテーションすることとしている。合唱曲は1つだが、145 人の思いは十人十色であり、その思いが1つの音楽表現の形となって表現されることに芸術のよさがあると考えている。生徒には、145 人一人ひとりの作品として捉えてほしいため、あくまでも個人作業を中心に授業を進めるが、協働学習を取り入れることで自他の演奏表現や意見を客観的に分析し共感の姿勢で接し、多様性を受け入れ相互理解を進めることで自身の演奏表現の幅を広げるきっかけを作りたいと考えている。また、協働学習の中で出た思いや意図を実際に歌唱表現を繰り返し行い、思い描いている音楽表現が出来ているのか、また、音楽を客観的に聴いた時に、どのように聴き手は捉えているのか、その相互作用を繰り返しながら、粘り強く音と向き合い演奏表現を模索していきたい。また、拡大楽譜を準備し生徒から出た意見を楽譜に書き込んでいき可視化することによって意見の整理をすると共に曲の全体像を把握し曲にふさわしい表現方法を考え納得のいく演奏表現を探究する場を設定したい。合唱楽譜([資料2](#)) 歌詞カード([資料3](#)) 合唱音源([資料4](#))

#### 4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>(知)「77 期生オリジナル合唱曲」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>(技)創意工夫を生かした表現で全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。</p>	<p>(思)「77 期生オリジナル合唱曲」の合唱におけるテクスチャ・強弱・速度を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え曲にふさわしい歌唱表現としてどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>(態)「77 期生オリジナル合唱曲」の歌詞が表す平和の思いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。</p>

#### 5. 題材の指導計画(全 10 時間)

時間	学習内容	主な評価規準	評価の観点			評価方法
			知技	思考	態度	
1	<p>楽曲分析</p> <p>各パート音取り</p>	<p>「77 期生オリジナル合唱曲」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。</p> <p>合唱における音と音との重なり・強弱や速度変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受している</p> <p>創意工夫を生かした表現で全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身につけている。</p>	●	●	●	<p><u>態度</u></p> <p>観察</p> <p><u>知識</u></p> <p>ワークシート1</p> <p><u>技能</u></p> <p>演奏</p> <p><u>思考</u></p> <p>プロセスジャーナル</p>
2	<p>楽譜に記された演奏記号を基に曲にふさわしい歌唱表現を考える。</p> <p>(個人活動)</p> <p>↓</p> <p>(班活動)</p>	<p>歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>主体的・協働的に歌唱の学習に取り組む自他の演奏表現や意見を客観的に分析し共感の姿勢で接し、多様性を受け入れ相互理解を進めている。</p>	●	●	●	<p><u>態度</u></p> <p>観察</p> <p><u>知識・技能</u></p> <p>演奏</p> <p><u>思考</u></p> <p>ワークシート2</p> <p>プロセスジャーナル</p>
3	<p>楽譜にまだ記されていない演奏記号や言葉による表現方</p>	<p>歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように演奏するかにつ</p>	●	●	●	<p><u>態度</u></p> <p>観察</p> <p><u>知識・技能</u></p>

	法を付け加えてサビをより印象付けるための歌唱表現を考える。 (個人)→(班活動)	いて思いや意図をもっている。  主体的・協働的に歌唱の学習に取り組み自他の歌唱表現や意見を客観的に分析し共感の姿勢で接し、多様性を受け入れ相互理解を進めている。				演奏 <u>思考</u> ワークシート2 プロセスジャーナル
4 本時	中間発表 前時,班で考えた「サビをより印象付ける歌唱表現」が,より効果的に聴き手に伝わるように他の班の歌唱表現を参考にして考える。 (班活動)→(一斉)	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら,曲にふさわしい歌唱表現としてどのように演奏するのかについて思いや意図をもっている。  主体的・協働的に歌唱の学習に取り組み自他の歌唱表現や意見を客観的に分析し共感の姿勢で接し,多様性を受け入れ相互理解を進めている。	●	●	●	<u>態度</u> <u>観察</u> <u>知識・技能</u> <u>演奏</u> <u>思考</u> ワークシート2 プロセスジャーナル
5	最終発表 各班が考えた歌唱表現をクラスで鑑賞・実演しクラスとしての歌唱表現を考える。アンケートを実施して確定する。 (班活動)→(一斉)	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら,曲にふさわしい歌唱表現としてどのように演奏するのかについて思いや意図をもっている。		●	●	<u>態度</u> <u>観察</u> <u>思考</u> プロセスジャーナル
6	演奏表現の確定 各クラスが考えた歌唱表現を実演しアンケートを実施して確定する	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら,曲にふさわしい歌唱表現としてどのように演奏するのかについて思いや意図をもっている。		●	●	<u>態度</u> <u>観察</u> <u>思考</u> プロセスジャーナル
7~8	振り返り 総括的評価課題作成 スライドの作成	「77 期生オリジナル合唱曲」に込められた平和のメッセージをどのように演奏表現を工夫したら聴き手に伝わるのか,自分の思いや意図をもち主体的に取り組んでいる。	●	●	●	<u>態度</u> <u>知識</u> <u>思考</u> 総括的課題 ワークシート3
9~10	発表 総括的評価課題 プレゼンテーション	「77 期生オリジナル合唱曲」に込められた平和のメッセージをどのように演奏表現を工夫したら聴き手に伝わるのか,自分の思いや意図をもち主体的に発信している。	○	○	○	<u>態度</u> <u>知識</u> <u>思考</u> 総括的課題

●・・・形成的評価(指導に活かす評価)      ○・・・総括的評価(記録に残す評価)

## 6. 本時の展開

### (1) 本時の目標

1. 「77 期生オリジナル合唱曲」にふさわしい歌唱表現を創意工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつこと。(思考・判断・表現)
2. 主体的・協働的に自他の歌唱表現や意見を客観的に分析し共感の姿勢で接し、多様性を受け入れ相互理解を進めること。(主体的に学習に取り組む態度)

### (2) 本時の評価規準

#### 思考・判断・表現

「77 期生オリジナル合唱曲」にふさわしい歌唱表現を創意工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

#### 態度

主体的・協働的に自他の歌唱表現や意見を客観的に分析し共感の姿勢で接し、多様性を受け入れ相互理解を進めている。

### (3) 本時の学習とグローバル市民コモン・ループリックとの関連

①項目: 寛容な人

②内容: 他者の意見や考えに対して共感の姿勢で接し、多様性を受け入れ相互理解を進めることができる。

(4) 展開

学習過程	学習活動および内容	指導上の留意点	評価の観点・方法
導入 10分	<p>●前時の学習内容の確認</p> <p>各班で考えた「サビをより印象付けるための歌唱表現」を意識しながら歌う。</p> <p>●本時のめあての確認</p> <p>他の班の歌唱表現を参考にして,各班,前回,考えた「サビをより印象付ける歌唱表現」が,より効果的に聴き手に伝わるように創意工夫することを確認する。</p>	<p>この曲に込めた平和の願いを再確認させる。この曲の最大の聴かせどころがサビであることを再確認させる。前回,発表した班の「サビを印象付けるための歌唱表現」を参考に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現したいこと</li> <li>・歌い方の工夫</li> <li>・2つのパートの役割</li> </ul> <p>を意識しながら歌うように指示する。</p> <p>前回の授業で各班が発表した時に自分の班で参考にしたいと考えた班の歌唱表現を参考にするように指示する。</p>	
<p>探究テーマ:芸術的表現による芸術的意図(人間の本質と人間の尊厳)はコミュニケーションを媒体として受け手に効果的な影響を与えることがある</p>			
<p>ATL スキル:思考—批判的思考スキル</p> <p>批判的思考スキルを使用して,コミュニケーションとしての音楽の要素を根拠を持って特定させる</p>			
<p>今日のめあて:他の班の歌唱表現を参考にして,各班,前回,考えた「サビをより印象付ける歌唱表現」が,より効果的に聴き手に伝わるように創意工夫する。</p>			

展 開  3 5 分	<p>●歌唱表現の工夫</p> <p>参考にしたい班の歌唱表現を実演し「サビをより印象付けるための歌唱表現」が聴き手により効果的に伝わるようにどのように工夫したらよいか考え、実演していく。</p>	<p>意見交流だけでなく、必ず実演しながら歌唱表現を考えるように声掛けする。</p> <p>班の考えがまとまったらホワイトボードと拡大楽譜に書いていくように指示する。</p>	<p><u>思考</u></p> <p>ワークシート2</p> <p><u>知識・技能</u></p> <p>演奏</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>ホワイトボードに書く内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●工夫しようと思った点</li> <li>●工夫しようと思った理由</li> </ul> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>拡大楽譜に書くこと</p> <p>工夫しようと思った点が楽譜で示すとどの部分になるのか、どのように歌唱表現しようと考えているのか書く。</p> </div>	
	<p>●クラス全体で共有</p> <p>いくつかの班にクラスにとって参考になると考えられる班の歌唱表現を紹介し実演する。</p> <p>●実演</p> <p>発表した班の歌唱表現をクラス全員で実演する</p>	<p>(演奏者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の歌唱表現をベースにし「工夫しようと思った点」「工夫しようと思った理由」を中心に発表させる。</li> <li>・自分達が考えた歌唱表現を意識させる。</li> </ul> <p>(聴き手)</p> <p>演奏を聴いて「どのように感じたのか」意見や感想を述べさせる。</p> <p>発表した班の歌唱表現を意識しながら歌うように声かけする。</p>	<p><u>態度</u></p> <p>観察</p>
ま と め 5 分	<p>●プロセスジャーナルを記入する。</p>	<p>今日の授業の中で「新たな発見があったこと」「なるほど!!と思ったこと」「共感したこと」の中から1つ選び記入するよう指示する。</p>	<p><u>思考</u></p> <p>プロセスジャーナル</p>

## (5)準備物

・合唱冊子 ,合唱音源,chrome book, CD デッキ

## 7. 参考文献

- ・中学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説 音楽編 平成 29 年 7 月 文部科学省
- ・「指導と評価の一体化」のために学習評価に関する参考資料 中学校音楽  
令和 2 年 3 月 文部科学省 国立教育政策研究所
- ・中等教育プログラム MYP:原則から実践へ
- ・中等教育プログラム(MYP)「芸術」指導の手引き
- ・音楽的な見方・考え方を働かせるための効果的な指導の手立ての研究  
<https://kawasaki-edu.jp/index.cfm/7,146,c,html/146/32-133-138.pdf>

## 8. 資料

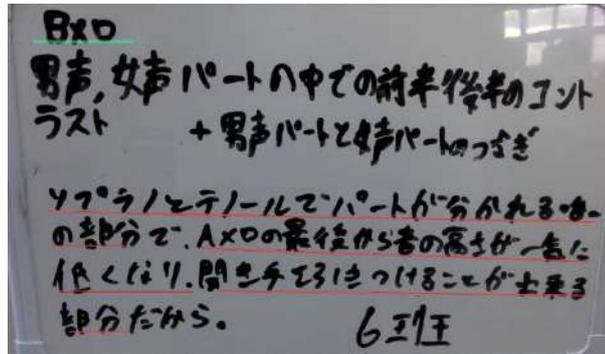
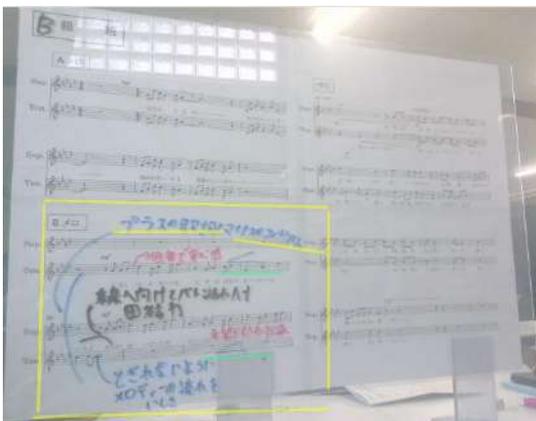
項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、 <b>新たな試みの視点</b> などから目標を持ち、その達成に向けて <b>自主的に粘り強く、創造的に</b> 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 <b>試みの視点</b> などから目標を持ち、その達成に向けて <b>自主的に粘り強く</b> 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 <b>試みの視点</b> などから目標を持ち、その達成に向けて <b>自主的に</b> 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだことから目標を持ち、その達成に向けて <b>進んで</b> 取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて <b>創造的に</b> 物事を考え、 <b>周りの人たちや異なる文化圏の人たちとの協働を</b> 構想・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 <b>地域社会の人たちとの協働を</b> 構想・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 <b>学校の人たちと協力して</b> 取り組むことができる。	これまでの経験や知識をもとに物事を考え、 <b>学級の人たちと力を合わせて</b> 取り組むことができる。
探究力のある人	自らの問題として、 <b>身近なコミュニティや世界の出来事</b> から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 <b>振り返りながら、創造的に</b> 追究することができる。	自らの問題として、 <b>身近なコミュニティ</b> から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 <b>振り返りながら</b> 追究することができる。	自らの問題として、 <b>身の回り</b> から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 <b>振り返り</b> することができる。	自らの問題として、 <b>身の回り</b> の課題に気づき、その解決に向けて取り組むことができる。
寛容な人	他者の意見や考え方に対して <b>共感と傾聴</b> の姿勢で接し、 <b>多様性を尊重</b> しながら <b>相互理解</b> を深めることができる。	他者の意見や考えに対して <b>共感</b> の姿勢で接し、 <b>多様性を受け入れ相互理解</b> を進めることができる。	他者の意見や考えに対して <b>共感の姿勢</b> で接し、 <b>相互理解</b> を進めることができる。	他者の意見や考えに対して <b>共感の姿勢</b> で接することができる。

## 9. 成果と課題

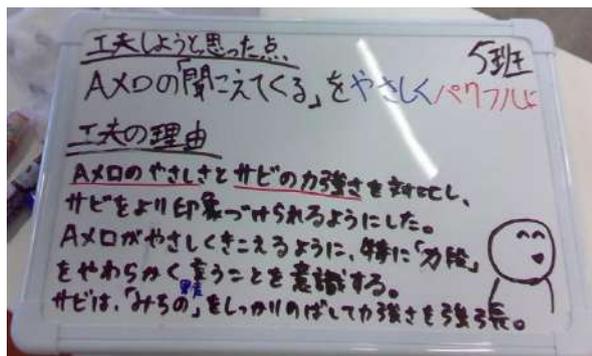
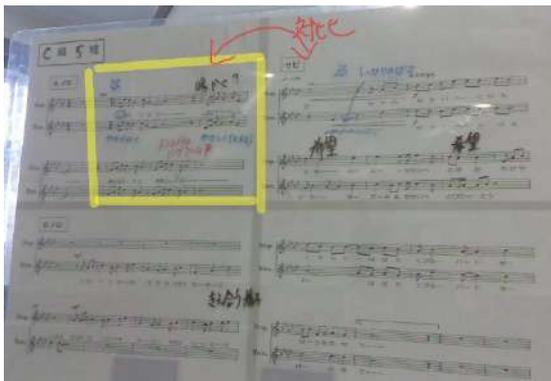
### [成果1]

本題材を通して「他者の意見や考えに対して共感の姿勢で接し他者の多様な音楽表現の創意工夫や音楽の捉え方、感じ方を尊重し多様性を受け入れ相互理解を進めることで自身の感性に磨きをかけ音楽表現を豊かにすること」を目標に取り組んできた。研究授業で実施した「サビをより印象づけるための歌唱表現」において各班が考えた歌唱表現から生徒が他者から影響を受け寛容性を育めたと捉えられる振り返りを紹介したい。

### [Bメロを工夫した歌唱表現]



### [Aメロを工夫した歌唱表現]

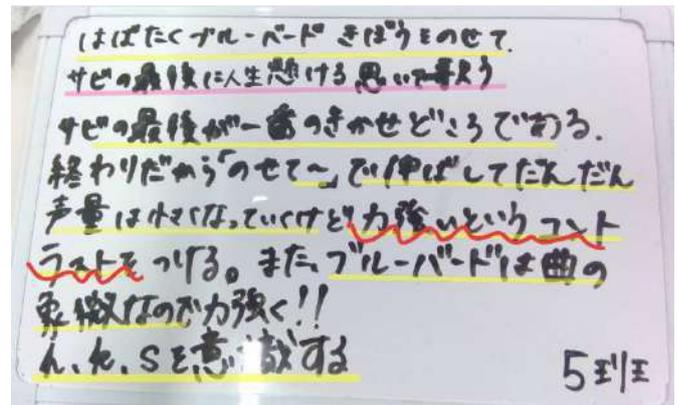
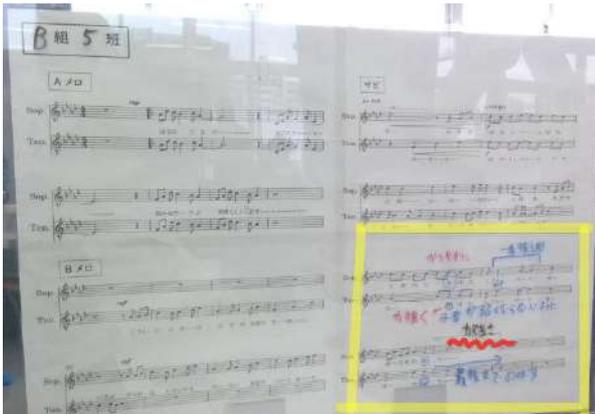


### [生徒の振り返り]

最終的に自分自身がこの曲の歌唱表現を考える時に他者の意見から共感を得て表現方法を工夫した部分を具体的に述べましょう。

私が他者の意見から共感を得て表現方法を工夫した部分は2つある。1つ目はA×ロでの表現だ。最初の私はA×ロの時点で、すでにA×ロへの決意がかたまっていると考えていたが、他者のA×ロはやさしいイメージだというのを聞いて、A×ロ時点では、また環境がかかりたいと改めてあり、新たな一歩を踏み出そうという気持ちが生えている段階であり、B×ロでの不安とはけましたの葛藤を通して、サビで、やと希望を持って決意をかためたのだということがわかった。2つ目は、B×ロの表現だ。最初の私は、ただ互い受け合い合っているだけだと思っていたが、他者のB×ロにはアラスの歌詞とマイスの歌詞があるというのを聞いて、それぞれ不安な気持ちとがんばりたいという気持ちが重なり合い、それぞれに希望と不安の葛藤があったことがわかり、アラスの歌詞とマイスの歌詞を熟読した工夫をした。

### [サビ 最後のフレーズを工夫した歌唱表現]



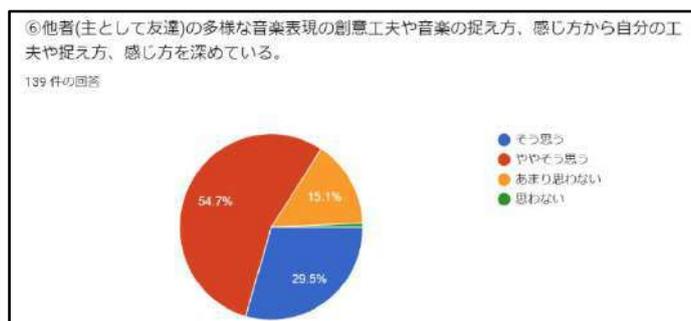
### [生徒の振り返り]

最終的に自分自身がこの曲の歌唱表現を考える時に他者の意見から共感を得て表現方法を工夫した部分を具体的に述べましょう。

特に、サビの部分が他者からの意見を聞き、影響を受けたと思う。私たちの班は、サビの後半にかけて盛り上げていき、最後はデクレシェンドで弱めていくという歌唱表現を考えた。しかし、その後のクラス全体での交流で様々な歌唱表現が出てきた。そこで、僕はある1つの意見に影響を受けた。それは、最後にかけて徐々に盛り上げて終るという歌唱表現である。この歌唱表現を聞いて、より「明るい平和な世界に向かって自信を持って飛びたとう」という前向きな姿勢を表現できると感じた。だから、自分の中でサビの部分の最後は徐々に盛り上げていくという歌唱表現が良いという結論に至った。

[事後アンケートの結果]

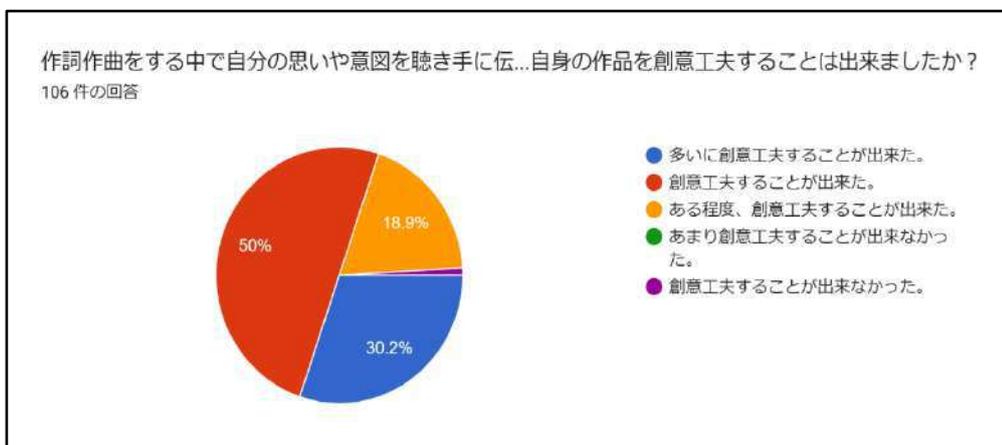
事前アンケートのデータ



そう思う	29.5%
ややそう思う	54.7%
あまり思わない	15.1%
思わない	0.7%

肯定的に答えた生徒が84.2%で、あまり思わないと答えた生徒が15.1%

事後アンケートのデータ



多いに工夫することが出来た	30.2%
創意工夫することが出来た	50%
ある程度、創意工夫することが出来た	18.9%
あまり創意工夫することが出来なかった	0%
創意工夫することが出来なかった	0.9%

肯定的に答えた生徒が99.1%で、工夫することが出来なかったと答えた生徒が0.9%

このような結果から、この題材を通して生徒達が他者の意見や歌唱表現に耳を傾け自分事と捉え自身の歌唱表現の工夫の参考にしたと考えられる。

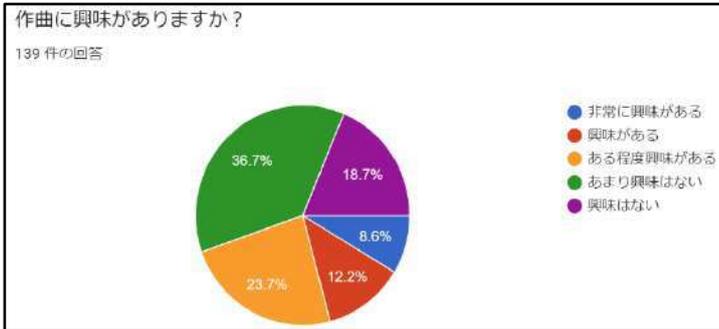
[課題1]

この活動を通して生徒達が他者の演奏を聞き意見交流することで、音楽表現における視野は広がったと考えられる。しかし、創意工夫しようと考えていることを文章や言葉で伝えるとができたとしても実際の歌唱表現に結びついたかという点においては多いに課題が残った。教師側の技術面の指導であったり、客観的に自分達の演奏とどのように向き合うのかと言った点においては、改善の余地が多いにあると考えられる。この題材がさらに生徒達にとって、より実感のわく内容となるように先行研究等を参考にして今後も探究を続けたいと考えている。

[成果2]

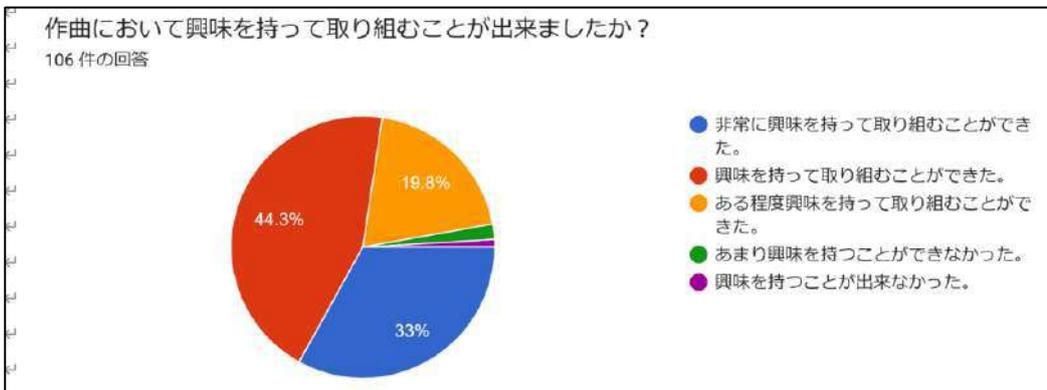
事前のアンケートにおいて「作曲をすることに興味はありますか」という質問に対して肯定的に答えた生徒は44.5%で、あまり興味はない、興味はないと答えた生徒は55.5%という結果だった。

事前アンケートのデータ



非常に興味がある	8.6%
興味がある	12.2%
ある程度興味がある	23.7%
あまり興味はない	36.7%
興味はない	18.7%

事後アンケートのデータ



非常に興味を持って取り組むことができた	33%
興味を持って取り組むことができた	44.3%
ある程度興味を持って取り組むことができた	19.6%
あまり興味をもつことができなかった	} 3.1%
興味をもつことができなかった	

肯定的に答えた生徒が96.9%で、あまり興味を持つことが出来なかった・興味を持つことが出来なかったと答えた生徒が3.1%

このような結果から最初は作曲をすることにに対して難しいことをするという先入観を持っている生徒も多かったと考えられるが、いざ取り組んでみると音と音を繋いでいく楽しさや自身が旋律を生み出す楽しさに気づいた生徒も多数いると考えられる。義務教育としての音楽は中学3年生で最後なるが、彼らの今後の人生において、この活動が心の片隅に残っていてくれることを願っている。

[課題2]

事後アンケートの中で、生徒の意見から旋律の作り方についてももう少し具体的に知りたかったという意見があったため次年度は、この部分の授業内容に改善を加え継続して取り組んでいきたいと考えている。

大地の成り立ちと変化  
～総括課題から逆向き設計～

授業者 附属池田中学校 松本 遼

1. 対象 附属池田中学校第1学年 A組 (36名)

2. 単元目標

・知識及び技能に関して

大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、地層の重なりと過去の様子について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

・思考力、判断力、表現力等に関して

地層の重なりと過去の様子について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究する力を養う。

・学びに向かう力、人間性等に関して

地層の重なりと過去の様子に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている態度を養う。

本単元で扱う学習指導要領での目標

(イ) 地層の重なりと過去の様子

ア 地層の重なりと過去の様子

地層の様子やその構成物などから地層のでき方を考察し、重なり方や広がり方についての規則性を見いだして理解するとともに、地層とその中の化石を手掛かりとして過去の環境と地質年代を推定できることを理解すること。

3. 指導に当たって

(1) 単元を通して育む「グローバル市民」と学習との関連

・グローバル市民の選択項目

主体的な人(これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。)

・学習との関連

課題として、「地層の重なりと過去の様子」の単元で学んだことを仮想の地形図と柱状図を読み解き、過去の土地の変化や現在の土地の様子を踏まえた解説資料を作成する。この課題を単元の初めに生徒に示すことで、生徒はゴールの見通しをもって単元内の各授業に取り組むことができる。また、生徒は単元の中で①「複数の情報(図など)を読み取る力」、②「複数の情報(図など)を比較、関連付けて分析し、推測する力」、③「自分の考えを他者に伝える力」の3つの力を習得することや課題の達成に向けて身につけた力を活用すること、課題の達成の過程で粘り強く取り組むことが必要となる。

・目標達成するために身につけるべき力

- i) 複数の情報(図など)を読み取る力
- ii) 複数の情報(図など)を分析し、推測する力
- iii) 課題の達成に向けて粘り強く取り組む力

## (2) 教材観

理科の内容構成の1つである「地球」の概念の領域は更に、「地球の内部と地表面の変動」「地球の大気と水の循環」「地球と天体の運動」の3つに分けられる。その中で、本単元は「地球の内部と地表面の変動」の中の「(2) 大地の成り立ちと変化」の「(ア) 身近な地形や地層、岩石の観察」, 「(イ) 地層の重なりと過去の様子」に位置付いている。これらの項目について、学習指導要領では、

(ア) 小学校での既習事項を想起させて、地形や、その地形をつくる地層、岩石などを観察させることを通して問題を見いだし、身近な土地の成り立ちや広がり理解させるとともに、その構成物の種類、粒の大きさや形などを調べるための観察器具の操作や記録の仕方などの技能を身に付けさせること  
(イ) 野外の観察記録などを基に、地層のでき方を考察して、地層の重なり方や広がり方についての規則性を見い出して理解させたり、地層を構成する岩石や産出する化石などから、地層が堆積した環境と生成された年代を推定できることを理解させること(下線部は筆者による)

がねらいであると書かれている。

このねらいを達成するためには、理科の見方・考え方を働かせる必要がある。「地球」の領域において主な見方は、「自然の事物・現象を時間的・空間的な視点で捉えること」であり、考え方は「比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いること」である。このような理科の見方・考え方を働かせて、「地層」や「岩石」の観察や実験を行うことで、基本的な知識や技能を身につけるだけでなく、身近な土地を題材に観察記録や資料などを分析し、解釈することが重要となる。また、時間の流れによって大地がどのように変化するか、その特徴や規則性について、モデルや図を使って考察・推測することも必要となる。

この単元では実際に手にとって観察できるものや身近な地層、柱状図を活用することができる。さらに、「身近な土地」として、大阪の地形を取り上げる。大阪の地形は、過去に河内湾と呼ばれる内海が広がっていたり、埋立てによって人工的に土地を生み出したりと、時代とともに土地の環境が大きく変化してきたという特徴がある。こういった身近な土地を活用して、単元のねらいの達成を図る。

他教科との関連では、数量的なデータを解釈する際に数学科の知識を活用したり、大地の変化によって生じた土地を利用し人類が生活していることについて、社会科で学習する知識と関係付けたりすることが考えられる。

以上のことを踏まえ、本単元の総括的評価課題を「仮想の地形図と柱状図を読み解いて、過去の土地の変化や現在の土地の様子を基に解説資料を作成すること」とした。表 1 は総括的評価課題の GRASPS (Goal, Role, Audience, Situation, Product, Standard の頭文字をとったもの) を示している。

表 1

Goal (目的)	仮想の地形図と柱状図から過去の土地の変化を推測し、解説資料をつくる
Role (役割)	理科の問題集を出版する編集者
Audience (聞き手)	全国の中学1年生
Situation (状況)	理科の問題集を出版する際に、全国の中学1年生にもわかるような解説資料を作成することになった。
Product (作品)	解説資料
Standard (評価)	思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度

この課題では、「地層の重なりと過去の様子」について学んだことを、仮想の地形図と柱状図と関連付ける力や地層の重なりや広がり方の規則性を見い出して、仮想の地形図と柱状図から過去の土地の変化を推測することが必要となる。加えて、柱状図のデータから時間の経過による土地の変化や土地の標高などの要素が加

わかることで、思考が複雑化し個人での課題解決が難しい生徒がいると予想できる。そのため、班で協働して粘り強く取り組む力などを複合的に発揮する必要がある。

ユニットの構想(26時間)※太枠は本単元

身近な大地・語る大地(11時間)

・地形図や柱状図から過去の土地の変化を推測する



ゆれる大地・火をふく大地(11時間)

・過去の土地の変化がどのような仕組みで起こったのか理解する

・断層や鍵層などを基に過去の大地の変化をより正確に推測する



総括的評価課題の作成(4時間)

・これまでの学習した内容や身につけた力を活用して、課題を作成する

ユニットの構想では、『理解をもたらすカリキュラム設計』(ウィギンズ・マクタイ, 2012)の中で提唱されている「逆向き設計論」を取り入れた。「逆向き設計論」では、目標、評価、学習と指導の進め方を三位一体のものとして計画することが提唱されている。そこで、まず単元末に行う総括的評価課題を設定し、理科の見方・考え方を働かせ、その課題に取り組めるようにする。そこから逆向きに単元構想や1時間、1時間の授業を設計した。この単元を通して、生徒達が大地の成り立ちについて興味・関心をもち、複数の情報から根拠を持って推測したり問題を見いだしたりする力の育成を図り、粘り強く課題に向き合う姿勢を育てていきたい。

### (3) 児童・生徒観

第1学年の生徒は、授業に前向きで課題に熱心に取り組む姿勢がみられる。話し合い活動でも積極的に意見を述べるができる。またこれまでの2分野の学習の中で、理科の見方・考え方を働かせて、生き物の観察を行い共通点や相違点を整理し、分類するための観点や基準を見だし、表現する活動を行なった。

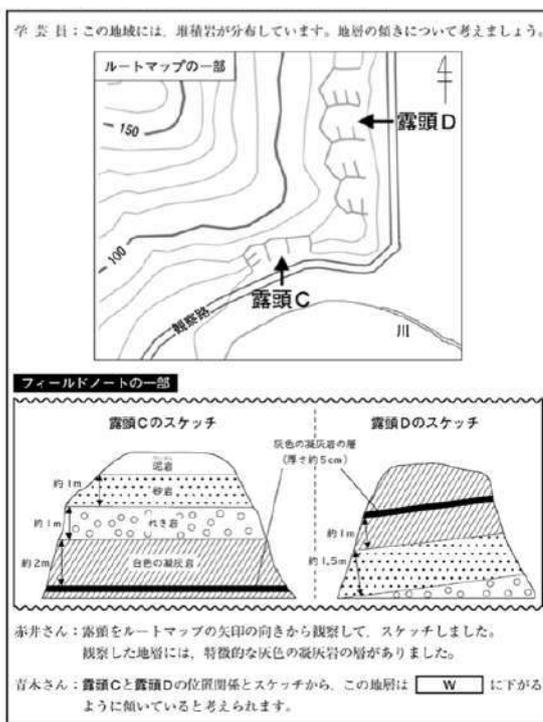
本単元では、観察結果や資料を基に規則性や関係性を見いだしたり、過去に起きた、又はこれから起こると考えられる事象を推論したりする力を育てていく。

令和4年度の全国学力・学習状況調査(3年生対象)において、「理科の勉強は好きですか」という項目では、全国の中学3年生の肯定的意見が66.4%であった。本学級の生徒を含む1年生144名に、授業アンケートを行った(有効回答数144名)ところ、同項目は80.1%であり、比較対象学年は異なるが全国の中学3年生よりも理科の勉強が好きな生徒が多い傾向にあることがわかる。しかし、中学2年生を対象としたTIMSS2019(国際数学・理科教育動向調査)や高校1年生を対象としたPISA2015(OECD生徒の学習到達度調査)は、生徒の理科を学ぶ意欲や科学の意義に関する認識が他国と比べると低いことを指摘しており、日常生活と科学を関連付ける必要があると言及している。そこで、

本単元においても身近な題材を用いて興味・関心をひくとともに、大地の成り立ちについて学ぶ楽しさを感じさせる必要がある。

同調査では、中学校理科の「地球」の領域における課題の1つとして「ルートマップと露頭を関連付け、地層の傾きを分析して解釈し、主として時間的・空間的な視点で捉えることに引き続き課題がある」ことが挙げられている(令和4年度全国学力・学習状況調査)(図1)。実際に、東西方向と南北方向の地層の断面である露頭のスケッチから地層の傾きを選択する問題では、正答率が34.7%であった(図2)。この課題は、本学年の生徒にとってもつまずきのポイントとなる可能性がある。そのため、本単元では地層の広がりについて時間的・空間的な視点で捉え、複数の観察結果から分析して解釈させる活動を特に重要視して取り組んでいく。

図1 ルートマップと震源のスケッチから地層の傾きを考える場面



(3) W に当てはまる適切なものを、下のAからEまでの中から1つ選びなさい。  
 A 北から南    イ 南から北    ウ 西から東    エ 東から西

図2 解答結果

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答
6 (3)	1    A    と解答しているもの	34.7	◎
	2    イ    と解答しているもの	13.4	
	3    ウ又はエ    と解答しているもの	51.2	
	99    上記以外の解答	0.0	
	0    無解答	0.7	

#### (4) 指導観

教材観で記した総括的評価課題で必要となる力を身につけさせるために、「逆向き設計論」の考え方から単元を計画し、本時の授業を位置付けた。そして、総括的評価課題を達成するための力を育むだけでなく、この単元が本来持つ魅力である、手にとって観察できるものや身近なものを用いることができる点も大切にしていきたい。手にとって観察したり身近なものを用いたりすることは、生徒のイメージに残りやすいという特徴がある。一方で、「地球」の領域特有の時間的・空間的概念が小学校段階に比べてマクロスケールであることから、地層の形成過程や空間的な構造を目で見るのが難しいため、理解することが困難を極める場合もある。そのため各授業で、時間的・空間的概念をスモールステップで身に付けさせたい。例えば、柱状図を読み解いて時間の変化に伴う土地の変化を考えさせたり複数の地点での柱状図を見比べることで水平方向だけでなく鉛直方向の土地の変化に気づかせたりすることなどが考えられる。また、実物教材が教科書のモデル図とかけ離れていることがあり、実物を見せることで混乱する場合もあるので、学習状況に合わせて取捨選択していく必要がある。

教科書に載っている土地の成り立ちと実際の土地の成り立ちのギャップに気づかせ、自分が生活・活動する土地の構造及び成り立ちに興味を持たせる。そのきっかけの一つとして大阪の土地を取り上げる。さらに、地層の特徴を見だし、その土地の利活用方法を考えるとともに、起こりうる災害について防災対策を講じる思考の育成にもつなげたい。

本時では前時に行った地層モデルの知識を基に大阪の土地の成り立ちを推測する活動を設定した。加えて、他の班とデータを比較することによって地層の複雑性に気づかせ、その地層を形成する過程には広範囲の土地の変化・動きがあったことを考えさせるきっかけとする。

#### ■グローバル市民コモンループリックと本時との関連について

本時の活動の中で、グローバル市民性の要素である「主体的な人」の育成を図る。「地層の重なりと過去の様子」についての知識や学習した内容を活用して、土地の状況や過去の土地の変化を推測する力、課題の達成に向けて、個人又は班で粘り強く取り組む力が発揮されるように本時を展開していく。

#### 4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、地層の重なりと過去の様子についての基本的な概念や原理・法則等を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	地層の重なりと過去の様子について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性などを見だして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。	地層の重なりと過去の様子に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

## 5.単元の指導計画(全11時間)

時間	学習内容	主な評価規準	評価の観点			評価方法
			知技	思考	態度	
1	・地形や大地の構成物などの特徴は、大地の変化と関連していることを理解する。 ・地層の単元末の総括的評価課題を理解し、見通しを持つ。総括的評価課題「仮想の地形図と柱状図を読み解いて、過去の土地の変化や現在の土地の様子についての解説資料を作成する。」	・地形や大地の構成物などを調べることによって、大地の変化を推測できること、およびそれらを調べる視点を理解している。 ・地層を読み解くことで過去や未来の環境を推測することができることを理解している。	●			ワークシート OPPシート
2	・地層がどのようにしてできるのかを理解する。	・地層のでき方を、風化から侵食・運搬・堆積までの一連の中で捉え、水中に流れこんだ土砂の広がり方の違いや重なり方の規則性と関連づけて理解している。	●			ワークシート OPPシート
3	・地層に含まれる岩石について堆積岩の特徴を調べて記録し、表などに違いや共通点がわかるように整理する。	・堆積岩の特徴を見だし、記録している。	●			ワークシート OPPシート
4	地層に含まれる化石について理解する。	・地層に含まれる化石をもとに、地層が堆積した当時の環境や形成された時代を推測できることを理解している。	●			ワークシート OPPシート
5	・実際に寒天を用いたボーリング調査の仕方を体験し、柱状図の読み取り方を理解する。	・地層の特徴を見だし、記録することができる。	●			ワークシート OPPシート
6 【本時】	・大阪のある場所での柱状図を読み解き過去を推測する。	・地層の特徴から、地層の広がりを捉えたり、地層が形成された過程を推測したりすることができる。		●	●	ワークシート OPPシート

		・他者と関わりながら、粘り強く課題に取り組もうとしている。				
7	・前時で見出した、地層のズレが断層によって生じたことを確認し、柱状図を基に上町断層の位置と動きを推測する。	・いくつかの柱状図を比較し、上町断層の位置と動きを推測している。		●	●	ワークシート OPPシート
8	・実際の地層に見たてたスポンジを用いてボーリング調査を行い、複数の柱状図を比較して地層を読み解く。	・複数箇所の柱状図を比較することで、地層に傾きが生じていることを読み解こうとしている。			●	ワークシート OPPシート
9	・大地の変化とわたしたちの日常生活とのかかわりを調べて、まとめる。	・さまざまな大地に関する事象・現象が起こるしくみと関連づけて、大地の恵みと災害を理解している。	●			ワークシート OPPシート
10-11	・仮想の地形図と柱状図を読み解いて、過去の土地の変化や現在の土地の様子を基に解説資料を作成する。	・地層の重なりと過去の様子について学んだことを、仮想の地形図と柱状図と関連付けることで、地層の重なりや広がり方の規則性を見いだして、現在の土地の状況と過去の土地の変化を推測している。 ・他者と関わりながら、粘り強く課題に取り組もうとしている。	○	○	○	総括的評価課題 OPPシート

※OPPシート

One Page Portfolio Assessment に用いるシートのことである。これは、学習者が 1 枚のシートに学習履歴を記録することで、学びを外化し、可視化する役割を果たす。

●・・・形成的評価(指導に活かす評価)    ○・・・総括的評価(記録に残す評価)

## 6. 本時の展開

### (1) 本時の目標

- ・大阪城周辺の複数地点の柱状図を読み解き、当時の環境の変化を推測し、どのように地層ができたのかをイラストや文章を用いて説明する。【思考力・判断力・表現力等】
- ・他者と関わりながら、粘り強く課題に取り組む。【主体的に学習に取り組む態度】

### (2) 本時の評価規準

- ・大阪城周辺の複数地点の柱状図を読み解き、当時の環境の変化を推測し、どのように地層ができたのかをイラストや文章を用いて説明している。【思考力・判断力・表現力等】
- ・他者と関わりながら、粘り強く課題に取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

### (3) 本時の学習とグローバル市民コモン・ルーブリックとの関連

#### ① 項目

主体的な人

#### ② 内容

これまで学習した地層の成り立ちや柱状図の読み取りなどをもとに、個人及び班で粘り強く取り組むことができる。

### (4) 展開

学習過程	学習活動および内容	指導上の留意点	評価の観点・方法
導入 5分	・地層から大地の歴史を推測できたことを思い出す。		
		柱状図を読み解き、当時の環境の変化を推測することができ	

<p>展開 40分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Chromebook で国土地盤情報検索サイトの操作方法を確認し、個人で使用して様々な地点での柱状図を見る。</li> <li>・大阪城周辺の複数地点の柱状図から、当時の環境の変化を推測する。(個人)</li> <li>・個人で考えた意見をもとに班で、当時の環境の変化を推測し、WBにまとめる。(4人班)その際に、国土地盤情報検索サイトに載っている柱状図を拡大した紙に写す。</li> <li>・当時の環境の変化の推測をホワイトボード(WB)を用いて発表し、全体で共有する。</li> <li>・標高を合わせて柱状図を並べた際に、気づくことを記入する。(個人)</li> <li>・気づいたことを交流する。(班)</li> <li>・大阪城近辺の土地の現状を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関西圏地盤情報ライブラリーor 国土地盤情報検索サイトの操作方法を説明する。</li> <li>・あらかじめ設定した1つの場所の柱状図を班(4人班)ごとに決めさせる。</li> <li>・机間巡視の際に、柱状図の記入や、環境の推測に困っている班の補助を行う。</li> <li>・柱状図に礫岩が含まれている部分と含まれていない部分があることから、土地の一部が急激に変化していることに気づかせる。</li> <li>・標高を合わせて並べて(基準を合わせる)気づきを書かせる。ここで全ての班が大阪城周辺の複数地点の柱状図を選んでいるにも関わらず、地層にズレが生じていることに気づかせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪城周辺の複数地点の柱状図を読み解き、当時の環境の変化を推測し、イラストや文章を用いて説明している(思考・判断・表現)【WB】</li> </ul>
<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りを記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪城周辺の柱状図という実物のデータを用いて比較することの難しさについて伝える。また、地層のズレの部分について、次の授業で確認していくことを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者と関わりながら、粘り強く課題に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)【OPPシート】</li> </ul>

## (5) 準備物

ワークシート, Chromebook

## 7. 参考文献

石井英真・新井直志(2023)ヤマ場をおさえる単元設計と評価課題・評価問題 中学校理科,株式会社 図書文化

西岡加名恵・石井英真編著(2019)教科の「深い学び」を実現するパフォーマンス評価,株式会社 日本標準

G. Wiggins, & J. McTighe(2012)理解をもたらすカリキュラム設計,株式会社 日本標準

文部科学省(2017)中学校学習指導要領解説 理科編

文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター(2020)「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料中学校理科

文部科学省 国立教育政策研究所(2022)全国学力・学習状況調査 報告書 児童一人一人の学力・学習状況に応じた学習指導の改善・充実に向けて 中学校理科

## 8.資料

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、 <b>新たな試みの視点</b> などから目標を持ち、その達成に向けて <b>自主的に粘り強く、創造的に</b> 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 <b>試みの視点</b> などから目標を持ち、その達成に向けて <b>自主的に粘り強く</b> 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 <b>試みの視点</b> などから目標を持ち、その達成に向けて <b>自主的に</b> 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだことから目標を持ち、その達成に向けて <b>進んで</b> 取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて <b>創造的に</b> 物事を考え、 <b>周りの人</b> たちや異なる文化圏の人たちとの <b>協働を構想・実践</b> することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 <b>地域社会</b> の人たちとの <b>協働を構想・実践</b> することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 <b>学校</b> の人たちと <b>協力して</b> 取り組むことができる。	これまでの経験や知識をもとに物事を考え、 <b>学級</b> の人たちと <b>力を合わせて</b> 取り組むことができる。
探究力のある人	自らの問題として、 <b>身近なコミュニティ</b> や <b>世界の出来事</b> から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 <b>振り返りながら、創造的に</b> 追究することができる。	自らの問題として、 <b>身近なコミュニティ</b> から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 <b>振り返りながら</b> 追究することができる。	自らの問題として、 <b>身の回り</b> から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 <b>振り返り</b> することができる。	自らの問題として、 <b>身の回り</b> の課題に気づき、その解決に向けて取り組むことができる。
寛容な人	他者の意見や考え方に対して <b>共感と傾聴</b> の姿勢で接し、 <b>多様性を尊重</b> しながら <b>相互理解</b> を深めることができる。	他者の意見や考えに対して <b>共感</b> の姿勢で接し、 <b>多様性を受け入れ相互理解</b> を進めることができる。	他者の意見や考えに対して <b>共感の姿勢</b> で接し、 <b>相互理解</b> を進めることができる。	他者の意見や考えに対して <b>共感の姿勢</b> で接することができる。

## 9.成果と課題

### (1)総括的評価課題の正答率について

令和4年度全国学力・学習状況調査の類似問題の正答率は76.2%という結果であった。同一問題でないため単純比較はできないものの、総括的評価課題に向けて授業を組み立てたことによる一定の成果があったものと考えられる。一方で、解説や解き方のポイントの記述の正答率は完全正答19.4%、一部正答51.4%という結果であった。これは、問題は解くことができるが他者がわかるようにするための答えの導出過程に課題がある結果となった。

今回、総括的評価課題から逆向き設計して単元の設計を行なった。これにより、教師側は一時間一時間の授業の中で生徒に複数の情報から根拠を持って推測したり問題を見いだしたりする力や粘り強く課題に向き合う姿勢を育てるといった、つきたい力が明確になった。一方、単元を通して生徒一人一人が総括的評価課題のことを自分ごととしてどれだけ意識して、授業に取り組めたのかというところは、課題が残る。

### (2)学習後の振り返り

本時の授業後に振り返りを行なった(図3)。生徒Aは「実際の地層が水平に堆積していないことから逆に環境の変化が読み取れる」ことや生徒Bのように「いくつかの地点の地層を比べることで初めて大地を読み取ることができる」こと、生徒Cは「ボーリング調査で土地がズレていたり傾いていたりすることがわかるのだろうか」という振り返りを行っていた。

振り返りには、授業を通して気づいてほしかった教師のねらいに近いコメントや新たな疑問が生まれていることがわかった。総括的評価課題からユニットを構想し、総括的評価課題に生徒が取り組めるようにするために一時間一時間の授業を組み立てた一例として本時の授業を提案できればと考えている。

図3 生徒が記述した授業の振り返り

生徒 A	生徒 B	生徒 C
<p>今日の授業のタイトルをつけてください。 ⑤ 「そろってない」からわかること</p> <p>今日の授業で一番大切だと思ったことを書きましょう。</p> <p>柱状図といっても、きれいにまっすぐ積もっているわけではないので、共通点を探すのが難しいと思いました。また、「地層がきれいでない」ということから、地球の環境の変化が読み取れると思いました。</p> <p>疑問に思ったこと・知りたいことなど 今までは、ある地層だけの土地の出来方を考えていたけれど、実際の広範囲の土地がどのように作られたか気になりました。</p>	<p>今日の授業のタイトルをつけてください。 ⑤ 大地を読む</p> <p>今日の授業で一番大切だと思ったことを書きましょう。</p> <p>いくつかの地点の地層の重なりを見ることが、その土地の傾きや、たどってきた歴史が知れるのだとわかった。その中で化石などが見つかることで、その年代の気候や、生きていた生物がわかるのだ。しかし、一つだけのボーリング調査では情報を読み取ることはできず、いくつかの資料を見ることで始めて大地を読むことができるのだと思った。</p> <p>疑問に思ったこと・知りたいことなど</p>	<p>今日の授業のタイトルをつけてください。 ⑤ 柱状図から分かる標高の変化</p> <p>今日の授業で一番大切だと思ったことを書きましょう。</p> <p>ある土地をボーリング調査してそこから得られた柱状図を並べてみることで、その土地のズレの変化や標高がどのように変化しているか（どのぐらいの位置から標高が大きく下がったり上がったりしているか）を読み取ることができると分かりました。だから、柱状図からその土地の地形がどのようにになっているかも意識することが大切だと思いました。</p> <p>疑問に思ったこと・知りたいことなど ボーリング調査でその土地が南北や東西にどのくらい（何メートルくらい）ズレていたり傾いていたりするかも分かるのだろうかと思った。</p>

洞窟壁画を通して美術の本質を探る

授業者 附属池田中学校 長崎 大樹

1. 対象 附属池田中学校第3学年C組(36名)

2. 単元目標

令和3年度より全面実施されている中学校学習指導要領 解説 美術編において、第2及び第3学年美術科の目標は以下3つにまとめられている。

- (1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。
- (2) 対象を深く見つけ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。
- (3) 自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

本題材は洞窟壁画の鑑賞を通して美術の本質を探るというテーマに基づいた題材である。このことから制作を行わず鑑賞の活動となるため、題材の根拠となる目標は上記(1)及び(3)に基づく。

また、本題材においては、自らの考えを深めるだけではなく他者の意見や考えを取り入れ、またフィードバックを行うことで相互作用的に深めていくものである。そこから、本学附属池田中学校が研究テーマとしている「グローバル市民」の育成に関するルーブリックにおいては、「寛容な人」を意識して目標を設定したい。

学習指導要領、コモンルーブリック、題材の特性を基に美術科においては以下の単元目標を設定した。

・知識及び技能に関して

洞窟壁画についての基本的な事実を知り、理解することができる。

・思考力、判断力、表現力等に関して

洞窟壁画について自分自身の見方を考え、他者の意見を取り入れながら想像力を高め、自身の見方や感じ方を深めることができる。

・学びに向かう力、人間性等に関して

洞窟壁画について自ら考えることや、他者の考えを聞くことを通して人類の創作活動の衝動に触れることで、美術活動と人間との関わりに関心を持つことができる。

3. 指導に当たって

(1) 単元を通して育む「グローバル市民」と学習との関連

本題材においては、自らの考えを深めるだけではなく、他者の意見や考えを取り入れ、またフィードバックを行うことで相互作用的に深めていくものである。そのため、特に班での共有や、最終的な全体での共有については、コモン・ルーブリックにも示されている「寛容な人」が関連づけられる。

目標達成するために付けるべき力としては以下の2つである。

#### ・自らの考えを深められる力

他者の意見を共感的に傾聴する前に、自らの意見を考え、深めることで、他の視点からの意見や考えを受容しやすくなる。

#### ・他者の意見を傾聴する力

ただ聞くだけではなく、何が言いたいのかを理解しながら聞くことで、より「寛容な人」に近づくことができると考える。

### (2) 教材観

およそ数万年以上前に描かれたアルタミラ洞窟壁画や、ラスコー洞窟壁画などに代表される洞窟壁画は、なぜ描かれたのだろうかという観点から見るといまだに多くの謎が残る。当時の旧石器時代人による遊戯説、野獣の捕獲のためのイメージを伝える機能のために描かれたという説、または呪術に使用されていたという説など世界中の研究者達がこれまでに様々な説を唱えている。

ある壁画は天井高くに動物が描かれている。または洞窟の奥、暗くて誰にも見えないような場所に描かれている壁画もある。本題材は、そのような洞窟の様々な場所に描かれた壁画について生徒たちが「なぜ描かれたのだろう」という視点から、自分の考えをまとめ、共有し、深めていくものである。

本単元は、授業時間3時間分の設定である。1時間目には洞窟壁画についての現在判明している基本的な事実についての説明を行う。洞窟はどのようなところにあり、洞窟の環境はどのようなものであったか、また、洞窟壁画はどこに何で描かれたのかという情報を理解する。情報の提示の必要性としては、この後の自らの考えを深めていく段階において、事前に情報がないと自らの考えの根拠を求められないと考えるからだ。しかし、この段階では、なぜ描かれたかについてどのような説が現在提唱されているかをこちらから伝えないようにしたい。先行研究などを伝えないことにより、自由な発想を基に考えることを期待したい。

この題材を通して、生徒たちには美術や表現活動は古代より人間の本质と深く結びつき、現代にも受け継がれていることを理解し、感じて欲しい。また、美術と言われている活動の多くは大きく考えると他者とのコミュニケーションが源泉にあり、洞窟壁画もその例外ではない。生徒たちと意見を交流しながら、コミュニケーションツールとしての美術の可能性も示唆することができれば、生徒たちの今後の創作活動がより身近に感じられると考える。

また、以下生徒観にあるように、生徒たちは3年間を通して美術史の授業に取り組んできた。人類の創作活動の本質が見られる洞窟壁画について考えることで、これまでの美術史を「なぜ描いた(作った)のか」という視点から関連づけることにより、学びの連続性を持たせたいと考えている。

### (3) 生徒観

本学級の生徒を含む第3学年の生徒はこれまで、1年次に平安時代などの日本美術史、2年次に古代ギリシャなどの西洋美術史、3年次ではダダイズムからシュールレアリズム、抽象絵画やポップアートなど現代の美術をそれぞれのムーブメントの特徴と意義を学習している。美術史の授業において、生徒たちと共に様々なことを考えてきた。2年次のギリシャ美術では、ギリシャの神々は美しい人間の肉体をしていることから、「美しいとはなんだろう?」というテーマで自らの考えを文章で表現し、共有して考えてきた。3年次では、上記に挙げた現代美術史の

流れを学習する前と後での美術に対する考えや感じ方の変化について文章で考えた。このような思考活動を通して、生徒たちは美術史をツールとして自己の考えや感じ方を発見したり深めたりする経験を積んできている。

今回の題材である、洞窟壁画から美術の本質に迫る、ということは、答えがなく中学生にとって難しい題材である。そのような難しい題材に取り組むために、美術科においては答えのない問いや自らの考えについて振り返ったり発見したりする活動を積み重ねてきた。美術科以外の教科においても、IB 教育の学習者像にもあるように「探究する人」「考える人」というテーマの基、3年間を通して様々な積み重ねがあるため、本時の生徒たちの考えや発想に期待することができるだろう。

しかしながら、現代美術の授業を行う前、とくに現代における「美術」の一般的な捉えられ方において、美術が選ばれた感性の鋭い人間のみが楽しむものであるというような誤解が生徒たちにあるように見えた。現代美術の授業後に生徒たちが行なった振り返りからは「現代美術の授業を受けたことで、美術作品を見る目も変わったし美術にもっと興味がわいた」「機会があれば美術館に行って実際に見ることでいろいろな時代の美術に触れてみたい」などの感想が数多くあり、美術が身近に感じる生徒も少し増えたように感じるが、未だもって「美術」は自分からは遠いものと感じている生徒もいるだろう。

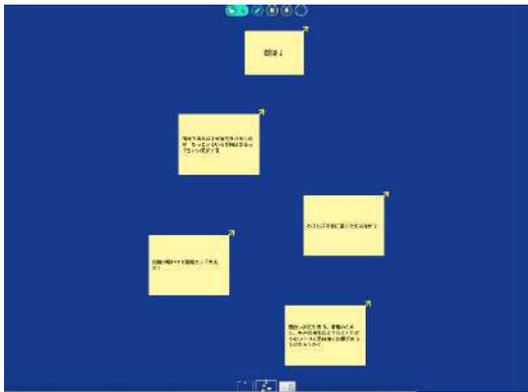
#### (4) 指導観

本題材では、1時間目から2時間目にかけて、文章によって考察し、自らの考えを深める時間とする。ここでは、思いついたことを自分なりの思考によって深めることが必要である。洞窟壁画に対してどのような見方や立場をとっても構わないが、自分なりの理由を示すことを指導する必要がある。研究者ではないので、みずから調査した根拠などを示すことは難しいが、自らの学習経験や人生経験などに照らし合わせたりすることによって自らの見方を考え、後に他者の説や先行研究を検索するなどして、洞窟壁画に対する自分の見方の理由を考える。

2時間目の後半には学習班で見方の交流を行う。自らの考えを他者に読んでもらい、フィードバックをもらう時間時にしたい。自分だけでは気づかない違和感に気づくとともに、さらに自分の考えを深める時間を持ちたい。

3時間目は本時である。この時間でクラス全体に意見を共有し、全体から出た意見を基に教師と生徒と共に「なぜ描かれたのか」という大きな疑問について考えたい。前時に考えを深めたものを学習班で共有し、共有したものを全体とさらに共有する。具体的には、黒板にそれぞれの班の意見を記入してもらい、その後発表してもらう。最終的に出た意見を教師が見ながらその場でまとめていく。そのため、即興性の強い授業になり、各クラスで出た意見によりどのように展開するかはわからない。しかし、黒板に書かれ、発表された意見から導きたいことは、「美術はなぜ存在しているのだろうか」と考えるきっかけを作りたいということと、「現代の美術と洞窟壁画はどのように関連しているのだろうか」ということである。なぜ存在しているか、また、現代の美術との関連の中に、美術が他者とのコミュニケーションのツールとして機能している側面も伝えられたらと考える。

今回の題材においては、自らの考えを深める作業を行う。自分の考えを恥ずかしがらず、積極的に展開していくことができるように、導入において自由な意見や考えを期待する旨の声掛けをできるかぎり行う。自由な意見や考えを求めながらも、自分なりに考えた根拠を示すことを伝えることが大事だろう。また、この題材のような、答えのない問いを考えることが苦手な生徒もいるため、生徒間で意見を交流し、お互いにフィードバックを得られる時間を作りたいと考える。今回の題材では意見や考えを改善・発展させられるようにロイロノートなどを用いて「フィードバックシート」(図.1)を使うなどして教師や生徒同士でお互いに発展的なフィードバックを送ることで、他者の考えに触れるとともに、自らの考えを深める機会としたい。



フィードバックシート(図.1)



フィードバックを用いて考えを深める

生徒たちが自由に発想し、考えることができるように、できる限りすでに多くの人が提唱している仮説はあらかじめこちらから提示しないでおきたい。提示しないことにより、こちらの求める方向性を忖度するようなことを避けたい。自ら見方を考えた後、根拠を考えるために検索するうちに他説を発見することに関しては否定しない。そのため、最初に考える際にクロームブックを閉じて紙の上で考えた後に情報の収集を行うことで、初めから他者の説をトレースすることを避けたい。

本時においては、様々な意見が出ることが想定され、どのような授業展開になるかは当日の出た意見によって変わってくるだろう。本題から逸れた様な意見も出るだろうと想定されるが、そのような意見もあらかじめ指導して適切なものに変更させるのではなく、できる限り組み込んで、人類の創作活動の本質に迫るような取り組みにしたいと考える。

#### 4. 評価規準

知識・技能(①)	思考・判断・表現(②)	主体的に学習に取り組む態度(③)
・洞窟壁画についての基本的な事実を理解している。(1)	・洞窟壁画について自分自身の見方を考え文章で適切に表現している。(1) ・他者の意見を取り入れ、自分自身の見方や感じ方を深めている。(2)	・洞窟壁画について自ら積極的に考え、思考しようとしている。(1) ・自分の考えをわかりやすく他者に伝えようとしている。(2)

#### 5. 題材の指導計画(全3時間)

時間	学習内容	主な評価規準	評価の観点			評価方法
			知技	思考	態度	
1	・本題材についての概要を知る。 ・洞窟壁画についての基本的な事実について知る。 ・「洞窟壁画はなぜ描かれたのか」というテーマに基づいて個人で考える。	②-1 ③-1		●	●	・ワークシート ・観察

2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を検索するなどして考えを深め,テーマについての文章を完成させる。</li> <li>・学習班のメンバーに自らの文章を読んでもらい,フィードバックをもらう。</li> <li>・フィードバックを基に,もう一度自分なりに考え,修正したり深めたりする。</li> </ul>	②-1,2 ③-2		●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・観察</li> </ul>
3【本時】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィードバックを基に改善した洞窟壁画に対する見方を班で共有する。</li> <li>・班で共有したことを全体で共有する。</li> <li>・それぞれの説の共通点などをクラス全体で考えたあと,全体を振り返る。</li> </ul>	②-2 ③-1,2	※	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・振り返り</li> </ul>

●・・・形成的評価(指導に活かす評価) ○・・・総括的評価(記録に残す評価)

※本題材中において知識技能を評価することはせず,定期考査で評価を行う。

## 6. 本時の展開

### (1) 本時の目標

・洞窟壁画について自ら考えることや,他者の考えを聞くことを通して人類の創作の始源に触れることで,美術活動と人間との関わりに関心を持つことができる。

・他者のフィードバックを取り入れ,自らの考えを言葉で他者に伝えることができる。

### (2) 本時の評価規準

・洞窟壁画について自ら考えることや,他者の考えを聞くことを通して,美術や表現の意義について考えようとしている。

### (3) 本時の学習とグローバル市民コモン・ルーブリックとの関連

#### ① 選択項目

寛容な人

#### ② 学習との関連

本題材においては,自らの考えを深めるだけでなく,他者の意見や考えを取り入れ,またフィードバックを行うことで相互作用的に深めていくものである。特に班での共有や,最終的な全体での共有については,コモン・ルーブリックにも示されている寛容な人の在り方である,

他者の考え方や意見に対して共感の姿勢で接し,多様性を受け入れ相互理解を深めることができる

という部分に強く関連すると考えられる。

(4) 展開

学習過程	学習活動および内容	指導上の留意点	評価の観点・方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の振り返り</li> <li>・本時の流れの確認</li> <li>・本時の目標の確認</li> <li>・ワークシートの確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの取り組みである考えること,共有すること,フィードバックをもらいさらに考えることの一連の流れをもう一度復習する。</li> <li>・本時に班から板書を行う生徒と,発表を行う生徒がいることも触れておく。(発表係と板書係については前時に決定しておく)</li> <li>・前回休みだった生徒に対する声掛けも行う。</li> </ul>	
展開 ①(個人↓班共有) 2分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを5~10分間でもう一度見直す。(5~10分)</li> <li>・5分後,この後の共有の流れを聞き,理解する。(3分)</li> <li>・班で共有する(8分)</li> <li>・一人2分で発表</li> <li>・共有が終われば,各班の書記係の人が前の黒板に班で出た意見を書きに行く。(7分)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここで書き直しても構わないと伝える。</li> <li>・どのように班で発表するか,聞く方はどの様に聞く必要があるかを指示する。ワークシート(ロイロノート)に発表の内容をまとめることや,書記係の生徒は内容をまとめることが必要であると伝える。</li> <li>・わかりやすく端的に書き,補足は発表の時に行うように指示。</li> </ul>	
展開 ②(班↓全体) 1分3分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての書記係が板書を終えたら各班で出た考えを発表する。(13分)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの発表を聞きながら,教師が感想のコメントをしていく。もしつながりがあるものが出たら黒板を使い,色を分けながら示す。</li> </ul>	

まとめと振り返り(全体↓個人) 10分	・全体の意見を確認する。教師のまとめを聞く。  ・授業をうけて個人振り返り	・全体の意見を見ながら、教師がまとめたりコメントを行う。様々な考えを取り入れながらまとめていく。また、場合によっては個別の意見に対して生徒に根拠やなぜそのように考えたかの説明を求める。 ・今回の授業テーマにも触れながら、原始の美術が今の美術にどの様につながるのか、なぜ美術を学ぶのかなども含めて説明ができるが良い。	・ワークシート ・振り返り
------------------------	---	--	------------------

#### (4) 準備物

- ・クロームブック

#### 7.参考文献

木村重信.「木村重信著作集第一巻 美術の始源」.思文閣出版.1990年

五十嵐ジャンヌ.「なんで洞窟に壁画を描いたの?美術のはじまりを探る旅」.新泉社.2021年

五十嵐ジャンヌ.「洞窟壁画考」.青土社.2023年

齋藤亜矢.「ヒトはなぜ絵を描くのか 芸術認知学への招待」.岩波書店.2014年

小川勝.「構造主義的解釈の諸問題 — 洞窟壁画の解釈をめぐる —」.鳴門教育大学研究紀要 第27巻  
2012年

小川勝.「ショーヴェの洞窟壁画再論」.鳴門教育大学研究紀要 第36巻.2021年

小川勝.「ラスコー洞窟壁画の芸術性」.鳴門教育大学研究紀要 第37巻.2022年

中原祐介編著.「ヒトはなぜ絵を描くのか」.フィルムアート社.2001年

#### 7.成果と課題

授業後の振り返りより、生徒たちは本授業で設定していた単元目標である以下の点を学習することができたと考えられる。

- ・自分自身の見方を考え、他者の意見を取り入れながら想像力を高め、自身の見方や感じ方を深める

今回の授業を通して、考える観点によって見え方が変わることがわかった。過去の歴史、地理的な位置関係、人間と動物の関わり方、宗教的な文化など様々な考え方があった。班の人との交流やクラス内での発表を通して、自分一人では思いつかなかった説に触れることができるとも面白かった。

このような意見は多数見られた。生徒たちは交流を繰り返すことにより、自分自身の見方や考え方を客観視する

ことができたと考えられる。他者の意見やフィードバック,または見方を自らに取り込むことで,一人では考えられなかったであろう深みのある意見に到達することができたと考えられる。

・**人類の創作活動の衝動に触れることで,美術活動と人間との関わりに関心を持つことができる**

この単元目標に関しては,以下のような振り返りが見られた。

今回の授業では洞窟壁画に関して,全員が同じ情報を与えられているにも関わらず,それぞれが考える洞窟壁画の意味はかなり異なっていたし,もし似ていても少しニュアンスが違っていたりしていた。このように,1つの事柄に対して様々な意味をもたせることができたことから,洞窟壁画にはその時の人々の状況に合わせて,様々な意味が持たされていたのではないかと考えた。

今回の授業を通して,今定められている過去への出来事というのは,これまでの人々が,発見された証拠を元に当時の環境や状況などから考察し,断定しているのだろうと考えた。だから歴史は一つの証拠で簡単に一変するかもしれないということが凄いと感じた。

これらの意見は,洞窟壁画の考察および共有を通して,芸術ないしは美術活動とされているものが時代や,発見されたものの影響によって定義されることを理解したことを示している。また,美術活動だけの解釈にとどまらず,古代壁画美術を通して人間の生活,活動まで幅のある気づきを得たことも示していると言えるだろう。これらのような振り返りは多数見られたため,本単元においては単元目標に迫る活動が行われたと考えられる。

単元目標に迫ることができた要因としては,生徒たちそれぞれが資料を基に自由に発想を展開できたことと,その発想を心理的抵抗なく発表したり共有することができたことが大きいと考えている。心理的に抵抗がない状態がかつ,自らの意見をしっかりと考えるような雰囲気や空気感を作るためには,1年次から先を見通した教科指導が必要になるだろう。今回の単元を通して,改めて3年間を見直し,目標やなりたいた姿を想定しながら連続した指導を行うことの大切さを実感することができた。

その目指すべき姿として,本学の「グローバル市民」の育成に関するルーブリックにおける「寛容な人」が当てはまると考えられると共に,目指すべき姿を学校園として定義することの意味や効果を確認することができたと感じる。

自動車の自動走行について考える  
～計測と制御～

授業者 附属池田中学校 浅野浩志

1. 対象 附属池田中学校第3学年D組（36名）

2. 題材目標

・知識及び技能に関して

生活や社会に利用されている計測・制御システムの仕組みを理解する

安全・適切なプログラムの制作，動作確認及びデバック等ができる技能を身に付ける

・思考力，判断力，表現力等に関して

生活や社会の中から情報の技術の見方・考え方を働かせて，問題を見いだして課題を設定し解決する力を身に付ける

・学びに向かう力，人間性等に関して

よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて，自分なりの新しい考え方や捉え方によって課題の解決に主体的に取り組もうとする態度を培う

学習を振り返って改善・修正することで，情報の技術を工夫し創造しようとする態度を培う

3. 指導に当たって

(1) 題材を通して育む「グローバル市民」と学習との関連

①選択項目 探究力のある人

②学習との関連

本校で設定したコモン・ルーブリックでは「自らの問題として，身近なコミュニティから課題を見出し，その解決策に向けて取り組み，振り返りながら追究することができる。」としている。（図1）

そこで，本授業においては身近なコミュニティとして日本における車産業を取り扱い，その中から自動車で使用されている自動運転を基に社会からの要求に基づく利便性，社会経済に及ぼす影響，自然環境並びに情報環境への負荷，安全性などの課題点から解決策を考える取り組みを行い，課題解決におけるプログラミングを難易度に応じて身に付け，振り返りを行っていくことにより，シーズを高め，より高度な問題解決を行えるように学習していくような活動を行った。

コモン・ルーブリック（確定）				
項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと，新たな視点などから目標を持ち，その達成に向けて自主的に取り組み，振り返りながら追究することができる。	これまでの経験や学んだこと，関心の強さなどから目標を持ち，その達成に向けて自主的に取り組み，振り返りながら追究することができる。	これまでの経験や学んだこと，関心の強さなどから目標を持ち，その達成に向けて自主的に取り組み，振り返りながら追究することができる。	これまでの経験や学んだことから目標を持ち，その達成に向けて自主的に取り組み，振り返りながら追究することができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて創造的に物事を考え，周りの人々とつながりながら課題を構想・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え，社会生活の人々との関わりを構想・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え，社会生活の人々と協力して取り組むことができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え，身近な人々と協力して取り組むことができる。
探究力のある人	自らの問題として，身近なコミュニティや社会の出来事から課題を見出し，その解決に向けて取り組み，振り返りながら追究することができる。	自らの問題として，身近なコミュニティから課題を見出し，その解決に向けて取り組み，振り返りながら追究することができる。	自らの問題として，身の回りから課題を見出し，その解決に向けて取り組み，振り返りながら追究することができる。	自らの問題として，身の周りの課題に取り組み，その解決に向けて取り組むことができる。
重厚な人	他者の意見や考え方に対して自らの学習で得た，多様な価値観の理解を深めることができる。	他者の意見や考えに対して，他者の立場や考えを思いやりを持って理解し，自己の考えを深めることができる。	他者の意見や考えに対して，他者の立場や考えを思いやりを持って理解し，自己の考えを深めることができる。	他者の意見や考えに対して，他者の立場や考えを思いやりを持って理解し，自己の考えを深めることができる。

図1 本学校園で制作したコモン・ルーブリック

③目標達成をするために着けるべき力

学習との関連と教科の特性を考え，本学習において目標達成するため用の力を

- ・知識及び技能に基づきよりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて，自分なりの新しい考え方や捉え方によって解決しようとする技術の発達を主体的に支える力
- ・プログラムの制作を通して学習内容と社会との関連を考える時に技術の見方・考え方を働かせ自己調整をしながら最適解を考えるような技術革新を牽引する力

上記の二つに定めた。

## (2) 教材観

中学校技術・家庭科において育成を目指す資質・能力として学習指導要領では、

- ア「なにを理解しているか、何ができるのか（新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実）」
- イ「理解していること・できることをどう使うのか（新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた教科・科目等の新設や目標・内容の見直し）」
- ウ「どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか（主体的・対話的で深い学びの視点からの学習過程の改善）」

の3つに整理された。

また、アの内容で触れられている資質・能力については

- ・生きて働く「知識及び技能」の習得
- ・未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成
- ・学びを人生や社会に活かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養

の3つにまとめられた。

これらの資質・能力を育成するために、本校の技術・家庭科（技術分野）では、座学における知識の定着、実習における正しい技能の習得、そこで得られた知識及び技能を基に、技術の見方・考え方を働かせ、様々な社会の抱えている問題に対し、課題を設定し解決策を模索し最終的に自らの最適解を理論づけて論述、発表するような学習を行っている。技術分野はその教科の特性上、「あるものの探究」ではなく「あるべきものの探究」を行う教科である。そのような学習と教科の特性を踏まえ、技術分野の目標である「技術革新を牽引する力」と「技術の発達を主体的に支える力」の育成につなげたいと考えた。

現在、もしくは未来の日本が抱えている問題として、人口減少による労働人口の減少に伴う労働力の低下や、自然災害に対する防災、少子高齢化に伴う体が不自由な人や高齢者に対する介助、環境問題などが挙げられている。このことは内閣府のホームページや様々なメディアの報道からも見てとれる。

特に人口減少と少子高齢化に伴う労働人口の減少については深刻で、総務省の資料とホームページを基に見てみると、日本の人口は2004年をピークに、今後100年間で100年前（明治時代後半）の水準に戻っていく。1000年単位で見ても類を見ない、極めて急激な現象が起こるとされる。（図2）

### I 新学習指導要領が目指す教育：これからの教育に影響する社会の変化

#### 参考 日本の課題：急激な人口減少と高齢化

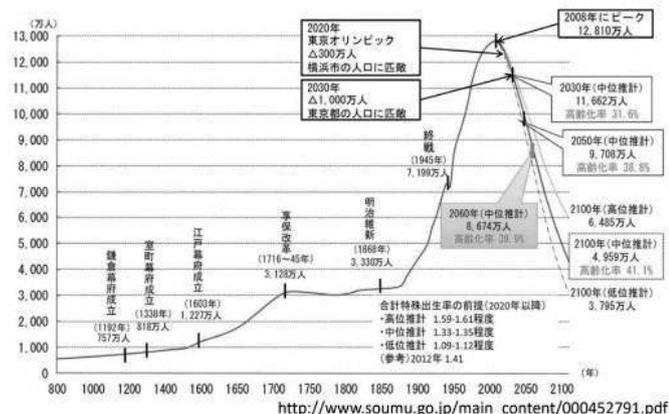


図2 我が国における総人口の長期的推移

そのような中で、旧経済産業省が所管する日本生産性本部が2018年をベースで公表した「OECD加盟国の時間等当たり労働生産性・G7諸国の時間当たり労働生産性の順位の変遷」（図3）とホームページに記載されている記載内容を見てみると、国民1人当たりのGDPにおいて就業1時間当たり46.8ドル（4744円相当）でOECD加盟36か国中21位となりOECD諸国の平均と比較しても平均をより下回っている現状であることがわかる。また、先進7か国（G7）の中では断トツで最下位の状態が続いている。さらに2023年調べでは38か国中30位と状況は年々悪化の一途をたどっている。

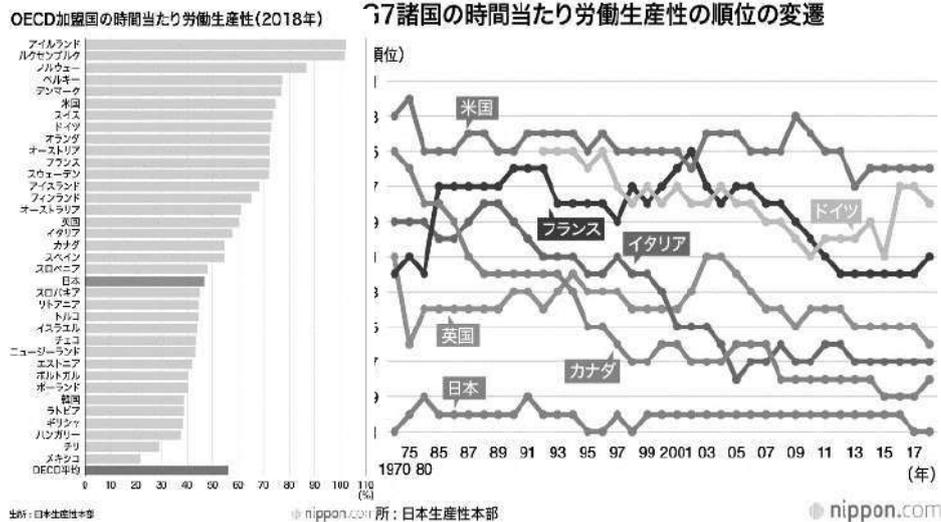


図3 OECD加盟国の時間等当たり労働生産性」

そのような中で問題に対するの打開策が講じられているが、その一つに内閣府から出されたSociety5.0における取り組みがあげられる。Society5.0では、これからの社会をよりよくしていくためには、情報技術に伴うAIやビッグデータ活用が考えられており、少ない労働人口であってもこれらを適切に使用することで「持続可能性と強靭性を備え、国民の安全と安心を確保するとともに、一人一人が多様な幸せ（well-being）を実現できる社会」につながるとされている。

そこで、このような世の中を形成していくために必要な日本のIT人材について経済産業省まとめた「海外IT人材と日本のIT人材のスキル標準レベルの比較」資料（図4）を基にスキル水準レベルについて着目してみると



図4 各国のITスキル標準レベル

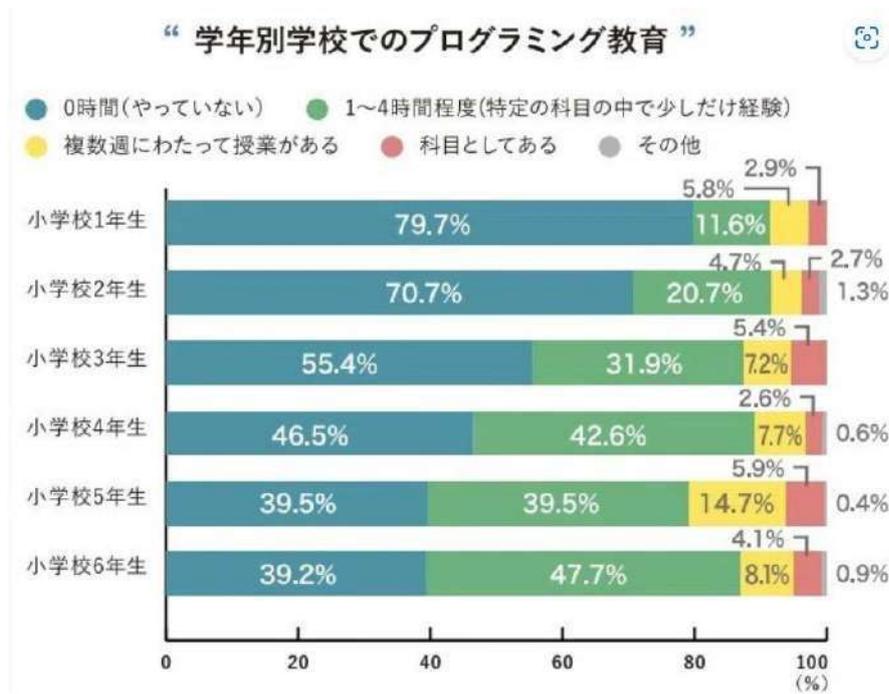
- 【レベル 1】 最低限求められる基礎知識を有している人材
- 【レベル 2】 基本的知識・技能を有している人材
- 【レベル 3】 応用的知識・技能を有している人材
- 【レベル 4】 高度な知識・技能を有している人材
- 【レベル 5】 企業内のハイエンドプレーヤー
- 【レベル 6】 国内のハイエンドプレーヤー
- 【レベル 7】 国内のハイエンドプレーヤーかつ世界で通用するプレーヤー

のq7段階にレベル分けされていることが見て取れる。そのレベルについて各国と日本のスキルレベルを比較していくと、米国は「高度な知識・技能を有している人材」のレベルに回答者の平均レベルに到達していることがわかる。また、インドや中国においては「応用的知識・技能を有している人材」の後半に平均レベルが到達していることがわかるが、日本においては、「応用的知識・技能を有している人材」の前半にとどまっている状態であり、世界的な規模でみてもレベルアップが必要な状況であることが見て取れる。また、「ビッグデータ」「IoT」「人工知能」をになう人材においても経済産業省が出している「IT人材育成の状況等について」を参考に見てみると2020年時点で19.3万人が不足されていると試算されており、我が国における高い情報活用能力を持った人材の育成が必要不可欠であることがわかる。そのような中で小学校では2020年から小学校においてプログラミング教育が必修化され、高校では2022年に共通科目「情報I」が新設され、プログラミングを含む情報システム科目が必修化された。さらに2025年から大学の共通テストに「情報」が新設され受験の必要科目となる予定である。そのような中で、中学校技術分野では2021年から「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング」と「計測・制御のプログラミング」が必修化されている。このことから、中学校技術・家庭科（技術分野）における計測・制御のプログラミングを学ぶことが必要であり。これからの日本を支える技術としてとても重要な要素であると考ええる。

学習の仕方考えたときに前述した様に社会はいろいろな問題を抱えており、VUCAと呼ばれる時代に突入したと言われている。VUCAとはVolatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）の頭文字をとった造語で、世界全体が極めて予測困難な状況に直面しているという時代認識でもある。急速に進んだグローバル化の中で日本もこの環境に翻弄されることは予想されるが、これらのすべては日本文化がすでに内包してきた特徴であり、変化に寄り添い（Volatility）不確実なもの遊び（Uncertainty）複雑さを暮らしに生かし（Complexity）曖昧さを共有（Ambiguity）してきた。そのような時代を生きていく子どもたちには、よりその時代の問題を解決していく力が求められており、既知の知識と技術を組み合わせ、個人で考えることと他者と対話し協働的に問題に取り組むことで考えを深め、技術の見方・考え方を働かせ問題を解決するために最適解を見出していくことが重要である。このように主体的な学習、対話的な学習を通し深い学びにつなげていき、その学びを実生活につなげ社会の問題を解決し持続可能な社会築いていくことが必要であると考えられる。

### （3）生徒観

小学校におけるプログラミングが2020年に必修化されたが、この数年間にプログラミング学習を小学校で行われていないケースもあり、全国的に問題となっている。実際に学校の教育支援を行っている企業である「みんなのコード」が全国の小学校教員1037名を対象に令和3年に行ったアンケートでは下記のような結果が得られている。（図5）



学年別学校でのプログラミング教育/みらいコード(2023.5.16閲覧)

図5 小学校で行った学年別学校でのプログラミング教育の実施状況 (令和3年度)

この調査から令和3年度時点で小学6年生の約6割の児童が1時間以上経験していると答えている一方、行っていないと回答している割合が4割弱あり、中学校に未履修で上がってきているケースも多く見受けられてしまっている。この調査から3年たち少しは現状において改善が図られているとは思われるが、この時に同時に行った、プログラミング学習における難しさについて調べられた内容では、「一人一台端末はあるがネットワークの設備が充実していない」などの設備によることや「教員の手が回らず専門知識がない」「どのような教材を使用したらいいかわからない」などの教えるべき内容の難しさと教員の指導力が影響していると理由で述べられていた。さらにNPO情報セキュリティフォーラムが令和3年度に実施した調査において、教員対象のプログラミング教育の概要に関する研修はあるか?という質問に対して回答した小学校80校中、24校が実施していると答えたのに対して56校は実施していないとなっており、教員が情報に関する知識をえられる場においても十分ではなく現在過渡期であるという事実がアンケートからもうかがえる。ここ数年間、本校においても授業を行う中で、生徒が小学校で履修していない状態もしくは履修したことを忘れていた状態で中学校に上がってきているケースも多々見受けられ、生徒自身が持っている能力や技能が「わかっている者、できる者」と「学習をしてきていない、わからない者」で二極化していると感じていた。そこで今年度の生徒の現状を把握する為にアンケートを実施した。すると下記のような結果が得られた。

**質問1 小学校の授業でのプログラミング学習の状況**

しっかりと学習した	学習を行った	学習をしたがあまり記憶に残っていない	学習をしていない
4.1%	28.8%	47.9%	19.2%

このことから、小学校で必修化されたにもかかわらず約20%の生徒が学習を履修していないもしくは、生徒が履修したことを覚えていない状態であることがわかる。また、学習をしていても約50%の生徒が、学習内容が記憶に残っていないことがわかった。

そのような中で、どの程度、内容を把握できているかを確認するために次のような質問を行った。

**質問2 「順次処理」「条件分岐」「条件繰り返し」などのプログラムを基本的に構成する構造を理解している。**

理解している	なんとなくではあるが理解できている	あまり理解できていない	知らない・わからない・理解できていない
9.6%	27.4%	31.5%	31.5%

このことから、プログラムを構成する代表的な要素を約6割の生徒が理解できていないことがわかった。次に生徒達がどれくらいプログラミングについて必要性を感じているかを確認するために下記の複数の質問を行った。

**質問3 これからの日本の社会（少子高齢化や災害対策、外交問題などの予測が困難とされる社会）においてAIやビッグデータの活用は必要不可欠だ。**

必要不可欠だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらかといえば必要ではない	必要ではない
74%	24.7%	1.3%	0%

**質問4 普段生活をしていて、電化製品や携帯電話、タブレット等を使用しているときにプログラムが作動していると意識をしたことがある。**

よくある	たまにある	ない・考えたこともない
20.5%	39.7%	39.8%

**質問5 これからの社会を生きていくためにプログラミングについての力の必要性**

プログラムをくみ上げる力が必要	プログラムがどのように作動しているのか理解する力が必要	プログラミングについて詳しい理解は必要ないが、電化製品等で作動していることを気づける力が必要	あまり必要だとは思わない
30.1%	52.1%	12.3%	5.5%

質問の結果から、多くの生徒がこれからの社会を生きていく上で情報の技術が必要だと感じていること、その中でプログラミングについては、作動原理の把握以上の理解を必要だと感じている生徒が80%以上いることがうかがえる。しかしながら、日常生活でプログラミングが動いていることを意識したことがない生徒が約4割いることもわかった。

これらのアンケートの結果から、プログラミング学習の必要性は感じており、高い関心を持っていることがわかる。しかし、その関心に対応できるほど学習については十分ではなく、またその学習レベルの低さに起因される日常生活や社会への結びつきが弱いことがうかがえる。この状態をそのまま継続してしまうと、技術の概念の理解が進まず、技術がブラックボックス化していってしまうことが想像できる。

**(4) 指導観**

これまで、1年生の時にに行った材料と加工の技術では身の回りの生活における問題解決を行い、2年生に行ったエネルギー変換の学習では前半に身の回りの安全を考えた学習を、後半に発電を通した社会全体に対する問題解決を行う学習を行ってきた。また、3年生前半の生物育成の学習では食料自給率に

着目し社会全体の問題を解決できるような学習を行ってきた。そこで3年生の後半に当たる情報の技術においても社会全体につながるように目線を広げた学習を行いたいと考えた。また、エネルギー変換の学習において自動車等のトルクを題材とした学習を行っており動力機構を考えての問題解決を行った。そこで、エネルギー変換の技術との学習の流れを考えるとともに社会全体の問題を解決できるように、本題材は自動車を用いて行うように考えた。その中で、車の自動運転を考えた学習に取り組みさせることとした。

実際に近年、自動車の自動運転化は日々進歩しており、日本においては「条件付き自動運転車レベルの自動車」が実現されている。この条件付きとは「決められた条件下で、すべての運転操作を自動化できる。ただし、運転自動化システムの作動中も、システムからの要請でドライバーはいつでも運転に戻らなければならない。」というレベルである。実際に現在の自動車を例に考えると、高速道路などの信号がなく車の進行方向が決まっており、不測の事態が起こりにくい状況においてはほぼ自動化ができており、人がアクセルやブレーキを踏んだりハンドル操作をしたりしなくても安全に走行できるようになっている。また、町中で決められたスペースに駐車を行いたい場合などでは、ナビゲーション画面に映し出される周囲の映像に指で駐車したい位置をなぞるだけでハンドル操作やアクセル・ブレーキの操作を行ってくれることができるようになった。このことから生徒が大人になり車を買う頃には、「決められた条件下すべての運転操作を自動化」できたり、「条件なくすべての運転操作を自動化」できたりするような世の中になっていくことが予想される。そのような状況になった時に技術をブラックボックス化させないためにも良い学習題材だと考えた。

また、生徒の学習の状況を踏まえると、プログラミング学習の習熟度の差があることがわかっている。そこで、タイピング能力や英語力が影響するテキストタイプを扱うものよりも簡素化されたものを取り扱う方が良いと判断した。日本語を素体としたプログラミング言語の使用も考えたが、間違いに気づきにくくデバッグの困難さが予想されるためにテキストタイプのものでなく視覚的に把握しやすいものを選択した。以上の条件を満たす教材として、ライントレースができること、ライントレース以外のセンサ（対物センサ）が付いていること、ブロックタイプのプログラミングができること、ブロックタイプのプログラミングをすぐにテキストタイプに変更できることを理由に教材としてmBotを使用することにした。このmBotを制御するソフトはオンライン対応とインストールして使用するプログラム対応の両方がある。そのため、本校で使用するだけでなく、他の中学校で使用したとしても使用できる環境を整えやすい特徴がある。さらに、mBotでの実機を使った実習を行う前に、パソコン上でシミュレータ用のプログラムを作り、動かすことで学習の流れを把握しやすくなり、プログラム経験が少ない生徒でも学習につなげやすくなるとともに、そのシミュレータのプログラムを実際のロボットに入れて動かしたときに、センサの感度やモーターの出力が原因でうまく走らない状況が生じるが、プログラムを改良し最適解を探すようにデバッグすることで目的を果たせるように改良を繰り返していくことで問題解決を行えるようにしたいと考えた。

また学習全体の流れとして、大阪府の技術・家庭科研究会で研究されている解の再考ワークシートの流れを用いようと考えた。

### 「解の再考ワークシート」について

図6は生徒から見た場合の「解の再考ワークシート」の構成、図7は教師から見た場合の「解の再考ワークシート」構造である。

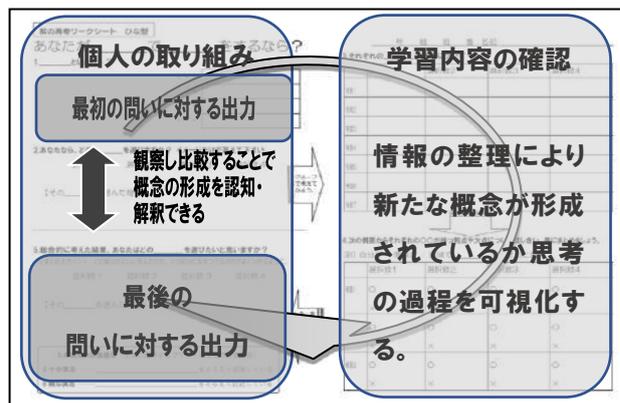
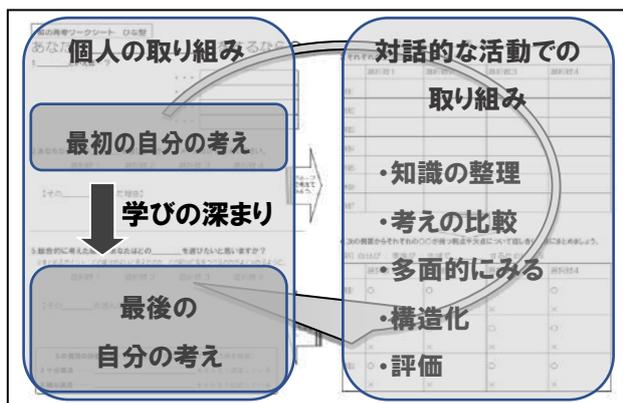


図6 生徒から見た「解の再考ワークシート」の構成

図7 教師から見た「解の再考ワークシート」の構造

続いて「解の再考ワークシート」を活用した学習活動の機能・役割・要件について説明する。

### (1) 「解の再考ワークシート」の機能

「解の再考ワークシート」は、学習活動前と学習活動後に同じ問いかけを行う。生徒が情報を観察し、その変化を認知し、新たな知識や視点に基づいて問題や課題を解釈する過程が、ワークシート左側の上下の回答の変化に反映される。教師はこれによって、生徒がどのように情報を理解し、自分なりの見解に昇華させているかを把握することができる。

### (2) 「解の再考ワークシート」の役割

「解の再考ワークシート」を活用し、見方・考え方を働かせ、問題を見いだして課題を設定し解決するような学習活動を行う。このような実践的・体験的な活動に取り組むことで、思考力・判断力・表現力等の育成を図ることができる。

また、発達の段階に応じて、問題を見いだす範囲を生徒の生活範囲から社会に広げたり、他者と協働して粘り強く物事を前に進めたりすることで、生活や技術を工夫し創造する態度が育成できる。

### (3) 「解の再考ワークシート」の要件

「解の再考ワークシート」を学習活動の中で有効に機能させる手段とするには、ワークシートの左側に学習活動前と学習活動後の、生徒が身近に感じる生活や社会をテーマにした質問が必要である。具体的には、「～と聞いてイメージできることは？」などの概念を問うような問いかけや、「もしあなたが～の立場なら？」などのパフォーマンス課題を意識した発問が考えられる。

ワークシートの右側の学習活動では、見方・考え方を働かせ、概念の形成やパフォーマンス課題に関わる知識を調べ学習などを通して獲得したり、グループ活動や発表等を行ったりすることで、自分の意見と他者の意見を共有し知見を広げる。この時、思考ツール等で情報をより分かりやすく整理し、新たな価値に気づきやすくする。

このような流れで学習することにより、ワークシート内で学びのラーニングコンパスの構造を実現している。そこで本授業においては、このワークシートの右側の部分の学習を体験的、実践的な問題解決の活動に置き換えることにより、ワークシートの持つ機能・役割・要件を維持しつつ、実践的、体験的な活動を含めた資質・能力の育成に取り組めるのではないかと考えた。これらの学習をスムーズに行うために、学習用情報共有ツールであるロイロノートを使用することで解の再考ワークシートをデジタル化することとした。

#### 4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>生活や社会に利用されている計測・制御システムの仕組みについて理解している</li> <li>安全・適切なプログラムの制作，動作確認及びデバック等ができる技能を身に付けている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活や社会の中から情報の技術の見方・考え方を働かせて，問題を見いだして課題を設定し解決する力を身に付けている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて，自分なりの新しい考え方や捉え方によって課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，情報の技術を工夫し創造しようとしている</li> </ul>

#### 5. 題材の指導計画（全6時間）

時間	学習活動	評価の観点		
		知技	思考	態度
1 D(3)ア	計測・制御における基礎的なプログラムの組み方について調べる。	生活や社会に利用されている計測・制御システムの仕組みについて説明できる。 ◇ワークシート		
2, 3 D(3)ア	プログラム上で使用するロボットのシミュレータを使用し安全、適切なプログラムの製作，動作の確認し必要に応じ改善・修正する。（デバック）	ロボットのシミュレータを使用し，課題を解決するため，安全・適切なプログラムの制作，動作確認及びデバック等ができる。 ◇プログラミング		与えられた課題を自分なりの新しい考え方や捉え方によって課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，情報の技術を工夫し創造しようとしている。 ◇ワークシート （形成的評価）
4, 5 D(3) ア, イ 本時	mBot を使用し所定のコースを安定性をもって走り切れるように安全、適切なプログラムの製作，動作の確認し必要に応じ改善・修正する。（デバック）	シミュレータと現実との違いを意識して，課題を解決する安全・適切なプログラムの制作，動作確認及びデバック等ができる。 ◇プログラムと実際	プログラムを構築しながら技術の見方・考え方を働かせて課題を解決する方法を設計することができる。 ワークシート （形成的評価）	与えられた課題を自分なりの新しい考え方や捉え方によって課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，情報の技術を

		のロボットの様子 ロイロノート		工夫し創造しよう としている。 ◇ワークシート
6 D(3) イ	これまでの学習を基に、情報の技術に関わる製品（自動車）を選択・運用することができる。		生活や社会の中から情報の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を設定し解決する方法について説明できる。 ◇ワークシート	自分なりの新しい考え方や捉え方によって課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、情報の技術を工夫し創造しようとしている。 ◇ワークシート (解の再考ワークシート)

## 6. 本時の展開

### (1) 本時の目標

#### 知識及び技能について

安全・適切なプログラムの制作，動作な確認及びデバック等ができる技能を身に付ける。

#### 学びに向かう力・人間性等

自分なりの新しい考え方や捉え方によって課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、情報の技術を工夫し創造する態度を培う。

### (2) 本時の評価規準

- ・所定のコースを安定性やスピードを考えて走らせる技能を身に付けている。（知識・技能）
- ・プログラムを作成する上での工夫や自己調整（振り返り改善する活動）を行ったことについて分析することができる。

（主体的に学習に取り組む態度）

### (3) 本時の学習とコモン・ルーブリックとの関連

①項目 探究力のある人

②内容

実習における実践的・体験的な活動を通し、問題解決に向けて自己調整をしながら粘り強く学習に取り組むことができる。

### (4) 展開

学習過程	学習活動および内容	指導上の留意点	評価の観点・方法
------	-----------	---------	----------

<p>導入 7分</p>	<p>前時の振り返り パソコン上で作ったシミュレータ用のプログラムで学習したことを確認する。また、展開の部分で示している課題レベルについて確認する。</p>	<p>前回の時間に自分たちの班がどこまでできているのかを確認させる。</p>	
<p>展開 38分</p>	<p>課題のレベルを設定し、簡単な課題から順番に班ごとに学習を行う。 (前の時間からの続き) レベル1 mBotの上面のボタンが押されたら上部の2つのLEDを赤色、緑色、青色、黄色、水色、紫色、の順に1秒間隔で光らせましょう。 レベル2 自動車のエマージェンシーブレーキ 【初級】「自動ブレーキでmBotを止めてみよう mBotの上部のボタンを押したらmBotを走らせ壁にぶつかる手前10cm以内で止めることができるようにしましょう。 レベル3 高速道路での車線に沿って走る車 【中級】「センサのコントロールをしてみよう」 (1)ライントレーサを使い、mBotが白い床の上を30秒走り続けることができるようにしましょう。 (2)2つのセンサを使い、mBotが障害物のある白い床の上を30秒以上走り続けることができるようにしましょう。 レベル4 【上級】ライントレースをしてみよう 1.ライントレーサを使い、8の字の上を走り続けることができるようにしましょう。 レベル5 【超上級】鈴鹿サーキットを1周走り続けることができるようにしましょう</p>	<p>班ごとにそれぞれの課題に対して、成功した物のプログラムと車体の動きを写真と動画に取らせ、ロイロノートの振り返りシートに貼らせる。この時プログラムで工夫したこと、車や身の回りの製品のどのような部分に使用されているプログラムに似ているかを記入させる。</p>	<p>ロイロノートで提出されたワークシート  ・組まれたプログラムと車体の動画 (知識・技能) ・プログラムを工夫し改良した部分に対する記述。 ・身の回りの製品のどのような部分に使用されているか (主体的に学習に取り組む態度)</p>

ま と め  5 分	今回行った作業についての記述をまとめ、ロイロノートで提出する。	・記入することのについて書く内容を確認させる。	
---------------------------	---------------------------------	-------------------------	--

#### (4) 準備物

- ・パソコン室パソコン (windows) 9 台
- ・mBot 9 台
- ・Chromebook (生徒各自)
- ・ロイロノート上でのワークシート

#### 7. 参考文献

- ・文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 技術・家庭科』平成30年
- ・国立教育政策研究所教育課程センター『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 技術・家庭科】』令和2年3月
- ・文部科学省『新学習指導要領における技術分野の指導』上野耕史講演会資料 令和3年
- ・全日本中学校技術・家庭科研究会『理論と実践 NO56 NO.57 NO.59』平成30年6月，令和元年6月，令和3年6月
- ・近畿中学校技術・家庭科研究会『第56回近畿地区中学校技術・家庭科研究大会 大阪大会要録』平成29年11月
- ・近畿中学校技術・家庭科研究会『第61回近畿地区中学校技術・家庭科委研究大会 大阪大会要録』令和5年11月
- ・産業技術教育学会 第64回全国大会(北海道)学会要項 2C32 自動運転自動車をイメージする mblt 実習 ○北埜 貴文 (河内長野市立美加の台中学校) 浅野浩志 (大阪教育大学附属池田中学校) 令和3年8月
- ・内閣府 日本を語り継ぐために [https://www.cao.go.jp/cool\\_japan/report/pdf/vision\\_2-6.pdf](https://www.cao.go.jp/cool_japan/report/pdf/vision_2-6.pdf)  
2018年3月30日
- ・内閣府 Society5.0 [https://www8.cao.go.jp/cstp/society5\\_0/index.html](https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html)
- ・文部科学省 第1章 情報化の進展と教育の情報化  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shotou/056/shiryo/attach/1249666.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/056/shiryo/attach/1249666.htm)
- ・経済産業省 IT人材育成の状況等  
[https://www.meti.go.jp/shingikai/economy/daiyoji\\_sangyo\\_skill/pdf/001\\_s03\\_00.pdf](https://www.meti.go.jp/shingikai/economy/daiyoji_sangyo_skill/pdf/001_s03_00.pdf)
- ・日本生産性本部 労働生産性の国際比較  
<https://www.jpc-net.jp/research/detail/006714.html>
- ・総務省 我が国における総人口の長期的推移  
[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000273900.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000273900.pdf)
- ・みんなのコード 情報教育 実態調査報告書  
<https://speakerdeck.com/codeforeveryone/programmingeducationreport2021>  
2021年11月

## 8、成果と課題

本授業の実践において生徒は次のようなワークシートの結果が得られた。

情報（計測と制御）・絶賛

組 番 氏名 ( )

もしあなたが7年後に自動車会社のプログラミングにかかわる部署に就職したとしてどのレベルの車を作ろうと考えるか。理由も書きなさい

- 1、一部分を自動化した人が運転する車 (高速道路などの限られた範囲)
- 2、コンピュータと人の運転が切り替えられる半自動運転 (すべての公道)
- 3、すべての動作を全自動 (すべての公道)

基本的に自動運転でコンピュータが運転してくれるけど、事故があったときや車が故障したときに、全自動だと誰の出す責任があるかわからないし動かさなくなると事故が起きたりするかもしれないので、そのときは手動に切り替えて運転できるようにしたほうがいいと思う。

もしあなたが7年後に自動車会社のプログラミングにかかわる部署に就職したとしてどのレベルの車を作ろうと考えるか。理由も書きなさい。(見方・考え方を問はせること)

- 1、一部分を自動化した人が運転する車 (高速道路などの限られた範囲)
- 2、コンピュータと人の運転が切り替えられる半自動運転 (すべての公道)
- 3、すべての動作を全自動 (すべての公道)

プログラミングを使って実際に車を動かして、確かに複雑な道を走ることはできた。そのときに、「もし○○なら～でなければ～」というものを使うと、作る側の人間も「でなければ」のあとに項目を作らないといけないという手配が増えるし、使う側もどこまでその制御を「もし」でくくっているのかわからず混乱してバグってしまったりするので、メリットがあまりなかった。このことから、プログラミングはなるべくシンプルにしたほうがいいと思った。そして、全自動の車を作ることと、使う人は車もかまわないが、その分粗まないといいないプログラムが増える。複雑になると思うので、作る側の人間が増えてしまったり考えた。それに伴って車の制御も上がらなくて、使う側が求める以上の制御がくくられていくことになるかなと思った。そして、授業で実際にプログラミングをやっていても、バグが起きたり制御が働かないことがあり、全自動にするとそのリスクが増えるのと同じ危険性が高いと思う。

そこで、1の一部分が自動の人が運転する車というのがいいと思うかも、コンピュータが運転すると事故距離を減らしたり加速やブレーキなどを効率よく行ってくれるので、人が運転するよりもCO2の排出量が減るかな、環境に優しい。

機械の電子制御において機器を動かすプログラムを制作する時にどの様なことを考えなければいけないか。

なるべくコンピュータの混乱を防ぐようにすることを意識しないといけないと思う。授業でmBotを動かすプログラムを組んだとき、「もし○○なら、でなければ～」という項目を使うと、どこまでくくっているのかわからなくてコンピュータが混乱してしまったりに繋がるといふことを知り、シンプルに「もし○○なら」だけで組むことができるものはそれをいい、無駄に複雑にはしないようにすることが大切だと思った。

また、前に進ませるといふ命令でも、「前に○%の速さで動かす」というものと「前に○%の速さで○○秒動かす」という一見同じに見えても少し違う項目があり、これらの使い分けを意識しておく必要があると思った。実際に授業で八の字を走らせたとき、「前に○%の速さで○○秒動かす」だと走り終わらなくて「前に○%の速さで動かす」にすると走り終わった。なので、一見同じような命令を出すものに見えても、それぞれがどのような動きをするのかを考えたうえで適切に選択し、コンピュータが読み取りやすいプログラムを作ることが大切だと思った。

図8 生徒の解の再考の記述例

課題1 ラインで止めよう	課題2 円のコース	課題3 8の字コース	課題4 鈴鹿サーキット
プログラムの書き込み	プログラムの書き込み	プログラムの書き込み	プログラムの書き込み
結果の動画	結果の動画	結果の動画	結果の動画
どの様にプログラムを改良したか 歩数を増やして速度を上げ、止まる位置の色を変えることでちょうどいい時の隙に止められるようにした。	どの様にプログラムを改良したか 元の「ラインで止めよう」と同じ様に真っ黒に塗られたように、止まる位置の色を変え、黒い線に沿って止まるようにする角度を調整した。また、目標タイムも考慮し、角度も前回調整した。	どの様にプログラムを改良したか 元の2つは違い、黒い線がぬぶところがあるので、今までのように反転しないよう、今までの方には反転せずに角度、速度、止まる位置の色も前回と変えて調整した。	どの様にプログラムを改良したか 目標タイムは気にせずに、左の八の字をもう一つ、曲がる角度を調整した。また、角度が一度で足りなくて曲がらないうちに角度を調整して、止まる位置の色も前回と変えて調整した。
授業時の工夫 どタビと止まるのを、目標タイムを考慮して止まる位置をあらかじめ決めておくことで、止まる位置の色を変えて、黒い線に沿って止まるようにした。	授業時の工夫 コースが曲線でもできているのできちんと曲がれるように、速さと角度を調整した。	授業時の工夫 真っ黒に塗られた位置で止まるように、止まる位置の色をあらかじめ決めておくことで、止まる位置の色を変えて、黒い線に沿って止まるようにした。	授業時の工夫 曲がる角度が一度で足りなくなると調整してしまったり、右回りか左回りの角度をそれぞれ同じにしたので角度をそれぞれ変えて調整した。
プログラムの書き込み	プログラムの書き込み	プログラムの書き込み	プログラムの書き込み
結果の動画	結果の動画	結果の動画	結果の動画
どの様にプログラムを改良したか ・パンダが白色ではなく黒色に触れたら止まるようにした ・速度を速くした	どの様にプログラムを改良したか ・パンダが白色に触れたら曲がるようにした ・水色だけでなく、緑色に触れても止まるようにした	どの様にプログラムを改良したか ・パンダが白色に触れたら曲がるようにした ・水色だけでなく、黒色に触れても止まるようにした ・曲がる角度を急にする事で曲線が曲がる時のスピードを速くした	どの様にプログラムを改良したか ・パンダが白色に触れたら曲がるようにした ・水色だけでなく、黒色に触れても止まるようにした ・曲がる角度を急にする事で曲線が曲がる時のスピードを速くした
授業時の工夫 1歩ずつではなく5歩ずつにすることで速度を上げた	授業時の工夫 速度が速すぎると曲がりきれず道から外れてしまうようにした	授業時の工夫 速度が速すぎると曲がりきれず道から外れてしまうので調整した	授業時の工夫 速度が速すぎると曲がりきれず道から外れてしまうので調整したこのコースは他のものよりも動きが複雑になるので他のより曲がり角度を調整した

図9 生徒が行った題材の問題解決

これらのワークシートの内容を見てみると授業前では「もし7年後に自動車会社のプログラミング部門に関する部署に就職したとして、どのレベルの車を作ろうと思うか」という問いに対して、図8の上部のように、技術の見方・考え方のうち1つもしくは2つ程度の見方しか働かすことができずに書いている生徒がほとんどだった。それを、図9のような、コンピュータ上で行うシミュレーションのプログラム学習や、実際にロボット(mBot)を使用してセンサを使用した学習を行うことで、社会の問題から課題を設定し解決していく姿がみとることができた。また、それらの学習を行った後に、授業前と同じ発問を問いかけると、「全自動の車を作ろうとすると使う人は便利かもしれないが作り手側の手間が増えてしまう」など同じユーザー側の立場だけではなく生産者の立場に立った意見や「車の価格がプログラムを複雑にするほど人件費等がかかるために高価になってしまう。」「バグが起これば正常に稼働しないことがあると事故が起こる危険性が増しリスクを増やしてしまう」「全自動にするが無駄にアクセルを吹かしたりブレーキを踏んだりするためにエネルギーの無駄をなくし環境への負荷を減らすことができる」などの様々な側面から問題に取り組み、自分なりの最適解を考えている姿が多くみられた。また、「機械の電子制御において機器を動かすプログラムを制作する時にどの様なことを考えなければいけないか」という問いに対して、「製作者ができるレベルと世間が必要としているレベルのバランスを考える必要がある。」などの物づくりのトリプルループモデルに気付くような解答や、「新たなものを生み出す際に、制作とデバッグを繰り返す必要がある」「あってほしいもの、行いたいことを実現するためにトライ&エラーが必要だが、それを何度も繰り返すことで、新しい技術が生まれる原動力になると思う」というような記述が見られた。これらの記述からも、今回の授業の実践を通して、学習指導要領における技術科の目標である技術革新を牽引する力(技術イノベーション)と技術の発達を主体的に支

える力（技術ガバナンス）が育成できていると言える。

また、この授業実践における生徒の姿は、本校で設定したコモン・ルーブリックにおける「自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決策に向けて取り組み、振り返りながら追究することができる。」という姿そのものであると言える。

## Connection: My Hometown, My Action

授業者 附属池田中学校 中田未来

### 1. 対象 附属池田中学校第1学年C組(36名)

### 2. 単元目標

#### ・知識及び技能に関して

- 疑問詞や動詞の時制(主に現在形や過去形)の特徴やきまりを理解し、それらを活用して、日常的な話題(世界の町や学校)に関する英文の内容を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付ける。
- 疑問詞や動詞の時制(主に現在形や過去形)の特徴やきまりを理解し、それらを活用して、日常的な話題(自分の町や行動)について考えたことや、感じたこと、その理由などを英語で即興で伝えあったり、話したりする技能を身に付ける。

#### ・思考力、判断力、表現力等に関して

- 世界の町のよさや課題、課題解決のための行動について知るために、世界の町について書かれた英文を読んだり、ニュース等の音声を聞いたりして、概要を捉えることができるようにする。「読むこと」(イ)・「聞くこと」(イ)
- 自分と社会との繋がりについての理解を深めるために、自分の町のよさや課題、課題解決のための行動について、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。「話すこと(発表)」(ウ)
- 即興的に話す力を高めるために、プレゼンテーションで聞いた内容について、自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて質問したり、答えたりすることができるようにする。「話すこと(やり取り)」(イ)

#### ・学びに向かう力、人間性等に関して

- 自分と社会との繋がりについての理解を深めるために、世界の町のよさや課題、課題解決のための行動についてどんな例があるのかを整理し、日本との文化的差異に対する理解を深め、聞き手である外国の人に配慮しながら、簡単な語句や文を用いて伝えようとしたり、相手からの質問に主体的に答えようとしたりする態度を養う。

### 3. 指導に当たって

#### (1) 単元を通して育む「グローバル市民」と学習との関連

##### ① 選択項目「主体的な人」

これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。

##### ② 学習との関連

本単元は、“Developing a meaningful connection with our community through thoughtful actions and careful word choice strengthens our civic responsibility.”を探究テーマとし、グローバル市民としての自分の属するコミュニティと自分自身の繋がりを捉え直し、より良いコミュニティ作りに向けて行動したことについて英語で表現し、発信をする単元である。この単元は、総合的な学習の時間との横断授業である。

本校は、IB World School 認定校であり、そのカリキュラムの一環として、Service as Action(以下、SA)を各学年の総合的な学習の時間に行っている。SAとは「この社会の一員として中学生の自分たちには

何ができるのかを自ら考え、自分たちで実行する奉仕活動」のことである。1年次は自分に関わりのある地域に対する SA として、生徒1人でできる小さな行動をする。2年、3年と学年が上がるにつれ、より広いコミュニティへの奉仕活動を行う。3年次はコミュニティプロジェクトとして約8ヶ月にわたり、数名のグループで日本や世界の抱える課題解決に向けた行動をする。

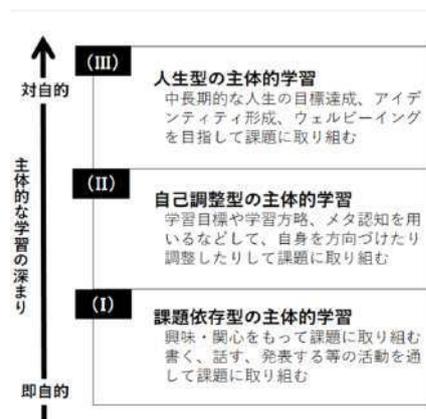
1年生ではSAの目的を「①自分に関わりのある町の良さと課題に気づく」「②6月に実施した神戸研修で学んだ探究のサイクル(調査,計画,行動,振り返り)を元に、課題解決能力の基盤を育成する」とし、7月から9月にかけて行った。総合的な学習の時間に行った SA の流れは以下の通りである。

時期	授業数	内容	探究学習の大まかな段階
7月上旬	1コマ	SA オリエンテーション	調査,計画
7月中旬	2コマ	個人探究テーマの設定 発表スライド作成についての説明 発表スライド作成	
8月下旬	1コマ	発表スライド作成 行動計画提出	
9月上旬	1コマ	中間発表(3学年縦割り) *調査,行動の計画について3~5分間 日本語でのプレゼンテーションを行う	行動
行動計画提出後 ~9月中旬	授業外	行動	
9月中旬	1コマ	中間発表振り返り 最終発表資料加筆修正	
10月初旬	2コマ	最終発表資料加筆修正	振り返り
10月18日	1コマ	最終発表(3学年縦割り) *調査,計画,行動,振り返りについて 5分間,日本語でのプレゼンテーションを 行う	
10月25日	1コマ	振り返り	

上記のように、生徒は総合的な学習の時間において日本語で、5分間のプレゼンテーションを行なっている。そこで英語科の授業では、これを海外の人や、日本に住む英語話者に届けるために、Introduction(導入),Body(本文),Conclusion(結論)の構成で英語のプレゼンテーションを行う。また、簡単なディスコースマーカーを使い、聞き手にわかりやすく話すよう工夫する。プレゼンテーションの内容について深める際に生徒は、既習の語彙や文法知識を活用しながら、「聞き手に理解しやすい」構成とはどのようなものか、またどのように話せば聞き手に伝わりやすいのかについて、教師や生徒同士のやりとりを通して考える。したがって、これまでに学んだことをもとに、目標達成に向け、自主的に粘り強く取り組む活動を目的としているため、「主体的な人」を目標とした。

また、本取組は課題依存型の主体的学習ではなく、自己調整型の主体的学習を促したい。課題依存型の主体的学習とは、「この課題に取り組むのはおもしろい」といった例に見られるように、行為者の課題への働きかけの力点が、行為者よりも課題のほうにあるような学習を指す。(溝上 2017)一方で、自己調整型の主体

的学習とは、自ら生徒自ら学習目標を設定し、学習戦略を考え、学習過程を振り返り、メタ認知的に学習することによって自己調整していく学びのことである。これを促すため生徒は、毎回の授業の最後に「本時の授業で最も大切だと思ったこと」について OPP シート<sup>注1)</sup>に記入し、振り返りをする。教師は毎授業後、生徒の OPP シートの記述に対してコメントを書く。このような教師とのやりとりを通して生徒は、自分の思考に対する思考、すなわちメタ認知を高める。このような過程を通して、生徒が自己調整しながら目標の達成に向けて自主的に粘り強く取り組む姿勢を養う。



主体的学習スペクトラム(溝上 1997)

注1) OPP シート

One Page Portfolio Assessment に用いるシートのことである。これは、学習者が 1 枚のシートに学習履歴を記録することで、学びを外化し、可視化する役割を果たす。

### ③目標達成するために身につけるべき力

- ・振り返り、自己調整する力
- ・粘り強く取り組む中で、上手に失敗をする力

ここでの「上手に失敗する」とは間違いを恐れず、間違いを自身とクラスメイトの成長のための貴重な学びとして捉え、クラスメイトからも学ぶことを意味する。

## (2)教材観

本単元では、イギリス、アメリカ、日本の日常生活や文化について読んだり聞いたりする学習を通して、自分にゆかりのある町についての事実や思いを伝え合う単元である。そこで自分の町の良い点と課題、課題解決のために自分が行動したことについてプレゼンテーションをし、その内容について簡単な質疑応答を行うことを話すこと[発表]、話すこと[やり取り]の総括的課題として設定した。

以下は、プレゼンテーションの状況を具体的に設定した GRASPS (Goal, Role, Audience, Situation, Product, Standard の頭文字をとったもの)である。

Goal (目的)	思慮深い行動と言葉の選択を通じてコミュニティとの有意義なつながりを築くことは、市民として自覚を芽生えさせることについての理解を深める
Role (役割)	中学1年生
Audience (聞き手)	世界の IB 校の中学1年生
Situation (状況)	自分に関わる町の良いところと課題、課題解決のために行動したことをプレゼンテーションし SA の内容について報告、質疑応答を行う
Product (作品)	1分間のプレゼンテーション、質疑応答
Standard (評価)	Speaking 1・2学期の評価

総括的課題であるプレゼンテーションは主に2つのパートによって構成される。1つ目は1分間のプレゼンテーションである。プレゼンテーションの目標は「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにすること」(学習指導要領「話すこと[発表]」イ)である。

学習指導要領「外国語編」の解説では、「事実や自分の考え、気持ちなどを整理する」ことについて、以下のよ

うに述べられている。

事実や自分の考え、気持ちなどを「整理」としては、話し手として伝えたい内容や順序、聞き手に分かりやすい展開や構成などを考えたり、事実と考えを分けて整理したりするなど、話す内容を大まかな流れにしてコミュニケーションの見通しを立てることを意味している。

本単元では、1分半という限られた時間で、自分の住む町について、その良い点や課題、課題解決に向けた自分の行動を海外の中学生にわかりやすく伝える必要がある。このような目的、場面、状況等に応じて、生徒は外国語によるコミュニケーションの見方・考え方を働かせ、聞き手にわかりやすい展開や構成を考え、表現する。

2つ目は、プレゼンテーション後の質疑応答である。質疑応答の目標は「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすること（学習指導要領「話すこと[やり取り]」イ）に該当する。質疑応答の時間を設けることで、発表者としての話し方の工夫だけでなく、質問を考えながら聞くことで、積極的に聞く姿勢を育むことが期待される。

Eikenberry (2004) は、積極的な聞き手になるために「深く理解するための質問を行うこと」や「相手の発言を要約すること」が重要であると指摘している。そこで、本実践では「You said -.(質問)」という順序で情報を整理し、質問を行う形式を取り入れる。既存の語彙を活用し、即興的に話す力を伸ばすために、毎授業で即興的に話す活動を含め、生徒が「言いたかったが言えなかったこと」を英語でどのように表現するかを考えさせる。また、教科書本文に関する質問や要約活動を多く取り入れ、繰り返し練習を行う。

また、単元を貫く問いとして「connection(つなぐ・つなげる・つながる)とはどういうことですか」という問いを設定し、単元を通して「Connection(繋がり)」に関する概念理解を深める。

このように、単元全体を通じて「繋がり」についての概念理解を深化させ、生徒が既習の英語表現を用いながら実生活と結びつけて自分の言葉で考えを伝える力を育成する。この力を育むことは、生徒一人ひとりが地域社会や世界との関係性に気づき、グローバル市民としての自覚を芽生えさせる大切な一歩となると確信する。

## (2) 生徒観

本単元では、話すこと[発表][やり取り]に関する総括的課題を設定した。そのため、ここでは、本校生徒の話すこと[発表][やり取り]に関しての取組み及び姿勢について述べることにする。本校1年生は9月に、GRASPSを以下のように設定し、自己紹介プレゼンテーションを行った。

Goal	目的や文脈にあった適切な言葉の選択の下、コミュニケーションをする
Role	オーストラリアに短期留学した中学1年生
Audience	オーストラリア現地校の中学1年生(日本のことはほとんど知らない)
Situation	英語の授業で自己紹介プレゼンテーションをする
Product	1分間のプレゼンテーション
Standard	Speaking 1・2学期の評価 ・自分からも質問できるかが大切 ・わからない時に黙らない ・日本の文化を知らない人にも伝わる内容にする

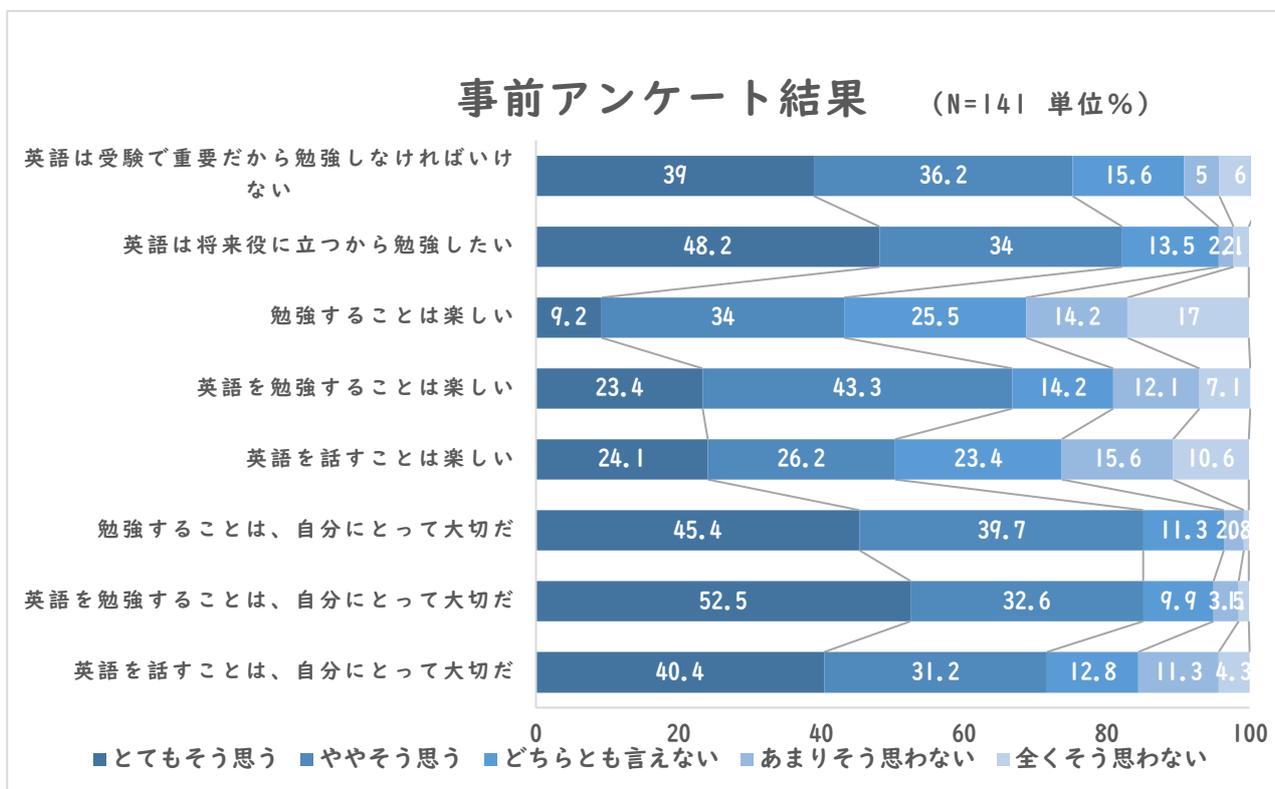
この会話テストでは、多くの生徒がスライドのキーワードを見ながら自己紹介について即興的に話をするのができたが大きく分けて2つの課題が挙げられた。

1つ目は、即興的に質問することだ。自己紹介の内容を聞いた後、挙手をして英語で質問ができた生徒は1クラス10から18名とばらつきがあり、5W1Hを用いて話題を深める質問をすることができた生徒はさらに限られていた。振り返りでは「日本語での質問は思い浮かんでも英語にできなかった」や「話の内容を頭で整理してすぐ質

問をすることができなくて悔しかった。その場で考えて発言できるようになりたい」などの記述が見られた。

本校第一学年生徒を対象に令和6年7月に実施した事前アンケートによると生徒たちは受験に必要な学習として英語を捉えるよりも、将来のために英語を学ぶことを価値あるものとして認識していることがわかる。一方で、英語の学習に対して楽しさを感じている生徒は7割弱にとどまり、英語を話すことを楽しんでいる生徒は約5割に過ぎない。

話すことが楽しくないと感じる理由として、生徒自身が即興的に英語で自分の考えを表現することの難しさが挙げられる。多くの生徒は語彙不足が原因だと考えているが、簡単な語句や文を使って自分の考えを英語で表現できるようにすることで、自己表現の自信を持たせたい。そのため、授業では、「どのように英語で表現すればいいかわからないこと」を生徒から拾い上げ、適切な足場掛けをすることによって、自己表現の成功体験を与える。わからないことは恥ずかしいことではなく、クラス全員で学びにつなげていくものだという体験を積み重ねさせ、英語学習に対する積極的な姿勢を育み、課題に粘り強く取り組む生徒を育てたい。



さらに、質問力を高めるには英語の表現力を高めるだけでは十分でないと考えます。今年度、総合的な学習の時間に中学1・3年生のプレゼンテーションを見て質問をする機会が複数あったが、日本語であってもその場で挙手をして質問する生徒は限られていた。原因として「何を質問したらいいかわからない」という理解にかかわる部分と、「先輩のプレゼンテーションに対して自分の質問していいのだろうか」「自分が質問しなくても誰かが質問してくれる」など心理的な抵抗があると考えられる。このような状況に対応するためには、生徒が心理的な抵抗を感じずに質問しやすい環境を整えたり、即興で質問を考えやすくするためのサポートが必要であると考えます。本単元のプレゼンテーションでは、3人ずつのグループにわけ、1人がプレゼンター、2人は聴衆として質問をする形を取ることによって、より安心して質問できる環境にした。質問を即興的に考えるための指導法については次章の指導観で述べる。

2つ目の課題は、聞き手に対する文化的な配慮をすることである。「I like *manju*. I like *anko*。」など、日本の食べ物について話し、「What is *anko* like?」と聞かれても、うまく説明できない生徒が見られた。このように、聞き手は誰なのかということを十分に考慮できていないことがわかった。このことは本単元の目標「即興的に話す

力を高めるために、プレゼンテーションで聞いた内容について、自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて質問したり、答えたりすることができるようにする。」や「世界の町のよさや課題、課題解決のための行動について知り、自分と社会との繋がりについての理解を深めるために、日本との文化的差異に対する理解を深め、聞き手である外国の人に配慮しながら、簡単な語句や文を用いて主体的に話そうとする態度を養う」ことにつながる。

### (3) 指導観

本時では、生徒の主体性を高め、即興的な英語のスピーキング能力や聞き手を意識した内容の充実を図る。まず、「何を質問したらいいかわからない」という困り感を解消するために、質問を考える視点を以下のように示す。

#### ① 基本的な情報確かめる

例: What is another famous place in Ikeda?  
How many days did you pick up the litter?  
Where is the Ikeda Park?

#### ② ものごとの意義や理由、根拠確かめる

例: Why did you put up the poster in the Ikeda station?  
Why did you choose the park for the action?

#### ③ 行動についての自己評価確かめる

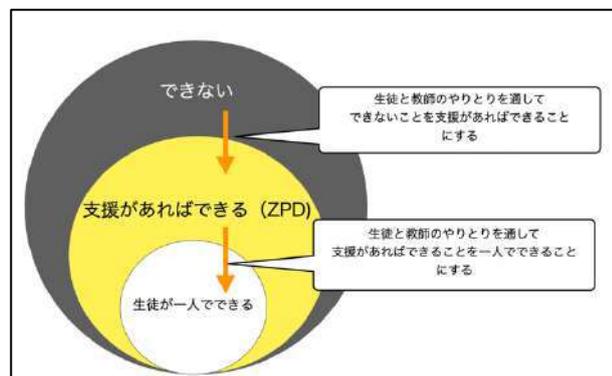
例: Did the action achieve your goal? Why?  
What did you want to change from your action?  
What was hard during your action?  
What was the best part of your action?

\*The revised taxonomy by Anderson and Krathwohl (2001).をもちに筆者作成

また、即興的な英語のスピーキング能力を高めるにはために、ダイナミック・アセスメント(DA)の手法を用いる。DAは、ヴィゴツキーの提起した「発達の最近接領域(ZPD)」に基づいた手法であり、生徒がまだできないことを、教師の援助を通じて一人でできる状態に引き上げることを目的とする。国立政策研究所(2022)も、『「指導と評価の一体化」のための学習評価』として、評価そのものにより学習を促したり指導内容の改善を図ったりする形成的評価の充実を求めており、DAはその一環として有効である。

具体的には、生徒が英語でできることを次の三段階に分ける。まず、一人ではまだできないこと、次に援助があればできること、最後に一人でできることである。授業中、教師は生徒と積極的にやり取りを行い、それぞれの生徒のZPDに合わせた適切な援助を即時に提供し、生徒の学びを促進する。この「ダイナミック」な評価手法は、生徒の学習をより効果的に促進するために役立つ。

ZPDに合わせたフィードバックとして、誤り訂正(Corrective Feedback;以下CF)の方法を以下に挙げる。(Ranta & Lyster 2007; Sheen & Ellis 2011を参考に筆者が作成)



「発達の最近接領域に基づくアプローチ」

Zone of Proximal Development (Vygotsky, 1978)を元に  
筆者作成

	Implicit(暗示的)	Explicit(明示的)
<p><b>Reformulation</b> 教師が生徒の誤りを直接訂正し、正しい言い方を示すアプローチ</p>	<p><b>Conversational recasts</b> 学習者が誤った発言をした際に、教師が自然な会話の中で正しい形に言い直す</p>	<p><b>Didactic recasts</b> 会話の中で、自然な形で明示的に修正する 例:「〇〇と言った方がいいですよ」</p> <p><b>Explicit correction</b> 誤りを明確に指摘し、正しい形を明示する 例:「それは間違いで、正しくは〇〇です」</p> <p><b>Explicit correction with metalinguistic explanation</b> 明示的な訂正を行うと同時に、その誤りに関する文法や言語のルールを説明する 例:「ここでは過去形を使います。なぜなら」</p> <p><b>Metalinguistic clue</b> 文法や言語のルールに関するヒントを与えて、生徒が自分の誤りを認識し、修正できるようにする 例:「過去形を使う必要がありますね」</p> <p><b>Elicitation</b> 生徒が正しい表現を自分で導き出させるような質問やヒントを与える 例:「Yesterdayということは?」</p> <p><b>Paralinguistic signal</b> 言語以外の手段(例えば、表情、ジェスチャー、イントネーション)を使って学習者に誤りを知らせる</p>
<p><b>Prompts</b> 生徒が自分で誤りを見つけて修正するよう促すアプローチ</p>	<p><b>Repetition</b> 生徒の誤り部分を教師が繰り返し、その発言を強調することで、学習者に自分の誤りに気付かせる 例:She go?</p> <p><b>Clarification request</b> 生徒の発話が不明確な場合、教師が「どういう意味ですか?」や「もう一度言ってください」などの質問を通じて、学習者に再度説明させる</p>	

明示的な CF と暗示的な CF の効果については、明示的な CF の方が学習者が気づきやすいことが示されている (Mackey et al. 2007; Nassaji 2009)。また、リキャストよりもプロンプトの方が学習者が気づく可能性が高いとされている (Ammar 2008)。しかし、一部の研究者は、暗示的な CF の方が効果が長続きする可能性があり、明示的な CF は短期的には効果的でも、その効果が持続しにくいかもしれないと考えている (Mackey & Goo 2007, Li 2010)。そこで本時では、生徒一人ひとりの学習状況に応じて、最も効果的な気づきを生み出す

ために,DA に基づいて生徒ができること,できないことをその場で見極める。そして,プロンプトからリキャスト,さらにはリフォーミュレーションまで,柔軟にフィードバック手法を使い分け,生徒の発達に応じた支援を提供する。これにより,生徒が自分自身の学びを深め,長期的に定着する学習効果を目指す。

次に本時の授業とグローバル市民コモン・ルーブリックとの関連について述べる。本時の目標は①疑問詞や時制(主に現在形や過去形)の特徴やきまりを理解し,それらを活用して,日常的な話題(自分の町や行動)について考えたことや,感じたこと,その理由などを英語で即興で伝えあったり,話したりする技能を身に付けるようにする。②即興的に話す力を高めるために,プレゼンテーションで聞いた内容について,自分の考えを整理し,簡単な語句や文を用いて質問したり,答えたりすることができるようにすることである。即興的に話そうと思うと,正確性が落ちてしまうことがよくある。しかし,ここで,間違いは恐れず,自分たちの知っている語彙でどのように表現すればいいのか積極的に意見を出し合ったり,クラスメイトや自分自身の間違いから,学ぼうとしたりすることで,即興的に話す技能や,表現力を身に付けることができると考える。

#### 4.評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><b>【知識】</b> ①疑問詞や動詞の時制(主に現在形や過去形)の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p><b>【技能】</b> ①疑問詞や動詞の時制(主に現在形や過去形)の特徴やきまりなどを活用して,日常的な話題(世界の町や学校)に関する英文の内容を聞き取ったり,読み取ったりする技能を身に付けている。</p> <p>②自分の町や行動について考えたことや,感じたこと,その理由などを整理し,動詞の時制(主に現在形や過去形)を用いて伝えたり,相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。</p>	<p>①世界の町のよさや課題,課題解決のための行動について知るために,世界の町について簡単な語句や文で書かれた英文を読んだり,ニュース等の音声を聞いたりして,概要を捉えている。(読むことイ,聞くことイ)</p> <p>②自分と社会との繋がりについての理解を深めるために,自分の町のよさや課題,課題解決のための行動について,事実や自分の考え気持ちなどを整理し,考えたことや感じたこと,その理由などを簡単な語句や文を用いて話している。(話すこと[発表]イ)</p> <p>③即興的に話す力を高めるために,プレゼンテーションで聞いた内容について,自分の考えを整理し,簡単な語句や文を用いて質問したり,答えたりしている。(話すこと[やり取り]イ)</p>	<p>①自分と社会との繋がりについての理解を深めるために,世界の町のよさや課題,課題解決のための行動についてどんな例があるのかを整理し,日本との文化的差異に対する理解を深め,聞き手である外国の人に配慮しながら,簡単な語句や文を用いて伝えようとしていたり,相手からの質問に主体的に答えようとしている。</p>

## 5. 単元指導計画(全 20 時間)

時間	学習内容 ねらい(■),言語活動等(丸数字)	主な評価規準	評価の観点			評価方法
			知技	思考	態度	
I	<p>■探究テーマを通して単元の目標を理解する。</p> <p>■重要概念 “Connection” について考える。</p> <p>① OPP シートの単元前の項目に答えることで,重要概念や探究の問いについての単元前の考えをまとめたり,生徒自身の ATL skill について把握したりする。</p> <p>② 探究の問い What are your town's strengths? What are its problems? What actions can you take to help solve them? に答えるための語彙を学習し,簡単な英語で表現する</p>	<p>①世界の町のよさや課題,課題解決のための行動について知り,自分と社会との繋がりについての理解を深めるために,日本との文化的差異に対する理解を深め,聞き手である外国の人に配慮しながら,簡単な語句や文を用いて主体的に話そうとしている。</p>			●	OPP シート
2-5	<p>■ <i>New Crown</i> / Lesson 4 My Family, My Hometown を読んだり聞いたりして,概要を把握し,考えたことや感じたことを伝え合う。</p> <p>① 3 人称単数現在形の特徴やきまりを理解する。</p> <p>② 本文を読んでもっとも伝えたいこと(要点)を捉える。</p> <p>③ 教科書本文の音読練習をする。</p> <p>④ London の町に関する説明文を読み,文章の構成や,読み手にわかりやすく工夫されている箇所を分析する</p>	<p>3 人称単数現在形を聞き取る技能や,書かれた内容を読み取る技能を身につけている。</p> <p>世界の町のよさや課題,課題解決のための行動について知るために,世界の町や学校について書かれた英文を読んだり,ニュース等の音声</p>	●	●		観察 ワークシート OPP シート

	<p>⑤ 本文に出てきた表現を使って、自分の住む町の簡単な紹介文を5行程度で話す</p> <p>⑥ 探究の問い How can you build a meaningful connection with your community?に答える</p>	<p>を聞いたりして、概要を捉えている。</p> <p>即興的に話す力を高めるために、読んだ内容について、自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて質問したり、答えたりしている。</p>				
6-11	<p>■ <i>New Crown</i> / Lesson 6 Discover Japan を読んだり聞いたりして、概要を把握し、考えたことや感じたことを伝え合う</p> <p>① 過去形・疑問詞の特徴やきまりを理解する。</p> <p>② 本文を読んでもっとも伝えたいこと(要点)を捉える。</p> <p>③ 教科書本文の音読練習をする。</p> <p>④ 日本の祭りや食べ物などをどのように説明すれば、外国の人に伝わりやすいのか本文から分析する。</p> <p>⑤ 本文の内容について英語で質問をする。</p> <p>⑥ 探究の問い How can you choose words carefully for the audience by connecting your knowledge?に答える</p>	<p>動詞の時制(主に現在形や過去形)の特徴やきまりを理解し、それらを活用して、日常的话题(世界の町や学校)に関する英文の内容を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身につけている。</p> <p>世界の町のよさや課題、課題解決のための行動について知るために、世界の町や学校について書かれた英文を読んだり、ニュース等の音声を聞いたりして、概要を捉えている。</p> <p>世界の町のよさや課題、課題解決のための行動について知り、自分と社会との繋がりについての理解を深めるために、日本との文化的差異に対する理解を深め、聞き手である外国の人に配慮しながら、簡単な語句や文を用いて主体的に話そうとしている。</p>	●	●	●	<p>観察 ワークシート OPPシート</p>

12-13	<p>■ 自分の町のよさや課題,課題解決のための行動について,プレゼンテーションの内容を考える。</p> <p>① 日本語のプレゼンテーションと英語のプレゼンテーションの構成の違いについて知る。</p> <p>② プレゼンテーションの準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションの内容をマッピングする。</li> <li>・マッピングをもとに即興的に話す練習をする。なかだ</li> </ul>	<p>世界の町のよさや課題,課題解決のための行動について知り,自分と社会との繋がりについての理解を深めるために,日本との文化的差異に対する理解を深め,聞き手である外国の人に配慮しながら,簡単な語句や文を用いて主体的に話そうとしている。</p>			●	<p>ダイナミック アセスメント Peer feedback OPPシート</p>
14 【本時】	<p>■ 質疑応答の練習をする。</p> <p>① プレゼンテーションの内容を踏まえた質疑応答の練習をする。</p>	<p>即興的に話す力を高めるために,プレゼンテーションで聞いた内容について,自分の考えを整理し,簡単な語句や文を用いて質問したり,答えたりしている。</p> <p>即興的に話す力を高めるために,プレゼンテーションで聞いた内容について,自分の考えを整理し,簡単な語句や文を用いて質問したり,答えたりしようとしている。</p>		●	●	<p>ダイナミック アセスメント  OPPシート</p>
15,16	<p>■ プレゼンテーションのスライド作成および,より効果的に伝える練習をする。</p> <p>① マッピングの内容にあったスライドを作成する。</p> <p>② どこを強調して言えば相手に伝わるのかを練習する。</p>	<p>自分と社会との繋がりについての理解を深めるために,自分の町のよさや課題,課題解決のための行動について,事実や自分の考え気持ちなどを整理し,考えたことや感じたこと,その理由などを簡単な語句や文を用いて話している。</p>			●	<p>ダイナミック アセスメント  OPPシート</p>
17-19	<p>■ プレゼンテーション,質疑応答をする</p> <p>① 3人ずつのグループにわけ,プレゼンテーションをする。</p>	<p>動詞の時制(主に現在形や過去形)の特徴やきまりを理解し,それらを活用して,日常的な話題(自分の町や行</p>	○	○		<p>パフォーマンス 評価</p>

	1人がプレゼンター,2人は聴衆としてプレゼンテーション後に質問をする	動)について考えたことや,感じたこと,その理由などを英語で即興で伝えあったり,話したりする技能を身に付けている。  即興的に話す力を高めるために,プレゼンテーションで聞いた内容について,自分の考えを整理し,簡単な語句や文を用いて質問したり,答えたりしている。				
20	■単元の振り返りをする。 ① OPPシートの単元後の項目に答えることで,重要概念や探究の問いについての単元前,単元中,単元後の変化をまとめたり,生徒自身のATL skillsの伸長について把握したりする。	単元を通した自身の変化をまとめることを通して,重要概念“connection”に対する考えがどう変わったかやATL skillsの伸長について把握しようとしている。			○	振り返りシート

●…形成的評価(指導に活かす評価) ○…総括的評価(記録に残す評価)

## 6. 本時の展開

### (1) 本時の目標

- 即興的に話す力を高めるために,プレゼンテーションで聞いた内容について,自分の考えを整理し,簡単な語句や文を用いて質問したり,答えたりすることができるようにする。(思考力,判断力,表現力等に関して)
- 即興的に話す力を高めるために,プレゼンテーションで聞いた内容について,自分の考えを整理し,簡単な語句や文を用いて質問したり,答えたりしようとする態度を養う。(学びに向かう力,人間性等に関して)

### (2) 本時の評価規準

- 即興的に話す力を高めるために,プレゼンテーションで聞いた内容について,自分の考えを整理し,簡単な語句や文を用いて質問したり,答えたりしている。(思考・判断・表現)
- 即興的に話す力を高めるために,プレゼンテーションで聞いた内容について,自分の考えを整理し,簡単な語句や文を用いて質問したり,答えたりしようとしている。(主体的に取り組む態度)

### (3) 本時の学習とグローバル市民コモン・ルーブリックとの関連

#### ①項目

主体的な人

#### ②内容

これまでの経験や学んだこと,試みの視点などから目標を持ち,その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。

(4) 展開

学習過程	学習活動および内容	指導上の留意点	評価の観点・方法
導入 8分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Greeting / Small talk</li> <li>・本時の流れ・目標の確認</li> <li>・Warm-Up</li> <li>絵に関する質問に答える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪のニュースやローカルな話題を英語で話し、生徒と英語でやり取りする</li> <li>・本時の流れ、目標を提示し、生徒の役割を確認する。</li> <li>What did he/she do yesterday?</li> <li>What can you see in this picture?</li> <li>などいろいろな疑問詞を交えて質問する</li> </ul>	
展開  32分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問詞を確認する。</li> <li>疑問文の作り方を復習する。</li> <li>・教師のボランティア活動の内容を聞く</li> <li>・ペアでどのような質問をするか考える</li> <li>教師が言った内容で質問に関するところを取り上げて質問をする。</li> <li>・マッピングをもとに、自分が行動したことをパートナーに発表したり、質問をしたりする。</li> <li>生徒 A: 自分のボランティア活動について話す</li> <li>生徒 B: (相手の話を繰り返す)+質問</li> <li>生徒 A: 答える</li> <li>・質問をもとにマッピングの内容を書き加える。</li> <li>・代表者がボランティア活動でしたことについて話す。他の生徒は質問をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問を考える視点を示す。</li> <li>・英語で表現できない場合は日本語で質問しても良いこととし、その場合は教師のサポートのもとクラス全員で質問内容を考える</li> <li>・ダイナミックアセスメントに基づいた間違い訂正を行う</li> <li>・机間巡視をし、生徒のつまずきに気づき、全体へのフィードバックを行う</li> <li><b>主なポイント</b></li> <li>・どの語を強調して話せば、伝わりやすいのかを考えて話すよう促す</li> <li>・相手の言っていることがわからなかった場合や答えや質問が思いつかない場合英語でなんと伝えればいいのかを伝える</li> <li>・英語で表現できない場合は日本語で質問しても良いこととし、その場合は教師のサポートのもとクラス全員で質問内容を考える</li> </ul>	<p>観察による評価(ダイナミックアセスメント)</p> <p>【思・判・表】</p>
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OPPシート記入(5分)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・OPPシートによる評価【主体】</li> </ul>

## (5) 準備物

- ・ Chromebook ・ 電子黒板

## 7. 成果と課題

本時では、展開の「疑問詞の確認」において、Who, What, When, Where, Which, How, How long, What kind of, What time, How many, Why を教師が明示し、生徒はそれらを使った例文を英語で言えるように個人やペアで考えた。これらの例文は、前時までのマッピング作成過程で生じた生徒の表現したいことを基に作成したものである。生徒たちは教員のフィードバックを受けながら、ペアでよく考え、英語で表現しようとしていた。

### 疑問文のタネ



誰	Who			went	to the park	?
何	What	did	you	do		?
いつ	When	did	you	clean	the park	?
どこ	Where	did	you	put up	a poster	?
どれ・どの	Which	attraction	did	you	ride	?
どうやって	How	do	you	go	there	?
どのくらい (期間)	How long	did	it	take	to make a poster	?
どんな種類	What kind of	animal	can	you	see	?
何人	How many	people		joined	the festival	?
何時	What time	did	the festival	start		?
なぜ	Why	did	you	choose	the park	?

疑問詞を整理して学ぶことで、「質問をするときは 5W1H を意識し、その中の一つを文頭に置いて、その後の文章を少し考えるだけで簡単に質問を作ることができる」「英語で質問するのは、日本語でも質問が出てこない私にとって難しかったが、5W1H を使うことで何とか乗り越えられることがわかり、質問ができそうだった」といった、質問することに対して前向きな姿勢を持つようになった。

しかし、スローラーナーにとっては疑問詞の数が多く、すべての違いを整理しきれなかったようである。たとえば、“When did you pick up the litter?”、“Where did you pick up the litter?” のような文は作成できても、“Who picked up the litter?”、“How many people picked up the litter?” といった疑問詞が主語となる文では、When や Where を使った文の構造と混ざり、混乱する様子が見られた。

したがって、本時で扱う疑問詞の数を What, When, Where, Why の 4 つに絞り、例文として示された日本語をペアで英語にし、その後、生徒一人一人が聞いてみたい質問を考え、個人→ペア→全体共有の流れで活動を行う方が、スローラーナーにとっても取り組みやすかったと考える。また、指導教官の先生のご助言によると、日頃から、授業の導入帯活動として display question (学習者の理解を試すための質問で、すでに答えが決まっ

ているもの)と referential question (質問者が答えを知らない質問。意見や考えを問う質問)を混ぜながら、質問したり答えたりする練習を積ませることで、自分の言葉として使えるように促すことが必要である。活動の題材としては、短いストーリーを読む、写真や絵について話すなど、small talk に限らずバリエーションを増やすとよいことがわかった。教員と生徒のやりとりの中でダイナミックに作られている授業であるが、教師が文単位で英語を話すのではなく、まとまった英語を話してやりとりすることで、生徒のリスニング力や話す力をより高めることができることがわかった。

後日行ったプレゼンテーションでは、以下のルーブリック(資料1)を基に8段階評価を行った(IBの評価に基づく)。7が付く生徒は語彙・文法・発音・イントネーション・コミュニケーションの観点でA評価であり、その中でも特に優れた生徒には8が付く。つまり、7または8の評価がついた生徒は、プレゼンテーションの内容をわかりやすく伝えられ、なおかつ即興的に質問し、答えることができたことと捉えられる。これに該当した生徒は144名中50名(約35%)であった。

生徒の振り返りから、分析するとスコア7・8の生徒は事前準備ができていたことが成功の要因であったことがわかる。例えば、発表の内容をしっかりと練習し、質問を予測していた生徒は、スムーズに質問し、答えることができたことと述べている。一方で、限られた疑問詞ばかり使ってしまい、質問のバリエーションを増やす必要があると書いている生徒もいた。

スコア6の生徒は、プレゼンの原稿を覚えることはできても、聞かれた内容を即座に処理し、適切に答えることが難しかったと述べている。また、聞き取れた単語から推測して答えることが重要であると気づく生徒もいた。

スコア5の生徒は、質問の意味が理解できなかつたり、答えの文法が崩れてしまったりする傾向が見られた。簡単な単語を使って伝えようとする工夫は見られたが、正しい文法で答えることには課題が残ると振り返っている。

これらのことから、生徒にとって即興的に質問し、答えることは難易度の高い活動であることがわかる。しかし、疑問詞を整理し、使い方を学ぶことで、質問に対する抵抗感が軽減され、英語でのコミュニケーションに対する意欲が向上することが確認できた。しかし同時に、単語や文章の型を覚えるだけでなく、即興的なやりとりを意識した練習が必要であることがわかる。今後は、スローラーナーへのサポートを強化しつつ、段階的に即興的なやりとりの練習を取り入れ、より多くの生徒が自信を持って英語で質問し、答えられるような授業設計を行う必要がある。

資料1:プレゼンテーションルーブリック

	語彙	文法	発音・イントネーション	コミュニケーション
A	地域の魅力、課題、自分の行動に関連した豊富な語彙を使うことができる。 (フェーズ1:CEFR A1レベル:英検3級程度まで フェーズ2:CEFR B1レベル:英検2級程度までをたたく使っている)	1・2学期に学んだ(+αも OK)幅広い文法項目が概ね正確に使えている。	わかりやすく、クリアな発音とイントネーションで、理解しやすい。	①地域の魅力、課題、自分の行動のために必要なほすべての情報を文化の違いに配慮し、日本のことをよく知らない中学生にも理解しやすく述べている。 ②プレゼン後の質問に効果的に答えることができる。 ③適切な疑問詞を用いた質問をすることができる。 ①②③を全て満たしている
B	地域の魅力、課題、自分の行動に関連したある程度広範囲な語を使うことができる。(フェーズ1:CEFR A1レベル:英検3級程度まで フェーズ2:CEFR B1レベル:英検2級程度までを概ね正しく使っている)	理解できる範囲で、1・2学期に学んだ(+αも OK)文法項目が使えている。	発音とイントネーションの間違いはあるが、理解できる範囲である。	①②③のうち2つを満たしている
C	地域の魅力、課題、自分の行動に関連した基本的な語を使うことができる。	1・2学期に学んだ文法項目のうち、広い項目が使えている(少なくとも動詞に関するものの区別ができてい)が、文法的な間違いが複数あり、時々意味がわからない。	発音とイントネーションの間違いがあり、時々理解できないことがある。	①②③のうち1つを十分に満たしている
D	地域の魅力、課題、自分の行動に関連した限定的な単語を使用している。	限られた文法項目しか使えていなかったり、文法の間違ひが多くあったりすることで、しばしば理解が難しい	発音やイントネーションに誤りが多くあり、しばしば理解が難しい。	①②③のうち1つを概ね満たしている
0	上記基準を1つも満たしていない			

1・2学期に学んだ文法:動詞に関するもの…be 動詞、一般動詞、現在形(三単現のsも含む)、過去形(規則・不規則)【疑問文・否定文も含む】命令文  
その他…can、疑問詞、複数形(可算・不可算)、some/any

## 8. 参考文献

1. Ammar, A. (2008). Prompts and recasts: Differential effects on second language morphosyntax. *Language Teaching Research*, 12(2), 183–210.
2. Anderson, L. W., Krathwohl, D. R. (2001). A taxonomy for learning, teaching, and assessing: A Revision of Bloom’s Taxonomy of Educational Objectives. New York: Longman.
3. Deci, E. L., & Ryan, R. M. (Eds.). (2002). *Handbook of self-determination research*. University of Rochester Press.
4. Eikenberry, K. (2004). Effective listening: Better relationships and improved results. In M. Silberman (Ed.), *The best of active training*. San Francisco: Pfeiffer.
5. Li, S. (2010). The effectiveness of corrective feedback in SLA: A meta-analysis. *Language Learning*, 60(2), 309–365.
6. Lyster, R., & Saito, K. (2010). Oral feedback in classroom SLA: A meta-analysis. *Studies in Second Language Acquisition*, 32(2), 265–302.

7. Lyster, R., Saito, K., & Sato, M. (2013). Oral corrective feedback in second language classrooms. *Language Teaching*, 46(1), 1–40. <https://doi.org/10.1017/S0261444812000365>
8. Mackey, A., Al-Khalil, M., Atanassova, G., Hama, M., Logan-Terry, A., & Nakatsukasa, K. (2007). Teachers' intentions and learners' perceptions about corrective feedback in the L2 classroom. *Innovation in Language Learning and Teaching*, 1(1), 129–152.
9. Mackey, A., & Goo, J. (2007). Interaction research in SLA: A meta-analysis and research synthesis. In A. Mackey (Ed.), *Interaction in second language learning* (pp. 407–452).
10. Nassaji, H. (2009). Effects of recasts and elicitations in dyadic interaction and the role of feedback explicitness. *Language Learning*, 59(2), 411–452.
11. Ranta, L., & Lyster, R. (2007). A cognitive approach to improving immersion students' oral language abilities: The Awareness–Practice–Feedback sequence. In R. DeKeyser (Ed.), *Practice in a second language: Perspectives from applied linguistics and cognitive psychology* (pp. 141–160). Cambridge University Press.
12. Sheen, Y., & Ellis, R. (2011). Corrective feedback in language teaching. In E. Hinkel (Ed.), *Handbook of research in second language teaching and learning, Vol. 2* (pp. 593–610). Routledge.
13. Vygotsky, L. S. (1978). *Mind in society: The development of higher psychological processes*. Harvard University Press.
14. 堀哲夫監修・中島雅子編著. (2022). 一枚ポートフォリオ評価論 OPPA でつくる授業. 東洋館出版社.
15. 溝上慎一. (2017). (理論) 主体的な学習とは—そもそも論から「主体的・対話的で深い学び」まで. Retrieved August 30, 2024, from <http://smizok.net/education/subpages/a00019%28agentic%29.html>
16. 文部科学省. (平成 29 年告示). 中学校学習指導要領 外国語 解説編.
17. 文部科学省. (令和 2 年 3 月). 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校 外国語科.

9.参考資料 池田地区「グローバル市民」コモンルーブリック

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、 <b>新たな試みの視点</b> などから目標を持ち、その達成に向けて <b>自主的に粘り強く、創造的に</b> 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 <b>試みの視点</b> などから目標を持ち、その達成に向けて <b>自主的に粘り強く</b> 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 <b>試みの視点</b> などから目標を持ち、その達成に向けて <b>自主的に</b> 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだことから目標を持ち、その達成に向けて <b>進んで</b> 取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて <b>創造的に</b> 物事を考え、 <b>周りの人たち</b> や異なる文化圏の人たちとの協働を <b>構想・実践</b> することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 <b>地域社会</b> の人たちとの協働を <b>構想・実践</b> することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 <b>学校</b> の人たちと協力して <b>取り組む</b> ことができる。	これまでの経験や知識をもとに物事を考え、 <b>学級</b> の人たちと力を合わせて <b>取り組む</b> ことができる。
探究力のある人	自らの問題として、 <b>身近なコミュニティ</b> や <b>世界の出来事</b> から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 <b>振り返り</b> ながら、 <b>創造的に</b> 追究することができる。	自らの問題として、 <b>身近なコミュニティ</b> から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 <b>振り返り</b> ながら <b>追究</b> することができる。	自らの問題として、 <b>身の回り</b> から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 <b>振り返り</b> ることができる。	自らの問題として、 <b>身の回り</b> の課題に気づき、その解決に向けて <b>取り組む</b> ことができる。
寛容な人	他者の意見や考え方に対して <b>共感と傾聴</b> の姿勢で接し、 <b>多様性を尊重</b> しながら <b>相互理解</b> を深めることができる。	他者の意見や考えに対して <b>共感</b> の姿勢で接し、 <b>多様性を受け入れ相互理解</b> を進めることができる。	他者の意見や考えに対して <b>共感の姿勢</b> で接し、 <b>相互理解</b> を進めることができる。	他者の意見や考えに対して <b>共感の姿勢</b> で接することができる。

### Ⅲ.イケトーーク(夏季実践報告会)

#### 資料

2024年度大阪教育大学附属池田中学校イケトーク

# 問題解決能力を育む 地理学習

地誌学習×パフォーマンス課題

大阪教育大学附属池田中学校  
教諭 田中誠也

# 本日の流れ

1. 「社会的な見方・考え方」を働かせた「思考力、判断力、表現力等」の育成
2. 大阪IRの実践事例の紹介
3. パフォーマンス課題の評価の実際

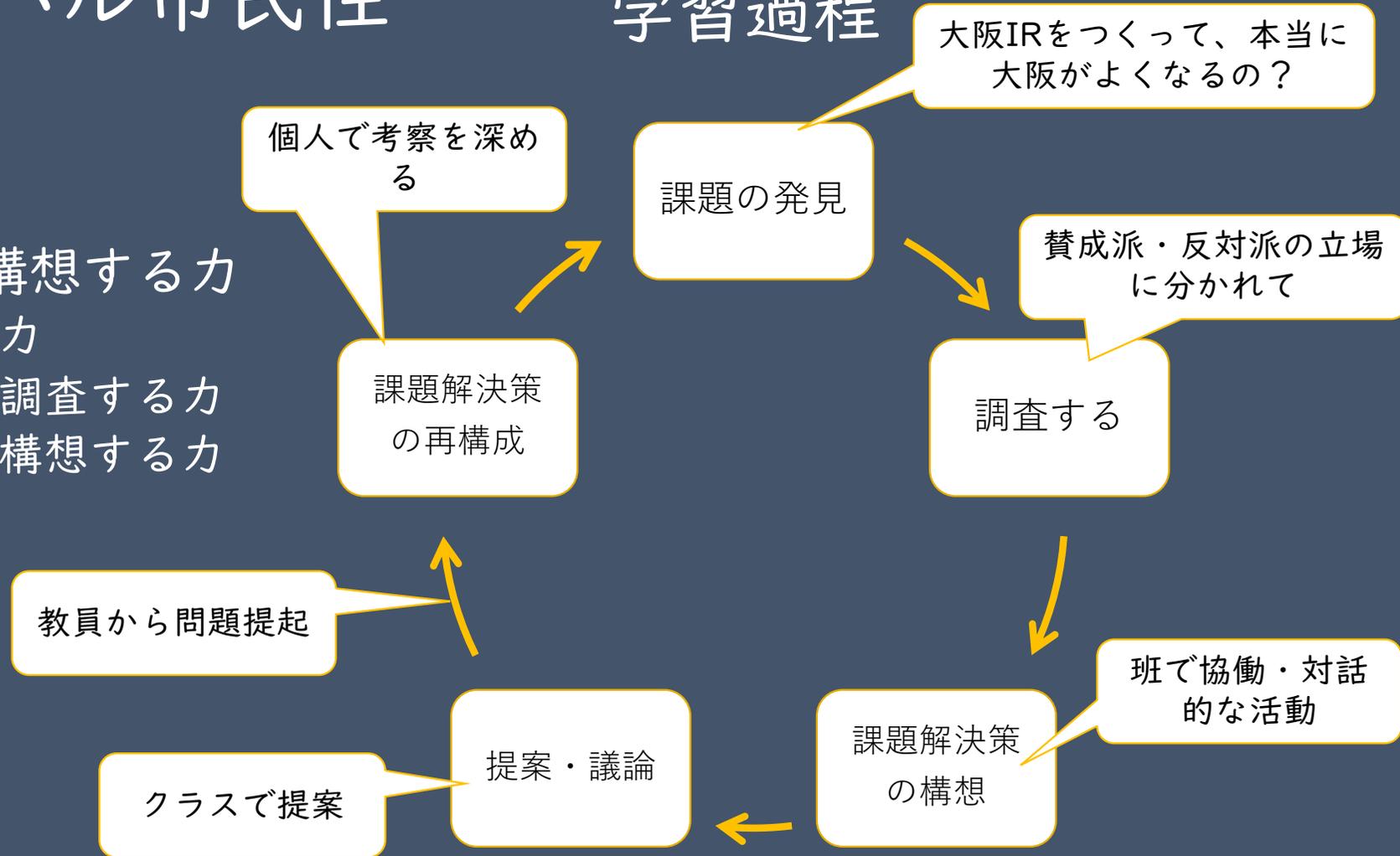
# 「社会科的な見方・考え方」を働かせた 「思考力、判断力、表現力等」の育成

- 単元など内容や時間のまとまりを見通して「問い」を設定し
- 「社会的な見方・考え方」を働かせることで
- ①社会的事象等の意味や意義を考察する学習
- ②特色や相互の関連等を考察する学習
- ③社会に見られる課題を把握してその解決に向けて構想する学習
- を一層充実させることが求められる。

# グローバル市民性

## 学習過程

- 課題解決策を構想する力
  - 課題発見する力
  - 課題について調査する力
  - 課題解決策を構想する力



## 2.大阪IR

日本の諸地域 近畿地方

# 大阪IR（統合型リゾート）

1. MICE施設（国際会議場、展示会場）
2. 魅力増進施設
3. 日本観光のゲートウェイ
4. 宿泊施設
5. エンターテインメント施設（カジノを含む）

〈教材化の難しいポイント〉  
ネットニュース・テレビなどは、「カジノ」に着目したものが多

①関西の豊富な観光資源

②関西の経済規模

③関西の中心に立地

④充実した交通インフラ

# 大阪IRを多面的・多角的に見る

IDEAS MIND MAP



(仮説)  
大阪IRを社会的  
事象として取り  
上げることで、  
地域的特色を見  
出せるのではな  
いか。

# 大阪IRと近畿地方

## 阪神工業地帯の変遷

軽工業の発展

重工業の発展

液晶パネル

太陽光パネル

2025大阪・関西万博

大阪IR

臨海部の埋立地

公害

地盤沈下

蓄電池

物流拠点

テーマパーク

インバウンド効果

少子高齢化

# 単元計画

時間	学習内容
第1次 第1時	学習課題について、見通しと予測を立てる。 「2025年以降、産業を維持・発展させていくために、どのような取り組みを行うとよいか」
第2次 第2～6時	①近畿地方では地形や気候にどのような特色が見られるのか ②阪神工業地帯は、どのように発展してきたのか ③近畿地方の交通網は、どのように広がってきたのか
第3次 第7～10時	大阪IRと産業の関係から、近畿地方の産業のあり方について構想する。 ①市民から反対の声が上がっているにもかかわらず、なぜ大阪IRをつくろうとしているのか ②大阪IRは、本当に関西地域や日本を発展させることにつながるのか ③2025年以降、産業を維持・発展させていくために、どのような取り組みを行うとよいか

# 地理的な視点

- 地域
  - 近畿地方は、どのような特徴があるのか（見方）
  - どのような地域にすべきか（考え方）
- 空間的相互依存関係
  - 大阪IRは、各地とどのような関係をもっているのか（見方）
  - なぜ、そのような結びつきをしているのか（考え方）

# パフォーマンス課題

Goals 目標	あなたの目標は、持続可能性のある産業の振興は、その地域（場所）における多様性のあるネットワークを活用することが必要であることを理解することである
Role 役割	あなたは、市民の声を代弁する市議会議員です
Audience 受け手	聞き手は、市民です
Situation 状況	大阪IRが、本当に関西地域や日本を発展させることにつながるのかを調査、検証し、説明することである。
Product 完成品	大阪IRの賛成意見（反対意見）のプレゼン資料を作成する
Standard 評価規準	基準B調査、基準Cコミュニケーション

# スライド作成（テンプレート）

- ①大阪IRが、関西地域や日本を発展させることにつながるのか？
  - 問いに対する答えを書く
- ②経済効果
  - 2つ以上の理由と根拠を示す。
- ③ギャンブル依存症
  - 対策によって、どの程度解決するだろうか？
- ④まとめ
  - 上記のことをまとめて、結論を示す

## 経済に対する影響

### 経済に対する影響

地域への経済効果…

経済波及効果

建設時：約1兆5,800億円

開業後：約1兆1,400億円/年

「建設時」

雇用創出効果

建設時：約11.6万人

開業後：約9.3万人

約1兆5800億円&約11.6万人の雇用

近畿圏での調達額…1兆700億円

「開業後」

開業後も毎年1兆1400億円&約9.3万人の雇用

近畿圏での調達額…2600億円

## ギャンブル依存症の対策

### 特定複合観光施設区域整備法

- ・カジノ施設への入場等回数の制限  
(7日間：3回 28日間：10回)
- ・入場料の賦課(ふか)  
(1回：6,000円)
- ・広告勧誘規制  
(IR区域外におけるビラ配布の禁止等)

さよならの聞きたい! ギャンブル依存症対策は?

入場料  
6000円(日本人のみ)

回数制限  
1週3回 4週10回まで

入場制限  
家族からの申し出でも制限できる



## まとめ

### 大阪IRは今後日本を發展させるのに どのように繋がっていくか

- ・大阪IRで依存症になる人が増えると思われる  
→国が依存症の対策をしている
- ・国内や海外の富裕層が訪れる  
→カジノの後などに周辺の観光地を訪れる人が増え、経済を更に回せ

**富裕層が訪れ、経済を更に回すことのメリットの方が大きい**

大阪IRがあることにより

- 世界各国から訪れた富裕層がお金を使用するから国内の産業に役立てる!

**更に日本は發展する!**



## 経済効果について

### 理由その1

年間1200億円の利益が予測されるが、カジノにおいて8000億円もの収益が求められるから

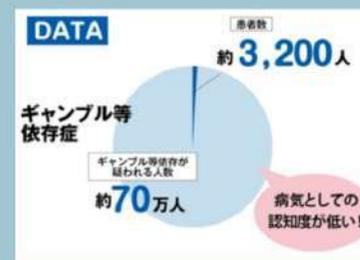
→利益を入手するのが不可能

実例：マリーナベイサンズ

去年の収入は3300億円ほど  
⇔2.5倍もの収益が求められた  
→ほぼ不可能である



## ギャンブル依存症について



厚生労働省〈依存症特集〉より

ギャンブル依存症は認知度が低く、自覚のない人も多い  
やめられない とまらない

ギャンブル依存症のデメリット

：うつ病などの健康問題への発展、借金などの経済的問題、家庭崩壊など、人間関係の問題への影響

## まとめ

### 経済効果について

- ・ 地域発展に繋がる費用が少ない
- ・ 求められる収益の達成が不可能

→利益の入手が不可能

### ギャンブル依存症について

- ・ ギャンブル依存症になるデメリットが大きい
- ・ ギャンブル依存症は軽い気持ちから始まる

→大阪IRの制限が意味をなさない

結論：大阪IRにはこれといったメリットがなく、むしろデメリットが大きいいため、地域発展には繋がらない。

# ルーブリック 基準B調査

レベル	レベルの説明
1～2 C	大阪IRと地域の発展について、限定的な情報またはときどき関連性のない情報を収集し記録している。
3～4 B	大阪IRと地域の発展について、いくらか関連性のある情報を収集し、記録するための方法を活用している。
5～6 B	大阪IRと地域の発展について、適切かつ関連性のある情報を収集し、記録するための方法を活用している。
7～8 A	大阪IRと地域の発展について、適切かつ関連性のあるさまざまな情報を収集し、記録するための方法を活用している。

# ルーブリック 基準Cコミュニケーション

レベル	レベルの説明
1～2 C	市民と大阪IRと近畿地方の産業のあり方を考察する目的にとって必ずしも適切でない方法で、情報や考えを伝達している。
3～4 B	市民と大阪IRと近畿地方の産業のあり方を考察する目的にとって幾分か適切な方法で、情報や考えを伝達している。
5～6 B	市民と大阪IRと近畿地方の産業のあり方を考察する目的にとっておおむね適切な方法で、情報や考えを伝達している。
7～8 A	市民と大阪IRと近畿地方の産業のあり方を考察する目的にとって完全に適切な方法で、情報や考えを伝達している。

## 経済に対する影響

### 経済に対する影響

地域への経済効果…

経済波及効果

建設時：約1兆5,800億円

開業後：約1兆1,400億円/年

「建設時」

雇用創出効果

建設時：約11.6万人

開業後：約9.3万人

約1兆5800億円&約11.6万人の雇用

近畿圏での調達額…1兆700億円

「開業後」

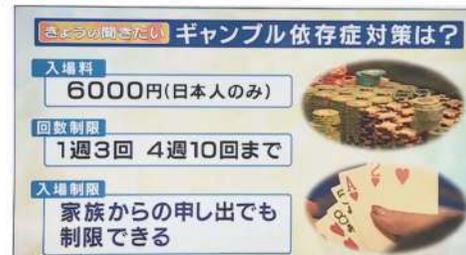
開業後も毎年1兆1400億円&約9.3万人の雇用

近畿圏での調達額…2600億円

## ギャンブル依存症の対策

### 特定複合観光施設区域整備法

- ・カジノ施設への入場等回数の制限  
(7日間：3回 28日間：10回)
- ・入場料の賦課(ふか)  
(1回：6,000円)
- ・広告勧誘規制  
(IR区域外におけるビラ配布の禁止等)



## まとめ

大阪IRは今後日本を發展させるのに  
どのように繋がっていくか

- ・大阪IRで依存症になる人が増えると思われる  
→国が依存症の対策をしている
- ・国内や海外の富裕層が訪れる  
→カジノの後などに周辺の観光地を訪れる人が増え、経済を更に回せ

富裕層が訪れ、経済を更に回すことのメリットの方が大きい

大阪IRがあることにより

- 世界各国から訪れた富裕層がお金を使用するから国内の産業に役立てる！

更に日本は發展する！



大阪府の公式資料やネットニュース等  
を活用している。  
自分たちの発表に合わせて、情報を取  
捨選択している。

## 経済効果について

### 理由その1

年間1200億円の利益が予測されるが、カジノにおいて8000億円もの収益が求められるから

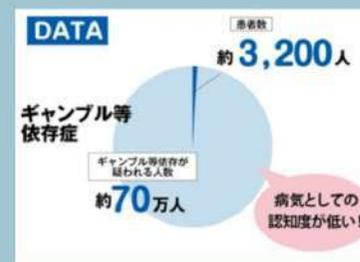
→利益を入手するのが不可能

実例：マリーナベイサンズ

去年の収入は3300億円ほど  
⇔2.5倍もの収益が求められた  
→ほぼ不可能である



## ギャンブル依存症について



厚生労働省〈依存症特集〉より

ギャンブル依存症は認知度が低く、自覚のない人も多い  
やめられない とまらない

### ギャンブル依存症のデメリット

：うつ病などの健康問題への発展、借金などの経済的問題、家庭崩壊など、人間関係の問題への影響

## まとめ

### 経済効果について

- ・ 地域発展に繋がる費用が少ない
- ・ 求められる収益の達成が不可能

→利益の入手が不可能

### ギャンブル依存症について

- ・ ギャンブル依存症になるデメリットが大きい
- ・ ギャンブル依存症は軽い気持ちから始まる

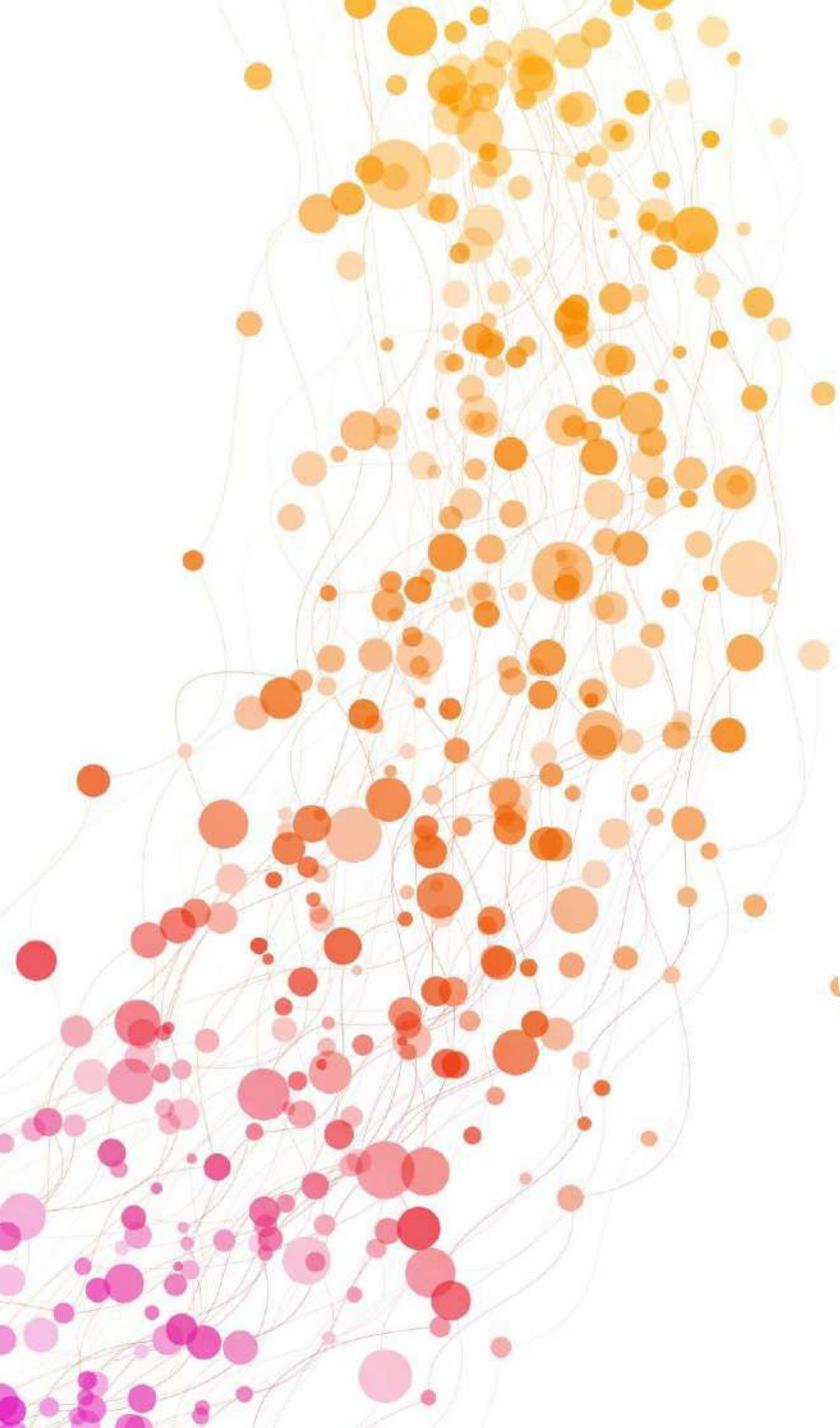
→大阪IRの制限が意味をなさない

結論：大阪IRにはこれといったメリットがなく、むしろデメリットが大きいいため、地域発展には繋がらない。

海外のIRとの比較をしていて、大阪IRがどれだけの利益を見込んでいるかがわかりやすくなっている。  
ギャンブル依存症の認知に着目している。無自覚のうちに、ギャンブル依存症になっている可能性を指摘している。

# 参考文献

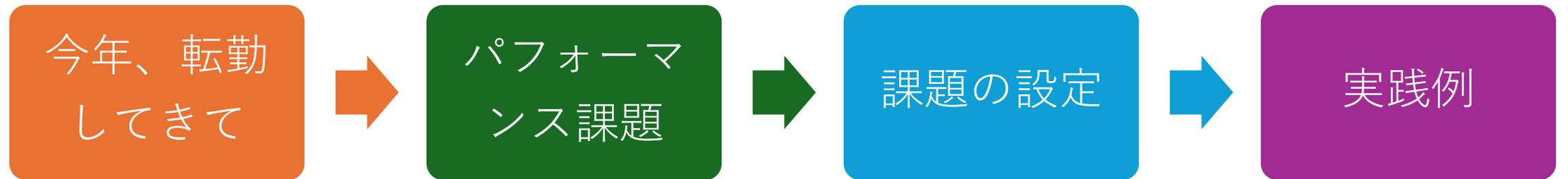
- 文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説社会編』
- 吉水裕也（2023年）『PBL的社会科单元構成による中学地理の授業デザイン』明治図書出版



# 令和6年度 イケトーーク！

地理的分野における持続可能な  
社会に挑むパフォーマンス課題

# 本日の内容



6年ぶりの学校はうらしま太郎の気分でした。



# 2018年度～2023年度の教育に関する主な出来事

- ・ 2019年 4月より「働き方改革関連法」が順次施行
- ・ 2019年 4月 中学校で道徳が「特別の教科」となる
- ・ 2019年 12月 新型コロナウイルスが検出
- ・ 2019年 GIGAスクール構想が言われた
- ・ 2022年 スポーツ庁が運動部活動の地域以降について

『パフォーマンス課題って何！？』ってなりました。

- パフォーマンス課題

リアルな文脈の中で、様々な知識やスキルを使いこなすこと（応用・総合しつつ何らかの実践を行うこと）を求めるような課題。

具体的にはレポートや新聞といった完成作品や、プレゼンテーションなどの実技・実演を評価する課題など。

# 地理的分野の目標

- 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり、解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

学習指導要領（平成29年度）

解説社会編

# 社会科における思考・判断・表現とは？

地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

## 「地域の在り方」で身に付ける思考力・判断力・表現力

- 地域のあり方を、地域の結びつきや地域の変容、持続可能性に着目し、そこでみられる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。

# 持続可能性についての取り扱い

ウ (3) については次のとおり取り扱うものとする。

(ウ) 地域の考察に当たっては、そこに暮らす人々の生活・文化、地域の伝統や歴史的な背景、地域の持続可能な社会づくりを踏まえた視点に留意すること。

京都研修が課題  
設定のきっかけ  
でした



# 生徒たちから

とにかく人が多い。

見渡してみても外国人観光客なので怖かった。

調べたお店が混雑していた。

公共交通機関の混雑がひどい

目標達成度...どのくらい達成できたか、色をぬりましょう。

99%

理由

初日のフィールドワークで清水寺に行く際にバスが満員で乗れなく、  
それを2体直前で結局徒歩で向かい、次の行動が支障がでて、

食文化ミュージアムに行くための心がけです(

それ以外完璧(99%)

★思い出の1ページをイラストで!



課題意識を持つ生徒がいました

課題の設定にあたって  
同じようなことが報道  
でありました



<課題の概要>

Goals (目標)	多くの外国人観光客を受け入れる日本は、インバウンド等で利益を受けているが弊害もみられる。持続可能な観光開発をしながらもそれに付随する諸課題について多面的に考察する。
Role (役割)	行政の観光課の職員
Audience (相手)	外国人観光客
Situation (状況)	地域住民から、「多くの外国人観光客の影響で、さまざまな弊害を受けている」と複数の意見を受ける
Product (内容)	① 現況の把握と課題の分析をまとめる ② ①をもとに外国人観光客向けの啓発ポスターを日本語で1枚作製する。ポスターには課題とその対策をわかりやすく示す。
Standards (評価)	評価：B『調査』、D『批判的思考』 点数は8×2=16点 ATLスキル： ・情報リテラシースキル 事案や自治体の取り組み等をもとにデータを収集、記録、検証する。情報を精査し、根拠をもとに情報を関連づけることができる。 ・批判的思考スキル 議論を形成するために判例など関連する情報を集め整理する。課題を認識し評価するとともに、様々な可決策を提案する。

<ループリック>

B iii 適切で多様かつ関連性のある情報を収集し記録するための研究方法を活用する。

1/2	研究課題に必ずしも一貫性がない情報を限定的に収集し、ワークシートに記録している。
3/4	おおむね関連性のある情報を収集し、ワークシートに記録するための研究方法を活用している。
5/6	適切かつ関連性のある情報を収集し、ワークシートに記録するための調査方法

D ii 情報を統合して、有効かつ論拠のある主張を行う。

1/2	ポスター作製のため限定的な範囲で情報を要約して、主張を行っている。
3/4	ポスター作製のため情報を要約して、主張を行っている。
5/6	ポスター作製のため情報を統合して、有効な主張を行っている。
7/8	ポスター作製のため情報を統合して、有効かつ論拠のある主張を行っている。

ポイント：「持続可能な観光」が重要でこれからも「発展」していく内容であること。  
外国人観光客への「規制」や「批判」にならないこと。

<課題の状況>

あなたはとある自治体の観光課の職員です。最近、外国人観光客の観光の様子や対応について連日のように市民からメールや問い合わせがあります。その内容は残念ながらネガティブなものが多いです。

あなたは上司から外国人観光客向けの啓発ポスターの作成を命じられました。

あなたはまず、現況および課題の把握と概要のまとめを行い、その後ポスターの作成に取り掛かるよう計画しました。

- ① ワークシートを作成し、現況の把握と課題を取り出しまとめる。
- ② 外国人観光客向けの啓発ポスター（日本語バージョン）を作成する。  
ポスター作製についてはキャンバやパワーポイントなどファイルは問わず、ポスターなので文字だけにならないよう、また1枚のポスターに複数の内容を入れる。  
例) 観光客のごみ問題が顕著なので、「ごみを減らそう」だけにならないように。

<設定の市町村や地域は以下から選ぶ>

京都、奈良、富士山・箱根、鎌倉・湘南（神奈川）、広島  
難波・USJ（大阪）、沖縄、浅草（東京）、札幌（北海道）

京都研修で身をもって経験したことも含めて考える。

\*生成AIの回答を、コピー&ペーストしたものは評価できません。

# GRASPSの設定

Goals (目標)	多くの外国人観光客を受け入れる日本は、インバウンド等で利益を受けているが弊害もみられる。持続可能な観光開発をしながらもそれに付随する諸課題について多面的に考察する。
Role (役割)	行政の観光課の職員
Audience (相手)	外国人観光客
Situation (状況)	地域住民から、「多くの外国人観光客の影響で、さまざまな弊害を受けている」と複数の意見を受ける
Product (内容)	① 現況の把握と課題の分析をまとめる ② ①をもとに外国人観光客向けの啓発ポスターを日本語で1枚作製する。ポスターには課題とその対策をわかりやすく示す。
Standards (評価)	評価：B『調査』、D『批判的思考』 点数は $8 \times 2 = 16$ 点 ATLスキル： ・情報リテラシースキル 事案や自治体の取り組み等をもとにデータを収集、記録、検証する。情報を精査し、根拠をもとに情報を関連づけることができる。 ・批判的思考スキル 議論を形成するために判例など関連する情報を集め整理する。 課題を認識し評価するとともに、様々な可決策を提案する。

## <課題の状況>

あなたはとある自治体の観光課の職員です。最近、外国人観光客の観光の様子や対応について連日のように市民からメールや問い合わせがあります。その内容は残念ながらネガティブなものが多いです。

あなたは上司から外国人観光客向けの啓発ポスターの作成を命じられました。

あなたはまず、現況および課題の把握と概要のまとめを行い、その後ポスターの作成に取り掛かるよう計画しました。

- ① ワークシートを作成し、現況の把握と課題を取り出しまとめる。
- ② 外国人観光客向けの啓発ポスター（日本語バージョン）を作成する。  
ポスター作製についてはキャンバやパワーポイントなどファイルは問わず。  
ポスターなので文字だけにならないよう、また1枚のポスターに複数の内容を入れる。  
例) 観光客のごみ問題が顕著なので、「ごみを減らそう」だけにならないように。

## <設定の市町村や地域は以下から選ぶ>

京都、奈良、富士山・箱根、鎌倉・湘南（神奈川）、広島  
難波・USJ（大阪）、沖縄、浅草（東京）、札幌（北海道）

# 社会の課題とどう向き合い、どのように考え、表現するか

社会の課題→大人がだけが考えることではない



中学生にも課題解消のためのアイデアを考えることができる。（むしろ、より柔軟に考えることができる）

☆現況の把握と検証、その対応策を考える

・自分が設定した場所→

東京

現状の課題	考えられる対応策	対応策の問題や課題
日本語が伝わらない人がいる	ポスターや掲示板を多言語対応にする。	作るのにお金がかかるし、すべてを変えようとすると時間もかかる。
日本の文化やマナーを守っていない人がいる	日本のマナーを守ってもらうようにポスターを作成したり、SNSで紹介する。	実際に外国人に情報が入るかどうかが不明確。お金がかかる。
観光客が多すぎて混雑する	観光地で入場制限や夜は行けないようにするなど時間帯で区切るようにする。	お店の収益が減るため、お店の賛同が得られないかもしれない。観光客にとってイメージダウンにつながる。
ゴミが増えて、清掃が追いつかない	地元の人と協力して、スムーズに清掃システムが回るような仕組みを作る。	地元の人が協力するのはおそらくボランティアだから一定数の人が集まらなかったり途中でやめたりしてしまうかもしれない。
宿泊施設が足りない	宿泊施設を増やし、新たな宿泊の選択肢を探す。	観光地のど真ん中に宿泊施設を建てると、観光地の雰囲気壊される可能性がある。

自分が調べた場所の観光資源を継続・発展させるため、また課題に対応するためにはどのようなことが必要か、複数の視点からまとめる。

解決策の問題点としては、資金面と人員面で特に問題があると感じたので、行政と地元の人が話し合って役割を分担しながら過ごしやすい街を作ったら継続的に観光客も来て、街もきれいなままになると思いました。

IDEA AGENCY  
ATTACHED TO OKINAWA UNIVERSITY  
1-5-1 Midorigaoka  
Ikeda City

# TOKYO CHALLENGE

Let's make good city

あなたは「オーバーツーリズム」を知っていますか?  
Do you know "Over Tourism"?

あなたができること  
What you can do

例えば...  
For example...  
写真に人が写らない  
There are no people in the photo  
テラスは収容時で必ず  
make in the standing etc...

- ゴミはゴミ箱に入れる  
Put trash in the trash can
- 観光地へは混雑していない時間に行く  
Go to tourist spots at less crowded times
- 日本の文化を理解する  
Understand Japanese culture
- 旅行の計画は事前に立てておく  
Plan your trip in advance

## WE NEED YOUR HELP!

1-5-1 Midorigaoka, Ikeda City | +81-72761-8690 | @g.oku.ed.jp

現状の課題	考えられる対応策	対応策の問題や課題
日本語が伝わらない人がいる	ポスターや掲示板を多言語対応にする。	作るのにお金がかかるし、すべてを変えようとすると時間もかかる。
日本の文化やマナーを守っていない人がいる	日本のマナーを守ってもらうようにポスターを作成したり、SNSで紹介する。	実際に外国人に情報が入るかどうかも不明確。お金がかかる。
観光客が多すぎて混雑する	観光地で入場制限や夜は行けないようにするなど時間帯で区切るようにする。	お店の収益が減るため、お店の賛同が得れないかもしれない。観光客にとってイメージダウンにつながる。
ゴミが増えて、清掃が追いつかない	地元の人と協力して、スムーズに清掃システムが回るような仕組みを作る。	地元の人が協力するのはおそらくボランティアだから一定数の人が集まらなかったり途中でやめたりしてしまうかもしれない。
宿泊施設が足りない	宿泊施設を増やし、新たな宿泊の選択肢を探す。	観光地のど真ん中に宿泊施設を建てると、観光地の雰囲気や壊される可能性がある。

自分が調べた場所の観光資源を継続・発展させるため、また課題に対応するためにはどのようなことが必要か、複数の視点からまとめる。

解決策の問題点としては、資金面と人員面で特に問題があると感じたので、行政と地元の人が話し合って役割を分担しながら過ごしやすい街を作ったら継続的に観光客も来て、街もきれいなままになると思いました。

現状の課題	考えられる対応策	対応策の問題や課題
公共交通機関の混雑	・公共交通機関の便数増加 ・公共交通機関の選択肢の増加(1日乗り放題の範囲を増やす・タクシーを利用するetc.)	・運営会社の協力が必要不可欠(→バスは運転手不足) ・市バス以外の公共交通機関の路線拡張が「文化財の維持・保存」という京都市の施策によって行いにくい状況に
人が多すぎて、ゴミがゴミ箱に入り切らない状況に。入り切らなかったゴミが道に散乱し、カラスが寄ってくる。	・ゴミ箱の増加 ・カラスよけの設置	・ゴミ処理にかかる費用が多くなる
マナー違反(舞妓さん・芸子さんへの追っかけや撮影禁止場所での撮影)	・スマホへの多言語での一斉配信 ・ポスターでの啓発	・システム開発に要する時間、費用
私有地への不法侵入	・ポスターでの啓発 ・規制線を張る	・全ての私有地に対応できるかどうか
神社や寺院の混雑	・入場制限、整理券を設ける ・観光客の誘導、整理をする	・観光客が減り経済が回りにくくなる ・人件費

自分が調べた場所の観光資源を継続・発展させるため、また課題に対応するためにはどのようなことが必要か、複数の視点からまとめる。

場所が混雑していて、市民が利用しにくいという課題を持っていることが多い(公共交通機関の混雑や、神社や寺院の混雑)。これらの課題は、公共交通機関の運営会社、神社や寺院の協力が必要不可欠であり、いずれにしても莫大な費用がかかったり、観光客が減ったりして、利益の損失に繋がりがねない。そのため、まずは啓発ポスターを貼る事から始めることが必要だと考える。ゴミがゴミ箱から出てしまうという課題では、ゴミ箱の増加や、カラスよけの設置により、ある程度解決できると考える。私有地への不法侵入(以後前者)や、芸子さん・舞妓さんへの追っかけや撮影(以後後者)などのマナー違反は、ポスターから始め、できるだけその場所の景観を守ることを優先すべきであると考えたが、それでも改善しない場合は、前者は規制線を張り、後者はある一定のエリア(芸子さんや舞妓さんのよく通る道、花見小路など)に入ったスマホに対し、多言語での啓発画の配信を行う、あるいは警告を行う等の対策が必要となる。しかし、いずれにしても費用や景観が損なわれるなどの問題点があるため、啓発ポスターで解決することが好ましい。

# 課題の整理

現状の課題	考えられる対応策	対応策の問題や課題
サンゴ礁の破壊	<ul style="list-style-type: none"> <li>サンゴ礁における観光客の制限や管理</li> <li>サンゴの保護区域を作る</li> <li>環境の保全(ゴミ問題など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客を制限する→観光による収益が減る</li> <li>ルールを作るのと守るのは別問題</li> </ul>
海岸のごみ問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>海岸のゴミ箱を増やす</li> <li>ボランティアなど、新しい観光のスタイル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての海岸にゴミ箱を増設するのは経費がかかる</li> <li>ゴミ箱があっても、ポイ捨てする人がいる</li> </ul>
交通トラブル	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の交通ルールの周知</li> <li>公共交通機関を増やす(?)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電車の本数を増やすなどは難しい</li> <li>観光客が多すぎて、周知が難しい</li> </ul>

現状の課題	考えられる対応策	対応策の問題や課題
観光客が私道に進入してしまう(写真を撮るため)	<ul style="list-style-type: none"> <li>見つけた時点で罰金をとる</li> <li>→現在すでにおこなわれている</li> <li>看板を立てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看板を立てる費用がかかる</li> <li>禁止していても無視する人が多いので、何度も通報しなければならない</li> </ul>
舞妓パパラッチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>空港で、そのような迷惑行為をしないように注意喚起する</li> <li>舞妓さんに黒子さん(ポディーガード)をつける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空港で注意をするために時間をとり、混雑してしまう</li> <li>ポディーガードは人件費がかかる</li> <li>舞妓さんらしさがなくなってしまう</li> </ul>
撮影禁止エリアでしゃしんをとる	<ul style="list-style-type: none"> <li>看板を立てる(多言語や、ピクトグラムなど)</li> <li>罰金をとる</li> <li>観光案内所やホテルなどで、撮影禁止エリアについて記載されたパンフレットやガイドマップを配布する。</li> <li>Free Wi-Fiに、特定の地域では写真が取れなくなるようなプログラムをいれる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用がかかる</li> <li>Free Wi-Fiをきれば写真が取れる</li> </ul>
のれんで手をふくなどのマナー違反	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光案内所やホテルなどで、観光のマナーについて記載されたパンフレットを配布する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ちゃんと見ない人も居るので意味がない</li> </ul>
ゴミのポイ捨て	ゴミ箱をたくさん設置する	<ul style="list-style-type: none"> <li>設置にお金がかかる</li> <li>人通りの多いところに設置するので、ゴミの回収がしづらい</li> </ul>

# 対応策

現状の課題	考えられる対応策	対応策の問題や課題
サンゴ礁の破壊	<ul style="list-style-type: none"> <li>サンゴ礁における観光客の制限や管理</li> <li>サンゴの保護区域を作る</li> <li>環境の保全(ゴミ問題など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客を制限する→観光による収益が減る</li> <li>ルールを作るのと守るのは別問題</li> </ul>
海岸のごみ問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>海岸のゴミ箱を増やす</li> <li>ボランティアなど、新しい観光のスタイル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての海岸にゴミ箱を増設するのは経費がかかる</li> <li>ゴミ箱があっても、ポイ捨てする人がいる</li> </ul>
交通トラブル	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の交通ルールの周知</li> <li>公共交通機関を増やす(?)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電車の本数を増やすなどは難しい</li> <li>観光客が多すぎて、周知が難しい</li> </ul>

現状の課題	考えられる対応策	対応策の問題や課題
観光客が私道に進入してしまう(写真を撮るため)	<ul style="list-style-type: none"> <li>見つけた時点で罰金をとる</li> <li>→現在すでにおこなわれている</li> <li>看板を立てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看板を立てる費用がかかる</li> <li>禁止していても無視する人が多いので、何度も通報しなければならない</li> </ul>
舞妓パパラッチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>空港で、そのような迷惑行為をしないように注意喚起する</li> <li>舞妓さんに黒子さん(ボディガード)をつける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空港で注意をするために時間をとり、混雑してしまう</li> <li>ボディガードは人件費がかかる</li> <li>舞妓さんらしさがなくなってしまう</li> </ul>
撮影禁止エリアでしゃしんをとる	<ul style="list-style-type: none"> <li>看板を立てる(多言語、モニターなど)</li> <li>罰金をとる</li> <li>観光案内所やホテルなどで、撮影禁止エリアについて記載されたパンフレットやガイドマップを配布する。</li> <li>Free Wi-Fiに、特定の地域では写真が取れなくなるようなプログラムをいれる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用がかかる</li> <li>Free Wi-Fiをきれば写真が取れる</li> </ul>
のれんで手をふくなどのマナー違反	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光案内所やホテルなどで、観光のマナーについて記載されたパンフレットを配布する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ちゃんと見ない人も居るので意味がない</li> </ul>
ゴミのポイ捨て	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミ箱をたくさん設置する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設置にお金がかかる</li> <li>人通りの多いところに設置するので、ゴミの回収がしづらい</li> </ul>

# 批判的思考

現状の課題	考えられる対応策	対応策の問題や課題
サンゴ礁の破壊	<ul style="list-style-type: none"> <li>サンゴ礁における観光客の制限や管理</li> <li>サンゴの保護区域を作る</li> <li>環境の保全(ゴミ問題など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客を制限する→観光による収益が減る</li> <li>ルールを作るのと守るのは別問題</li> </ul>
海岸のごみ問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>海岸のゴミ箱を増やす</li> <li>ボランティアなど、新しい観光のスタイル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての海岸にゴミ箱を増設するのは経費がかかる</li> <li>ゴミ箱があっても、ポイ捨てする人がいる</li> </ul>
交通トラブル	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の交通ルールの周知</li> <li>公共交通機関を増やす(?)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電車の本数を増やすなどは難しい</li> <li>観光客が多すぎて、周知が難しい</li> </ul>

現状の課題	考えられる対応策	対応策の問題や課題
観光客が私道に進入してしまう(写真を撮るため)	<ul style="list-style-type: none"> <li>見つけた時点で罰金をとる</li> <li>→現在すでにおこなわれている</li> <li>看板を立てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看板を立てる費用がかかる</li> <li>禁止していても無視する人が多いので、何度も通報しなければならない</li> </ul>
舞妓パパラッチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>空港で、そのような迷惑行為をしないように注意喚起する</li> <li>舞妓さんに黒子さん(ボディガード)をつける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空港で注意をするために時間をとり、混雑してしまう</li> <li>ボディガードは人件費がかかる</li> <li>舞妓さんらしさがなくなってしまう</li> </ul>
撮影禁止エリアでしゃしんをとる	<ul style="list-style-type: none"> <li>看板を立てる(多言語や、ピクトグラムなど)</li> <li>罰金をとる</li> <li>観光案内所やホテルなどで、撮影禁止エリアについて記載されたパンフレットやガイドマップを配布する。</li> <li>Free Wi-Fiに、特定の地域では写真が取れなくなるようなプログラムをいれる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用がかかる</li> <li>Free Wi-Fiをきれば写真が取れる</li> </ul>
のれんで手をふくなどのマナー違反	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光案内所やホテルなどで、観光のマナーについて記載されたパンフレットを配布する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ちゃんと見ない人も居るので意味がない</li> </ul>
ゴミのポイ捨て	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミ箱をたくさん設置する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設置にお金がかかる</li> <li>人通りの多いところに設置するので、ゴミの回収がしづらい</li> </ul>

# 持続可能性

自分が調べた場所の観光資源を継続・発展させるため、また課題に対応するためにはどのようなことが必要か、複数の視点からまとめる。

京都は古い町並みを残して観光地としているが、年々昔ながらの家が老朽化や次に住む人がいないといった理由などで少なくなっている。そのためには清水寺などの有名な観光地で募金活動をしたり、ネットで多言語に対応したクラウドファンディングをしたり、国から支援金をもらったりするなどして古い町並みを残すための費用を稼ぐ、貰う必要があると思う。

自分が調べた場所の観光資源を継続・発展させるため、また課題に対応するためにはどのようなことが必要か、複数の視点からまとめる。

江ノ電の踏切は無料で気軽に観光できることも魅力なので、入場制限や有料にするよりは、様々な言語で呼びかけやポスターを貼る、インターネットサイトで呼びかけるなどが効果的だと思いました。外国からの観光客は、日本では当たり前前のルールが通用しないかもしれないので、時間をかけて、知ってもらいたいと思います。すぐには変わらないかもしれないけど、少しずつ改善をしていき、観光客が観光地以外の地元の商店街へ流れるようになるとその地域も活性化していいと思います。

自分が調べた場所の観光資源を継続・発展させるため、複数の視点からまとめる。

「エコツーリズム」「グリーンツーリズム」という言葉がある。それぞれ意味は微妙に異なるが、「持続可能な観光」という根本の考え方は共通している。現代の「観光」という概念は、ただの消費行動の一つに過ぎないので、持続可能であるとは言い難い。

持続可能な観光の実現のためには、ただ有名な観光地を見て帰るといった観光のスタイルだけではなく、行った先何かを学ぶことのできる観光のあり方が必要なのではないかと思う。例えば、海岸のゴミ拾いを通して、環境について学ぶプログラムや、ホエールウォッチングツアーなどが挙げられる。観光を通して、環境についての意識や社会問題に目を向ける姿勢を啓発する。それが、持続可能な観光のあり方だと思う。

エコツーリズムやグリーンツーリズムを通して、「観光」という狭い概念を超えて、「これからの世界」を考えていくことが今、必要なのではないだろうか。

# ポスター製作 表現方法の工夫



夏にしかできない最高の思い出を作ろう!

## 持続可能な世の中へ

皆さんは沖縄が抱えている問題を知っていますか？その一つを紹介しましょう

「スーツケースなど多くの荷物を抱えた観光客によって県民がモノレールに乗車できない状況が見られる」

①モノレールに乗るときはできるだけ荷物を寄せて沢山の人が入れるように工夫しましょう。

一人ひとりの行動がオーバーツーリズムを防ぎます！

情報を統合して、有効かつ論拠のある主張を行う。

1/2	ポスター作製のため限定的な範囲で情報を要約して、主張を行っている。
3/4	ポスター作製のため情報を要約して、主張を行っている。
5/6	ポスター作製のため情報を統合して、有効な主張を行っている。
7/8	ポスター作製のため情報を統合して、有効かつ論拠のある主張を行っている。

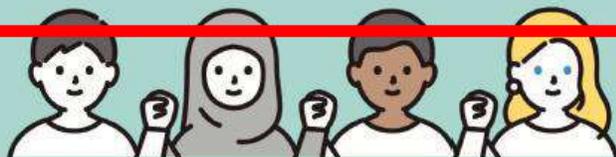
ポイント：「持続可能な観光」が重要でこれからも「発展」していく内容であり、外国人観光客への「規制」や「批判」にならないこと。



NO stressfulな  
観光地を  
目指そう。

観光地では、  
お互いに譲り合って  
観光するよう心がけ  
てください。

私達がマナーを  
守ることで、  
犯罪の抑止、  
文化財保護にも  
繋がります。



これだけ覚えておいて！

マナーを守ることで、  
「市民、観光客、観光事  
業者・従事者等、京都観  
光にかかわる全ての方」  
の質・満足度の向上に繋  
がります。



京都市の具体的な  
オーパーツーリズムに対する対策はコチラ！

京都市役所  
〒604-8571  
京都市中京区寺町通御池上る  
上本能寺前町488番地  
市役所へのアクセス組織一覧  
電話：075-222-3111（代表）



風上側喫煙をしないでください



風上側飲酒をしないでください



風上にゴミを捨てないでください



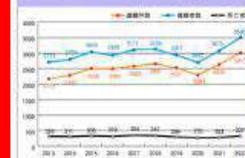
ゴミをゴミ箱に入れてください

ルールを守り、楽しく観光しましょう。



## 困っています

・危険です『弾丸登山』  
富士山は登山道によって開通期間、時間が異なります。事  
前にホームページで確認するようにしましょう。大雨などに  
より登山道に危険があるときも閉鎖されます。



山岳遭難者数  
はコロナ禍以  
降、年々増え  
ています。



・登山道での焚き火お断り  
富士山での焚き火は禁止されています。しっかり寒さ対策  
をしていきましょう。山小屋を予約しておきましょう！

・ゴミを捨てないで  
ゴミになりやすいもの  
・タバコの吸い殻←標高が高く分解が進みません！  
・食べ物←空気が薄いので食べると吐き気がし易い！  
・雨具←風が強すぎるので薄いビニールカッパや傘は使えません！

2023年の回収登山で回収されたゴミの量は1200トン！

守ろう  
美しい富士山



# 観光する上でのマナー



2050年一海中を泳ぐポリ袋  
**未来の海、  
 これていい？**  
 今現在、世界では海洋汚染が深刻化している。このペースで汚染が進行すれば2050年には海中のプラスチックごみの総重量が魚の総重量を超えると言われている。



## 対策

- ・出したゴミはその場でゴミ箱に入れて捨てるか、持ち帰って捨てる
- ・動物標本の看板に注意して生き物にも気を配って歩こう

**沖縄の海**  
 最近、沖縄ではマイクロプラスチックや他のごみ等が海洋に流れ出して問題になっている。生物による誤食や成長の阻害などが主な問題となっているが、これらは長い間指摘されてきている。なぜかという点、プラスチックはほとんど分解されにくく、長い期間に渡って自然に悪影響を及ぼす。近年は観光客の増加に伴うゴミの増加が特に大きな課題である。

**増える車と犠牲**  
 沖縄では観光客の増加による問題がもう一つ発生している。その内の一つが交通渋滞だ。観光客はレンタカーやバスなどで移動するので、勿論バスは混雑し道路も渋滞する。そして車が増えることにより発生する新しい問題がロードキルだ。生物が道路を横断している際にはあられてしまったり壊かれてしまったりする事例が多くなっている。貴重な生き物をできるだけ大切にしていきたい。



# OVERTOURISM KYOTO

## ルールを守ろう



私道などの私有地では写真や動画の撮影を禁止している場所があります。そのような場所ではルールをきちんと守りましょう

## 舞妓さんを守ろう



舞妓さんを出待ちする、追いかける、通り道を塞ぐ、過度な写真や動画の撮影といった行為はやめましょう。周りの人や舞妓さんの迷惑となってしまう。

## 景観を守ろう



ゴミのポイ捨てをやめましょう。自分のゴミはきちんと持ち帰り、家で捨てるように心がけましょう。

これらの対策のために、京都観光でのマナーやルールをまとめたパンフレットをホテルや空港で配布しています

## パフォーマンス課題の結果

- 知識以外の思考、判断、表現を評価することができた。
- 生徒の得意、不得意を測ることができた

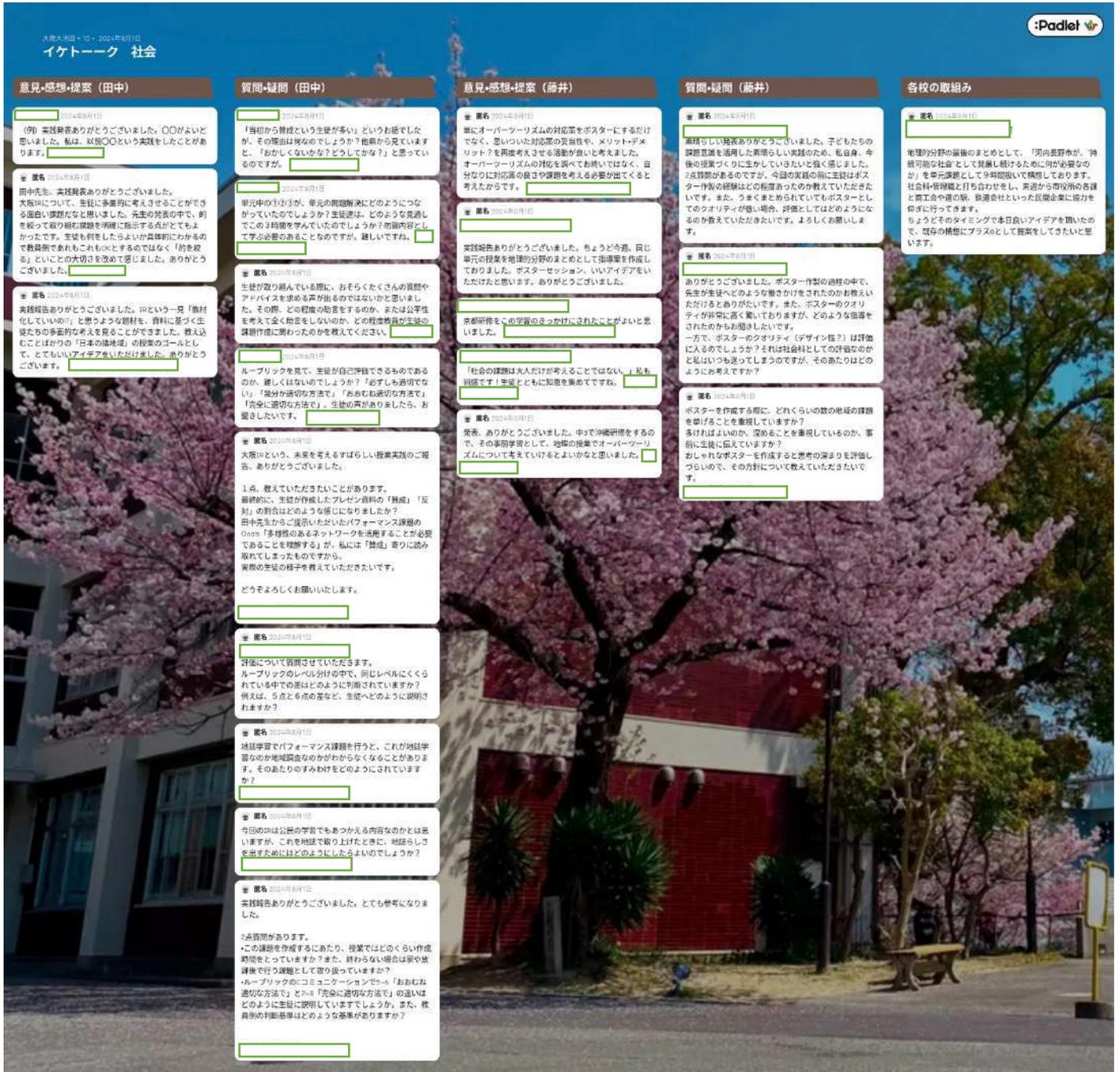
社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり、解決したりする活動



生徒の思考力、判断力、表現力を伸ばす学びとなる

本日は、イケトークにご参加いただきありがとうございました。  
 本日使用した Padlet やいただいたリフレクションを共有させていただきます。  
 ぜひ、ご活用ください。

話し合いで活用した Padlet



実践 | (田中)  
 意見・感想・提案 (お名前を伏せています)

田中先生、実践発表ありがとうございました。  
 大阪IRについて、生徒に多面的に考えさせることができる面白い課題だなと思いました。先生の発表の中で、的を絞って取り組む課題を明確に指示する点がとてもよかったです。生徒も何をしたらよいか具体的にわかるので教員側でもこれもOKとするのではなく「的を絞る」といこと大切さを改めて感じました。ありがとうございました。

実践報告ありがとうございました。IRという一見「教材化していいの!？」と思うような題材を、資料に基づく生徒たちの多面的な考えを見ることができました。教え込むことばかりの「日本の諸地域」の授業のゴールとして、とてもいいアイデアをいただきました。ありがとうございます。

#### 疑問・質問・お悩み

「当初から賛成という生徒が多い」というお話でしたが、その理由は何なのでしょう？ 他県から見ますと、「おかしくないかな？ どうしてかな？」と思っているのですが。

回答：生徒たちは、ニュースやインターネットの情報をもとに、経済効果について着目している様子です。「経済効果があるなら、よいと思う」と考えている生徒が多かったです。ギャンブル依存症については、個人の責任と捉えているようです。

単元中の①②③が、単元の問題解決にどのようにつながっていたのでしょうか？ 生徒達は、どのような見通しでこの3時間を学んでいたのでしょうか？ 勿論内容として学ぶ必要のあることなのですが。難しいですね。

回答：一応、それぞれに大阪 IR に関連させるようにしています。例えば、①地形・気候については、近畿地方の中部のあたりは、平野に多くの人々が住み、埋立地に産業地帯が広がっていることを学習し、気候的には降水量が少なく、晴れている時期が多いことが、大阪 IR の立地に影響を与えています。②阪神工業地帯は、スライドでも提示した歴史的な流れについて学習しています。③交通網では、私鉄の発展と、これから新大阪駅と関空が直通するルートが予定されていることで、インバウンド客のさらなる拡充が予想されています。また、大阪 IR へ向かうルートとして、新大阪駅、なんば駅、天王寺駅からルートができたり、奈良県、和歌山県、兵庫県、京都府、滋賀県から大阪 IR がつながるルートが確保される予定です。四国地方とは船での交通路が予定されています。それだけつながりが生まれることを学習しています。

生徒が取り組んでいる際に、おそらくたくさんの質問やアドバイスを求める声が出るのではないかと思います。その際、どの程度の助言をするのか、または公平性を考えて全く助言をしないのか、どの程度教員が生徒の課題作成に関わったのかを教えてください。

回答：アドバイスは、生徒にたくさんしています。情報の提供、反対の立場から視点で意見を伝えたりしています。生徒には情報の取捨選択を促し、どの情報を活用するのかは、生徒に考えさせるようにしました。

ルーブリックを見て、生徒が自己評価できるものであるのか、難しくはないのでしょうか？ 「必ずしも適切でない」「幾分か適切な方法で」「おおむね適切な方法で」「完全に適切な方法で」。生徒の声がありましたら、お聞きしたいです。

回答：自己評価はしていません。教員が評価するにあたってのルーブリックになります。思考・判断できたかどうかを今回は評価することにしました。

大阪 IR という、未来を考える素晴らしい授業実践のご報告、ありがとうございました。

1点、教えていただきたいことがあります。

最終的に、生徒が作成したプレゼン資料の「賛成」「反対」の割合はどのような感じになりましたか？ 田中先生からご提示いただいたパフォーマンス課題のGoals「多様性のあるネットワークを活用することが必要であることを理解する」が、私には「賛成」寄りに読み取れてしまったものですから。実際の生徒の様子を教えてください。

回答：賛成7～8割、反対2～3割くらいになりました。現在のところ、反対意見があるにしても、大阪IRが実現する可能性が高いことから、できたときにどうするべきかという視点で考えることが大切であると考えました。そのため、目標が賛成寄りになっているのは、そういう一面があるからです。

評価について質問させていただきます。

ルーブリックのレベル分けの中で、同じレベルにくくられている中での差はどのように判断されていますか？

例えば、5点と6点の差など、生徒へどのように説明されますか？

回答：基本的にはあまりつけないようにしています。説明が難しいところがあるからです。ただ、全体を俯瞰して見たときに、6点ではないけど、4点でもない作品が出てきます。そのときに、5点をつけるようにしています。クラスルームで課題の提出・返却を行っているので、その点数になった理由や「こうすれば6点でした」ということをフィードバックしています。

地誌学習でパフォーマンス課題を行うと、これが地誌学習なのか地域調査なのかわからなくなることがあります。そのあたりのすみわけをどのようにされていますか？

回答：難しい質問です。地域調査は、生徒がテーマや問いを考えることと、フィールドワークが特徴だと考えています。一方で、地誌学習では、地域の課題を通して地域的特色を捉えることが特徴だと考えています。そのあたりの違いを意識しています。私も専門的に知っているわけでないので、教えていただけると助かります。

今回のIRは公民の学習でもあつかえる内容なのかとは思いますが、これを地誌で取り上げたときに、地誌らしさを出すためにはどのようにしたらよいのでしょうか？

回答：地誌らしさでいうと、地域の特色が学習の中心になるかどうかではないかと考えています。交通、気候、地形、産業という視点で考えることと、そこに歴史的な軸をいれることが地誌学習らしいかなと考えています。

・この課題を作成するにあたり、授業ではどのくらい作成時間をとっていますか？ また、終わらない場合は家や放課後で行う課題として取り扱っていますか？

・ルーブリックのCコミュニケーションで5～6「おおむね適切な方法で」と7～8「完全に適切な方法で」の違いはどのように生徒に説明していますでしょうか。また、教員側の判断基準はどのような基準がありますか？

回答：授業では、3時間程度作成時間をとりました。3時間でできるように、指導しています。おわるができなかった場合は、家で行うことも可能としています。5～6の評価は、提供した資料をもとにプレゼン資料を作成できているとき、7～8の評価は、さらにそこから自分で調べてプレゼン資料を作成できているときという基準で評価しています。

## 実践2（藤井）

### 意見・感想・提案

・単にオーバーツーリズムの対応策をポスターにするだけでなく、思いついた対応策の妥当性や、メリット・デメリット？を再度考えさせる活動が良いと考えました。オーバーツーリズムの対応を調べてお終いではなく、自分なりに対応策の良さや課題を考える必要が出てくると考えたからです。

・実践報告ありがとうございました。ちょうど今週、同じ単元の授業を地理的分野のまとめとして指導案を作成しておりました。ポスターセッション、いいアイデアをいただけたと思います。ありがとうございました。

・京都研修をこの学習のきっかけにされたことがよいと思いました。

・「社会の課題は大人だけが考えることではない。」私も同感です！生徒とともに知恵を集めてですね。

・発表、ありがとうございました。中3で沖縄研修をするので、その事前学習として、地理の授業でオーバーツームについて考えていけるとよいかと思いました。

#### 疑問・質問・お悩み

・素晴らしい発表ありがとうございました。子どもたちの課題意識を活用した素晴らしい実践のため、私自身、今後の授業づくりに生かしていきたいと強く感じました。2点質問があるのですが、今回の実践の前に生徒はポスター作製の経験はどの程度あったのか教えていただきたいです。また、うまくまとめられていてもポスターとしてのクオリティが低い場合、評価としてはどのようになるのか教えていただきたいです。よろしくお願いします。

回答：社会科に限らずパフォーマンス課題でのポスター作製の経験がある状態だったので、スムーズに作成することができた。

ポスターの評価としては、伝えたいことが伝わる内容やレイアウト、地域の特性を含んだ内容、持続可能な観光の開発になっていることとであり、内容に根拠がない、ネガティブなものは評価が低いものとなっています。

・ありがとうございました。ポスター作製の過程の中で、先生が生徒へどのような働きかけをされたのかお教えいただけるとありがたいです。また、ポスターのクオリティが非常に高く驚いておりますが、どのような指導をされたのかもお聞きしたいです。一方で、ポスターのクオリティ（デザイン性？）は評価に入るのでしょうか？それは社会科としての評価なのかと私はいつも迷ってしまうのですが、そのあたりはどのようにお考えですか？

回答：ポスター作製の過程においては、旅行者が一目見て行動を改めたり、考えさせたりするものとなっていることや地域の特性を加味したものであるように助言しました。

デザイン性については、美術的なことは評価しませんが、内容が伝わるものになるよう指導しております。ポスターのクオリティについては、アプリケーションと生徒のICT能力のおかげだと思っております。

・ポスターを作成する際に、どれくらいの数の地域の課題を挙げることを重視していますか？

多ければよいのか、深めることを重視しているのか、事前に生徒に伝えてありますか？

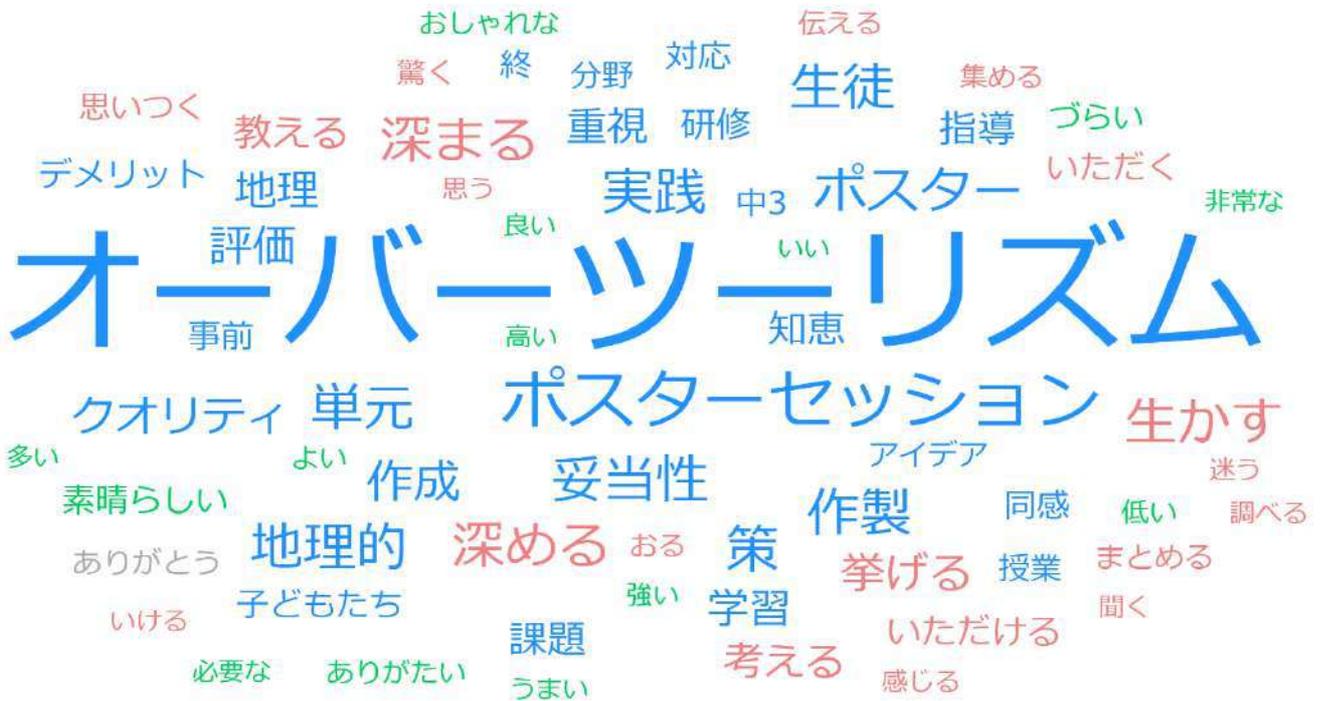
おしゃれなポスターを作成すると思考の深まりを評価しづらいので、その方針について教えていただきたいです。

回答：今回の地域を選んだ理由は、地域的な特性を挙げやすいものを選んでおります。また、完成後に4人の班で共有したので、地域が被らないよう8つ設定しました。

ポスターの内容がたくさんあるのではなく、地域的な特性も踏まえ、中身を深めることを重視しております。

参加者の方からいただいたリフレクションアンケートのご意見、ご感想

下の図は、感想を基に作成したテキストマイニングになります。



①本日の学び（学びが深まったこと、新たな疑問など）

「スタディポケット」（生成 AI）にて、テキストデータの分析を行った。以下に出力されたものを提示する。

ポジティブな意見（肯定的・前向きな意見）

1. 大変勉強させていただきました。ありがとうございます。
2. IB を取り入れている学校の「地理」的分野の活動を始めてお聞きすることができたのが、自分の糧になったと思っています。
3. grasps の設定がとても参考になりました。
4. この研修会によってある程度自分の中での見通しを立てられました。
5. パフォーマンス課題の位置付けや構想の過程、実践報告などを聞くことができて良かったです。
6. 評価の観点などがとても参考になりました。
7. 社会科におけるパフォーマンス課題の設定方法について新たな知見を得ることができました。
8. 素晴らしい実践発表ありがとうございました。
9. 他校の実践に触れることで、自分の実践の振り返りにもなりました。
10. 課題に対して深く思考したことを表現させる活動は、大変興味深いです。主体的な学びを実現するためには、この活動が非常に有効であると感じています。

ネガティブな意見（問題提起・疑問・懸念点）

1. 授業時数についての問題提起：他の単元との授業時数のバランスをどのようにとるか。
2. 新たな疑問：パフォーマンス課題の設定時の時数や歴史的分野での設定、単元の振り返り方法、主体的に学習する態度の評価方法など。
3. ルーブリックの評価記載やネットからのコピペ、情報添付の問題点とそれに対する対策の必要性。

教育機会の充実や新たな学習方法に対するポジティブな評価が多く見受けられ、参加者が多くのインスピレーションを得ている様子が伺えた。一方で、授業時間の管理や評価方法の具体化など、さらなる改善点が指摘されており、これらは今後の教育実践に生かすべき重要なポイントとなると考えられる。

・授業時数について。田中先生・藤井先生の今回の近畿地方での授業の授業時数は約10時間程度ですが、他の単元はどのようなものでしょうか。

→パフォーマンス課題への取り組みも含めて同程度になりますが、おっしゃるとおり授業時数の関係で単元をまとめる場合があります。

①パフォーマンス課題をどこで設定するか（時数との兼ね合い）②歴史的分野ではどのようにパフォーマンス課題を設定しているか（実生活とどう関連をもたせるか）③単元での振り返りはどうしているか ④主体的に学習に取り組む態度はどのように評価しているか ⑤単元の問いはどのように設定しているか（どのような資料を提示し、どのような手順で、生徒の疑問から問いを設定しているか）⑥パフォーマンス課題を設定する際の条件

→①各学期に2～3回程度、②、③パフォーマンス課題の内容によっては、振り返りを包括しているものがある。それ以外は特にしていない。④課題にたいしての内容の充実度や、班学習等におけるグループへの貢献度など⑤社会的に興味関心が高いもの。もしくは、授業のなかで生徒から新たに浮かんだ疑問や問いなど。⑥簡単に調べて終わるものにならないようにすること。また、学習指導要領から大きく外れていないこと。多面的・多角的な思考や表現ができるようにすること。また、国際バカロレアによるATLスキルを使うようにしている。

お話の中で、ネットからのコピペ、ネットの情報をただ添付するだけで深まりの感じられない作品や発表があると言うお話がありました。その点に対する対策や対応をどのようにされているかをお聞きしたいです。私は、パフォーマンス課題の内容がネットで調べたことで完結しないものにする。授業の中で、コピペと思われる用語や内容があった場合、個別に質問したり、対話しながら改善しています。ただ、前述の方法ではすべての生徒に対して対応しきれないのが実際です。もし、よろしければご意見を伺いたいです。

→課題や問いを調べて終わるものではなく、考察したり、班で話し合ったり、一般的な答えがないような問い、または社会通念上の答えのようなものはあるが、本当にその通りなのだろうかというような問いにする。

パフォーマンス課題と普段の授業のつながり  
～証明の学習において～

---

2024.8.1

大阪教育大学附属池田中学校 数学科 井場恒介

## スタッフ紹介

### 【発表者】

大阪教育大学附属池田中学校  
井場 恒介(いば こうすけ)

### 【ファシリテーター】

大阪教育大学附属池田中学校  
谷 直樹(たになおき)

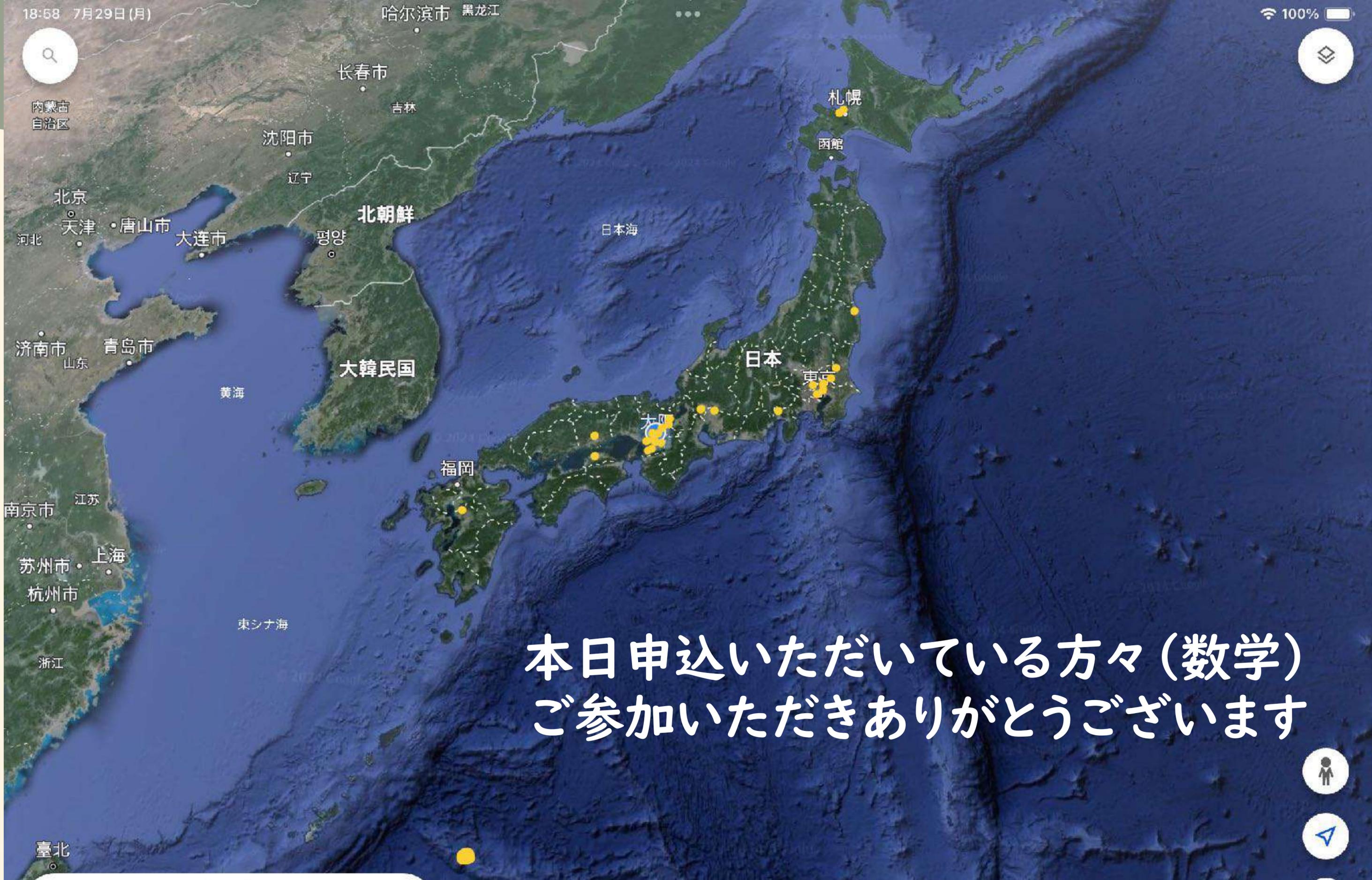
### 【指導助言の先生】

大阪教育大学 理数情報教育系数学教育部門 特任講師  
葛城 元(かつらぎ つかさ)先生

# アジェンダ

---

- 1 自己紹介
- 2 数学におけるパフォーマンス課題
- 3 実践紹介
- 4 成果と課題

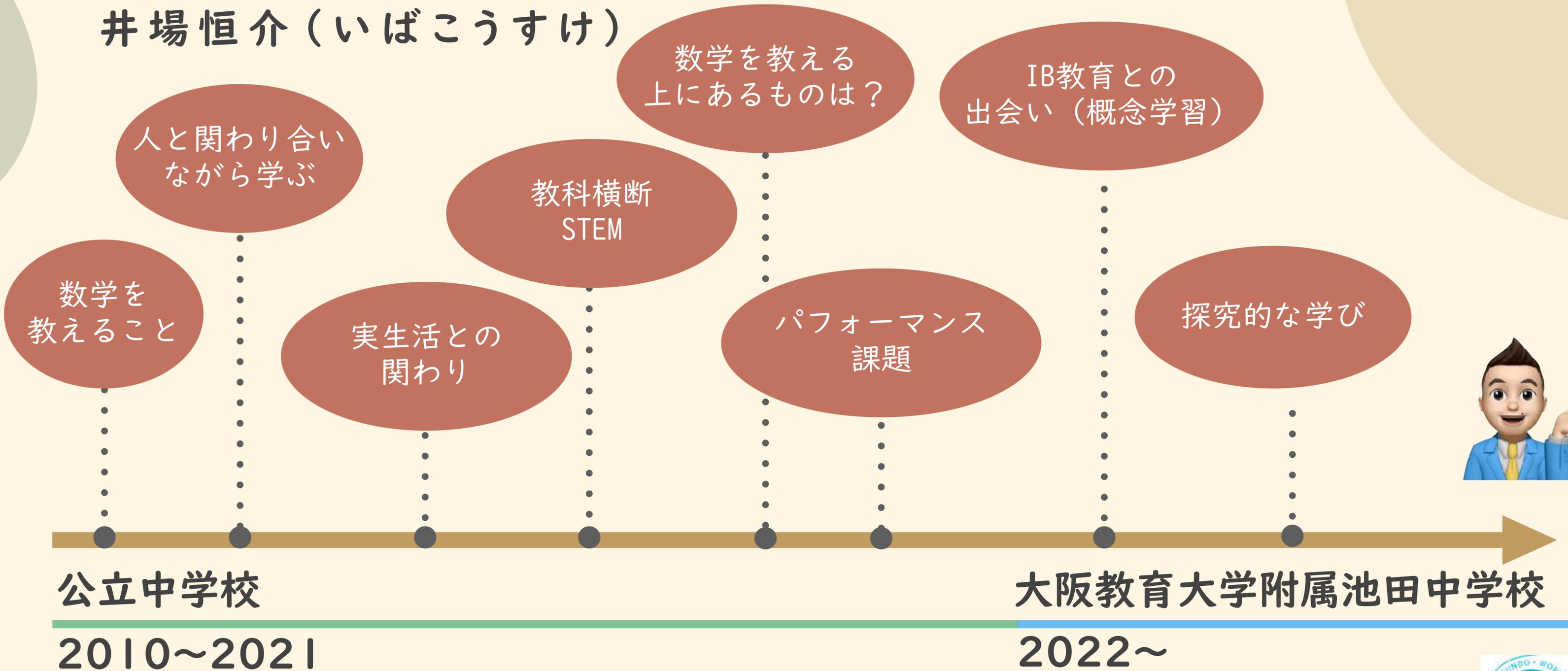


本日申込みいただいている方々(数学)  
ご参加いただきありがとうございます



# 1 自己紹介

## 井場恒介（いばこうすけ）



形成的評価

パフォーマンス課題って

概念って？

他校の先生は

数学の資質・能力を育む  
パフォーマンス課題って...

メタ認知

数学を探究的に  
進めるとは？

悩んでいます...

逆向き設計

単元設計

GRASPS

学びがつながる



Volatility  
変動性

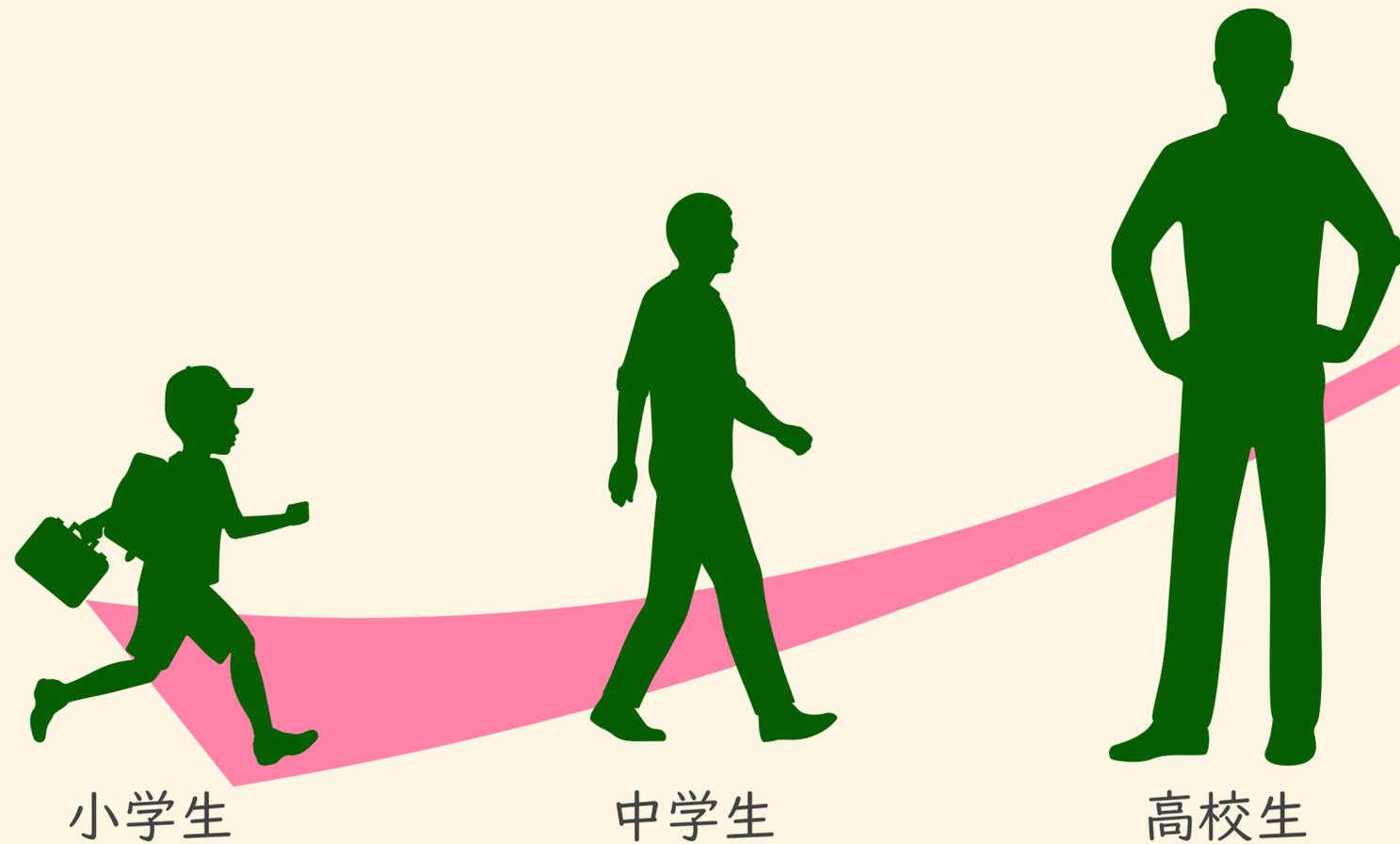
Uncertainty  
不確実性

「VUCAな時代」

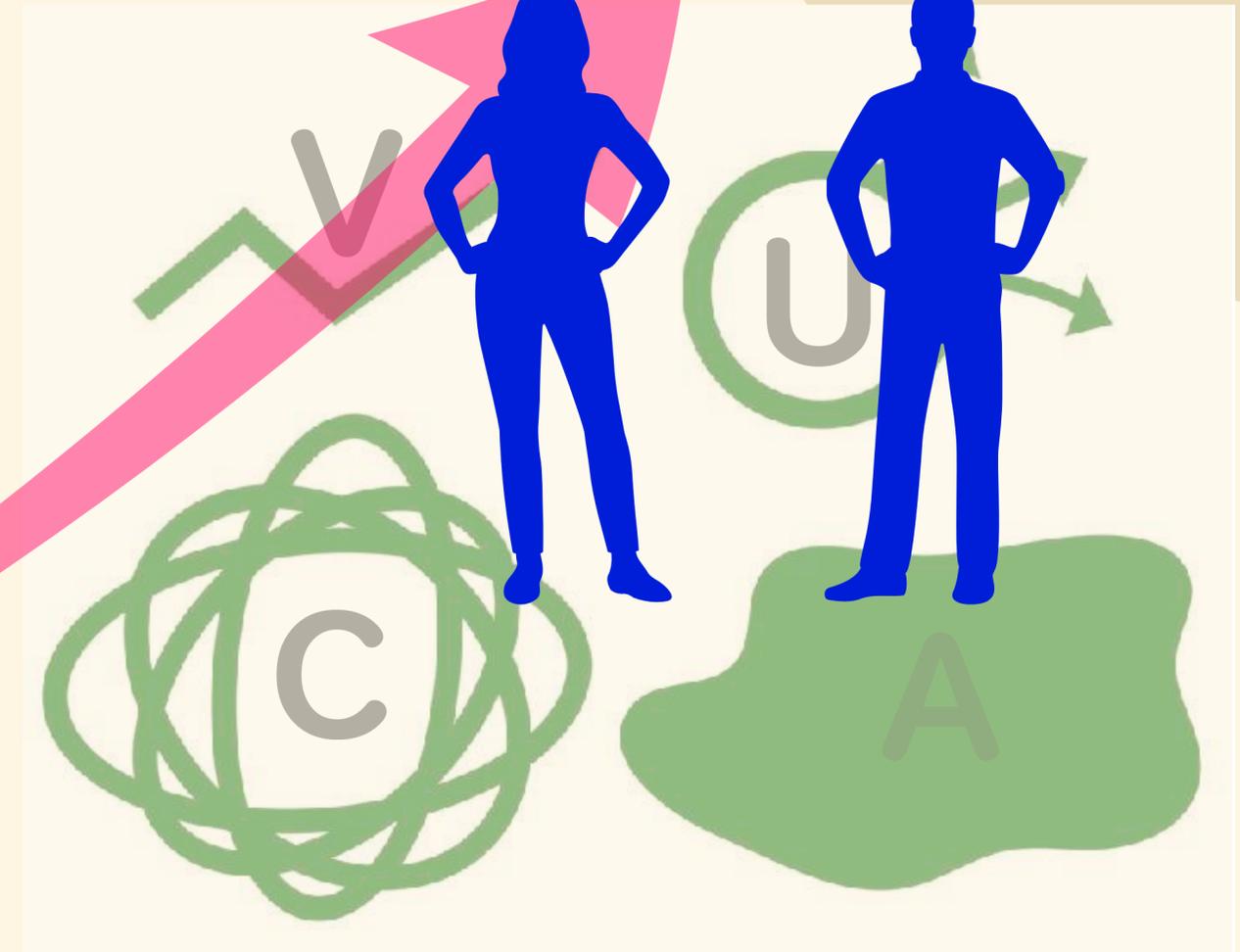
Complexity  
複雑性

Ambiguity  
曖昧性

目の前の児童・生徒に  
どんな力が必要だろうか

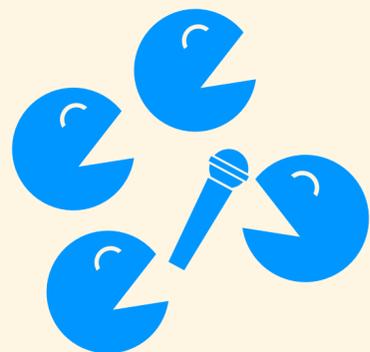


Well-being



VUCA時代

AI



より良いパフォーマンス課題を  
模索しよう

やってみよう!



**イケトーク** ZOOM開催

**日時** 令和6年8月1日(木) 午前9:00~11:30

**テーマ** 思考力・判断力・表現力を育成するための  
パフォーマンス課題と評価

プレゼンターが実践をスライド等にまとめて30分程度発表。その後、その提案に対して参加者と共に議論し、深めます。

**参加方法**

- 実施形態: オンライン (ZOOMで開催)
- 参加対象: 教員、教育委員会関係者、教職を目指す大学生または大学院生、教育関係の仕事の方
- 申し込み: 参加者には、開催日2、3日前にメールでお知らせをします。

下記のQRコードを読み込んで、ご登録ください。 **申し込み締め切り: 令和6年7月29日**

複数教科同日開催となります。教科等を選択し、ご参加ください。  
※フォームでうまく送信できない場合は、研究会担当者宛のメールに以下の必要事項を本文へご記入の上、送信してください。(担当者からの返信メールをご確認ください)

**その他**  
日程の目録がつかず、参加出来るか不安な方もメールアドレスを登録しておいて頂ければ案内の連絡をいたします。その際、参加できる場合、飛び込みでの参加も可能です。

イケトーク企画担当  
大阪教育大学附属池田中学校 中田未来  
E-mail: [sakata-m001@ic.osaka-kyoiku.ac.jp](mailto:sakata-m001@ic.osaka-kyoiku.ac.jp)  
Tel 072-761-8690

令和6年度 大阪教育大学附属池田中学校 研修会

取り組んでいない



取り組んでいる

今回つながった先生方と  
パフォーマンス課題を共有

ご自身の授業で  
取り組むなら・・・?

## 2 数学におけるパフォーマンス課題

算数・数学科において育成を目指す資質・能力の整理				別添4-1
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等	資質・能力の育成のために重視すべき学習過程の例*
数学 高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解</li> <li>事象を数学化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能</li> <li>数学的な問題解決に必要な知識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事象を数学的に考察する力</li> <li>既習の内容を基にして問題を解決し、思考の過程を振り返ってその本質や他の事象との関係を認識し、統合的・発展的に考察する力</li> <li>数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数学的に考えることよさ、数学の用語や記号のよさ、数学的な処理のよさ、数学の実用性などを認識し、事象の考察や問題の解決に数学を積極的に活用して、数学的論拠に基づいて判断する態度</li> <li>問題解決などにおいて、粘り強く、柔軟に考え、その過程を振り返り、考察を深めたり評価・改善したりする態度</li> <li>多様な考えを生かし、よりよく問題解決する態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>疑問や問いの発生</li> <li>問題の設定</li> <li>問題の理解、解決の計画</li> <li>計画の実行、結果の検討</li> <li>解決過程や結果の振り返り</li> <li>新たな疑問や問い、推測などの発生</li> </ul>
数学 中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解</li> <li>事象を数学化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能</li> <li>数学的な問題解決に必要な知識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常の事象を数理的に捉え、数学を活用して論理的に考察する力</li> <li>既習の内容を基にして、数量や図形などの性質を見だし、統合的・発展的に考察する力</li> <li>数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数学的に考えることよさ、数学的な処理のよさ、数学の実用性などを実感し、様々な事象の考察や問題解決に数学を活用する態度</li> <li>問題解決などにおいて、粘り強く考え、その過程を振り返り、考察を深めたり評価・改善したりする態度</li> <li>多様な考えを認め、よりよく問題解決する態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>疑問や問いの発生</li> <li>問題の設定</li> <li>問題の理解、解決の計画</li> <li>計画の実行、結果の検討</li> <li>解決過程や結果の振り返り</li> <li>新たな疑問や問い、推測などの発生</li> </ul>
算数 小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などの理解</li> <li>日常の事象を数理的に表現・処理する技能</li> <li>数学的な問題解決に必要な知識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力</li> <li>基礎的・基本的な数量や図形の性質や計算の仕方を見だし、既習の内容と結びつけ統合的に考えたり、そのことを基に発展的に考えたりする力</li> <li>数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり、目的に応じて柔軟に表したりする力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、数学的に考えることや数理的な処理のよさに気付き、算数の学習を進んで生活や学習に活用しようとする態度</li> <li>数学的に表現・処理したことを振り返り、批判的に検討しようとする態度</li> <li>問題解決などにおいて、よりよいものを求め続けようとし、抽象的に表現されたことを具体的に表現しようとしたり、表現されたことをより一般的に表現しようとするなど、多面的に考えようとする態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>疑問や問いの気付き</li> <li>問題の設定</li> <li>問題の理解、解決の計画</li> <li>解決の実行</li> <li>解決したことへの検討</li> <li>解決過程や結果の振り返り</li> <li>新たな疑問や問いの気付き</li> </ul>

\* 学習過程(28)では、自立的に、時に協働的に行い、それぞれに主体的に取り組めるようにする。

	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
数学 中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解</li> <li>● 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能</li> <li>● 数学的な問題解決に必要な知識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日常の事象を数理的に捉え、数学を活用して論理的に考察する力</li> <li>● 既習の内容を基にして、数量や図形などの性質を見だし、統合的・発展的に考察する力</li> <li>● 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 数学的に考えることよさ、数学的な処理のよさ、数学の実用性などを実感し、様々な事象の考察や問題解決に数学を活用する態度</li> <li>● 問題解決などにおいて、粘り強く考え、その過程を振り返り、考察を深めたり評価・改善したりする態度</li> <li>● 多様な考えを認め、よりよく問題解決する態度</li> </ul>

知・技

- 事象を数学化・数学的に解釈, 表現・処理したりする技能

思・判・表

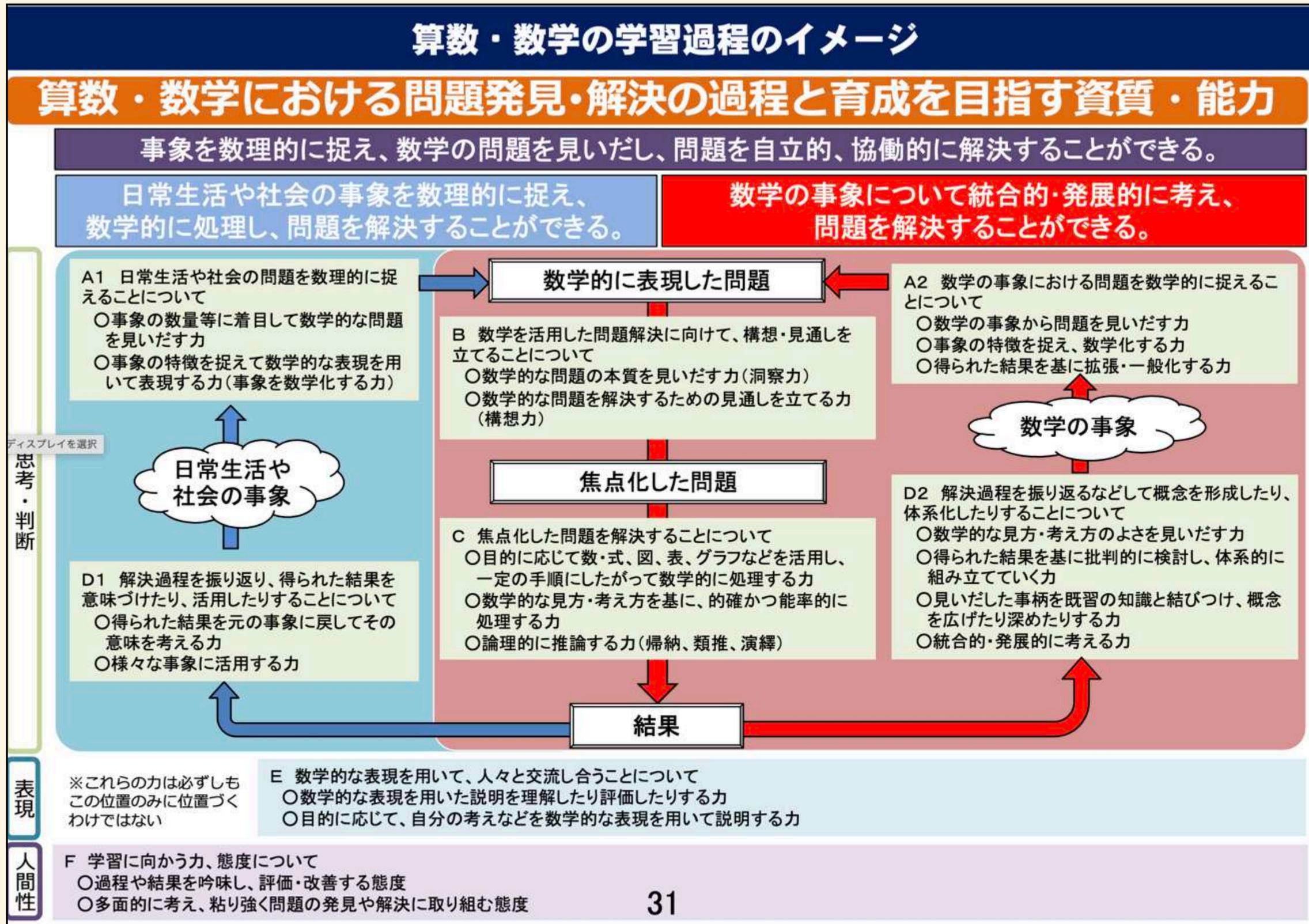
- 事象を数理的に捉える, 数学を活用して論理的に考察する力

思・判・表

- 数学的な表現を用いて事象を簡潔, 明確に表現する力

学び

- 数学的に考える, 数学の実用性, 数学を活用する態度



31

## 算数・数学で育む資質・能力

### ペーパーテストで測れる力

### ペーパーテストで測れない力

	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性
数学 中学校	<ul style="list-style-type: none"><li>● 数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解</li><li>● 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能</li><li>● 数学的な問題解決に必要な知識</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 日常の事象を数理的に捉え、数学を活用して論理的に考察する力</li><li>● 既習の内容を基にして、数量や図形などの性質を見だし、統合的・発展的に考察する力</li><li>● 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 数学的に考えることよさ、数学的な数学の実用性などを実感し、様々な事題解決に数学を活用する態度</li><li>● 問題解決などにおいて、粘り強く考え振り返り、考察を深めたり評価・改善したる態度</li><li>● 多様な考えを認め、よりよく問題解決する態度</li></ul>

どうやって測る？

数学の資質・能力を育む  
パフォーマンス課題って・・・



問題の把握

個人思考

実生活の課題を数学で解決

考えを描写

数学的に解釈  
表現・処理

事象を簡潔, 明確に  
表現

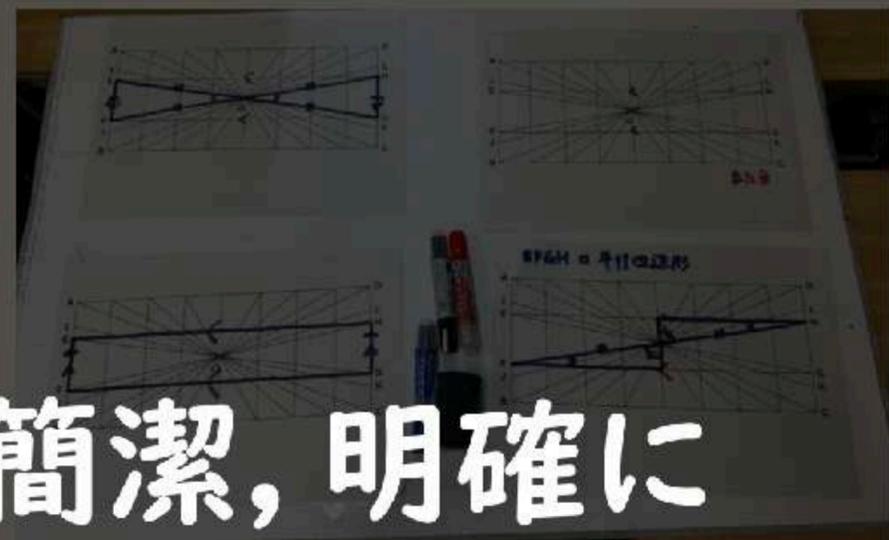
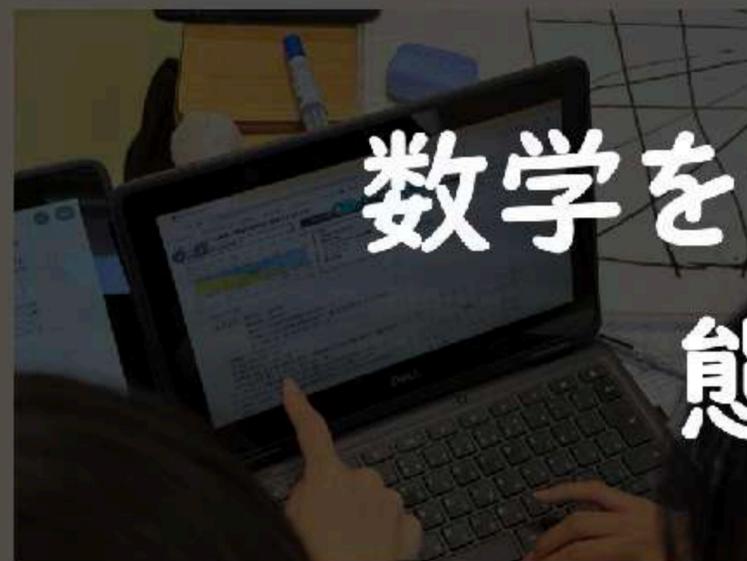
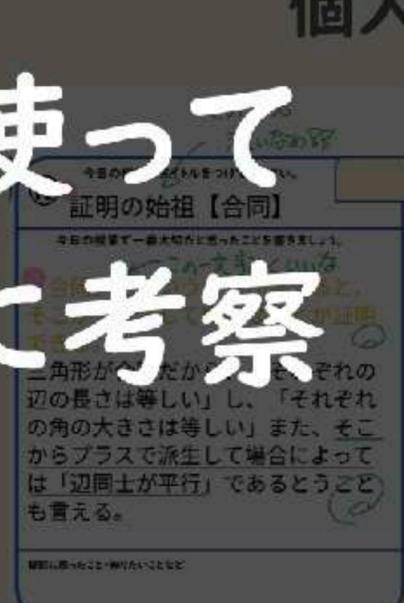
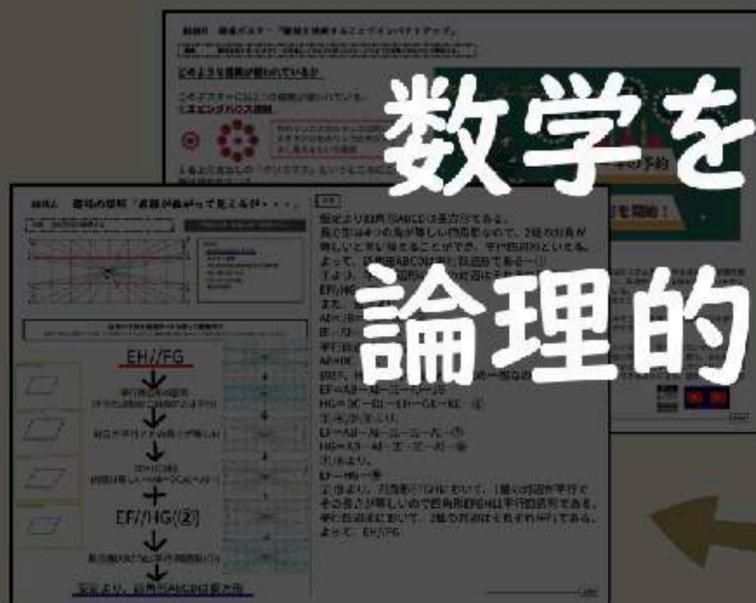
成果物

班での議論

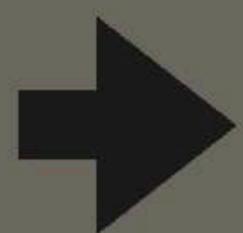
数学を使って  
論理的に考察

個人思考

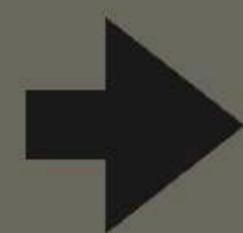
数学を活用する  
態度



R1年度  
2種類

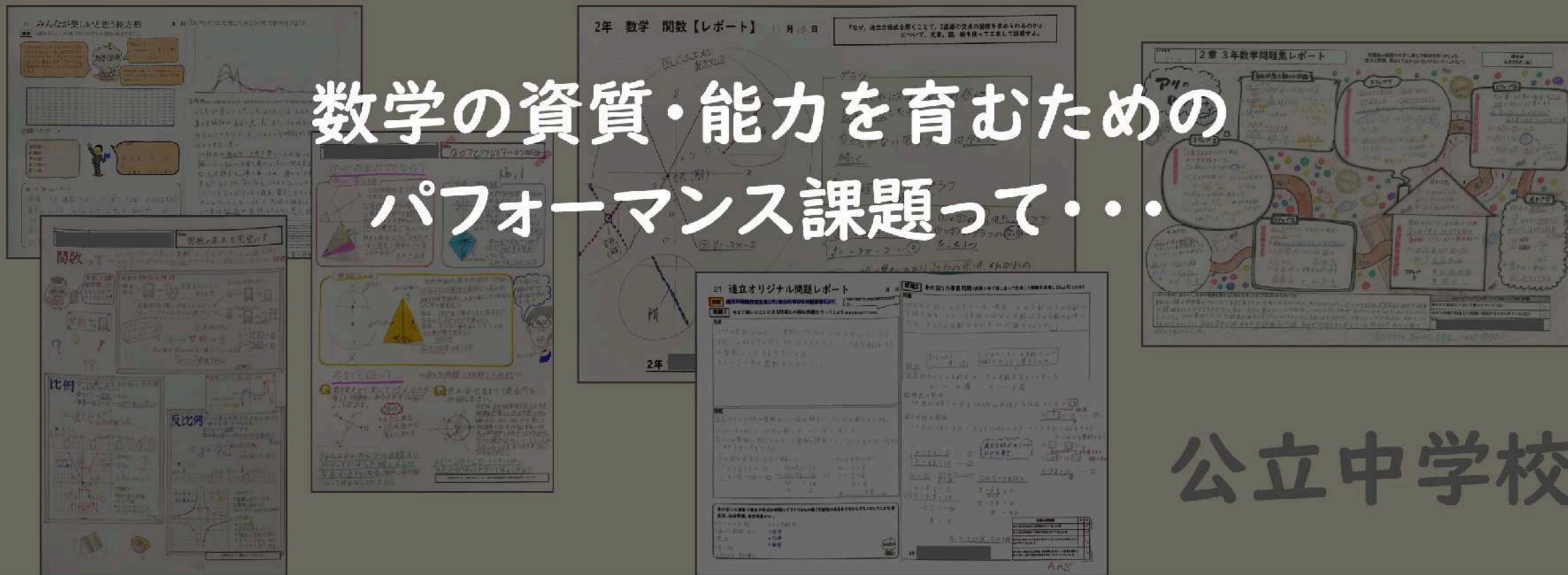


R2年度  
24種類



R3年度  
16種類

数学の資質・能力を育むための  
パフォーマンス課題って...

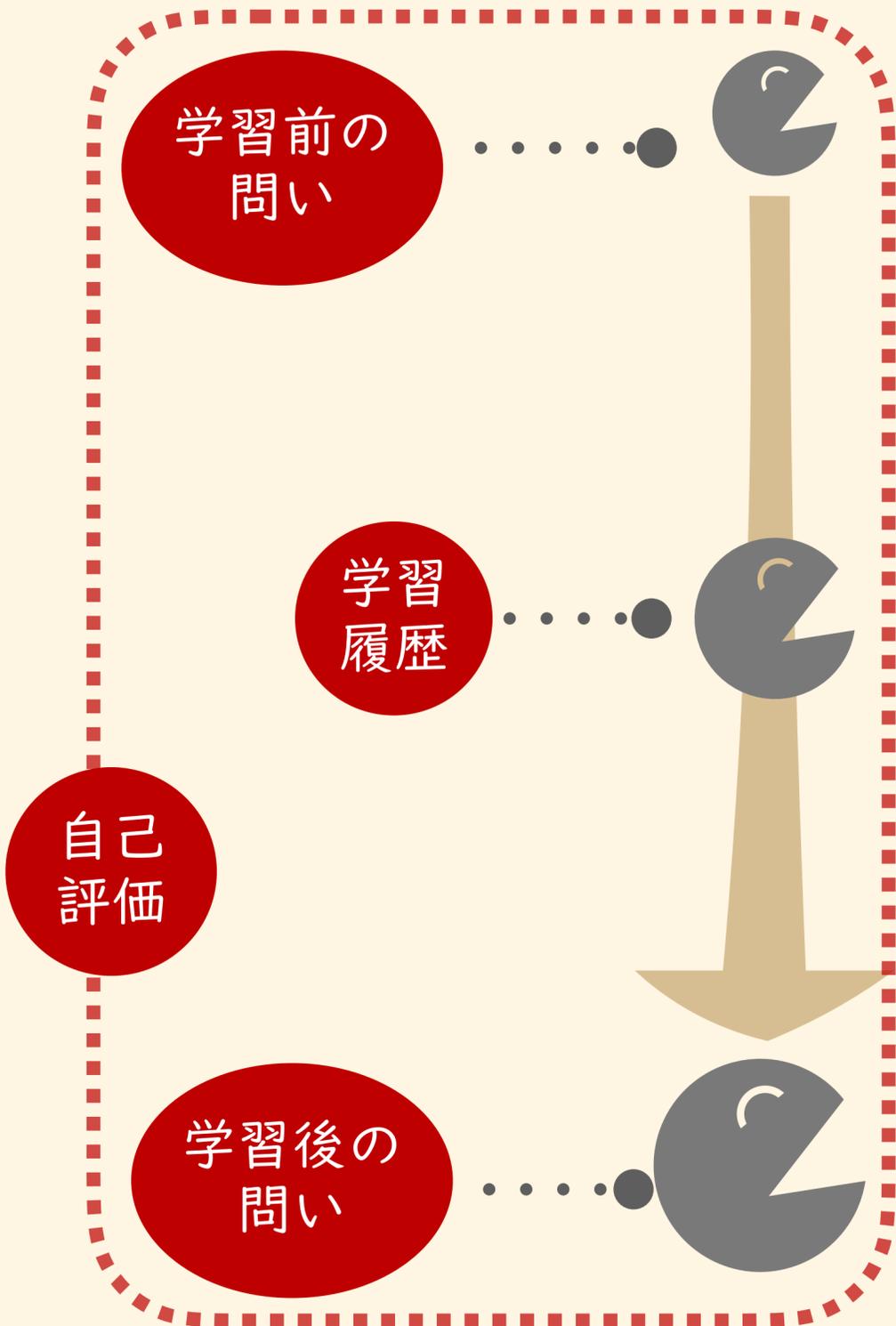


公立中学校



# 3 実践紹介

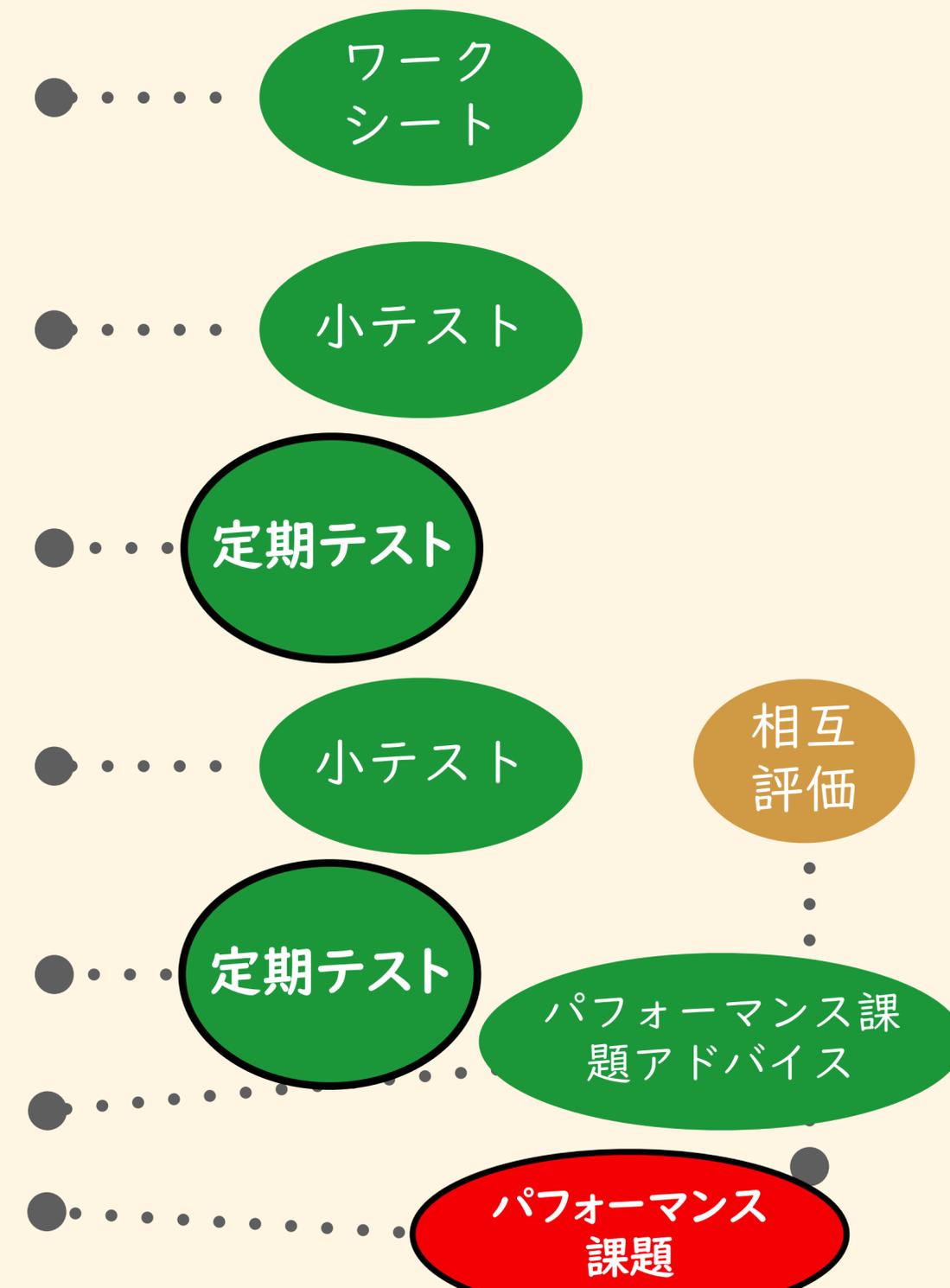
【自己評価OPPシート】

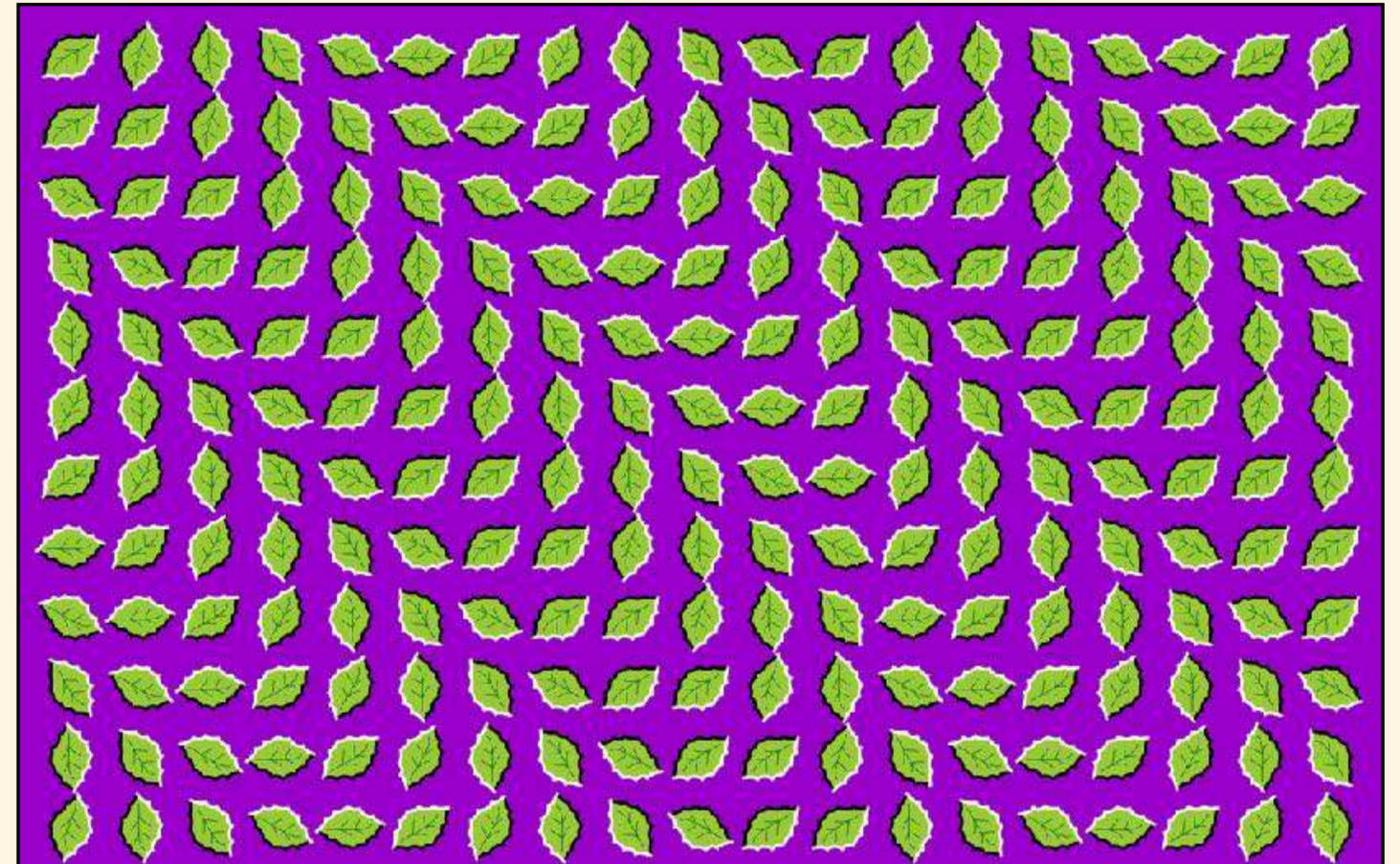
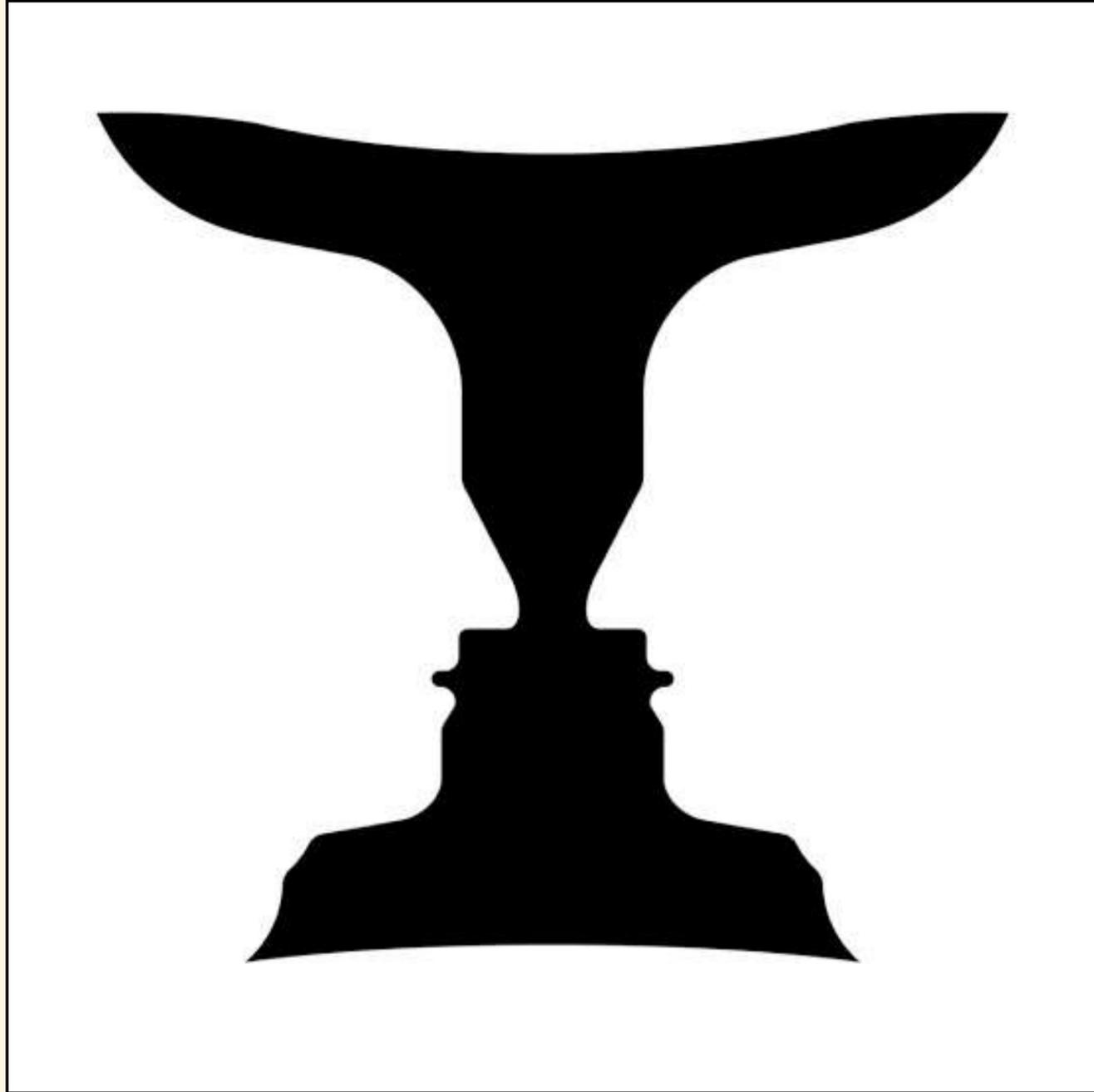


【単元計画(31)】

- 直線と角 (3)
- 多角形と角 (4)
- 合同な図形 (5)
- 二等辺三角形 (3)
- 直角三角形 (2)
- 平行四辺形 (9)
- 錯視についての探究 (5)

【学習の評価】





つきたい力

論理的に結論を出す  
根拠を明確にする  
学んだことを実生活に活かす

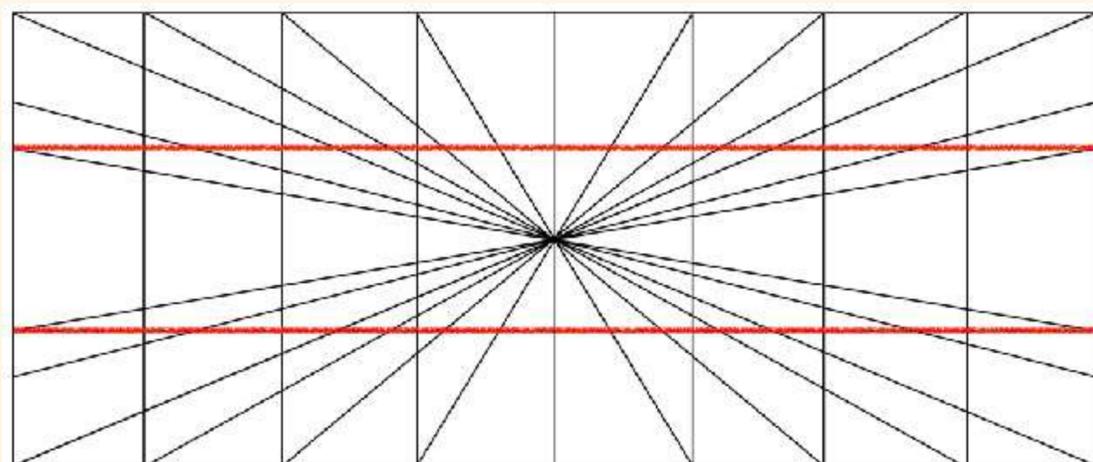
探究テーマ

構造を捉え論理的に表現することにより、人は身の回りの環境を理解し、良い影響を与えることができる。



パフォーマンス課題

錯視を図形の性質を用いて解明



錯視ポスターの作成



## 総括的評価課題 「論理の力で錯視を解明せよ」

**Goal** 錯視を論理的に解明し、錯視表現を使ったポスターを作成することにより錯視の有効性を広める

**Role** 数学者

**Audience** 一般市民

**Situation** インパクトのある表現技法（錯視）を用いたポスターを使って自分の主張をします。  
数学者として錯視を論理的に解明し、解明した錯視を活用してインパクトのあるポスターを作成しましょう。

**Product** A: 錯視を論理的に証明するレポート（B4サイズ）を作成する  
証明の方針、作成した根拠カード、証明、図を用いた解説  
B: 錯視を活用したポスター（B4サイズ）を作成する  
内容はSAの店舗名、自分の名前、四字熟語、好きな言葉など

**Standard** 別資料あり

## GRASPS

## A: 錯視を証明

## B: 錯視を活用

## ルーブリック

ルーブリック『内容を満たして、自分の学びを最大限表現しよう』 2年 組 番 名前

提出用	内容	到達度 1~2	到達度 3~4	到達度 5~6	到達度 7~8	評価
①	【Civ コミュニケーション】 不備がなく一貫性のある数学的推論の過程を述べる ことができる。 A: 錯視の証明について	解説が難しい推論の過程を通して述べる。 平行であることを証明する際、解説が難しいものの証明を書いている。	必ずしも明確ではないものの、理解できる推論の過程を通して述べる。 平行であることを証明する際、方針と対応して必ずしも明確ではないものの、理解できる証明ができています。	不備がなく一貫性をもって、推論の過程を通して述べる。 平行であることを証明する際、方針と対応して不備がなく一貫性をもって証明ができています。	不備がなく一貫性をもって、推論の過程を通して述べる。 平行であることを証明する際、方針と対応して不備がなく一貫性を持った証明ができています。	
②	【Cv コミュニケーション】 論理構造を用いて情報を整理することができる。 A: 証明の方針と根拠カード		論理構造を用いて情報を十分に整理する。 方針を示す際、根拠カードを活用し、十分に整理された方針を示すことができます。	論理構造を用いて通常は整理された成果を提示する。 方針を示す際、根拠カードを活用し、通常は整理された方針を提示することができます。	論理構造を用いて常に整理された成果を提示する。 方針を示す際、根拠カードを活用し、常に整理された方針を提示することができます。	
③	【Div 実生活への数学の応用】 解決案の正確度を説明することができる。 B: 錯視ポスターの説明			解決案の正確度を詳しく述べる。 どのような錯視をどのように使っているのか（提示すること）、どのような効果があるのか（考察）を詳しく述べる。	解決案の正確度を説明する。 どのような錯視をどのように使っているのか（提示すること）、どのような効果があるのか（考察）を説明して説明することができる。	
④	【Dv 実生活への数学の応用】 実生活の状況の文脈において解決案が理に適っているかどうかを説明することができる。 B: 錯視ポスターの有効性の解説		実生活の状況の文脈において解決案が理に適っているかどうかを詳しく述べる。 錯視を活用したポスターを他者へ提示する際、有効性を詳しく述べる。	実生活の状況の文脈において解決案が理に適っているかどうかを論じる。 錯視を活用したポスターを他者へ提示する際、有効性を論じる。	実生活の状況の文脈において解決案が理に適っているかどうかを説明する。 錯視を活用したポスターを他者へ提示する際、有効性を正当化することができる。	

### A: 錯視証明レポート

・自分が作成した根拠カードを方針に関連させること。  
 ・どの図形に着目して証明をしたのかがわかるように図に色をつけて表現すること。

【Civ】  
 証明の方針を根拠カードを用いて根拠を明らかにして示す図は自分で複製して方針がわかるように説明に使いましょう

方針  
 ↓  
 方針  
 ↓  
 方針  
 ↓  
 方針  
 ↓  
 方針

【Cv】  
 方針に従ってきちんと証明を書く  
 対応など間違えないように左に書いた方針とリンクさせる工夫をすること

・自分がたてた方針に対応させて証明すること。  
 ・対応順など証明の作法を守ること。

### B: 錯視ポスター

オリジナルを作ります。  
 調べ学習ではないよ！

【Div】  
 どのような錯視をどのように使っているか、どのような効果を得られると期待するかを詳しく説明する

【Dv】  
 他者へ対してアピールする際、錯視を用いたポスターがどのように有効かを自分なりに考察して説明する

・どのような錯視を用いているのかをもとになる錯視を提示してください。  
 ・自分なりの考察です。

・どの錯視を使うかは自由です。有効性が示せそうな使いやすい錯視を用いてください。

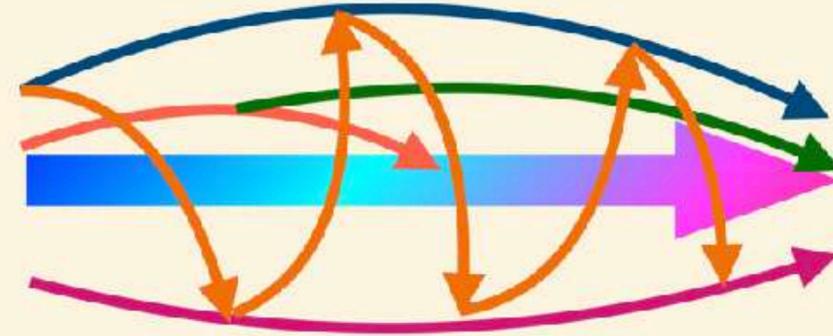
・自分なりの考察です。

- 論理立てて結論を導く
- 根拠を明らかにする
- 証明の作法を守る

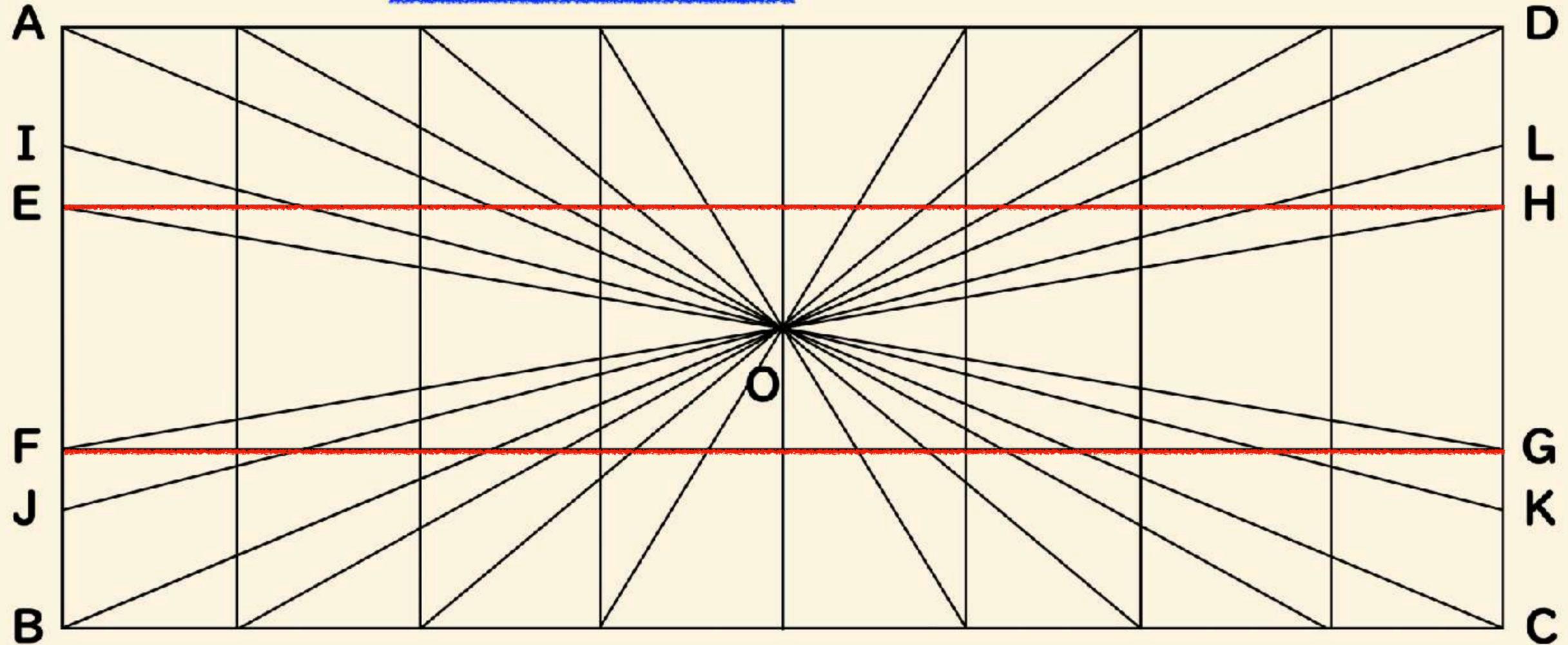
- 学んだ知識や技能を使う
- 実生活の文脈で表現
- 数学を使って創造性を育む

証明の力で  
真実を見抜け!!

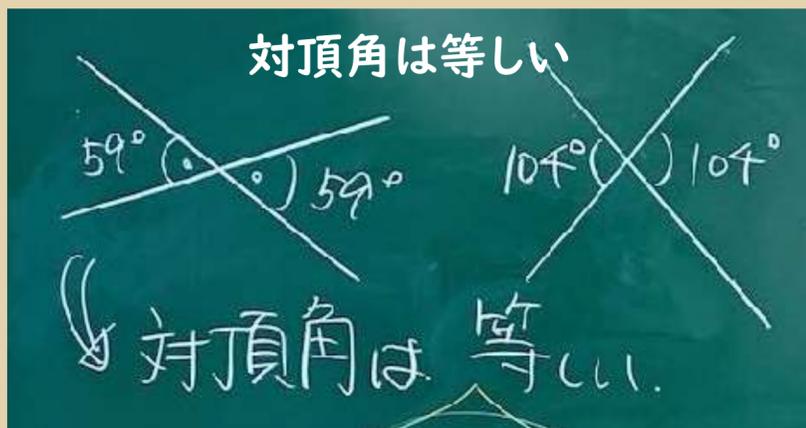
四角形ABCDは長方形  
線は全て直線  
ACとBDは長方形ABCDの対角線  
AI=JB=DL=KC  
IE=FJ=LH=GK  
横は等間隔



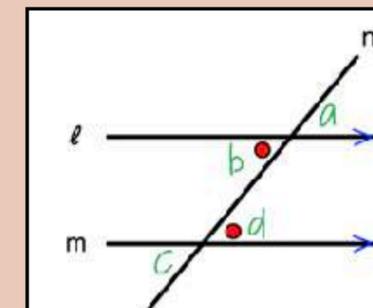
**EH//FG**



帰納的・・・複数事例



演繹的・・・根拠



平行なら錯角が等しい

l//mのとき  
 平行線の同位角は等しいから、  
 $\angle a = \angle d$   
 対頂角は等しいから、  
 $\angle a = \angle b$   
 したがって、 $\angle b = \angle d$   
 すなわち、l//mならば、 $\angle b = \angle d$

対頂角が等しくなる証明

対頂角は等しい

$a+b=360^\circ$ の半分なので、常に角度が $180^\circ$ になる。  
 また、 $a+c$ も常に $360^\circ$ の半分になるので角度が $180^\circ$ になる。これで式を立ててみると、 $a+b=a+c$ になる。移すと、 $b=c$ になる。だから、対頂角は等しくなるということが証明できる。  
 また、式を立てずに言葉だけで説明すると、 $a$ の角度は変わらないけど、 $a$ と $b$ は $180^\circ$ になる同じ角度だ。

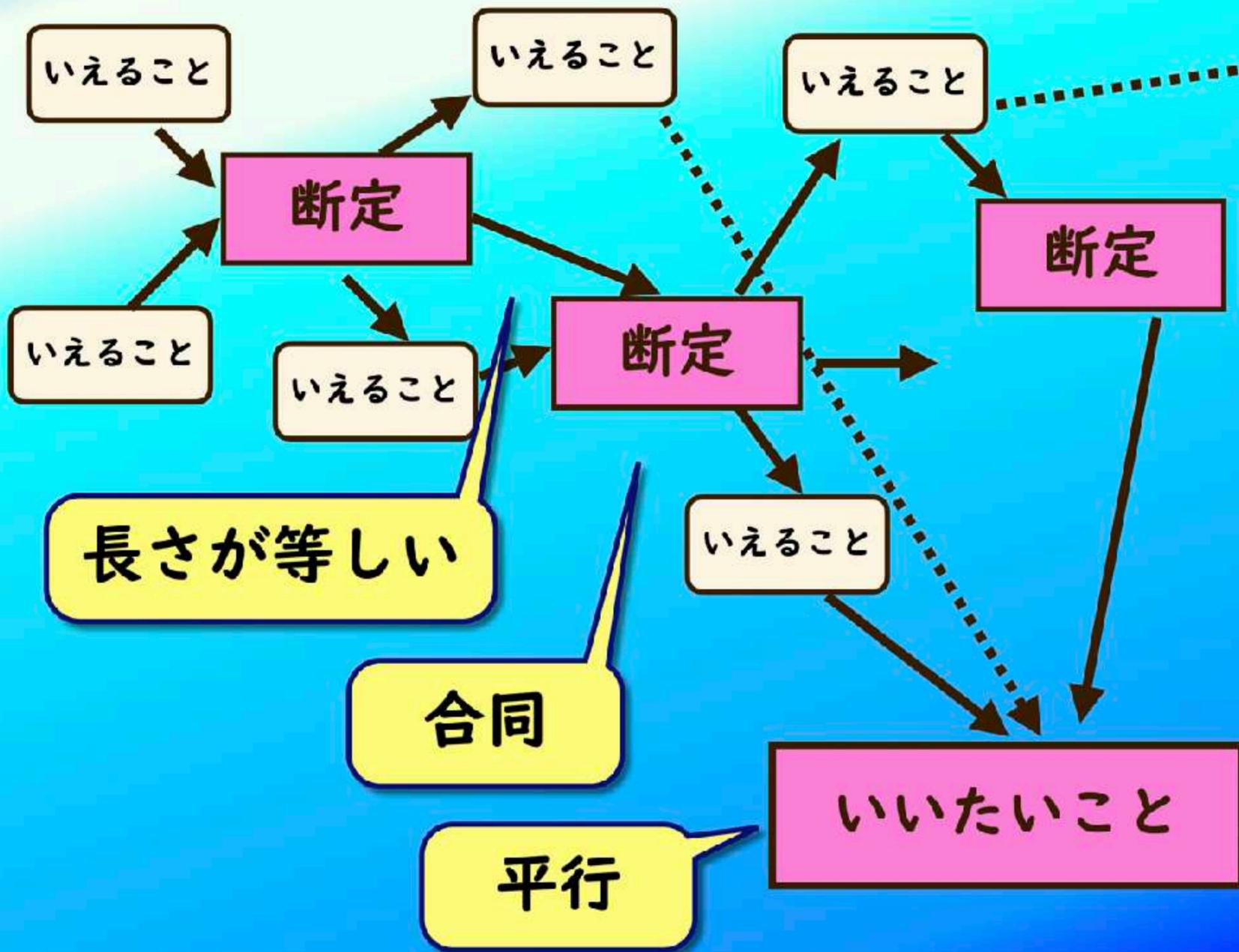
Task 1 下の三角形に補助線を引く  
 三角形の内角の和が $180^\circ$ であることを示す

① 自分で説明

2直線が平行なとき錯角が等しくなることを利用して、 $\angle a$ の上に青線を書くと、 $\angle b$ 、 $\angle c$ それぞれ $\angle a$ の左隣、右隣に同じ角ができる。これらを組み合わせると $180^\circ$ になる。よって、三角形の内角の和は $180^\circ$ である。色がわかりやすくして説明も詳しくした

コメント  
 錯角と図に書とこんでいたので、かかりやすかったです。全

「すでにいえること」 → 「いいたいこと」



平行四辺形

長さが等しい

合同

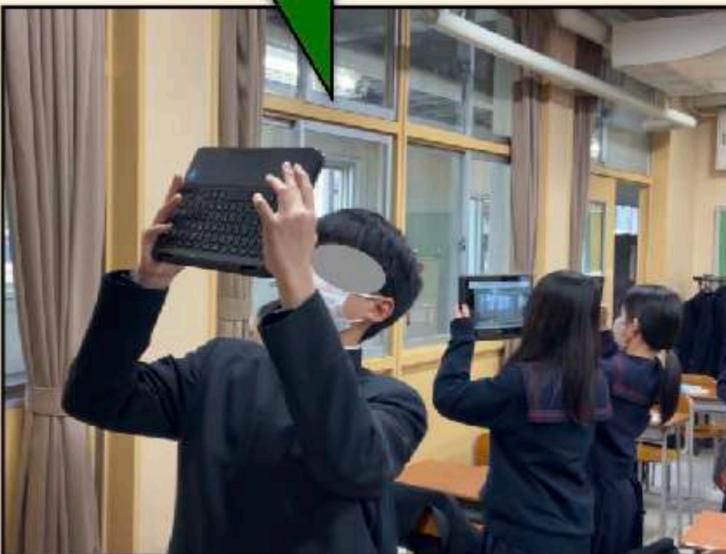
平行

This block contains a grid of diagrams and text related to parallelograms and triangles. It includes:

- Diagrams of triangles with labels: '他の2つの内角を足したものと等しい', '対頂角は等しい', '底辺を垂直に二等分', '二等辺三角形の底角は等しい', '360°', '180° × (n-2)', '3組の辺がそれぞれ等しい', '2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい', '1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい'.
- Diagrams of parallel lines with labels: '平行線の同位角は等しい', '平行線の錯角は等しい'.
- Diagrams of intersecting lines with labels: '対角線がそれぞれの midpoint で交わる', '1組の対辺が平行でその長さが等しい'.
- Diagrams of parallelograms with labels: '2組の対辺がそれぞれ等しい', '2組の対辺がそれぞれ平行', '2組の対角がそれぞれ等しい', '1組の対辺が平行でその長さが等しい'.
- Red text: '根拠 evidence'.



**「撮影」**  
 学校中の構造物を  
 数学のメガネで見る



探究1: 2直線が平行のとき, 同位角と錯角はどんな関係になるだろうか。

2直線が平行 → 平行なら同位角は等しい → 同位角は(等しい)

Geogebraで作成したものを4種類スクショせよ

QRコード

**「GeoGebraで角度調査」**  
 各自が調べた角度をスクリーンショットでワー  
 クシートに貼り付け

「条件」の整理

問題の把握  
仮定(青) 結論(赤)の  
共通認識

「根拠」の支援  
(貼りもの教材)



**【板書】**  
よくあるミスを示す

**【ICT】**  
誤答, 正答写す

生徒自身が結論を選択

**【ヒントカード】**  
貼りもの教材

この表現 濃いなあ

10 証明の始祖【合同】

今日の授業で一番大切だと思ったことを書きましょう。

「合同」だということが言えると、そこから派生して様々なことが証明できる。

三角形が合同だから、「それぞれの辺の長さは等しい」し、「それぞれの角の大きさは等しい」また、そこからプラスで派生して場合によっては「辺同士が平行」であるということも言える。

疑問に思ったこと・知りたいことなど

三角形の合同条件を使う証明 (その2)

問題: 図のように、平行四辺形ABCDの対角線ACとBDが交わる点をPとする。このとき、△APCと△BPDが合同であることを証明せよ。

図: 平行四辺形ABCDの対角線ACとBDが交わる点Pを示す図。

証明欄: 生徒が証明を書くためのスペース。

ヒントカード: 三角形の合同条件に関するヒントが貼られている。

## ●OPPシート（1枚ポートフォリオ）を活用した形成的評価

## ●授業で証明したことを「根拠カード」として蓄積していく

この表現  
濃いなあ

今日の授業のタイトルをつけてください。

**10 証明の始祖【合同】**

今日の授業で一番大切だと思ったことを書きましょう。

「合同」だということが言えると、そこから派生して様々なことが証明できる。

三角形が合同だから、「それぞれの辺の長さは等しい」し、「それぞれの角の大きさは等しい」また、そこからプラスで派生して場合によっては「辺同士が平行」であるとも言える。

疑問に思ったこと・知りたいことなど

今日の授業のタイトルをつけてください。

**11 証明サーカスの花形**

今日の授業で一番大切だと思ったことを書きましょう。

ある図形の合同を証明して、結論を言いたいときに、その結論を証明の文章の途中に登場させてしまうと、合同証明がおかしくなってしまう。

「結論」は証明の最後にしか登場できないサーカスの花形的存在なので、途中で登場させてしまうと、証明もサーカスも台無しになる。

この表現(描写)は、おもしろい!!

疑問に思ったこと・知りたいことなど



錯視活用

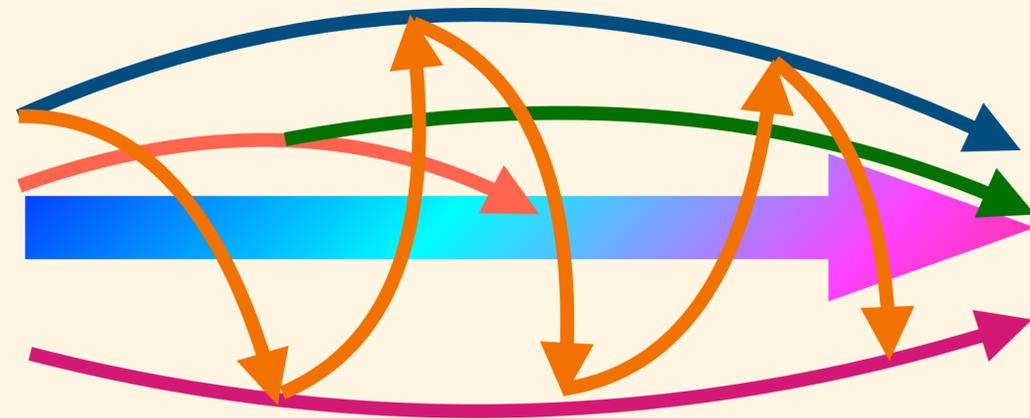
相互評価



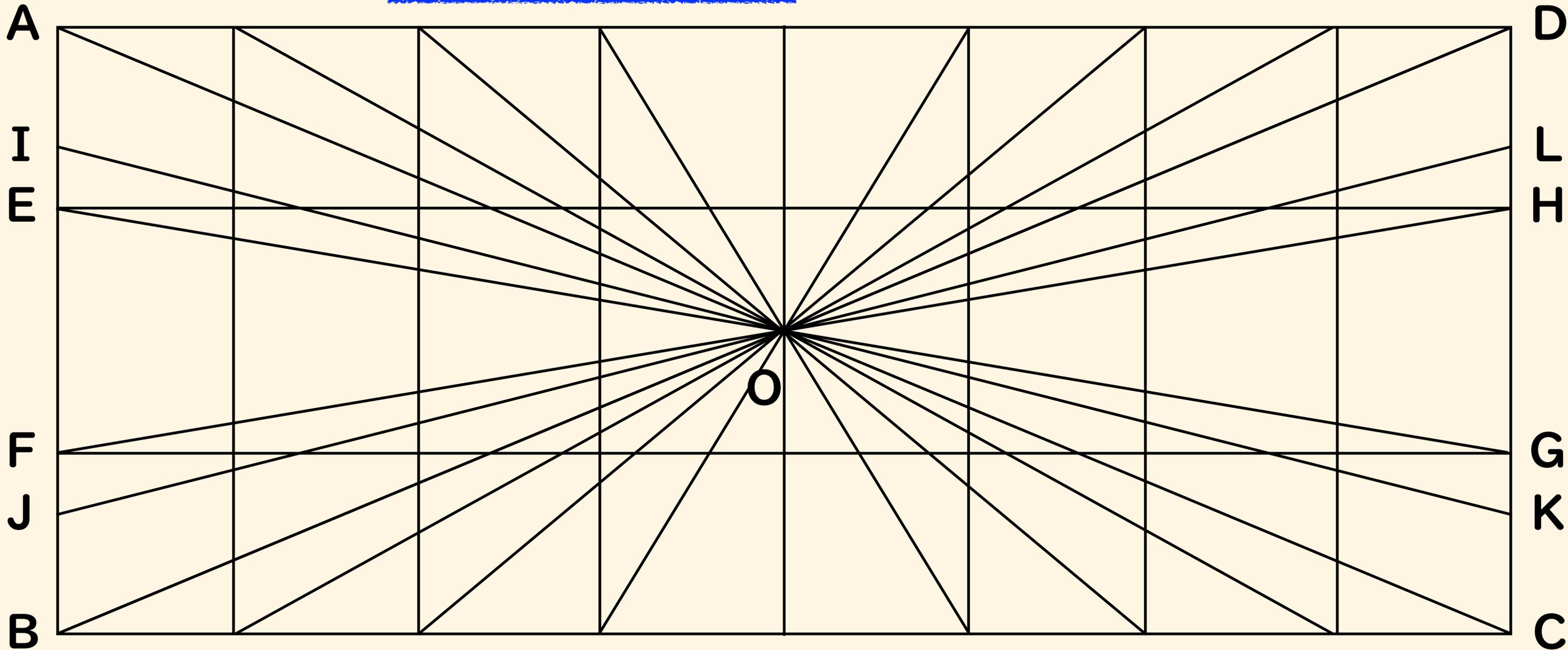
錯視の調べ学習

証明の力で  
真実を見抜け!!

四角形ABCDは長方形  
線は全て直線  
ACとBDは長方形ABCDの対角線  
AI=JB=DL=KC  
IE=FJ=LH=GK  
横は等間隔



**EH//FG**



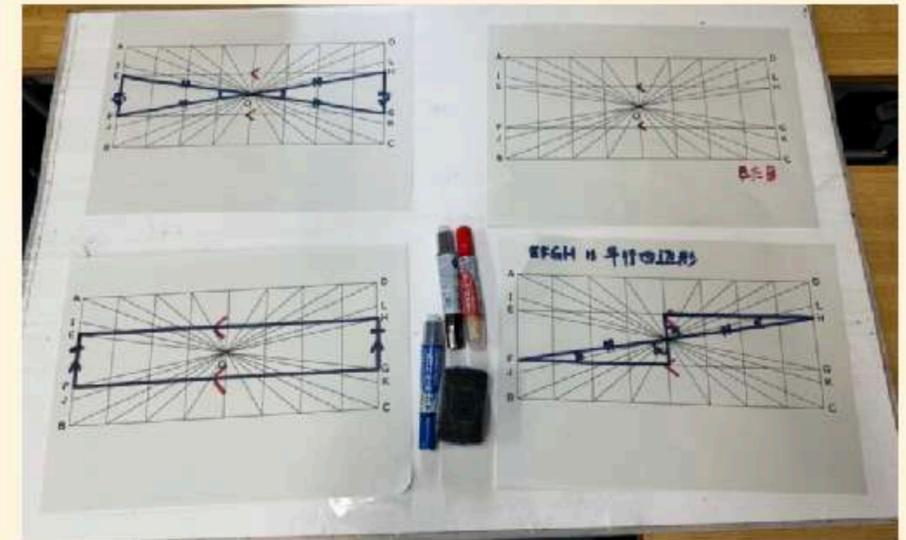
## 問題の把握



## 個人思考



## 考えを描写



## 個人思考



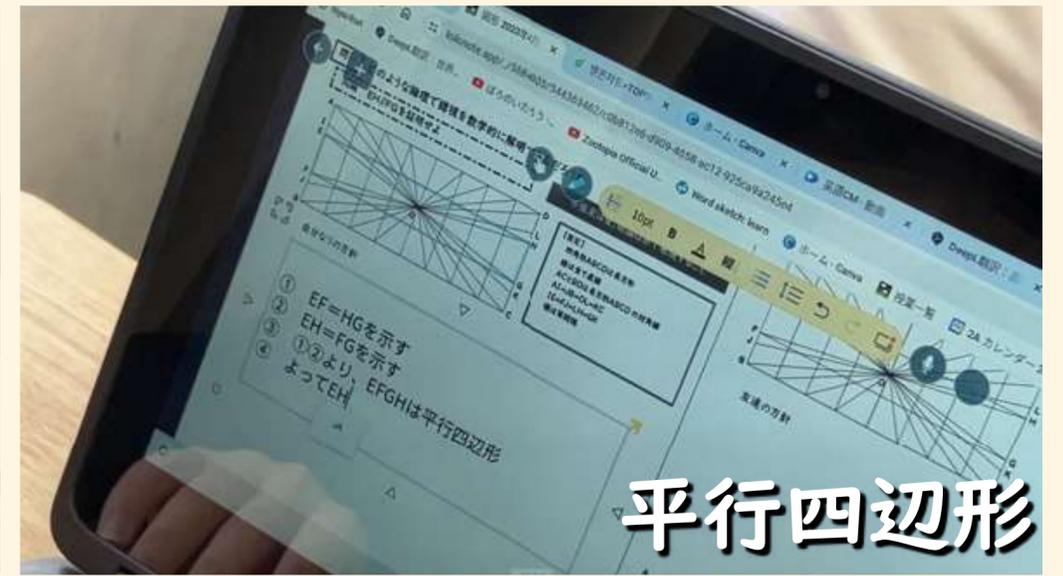
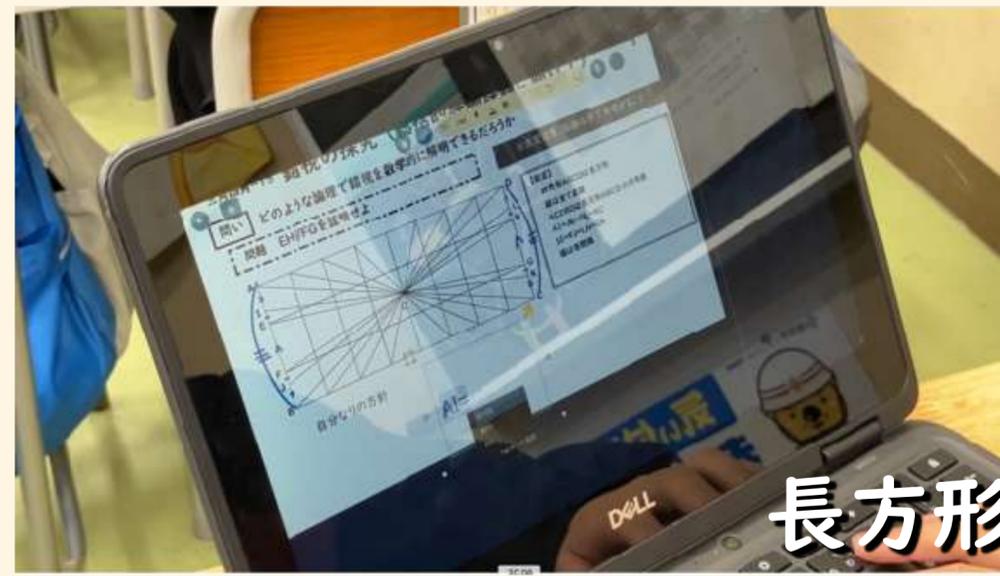
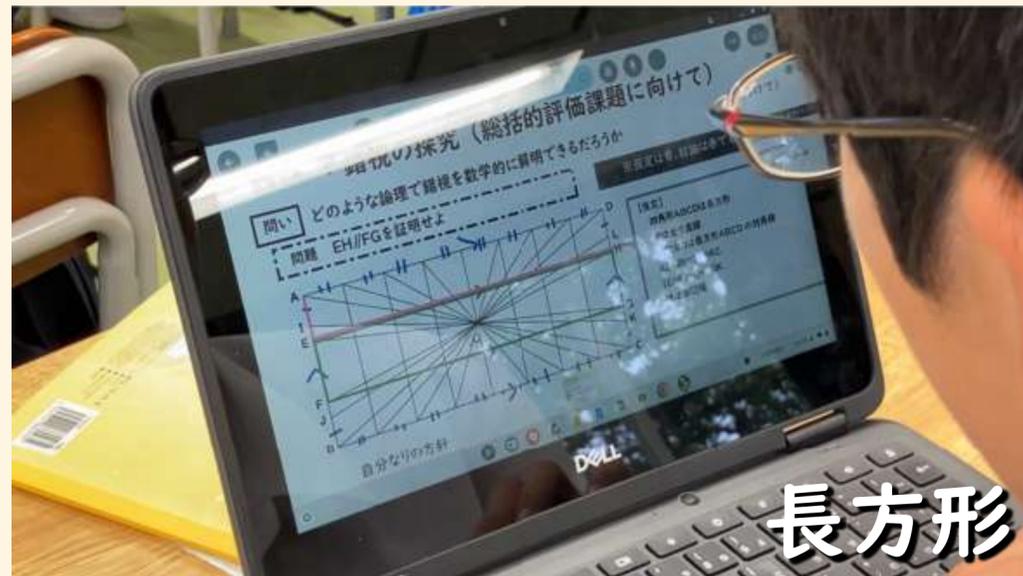
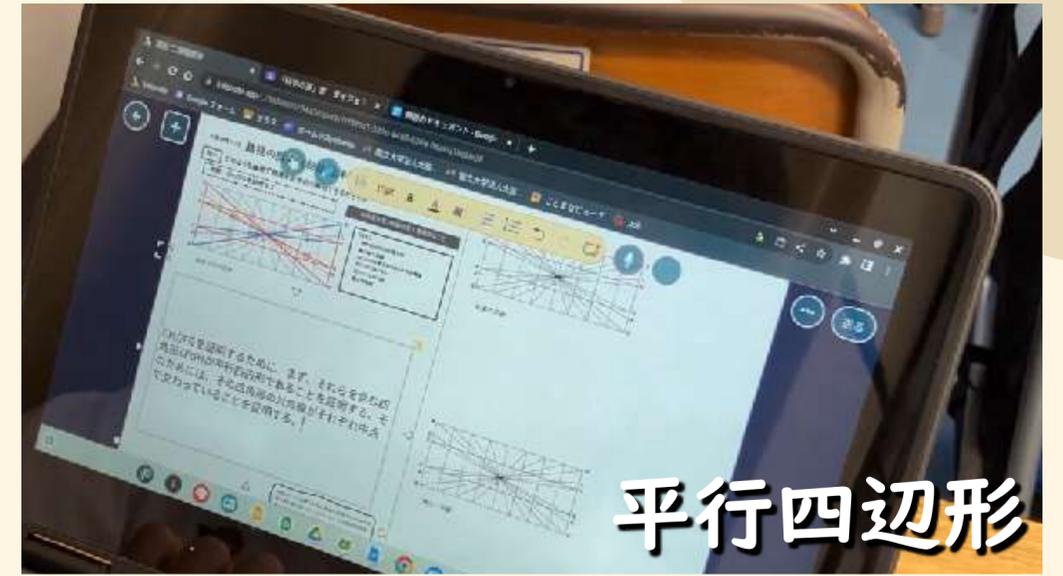
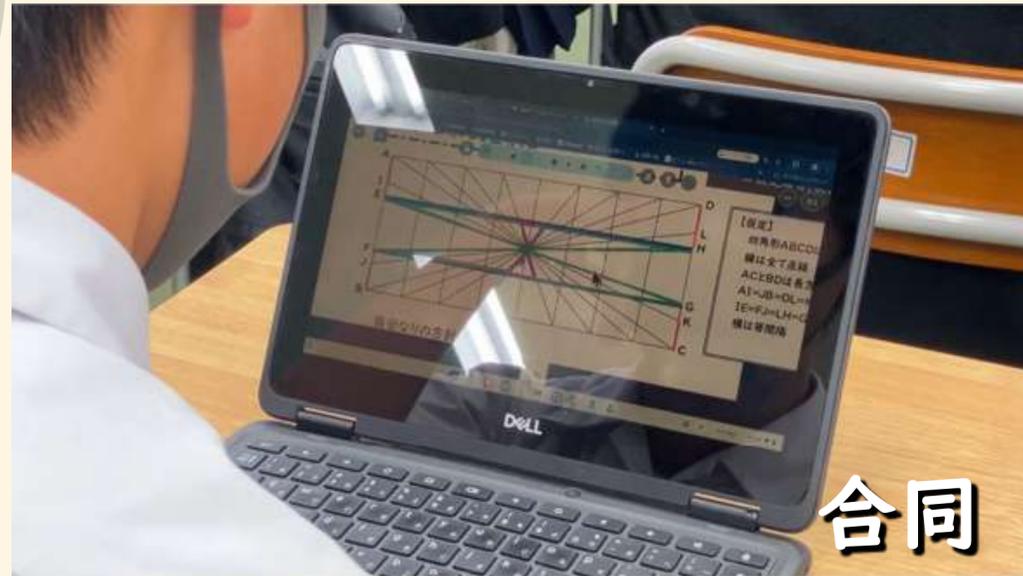
## 班での議論



完成



## 個人思考（それぞれの考えた方針を表現）



## 概念への フィードバック

今日の授業のタイトルをつけてください。  
**25** **ダミーもどき**

今日の授業で一番大切だと思ったことを書きましょう。

ダミーの証明は他の正しい証明と違って複雑だったので一瞬でダミーだとバレたが、**ダミーだと断言するには直感ではなく根拠が必要！根拠のない決めつけは×**

疑問に思ったこと・知りたいことなど  
 身の回りで決めつけていることはないかな？  
 ニューズとかでも

今日の授業のタイトルをつけてください。  
**19** **証明をすべて応用する。**

今日の授業で一番大切だと思ったことを書きましょう。

証明を応用して、錯視で平行に見えない二つの直線を平行だと証明するために、今まで学んできた三角形の合同条件、二等辺三角形の定理・角度の関係などを用いて、あらゆる手段で平行であることを証明することが鍵になる。一方で、**感覚的に「垂直だ」「平行だ」「合同だ」としてしまったり、何も前置きがなく「平行だ」としてしまふのはNG。**

疑問に思ったこと・知りたいことなど  
 論理的にならなくてはいけないかな

今日の授業のタイトルをつけてください。  
**21** **証明の根っこ**

今日の授業で一番大切だと思ったことを書きましょう。

一つのことを証明するときには、いくつかのパターンが生まれる。それは、**仮定から様々なことを派生させて様々な定義・条件につなげることができるから。**

証明は根っこのように繋がっているから、それを辿ったり、逆走したりすればいくらかでもダミーや正しいものも創ることができる。

疑問に思ったこと・知りたいことなど  
 筋道が大切だと思う

## 課題へのフィードバック

総括A 錯視の証明「直線が曲がって見えるが・・・」

課題 EH//FGを証明せよ

※仮定は青、結論は赤で表現すること

【仮定】  
 四角形ABCDは長方形  
 線は全て直線  
 ACとBDは長方形ABCDの対角線  
 AI=JB=DL=KC  
 TE=FB=LH=GK  
 補は省略

証明

△EHFと△GFHにおいて、  
 四角形ABCDは長方形なので、長方形の2組の対辺はそれぞれ等しいので  
 AB=DC (仮定)・・・①  
 AI=JB=DL=KC  
 IE=FJ=LH=GK・・・②  
 ①と②より、EF=AB-(AI+IE+JB+JF)  
 =DC-(DL+LH+KC+GK)  
 =HG  
 EF=HG・・・③  
 FHは共通・・・④  
 四角形ABCDは長方形なので、長方形の2組の対辺はそれぞれ平行なので、  
 AB//DC・・・⑤  
 ⑤より、EF//HG  
 平行線の錯角は等しいので、  
 ∠EFG=∠GHE・・・⑥  
 ③、④、⑥より、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから  
 △EHF≌△GFH  
 対応する辺と角は等しいので、  
 EH=FG・・・⑦  
 ③と⑦より、平行四辺形の2組の対辺はそれぞれ等しいので  
 四角形EFGHは平行四辺形・・・⑧  
 ⑧より、平行四辺形の2組の対辺は平行なので  
 EH//FG

結論 EH//FG  
 平行四辺形の2組の対辺は平行なので  
 四角形EFGHは平行四辺形  
 平行四辺形の2組の対辺は等しいので  
 EH=FG  
 EF=HG  
 これをどう示す?

根拠カード  
 長方形の2組の対辺はそれぞれ平行だから、  
 EF//HG

仮定 □ABCDは長方形

年 組 番 名 前

## 根拠を明確にする

## 論理的に結論を出す

## 学んだことを実生活に活かす

**総括A 錯視の証明「直線が曲がって見えるが・・・」**

問題 EH//FGを証明せよ

※仮定は青、結論は赤で表現すること

【仮定】  
四角形ABCDは正方形  
Eは辺ABの中点  
Fは辺BCの中点  
Gは辺CDの中点  
Hは辺DAの中点  
ACとBDは正方形ABCDの対角線  
AI=BE=DL=KC  
IE=FJ=LH=GK  
線は等長線

証明の方針を根拠カードを使って解説せよ  
(自分の作成した根拠カードを用いて立派なキッズや小学生に説明し、自分の説明に対して疑問や質問が来た場合どう対応するかを考えること)

**EH//FG**

↓

平行四辺形の証明  
(平行四辺形の二組の対辺は平行)

↓

対辺が平行でその長さが等しい

↓

EF=HG(⑨)  
(対辺は等しい→AB=DC, AI=JB...)

+

**EF//HG(②)**

↓

長方形ABCDは平行四辺形(①)

↓

仮定より、四角形ABCDは長方形

**証明**

仮定より四角形ABCDは長方形である。  
長方形は4つの角が等しい四角形なので、2組の対角が等しいと言い換えることができ、平行四辺形といえる。  
よって、四角形ABCDは平行四辺形である...①  
①より、平行四辺形の2組の対辺はそれぞれ平行なので、  
EF//HG...②  
また、仮定より  
AI=JB=DL=KC...③  
IE=FJ=LH=GK...④  
平行四辺形の対辺は等しいので  
AB=DC...⑤、  
辺EF、HGはそれぞれ辺AB、DCの一部なので  
EF=AB-AI-IE-FJ-JB  
HG=DC-DL-LH-GK-KC...⑥  
③,④,⑤,⑥より、  
EF=AB-AI-IE-IE-AI...⑦  
HG=AB-AI-IE-IE-AI...⑧  
⑦,⑧より、  
EF=HG...⑨  
②,⑨より、四角形EFGHにおいて、1組の対辺が平行でその長さが等しいので四角形EFGHは平行四辺形である。  
平行四辺形において、2組の対辺はそれぞれ平行である。  
よって、EH//FG

根拠をもとにした方針

きちんとした証明

**総括B 錯視ポスター「錯視を活用することでインパクトアップ」**

課題 錯視表現を使ったポスターを作成し、どのように使ったのか、どのような効果があるのかを解説せよ。

**どのような錯視が使われているか**

このポスターには2つの錯視が使われている。

①エビングハウス錯視

右のリンゴと左のリンゴは同じ大きさだが左のリンゴの方が大きく見えるという錯視

1番上の見出しの「クリスマス」というところにこの錯視が使われている。

②ジャストロー錯視

AとBは同じ大きさの台形だがAの台形の方が大きく見えるという錯視

この錯視は「ケーキの予約受付を開始！」というところに使われている。

2つの台形をケーキに見立てることでポスターを見る人に伝えたい文章が目立つ。特に上の台形の「ケーキの予約」を目立たせたかったのでこの錯視は有効だと思う。

この2つの錯視を使うことでクリスマスツリーにも負けないくらい文字を強調させることができる。

**錯視の有効性の考察**

今回紹介した錯視以外にも日常の中で馴染み深い錯視はたくさんある。例えば道路や空港の案内板なども立体的にみせるために錯視が使われていたり、私達がよく見る任天堂スイッチやYouTubeのロゴマークも錯視の力が関係したりしている。このようなことから私たちが気づいていなくても身近なところで錯視は使われていると分かる。また錯視は人の目や注意を引いたりすることができるのでこの力を使って商品の宣伝のポスターを作ったり、事故を防ぐための標識などを作ることができる。

このポスターも錯視の力を使うことでどこが強調されているのか、何を伝えたいのかがはっきりして目立つようになり、ポスターを見た人の印象に強く残るようになると思う。また色々な錯視を組み合わせてポスターを作ることによって全体の色合いなど美学的なことだけではなく数学的な視点からも図形の配置などを考えたりしてアプローチできるようになり、自分オリジナルの新しいデザインが生まれると思う。

錯視調べ

錯視活用

# 4 成果と課題

## パフォーマンス課題のアンケート

## 1 難易度について

難しかった15

あまり難しくなかった, ちょうどよかった5

もっと難しい問題が欲しい1

ちょっと大変, 忙しかった5

## 2 創造性や楽しさ

楽しかった10

創造的だった, ポスター作成がよかった5

アート要素が苦手2

studypocket-export (1)

評価項目	妥当性評価	理由
論理的思考力の育成	★★★★	証明問題などを通じて論理的思考が促進されている。難易度調整が必要。
問題解決力の育成	★★★	異なる視点からの問題解決の機会があり、一部具体的な支援が不足している。
実生活応用力の育成	★★★★	実生活への応用例が提供されており、生徒の理解を深めている。サポートが必要。

## 学習前

『論理』とはなんですか？あなたの知っていることを書いてください。

- 説明の順序・つながり
- 文章
- 証明問題
- 

## 学習後

『論理』とはなんですか？あなたの知っていることを書いてください。

論理とは、存在している仮定を基に派生していくもの同士を組み合わせて答えに導いていくことだと考える。その論理を活用できるのが図形の証明問題である。図形の証明問題は最初に問題と問題を解くための手がかり（仮定）、示すべき結論のみ与えられる。示すべき結論に近づいていくために、問題を解く手がかりを発展させていくという流れがある。

## 学習を振り返って(自己評価)

学習前・中・後を振り返ってみて、何がわかりましたか？また、今回の学習を通してあなたは何がどのように変わりましたか？そのことについてあなたはどのように思いますか？感想でも構いませんので自由に書いてください。

学習前は、認識が間違っている訳では無いが、「論理」というものを身近な具体例でしか表現することが出来なかった。しかし、学習を進めていくに連れて「数学における証明」の方法だけでなく、それを通して無意識的に世の中のたくさんの「論理の仕組み」や「論理同士の関係」などを知ることが出来たと思う。その結果、学習後には、「論理」についてしっかり理解しているからこそ「論理そのものの仕組み」や「論理と論理の関係」などについて、説明することが出来たと思う。これは、学習前は具体例しか分からなかった自分が、学習を通して「論理」というものの本質に迫ることが出来た結果だと思う。「数学の証明」とおぼして、ここまで「論理」という概念について理解を深められるとは思っていなかったが、これによって「数学の証明」というものが「論理」という概念を多用することも分かったし、「論理」という概念の奥深さを認識することが出来たので、良かったと思う。

### 疑問に思ったことや、考えたことは何ですか

私達は普段「論理」という概念についてあまり深く考えない（と思う）。人々がこのような探究活動を通して「論理」というような概念に気づいたとしたら、どのような物事について探求し、「論理」と言うことができる概念・仕組みを発見したのか、知りたい。

## 学習を振り返って(自己評価)

学習前・中・後を振り返ってみて、何がわかりましたか？また、今回の学習を通してあなたは何がどのように変わりましたか？そのことについてあなたはどのように思いますか？感想でも構いませんので自由に書いてください。

図形の証明を扱っていくに当たって、学習前は「答えにたどり着くまでの道筋を説明していくだけだ」と考えていたが、学習後になると「あらゆる手がかりをつかって様々なパターンで筋道立てて説明する」という考え方に変わった。証明する際に使える定義や定理、性質は複数あるわけだから、その分何パターンでも当てはまっていれば証明することができる。また、自分で新たに証明の鍵となりそうなもの（補助線）を付け加えることができるので、見方が増えて様々な方法で証明ができるようになった。

そういう「論理」は日常生活にも活かせる部分があると思う。それが仕事になったのが裁判だと思う。「論理」があれば、困っている人を救えることもあるので、世界規模でこの見方が働いてくれるんじゃないかと思う。

### 疑問に思ったことや、考えたことは何ですか

今私達がこうやって学校教育で習っているのは、昔の人達がこれらが発見し、同じように証明したからだろう。私達よりも知っていることが少ない中で、どうやって完璧な証明に仕上げ後世に伝えていったのだろう。 そしてこの先も、ChatGPTに

論理はあるのか。



他分野にどう転移させるのか

2年

名前



**学習前**は抽象的で漠然とした理解にとどまっていた論理が、  
**学習後**には具体的かつ構造的な理解へと変容した。

論理を実際の証明問題に適用し、**明確な構造を持った説明**を行う能力が身についたことが大きな変化である。

繰り返しの学習と実践を通じて、論理を他者にわかりやすく伝えるスキルが向上し、**論理的思考の重要性と具体的な適用方法が深く理解**された。

## 「論理」とは何ですか？

全体的な理解の深化

### ●論理の定義:

学習前: 20回答

学習後: 22回答

変化量: +2

【結論】: 論理の基本的な定義に対する理解が保持あるいは微増しています。

### ●説明と議論:

学習前: 25回答

学習後: 28回答

変化量: +3

【結論】: 相手を納得させるための議論や説明への理解が向上しています。

### ●証明と根拠:

学習前: 25回答

学習後: 35回答

変化量: +10

【結論】: 証明と根拠の重要性に対する理解が大きく向上しました。

### ●道筋と秩序:

学習前: 30回答

学習後: 33回答

変化量: +3

【結論】: 論理的な道筋を立てることの重要性に対する理解が微増しています。

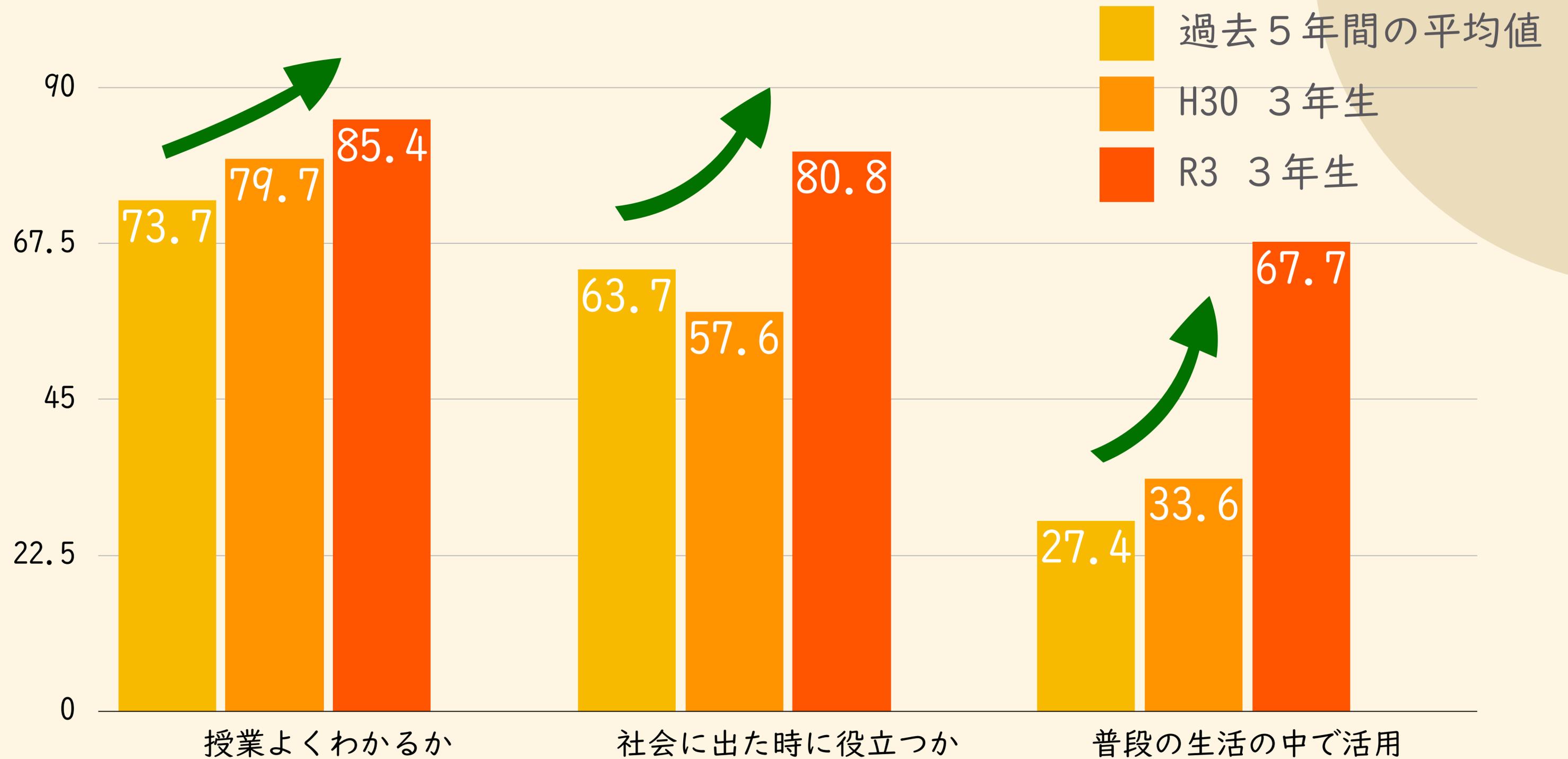
### ●実生活での応用:

学習前: 15回答

学習後: 27回答

変化量: +12

【結論】: 実生活での論理の応用に対する理解が大幅に向上しました。



全国学力学習状況調査でのアンケートより（肯定割合）



# 【数学科】

本日は、イケトークにご参加いただきありがとうございました。

本日使用した Padlet やいただいたリフレクションを共有させていただきます。ぜひ、ご活用ください。

## 話し合いで活用した Padlet

The image shows a Padlet board with several columns of discussion posts. The posts are organized into categories: '意見・感想・提案' (Opinions, Feelings, Proposals), '質問・疑問' (Questions, Doubts), and '各校の取組み' (School Initiatives). Each post includes a question or comment and a response from the organizers.

**意見・感想・提案**

- パフォーミング活動は、言葉を中心とした活動から、身体性も考えることになり、表現の幅が広がります。表現の幅を広げることが、表現の質を高めることにつながります。表現の幅を広げることが、表現の質を高めることにつながります。
- 表現活動は、言葉を中心とした活動から、身体性も考えることになり、表現の幅が広がります。表現の幅を広げることが、表現の質を高めることにつながります。
- 表現活動は、言葉を中心とした活動から、身体性も考えることになり、表現の幅が広がります。表現の幅を広げることが、表現の質を高めることにつながります。

**質問・疑問**

- 表現活動は、言葉を中心とした活動から、身体性も考えることになり、表現の幅が広がります。表現の幅を広げることが、表現の質を高めることにつながります。
- 表現活動は、言葉を中心とした活動から、身体性も考えることになり、表現の幅が広がります。表現の幅を広げることが、表現の質を高めることにつながります。

**各校の取組み**

- 表現活動は、言葉を中心とした活動から、身体性も考えることになり、表現の幅が広がります。表現の幅を広げることが、表現の質を高めることにつながります。
- 表現活動は、言葉を中心とした活動から、身体性も考えることになり、表現の幅が広がります。表現の幅を広げることが、表現の質を高めることにつながります。

## 意見・感想・提案

- ・パフォーマンス課題という言葉を知りました。例えば、因数分解の手引書を作る、都市開発を考えるといった内容は授業でやったことがなかったので、なるほどと思いました。表現力を身につけさせる授業は参考になりました。
- ・井場先生、発表ありがとうございました。数学のパフォーマンス評価について詳しく理解することができました。継続的にすることによって生徒の力になることもよくわかりました。教科は違いますが、美術科でも参考になりチャレンジしてみたいです。最後に質問になりますが、授業時間の中でどのようにさまざまな評価を取り入れているのかを教えてくださいました。
- ・証明は生徒たちには嫌がられることが多いですが、パフォーマンス課題をすることで、実生活の場面で用いる（しかも楽しそうに！）ことができている、とても良かったです。
- ・前の投稿でも書きましたが、出発点としての錯視の題材はとても良いと思いましたが、錯視を作ることをゴールにしたのはどうかと思いました。
- ・パフォーマンス課題を生徒個人に取り組みせる前に、個人思考→グループ活動→個人思考の活動があり、生徒がしっかりと課題を理解し、自分事にした中で取り組めるのがいいなと思いました。自分の勤務校では学習内容が多く、生徒に細かく理解させる余裕がない、また学問的誠実性に関わる、という観点もあり、課題をなかなか生徒同士で議論させるタイミングを取ることが難しいという現状にあります。よろしければ、①1年間の学習内容の計画の中で、丁寧にパフォーマンス課題に取り組みせる時間があるのか。その時間捻出のコツ②学問的誠実性をどのように捉え、生徒に伝えているのか をご教授いただければ幸いです。
- ・私は、今年で教員3年目です。説明することや問題を解けるようにさせるのにいっぱい、パフォーマンス課題を考えたり、実際に取り組みせる時間を確保できず、今までさせたことがありません。  
中学でこんな楽しい数学を学んで、高校で一方方向の授業をされては、学ぶ意欲が下がってしまって当然だと反省しました。先程の講演で一生懸命考えている生徒の姿を見て、是非とも実践してみたいと思いました。
- ・子どもたちが自分の意見を活発的に交流されていて素晴らしいなと思いました。日々の積み重ねも感じられました。思考力・判断力・表現力を高めたいと思い、子どもたちにたくさん交流の場を設定し、活発に取り組むのですが、ペーパーテストになるとリンクしづらいところも悩みです。知識面もしっかり力をつけさせたいと思うと、授業の時間配分も難しいと感じます。
- ・パフォーマンス課題というワードを知りましたし、初めて知りました。とても勉強になったのですが、池田中の生徒さんはレベルが高く、課題内容や生徒間で話し合っている内容も自分の学校の生徒とは全く違うレベルのものだと感じました。ぜひ2学期以降パフォーマンス課題に取り組んでみたいと思いますが、どんな課題がいいのかなど疑問が残りました。
- ・図形の証明について、正しいだろうものを証明することに納得できない生徒も多くいると思われそうです。そんな中、錯視を用いた問題は、正しいかどうか疑わしいものへの証明を考えることになるので、生徒のモチベーションも上がりとても素晴らしいと感じました。
- ・すごいと思いましたが、率直な疑問として、いわゆる「錯視」を数学の証明としてできるのだろうか？と感じました。話し合いを通して解いていく、自分の解を見つけていくということは、すごいと思っていました。
- ・教材設定が、錯視というのは目から鱗で、非常に自分ごとにしやすい課題と感じました。ありがとうございます。この課題ひとつで3コマということですが、やはり普段の授業は教科書会社が想定している進度よりもはやいのでしょうか。大阪府では中学生チャレンジテストというものがあり、その範囲の学習をチャレンジテストまでに終える必要があり、特に中学1年生は進度的にも非常にシビアなものを感じていますので気になりました。

- ・錯視の話し合いの活発なチームの会話の中で長方形ができるから平行と結論が出た後で「長方形の定義ってなに？」と質問が出るところが素晴らしいと思いました！PCを用いるところとボードを用いて意見交流など仕掛けの部分でも工夫があり参考になりました。
- ・井場先生ありがとうございます。4年前に井場先生と一緒に仕事させていただき、そのときからパフォーマンス課題をやってきました。最近は、形だけになってきたみたいで悩みです。
- ・なかなか、パフォーマンス課題がうまくいかずに、知識理解をはかる問題が主になる授業が今までメインでした。集団授業での展開も、公立では学力の差があり、難しさがたくさんあります。

## 疑問・質問・お悩み

- ・ルーブリックに沿った評価をつける際に、例えば評価Aと評価Bの狭間の非常に悩ましい作品はAにするのでしょうか。Bにするのでしょうか。パフォーマンス課題を成績にいれる際、いつも微妙なところで悩んでいます。
- ・高校入試問題をイメージしたときに、今回のようなパフォーマンス課題の有用性を示す数値などがありましたら教えていただけたらありがたいです。国の指針と高校入試の問題内容がずれていると、どちらを向いて指導すればいいのかという議論をよく聞きますので、アドバイスいただければと思います。
- ・普段の定期テストにも同じことが言えるのですが、パフォーマンス課題の実施日や提出日に生徒が欠席していた場合はどのように評価してあげればよいのでしょうか。理想としては登校した際に放課後などで時間を取って対応できればいいと思うのですが、会議や出張などでなかなかその時間が生まれず悩んでいます。
- ・ただただ圧倒させる実践ばかりで、大変勉強、刺激になりました。質問が2点あります。①日常の事象だと、より多様な考察ができるだと思いました。このような教材（錯視）はどのようにして見つけているのですか？②全体共有は少なく、個人や小グループの活動が多いことも生徒が生き生きと学ぶことにつながっていると感じました。一方で、生徒の誤答につながることも多いと思いました。そのような生徒は、どのようにして正答へ導かれるのですか。緑字でフィードバックを行っているということでしたが、150人全員を3時間にわたってチェックすることは難しいように感じましたが、どのようにしているのでしょうか。
- ・根拠カードは、ゲーム感覚で自分たちが武器を使いできることが増えていく感覚が芽生えて、とても素晴らしいと感じました。最初の数枚の根拠カードの設定の扱いについて気になりました。公理に該当するところの位置づけなど。
- ・本日の実践紹介ありがとうございました。証明の根拠シートなどを常時示してあげることもやはり大事だと再確認できました。本年度3年生にも活用してみます。個人思考の後のグループでの思考の時は井場先生からの言葉かけはどの程度ありますか。私は現在各グループに回って、今後に生かせることをひろってます。口出しすぎかなと頃合いが難しいです。
- ・ノートはあまり使っていないですか？
- ・ダミーの例をご紹介ください。
- ・今回の錯視のパフォーマンス課題に取り組むにあたってすごい量の資料が配布されていることに圧巻でした。それだけ生徒に見通しをもたせ、評価基準や必要性を理解させることを丁寧にされていて素晴らしいと感じました。どれくらい作成に時間を要しましたか？
- ・レポートの評価について知りたいです。どの程度のレポートであればどのような評価をしたのかの具体例が知りたいです。
- ・「数学的活動」として、正多面体を作って辺や頂点の個数を考えたり、素数ゼミの周期について考えたり、地球一周(子午線)を測る、バーコードを2進法で数えるなど実験、体験をして身の回りとのつながり、生活の中で数学が使われている(使っている)事例を取り上げるようにしています。これらの活動をパフォーマンス課題として評価・評定に結びつけるところまで実践されているのがすごいと思います。

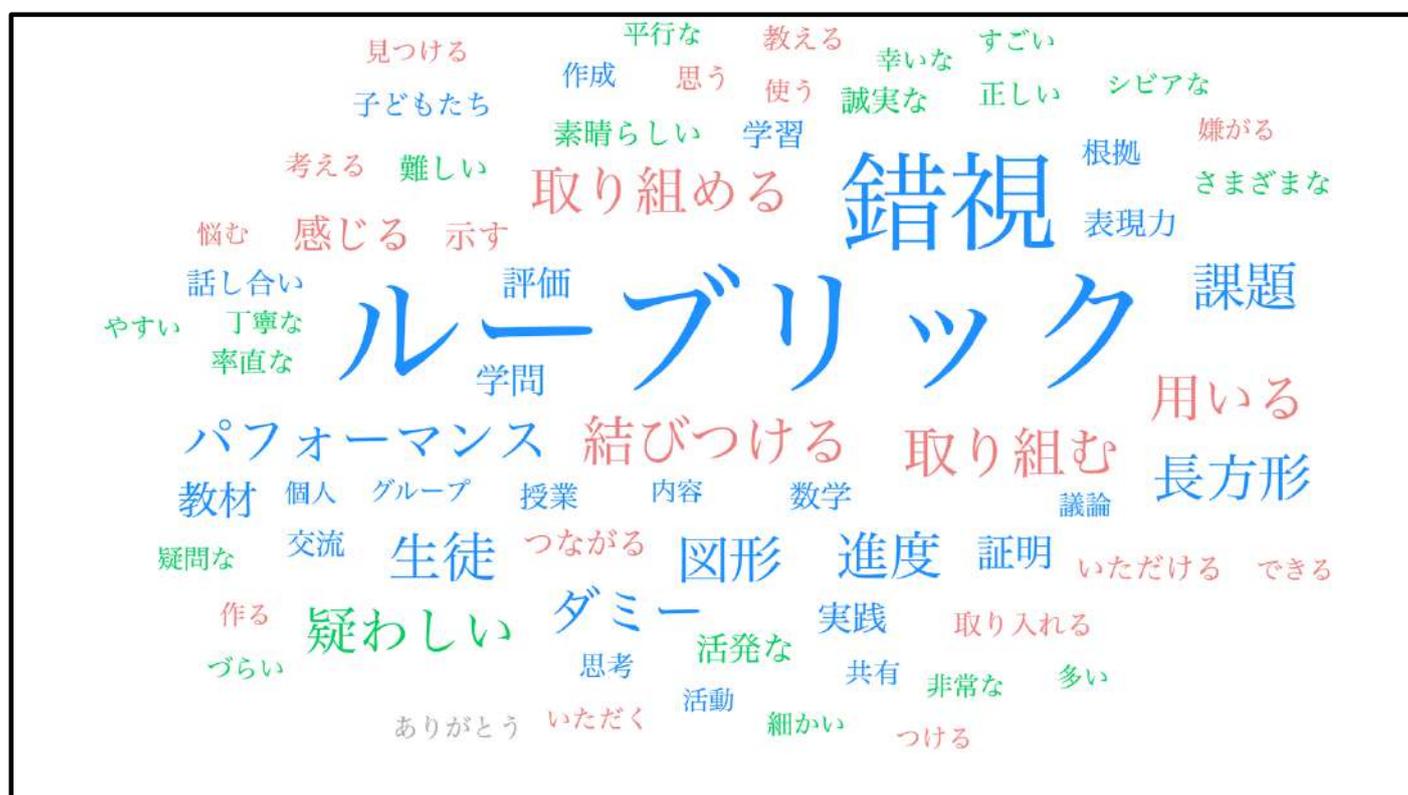
- ・井場先生、貴重な御提案、大変勉強になりました。ありがとうございます。ルーブリックについて質問なのですが、ルーブリックは生徒と共有することが大切だとよく言われます。文章の表現を生徒が分かりやすくなるようにする上で、工夫されていることはありますか？また実際にパフォーマンス課題に取り組んでいる際、生徒は提示したルーブリックをどのように活用していますか？教えていただけると幸いです。
- ・錯視の問題作成でダミーをわざと作るとおっしゃっていたと思いますが今回の場合はどのようなダミー問題が良かったか教えていただきたいです。
- ・図形の単元から錯視に着眼される点が感動しました。身の回りの事象と結びつけながら、身近で役に立っていると感じて欲しいが、その教材の発見やそれをどう既習内容と結びつけながら考えさせるのはやっぱり難しいと感じました。もし考える際に気を付けていることなどあれば教えていただきたいです。

## 各校の取組

- ・2年生の図形の場面であれば、平行線の同側内角(?)を二等分、三等分、・・・したときにできる角の和の性質について、パフォーマンス課題的な取組をしたことがあります。やはり時間はかかりました。
- ・正負の数の減法、乗法について、第一感(学習前)、自分で考えて隣やグループで交流、ロイロノートや画面共有でシェア、自分なりの理解を説明する。
- ・自分はこの単元で「ハトメ返し」をとり入れてパフォーマンス課題をしたことがあります。

参加者の方からいただいたリフレクションアンケートのご意見、ご感想

下の図は、感想を基に作成したテキストマイニングになります。



## ①本日の学び（学びが深まったこと、新たな疑問など）

- ・パフォーマンス課題での留意点や、課題を提示するまでに取り組みさせることなど、そんなに、そこまでやってるんだ、と大変感銘を受けました。様々な視点でお話を聞くことができ、とても勉強になりました。日々の授業だけでなくパフォーマンス課題のネタづくりから悩んで過ごしていますが、自分は学習内容と課題、探究内容がうまく繋がれずにいます。まず自分自身が課題と育てたい資質能力とがしっかりと関連できているかを考え、教材研究に取り組みなければならないと痛感しました。井場先生から教えていただいた実践内容をもとに、自身の教材研究に役立てていきます。本日はありがとうございました。  
→確かに、探究内容と課題の設定は難しいと感じています。さらに、課題が生徒にとって取り組みたいと思いかもつく課題となるとこちらも探究しがいがあります。
- ・評価の仕方の難しさを抱えている先生方がたくさんいて、自分だけではないことに安心しました。  
→成績づけのための評価と、改善のための評価によっても意味合いが変わると思いますが、成績づけとなると「真正な評価」であるのか、ルーブリックの妥当性を考えないといけないと感じています。
- ・評価についての基準が知りたかったので。話し合い際に大変勉強になりました  
→評価の規準・基準にの設定には苦労します。教員同士で会話しながら妥当性を高めることが意味があると感じます
- ・パフォーマンス課題の難しさと楽しさ  
→学習したことのアウトプットには大変意味があると思います。楽しさが勝つ課題であることが必要だと自分自身考えています。
- ・授業の実践例を聞くことができました。  
→このような数学の実践例を共有する会がたくさんあることが目標です。
- ・パフォーマンス課題の評価設定  
→評価を取ることと生徒に返すこと、辿り着かせることが大事かと思っています。
- ・池田中の井場先生の実践報告が大変勉強になりました。  
→ありがとうございます。また実践共有させてください。
- ・錯視などの現実のおやっ？と思うような事象を数学で解明させていく授業はすばらしいと感じました。統計だけでなく、VUCAの時代を乗り切る上で、数学の持つ力は大きいと感じました。  
→ありがとうございます。生徒も同じように数学の価値を感じられるような課題設定と授業をしていきたいと考えています。
- ・本当に正しいか惑わすことが設定の意図だと感じ、とても良いと感じました。図形の証明について、GeoGebra等で無限の例で（帰納的に？）正しいことが確認できる時代に、生徒が証明したくなる仕掛けがとても大切だと感じています。きっかけは錯視ですが、余計な直線から必要な部分を切り出して証明するという設定が、生徒たちの議論が盛り上がった理由かなとも感じました。根拠カードを増やしていくのは、RPGで武器を増やして、できることが増えていく、世界が広がっていく感覚でよい取り組みだと感じました。それは数学の魅力の一つだと感じています。公理に該当するところの扱いをどうされているのか気になりました。とても有意義な時間を過ごせましたありがとうございます。  
→GeoGebra等で視覚的に言えてしまうことと、根拠をもとに言えること。この違いを体感させることも大きなテーマでした。RPGゲームの意識はまさに演繹的な意味合いですね。複雑な図形の中から必要な情報を取り出すことについても図形で学習したことを転移できるかが鍵だなと思っています。
- ・パフォーマンス課題の提示の必要性や指導の方法について、一発勝負を避けて数回に分けて形成的に使用することをイメージしていなかったので学びになりました。疑問点をいくつか、Padletに投稿したものと同じになりますが、記載いたします。

1. 教材設定が、錯視というのは目から鱗で、非常に自分ごとにしやすい課題と感じました。ありがとうございます。この課題ひとつで3コマということですが、やはり普通の授業は教科書会社が想定している進度よりもはやいのでしょうか。大阪府では中学生チャレンジテストというものがあり、その範囲の学習をチャレンジテストまでに終える必要があり、特に中学1年生は進度的にも非常にシビアなものを感じていますので気になりました。

2. 普通の定期テストにも同じことが言えるのですが、パフォーマンス課題の実施日や提出日に生徒が欠席していた場合はどのように評価してあげればよいでしょうか。理想としては登校した際に放課後などで時間を取って対応できればいいと思うのですが、会議や出張などでなかなかその時間が生まれず悩んでいます。

3. 高校入試問題をイメージしたときに、今回のようなパフォーマンス課題の有用性を示す数値などがありましたら教えていただけたらありがたいです。国の指針と高校入試の問題内容がずれていると、どちらを向いて指導すればいいのかという議論をよく聞きますので、アドバイスいただければと思います。

4. ルーブリックに沿った評価をつける際に、例えば評価Aと評価Bの狭間の非常に悩ましい作品はAにするのでしょうか。Bにするのでしょうか。パフォーマンス課題を成績にいれる際、いつも微妙なところで悩んでいます。

→たくさんの質問ありがとうございます。

①普通の授業に関しては教科書を基本としながら進めています。ただそれでは年間時間数が足りないため、教材を合体させることはしています。あくまで学習指導要領の内容を達成することが大事なので教科書のモーラすることを目的にならないように工夫しています。これは附属だからではなく公立中学校でも同じでした。

②欠席者や提出が苦手な人への配慮には気をつけています。成績づけをする課題であるため定期テストと同じような扱いだなと感じています。見込み点をつけるためにも授業の中で複数回取り組ませて完成させるようにしています。その際、授業ごとに進捗状況を提出（ICT）させて最終的に課題が出なければ途中段階で見込んでいます。

③高校入試や大学入試を考えると日本は難しいと感じています。求める資質・能力と進学時に図る指標にはズレがあると感じています。生徒にとっては進学も勉強する上では大きな目的であることは確かなことですが、「生きていく」上で必要な力を会得させることや生涯に渡って学び続けられるための力を育むことも大事です。パフォーマンス課題の有用性としては、大学入試におけるAO入試の改革であったり、企業などの求める資質・能力があるかなと思います。（国語、数学の点数）なんて書いてないと思います。社会が求める資質・能力を考えさせ、見せることかなと。

④3段階の評価であることが難しいと感じています。場合によっては4段階にするということもありかなと思っています。そしてより意味のある評価は「コメント」だと感じています。私自身毎回ではありませんが、ABCの評価とともになぜその評価なのか良いポイントは何なのか、改善ポイントは何なのかを144名全員に返していました。生徒はこちらの方が意味があるということで、「成績関係なくていいから改善して出していいですか」と言いに来る生徒もいました。

・パフォーマンス課題についてのルーブリックの作成の仕方 実生活との関連付けのアイデアなど学ぶことができました

→ルーブリックについては理想としては複数教員で作成したり、同じ課題を複数の学校で取り組むことにより妥当性も上がり視野も広がると感じています。

・パフォーマンス課題を設定する時に子どもたちに求めている力の深さの違いに気づきました。単元ごとでは難しくても、年に2回でも実践できるように計画したいと思います。

→パフォーマンス課題を通して深い学びにつながれると考えています。年2回程度が妥当だと感じています。そして、生徒が慣れるまでは1回の単元で1つのパフォーマンス課題でもいいかなと。そして2回目は2つの単元を複合させた課題であると学びを転移させる力も養われると感じます。1年生からこういったことに取り組むと3年生になった時には年間2回のパフォーマンス課題に深みが出てくると感じます。（あくまで理想論です。複数教科の考えや概念もまたぐとより楽しそうですね）

- ・とても刺激になりました。これからもやってみます。  
→是非とも実践を共有してください。
- ・パフォーマンス評価が生徒の学びを深めることが理解できました。また、数学を通して実生活や他教科との繋がりも実感することができました。  
→数学と美術は親和性が高いと感じています。数学的な美しさと美術的な美しさはまた違う意味があると思います。そのようなことも生徒が探究していくと教科の深みも出てくると感じます。数学と美術で同じ課題を出せばどうなるのでしょうか。。。気になります。
- ・恥ずかしながら、今回の研修でパフォーマンス課題について初めて知りました。初め、発表を聞かせて頂いて、これは難しいなと感じたのが率直な意見でした。しかし、先生方が私と同じようなことえとて悩みを抱えているお話を聞いたり、講師先生や助言いただいた先生のお話を聞いて、普段の授業の延長なんだなと感じました。課題設定するには、どの単元で、どの時間でするのかを熟考して決めないといけないと思いましたし、子どもたちの実態に合わせないといけないと思いました。学力差がある中で、子どもたちが算数楽しい！もっとみんなで共有したいと思える授業づくりをしていきたいと思いました。本日はありがとうございました。  
→まさに普段の授業の延長だと思います。もっと言えば、普段の授業の向かう先であって、パフォーマンス課題から逆向きに単元を設計すると一貫した授業になり意味のあることとないことが見えてくると思います。「運動会」なんてものはまさにパフォーマンス課題であって、ここに向けてクラスや学年や教科の学習が混ざってくるイメージです。算数の中でも「楽しいこと」を題材に1つやってみてください。ぜひ教えてください。
- ・具体例な取り組み紹介がとても参考になりました。証明を楽しく使っている生徒さんの姿がとても良かったです。  
→「証明は覚えたら勝ちや」という声を自分自身が学生時代は思っていました。全くその逆だと感じます。覚えるものではなく学んだ知識をどう使っていくかと考えられる生徒が増えればいいなと思っています。道具の使い方的なイメージです。
- ・是非ともパフォーマンス課題をさけてみようと思えました。  
→是非ともしてみてください。中学校よりも高校の方がはるかに知識やスキルがある中で現実社会の問題解決には大いに役立つと思います。
- ・課題の設定と、事前の授業準備(特に知識として教員が知っておく)をしっかりとされておられると思いました。  
→まだまだ勉強不足ですが、こちらの知識や見方・考え方が大切だと感じています。
- ・日常の授業においても書く、話すなどの言語活動の充実が大切であること  
→日頃の積み重ねが単元の最後に現れると思います。算数・数学的な言語活動の活性化が大事ですね。
- ・パフォーマンス課題は子どもたちの興味関心を喚起したり、数学の魅力を伝えたりする上で、有効な実践だと感じました。しかし、それを評価しようとする、生徒も教師もつらくなるのではないかと感じました。また、今回の研修会の論点もどのように評価するのかに偏ってしまい、教材についての議論が深まりにくくなってしまっているように感じました。評価にこだわりすぎることがないよう、授業者がパフォーマンス課題を勉強、実践、反省する必要があると思いました。  
→力を発揮するためのパフォーマンス課題でありながら評価をどうしていくかも大切になります。指導と評価の一体化ですね。「課題としてどうなのか」「どういった力がつくのか」を先行して考えていきたいです。
- ・パドレットはいいですね。学びが共有できます。  
→授業中にも十分使えると感じます。前回まではジャムボードでしたが授業ではとても使いやすかったです。
- ・表現力をつけさせる一つの有効な方法としてパフォーマンス課題が有効だとあらためて感じました。  
→あくまで1つの事例で紹介しましたが、どんどん実践を共有できれば嬉しいです。
- ・ルーム参加の皆さんの率直な悩みを聞くことができました。学びを深める意味ではやや時間不足でしたが、有意義な時間になったと思います。

→みなさん（自分も含めて）悩みは同じだなと感じました。またこういった機会に悩み相談ができれば嬉しいです。

★参加されたみなさま・申し込みをいただいたみなさま★

本日はお忙しい中イケトークにご参加いただきありがとうございました。実践報告させていただき、協議会でお話しさせていただき「よりよいパフォーマンス課題とはどういうものか」について自分自身の概念も膨らますことができました。本日紹介させていただいたパフォーマンス課題に関しても「論理」という大きなテーマの中でどうしても実生活につなげることが難しく試行錯誤の中生み出した課題でした。課題を生み出すことは大変なことだと思いますが今回つながりを持たれた先生方と共有させていただきより良い学びを一緒に作っていくことができれば幸いです。イケトークは1年に1回です。イケトークと11月の公開研究会以外にも情報共有させていただければと思いますので今後ともよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。

数学科 井場恒介

令和6年度 大阪教育大学附属池田中学校 研修会（理科）  
思考力・判断力・表現力を育成するための  
パフォーマンス課題と評価

子どもの能力を引き出す  
パフォーマンス課題とルーブリックの設定

2024年8月1日

はじめに・・・

## 育成を目指す3つの資質・能力

「知識及び技能」

何を理解しているか、  
何ができるか

「思考力、判断力、表現力等」

理解していること・できることを  
どう使うか

「学びに向かう力、人間性等」

どのように世界・社会と関わり  
よりよい人生を送るか

# 中学校学習指導要領解説 理科編より・・・

## 教科の目標

(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

「知識及び技能」

(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う

「思考力、判断力、表現力等」

(3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う

「学びに向かう力、人間性等」

# 科学的に探究しようとする態度

自然の事物・現象についての理解

科学的に探究するために必要な観察・実験等に関する基本的な技能



科学的に探究する力

社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、  
三つの力をバランスよく育みます。

※小学校では、科学的に探究 ⇨ 問題解決

# 「科学的に探究する力」を育成するに当たっては・・・

自然の事物・現象の中に問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈するなどの活動を行うことが重要である。

## そのために各学年で重点を置く活動 (P24)

第1学年では

自然の事物・現象に進んで関わり、それらの中から問題を見いだす活動

第2学年では

解決する方法を立案し、その結果を分析して解釈する活動

第3学年では

探究の過程を振り返る活動

# 各学年で育成を目指す思考力, 判断力, 表現力等

## 第1学年

問題を見いだし見通しを持って観察, 実験などを行い, 【規則性, 関係性, 共通点や相違点, 分類のための観点や基準】を見いだして表現すること

## 第2学年

見通しを持って解決する方法を立案して観察, 実験などを行い, その結果を分析して解釈し【規則性や関係性】を見いだして表現すること

## 第3学年

見通しを持って観察, 実験などを行い, その結果(や資料)を分析して解釈し, 【特徴, 規則性, 関係性】を見いだして表現すること。また, 探究の過程を振り返ること

# 小学校において、育成を目指す思考力、判断力、表現力等

## 第3学年

(比較しながら調べる活動を通して)自然の事物・現象について追究する中で、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現すること

## 第4学年

(関係付けて調べる活動を通して)自然の事物・現象について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること

## 第5学年

(条件を制御しながら調べる活動を通して)自然の事物・現象について追究する中で、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること

## 第6学年

(多面的に調べる活動を通して)自然の事物・現象について追究する中で、より妥当な考えをつくりだし、表現すること

# 「科学的」ってどういうこと？

実証性

観察, 実験などによって検討可能

再現性

どこでも, だれでも, どこでも, 何回やっても  
同じ結果

客観性

実証性と再現性を満たして承認される

# 資質・能力が身についたかを見取る＝評価する 基準となると・・・

図6

【学習指導要領「学年（又は分野）の目標」】

学習指導要領 各教科等の「第2 各学年の目標及び内容」の学年ごとの「1 目標」

(1)	(2)	(3)
(知識及び技能に関する目標)	(思考力, 判断力, 表現力等に関する目標)	(学びに向かう力, 人間性等に関する目標)

【改善等通知 別紙4「学年別（又は分野別）の評価の観点の趣旨」】

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	(知識・技能の観点の趣旨)	(思考・判断・表現の観点の趣旨)	(主体的に学習に取り組む態度の観点の趣旨)

知識・技能

思考・判断・表現

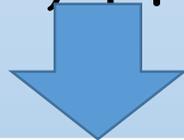
主体的に学習に  
取り組む態度

# 「思考・判断・表現」の評価について

※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力・判断力・表現力等を身に付けているかを評価するものである。

(2) 観察, 実験などを行い, 科学的に探究する力を養う



自然の事物・現象から問題を見だし, 見通しをもって観察, 実験などを行い, 得られた結果を分析して解釈し, 表現するなど, 科学的に探究している。

# 実践事例 1

## 遺伝のモデル実験(中3)

青色の玉=A(顕性)  
白色の玉=a(潜性)とし  
各玉50個ずつ封筒に入れ,同時に  
取り出したときの組み合わせを確認する  
i 玉は戻さず、無くなるまで繰り返し  
100回分のデータを取る  
ii 玉は取り出す度に封筒に戻し、  
100回分のデータを取る  
i・iiの方法によって、  
3:1の割合に影響が出るかどうか、  
自分の考えをまとめましょう

探Q 実習1 遺伝のモデル実験

**課題** 植物を育てずに、遺伝子の伝わり方を調べるにはどのようなすればよいだろうか。

**仮説** 課題に対する自分の考えを書こう。次に、ほかの人の考えも参考に、自分の仮説を立てよう。  
• p.21の(図23)やp.22の(図25)を再現するとき、遺伝子を表すのに身のまわりにあるものを活用できないか考える。  
• どのようなもので顕性形質や潜性形質をモデル化すればよいか考える。

**計画** 仮説を確かめるためには、どのような実習を行えばよいか。次の遺伝子の伝わり方を考えてみよう。  
① 純系の親から子へ遺伝子が伝わる時。  
② ①で生まれた子から孫へ遺伝子が伝わる時。  
• モデル化する形質や遺伝子、モデル化に使用するものを明確にする。

形質(例)	形質を現す遺伝子	モデル化に使用するもの
エンドウの丸い種子	A	
エンドウのしわのある種子	a	

紙でつくったカード  
トランプ  
割り箸  
付せん紙

**仮説**  
遺伝子の伝わり方は、モデルを使って確かめられないかな。

**計画**  
親の青色葉が2本あるとすればモデルはいくつ必要かな。  
自分でつくったカードのほかに、トランプや割り箸、付せん紙を染色体として見立てればいいのかな。

子や孫の形質の割合も確かめたいな。

**ここをしっかりと** 探究の過程では、  
**探究のふり返し** 問題を意識しながら、  
応じてふり返しをしよう。

**結果** 得られた結果をわかりやすくまとめよう。  
• p.21の(図23)やp.22の(図25)を参考にしてもよい。

**考察** 結果からわかったことは何か。仮説は確かめられたか。そのように考えた理由も書こう。  
• モデル実験によってp.21~22の内容を確かめられたか考えよう。

① 課題を意識しながら、探Q実習1のことができたか。  
② 探Q実習1の結果を分析・解明し、課題を解決することができたか。  
③ まだ疑問として残っていることや、もっと知りたいこと、新たな課題はあるか。

## 評価規準

- 実験方法 i ii によって 3 : 1 の割合に影響が出るか否か（出る場合は i ii どちらの方がより 3 : 1 に近くなるかも明らかにする）を自分の言葉を用いて、根拠を持って述べることができる…3点
- データを取るに当たり、班で適切に役割を決め、自分の役割について具体的に述べることができる…2点
- 全ての班のデータを適切にまとめ、実験方法 i ii それぞれについて、顕性（青—青 or 青—白）：潜性（白—白）の割合を、潜性の値を 1 として求めることができる（顕性の値が割りきれなければ小数第 3 位を四捨五入する）…2点
- 各班のデータ及び全ての班のデータから求めた割合より、実験方法 i ii によるデータの有効性のちがいについて論じ、どちらの方法が適切であるか（もしくはどちらも適切 or 不適切と言えるか）根拠に基づいて、自分の言葉で述べることができる…3点

結果を分析して解釈

探究の過程の振り返り

i 玉は戻さず、無くなるまで繰り返し100回分のデータを取る

ii 玉は取り出す度に封筒に戻し、100回分のデータを取る

9割以上の生徒が、iiの方がBetterな方法であると  
予想し、考えを表出

検証の際、1クラスに2班程度「1つの封筒から2個取り出した  
ときの組み合わせ」を調べようとする

## 実践事例 2

### 質量保存の法則(中2)

「硫酸と水酸化バリウムの反応(水溶液同士を混ぜて沈殿が生じる)」だけの実験で「質量保存の法則」について、十分な検証をしたと言えるでしょうか？

「十分な検証をしたと言える」人は、  
「水色のカード」にその根拠を

「十分な検証をしたとはまだ言えない」人は  
「ピンクのカード」にその根拠を書きましょう。

評価規準  
自分の意見を  
明らかにし、具体的に  
根拠を述べるこ  
とができる。(2)

問題を見いだす活動

- 前回提出した検証案及び、「使えるもの」の一覧を見て、「質量保存の法則」追加実験を実施しましょう。
- やった実験内容は薄い緑色のカードにまとめ、
- 得られた結果は水色のカードにまとめて提出。

#### 評価規準 B iv

- 実験内容を具体的（使った器具、薬品の分量、操作内容）に述べている（2）
- 趣旨に沿った実験内容（質量保存の法則の検証）である（2）
- 得られた結果を具体的（目で見られた変化、前後の質量※何の質量かを明らかに）に述べている（2）

実験のふり返しについてはOPPシート本日分②に記すこと。

解決する方法の立案

結果を分析して解釈

## 準備物

石灰石(3g)、薄い塩酸(20ml)、炭酸用ペットボトル、試験管、電子てんびん、薬包紙、50mlビーカー

## 実験内容

- ①50mlビーカーに薄い塩酸20mlを入れる、その後試験管に移す
- ②炭酸用ペットボトルに石灰石3gを入れる
- ③石灰石が入った炭酸用ペットボトルに薄い塩酸が入った試験管をそのままこぼれないように入れる。※試験管をそのまま入れるのはペットボトルを閉めた状態で化学変化をさせるため
- ④石灰石と薄い塩酸入り試験管が入っている炭酸用ペットボトルを電子天秤で測る。
- ⑤炭酸用のペットボトルをゆっくり(試験管が割れないようにするため)上下に振り化学変化させる。
- ⑥化学変化させた後の炭酸用ペットボトルを電子天秤で測る
- ⑦質量が化学変化前と後で変わっているのを見る

## 実験の結果

### 化学変化

石灰石と塩酸を反応させると泡が発生した。  
→気体が発生しているので、化学変化している。

### 質量の変化

反応前 (石灰石(3.0g)、塩酸(10ml)、ビーカー、ペットボトル、薬包紙) 79.2g  
→反応後 (石灰石(3.0g)、塩酸(10ml)が入ったペットボトル、ビーカー、薬包紙) 79.2g

→質量は変化していない。

# 実践事例 3

## 日本の気象(中2)

総括的評価課題 ～お天気予報原稿作成～

48

2年 組 番なまえ ( )班 年 月 日( )天気( )

Goal:複雑に変動するシステムを理解するには、互いに関連し合う要素とパターンを見抜くことが不可欠である

Role:朝 or 夕方放送の情報番組の担当気象予報士

Audience:朝 or 夕方に放送される情報番組を観ている視聴者

Situation:視聴者にわかりやすくかつ親しみやすく今日の天気(朝の番組 ver) or 明日の天気(夕方の番組 ver)を解説するためのスライドと原稿を作成する

Performance:「昨日 or 今日一日の天気概況」についてふれ、「今日 or 明日の予想天気図を示し、その特徴について述べ」「今日 or 明日の予想天気・降水確率・予想最高気温と最低気温を示しその傾向について述べる」

Standard

Div 参考文献の記録(情報の信頼性)

・2023年1月1日から2024年1月10日の中のいつの放送日時であるかをスライドの冒頭に示している(1)

・tenki.jpもしくはyahoo 天気を元に当日の実際の天気<sup>(1)</sup>に忠実に天気予報を再現している(1)

※Divの基準を満たさなければBivの点数は全て0点となります

Biv 探究のデザイン(天気予報の内容)

・朝の情報番組であれば昨日の、夕方の情報番組であれば当日の天気概況について、スライドと原稿を用いて説明する(2)

・実際の天気図を「予想天気図」としてスライドに示し、今日もしくは翌日がどのような天気になるのかを天気図と関連付け、原稿内で説明する(4) <sup>(1)</sup>これが無ければここから下の点数は0点

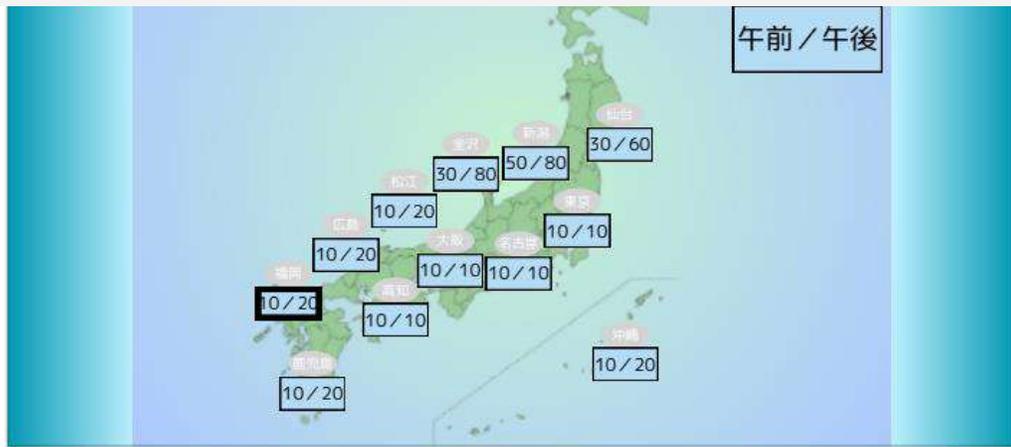
・今日 or 翌日の予想最低気温と最高気温を実際のデータに基づきスライドで再現し、その傾向について原稿内で述べる(2)

・今日 or 翌日の予想天気と降水確率を実際のデータに基づき再現し、その傾向について原稿内で述べる(2)

2024年01月04日 15時00分  
アメダス(気温)

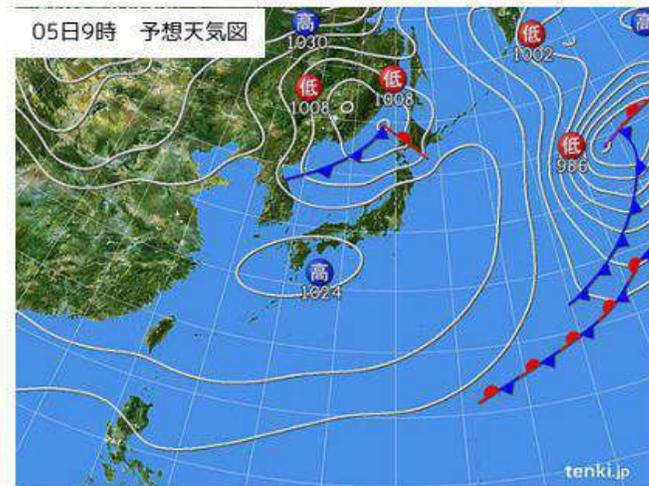


今日は昨日に引き続き、午前中は雨となりました。  
しかし、5時～6時にかけて晴れるでしょう。  
日中は強かった北風は夜になると弱まるでしょう。こちらがアメダスによる各地の15時時点の気温です。10°Cを上回る場所も多くありました。最高気温は平年より高めの所が多く、極端な寒さはありませんでした。



今日の降水確率です。新潟や金沢など北陸の地域では夜に雨が降り出す可能性が高いので、お出掛けのさいは傘を持って出かけると良いでしょう。

05日9時 予想天気図



日9時の予想天気図です。低気圧や前線の影響で、北日本や北陸は昼頃から雨や雷雨です。西から移動性高気圧が張り出してきています。そのため、近畿は晴れる見込み

です。

見通しを持って  
データの分析に当たる

1月5日金曜日の天気予報  
番組名；気象情報  
放送局；NHK  
天気予報の放送時間；17時  
主な出演者；青原 桃香、井上裕貴

①導入、つなぎはなく天気予報のみの番組のため天気予報に入る。

②今夜の天気予報、明日の天気予報を伝え流れを伝える。北陸で大雨になるでしょうと土砂災害等の警戒も行うようにしてくださいと伝えている。



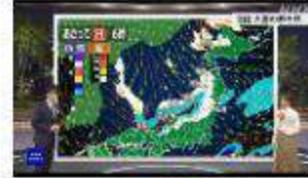
③天気図を使いながら井上さんが天気の変化の流れについて解説。井上さんも補助を行いよりわかりやすく伝えるように工夫がされている。  
「大地震の後初めての大雪となるんですね。」  
「明後日から8日にかけて冬型の気圧配置になります。」  
「上空には雪を降らせるほどの強い寒気が流れてくる予想されます。」



④雪と雨の予想をデータに示す。発達した雲が帯状に繋がると、データを使いながら示す。



⑤こういった雨雲、雪雲が北陸地方に向かうのかと井上さんが質問し、山さいから雪の範囲が広がっていきそうですと青原さんが返答し時間単位で今後予想される雪や雨のピークの流れを時間単位で示している。積もった雪が家屋の倒壊につながる可能性があるので気をつけてくださいと呼びかけている。



⑥寒さも厳しくなりそうだと、特に気温が低いと予想される北陸地方の最高気温、最低気温を示す。防寒着を着るなど対策を取るようにと井上さんが注意喚起を促す。



⑦明日の全国の天気予報についてうつつし、それぞれの地域の予想される天気について説明する。



5

結果を分析して解釈(冬休み課題としてお天気コーナー分析)



容易ではないが、頑張り次第でできそう  
ちょっと頑張ってみようかという気持ちを喚起する

子どもの能力を引き出す  
パフォーマンス課題とルーブリックの設定

ペーパーテストでは  
十分に見とれない能力を  
あつかう

できることをどう使えば  
よいのか子どもがイメージ  
できるように

討議の柱として…

先生方の実践内容（各校の実態）

実践の妨げとなること・実践に当たってのお悩み

# 参考文献

- ・文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 理科編』学校図書 平成30年
- ・文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 理科編』学校図書 平成30年
- ・国立教育政策研究所教育課程センター『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 理科】』（[https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326\\_mid\\_rika.pdf](https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_rika.pdf)）令和2年3月
- ・田村 学『学習評価』東洋館出版社 2021年

本日は、イケトークにご参加いただきありがとうございました。  
 本日使用したPadlet やいただいたリフレクションを共有させていただきます。  
 ぜひ、ご活用ください。

話し合いで活用した Padlet

大館大油田・15・2024年4月1日  
イケトーク 理科

感想・疑問	これまでに実践された内容	実践の妨げになること・実践にあたっての悩み
<p>生徒が「どうしてそのやり方でなくてはならないのか。この方法でもよくないか。」など、生徒自身がこうしてみたい意思を示してくれることが少ないのが、本校の生徒の特徴です。どのように生徒の「こうやりたい」を引き出せるでしょうか。</p>	<p>理科教育法の授業などで、講義の使い方と観察スケッチのパフォーマンス評価に取り組みで進んでまいりました。</p>	<p>総合的評価課題の評価に、割とまとまった時間を確保する必要があるので、そこが悩みです。評価を促すための評価の時間は限られるのですが、そうではないときに実施した総合的評価課題を手厚く評価できるか不安です。</p>
<p>パフォーマンス課題は、単元末や単末に行うものだと思っていました。どのタイミングでも行うものだと分かりました。</p>	<p>中二生物の総合的評価課題では、消化の学習を踏まえ「バランスの良い食事を摂る重要性を理科の観点からプレゼンしよう」というものを実践しました。家庭科との連携は良かったのですが、そこまで行きませんでした。</p>	<p>中学二年 生命の分野で 観察時間についてまとめるというパフォーマンス課題を実施しました。人間だけでなく、他の動物についても調べることで、人間と比較、相違点についてのべることを到達度以上に設定すると、目的の生徒が取り組むことに意欲を示していました。</p>
<p>現在、小学校6年生の理科の授業を担当しています。中学校のルーブリック評価を具体的に知ることで、単元の系統性を意識しながら評価を考える上で、とても参考になりました。</p>	<p>3年生生物分野のエネルギーのところ、さまざまな発光素のしくみについて説明したあと、次のようなパフォーマンス課題を設定しました。「あなたは、株式会社家南〇〇発光素の社員です。京都市に〇〇発光素を結晶させることにしました。タブレットを使い、生徒が納得できるような説明をしてください。」</p>	<p>課題としては、取り組み時間の設定です。裏面に行う生徒は評価をしますが、一部のしんどい生徒が数時間の課題に対して、他の生徒の邪魔をしたりして、授業時間の過ごし方のありかについて非常に悩まされました。しんどい学校での活動を行うことについてご意見をいただきたいです。</p>
<p>質問です。私自身、あまりパフォーマンス課題をしてきていません。</p>	<p>中2電気分野で、実際に決められた時間内で回路を組み立てるテストを行いました。高圧回路や低圧回路、電圧計や電流計を含めた回路を、学習していた回路について、理科室前に組み立てる材料セットをバットなどに用意しておいて、生徒が自由に組み立てできるようにしておきました。単元が終わってから、ランダムに（教師としては意図的に）提示された回路図を見てその通りに組み立ててもらう。手順の書き、正確性、学習した内容（つなぎ方など）を含めて評価しました。中2モーターの仕組みでは、簡易的なクランプモーターを用いて生徒に説明を考えさせました。これはとても難しかったです。</p>	<p>小学校6年生の担任をしています。実験観察など、子どもたちは積極的に参加し、一生懸命学習を行う姿が見られます。しかし、実験の中には、メダカの頭の観察であったり、インゴットの成長の観察であったり、学習計画の中で、菌が育たなかったり、植物が中々成長しなかったりと生き物を扱う単元は難しいなど感じています。</p>
<p>この単元でパフォーマンス課題をしよう」と判断するときの、意識している項目や条件など何がありますか？</p>	<p>中2電気分野で、実際に決められた時間内で回路を組み立てるテストを行いました。高圧回路や低圧回路、電圧計や電流計を含めた回路を、学習していた回路について、理科室前に組み立てる材料セットをバットなどに用意しておいて、生徒が自由に組み立てるようにしておきました。単元が終わってから、ランダムに（教師としては意図的に）提示された回路図を見てその通りに組み立ててもらう。手順の書き、正確性、学習した内容（つなぎ方など）を含めて評価しました。中2モーターの仕組みでは、簡易的なクランプモーターを用いて生徒に説明を考えさせました。これはとても難しかったです。</p>	<p>パフォーマンス評価だけでは足りない面、ペーパー評価だけでは足りない面もあるように思います。両方を使った「ハイブリッド評価」が有効な課題や単元があるように思いました。</p>
<p>素晴らしい実践発表をどうもありがとうございました。評価基準を詳細説明資料に最初から入れて方向性をクリアしたうえで、目を重ねるごとにだんだんと教員のサポートを減らして負担をかけていくやり方が実践的だと思いました。グループでの作業だと思いますが、個々の生徒のエンゲージメントをどのように形成評価されているのか興味があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめノートを作成させる</li> <li>・なんでも研究ノート（教科書にとらわれず、理科のことならなんでもOK）を作成させる</li> <li>・天気図などを元に、明日の天気を予想させる</li> <li>・既習事項と模範実験をもとに、層の発生原理を説明させる</li> </ul>	<p>私の勤務校は町立で6校制という状況です。田舎で入学してくる生徒が半まる学校ではないので、学力が高くないことはもとより、考え方も少なく、知識伝達型の授業を望む声も聞かれます。受験に関しても推薦で進学する生徒がほとんどです。私としても勉強自体にやる気がわかない生徒が多いことに必然性を感ずるにはいたしません。このような学校で推薦するにはどのような教師のプロローブが考えられるのでしょうか。</p>
<p>各単元で評価の基準が明確に示されていることで、生徒自身が取り組むべきこと、学ばべきことを把握して学習に取り組めることが良いと思います。テストやノートでの評価以外の部分で、子どもの能力を引き出すことができる課題や評価の設定を考えていくことの重要性を感じました。</p>	<p>本日は貴重な実践発表ありがとうございました。今は一時的に特設に勤務していますが、元々は中学の理科教育です。お話を聞いて思ったことは、自分がやっていたことは子どもたちにとって面白いものが多いことが多かったのかなということでした。それができたなら90%などの評価基準を細かく提示していたので、できていなかったなどと反省しました。また、そのパフォーマンス課題を取り組む前に必要な準備がされていることがわかりました。やったつもりでいたように思いましたが、足りなかったかなど振り返りました。</p>	<p>中塚先生、貴重なお話ありがとうございました。勤務校では、単元（章）ごとに単元を貫く問い（パフォーマンス課題）を考え、それを軸に授業づくりにも取り組んでいます。ただ、課題の認定から評価するまでに時間が掛かってしまうのが悩みです。</p>
<p>本校では、3年前から実践していますが、まだまだ課題設定の仕方や評価基準の作成などに課題が多く残っています。</p>	<p>＜自身の実践＞                  ・実験場で観察したプラントクトンで実験し、そのプラントクトンの特徴などを調べて「デジタル顕微鏡」を作成する。                  ・博物館の学芸員という設定で、博物館に来た小学生の「なんで金印はカビカビなのに関係はさびてるの？」という疑問に、イオン化傾向の観点などから説明する。など                  ・課題の設定が難しい。                  「教科書を読むだけではできないが、授業で身につけた知識を伝えたい」「生徒がやってみようと思える」という絶妙な設定。                  ・パフォーマンス課題にさける授業時間と、年間の授業計画とのバランス。                  一問に担当している先生と評価の基準をそろえること。</p>	<p>また、毎授業のリフレクションをポートフォリオにして生徒に作成させる必要はあるのでしょうか。</p>
<p>業務量が多くて、授業準備に思うように時間を割けないのが悩みです。（以前やりすぎて体調を崩したことがあるので、）具体的な実践例を知ることができるといい方法があれば、教えていただけると幸いです。</p>	<p>学校行事や定期テスト、受験などの期間的制約が多く、単元ごとにパフォーマンス課題にかける時間を確保することが難しいです。夏休みの宿題に自由研究を出すことで、学年末テスト後に1つパフォーマンス課題ができたらいい方です。どのよういつ何時程度の間隔で実施しているのか、保護者などの授業外で生徒が取り組めるのか、教えてほしいです。</p>	<p>今年度、56年生の理科科をしております。担当学校が1年学年があるため、天候（曇）や生物（メダカ、オウゼンカ）が関わる単元の観察や実験を計画的に進めることの難しさを感じました。</p>
<p>特別支援の生徒は30の授業に取り込めません。軽度な知的なで難関次層はうまくできるのかもしれないが、担任で経験が乏しい私には現状できておりません。何かアイデアをお持ちでしょうか。</p>	<p>特別支援の生徒は30の授業に取り込めません。軽度な知的なで難関次層はうまくできるのかもしれないが、担任で経験が乏しい私には現状できておりません。何かアイデアをお持ちでしょうか。</p>	<p>特別支援の生徒は30の授業に取り込めません。軽度な知的なで難関次層はうまくできるのかもしれないが、担任で経験が乏しい私には現状できておりません。何かアイデアをお持ちでしょうか。</p>

【感想・疑問】

・生徒が「どうしてそのやり方でなくてはならないのか。この方法でもよくないか。」など、生徒自身がこうしてみたいという意思を示してくれることが少ないのが、本校の生徒の特徴です。どのように生徒の「こうやりたい」を引き出せるでしょうか。

- ・パフォーマンス課題は、単元末や章末に行うものだと思っていましたが、どのタイミングでも行っても良いものだと分かりました。
- ・現在、小学校6年生の理科の授業を担当しています。中学校のルーブリック評価を具体的に知ることができ、単元の系統生を意識しながら評価を考える上で、とても参考になりました。
- ・質問です。私自身、あまりパフォーマンス課題をしてきていません。「この単元でパフォーマンス課題をしよう」と判断するときの、意識している項目や条件など何かありますか？
- ・素晴らしい実践発表をどうもありがとうございました。評価基準を課題説明資料に最初から入れて方向性をクリアにしたうえで、回を重ねるごとにだんだんと教員のサポートを減らして負荷をかけていくやり方が実践的だと思いました。グループでの作業だと思いますが、個々の生徒のエンゲージメントをどのように形成評価されているのか興味がありました。
- ・各単元で評価の基準が明確に示されていることで、生徒自身が取り組むべきこと、学ぶべきことを把握して学習に取り組めることが良いと思いました。テストやノートでの評価以外の部分で、子どもの能力を引き出すことができる課題や評価の設定を考えていくことの重要性を感じました。
- ・本日は貴重な実践発表ありがとうございました。今は一時的に特支に勤務していますが、元々は中学の理科教員です。お話を聞いて感じたことは、自分がやっていたことは子どもたちにとってあまいなことが多かったのかなということでした。これができたらOKや○などの評価基準を細かく提示していたので、できていなかったなど反省しました。また、そのパフォーマンス課題に取り組む前に必要な準備をされていることが伝わりました。やったつもりでいたようにいましたが、足りなかったかなと振り返りました。
- ・本校では、3年前から実践していますが、まだまだ課題設定の仕方や評価基準の作成などに課題が多く残っています。

#### <自身の実践>

- ・顕微鏡で観察したプランクトンをiPadで撮影し、そのプランクトンの特徴などを調べて「デジタル図鑑」を作成する。
- ・博物館の学芸員という設定で、博物館に来た小学生の「なんで金印はピカピカなのに銅鐸はさびてるの？」という疑問に、イオン化傾向の観点などから説明する。など

#### <課題など>

- ・課題の設定が難しい。  
「教科書を読むだけではできないが、授業で身につけた知識を使えばできる」「生徒がやってみようと思える」という絶妙な設定。
- ・パフォーマンス課題にさける授業時間と、年間の授業計画とのバランス。
- ・一緒に担当している先生と評価の基準をそろえること。

#### 【これまでに実践された内容】

- ・理科教育法の授業などで、顕微鏡の使い方と観察スケッチのパフォーマンス評価に取り組んでもらっていたりしました。
- ・中二生物の総括的評価課題では、消化の学習を踏まえ  
「バランスの良い食事を摂る重要性を理科の視点からプレゼンしよう」というものを実践しました。家庭科とのIDUにできれば良かったのですが、そこまで行き着けませんでした。
- ・3年生物理分野のエネルギーのところ、さまざまな発電所のしくみについて説明したあと、次のようなパフォーマンス課題を設定しました。「あなたは、株式会社泉南〇〇発電所の社員です。泉南市に〇〇発電所を建設することになりました。タブレットを使い、住民が納得できるような説明をしてください。」

- ・中2電気の分野で、実際に決められた時間内で回路を組み立てるテストを行いました。直列回路や並列回路、電流計や電圧計を含めた回路等、学習していった回路について、理科室内に組み立てられるセットをバットごとに用意しておいて、生徒が好きに練習できるようにしておきました。単元が終わってから、ランダムに（教師としては意図的に）提示された回路図を見てその通りに組み立てるといものです。手際の良さ、正確性、学習した内容（つなぎ方など）を含めて評価しました。中2モーターの仕組みでは、簡易的なクリップモーターを用いて生徒に説明を考えさせました。これはとても難しかったです。
- ・まとめノートを作成させる
- ・なんでも研究ノート（教科書にとらわれず、理科のことならなんでもOK）を作成させる
- ・天気図などを元に、明日の天気を予想させる
- ・既習事項と模擬実験をもとに、雲の発生原理を説明させる

#### 【実践の妨げになること・実践にあたっての悩み】

- ・総括的評価課題の評価に、割とまとまった時間を確保する必要があるのですが、そこが悩みです。夏休みを挟めばその間に評価の時間は取れるのですが、そうではないときに実施した総括的評価課題を手際よく評価できるかが不安です。
  - ・中学2年 生命の分野で感覚器官についてまとめるというパフォーマンス課題を実践しました。人間だけではなく、他の動物についても調べること、人間と比較、相違点についてのべることを到達度上位に設定すると、8割の生徒が取り組むことに意欲を示していました。課題としては、取り組み時間の設定です。真面目に行う生徒は時間を要しますが、一部のしんどい生徒が数時間の課題に対して、他の生徒の邪魔をしたりして、授業時間の過ごし方のありかたについて非常に悩みました。しんどい学校でこの活動を行うことについてご意見いただきたいです。
  - ・小学校5年生の担任をしています。実験観察など、子どもたちは積極的に参加し、一生懸命学習を行う姿が見られます。しかし、実験の中には、メダカの卵の観察であったり、インゲン豆の成長の観察であったり、学習計画の中で、卵が産まれなかったり、植物が中々成長しなかったりと生き物を扱う単元は難しいと感じています。
  - ・パフォーマンス評価だけでは足りない面、ペーパー評価だけでは足りない面あるように思います。両方を使った「ハイブリッド評価」が有効な課題や単元があるように思いました。
  - ・私の勤務校は町立でIB候補校という状況です。IBを選んで入学してくる生徒が集まる学校ではないので、学力が高くないことはもとより、考える力も少なく、知識伝達型の授業を望む声さえ聞かれます。受験に関しても推薦で進学する生徒がほとんどですので、私としても勉強自体にやる気がわからない生徒が多いことに必然性を感じずにはられません。このような学校でIBを推進するにはどのような教師のアプローチが考えられるのでしょうか。また、毎授業のリフレクションをポートフォリオにして生徒に作成させる必要はあるのでしょうか。
  - ・中塚先生、貴重なお話ありがとうございました。勤務校では、単元（章）ごとに単元を貫く問い（パフォーマンス課題）を考え、それを軸に授業づくりにも臨んでいます。ただ、課題の設定から評価するまでに時間がかかってしまうのが悩みです。
  - ・発達段階や目の前の児童の実態に合わせて、課題に対するパフォーマンスをルーブリックの基準に当てはめ考え評価することに苦慮しています。
- どの場面でどのように評価して基準を設けるのか、また、本当にこの単元でつきたい力と評価が見合っているのか、日々悩んでいます。
- ・業務量が多くて、授業準備に思うように時間を割けないのが悩みです。（以前やりすぎて体調を崩したことがあるので。）具体的な実践例を知ることができる方法があれば、教えていただけますでしょうか。
  - ・学校行事や定期テスト、受験などの時間的制約が多く、単元ごとにパフォーマンス課題にかかる時間を確保することが難しいです。夏休みの宿題に自由研究を出すこと、学年末テスト後に1つパフォーマンス課題ができたらい

い方です。どのように何時間程度の時間確保しているのか、宿題などの授業外で生徒が取り組めるのか、教えてほしいです。

- ・今年度、5.6年生の理科専科をしております。担当学級が10学級あるため、天候（雲）や生物（メダカ、ホウセンカ）が関わる単元の観察や実験を計画的に進めることの難しさを感じました。
- ・特別支援の生徒をIBの授業に取り込めません。軽度な知的なので教師次第ではうまくできるのかもしれませんが、初任で経験が乏せいか私には現状できておりません。何かアイデアをお持ちでしょうか。

参加者の方からいただいたリフレクションアンケートのご意見、ご感想

下の図は、感想を基に作成したテキストマイニングになります。



①本日の学び（学びが深まったこと、新たな疑問など）

- ・パフォーマンス課題や評価の実践例が知れたことがよかった。自分の実践を高めていきたいと感じた。
- ・目標を明確に設定しゴールに向けた手立てを念入りに準備することで、生徒たちが生涯スポーツに向けた取り組みを自ら進んで行える。生徒感に合わせた課題の設定。
- ・私は初任なのでわからないことが多く、日頃の実践から課題ばかり目につくのですが、先輩である先生方のお話によって課題の一部は解決の一路を辿れそうです。大学でIBECを取得し、実践段階に移行して四ヶ月が経ちました。今後もこうした企画に積極的に参加していきたいです。ありがとうございました。
- ・パフォーマンス課題の設定の仕方や、その評価設定も具体的な例をもとにお話していただきやすかったです。生徒と同じで、今回の研修で、容易ではないが、ちょっと頑張ってみようかという気持ちになりました。ありがとうございました。
- ・中学校の取り組みを知ることができ、単元の系統性を考えこれからの評価を考える手立てをいただきました。とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・先生方の実践に関する悩みや考えを聞いて、安心した一方で、自分の授業に取り入れていこうと思いました。ありがとうございました。

- ・パフォーマンス課題の設定の難しさについて協議していく中で、自分の中でぶれない評価を細分化して設定する。ということがすごく納得できました。今後、授業や評価を評価を作成していく中で作成していく中で心がけていきたいと心がけていきたいと思います。
- ・パフォーマンス課題の必要性や、在り方について新たな学びがあり、今後課題課題を設定する際に意識意識していこうと思いました。
- ・他の研修等では概念的なことが多かったが、本研修では具体的な実践例などを交えて教えていただいたので、とても参考になりました。課題は最後にまとめて評価していたところですが、「細分化」して進捗状況を確認しながら評価を行えば負担も減る、など具体的なアドバイスもあり、非常に有意義なものでした。
- ・パフォーマンス課題の評価の仕方について、新たな学びがありました。今までは、成果物を最後に評価するという形をとっていましたが、途中でそのときに応じた評価をしていくことによって、生徒のモチベーションや評価の時間短縮につながるということがわかりました。
- ・たくさんの先生が苦労しながらでもがんばっている話を聞き、パフォーマンス課題について前向きな気持ちになりました。
- ・みなさん様々な取り組みをされていて、勉強になりました。
- ・公立学校として、質問させてもらったんですが、附属学校での悩みも共有できることもあり、講義を受けて本当に良かったです。パフォーマンス課題については自分で1回やってみると、課題の設定次第では生徒は目を輝かせて普段の授業より楽しそうに行えているのも実感しているので、また次の機会にアドバイスも参考にしながら挑戦したいと思いました。
- ・様々な実践を知ることができてとても良かったです。日々の慌ただしい業務の中、1から作り上げていく余裕を持ってないので、マネからでも実践してみようと思いました。仲矢先生のお話は大変参考になりました。なぜ、パフォーマンス課題をとりいれることになったのか、（医療から）というところは、大変納得しましたし、興味深かったです。
- ・パフォーマンス評価について勉強になりました。
- ・自身の授業形態が特殊なので、活用できそうなことはありませんでした。

令和6年度 大阪教育大学附属池田中学校 研修会(音楽)  
思考力・判断力・表現力を育成するためのパフォーマンス課題と評価

# 創作活動の過程における 思考力・判断力・表現力の育成について

山部 智可

# これからの子ども達に求められる力

AIの飛躍的な進化



人工知能がどれだけ進化し思考できるようになったとしても**その思考の目的を与えたり目的のよさ・正しさ・美しさを判断したりできるのは人間の最も大きな強み**

- 様々な変化に積極的に向き合い他者と協働して課題を解決していくこと
- 様々な情報を見極め知識の概念的な理解を実現し情報を再構成するなどして新たな価値につなげていくこと
- 複雑な状況変化の中で目的を再構築することができるようにすること

# 育成を目指す3つの資質・能力

## 「知識及び技能」

ア「何を理解しているか,何ができるか」

## 「思考力・判断力・表現力等」

イ「理解していること・できることをどう使うか」

## 「学びに向かう力・人間性等」の涵養

ウ「どのように社会・世界と関わり,よりよい人生を送るか」

# 教科の目標

(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現するために必要な技能を身に付けるようにする

「知識及び技能」

(2) 音楽表現を創意工夫することや音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする

「思考力・判断力・表現力等」

(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う

「学びに向かう力・人間性等」の涵養

音楽的な見方・考え方を働かせた学習活動によって、生活や社会の中の音楽や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す

# 「思考力,判断力,表現力等」の育成について

## 【表現領域】歌唱の活動・器楽の活動・創作の活動

### 音楽表現を創意工夫すること

音や音楽に対する自己のイメージを膨らませたり他者のイメージに共感したりして、音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら、表したい音楽表現について考え、どのように音楽で表現するかについて思いや意図をもつことである。

# 「思考力,判断力,表現力等」の育成について

## 【鑑賞領域】鑑賞の活動

音楽のよさや美しさを味わって聴くこと

曲想を感じ取りながら、音や音楽によって喚起された自己のイメージや感情を、音楽の構造や背景などと関わらせて捉え直し、その**音楽の意味や価値などについて自分なりに評価しながら聴くこと**である。

# 「思考力,判断力,表現力等」の育成について

## 共通して言えること

音楽表現を創意工夫したり,音楽のよさや美しさを味わって聴いたりするためには、**音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し,それらが生み出す特質や雰囲気を感じしながら,知覚したことと感受したこととの関わり**について考えることが必要である。その過程においては、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り,音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けられるよう指導を工夫することが大切である。

# 知覚したことと感受したこととの関わりとは

## 音や音楽を捉える視点

知覚

聴いて分かること



感受

どのように感じるのか

音楽の要素の関わり

音色・リズム・速度・旋律  
テクスチャ・強弱・形式・構成

# 「思考力,判断力,表現力等」の評価について

各教科等の**知識及び技能を活用して**課題を解決する等のために必要な思考力,判断力,表現力等を見に付けているかを評価するものである。



## 教科の目標

(2)音楽表現を創意工夫することや音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする



## 評価の観点及びその趣旨

音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し,それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら,知覚したことと感受したこととの関わりについて考え,**どのように表すかについて思いや意図をもったり,音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。**

# 実践報告

創作活動 音色による感情表現  
～身の回りにある素材を使って表現活動の可能性を探究する～

第2学年で実施

創作活動の過程における  
思考力・判断力・表現力の育成について

# この題材のねらい

## 音を媒体としたコミュニケーションの可能性について考える。

生徒に身に付けさせたい資質・能力

- ①自分達の作品を作成、演奏表現する過程において、音素材の特徴を捉え、音楽を形づくっている要素と関連づけて自分達の思いや意図を伝えるための工夫をし、まとまりのある音を創作し表現しようとする力
- ②自分たちの作品に対して他者からの評価を受けて、言葉によらないコミュニケーションの方法(音の感情表現 方法)について考え粘り強く考える力

本単元は中学校学習指導要領音楽科「A 表現」(3)創作に関する内容です。

### 指導事項

ア 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫すること

イ (イ)音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴

ウ 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を見に付けること

〔共通事項〕 アに示された音楽を形づくっている要素から主に、音色を中心に扱う。

# GRASPS

## GRASPS

### (G)Goal 目的

感情の表現方法の分析と解釈の議論を通して、受け手との効果的なコミュニケーションを生み出すことができるようにする。

### (R)Role 役割

クリエイター

### (A)Audience 対象

同じクラスの生徒

### (S)Situation 状況

言葉が全く通じない、伝わりにくい状況

### (P)Product 成果物

感情を表現する音色

学習班による作品

### (S)Standard 評価基準

・レポート(A ii、B i、B ii、D ii)

パフォーマンス課題

思考・判断・表現



知識  
技能

自身が生み出した音について分析し、音の三要素に基づき詳しく述べる(A ii)そして、音色による感情表現を分析し、議論を重ね、根拠を持って音を創作したうえで、自身の作品を振り返り、制作過程における変遷(B i)・自身の作品の芸術的意図と音楽の要素の特徴(B ii)・音とコミュニケーションについての自身の考え(D ii)をレポートにまとめる。

主体的に学習に取り組む態度

# 音について考える

「音」って何？

生徒が書いたワークシートの内容の一部

音楽科2年生 音の分析 ワークシートI

あなたにとって「音」とは？ 「音」ってなに？

2年 組 番 氏名

Before After



Before

- 空気の振動によって伝わるもの
- 物を伝えるための手段
- 癒やし!!!!
- うるさいもの
- 落ち着くもの
- 音は音です

Before

- 日常生活でかけがえのないもの
- 身の回りの中にあり溢れているもの
- 自分で奏でることができる
- ものが動くときに必ず発するもの
- 空気が振動して届くもの
- 耳で感じるもの

Before

空気を振動させて伝える現象  
人間の生活に必要

Before

空気の振動  
聴覚での情報  
コミュニケーションに必須なもの  
高低、強弱、音色で構成されてるやつ？

# 音に関するアンケート

授業を実施する前に生徒に音についてアンケートを実施  
 「学校生活の中で自分自身が発している音、自分自身が生み出している音を教えてください。」

人=発する音	人+人=発する音	人+物=発する音	人+物=発する音	人+物=発する音
あくびをする音	喋る声	椅子をひく音	階段をのぼる音	プリントをひく音
歩く音	野球の練習の時の声	お弁当を開ける音	階段を降りる足音	プリントを配る音
くしゃみをする音	笑い声	カバンのチャックを開ける音	教室移動するときの足音	プリントをグシャグシャにしている音
ため息	話し声	カバンを開けるときの音	廊下を歩いている足音	プリントを回す音
自分自身の声	部活動の時に走っている足音	カバンを揺らす音	足が階段などにぶつかる音	紙をめくる音
手で拍子する音	友達と会話をするときの音	キーボードを打つ音	階段を降りる時の音	鉛筆でプリントに文字を書いている音
手をたたく音	友達と喋る声	キーボードを叩く音	階段を登る音	紙をファイルにしまう音
手を叩いた音	人と喋る音	クロームブックを開ける音	上靴で床を歩く音	紙を破る音
手を叩く時に出す音	指ばっちゃん	クロームを勢よく閉める音	食べる音	教科書の開閉の音
奇声	友達を呼ぶ声	パソコンでタイピングの音	水を飲む音	教科書などのページをめくる音
呼吸をする音	友達を肩をたたく音	パソコンを入力するときのキーボードの音	手を洗う音	教科書やファイルをめくる音
発声		授業のチャイムと同時に鳴り響くChromebookを閉める音	水を流す音	本のページをめくる音
咳の音		グループ(野球)の捕球音	電気をつける音	本をめくる音
いびき(寝ていません)		バットでボールを打つ音	靴を履く音	ファスナーを開ける音
心臓の音		バットの音	水筒の蓋を開ける音	リュックを開ける音
声		ゲームのコントローラーを動かしているとき	お茶を飲む音	バックのジッパーを開ける音
走っているときの音		ご飯を食べるとき	お弁当を食べる音	リュックのファスナーを開閉する音
走っているときの荒い息の音		シャーペンで文字を書く音	お弁当箱を開ける音	カバンや筆箱のファスナーを開閉する音
走る音		シャーペンのカチカチする音	コップを置く音	筆箱から文房具を取り出す音
走る時の足音		シャーペンをノックする音	飲み物を飲む音	筆箱を開ける時の音
走っているときの足の音		シャーペンの筆記音	箸を取り出す音	筆箱に文房具を入れる音
息を吸う・吐く音		シャーペンの芯を出す音	箸を落とす時の音	筆箱のチャックを開ける音
足音		シャーペンから芯を出すためにシャーペンの上を押すときの音	袋を開ける音	筆箱から中身を出すときに文房具が当たり合う音
歩いているときの音		バスケットボールでシュートして入った音	水を流す音	黒板で文字を書く音
歩く時の音		バスケットボールでドリブルしている音	蛇口から水を出す音	黒板に書く音
裏声		トイレの水を流す音	トイレットの水を流す音	チョークで黒板に文字を書いている音
咀嚼音		ボールペンをカチカチする音	クッキーを食べる音	黒板を消すために霧吹きを吹きかける音
歌声		ボールペンの上の部分を押す音	種をすずる音	鉛筆で文字を書くとき
叫び声		サッカーで遊ぶ音	お弁当を机に置く音	鉛筆で絵をかいている音
指などの関節を鳴らしたときの音		サッカーボールを蹴る音	教室のドアを開閉する音	物を机に置くときの音
鼻をすする音		ボールをはねさせる音	ドアをノックする音	物を触る音
首回した時にうゴキっていう音		ボールを受けたときのグローブの音	教室のドアに鍵をかける音	物に衝撃を与えた際に発する音
髪をどかす音		ボールを打ち返す音	ロッカーを開閉する音	物を落としたりするときの音
背伸びをしたときに体がゴキゴキいう音		ボールをつく音	ボタンを押す音	物を落とすときの音
手や首を鳴らす音		チャックを開ける音	部室のエアコンを付けるときの音	物を食べる音
しゃっくり		ファスナーをあけたときの音	何かを書く音	荷物を下ろす音
頭をボリボリかく音		ペンケースのファスナーを開ける音	何かを触る音	カバンを掛ける音
指を鳴らす時の音		廊下や階段を歩くときの音	何かをぶつかる音	雑巾で窓を拭くときの音
喋らぬ音		廊下を歩く音	何かを叩く音	掃除の筆の音
拍手するときの手の音		上靴で滑りかけたときの音	線を引く音	雑巾で机を拭く時の音
鼻水を吸う音		椅子をひく音	文字を書く時の音	ゴミ箱を開ける音
まばたき		椅子を引いている音	下敷きでばたばたするとき	筆を履く時の音
鼻歌		椅子を取り落とす音	下敷きやファイルであおぐときの音	ほうきでゴミを集める音
爪をいじくる時の音		椅子を動かす音	梅しくて机を叩いている音	ほうきで床を掃く音
皮膚をこす音		椅子が擦れる音	地面を蹴る音	ほうきを取り出す音
		椅子を前や後ろに動かすときになる音	貧乏揺すりして地面を踏む音	掃除する音
		椅子とか机を動かす音	上靴で走る音	ゴミ箱を閉める音
		机を叩く音	ふく	制服のリボンに結ぶ音
		机を動かしている音	消しゴムを落とす音	掃除の時間になって机を動かす音
		机を動かす音	炭酸飲料のペットボトルをあけたときの音	雑巾で床を拭く音
		机を揺らす音	地面に物を落とす音	
		机や椅子を引く音	ペットボトルフリップ	
		机や椅子を運ぶ音	ポーカーをしている時にトランプをこする音	
		机に教科書を書く音	メガネをくいと押し上げる音	
		机のガタンとする音	リボンを通すときの摩擦音	
		机を運ぶときの音	荷物を置くときの音	

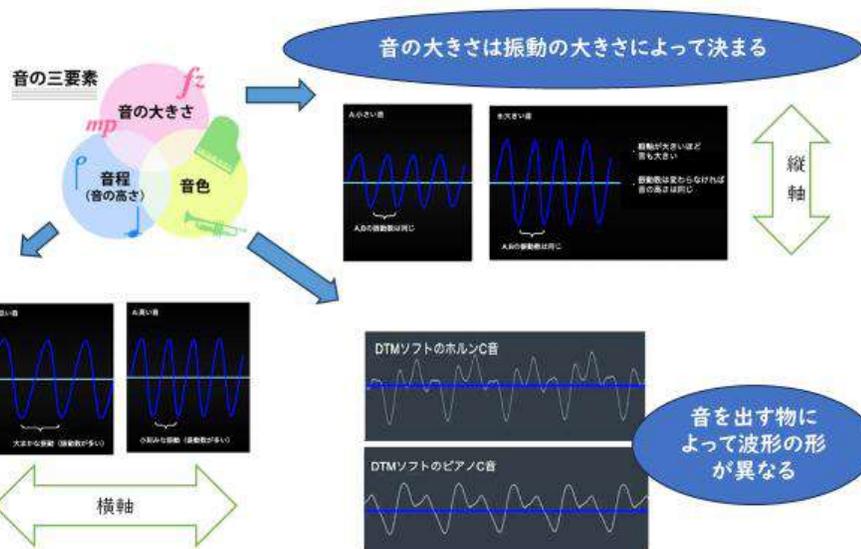
275個

# 音について考える

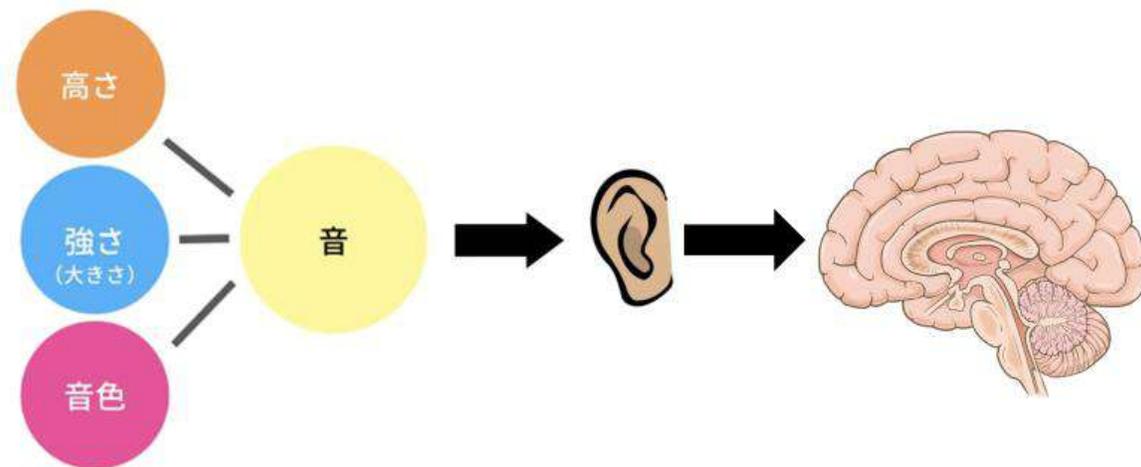
## 音の分析

音はどのようにして生み出されるのだろうか？

音の三要素



音が生み出され人に伝わるまでのルート



# 音について考える

## 音の分析 個人活動

### 音の三要素を使って「音」を生み出そう

条件 自分自身+1つの音素材=「音」



〈どんな音〉  
考え事をしている時に鳴らしてしまう音。  
ちょっとイライラしている時に鳴らしてしまう音

〈音を生み出す時に工夫した点〉  
爪を立てて、爪の先に意識を集中させて  
なるべく軽いタッチで机を叩くようにした。

実演可能な音を生み出すこと

## 生徒が書いたワークシートの内容の一部

音の三要素	どんな音	音を生み出す時に工夫した点
	イライラしているときに発生する音。	勢いよくたたく。少し手を密着させる。手の全面を机にしっかりつける(均等に圧力をかける)
	相手を褒め称えるときに発生する音。拍手。	手と手の間に空洞を創る。勢いよく。一瞬で手を離す。
	電気のスイッチを静かにつけるときの音。	指の関節をしっかり活かせず。最後だけ少し強く。
	朝を起きて、カーテンをめくるときの音。映画を家に見た後の音。	優しくカーテンを持ち、レールに沿ってスムーズに動かす。
	クリップの向きを整えるとき。	素早く手をどかす。手ではサポートし、その後は物体の自然の動きに任せる。

# 音の実演 他者との共有

## 音の分析「快適な音」と「不快な音」 個人活動

班をシャッフルして「快適な音」「不快な音」のシェアリングをしよう

～発表方法～

1. 音の三要素の説明
2. どんな音に設定したのか
- 3.工夫した点はどこなのか
4. 実演する

### 音の分析 評価シート「快適な音」

2年 組 番氏名

〈気持ちのバロメーター〉 自分は何パーセントだと感じたのか下の表に印をつけて数字を書きましょう。



その理由

### 音の分析 評価シート「不快な音」

2年 組 番氏名

〈気持ちのバロメーター〉 自分は何パーセントだと感じたのか下の表に印をつけて数字を書きましょう。

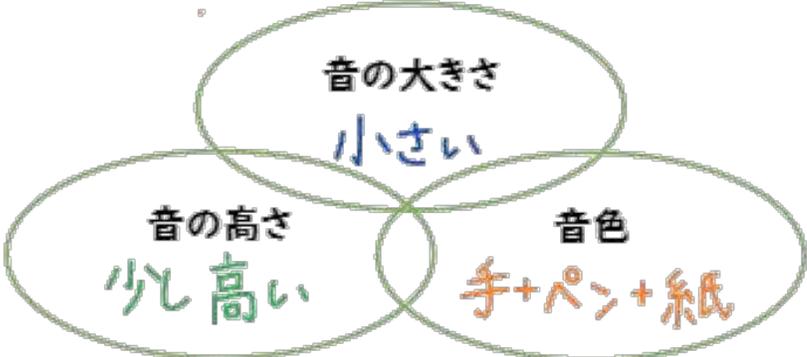


その理由

# 音の実演 他者との共有

## 音の分析「快適な音」と「不快な音」 個人活動

○「快適な音」 音の大きさや音の高さを工夫して快適な音を作ろう

音の三要素	どんな音	音を生み出す時に工夫した点
 <p>音の大きさ 小さい</p> <p>音の高さ 少し高い</p> <p>音色 手+ペン+紙</p>	<p>テストや問題集を解いて丸付けするときにする音。 <u>シュツツという音。</u> 自分の答えが○のときに出る音だからこの音を聞くと嬉しい</p>	<p>できるだけ素早くペンを動かして○を描く。 <u>ペンに加える力によって音の高さが変化するので力を込めすぎずにペン先が紙に付くくらいを意識する。</u></p>

○聞き手からの「気持ちのパロメーター」とコメントから自分が生み出した音がどのように伝わったのか振り返ってみよう

「気持ちのパロメーター」の数値から考察できること	聞き手のコメントから考察できること	自分の考え
<p>聞き手の人には自分が生み出した音が<u>快適な音</u>だと伝わった。 数値は+50、+70、+90だったので比較的快適な音レベルが高かったと思う。</p>	<p>日常（特に中学受験やテスト期間）でよく聞く音なので、聞き手側にも自分が伝えたい音が伝わって共感してもらえた。 <u>また、自分と同じように○がつくときは嬉しいので快適な音と捉えている人が多かった。</u></p>	<p>○をつける音は多くの人々が快適な音と捉える人が多いので、<u>真逆の×をつける音は不快と捉える人が多いかもしれない。</u></p>

# 音の実演 他者との共有

## 音の分析「快適な音」と「不快な音」

○「不快な音」 音の大きさや音の高さを工夫して快適な音を作ろう

音の三要素	どんな音	音を生み出す時に工夫した点
<p>音の大きさ 普通</p> <p>音の高さ 少し高い</p> <p>音色 手+机+カード</p>	<p>机とカードが擦れて出る音。</p> <p><u>キュッキュとした音がたまに出るのが特に不快になるポイント。</u></p>	<p><u>軽くカードを持って力を抜いて擦らせる。</u></p> <p><u>できるだけ強度のあるカードを使ってカードがしならないようにする。</u></p>

○聞き手からの「気持ちのパロメーター」とコメントから自分が生み出した音がどのように伝わったのか振り返ってみよう

「気持ちのパロメーター」の数値から考察できること	聞き手のコメントから考察できること	自分の考え
<p>パロメーターの数値は -50、-70、-65とまあまあ高い数値だったので不快な音レベルは普通くらいだと思う。</p>	<p><u>カードのこすり方を工夫したり、カードや机の材質を変えるともっと不快な音になる可能性があると思う。</u></p> <p><u>また班で交流していると比較的高い音、大きな音が不快と感じる傾向があるので不快な音を生み出すときはこのことを意識すれば良いと思う。</u></p>	<p>自分が思っていたよりも他の人たちからの評価では不快な音レベルが高かった。</p> <p>不快な音を探すよりも快適な音のほうがたくさんあるので簡単だと思った。</p>

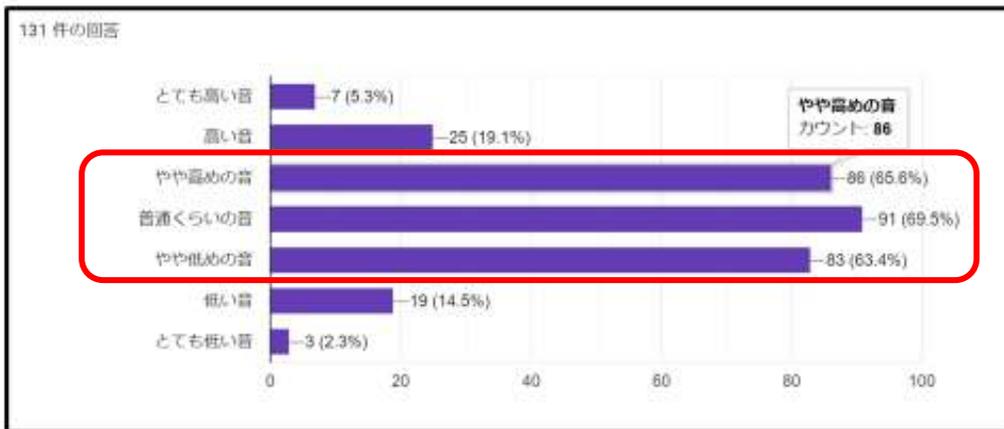
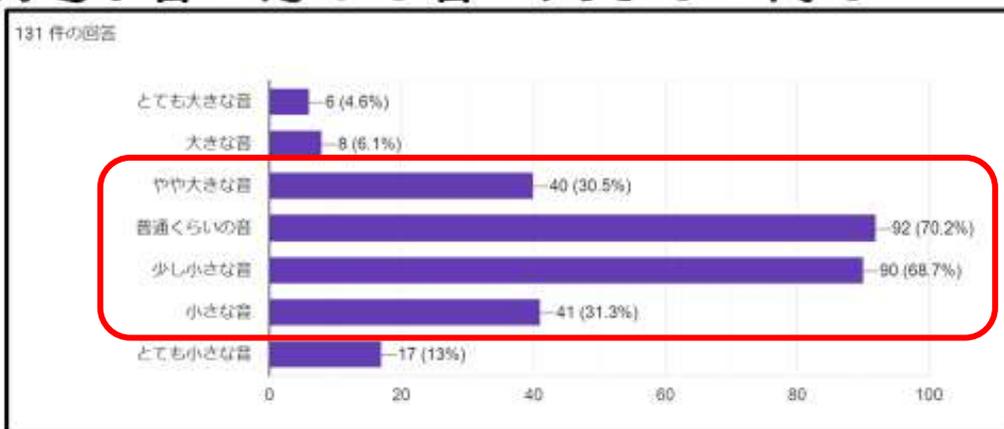
# 音について 検証する

音の分析

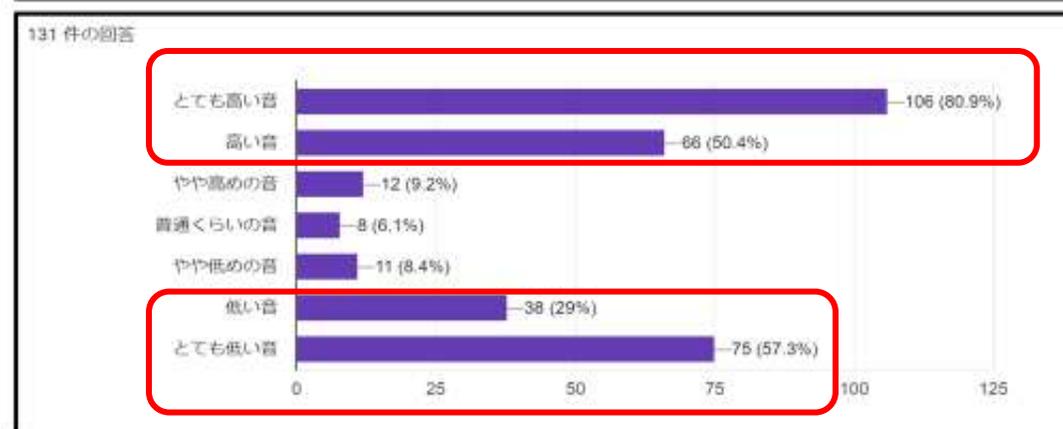
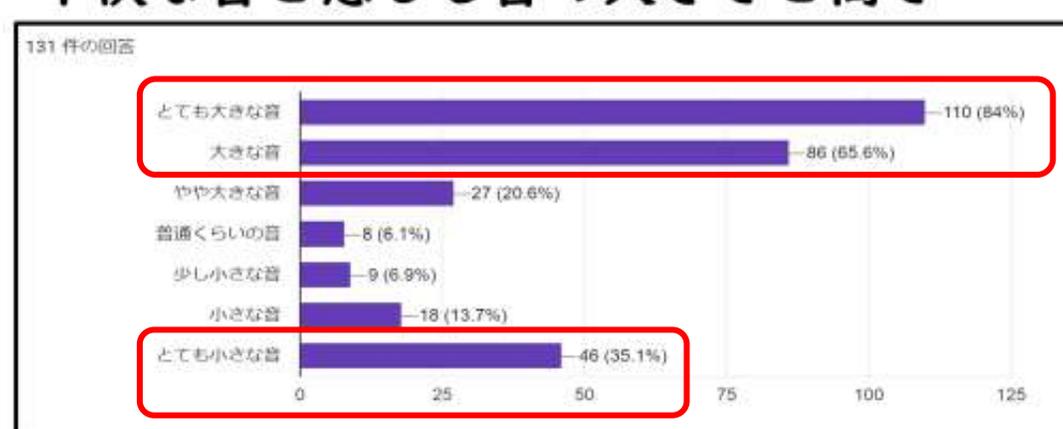
音の分析 アンケート実施

「快適」「不快」だと思える音の大きさ・高さについて 7段階から複数回答可能

## ～快適な音と感ずる音の大きさと高さ～



## ～不快な音と感ずる音の大きさと高さ～



# 音→音の演出→音の作品が完成するまでの過程

## 音 創作活動 班活動

ネガティブな感情とは→  
身の回りにある素材からふさわしい音素材を考える

どんな状況の時

テストが返却された後

音素材

机&拳

実現可能な音にすること

どんな気持ち

イライラした気持ち

どのようにして音を出すのか

机に力いっぱい拳を叩きつける

どんな音色

重苦しくて憎しみのこもった音色

## 日常生活の実体験から想像させる

ポジティブな感情とは→  
身の回りにある素材からふさわしい音素材を考える

どんな状況の時

友達と遊びに行く時

どんな気持ち

ワクワクした気持ち

音素材

お金&小銭入れ

実現可能な音にすること

どのようにして音を出すのか

小銭入れにお金を入れてシャカシャカ振る

どんな音色

小さめの音だけれどあったかい音色

どんな状況の時	どんな気持ち	音素材	どのようにして音を出すのか	どんな音色
失敗続きのとき	葛藤	教科書・机	投げるように机に置く	少しべちゃっとするような「バン」という音
誰かに対して怒りを感じたとき	イライラする	机	手のひらで机を勢いよく叩く	「バン」という大きな低い音でびっくりするような音。
ホラー映画を見ているとき	こわい、恐怖	黒板	黒板をひっかく	とても高い音

どんな状況の時	どんな気持ち	音素材	どのようにして音を出すのか	どんな音色
サッカーでゴールを決めたとき	よっしゃー！決まったー！！！！	定規、何かしらの金属物質(パイプ等)	ゴールポストに当たったときのような音、金属を響かせる。	カーンと少し響く爽やかな音
分かっている問題を解いているとき	きもちい〜	ペン	書く	シャーペンで紙に書いたときに鳴るサラサラ〜みたいな音
課題などをやり終えた時	達成感	クロームブック	クロームブックに文字を打ち込む時になる、タイピングの音。	「カタカタ」という軽快で素早い音。
パソコンで遊んでいるとき	楽しい	マウス	クリックする	カチカチという収束の早い音



音を使って自分たちの気持ちを相手に伝えよう(ポジティブヴァージョン)

**条件**

[ステップ1]

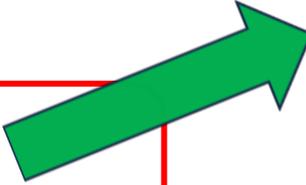
- ・音素材は「ポジティブ」「ネガティブ」同じ物を使うこと
- ・10秒～15秒で音を表現すること

[ステップ2]

- ・音の奏で方 構成の要素「反復」or「対照」or「変化」何か1つは使うこと
- ・音の重ね方 「ユニゾン」or「カノン風」or「重ねていく⇔減らしていく」何か1つは使うこと

[ステップ3]

- ・より臨場感のあるシチュエーションを表現するために1つ以上の音楽の要素を使って音の表現を創意工夫すること

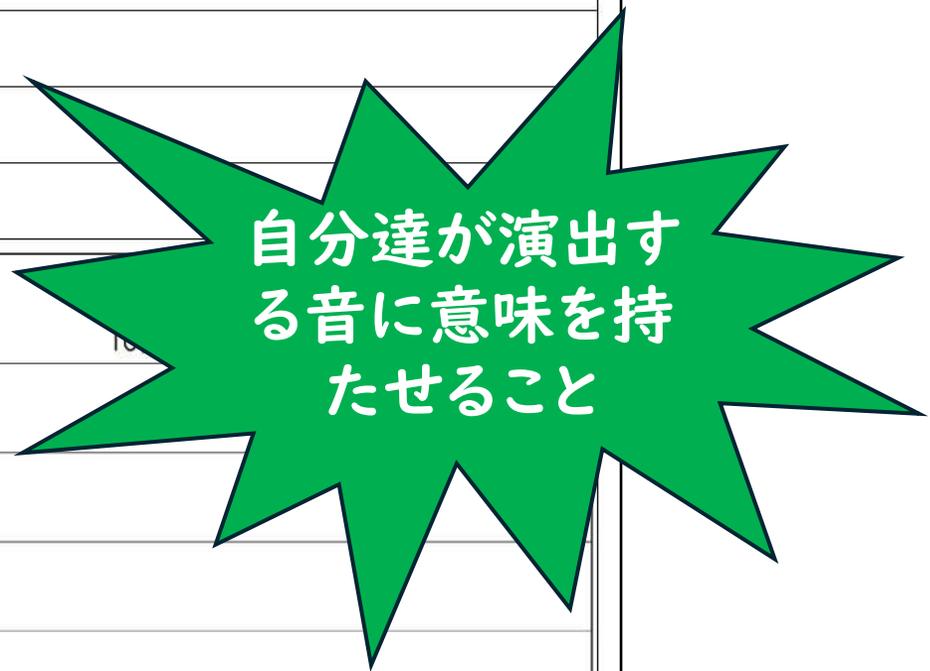


～音の奏で方～

**構成の要素とは**

- 反復 音やリズムが連続して繰り返されること
- 対照(問いと答え)
  - 模倣 班のメンバーが奏でている音を真似すること
  - 対照 班のメンバーが奏でている音とは異なる音を奏でること
- 変化 一つの演出の中で全く異なった音を演出すること

どんな気持ち		どんなシチュエーション
どんな音色を表現するのか		使う音素材
<b>構成の要素</b>		何を表現しようとしているのか。具体的に説明しましょう。
音の重ね方		何を表現しようとしているのか。具体的に説明しましょう。
音楽の要素		なぜ、その要素を使うのか。根拠を持って説明しましょう。



2回目 作成 ①誰が ②どのタイミングで ③何の音素材を用いて ④どのような音を表現するのか ⑤用いている構成要素 どのように用いているのか ⑥音の重ね方 どのように用いているのか ⑦音楽の要素 どのように用いているのか 前回の作品に付け加えて記入しましょう。	メンバー	使う音素材	0秒	5秒	10秒	演出方法	

音を使って自分たちの気持ちを相手に伝えよう(ポジティブヴァージョン)

**条件**

[ステップ1]

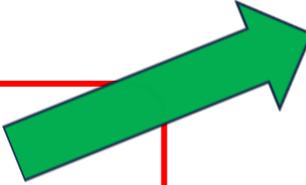
- ・音素材は「ポジティブ」「ネガティブ」同じ物を使うこと
- ・10秒～15秒で音を表現すること

[ステップ2]

- ・音の奏で方 構成の要素「反復」or「対照」or「変化」何か1つは使うこと
- ・音の重ね方 「ユニゾン」or「カノン風」or「重ねていく⇔減らしていく」何か1つは使うこと

[ステップ3]

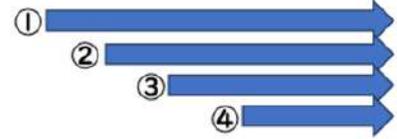
- ・より臨場感のあるシチュエーションを表現するために1つ以上の音楽の要素を使って音の表現を創意工夫すること



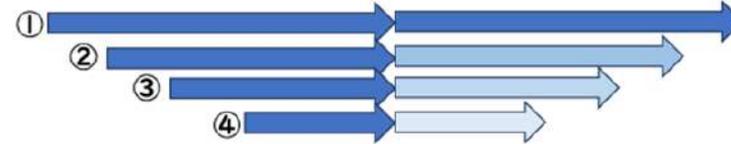
～音の重ね方～

○ユニゾン メンバー全員が同じ音を出す

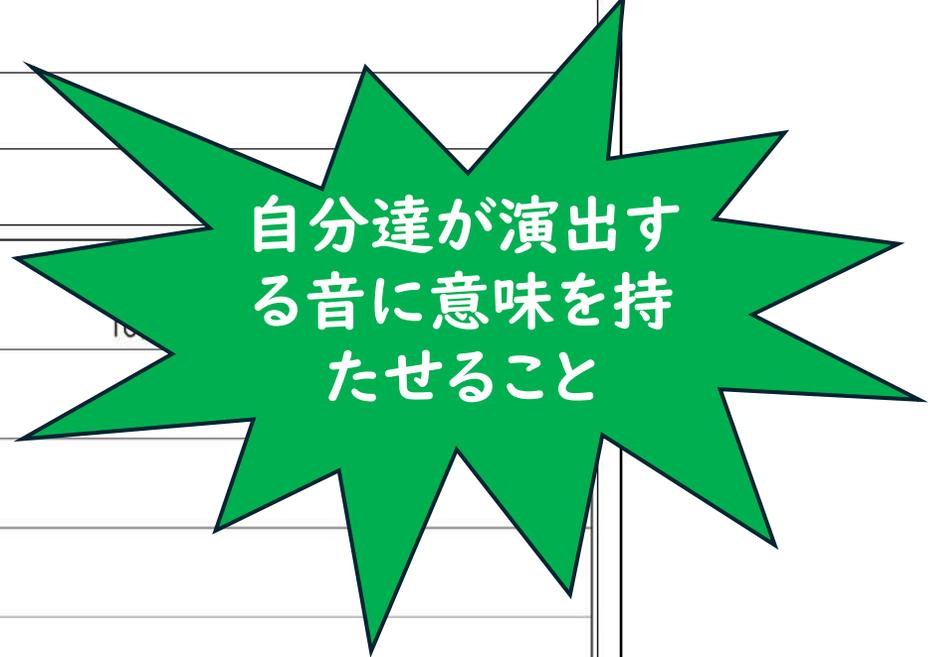
○カノン風 1人のメンバーが奏でる音を他のメンバーも遅れて奏でる手法



○音を重ねていく⇔減らしていく手法



どんな気持ち		どんなシチュエーション
どんな音色を表現するのか		使う音素材
構成の要素		何を表現しようとしているのか。 具体的に説明しましょう。
<b>音の重ね方</b>		<b>何を表現しようとしているのか。 具体的に説明しましょう。</b>
音楽の要素		なぜ、その要素を使うのか。 根拠を持って説明しましょう。



2回目 作成

①誰が  
②どのタイミングで  
③何の音素材を用いて  
④どのような音を表現するのか  
⑤用いている構成要素  
どのように用いているのか  
⑥音の重ね方  
どのように用いているのか  
⑦音楽の要素  
どのように用いているのか  
前回の作品に付け加えて記入  
しましょう。

メンバー	使う音素材	0秒	5秒	10秒	演出方法

音を使って自分たちの気持ちを相手に伝えよう(ポジティブヴァージョン)

**条件**

[ステップ1]

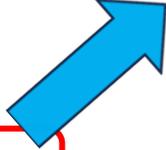
- ・音素材は「ポジティブ」「ネガティブ」同じ物を使うこと
- ・10秒～15秒で音を表現すること

[ステップ2]

- ・音の奏で方 構成の要素「反復」or「対照」or「変化」何か1つは使うこと
- ・音の重ね方 「ユニゾン」or「カノン風」or「重ねていく⇔減らしていく」何か1つは使うこと

[ステップ3]

- ・より臨場感のあるシチュエーションを表現するために1つ以上の音楽の要素を使って音の表現を創意工夫すること



～より臨場感のあるシチュエーションを演出するために～

**音楽の要素**

強弱

速度

音高

リズム

テクスチャ

どんな気持ち		どんなシチュエーション
どんな音色を表現するのか		使う音素材
構成の要素		何を表現しようとしているのか。具体的に説明しましょう。
音の重ね方		何を表現しようとしているのか。具体的に説明しましょう。
<b>音楽の要素</b>		なぜ、その要素を使うのか。根拠を持って説明しましょう。



2回目 作成	メンバー	使う音素材	0秒	5秒	演出方法
①誰が					
②どのタイミングで					
③何の音素材を用いて					
④どのような音を表現するのか					
⑤用いている構成要素 どのように用いているのか					
⑥音の重ね方 どのように用いているのか					
⑦音楽の要素 どのように用いているのか					
前回の作品に付け加えて記入しましょう。					



音を使って自分たちの気持ちを相手に伝えよう(ポジティブヴァージョン)

条件

- [ステップ1]
- ・音素材は「ポジティブヴァージョン」
- ・10秒、15秒で音を表す
- ・音の奏
- ・音の重ね方
- [ステップ3]
- ・より臨

自分達の演奏表現の中で  
一番の聞かせどころは  
どこ？

どんな気持ち	どんなシチュ
どんな音色を表現するのか	使う音
構成の要素	の重

～より臨場感のあるシチュエーションを  
演出するために～

音楽の要素



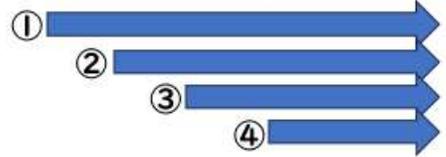
～音の奏で方～

構成の要素とは

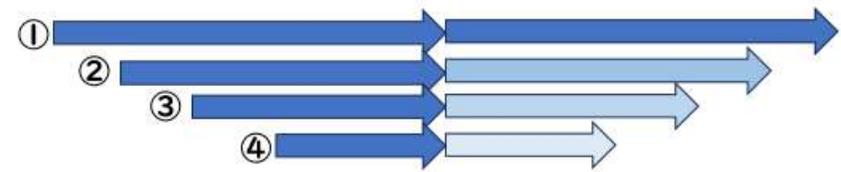
- 反復 音やリズムが連続して繰り返されること
- 対照(問いと答え)
  - 模倣 班のメンバーが奏でている音を真似すること
  - 対照 班のメンバーが奏でている音とは異なる音を奏でること
- 変化 一つの演出の中で全く異なった音を演出すること

～音の重ね方～

- ユニゾン メンバー全員が同じ音を出す
- カノン風 1人のメンバーが奏でる音を他のメンバーも遅れて奏でる手法



○音を重ねていく⇔減らしていく手法



# 班活動の進め方 ロイロノート 共有ノートの活用

## 班活動の進め方

- ①班で1つの共有ノートの作成
- ②ワークシートを共同で作成していく
- ③演出する音を録音
- ④作品の修正

音楽科2年生 創作 **ワークシート2**

音を使って自分たちの気持ちを相手に伝えよう(ポジティブバージョン)

### 条件

[ステップ1]

- ・音素材は「ポジティブ」「ネガティブ」同じ物を使うこと
- ・10秒～15秒で音を表現すること

[ステップ2]

- ・音の奏で方 構成の要素「反復」or「対照」or「変化」何か1つは使うこと
- ・音の重ね方 「ユニゾン」or「カノン風」or「重ねていく⇄減らしていく」何か1つは使うこと

[ステップ3]

- ・より臨場感のあるシチュエーションを表現するために1つ以上の音楽の要素を使って音の表現を創意工夫すること

どんな気持ち	ポジティブ	どんなシチュエーション	遊ぶ時のうきうきした気持ち
どんな音色を表現するのか	楽しくて元気になるような音	使う音素材	ペンのキャップ、ボールペン、机、アルミ製定規、のり
構成の要素	対照（模倣）	何を表現しようとしているのか。 具体的に説明しましょう。	わくわくが繋がっていく表現
音の重ね方	カノン風	何を表現しようとしているのか。 具体的に説明しましょう。	たくさんの音を出すのではなくきれいにすることを意識する表現
音楽の要素	リズム	なぜ、その要素を使うのか。 根拠を持って説明しましょう。	リズムカルのほうがポジティブに聞こえるから。

2回目 作成		演出方法			
メンバー	使う音素材	0秒	5秒	10秒	15秒
	ボールペン	模倣			
	アルミ製定規		模倣		
	ペンのキャップ (のり)	明るめ		模倣	
	手+机		軽い音		模倣

- ①誰が
  - ②どのタイミングで
  - ③何の音素材を用いて
  - ④どのような音を表現するのか
  - ⑤用いている構成要素  
どのように用いているのか
  - ⑥音の重ね方  
どのように用いているのか
  - ⑦音楽の要素  
どのように用いているのか
- 前回の作品に付け加えて記入しましょう。



# 音の作品の一例 ポジティブな感情&ネガティブな感情

## ポジティブ

## ネガティブ

どんな気持ち	嬉しい(お祭り騒ぎ)	どんなシチュエーション	試合に勝った															
どんな音色を表現するのか	爽快&わらわわ	使う音素材	ペットボトル空 <sup>(乾)</sup> 机 金															
構成の要素	変化	何を表現しようとしているのか、具体的に説明しましょう。	試合まで頑張ってきた成果が出て試合の緊張も解けて吹っ切れた感じ。															
音の重ね方	カノン風?	何を表現しようとしているのか、具体的に説明しましょう。																
音楽の要素	リズム, 強弱	なぜ、その要素を使うのか、根拠を持って説明しましょう。	炭酸水のシュワシュワが爽快感がある															
2回目 作成	<table border="1"> <thead> <tr> <th>メンバー</th> <th>使う音素材</th> <th>演出方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>お金</td> <td>0秒 - 15秒</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>机</td> <td>17秒 - 10秒</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>空ペットボトル</td> <td>17秒 - 10秒</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>炭酸ペットボトル</td> <td>0秒 - 10秒</td> </tr> </tbody> </table>			メンバー	使う音素材	演出方法	A	お金	0秒 - 15秒	B	机	17秒 - 10秒	C	空ペットボトル	17秒 - 10秒	D	炭酸ペットボトル	0秒 - 10秒
メンバー	使う音素材	演出方法																
A	お金	0秒 - 15秒																
B	机	17秒 - 10秒																
C	空ペットボトル	17秒 - 10秒																
D	炭酸ペットボトル	0秒 - 10秒																
①誰が																		
②どのタイミングで																		
③何の音素材を用いて																		
④どのような音を表現するのか																		
⑤用いている構成要素																		
どのように用いているのか																		
⑥音の重ね方																		
どのように用いているのか																		
⑦音楽の要素																		
どのように用いているのか																		
前回の作品に付け加えて記入しましょう。																		

どんな気持ち	悔しい	どんなシチュエーション	試合に負けに															
どんな音色を表現するのか	ムズムズ&鉛	使う音素材	ペットボトル利なし机 金															
構成の要素	反復変化	何を表現しようとしているのか、具体的に説明しましょう。	ムズムズ感															
音の重ね方	ユニゾン	何を表現しようとしているのか、具体的に説明しましょう。																
音楽の要素	リズム テクスチャ	なぜ、その要素を使うのか、根拠を持って説明しましょう。	炭酸ペットボトルで白バンの音そしてお金と机で耳障りの悪い感じ															
2回目 作成	<table border="1"> <thead> <tr> <th>メンバー</th> <th>使う音素材</th> <th>演出方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>炭酸ペットボトル</td> <td>0秒 - 15秒</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>空 ペットボトル</td> <td>0秒 - 15秒</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>お金</td> <td>0秒 - 15秒</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>机</td> <td>0秒 - 15秒</td> </tr> </tbody> </table>			メンバー	使う音素材	演出方法	A	炭酸ペットボトル	0秒 - 15秒	B	空 ペットボトル	0秒 - 15秒	C	お金	0秒 - 15秒	D	机	0秒 - 15秒
メンバー	使う音素材	演出方法																
A	炭酸ペットボトル	0秒 - 15秒																
B	空 ペットボトル	0秒 - 15秒																
C	お金	0秒 - 15秒																
D	机	0秒 - 15秒																
①誰が																		
②どのタイミングで																		
③何の音素材を用いて																		
④どのような音を表現するのか																		
⑤用いている構成要素																		
どのように用いているのか																		
⑥音の重ね方																		
どのように用いているのか																		
⑦音楽の要素																		
どのように用いているのか																		
前回の作品に付け加えて記入しましょう。																		



# 音の作品の一例 音をあえて重ねない演出

どんな気持ち	うわああああああああああああああああ	どんなシチュエーション	お金無くした																													
どんな音色を表現するのか	心の中のカオスをいろんな音で奏でる	使う音素材	台パン、ものを叩きつける																													
構成の要素	嫌な気持ちを何度も反芻してしまう様子を表すために、「反復」の要素を使う	何を表現しようとしているのか。 具体的に説明しましょう。	高音と低音を交互に爆音で →高ぶった感情が徐々に諦めへと変わっていく様子を表すため、「減らしていく」要素を使う																													
音の重ね方	<b>重ねてない（あえて）</b>	何を表現しようとしているのか。 具体的に説明しましょう。	<b>頭が真っ白になっているようなことを一度に考える余裕すらない様子を表すため</b>																													
音楽の要素	リズム	なぜ、その要素を使うのか。 根拠を持って説明しましょう。	以前取ったアンケートの結果から高すぎたり低すぎたりする音が爆音だと不快だと感じるから																													
2回目 作成	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">メンバー</th> <th colspan="4">演出方法</th> </tr> <tr> <th>0秒</th> <th>5秒</th> <th>10秒</th> <th>15秒</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><b>A</b></td> <td>手+机</td> <td colspan="3">ベートーベンの第5をイメージして机を叩く</td> </tr> <tr> <td><b>B</b></td> <td>コイン (お金)</td> <td colspan="3">コインを机に向かって放る</td> </tr> <tr> <td><b>C</b></td> <td>クローム</td> <td colspan="3">(録音)</td> </tr> <tr> <td><b>D</b></td> <td>欠席</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>			メンバー	演出方法				0秒	5秒	10秒	15秒	<b>A</b>	手+机	ベートーベンの第5をイメージして机を叩く			<b>B</b>	コイン (お金)	コインを机に向かって放る			<b>C</b>	クローム	(録音)			<b>D</b>	欠席			
メンバー	演出方法																															
	0秒	5秒	10秒	15秒																												
<b>A</b>	手+机	ベートーベンの第5をイメージして机を叩く																														
<b>B</b>	コイン (お金)	コインを机に向かって放る																														
<b>C</b>	クローム	(録音)																														
<b>D</b>	欠席																															

## 課題点

作品を作る過程において音楽の要素をどの程度、入れ込むか

# 毎時間の記録を残す

「今日の授業のめあて」に対しての振り返り

- Good point(良かった点)
- △ Next steps(次回への課題点)
- ★ 成長したこと
- ! 発見したこと/分かったこと
- ? 疑問点

生徒一人ひとりの思考の変容を見とることができる

## プロセスジャーナル

下に示した記号で必要だと思うものを使って今日の授業を振り返りましょう。

○ Good point(良かった点) △ Next steps(次回への課題点) ★成長したこと !発見したこと/?疑問点

日時	今日の授業のめあて	振り返り
10/3	音の三要素を基に身の回りにある音素材を使って「音」を生み出そう。	<p>○身の回りにどのような音があるのかということについて、様々な視点から考えることができたと思う。例えば足で床をたたく音であれば強くするが弱くするが、またどの向きからするかなどによって変わってくるということが今回の授業で分かったのが良かったと思う。</p> <p>★同じ発生源(同じピアノなど)であったとしてもそれをどうやって鳴らすかという方法によって音の強さが変わってくるということが、今回わかったので、いろんな視点から見るという点で成長できた。</p> <p>!イライラしているときにかなせ頃に曲をあてて聞かせると、アイディアがないか考えていると曲にならず音では違うので、自分の感情と、自分が聞かす音とは連動しているということが分かった。</p>
10/10	休んでました	
10/19 木	音の三大要素を基に身の回りにある音素材を使って「快適な音」「不快な音」をつくる。	<p>!人が「不快」と感じる音は大きすぎる音や小さすぎる音、耳障りな音、気持ち悪い音だとわかった。気持ち悪い音とは不調和音など、もどかしい音になるような音だと思う。そのように考えると快適な音と不快な音は裏表の関係で、快適な音を少し変えると不快な音になることがわかる。</p> <p>△こんかいは不快な音がどのようなものかだけをかんがえたので、次回は不快な音の種類やどのようなオアターンがあるのかということを考えていきたい。</p>
10/24 火	ポジティブな感情とネガティブな感情をテーマに根拠に基づいた音色を表現するための音素材を検証しよう。	<p>!ポジティブな音は自分が快適だと思う音で、ネガティブな音は自分が不快だと思う音だとわかった。</p> <p>!音は自分の感情を上手に伝える方法でもある</p>
10/31 火	ポジティブな感情とネガティブな感情をテーマに根拠に基づいた音色を10秒〜15秒、班で作成しよう。	<p>!不快な音の組み合わせ 次回は、その音を出すタイミングについて考える</p>
11/9 木	ポジティブな感情とネガティブな感情をテーマに根拠に基づいた音色を10秒〜15秒、班で作成しよう。	<p>!不快な音の組み合わせ やってみたが、あまりにもシュールすぎる。音の組み合わせを再度考える</p>
11/16 木	①音の演出の中で自分が担当する音の価値について考えよう。 ②搅拌、1つの作品の中で一番の聞かせどころはどこなのか、演出方法を工夫しよう	<p>!不快な音 強弱・高低を極端に変化さすだけでなく速度やテクスチャを変化させることで更に不快な音が演出できることがわかった。</p>
11/21 火	今回の発表を聴き、ことばによらないコミュニケーション方法(音色による感情表現)について考える。	<p>★他の班がどのような気持ちで音を出しているのかということ、音の要素や重なり方をもとにして判断し、伝えたいことを考えることができたので、音のある観点から分析し、どのような音でどのようなことを伝えたいのかということも考えられるようになったと思う。</p> <p>△今回は他の班の発表を聞いてどのような音の要素を使ってどのようなことを伝えたいのかということも考えることができたが、どのようにすればもっとよくなるかということも考えるのができなかった。もし今後今回のようなことがあれば、音の強さを考えるとどうすればもっとよくなるのかということも考えていけたらいいと思う。</p>

# 再度、音について考える

「音」って何？

生徒一人ひとりの音に対する見方・考え方の変容を見とることができる

Before

- 耳から聞こえるもの
- 何かを知らせる

After

- 何があったのかを知らせる(通知音の使い分けで何が誰から来たのかを知らせるなど)
- 心身ともに影響するもの(朝、目覚ましが優雅な音だとスッキリした気持ちで起きられるが、悲しい音などだとぐったりした気持ちになる。また、雨の音などを聴きながら寝ると眠れる人もいるので、体にも影響するものだと考えました。)
- 危険を知らせられる(サイレン・防犯ブザーによって視覚よりも広範囲の人に知らせることができる。)
- 感情を相手に伝えられる(条件が揃った場合[音に統一感がある・感情が伝わるような工夫があるなど])
- 相手の気持ちを変えられる(不快な音→嫌な気持ち・マイナスな気持ち、快適な音→いい気持ち・プラスな気持ち)
- 自分の気持ちも変えることができる(ゆっくりした音→リラックスできる、大きな音・激しい音→元気が出たりやる気が出たりする)
- その場の雰囲気を変えられる(穏やかな音→落ち着いた空間、激しい音・楽しい音→ワイワイした感じの空間になる。実際に、カフェなどでは穏やかな音にして、落ち着いた雰囲気にしていて、遊園地などでは楽しい音や明るい音にすることでにぎやかな雰囲気にさせていると思う。

Before

ものが動いたり擦れたりなどしたことで発生した振動が鼓膜などを振動させて聞こえるもの。

After

どの音もものが動いたり擦れたりなどしたことで発生した振動が鼓膜などを振動させて聞こえるものである。しかし、その音高を変えたり、大きさを変えるだけでも、そこから伝えられることが変化する。なので、音の要素を変化させることは自分を表現したり、状況を感じさせることもできる物が音だと思う。

Before

空気の振動

After

空気の振動によって伝わり、聞くだけでイメージ、妄想が広がるもの。また、音色や音の高低、音の大小、音の構成などを変化させることによってイメージを自分の伝えたいように変えることができるもの。つまり、言語・ボディランゲージと一緒にコミュニケーションツールであると思う。しかし、言語などと違い、感じ方はひとそれぞれなので、自分の意図に合いそうな音を作ったつもりでも他人からは全然違うように感じられることもあるし、真逆の意味で捉えられてしまうこともあるので、作成時には感じ方の傾向や自分の感じ方などを参考にして十分考えて音を作らなければならない、非常に繊細なものであると思った。また、音を鳴らす素材一つでも鳴らし方によって、色々な音を出せるため、ものには色々な音の可能性が秘められていると思う。つまり、音とはものに無限に隠された可能性であるということだと思った。

# パフォーマンス課題の一例

## 音楽科 2年生 総括課題

### タイトルについて

音による創作活動 ～音色による感情表現～

### 項目について

#### 〈自分自身が生み出した音について〉

初めに自分が生み出した音は、不快な音、快適な音、合わせて主に2つある。1つ目は不快な音で、金属のペンや物差しを床に落としたり叩きつけたりしてできる音である。不快な音にするためには、「耳障り」や「びっくりする」などの感じを表現すべきと考えたので、音の大きさは大きく、音の高さは高くした。音色は金属の物差しと床と手によって作られる音である。授業中のアンケートから、不快な音を表現するためには、大きすぎる、小さすぎる、高すぎる、低すぎる音にすればいいということが分かるので、金属のペンやものさしを床に落としたり叩きつけたりすれば、より不快な音を表現できると考えられる。2つ目は快適な音で、筆箱を思いっきり開ける(ファスナーを開ける)音である。快適な音は、さわやかな音や聞いていても耳障りにならない音と考えたので、それを表現するために、音の大きさは普通で、音の高さは少し高く、音色は手と筆箱でできた音にした。同様に、アンケートから快適な音は、大きすぎず小さすぎず、また高すぎず低すぎずの音であればいいということが分かるので、この音は快適な音ではないかと考えられる。

#### 〈班の作品を振り返り作成過程における変遷について(作成過程)〉

ポジティブもネガティブも初めに多くのシチュエーションを考えた後、どれが一番ポジティブ、ネガティブな音を出せるかを選んで、音を作っていた。ポジティブは、机や定規、ボールペンで机をたたくことで嬉しさを表現することになった。それらで机をたたいている音は、ドキドキしているときの心拍数がだんだん上がっているような感じであったため、カノン風にし、恋が突っつうれしいという気持ちや恋が突っつというシチュエーション、うれしい気持ちやドキドキしているという設定にした。さらに、反復や対照を使いざわざわしている感じを出した。そして一回演奏してみたが、あまりポジティブさが感じられなかった。なので、手で机をたたくときはだんだんと指の本数を多くしていったり、速度(音楽の要素に着目)をだんだん早くしていったりして、それらを改善したのち完成させた。ネガティブは、定規で机を叩き、筆箱を投げ、さらに紙を破り台パンするということでネガティブな感情を表現することにした。台パンや定規で机を叩く音、筆箱を投げる音は、とても大きく刺激的な音なのでこのような音素材を使うことに決めた。怒りを表現するために、少しずつ音を大きくするというカノン風や大きな音をまねていくという模倣を(筆箱を投げるときに)使った。演奏は、まず始めに紙を破った後台パンと筆箱を投げることから始まり、5秒ぐらいから定規が加わり、最後に紙を一人が破るという方法である。音楽の要素は、強弱や高低を特に意識して独特の雰囲気や表現し、感情が他とは違うということを表現した。そして一回演奏してみたが、全体的にまとまりすぎていてネガティブなように聞こえなかった。なので定規で机を叩く音と台パンする音のタイミングを少しずらして、気持ち悪いようにさせることでさらに怒りを表現した。また、最後の紙を破る音があまり強調されていないと感じたので、二人にし、最後に怒りが爆発したと聞き手に感じさせるようにした。

#### 〈班の作品の芸術的意図と音楽の要素の特徴について〉

今回自分たちの班で出したポジティブな音は恋が突っつうれしいというシチュエーションで嬉しさやドキドキしている気持ちを表現して音を作った。ポジティブな音を表現するためには、耳障りでなく、大きすぎず中間過ぎずの音であればいいため、優しく少し弱い音にした。使った素材は机・指・アルミ定規・ボールペンで、役割は、二人は机を両手の指でとんとんと叩き、一本から五本へとだんだんと増やしていった。そしてもう一人は机を定規でとんとんとたたき、最後の一人はボールペンを机でとんとんと叩いた。演奏し始めたときから、順番に音を出していき、重ねていくという方法をとった。

また、違う音にすることでドキドキしている感じやざわざわしている感じを表現するために、「反復・対照」を使い、音の重ね方はカノン風にし、恋が突っつ嬉しい時の、ドキドキして、心拍数がだんだんと高まっている感じを表現した。また、リズム・速度を特に意識して、速度を少し早くすることでドキドキして気持ちが高まっていることや、指や定規やボールペンでトントンすることで心臓の音を表したり、嬉しくて弾みそうな感じを表現した。

また、ネガティブな音は予定がキャンセルされたときやテストが悪かったというシチュエーションで怒り、憂鬱さを出して音を作った。ネガティブな音を表現するためには、びっくりさせるような音を表現すればいいため、音を大きくし刺激的な音にした。使った素材は紙、机、定規、筆箱で、役割は、一人が定規で机をたたき、もう一人は紙を破った後に台パンをして、さらに最後に紙を破る。そして残りの二人は机を机に向かって交互に投げた。また、大きな音を色々な人が真似ることで、より怒りが伝わるようにするために、「模倣」を使い、音の重ね方はカノン風にし、怒りがだんだん高まっていく感じを表現するために、少しずつ音を大きくした。また、強弱、高低を特に意識して、独特の雰囲気や表現し、感情が他と違うということや、高い音にして耳障りな音にし、怒りを表した。具体的には、カノン風は筆箱を投げるということを交互にするところで表現し、模倣は定規と台パンの大きい音をまねて重ねていくときに使った。また、定規で机をたたきタイミングと、台パンのするタイミングを少しずらして気持ち悪い音にさせることでさらにネガティブさを出した。

#### 〈より効果的なコミュニケーションとしての音の表現方法について〉

今回、僕たちの班では、ネガティブな音を使い、感情を表現した。具体的には、怒りや憂鬱という悲しい感情を表現するために、大きく刺激的な音にし、模倣やカノン風、変化を使ったり、強弱や高低をより表現したりすることで感情を伝えた。そして、聞き手からはほぼ大体の人がネガティブと答えて、「悲しい」や「面倒な気持ち」などのネガティブな表現を答えた人が多かった。しかし、中には「あまり刺激的な音ではなかった」などの、ポジティブではないのかと思った人も中にはいた。この「あまり刺激的ではなかった」という原因としてひとつ挙げられることは、自分たちが演奏するときに緊張してしまい、あまり大きな音やびっくりするような音を出せなかったということである。なので、より効果的なコミュニケーションとして音を表現するためには、今回のネガティブな場合であれば、もっと音を強くして怒りを表現するために、筆箱のあてる角度を変えたり、物差しではなく、違う重いものにしたりするなどを変えたりすることが効果的だと思う。

## 生徒が参考にしたワークシート

- 音の分析のワークシート
- 創作活動のワークシート
- 発表シート
- 毎時間の振り返りシート
- 音って何?ワークシート

## 参考文献

- ・中学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説 音楽編 平成 29 年 7 月 文部科学省
- ・「指導と評価の一体化」のために学習評価に関する参考資料 中学校音楽  
令和 2 年 3 月 文部科学省 国立教育政策研究所
- ・音の 3 要素とは何?音楽の理解に欠かせない基礎知識 er-theory (er-music.jp)
- ・スガナミ楽器 <https://www.suganami.com/>

## 討議の柱として…

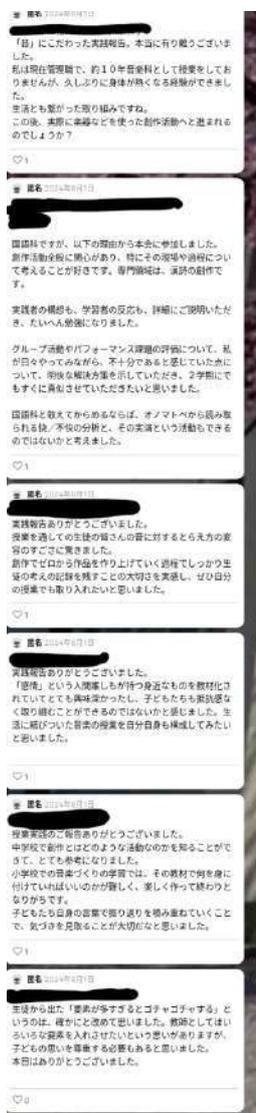
- ①各校、授業の中で「知覚したことと感受したこととの関わり」について工夫されていること
- ②各校、実施されているパフォーマンス課題の交流

本日は、イケトークにご参加いただきありがとうございました。

本日使用した Padlet やいただいたリフレクションを共有させていただきます。

ぜひ、ご活用ください。

話し合いで活用した Padlet



### 意見・感想・提案

・大変興味深い授業実践のご報告ありがとうございます。音の分析から音の持つ感情を生徒さん自身に実感させて創作に移っていく流れを、違う創作の場面でも活用できるなと思いました。

・ご報告ありがとうございました

小学校勤務なのですが参加させていただきました

自分が受けてきた、見てきた音楽の授業にはなかったのでもとても新鮮に感じました

子どもたちに「やることへの意味をもたせる」ことを自分の授業にも取り入れられたらと思いました

・昨年発表の様子を見学させていただきました。

理解が深まりました。ありがとうございます！

現在、非言語↔言語のプロセスを含む活動を考え中です。(私、国語科です。)

快不快の感情から具体的な感情・表現を深めていく過程が気になります。

・同じ音素材を用いて快適な音、不快な音を表現することで、音楽を形づくる要素について試行錯誤しながら、その働きや効果について実感できるのが良いと感じました。

中間交流などであえて自分のグループ以外の生徒から意見をもらっても良いかもしれません。表現者と鑑賞者の感じ方の違いがあれば、その意見をもとにさらに推敲して作品を完成させる、というもひとつのアプローチになるかもしれません。

・「音」にこだわった実践報告。本当に有り難うございました。

私は現在管理職で、約10年音楽科として授業をしておりませんが、久しぶりに身体が熱くなる経験ができました。生活とも繋がった取り組みですね。

この後、実際に楽器などを使った創作活動へと進まれるのでしょうか？

・国語科ですが、以下の理由から本会に参加しました。

創作活動全般に関心があり、特にその現場や過程について考えることが好きです。専門領域は、漢詩の創作です。

実践者の構想も、学習者の反応も、詳細にご説明いただき、たいへん勉強になりました。

グループ活動やパフォーマンス課題の評価について、私が日々やってみながら、不十分であると感じていた点について、明快な解決策を示していただき、2学期にでもすぐに真似させていただきたいと思いました。

国語科と敢えてからめるならば、オノマトペから読み取られる快／不快の分析と、その実演という活動もできるのではないかと考えました。

・実践報告ありがとうございました。

授業を通しての生徒の皆さんの音に対するとらえ方の変容のすごさに驚きました。

創作でゼロから作品を作り上げていく過程でしっかり生徒の考えの記録を残すことの大切さを実感し、ぜひ自分の授業でも取り入れたいと思いました。

・実践報告ありがとうございました。

「感情」という人間誰しもが持つ身近なものを教材化されていてとても興味深かったし、子どもたちも抵抗感なく取り組むことができるのではないかと感じました。生活に結びついた音楽の授業を自分自身も構成してみたいと思いました。

・授業実践のご報告ありがとうございました。

中学校で創作とはどのような活動なのかを知ることができて、とても参考になりました。

小学校での音楽づくりの学習では、その教材で何を身に付けていけばいいのかが難しく、楽しく作って終わりとなりがちです。

子どもたち自身の言葉で振り返りを積み重ねていくことで、気づきを見取ることが大切だなと思いました。

・生徒から出た「要素が多すぎるとゴチャゴチャする」というのは、確かにと改めて思いました。教師としてはいろいろな要素を入れさせたいという思いがありますが、子どもの思いを尊重する必要もあると思いました。本日はありがとうございました。

#### 疑問・質問・お悩み

・音楽を鑑賞する中で、音を表現する言葉を持っていない生徒が多く、「大きい」「小さい」「おだやか」など特定の言葉しか出てこないクラスも多いです。語彙力とも関わると思いますが、先生方がどのように言葉による表現を引き出されているのか実践方法を知りたいです。

・「知覚」する力は繰り返す訓練のようなもので伸ばしやすいと感じています。しかし「感受」については私も悩んでいます。例えば生徒のワークシートの記述内容で、①「感受」しているがそれを表出するための言語能力が低いのか、②「感受」できていないのか、判断できないことがあります。①であれば雰囲気などを表すキーワードや感情を表す言葉の語彙をヒントとして提示することで支援できます。私は現在②に対しての支援方法に悩んでいます。生徒個人の特性上、感じにくい・感じてはいるが自分の中でも処理＝理解できないような生徒に対して、どのようにすればいいのだろうと試行錯誤しています。

・本日は貴重なお話をありがとうございます。

新卒でまだまだ分からないことだらけなのですが、たくさん学ばせていただいております。

・評価は、最後に提出するパフォーマンス課題のみで行ったのですか。また、生徒の文章の内容に対するより具体的な評価基準(こんな記述があればAなど)がありましたら教えていただきたいです。

・ワークシートに取り組む場面がたくさんありましたが、毎回、コメントをつけて返すなどしていたのでしょうか。「あとで提出してね」と言わない場合、真剣に取り組んでくれなかったり、書かせたものの自分が見る余裕がなかったりして悩んでいます。

・自分の思いや感じ方を言語化することがこの授業の大きなポイントだと思います。語彙力を高めるには自身の教科だけではなかなか解決できない課題だと実感します。学校全体として言語教育について何か取り組まれていることはありますか？

・高1「言語文化」での実践例

・漢詩を創作させる

・「蛇足」を用いた説得の実演

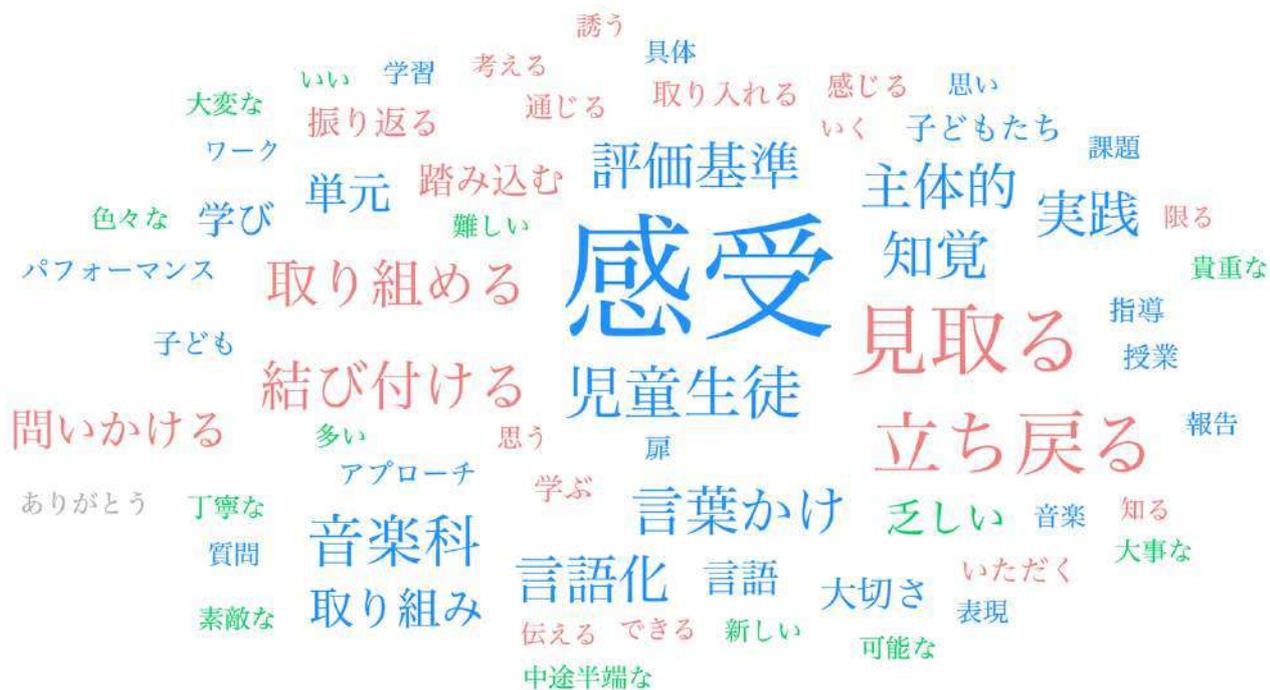
・古文と漢文の比べ読み→授業をさせる

パフォーマンス課題(評価)という語義にとらわれて、所謂パフォーマンスそのもの(演じること、プレゼン等)を評価しようとして、上手いかわないところがあると感じていました。

パフォーマンスはその場限りで、映像等に残さないと振り返ることができない、班でやっても参加度合いにムラがでてしまう。などです。

個人のレポート課題を評価対象とすること、班活動のワークシートに「誰が何をした」の項目を設けることなど、言われてみれば基本的なことですが、見落としていたことに気づくことができました。

参加者の方からいただいたリフレクションアンケートのご意見、ご感想  
下の図は、感想を基に作成したテキストマイニングになります。



#### ①本日の学び（学びが深まったこと、新たな疑問など）

・非言語↔言語 知覚と感受について

→感じたことを自分の言葉で表現することの難しさを改めて実感しました。今日はありがとうございました。

・感受の言語化についての具体的なアプローチ法がお聞きできたり、子どもと学習の前にゴールや評価基準を共有することで活動中に立ち戻ることが可能になったりすることの大切さを感じました。

→形成的評価という部分から生徒たちに一言でもいいので、コメントを返すと、そこからまた、アイデアが広がることもあるので、生徒とのやり取りは大事にしています。今日は、ご参加いただきありがとうございました。

・知覚したことや感受したことを言語化する難しさに対しての丁寧なワークシートや言葉かけ、作業途中での先生のサポートなど真似できることから頑張っ自分も実践していきたいと思いました。生徒が主体的に取り組めるパフォーマンス課題に悩んでいたのが、今回の実践を見させていただき新しい扉が開いたような気がします。ありがとうございました。

→こちらこそ、ご参加いただきありがとうございました。まだまだ改善点がたくさんある取り組みだったので、今後も探究していこうと思います。

・子どもたちが音楽を通してどのようなことを考えているか、感じているかを伝えるために、どのような取り組みをしていけばいいかを考えることができました。また、この単元でどのような力がついていけばいいのかを子ども自身が知っておくことの大切さも学びました。

→生徒達に目的を明確にすることは、とても大事なことだと思っています。生徒にとっても何をするのが明確になると、学ぶ意欲が少し高まるかなと考えています。今日はありがとうございました。

・日常生活での出来事(児童生徒にとって誰しも経験があるもの)が教材化されているところにまず魅力を感じました。音楽科に限らず、日々の授業において児童生徒の生活に少しでも結び付けることを大事にしたいと思いました。日本全国の学校の取り組みを知ることができて、とても勉強になりました。

→こちらこそ、ご参加いただきありがとうございます。日常生活の中での気づきを自分自身これからも大事にしていきたいなと思っています。

・知覚と感受の関わりや思いの言語化など、音楽科の指導で最も課題となる部分にフォーカスされた研究発表で、大変勉強になりました。音楽を表現することだけではなく、思いを言葉で表現する力はすべての教科に通じることと思います。

→知覚⇔感受を通して生徒がいかに実感できるかという部分が自分もまだまだ勉強不足なので、今後ともよろしくお願ひします。今日はありがとうございます。

・質問させていただいた子どもたちが「感受」できるようになるための手立てについて、藤本先生の方から「問いかけの工夫」や「言語以外の媒体に変換」という言葉をいただきました。授業デザインの中にこれらのことをもっと取り入れて丁寧な積み重ねを続けたいと思います。踏み込んだ質問にはなりますが、感情の認知が難しい・できないなどの特性を持った子ども（何に対しても「こうしたい」が持てない、音楽だけでなく色々な物事への好奇心が乏しい、自分について考えることへの拒否反応があるなど）に対してどんな支援が考えられるかということをもう少し議論したいなと思いました。

→表現をする教科の特性として、私もすごく悩みます。そもそも音楽が得意でない、表現することに抵抗がある生徒に対しては、本人が出来る範囲でやっごらんと声掛けをしています。それでも、難しい場合は、授業が終わってから個別に声掛けをするなど、個別対応をする形をとっています。

・小学校の所属でしたが、パフォーマンス課題や振り返りについて学び、2学期に活かしていきたいと思いました  
→本日はご参加いただきありがとうございます。また、お話できる機会がありましたら、よろしくお願ひします。

学習指導要領とリンクさせながら、こんな機会でない繋がることのないだろう方々の貴重な意見を聞かせていただきました。「音」について根本から考えることって、今まであったかなあ？と振り返りもできました。

→本日はご参加いただきありがとうございます。日常生活の中からふとした疑問を大事にしながら、今後も教材研究していきたいと考えております。また、お話できる機会がありましたらよろしくお願ひします。

・指導内容を絞ることや、他者と相互作用しながら学びを深めていくことなど、音楽を生活と関連付けることなど、やったほうがいいことは分かっているが、中途半端だったり方法がわからなかったりで詰まっていました。今回の実践報告を受けて、少しずつですが、授業づくりのモヤモヤが晴れたように感じます。

→本日はご参加いただきありがとうございます。私自身、試行錯誤しながらチャレンジした取り組みだったので、改善点はたくさんありますが、対話的な学びの内容をどのように深めていくのかという部分も今後、検討していけたらと思っている部分です。今後ともよろしくお願ひします。

令和6年度 イケトーク

# 保健体育

「長距離走の魅力」に迫るパフォーマンス課題

～生涯スポーツを楽しむ生徒をめざして～

大阪教育大学附属池田中学校 保健体育科 教諭 福井 明

**01**

主題の設定理由

**02**

実践報告

**03**

パフォーマンス

課題の可能性

**04**

まとめ

**02**

実践報告

**03**

パフォーマンス

課題の可能性

**04**

まとめ

**03**

パフォーマンス  
課題の可能性

**04**

まとめ

**04**

まとめ

## 従前

「技能」

「態度」

「知識、思考・判断」

## 現行

「知識及び技能」

「思考力、判断力、表現力等」

「学びに向かう力、人間性等」

思考・判断に表現が加わり

思考し、判断したことを他者に伝える

言葉や文字、  
動作等で

# 現行の学習指導要領（保健体育）「目標」

## 従前・目標

運動に親しむ資質や能力

## 現行・目標

豊かなスポーツライフを  
実現（高校は継続）するための  
資質・能力

これまで以上に

「生涯スポーツ」が重視されている。

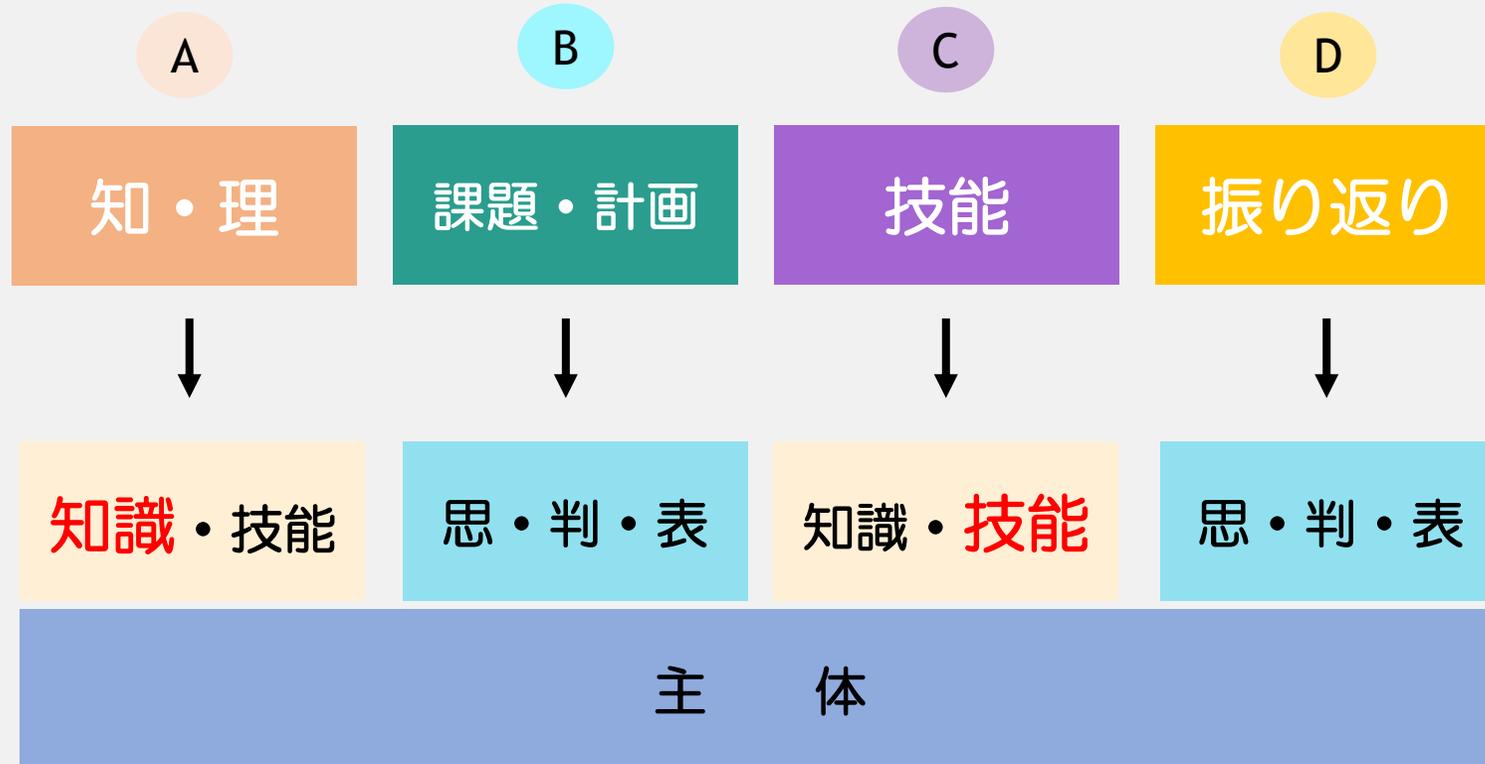
「長距離走の魅力」に迫るパフォーマンス課題



～生涯スポーツを楽しむ生徒をめざして～

# 实践报告

国際バカロレア教育



対象

本校 中学1年生（4クラス）143名

実施形態

男女共習（年間通して・全学年）

実施時期

R6年1月中旬～（3学期）

ゴール（逆向き）から授業をデザイン（設計）する

<b>GOAL</b> (目的・ゴール)	あなたはスポーツライターです。「月間 FUZOKU RUN」に中学生が長距離走（ランニング・ジョギング）を積極的に取り組みたいと思える記事を書く。
<b>ROLE</b> (自身の役割)	スポーツライター
<b>AUDIENCE</b> (相手・対象)	読者（おもに中学生）
<b>SITUATION</b> (状況設定)	長距離走（ジョギング・ランニング）の魅力（特性）を伝えるための記事を書く依頼が来た。
<b>PERFORMANCE</b> (完成作品)	記事
<b>STANDARDS</b> (観点など)	ループリック表参照

逆向き設計♻️

<b>GOAL</b> (目的・ゴール)	あなたはスポーツライターです。「月間 FUZOKU RUN」に中学生が長距離走（ランニング・ジョギング）を積極的に取り組みたいと思える記事を書く。
<b>ROLE</b> (自身の役割)	スポーツライター
<b>AUDIENCE</b> (相手・対象)	読者（おもに中学生）
<b>SITUATION</b> (状況設定)	長距離走（ジョギング・ランニング）の魅力（特性）を伝えるための記事を書く依頼が来た。
<b>PERFORMANCE</b> (完成作品)	記事
<b>STANDARDS</b> (観点など)	ループリック表参照

# 実践報告 長距離走（ランニング・ジョギング）

7

<b>GOAL</b> (目的・ゴール)	あなたはスポーツライターです。「月間 FUZOKU RUN」に中学生が長距離走（ランニング・ジョギング）を積極的に取り組みたいと思える記事を書く。
<b>ROLE</b> (自身の役割)	スポーツライター
<b>AUDIENCE</b> (相手・対象)	読者（おもに中学生）
<b>SITUATION</b> (状況設定)	長距離走（ジョギング・ランニング）の魅力（特性）を伝えるための記事を書く依頼が来た。
<b>PERFORMANCE</b> (完成作品)	記事
<b>STANDARDS</b> (観点など)	ループリック表参照

<b>G</b> OAL (目的・ゴール)	あなたはスポーツライターです。「月間 FUZOKU RUN」に中学生が長距離走（ランニング・ジョギング）を積極的に取り組みたいと思える記事を書く。
<b>R</b> OLE (自身の役割)	スポーツライター
<b>A</b> UDIENCE (相手・対象)	読者（おもに中学生）
<b>S</b> ITUATION (状況設定)	長距離走（ジョギング・ランニング）の魅力（特性）を伝えるための記事を書く依頼が来た。
<b>P</b> ERFORMANCE (完成作品)	記事
<b>S</b> TANDARDS (観点など)	ループリック表参照

<b>G</b> OAL (目的・ゴール)	あなたはスポーツライターです。「月間 FUZOKU RUN」に中学生が長距離走（ランニング・ジョギング）を積極的に取り組みたいと思える記事を書く。
<b>R</b> OLE (自身の役割)	スポーツライター
<b>A</b> UDIENCE (相手・対象)	読者（おもに中学生）
<b>S</b> ITUATION (状況設定)	長距離走（ジョギング・ランニング）の魅力（特性）を伝えるための記事を書く依頼が来た。
<b>P</b> ERFORMANCE (完成作品)	記事
<b>S</b> TANDARDS (観点など)	ループリック表参照

<b>G</b> OAL (目的・ゴール)	あなたはスポーツライターです。「月間 FUZOKU RUN」に中学生が長距離走（ランニング・ジョギング）を積極的に取り組みたいと思える記事を書く。
<b>R</b> OLE (自身の役割)	スポーツライター
<b>A</b> UDIENCE (相手・対象)	読者（おもに中学生）
<b>S</b> ITUATION (状況設定)	長距離走（ジョギング・ランニング）の魅力（特性）を伝えるための記事を書く依頼が来た。
<b>P</b> ERFORMANCE (完成作品)	記事
<b>S</b> TANDARDS (観点など)	ループリック表参照

# 実践報告 長距離走（ランニング・ジョギング）

<b>G</b> OAL (目的・ゴール)	あなたはスポーツライターです。「月間 FUZOKU RUN」に中学生が長距離走（ランニング・ジョギング）を積極的に取り組みたいと思える記事を書く。
<b>R</b> OLE (自身の役割)	スポーツライター
<b>A</b> UDIENCE (相手・対象)	読者（おもに中学生）
<b>S</b> ITUATION (状況設定)	長距離走（ジョギング・ランニング）の魅力（特性）を伝えるための記事を書く依頼が来た。
<b>P</b> ERFORMANCE (完成作品)	記事
<b>S</b> TANDARDS (観点など)	ループリック表参照



①

長距離走を  
肯定的に捉えてほしい

②

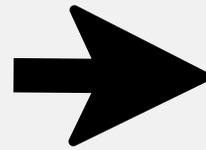
タイム短縮  
他者と比較しない。自己記録更新が目的

## きっかけ

健康のため

運動不足解消

ダイエット



## 続ける目的

大会出場

健康

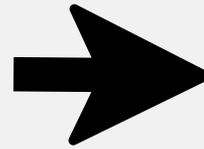
記録更新

## きっかけ

健康のため

運動不足解消

ダイエット



## 続ける目的

大会出場

健康

記録更新

①

長距離走を肯定的に捉えてほしい

趣味は  
「~~持久走~~」  
です

マラソン人口の増加

アプローチ

生涯スポーツ  
(豊かなスポーツライフ)

パシュート走

かけひき走

チャレンジ  
ペース走

チーム  
シャトルラン

中学記録  
挑戦会

名称を「ランニング・ジョギング」へ

②

## タイム短縮

他者と比較しない。自己記録更新が目的

1000m

アプローチ

陸上競技の醍醐味  
\*でもこれが嫌いな原因？

パシュート走

かけひき走

チャレンジ  
ペース走

チーム  
シャトルラン

中学記録  
挑戦会

イ 長距離走

長距離走では、自己のスピードを維持できるフォームでペースを守りながら、一定の距離を走り通し、**タイムを短縮したり、競走したり**できるようにする。

1年生 冬休み課題 保健体育（福井授業）

## ●3学期 福井の授業実施種目・・・長距離走（ジョギング・ランニング）

\*3学期始めはソフト・バドが数回あり。

## ●配布資料の確認

- |     |            |     |                        |     |                 |
|-----|------------|-----|------------------------|-----|-----------------|
| 1点目 | 3枚ものの学習カード | 2点目 | アンケート                  | 3点目 | OPPシート（毎回の振り返り） |
| 4点目 | 総括課題のメモ用紙  | 5点目 | 冬休み課題のニコニコペース走 振り返り 用紙 |     |                 |
| 6点目 | 記事作成マニュアル  | 7点目 | ループブック                 | 8点目 | 探求テーマなど         |

## ●冬休み中やっておくこと（全クラス）

長距離走の授業は8回しかありません。雨が降ると回数が減るので、冬休み中に資料を配布します。総括課題も先に提示します。冬休み中に進めておいてください。

- やり終えたら目録にチェックしよう！
- ロイロで「長距離走（ジョギング・ランニング）」のノートを作っておく。
- 事前アンケートを行う。
- 総括課題の枠組みを作っておく（記事作成マニュアル参照）。**重要**

進捗状況確認のため提出あり（ロイロ提出期限参照）

\*もちろんDii iiiの100文字～800文字のところは未記入のまま。あくまでも枠組みを作るだけ。この段階では成績に含まないがしっかり作っておこう。理由は・・・！

**\*総括課題は授業中に（出来たら6～7回目の授業）完成提出です。先のできることをやっておこう。**

**\*100～800文字のところは授業の経験を通して記入するので記入しないこと。**

記事作成マニュアルには「バッシュ走・かけひき走・チャレンジペース走・中学記録に挑戦しよう」から1つ選びと記入しているがまだ選ばないこと！

- 資料に目を通しておく。
- 冬休み中「3回」は「にこにこペース走」を実施すること。振り返り等を記入し提出あり（ロイロ提出期限参照）
- 資料でクラス・番号・名前を記入する欄に記入しておく。

## 記事作成マニュアル

### ☑（チェック）リスト

- 「ロイロノートのメッセージカード」「Canva」「スライド」のいずれかで「1枚もの」でまとめる。
- 「ランニングジャーナル」or「ジョギングジャーナル」の記事の見出しを入れる。
- 読者の目を引きつけるようなキャッチフレーズをどこかに記載。  
例）「限界の向こう側の世界」「ゴールの向こう側には何が待っているのだろうか？」のような20文字以内でOK！
- 「ランニング・ジョギングが楽しくなる取り組み」のような見出しで「バッシュ走・かけひき走・チャレンジペース走・中学記録に挑戦しよう」から1つ選び、記者（自分）の経験から、どのような作戦や戦術を立てたか、それを実施しての振り返りを書きましょう。どのような効果があり、楽しめるポイントを記載すること。ループブック参照。4つのルールも読者に伝わるように記載すること。  
\*読者に紹介し、読者が走りたい、取り組んでみたいと思えるような記事にしよう！  
**100字以上800字以内**でまとめよう（Dii）
- 「ランニング（ジョギング）の魅力」のような見出しで自分の写真を入れる。（走っている写真でもOK）フレームなど写真周辺を囲うと見栄え良し。→その写真付近に吹き出しを設定し、ランニング（ジョギング）の魅力に触れながら「学習を通して、（自己の経験を踏まえ）、自己のパフォーマンス（心身共に）がどのように変化したのか、成果や課題に結び付けて記入しましょう。」**100字以上800字以内**でまとめよう（Diii）  
\*読者（中学生）が走りたいと思えるような記事にしよう！  
\*スポーツライターという立場ですが記入の際は授業時（選手）の経験から。  
\*ループブック参照。
- 「月刊 FUZOKU IKEDA」を購入した人が見やすいものを作成する。見栄えは成績に一部含む。スペースを有効活用する（図や絵、豆知識、観戦ポイント等々）  
数字は大きく見せる 100文字 →100文字 強調できる  
色付けをする。（ただし3～4種類程度）  
矢印の数は5つ未満  
白抜き文字  
「対角線」を意識して配置する（人の視線は左上から右下に向かって視線が動く）  
図はピクトグラムなどを活用しよう。  
数字は偶数より奇数が効果的（嘘の数字はダメ！）

白抜き文字

参考文献：科学的に正しい するい 資料作成術

反転授業  
的な位置付け



授業時間内で  
「課題完結」  
\*宿題に  
ならないように

1

## 「長距離走の魅力」

を伝える記事

**バシユート走・かけひき走・チャレンジベース走・中学記録に挑戦しよう**から1つ選び、記者（自分）の経験から、どのような作戦や戦術を立てたか、それを実施しての振り返りを書きましょう。

### 記事作成マニュアル

#### ☑（チェック）リスト

- 「ロイロノートのメッセージカード」「Canva」「スライド」のいずれかで「1枚もの」でまとめる。
- 「ランニングジャーナル」or「ジョギングジャーナル」の記事の見出しを入れる。
- 読者の目を引きつけるようなキャッチフレーズをどこかに記載。

2

## 「長距離走が楽しくなる」

取り組みの記事

4つのルールも読者に伝わるように記載すること。

\*読者に紹介し、読者が走りたい、取り組んでみたいと思えるような記事にしよう！

**100字以上 800字以内**でまとめよう（Dii）

- 「ランニング（ジョギング）の魅力」のような見出しで自分の写真を入れる。（走っている写真でもOK）フレームなど写真周辺を囲うと見栄えよし。→その写真付近に吹き出し  を設定し、ランニング（ジョギング）の魅力に触れながら「学習を通して、（自己の経験を踏まえ）、自己のパフォーマンス（心身共に）がどのように変化したのか、成果や課題に結び付けて記入しましょう。」 **100字以上 800字以内**でまとめよう（Diii）

\*読者（中学生）が走りたいと思えるような記事にしよう！

\*スポーツライターという立場ですが記入の際は授業時（選手）の経験から。

\*ループブック参照。

- 「月刊 FUZOKU IKEDA」を購入した人が見やすいものを作成する。見栄えは成績に一部含む。  
スペースを有効活用する（図や絵、豆知識、観戦ポイント等々）  
数字は大きく見せる 100文字 → 100文字 強調できる  
色付けをする。（ただし3～4種類程度）  
矢印の数は5つ未満  
白抜き文字  
「対角線」を意識して配置する（人の視線は左上から右下に向かって視線が動く）  
図はピクトグラムなどを活用しよう。  
数字は**偶数**より**奇数**が効果的（嘘の数字はダメ！）

白抜き文字

# 実践報告 長距離走（ランニング・ジョギング）

配布資料①②

GRASPS	
探求テーマ	
重要概念	
発展	
ATL スキル	
? 事実的問い?	
? 概念的問い?	
? 議論的問い?	
GOAL (目的・ゴール)	
ROLE (自身の役割)	
AUDIENCE (相手・対象)	
SITUATION (状況設定)	
PERFORMANCE (完成作品)	
STANDARDS (観点など)	基本的な知識・技能とその高め方・効果的な練習方法・振り返り

## 国際バカロレア教育

A	B	C	D
知・理	課題・計画	技能	振り返り
↓	↓	↓	↓
知識・技能	思・判・表	知識・技能	思・判・表
主体			

総括シート

略を特定)

---

できる。

活動・意識の記述がある。

---

詳しく述べる)

---

こと（今後の展望が記入でき

---

、要約する)

---

述べることができる。

述べることができる。

や課題を結びつけて簡単に述

---

や課題を結びつけて詳しく述

べ、要約する。また、新たな問いを見つけることや、自分なりの解決策を具体的に記述し読者に伝えることができる。

長距離走（ジョギング・ランニング） DI（毎回の振り返りの充実度） 1年 組 番（ ）

学習前の気持ち	学習後の気持ち

① 今日の授業のタイトルを付けよう！

今日1番大切だったこと	今日1番大切だったこと

自己評価・記述内容	S A B C	自己評価・記述内容	S A B C
教師からの評価	S A B C	教師からの評価	S A B C

④ 今日の授業のタイトルを付けよう！

今日1番大切だったこと	今日1番大切だったこと

自己評価・記述内容	S A B C	自己評価・記述内容	S A B C
教師からの評価	S A B C	教師からの評価	S A B C

⑦ 今日の授業のタイトルを付けよう！

月 日（ ）	月 日（ ）	月 日（ ）

自己評価・記述内容	S A B C	自己評価・記述内容	S A B C
教師からの評価	S A B C	教師からの評価	S A B C

OPPシート

陸上競技（長距離走）～ジョギング・ランニング⇨生涯スポーツ～ メモ用

★総括課題を作成する際に使用するのもしっかりメモを残しておこう！

パシュート走（チーム）

Q、あなたは又はチームはどのような作戦を立てましたか？理由も含めて残しておこう！

Q、あなたは又はチームはどのような作戦を立てましたか？理由も含めて残しておこう！

中学記録に挑戦しよう（チーム）  
Q、あなたは又はチームはどのような作戦を立てましたか？理由も含めて残しておこう！

# 実践報告 長距離走（ランニング・ジョギング）

## 学習前の気持ち

ジョギングは自分のペースで走っても限界が来てしまっただけで最後には絶対に歩いてしまうものだと思います。今までジョギングをしたときにすぐに息が切れてしんどくなってしまったので同じペースで走ることは難しいし、最後には歩いてしまうと思います。また、ジョギングは1人で走るため、対戦ではないので体力づくりのための運動だと思います。



## 学習後の気持ち

私は、最初、長距離走はただ疲れるだけで最終的には歩いてしまう体力づくりだけの運動だと思っていました。しかし、授業の中でチーム対抗の長距離走や難しいルールを加えて戦略を考えたりすると、長距離走は運動づくりができて、体力が付き、持続力が上がるため他の運動にも持続力のある体力を使うことができ、また、ゲーム感覚でも楽しむことができ、戦略を考えることでどのようなことが起こるのかと予想をして楽しめる運動だということがわかり、嫌いという気持ちから好きまではいかないけれど少し好きという気持ちになりました。

① 今日の授業のタイトルをつけよう！	② 今日の授業のタイトルをつけよう！	③ 今日の授業のタイトルをつけよう！
持続可能なジョギング 1月17日(水)	かけひきに挑戦！ 1月18日(木)	チームで協力合戦 1月25日(木)
今日1番大切だと思ったことを記入しよう！	今日1番大切だと思ったことを記入しよう！	今日1番大切だと思ったことを記入しよう！
いちばん大切だと思ったことは同じペースで走り続ける持久力も大切だけれど、最初はゆっくりぐらいのペースで走る事です。同じペースですと走り、ラップタイムで同じぐらいのタイムを叩き出すことはずっと同じペースで走るという目標を達成できるけれど、歩かずに走り続けるためには、私は、最初に自分のペースよりも落として最後でしんどくならないようにするために体力を温存することが大切だと思います。なので、持続できるように最初の方はペースを少し落として走ろうと思います。	今日はかけひき走をして、かけひき走の中で一番大切なこと作戦を練る事です。今日かけひき走をする前に自分の中で1番になる作戦を立てました。その作戦が良かったかと言うとそこまで良いというわけでもなくて、長い直線で抜かすことを意識しすぎて、短い直線の距離をあまり活用できていなかったと思います。私たちのグループ以外の人のかけひきを見ると、短い直線を活用して抜かすことができないのでゆっくりと走ってその後猛ダッシュをするような形を取っていたので作戦を立てるときに抜かせなかったり猛ダッシュが得意なゾーンがあったらうまく活用できるようにしようと思います。	今日はバシュート走を行って思ったことは、バシュート走は順番が大切だということです。今日、私達のチームは1番でゴールをすることができました。その一位になれた理由は、私は途中で順位を一気に上げたからだだと思います。今回は、1回目に走る人たちのあとの2回目です。ペースが早い人を集め、また、4回目以降でも同じぐらいのペースの人を集めて順位を保って走りました。人数を少なくすることで同じぐらいのペースの人達が集まっていることがわかっていて自分のペースで走ることができ速いペースで走ることができました。そのため、今回のように最初の方で1位になってそのまま最終的に1位になることができました。なので、チーム対抗のジョギングを行うときは順位を上げるタイミングを考慮して走る順番やメンバーを考えたいと思います。
自己評価(記述内容) S <b>A</b> B C	自己評価(記述内容) S <b>A</b> B C	自己評価(記述内容) S <b>A</b> B C
教師からの評価 S <b>A</b> B C	教師からの評価 S <b>A</b> B C	教師からの評価 S <b>A</b> B C

④ 今日の授業のタイトルをつけよう！	⑤ 今日の授業のタイトルをつけよう！	⑥ 今日の授業のタイトルをつけよう！
シャトルランの応用版 1月31日(水)	中学記録に挑戦！ 2月1日(木)	1000mのリベンジ 2月7日(水)
今日1番大切だと思ったことを記入しよう！	今日1番大切だと思ったことを記入しよう！	今日1番大切だと思ったことを記入しよう！
今日はチャレンジ走を行って、改善したいと思った部分がありました。それは、最初の1回目と2回目のペース配分です。私の今回のチャレンジ走の作戦は、最初の方では早く走って余った時間で休憩をすることは繰り返して最後の1分で残しておいた体力を使って2〜3往復を走って点を稼ぐという作戦でした。しかし、最初の1回目と2回目30秒が意外と短いことを実感し、思っているよりも早めに走らないと間に合わないかわかりました。作戦を立てる中で自分でタイマーで30秒を測ってどのぐらいのペースで走ると大丈夫かを確認して、どこでペースを上げるのか、ゆっくり走って最後の1分間の体力を残すか、休憩を入れるのかを考えておけばよかったなと思います。しかし、良かった点は途中で休憩を入れて最後の1分間で全力を出し切り25周をすることができたので、これからは、もっとペース配分に気をつけていかなければいけないと思います。	今日は3000mの中学記録に挑戦して、ここでも大事だと思ったことはペース配分です。私は今回は9走目で2周走りました。リレーの状況的に私達のチームは8走目でもう中学記録は過ぎそうになっていました。その時に、タイムを縮めるために一周目でだいぶペースを上げて100m走で走るスピードよりも少し遅めで走りました。しかし、私は2周目の半歩ぐらいに行っただけで体力が限界に近づいていてあるきたいと思うまですんどくなっていました。よく考えると、最初の方でスピードを早くして最後の方でへたへたになっていたら最初から同じペースでゆっくり走って走っていたほうが良かったなと思います。そうしたほうが、記録に近づけることはかなり難しいけれど、持続力を鍛えて自分のしんどさをやわらげられると思いました。	今日は1000mをもう一度走ってタイム計測をしました。走ったときのタイムは私は10秒ちょっと伸びていて、もう少し伸ばせたなと思っています。走っているときに注意をしたことは、1周目でスピードを上げ、2,3,4週目だんだんスピードを落としていき最後の5周目に2周目ぐらいのペースでタイムを上げるという順番をきっちりと実行するという事です。前の1000m走では、同じペースで走って歩かないということを目指していましたが、今回はステップを上げてタイムを縮めるために自分の体力にあったペース配分にしながら歩かないようにしました。しかし、私的には前回は前回とあまり変わってなかったため、もう少しペースを全体的に上げて同じ時間の使い方をしたらもしかしたら20秒ぐらいは縮められたと思います。
自己評価(記述内容) S <b>A</b> B C	自己評価(記述内容) S <b>A</b> B C	自己評価(記述内容) S <b>A</b> B C
教師からの評価 S <b>A</b> B C	教師からの評価 S <b>A</b> B C	教師からの評価 S <b>A</b> B C

# 実践報告 長距離走（ランニング・ジョギング）

① 今日の授業のタイトルをつけよう！		② 今日の授業のタイトルをつけよう！		③ 今日の授業のタイトルをつけよう！	
思いっきり走ってみる。 1月17日( )		駆け引き走で作戦を練る。 1月18日(木)		パシュート走 1月25日(火)	
今日一番大切だと思ったことを記入しよう！		今日一番大切だと思ったことを記入しよう！		今日一番大切だと思ったことを記入しよう！	
<p>私は1、2周目では体力温存のためにゆっくり走ったつもりでしたが、3、4周目でとても疲れていることに気が付きました。ですが5周目はラストスパートをかけ、自分の納得の行く走りができたと思います。ここから、私は対六温存をするならもうすこしおそくしようとおもいます。</p>		<p>かけ引き走で私は最後の方に追い抜かすという作戦を練りました。ですが皆も同じ作戦にしていたので、あまり追い抜かすことができませんでした。また最初からとばしていた人たちはもう追いつかないところまで行っていたので、最初に飛ばしていくという作戦のほうが良いのかなと思いました。ですが体力があまりないので体力をつけるべきだと考えました。</p>		<p>今回私たちの班は4分54秒で最後にゴールしました。私はパシュート走で2、4、5周目を走りました。今日はとても走ったので、体が動くように、準備運動を取らずに走れました。遅れず走ってしまっただけで、一回パシュート走は一人一頭置き、最後まで走れるよ</p>	
自己評価(記述内容)	S (A) B C	自己評価(記述内容)	S A B C	自己評価(記述内容)	S A B C
教師からの評価	S A B C	教師からの評価	S A B C	教師からの評価	S A B C
④ 今日の授業のタイトルをつけよう！		⑤ 今日の授業のタイトルをつけよう！		⑥ 今日の授業のタイトルをつけよう！	
チャレンジペース走 1月31日(水)		中学記録に挑戦しよう！ 2月1日(木)		自分の成長の確認 2月7日(水)	
今日一番大切だと思ったことを記入しよう！		今日一番大切だと思ったことを記入しよう！		今日一番大切だと思ったことを記入しよう！	
<p>今回私は一番短い40mにしました。理由は、最後にラストスパートをかけるためです。これまでの授業で、気合だけではできなくて、体力の壁にぶつかっていました。これらの経験から、ルールを全うするために、40mを選びました。結果は最初の八往復は走り切ることができました。またラストスパートでは、一番短い40メートルにしたのだから、意地を張り、2周走ることができました。今回目標を達成できたので成長していると感じました。</p>		<p>私は小学校6年生の時、100m走が20秒以上ありました。なので中学生1年生の3000mの最高記録を聞いた時本当に驚きました。男子で8分50秒52、女子で9分22秒09でした。100mで計算すると、男子は17秒6、女子は18秒7です。これは私にとって猛ダッシュでも追いつかないようなスピードです。なので今回の目標は「全速力で走ってどれだけついていけるかを試してみる」ことにしました。結果は途中から足が重くなってきたけれど根性を出して、猛ダッシュで走りきりました。ですが、あまり早くありませんでした。そしてチームのタイムは10分17秒でした。今回わかったことは、チームで走っても女子のタイムにも追いつかないくらい中学記録に乗るような人は速いことが分かりました。またこのような人たちは才能だけでなくとても努力をしているのだと思います。私は運動はあまり得意ではないので、他の教科で努力してすごいと思って、頑張ろうと思ってもらえるように慣れたら良いと思います。</p>		<p>今回の私の目標は、①基礎を固めたフォームで走ること、②途中でバテずに最後まで走り切れるようにペース配分すること、③自己タイムも上げるという3つです。①の理由は、正しいフォームは見た目も綺麗だし、走ることに少し楽なところにいるからです。②は私にとって最大の課題で、体力の少なさが原因で色々計画していたことが試せなかったり、途中で体力切れを起こし、何回もひどい状態になったことがあるからです。走りたい気持ちがあっても体力の限界がくるとうとう走りきれず、途中でバテてしまったり、一生懸命走り続けたので努力した結果が数字に表れてほしいという願望です。私はペアの人と話し合い、先走ることにしました。第一回目の授業で先走って予想していたよりもいい順位でゴールできたので、今回もそうなりたいと思い先走らせてもらいました。先走ったほうが考えすぎて失敗する確率も下がります。走り始めるまでは、フォームとかタイムとか色々気にしていましたが、走り始める途中バテたくない、ペース配分、ペース配分、ペース配分ということばかり考えていました。結果は第一回目よりタイムが落ちてしまいました。原因は、途中でバテることばかりで、体力を削ってしまったことです。もっと最後まで体力を使い切って走りたかった、悔いの残る結果でした。でも、これまでの目標は達成したという喜びから、ダメでも悔いという気持ちがなかった。この悔い、これが成長の足音なのかなと思いました。</p>	
自己評価(記述内容)	S (A) B C	自己評価(記述内容)	S (A) B C	自己評価(記述内容)	S (A) B C
教師からの評価	S A B C	教師からの評価	S A B C	教師からの評価	S A B C

1000計測の日  
他者と比較しない  
自己記録更新を  
目的

# 実践報告 長距離走（ランニング・ジョギング）

## 冬休み課題のニコニコペース走 振り返り

安静時の脈	
10秒	60秒
回	回

1年 組 番

( )

1回目				
実施日	令和 年 月 日 ( )	時頃		
場所	誰と		実施直後の脈拍 (10秒計測→60秒で60秒で出す)	回
振り返り				

2回目				
実施日	令和 年 月 日 ( )	時頃		
場所	誰と		実施直後の脈拍 (10秒計測→60秒で60秒で出す)	回
振り返り				

3回目				
実施日	令和 年 月 日 ( )	時頃		
場所	誰と		実施直後の脈拍 (10秒計測→60秒で60秒で出す)	回
振り返り				

- \*資料のニコニコペース走を参考に実施してください。
- \*家族と走ってみるのもあり！誘って走ろう！
- \*体調優先で実施しよう！

冬休み  
「体力づくり」  
「家族との時間」

# 実践報告 長距離走 (ランニング・ジョギング)

小学校の時の  
友達

2回目				
実施日	令和 5 年 12 月 24 日 ( 日 ) 12 時頃			
場所	猪名川河川敷	誰と	母と	実施直後の脈拍 (10秒計測→6倍で60秒で出す) 126 回
振り返り	私は今回のニコニコペース走で前回よりも5分増やして10分間走りました。走る前は、今まで10分間もずっと走り続けたことがなかったので7分ぐらいで歩いてしまうだろうなと思っていました。しかし、実際に同じペースでずっと走り、あえて早くせずに走ると10分は余裕で走ることができました。なので、長距離を走るときに大切なことは私が今回つかんだように10分~15分程度をずっと歩かずに走りきれのペースを知っておくことと、体のフォームを使って一点だけに力がかからないようにすることが大切だとわかりました。なので、残りの一回や授業でいっぴのペースでずっと走れるように練習をしようと思います。今回のニコニコペース層では心拍数が前回よりも低かったの走ること慣れて、体力がついたのかなと思います。			

一人で

部活の先輩

2回目				
実施日	令和 5 年 12 月 27 日 ( 水 ) 10 時頃			
場所	長尾台ふれあい公園	誰と	祖父	実施直後の脈拍 (10秒計測→6倍で60秒で出す) 138 回
振り返り	速歩きより少し早いペースで走った・5分52秒 脈拍が昨日より結構落ち着いた。昨日と今日の走りを比べて一番思ったことは、「今日の方が息切れもほとんどせずちょうど良かった」です。走り始めた最初はだいぶおそいかなと思っていただけ、息切れもほとんどせず、昨日よりかは成長したと思います。脈拍が110~120の間に収まっていないけれど、自分的には楽に走れたのでこのペースが自分のニコニコペースだと思いました。明日は、今日と同じペースで走って本当にこのペースでいいのかを試したいです。また、できるだけ同じペースで走れるようにしたいです。			

きょうだい

# 実践報告 長距離走（ランニング・ジョギング）

配布資料⑥

## 陸上競技（長距離走）～ジョギング・ランニング⇒生涯スポーツ～

### ●1500mの記録

1500m	男子	女子
世界	ヒシャム・エルゲルージ 3分26秒00⇒100m (13.7秒) のペース	フェイス・キビエゴン 3分49秒11⇒100m (15.2秒) のペース
日本	河村 一輝 3分35秒42	田中 裕実 3分59秒19
中学	川口 峻太郎 3分49秒02	福田 有以 4分19秒46

### ●ランニングフォーム（ランニングエコノミー）

ランニングエコノミーとは・・・

走動作の合理性を評価する指標。「走の経済性」と言われている。同じスピードで走っていても、酸素消費量が多ければ、動きのどこかに「無駄」があるということ。つまり「エコ」な「ランニング」をすることでより「速く」、「長く」走る事ができる。ランニングエコノミーは「バイオメカニクスから見た長距離走」とも言える。それに基づいて技能は以下の観点で評価する。

\*実際には●つのカテゴリーから成り立ち、15個の評価項目がある。

カテゴリー	ポイント (C (技能))	配点 (8点)
姿勢	後方への肘引き&リズム (下記図①)	3点
足の動き	接地時に前方スイング脚が腰の真下に乗り込む (下記図②) 接地時に左右の太ももが交差する (下記図②)	3点
呼吸	背筋が伸びている (下記図参照)	2点
その他	前後左右にブレしていない	



### ●授業のポイント

タイム計測は「班分け」や「成果」を確認するために実施する予定だが評価には含まれない。今回の目的は長距離走（ジョギング・ランニング）のイメージを変え、生涯スポーツの繋げること。



### ●練習方法

ジョギング

LSD  
(ロングスローディスタンス)  
ゆっくり〜り長く

ペース走  
一定のペースを維持する

ビルドアップ走  
徐々にペースUP

インターバル

高強度かつ短い休息を挟んで行う。例えば目標とするタイムやペースを設定し、そのタイムで200mを5本程度行う。休息は1〜2分で歩くかジョギングで過ごす。設定タイムや走行距離、休憩時間を工夫する。

レペティション

実際の距離または距離を短縮して、高強度で実施し、短い休息（10〜15分。長い場合は3分）を挟み、数セット走る。

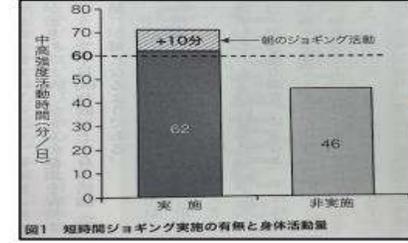
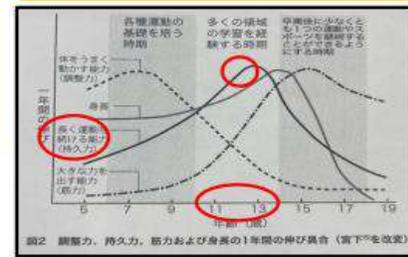
### 基礎作り

### スピード&持久力

### スピード

\*上記以外にも最大速度を上げるために短距離走の練習等を取り入れる場合もある。いずれにせよ、すべてにおいてフォームを意識する。

### ●図・表から読み取れることは何だろう？



短時間（10分間）のジョギングがその活動以外の「1日の身体活動」に影響すると言われている。下校後の身体活動量も高まる（積極的に体を動かすようになる）。つまり、スタミナ（体力）を中心とした様々な運動能力の向上が期待できる！また、学習成績が向上した報告もあり。

練習計画を立てる際のヒント（思考判断表現）

走ることのメリット（意欲を引き出す主体的）

フォームポイント（知識・技能）

●もしものために ～どの種目にも該当～



P79～83を  
読んでおくこと



AEDの場所

- 1 下足ホール
- 2 食堂横自販機
- 3 事務室付近
- 4 体育館2階

**\*マスクを外して走りましょう！**

●授業で取り扱う内容やゲーム（ルール変更あり）

## ニコニコペース走（10分間）

### ◆目的

自己に合った（タイム向上に向けたではなく無理なく走れる）ペースをつかみ、走る。

→最終的に「タイム短縮（成績には含まない）」や「よりよいフォーム」になれば◎

### ◆方法

・表（主観的運動強度）を活用し、

「自分なりのニコニコペース」を探る。

- ① じっとしている時を「6」とする。  
非常にきついを「20」とする。
- ② 走り終わった後（10分間（5分でもOK）  
自分なりのニコニコペース）に脈（首や手首：  
計測練習を事前にしておくこと）を10秒間  
計測し、6倍する。（1分間脈拍を計測）  
1分間の心拍数が110～120辺りを探ろう！

主観的運動強度（RPE）

20	
19	非常にきつい (Very, very hard)
18	
17	かなりきつい (Very hard)
16	
15	きつい (Hard)
14	
13	ややきつい (Somewhat hard)
12	
11	楽である (Fairly light)
10	
9	かなり楽である (Very light)
8	
7	非常に楽である (Very, very light)
6	

## パシュート走（スケート種目のパシュート）

◆目的 集団的達成を味わおう！

### ◆方法

- ① 男女混合（5～6人を予定）
- ② 1周200mのトラックを使用し、1000m・2000mの距離で設定。
- ③ 最終ランナーがゴールした時間がそのグループの記録になる。
- ④ 常に3人が固まって走る。3人の距離は10m以上離れてはいけない。交代のタイミングはチームで決めるが、交代の場所はスタート付近とする。
- ⑤ 走る距離によって最低周回数（1000mの場合は一人3周、2000mの時は一人5週以上）を設け、必ず全員がクリアしなければならない。

## かけひき走

◆目的 タイムを狙うだけが陸上競技ではない！長距離走には「かけひき」がある！それを体験！

### ◆方法

- ① 似たようなタイムで班を組む（人数は未定）
  - ② 1周200mのトラックを使用し、コーナーはジョギング程度の速さで走る。この時は抜かすことができない。コーナーのみ抜かすことができる。
  - ③ 計3周走り、順位を決定する。
- \*時間があればYouTube等で世界陸上の5000mや10000mの動画を見てください。「かけひき」の意味が理解できると思います。

## チャレンジペース走

### ◆行い方

- ① 同スタート地点から折り返し地点を往復する5分間の持久走。
- ② 30秒ごとに1往復する。はじめの4分間（8往復）はペースを保ったまま走り続ける。ラスト1分、つまり4分経過後は「ラストスパートタイム」とし、残った力を発揮できるようにする。
- ③ 折り返し地点の「チャレンジ距離」は学習者のレベルにあわせて選択させる。5分間の走行距離を伸ばしていくことが課題。  
※片道分をチャレンジ距離とし、40～50m前後のコースを用意。

### ◆ポイント制

- ① 1人のチャレンジを「ベースポイント」「距離ポイント」「スパートポイント」のポイント制とする（個人得点は、3つのポイント合計）
- ② 無謀な挑戦をしないための「ベースポイント」
- ③ 走れる距離を伸ばすための「距離ポイント」
- ④ より自己の限界に挑戦していけるための「スパートポイント」

### ◆チーム対抗戦

チーム対抗戦（個人運動の集団化）を導入し、3人のポイントの合計を他チームと競う。

### ◆チーム編成およびチーム内の役割

- ① 3人で1チーム  
+クラスの人数によって2人のチームもできる。チーム得点は2人のポイントの合計×15で計算する。
- ② 第1時の5分間走の結果を元に、力の接近した3人でチーム編成を行う。
- ③ 走者・記録者・折り返し者の役割に分かれる。各チーム1人ずつ走る。
- ④ 走者・・・各自のスタート地点から走る。
- ⑤ 記録者・・・スタート地点において、ペースとラストスパートの距離を記録する。折り返しのタッチをしたり、声（技術的なこと、ペース、動かし）をかけたりする。
- ⑥ 折り返し者・・・折り返し地点において、折り返しのタッチをしたり、声をかけたりする。ストップウォッチを持ち、経過時間を走者に知らせる。



## 中学記録に挑戦しよう！

◆目的 みんなと同世代の選手のスピード感を知る・体感する・挑戦する

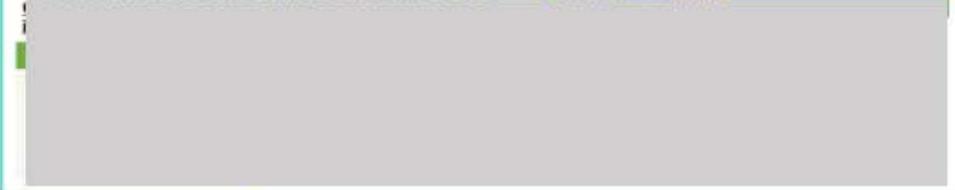
### ◆方法

- ① リレー形式（人数は未定）で行う。
- ② どれだけ「3000m」の記録に迫れるか挑戦。

性別・学年	男子	女子	2年男子	2年女子	1年男子	1年女子
	中学記録	中学最高	中学最高	中学最高	中学最高	中学最高
記録	8分11秒12	9分10秒18	8分30秒72	9分22秒00	8分50秒52	9分22秒09
100m換算	16秒3	18秒3	17秒	18秒7	17秒6	18秒7

## 競歩体験を使用！

走るのではなく、歩く速さを競う競歩。  
競歩者は両足が同時に地面から離れてはならない。



### ●評価について

- ① 総括シート（D ii iii）
- ② OPPシート（D i）＊毎回の振り返りの充実度
- ③ フォーム動画（ランニングエコノミー意識）（C 技能）**予定**  
以上の3点です。

＊提出BOXを3つ作る予定です。提出場所を間違えないように！

# 実践報告 長距離走 (ランニング・ジョギング)

配布資料⑨⑩

紙媒体 ICTとの使い分け

年度 陸上競技 (長距離走) A組01番 = 101

年 組 番 ( )

① 1000 m

月 日 ( )

記録者

通過時間	ラップタイム
1	
2	
3	
4	
5	

記録 分 秒

自己評価 A B C

1周の平均 [ ] 秒

ペース 早見表

1000m						
3分00秒	36秒	4分00秒	48秒	5分00秒	1分00秒	1分12秒
3分10秒	38秒	4分10秒	50秒	5分10秒	1分02秒	1分14秒
3分20秒	40秒	4分20秒	52秒	5分20秒	1分04秒	1分16秒
3分30秒	42秒	4分30秒	54秒	5分30秒	1分06秒	1分18秒
3分40秒	44秒	4分40秒	56秒	5分40秒	1分08秒	1分20秒
3分50秒	46秒	4分50秒	58秒	5分50秒	1分10秒	1分22秒

② 1000 m

月 日 ( )

記録者

目標 分 秒

通過時間	ラップタイム
1	
2	
3	
4	
5	

記録 分 秒

自己評価 A B C

限界突破	限界寸前	きてる	結構きてる	まあまあ
196~205	181~195	166~180	156~165	141~155

ちよつと まだ余裕 余裕 まだまだ

131~140	116~130	104~115	105

脈拍 (安静時)

10秒	60秒

① 1000 m

月 日 ( )

記録者

目標 分 秒

通過時間	ラップタイム
1	
2	
3	
4	
5	

記録 分 秒

自己評価 A B C

1周の平均 [ ] 秒

ペース 早見表

1000m						
3分00秒	36秒	4分00秒	48秒	5分00秒	1分00秒	1分12秒
3分10秒	38秒	4分10秒	50秒	5分10秒	1分02秒	1分14秒
3分20秒	40秒	4分20秒	52秒	5分20秒	1分04秒	1分16秒
3分30秒	42秒	4分30秒	54秒	5分30秒	1分06秒	1分18秒
3分40秒	44秒	4分40秒	56秒	5分40秒	1分08秒	1分20秒
3分50秒	46秒	4分50秒	58秒	5分50秒	1分10秒	1分22秒

① 1000 m

月 日 ( )

記録者

目標 分 秒

通過時間	ラップタイム
1	
2	
3	
4	
5	

記録 分 秒

自己評価 A B C

1周の平均 [ ] 秒

ペース 早見表

1000m						
3分00秒	36秒	4分00秒	48秒	5分00秒	1分00秒	1分12秒
3分10秒	38秒	4分10秒	50秒	5分10秒	1分02秒	1分14秒
3分20秒	40秒	4分20秒	52秒	5分20秒	1分04秒	1分16秒
3分30秒	42秒	4分30秒	54秒	5分30秒	1分06秒	1分18秒
3分40秒	44秒	4分40秒	56秒	5分40秒	1分08秒	1分20秒
3分50秒	46秒	4分50秒	58秒	5分50秒	1分10秒	1分22秒

年度 陸上競技 (長距離走) A組01番 = 101

年 組 番 ( )

① 1000 m

月 日 ( )

記録者

目標 分 秒

通過時間	ラップタイム
1	
2	
3	
4	
5	

記録 分 秒

自己評価 A B C

1周の平均 [ ] 秒

ペース 早見表

1000m						
3分00秒	36秒	4分00秒	48秒	5分00秒	1分00秒	1分12秒
3分10秒	38秒	4分10秒	50秒	5分10秒	1分02秒	1分14秒
3分20秒	40秒	4分20秒	52秒	5分20秒	1分04秒	1分16秒
3分30秒	42秒	4分30秒	54秒	5分30秒	1分06秒	1分18秒
3分40秒	44秒	4分40秒	56秒	5分40秒	1分08秒	1分20秒
3分50秒	46秒	4分50秒	58秒	5分50秒	1分10秒	1分22秒

② 1000 m

月 日 ( )

記録者

目標 分 秒

通過時間	ラップタイム
1	
2	
3	
4	
5	

記録 分 秒

自己評価 A B C

限界突破	限界寸前	きてる	結構きてる	まあまあ
196~205	181~195	166~180	156~165	141~155

ちよつと まだ余裕 余裕 まだまだ

131~140	116~130	104~115	105

脈拍 (安静時)

10秒	60秒

年度 陸上競技 (長距離走) A組01番 = 101

年 組 番 ( )

① 1000 m

月 日 ( )

記録者

目標 分 秒

通過時間	ラップタイム
1	
2	
3	
4	
5	

記録 分 秒

自己評価 A B C

1周の平均 [ ] 秒

ペース 早見表

1000m						
3分00秒	36秒	4分00秒	48秒	5分00秒	1分00秒	1分12秒
3分10秒	38秒	4分10秒	50秒	5分10秒	1分02秒	1分14秒
3分20秒	40秒	4分20秒	52秒	5分20秒	1分04秒	1分16秒
3分30秒	42秒	4分30秒	54秒	5分30秒	1分06秒	1分18秒
3分40秒	44秒	4分40秒	56秒	5分40秒	1分08秒	1分20秒
3分50秒	46秒	4分50秒	58秒	5分50秒	1分10秒	1分22秒

② 1000 m

月 日 ( )

記録者

目標 分 秒

通過時間	ラップタイム
1	
2	
3	
4	
5	

記録 分 秒

自己評価 A B C

限界突破	限界寸前	きてる	結構きてる	まあまあ
196~205	181~195	166~180	156~165	141~155

ちよつと まだ余裕 余裕 まだまだ

131~140	116~130	104~115	105

脈拍 (安静時)

10秒	60秒

**単元** 陸上競技:長距離走<ジョギング・ランニング>

**場の設定**

場の設定  
交代  
SG

**パシユート走**

チャレンジペース走  
中学記録挑戦  
かけひき走

**ペース表**

**一般ランナー**

健康  
自己ペース  
タイム  
気軽に(1人で)走る

**中学生**

ただただ走る  
タイム重視  
強判...

**ルール**

① 5~6人<1班>  
② チームで1000m<1人、3回<速く走るよ...>  
③ 常に3~4人で走る  
× 10m以上離れたら×  
④ 「かけ引き走」の発展

**シンキングツール**

**感情の変容**

**ランニングエコノミー**

技能

**GRA  
SPS**

**一般ランナーと中学生の違い**

**ルール等**

0

1

2

3

4

5

6

7

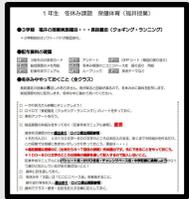
8

9

# パフォーマンス課題に向けたアプローチ（仕掛け）

冬休み🍷

1000m  
タイム計測



チーム分け

パシュート走

かけひき走

チャレンジ  
ペース走

チーム  
シャトルラン

中学記録  
挑戦会

1000m  
タイム計測

教室  
パフォーマンス  
課題

陸上競技（長距離走）～ジョギング・ランニング～ 生理スポーツ～ メモ用

★総合課題を「計画・作戦」するのではありませんか！

ロパシュート走（個人）  
Q. あなたはどの様な作戦を立てましたか？理由も添えて残しておこう！

ロかけひき走（個人）  
Q. あなたはどの様な作戦を立てましたか？理由も添えて残しておこう！

ロチャレンジペース走（チーム）  
Q. あなたは又はチームはどの様な作戦を立てましたか？理由も添えて残しておこう！

ロ中学記録に挑戦しよう（チーム）  
Q. あなたは又はチームはどの様な作戦を立てましたか？理由も添えて残しておこう！

OPPシートで  
振り返り

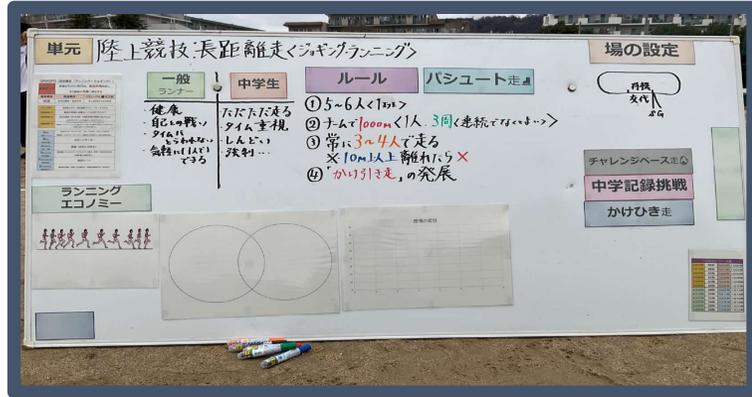
パフォーマンス課題

パフォーマンス課題を作成

OPPシート・配布資料を活用

毎回  
アンケート  
（感情の変容）

# 1時間の授業の流れ



各自W-UP  
ニコニコ  
ペース走

本時の  
説明

各自作戦

チームに  
伝える

チームで  
作戦を立てる

実行

振り返り

陸上競技（長距離走）～ジョギング・ランニング⇨生涯スポーツ～ メモ用

★総括課題を作成する際に使用するのだからしっかりメモを残しておこう！

ロバシユート走（チーム）  
Q、あなたは又はチームはどのような作戦を立てましたか？理由も含めて残しておこう！

ロかけひき走（個人）  
Q、あなたはどのような作戦を立てましたか？理由も含めて残しておこう！

ロチャレンジベース走（チーム）  
Q、あなたは又はチームはどのような作戦を立てましたか？理由も含めて残しておこう！

ロ中学記録に挑戦しよう（チーム）  
Q、あなたは又はチームはどのような作戦を立てましたか？理由も含めて残しておこう！

長距離走（ジョギング・ランニング） DI（毎回の振り返りの充実度） 1年 組 番（ ）

学習者の実情		学習者の実情	
月 日 ( )		月 日 ( )	
今日1番大得意だったことを記入しよう！		今日1番大得意だったことを記入しよう！	
今日1番大得意だったことを記入しよう！		今日1番大得意だったことを記入しよう！	
本日授業の感想	S A B C	本日授業の感想	S A B C
教師からの評価	S A B C	教師からの評価	S A B C
今日1番大得意だったことを記入しよう！		今日1番大得意だったことを記入しよう！	
今日1番大得意だったことを記入しよう！		今日1番大得意だったことを記入しよう！	
本日授業の感想	S A B C	本日授業の感想	S A B C
教師からの評価	S A B C	教師からの評価	S A B C
今日1番大得意だったことを記入しよう！		今日1番大得意だったことを記入しよう！	
今日1番大得意だったことを記入しよう！		今日1番大得意だったことを記入しよう！	
本日授業の感想	S A B C	本日授業の感想	S A B C
教師からの評価	S A B C	教師からの評価	S A B C

# ランニングジャーナル

## 自分の限界を突破しようぜ！

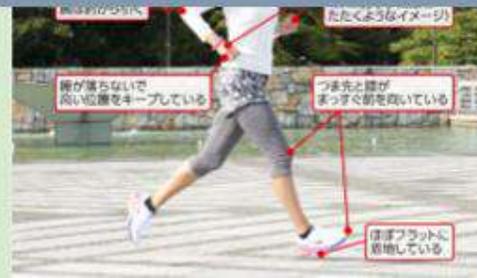
### ランニングの魅力

私が思うランニングの魅力というのは、体だけれども遊び感覚としても楽しむことができて、はじめに1000m走ったときは、「しんら意味ないじゃん」と思いついてしまっているだけで、走っているだけで疲れているだけだと気づいてしまっている。中にはあるパシュート走、かけひき走、チャレンジペース走、中が記録に挑戦しようの4つがあります。今回は、かけひき走でランニングの楽しさを紹介しようと思います。かけひき走のルールを説明したいと思います。走るところは長方形の形をしています。ルールの中に決まった距離の期間は追い越してはダメというのがあります。それは、長方形の4辺あるうちの短い2辺は並んでいる順番を固定して前の人を抜かしてはいけないということです。私のおすすめの戦略は、決まった距離のところは体力温存も兼ねてほぼ歩く形で走ります。その後、長い辺の部分はペースが自由なので、ペースアップをします。ここでは、50m走なみの速さで走っても良くて、順番を保ちたいのならば必死に走り、決まった距離に突入して、ゆっくり走ります。この流れを設定した周の数だけ繰り返すというのが私がおすすめする作戦です。

このかけひき走のおもしろみは、相手を自分が動かすことができるということです。かけひき走のルールは、自分が最初に先頭付近に積極的に立つことで後々後ろ自分の走るペース次第で全体が動かされて自分の思うままにすることができます。ルールをうまく活用して自分が有利になるような仕組みを考えていくこともこのかけひき走の面白みだと思います。

かけひき走は最低約4人いれば走っている途中で相手とどちらが勝つかの勝負ができお互いの戦略争いになるのでゲーム感覚でも楽しむことができます。ぜひ、友達や、家族、学校の体育や暇つぶしなどでも活用して楽しみながら体力をつけてみてください！

かけひき走は最低約4人いれば走っている途中で相手とどちらが勝つかの勝負ができお互いの戦略争いになるのでゲーム感覚でも楽しむことができます。ぜひ、友達や、家族、学校の体育や暇つぶしなどでも活用して楽しみながら体力をつけてみてください！



- ・走るときは、自分のペースで！！
- 走るときに良いフォーム(図1)になればOK

# —長距離走が楽しい！？

『長距離走なんて大っ嫌い。なんでか  
のどンドン追い詰められていく。  
これが「過去  
体力テストでもよく働  
体力を使うのが嫌だ、と  
しかし、コツを知ったり、  
長距離走への印象はガラッ

## 楽しくなる方法とは・・・？

「シャトルランは個人戦」と考えるから、しんどいっていうのもあると思  
います。だからみんなで力を合わせてやってみると、  
とても楽しくなると思います。  
チームでシャトルランをつなぐとはどういうことなのか。それは、  
「お互いの体力を考えながら走りを繋がえる」ということです。  
人は誰しも限界がある為、途中で息切れしたり  
しんどくなったりしてしまいます

すぐ疲れたり足が痛くなったりする長距離走。  
そんな長距離走が、私は正直苦手でした。  
しかし、今回の走りが  
私の気持ちを変える機会となったのです。  
ただただ走るだけではなく  
他の仲間と協力することで、  
達成感や仲間の大切さを感じることもできました。  
「嫌いだ」と決めつけていた私が、  
スムーズに長距離走に好感を抱けたのです。  
走っていたときよりもしんどさが減少しています。  
走前走ったときより驚かされたが、取り組み方によって  
走回私も驚かさされたが、取り組み方によって  
走ることへの意識は大幅に変化しました！！

がしんどくなったら  
の連鎖を  
ものになります。  
ことで、  
じています。  
か。

## 「バシユート走は楽しいチーム戦」

### ◎簡単ルール説明

5~6人(男女混合)で行い、常に三人が固まって走るチーム戦  
走る人の距離は10mを超えてはいけない。走者の交代場所はスタート  
一周200mのトラックを使用し、1000m・2000mの距離を設定⇒走る距離  
最終ランナーがゴールした時間がチームの記録となる

### ◎作戦・戦術

人によっては一周目の人もいて、三周目の人もいるので  
**見ながら走る**ことが大切だと思う。様子を見るために**声**  
走るのが得意な人、苦手な人がいる。順番をわきまをきいて  
三周連続で走

### ◎楽しめるポイント

チーム戦だから  
深めることが出来  
**感じる**ことが出来  
⇒チームで協力

私はこの学習を通して、大きく変化したことがあります。それが“走る時に考えること”です。初めは正直なところ走るのが苦手だったので「あー…今日も長距離走かあ、…」という

これらの実体験からもチーム戦は苦手を  
楽しくするためにピッタリだと思いました！  
このように、楽しく行えるという魅力を  
伝えたいです！  
⇒協力することが楽しむために大切！

ながら走  
たという  
ーム内で  
内で協  
そして、  
、協力

# ランニングの魅力とは

ランニングの魅力は、タイムを競す。私は最初、序盤から早いペースでしたが、何度も様々な方法でがスパートをかけるタイミングをでバテずに5秒タイムを縮めるご識があっても、自分が楽に、速ば、ランニングは楽し

長距離には色々な魅力がありますが、その中でも一番の魅力でもあり自分が一番大切にしていることは、**走ったあとに湧き上がってくる達成感**です。この達成感、嬉しさや楽しさなど、**様々な気持ちの集合体**であり、**もっと続けたい！**という意思を引き立てるものなのです。達成感が湧き上がった理由はやはり**頑張って走ったから**の一択でしょう。**走るだけで大きな達成感を得られる**のですから、魅力として一番ふさわしいものではないのでしょうか。また、その他にも、**気軽に始められる**という最大の良さもあります。**靴と水分の2つさえあれば楽しむことができる**のです。気軽に初められますから、実際にチャレンジしてみてください。

# キャッチフレーズ集（長距離走を描写しよう）

走ったあとに見える景色

駆け抜けた向こうに見える景色

～ゴール後の自分と～

～限界ってなんだろう～

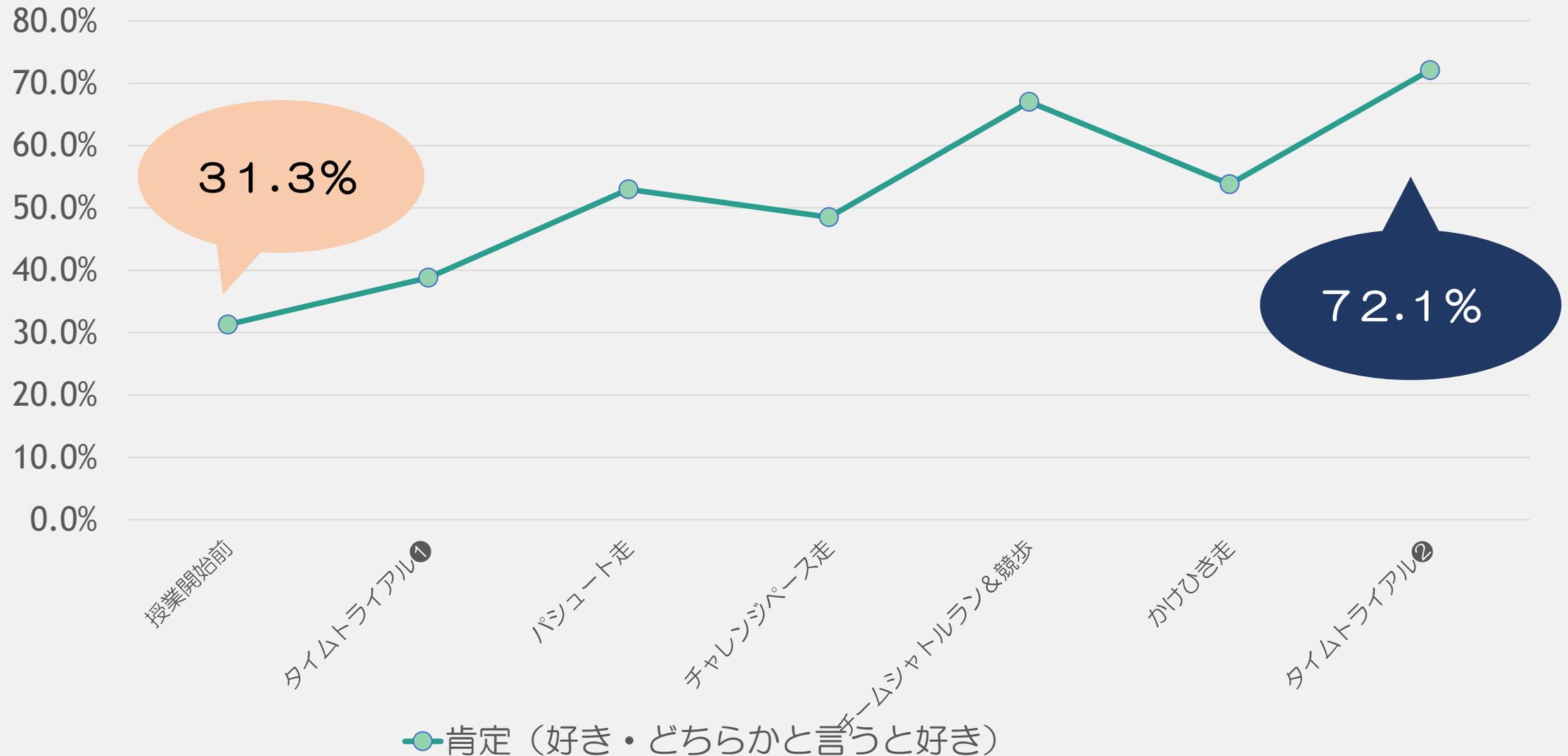
～走った距離は裏切らない～

①

長距離走を  
肯定的に捉えてほしい

# 生涯スポーツへつなげる為の裏テーマ

感情の変容 (毎授業調査)



#### 学習前の気持ち

長距離走は、すぐに疲れて、足があがらなくなって、スピードが落ちるし、体力がすぐになくなるから、正直長距離走はやりたくない。



#### 学習後の気持ち

距離が決まられていてタイムを計測する長距離走は、ただ体力が削られるだけだから、今もあまり好きではないけれど、授業で行った楽しい長距離走だと、疲れよりも楽しさが勝つから、そういう長距離走ならいいなと思う。はじめは長距離走が全般嫌いだったけれど、今回の授業を通して、長距離走は楽しく行えるものもたくさんあるということを知ることができた。

#### 学習前の気持ち

疲れながら走るのはしんどくて嫌だ



#### 学習後の気持ち

長距離走をして学習後の気持ちは、つかれるが楽しく、学校でする機会があればまたやってみたい気持ちです。なぜなら、疲れるのは嫌ですが、最初の方は記録がどんどん上がって行って、調子が良く、嬉しかったからです。また、一人で走るよりも大人数でやったほうが、自分の現在位置がわかりやすく、あとどれぐらいか視覚的にわかるからです。

#### 学習前の気持ち

自分は最近走るのがあまり得意ではないので、今回の授業で正しい走り方などを少しでも走りがうまくなることが出来たらいいと思う。



#### 学習後の気持ち

最初は走るのはしんどいのであまり行いたくなかったが、パシュート走やかけひき走などを行うことによって複数人と一緒に走るによって走ることの楽しさがわかったような気がした。ランニングはしんどいが体力もつくし他の人との心目を深めることができるので良いことばかりなので今後も自主的にランニングなどを行って行こうと思った。

#### 学習前の気持ち

やりたくない気持ちしかなかった。



#### 学習後の気持ち

学習後も長距離走が嫌いな気持ちは変わっていないけれど、学習前よりも嫌いという気持ちが無くなったように感じます。学習前は呼吸が苦しくなるからやりたくないという気持ちしかなかったけれど学習後は自分の本気を出すということや、諦めないということ意識して無理やり走っていたので嫌いの塊が吹飛びました。長距離走はしんどいけれど走ることは健康に良いことだと知り、もっと気合いを入れて走ろうと思いました。また、これからまた長距離走をする時がきたら、同じペースで最後まで走ることを意識して取り組もうと思いました。

#### 学習前の気持ち

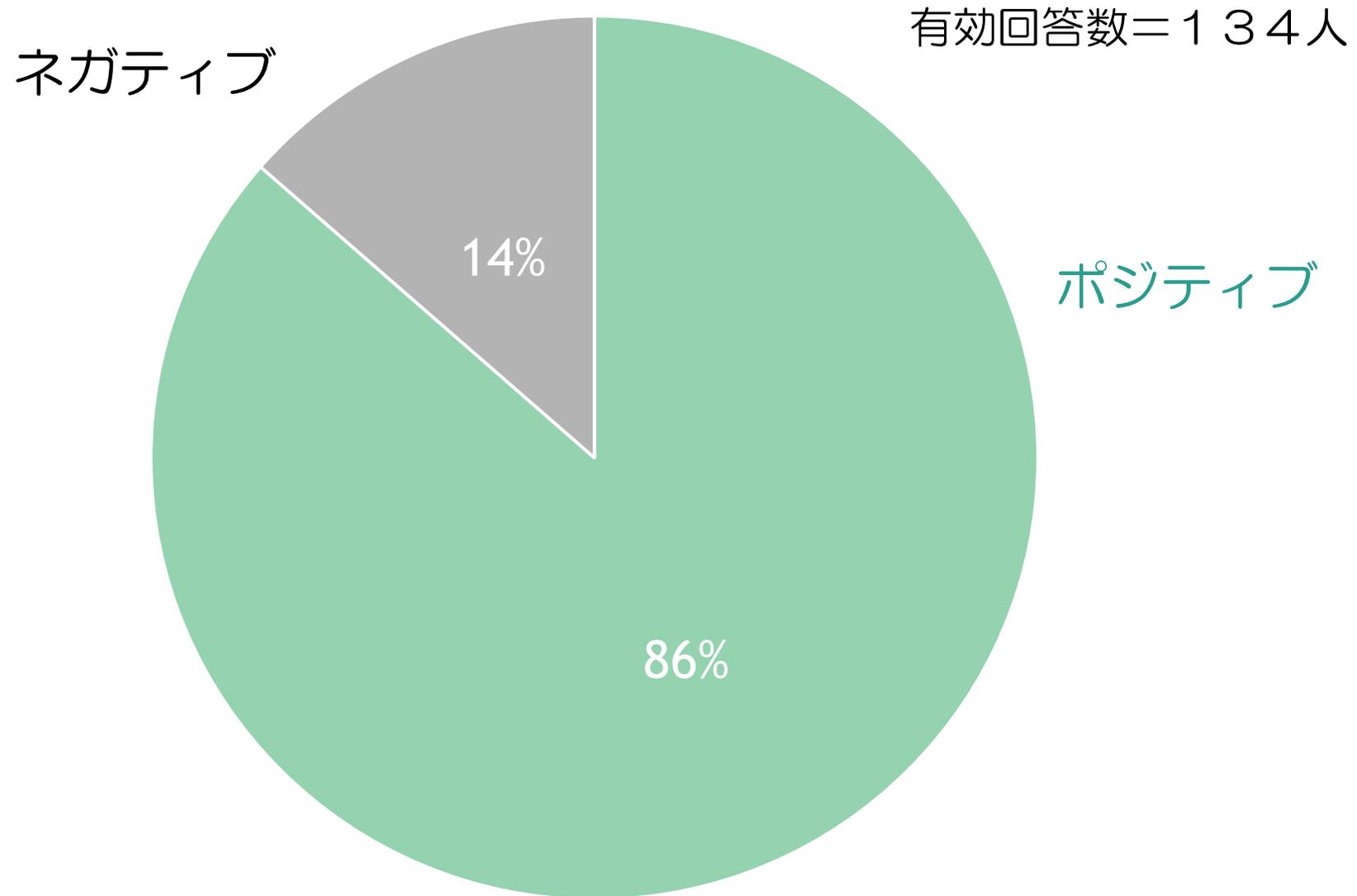
あまり好きではない、走るとしんどい。



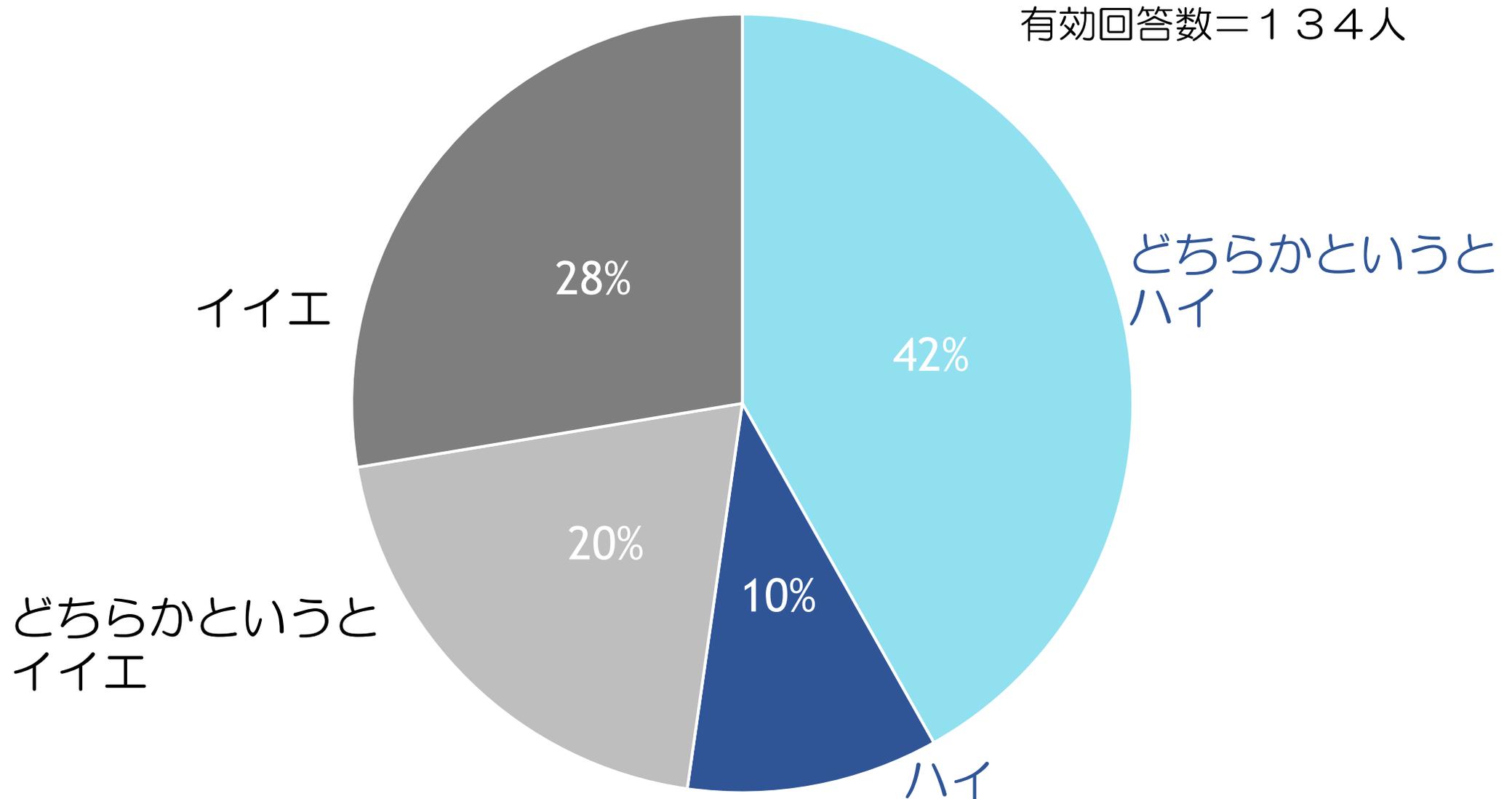
#### 学習後の気持ち

今回の学習を通して、長距離をすることで体力の向上や、頭の干ヤ干ヤの解消や、仲間とのチームワーク向上や、気持ちの切り替えなどの効果を得られることを知った。そのため、長距離走のイメージが学習前に比べて大幅に良くなった。

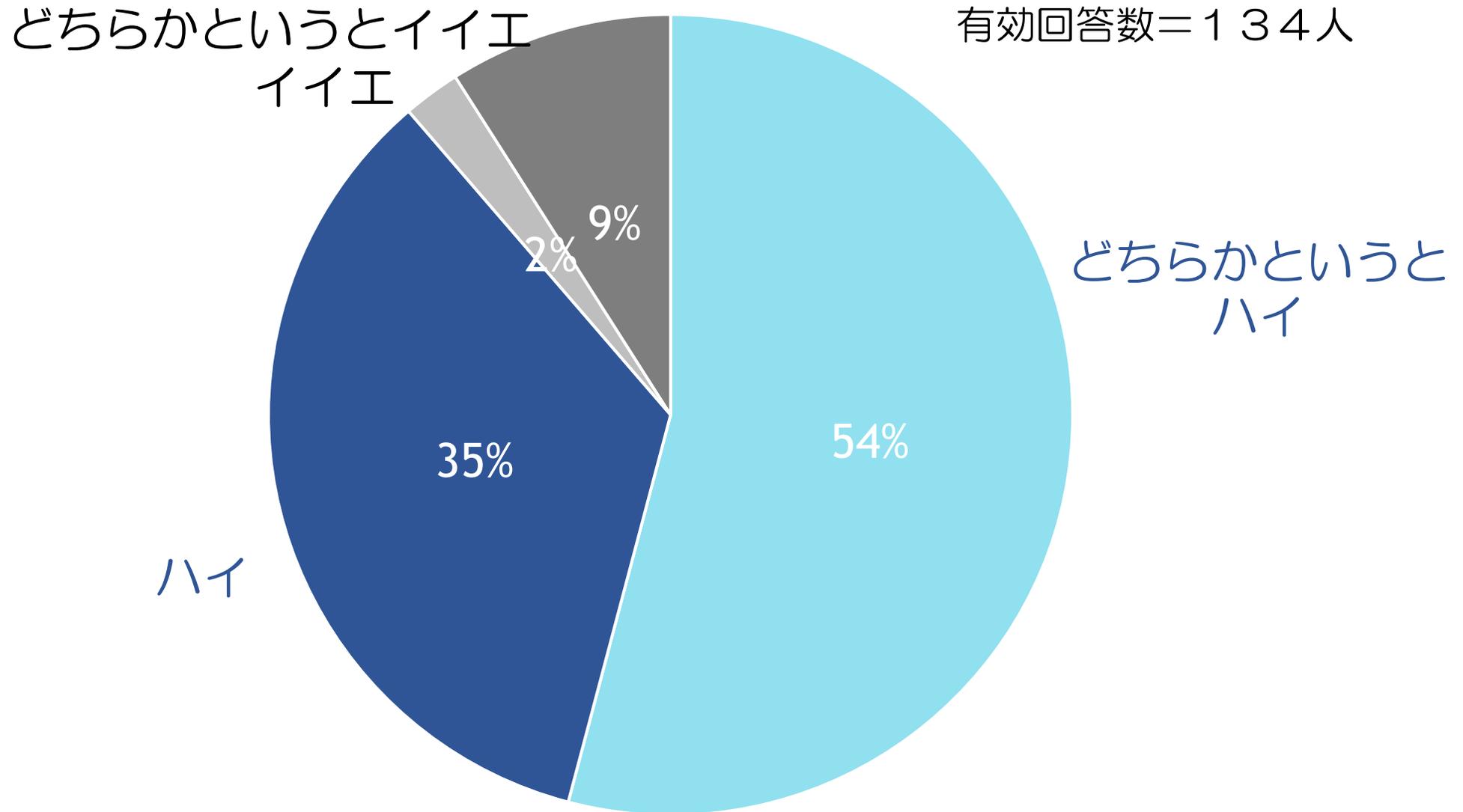
# 授業を通して変わった長距離走にイメージ



# 生涯スポーツとして長距離走（ランニング・ジョギング） をしようと思いますか？



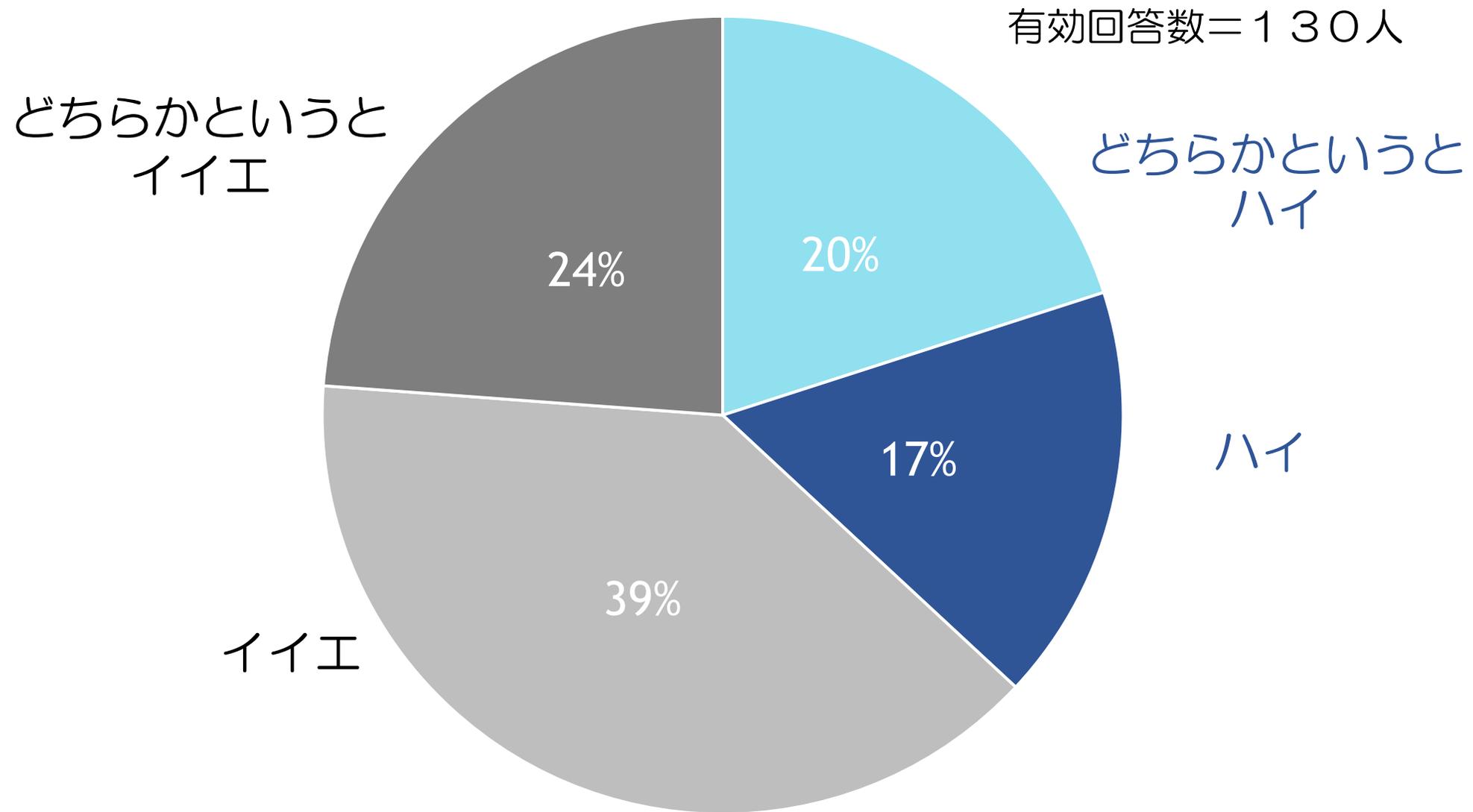
# パフォーマンス課題は長距離走の魅力を引き立てるものでしたか？



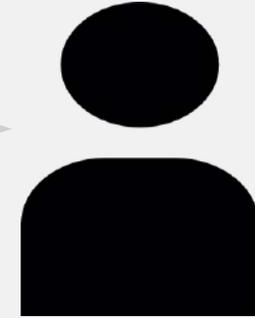
保護者

アンケート

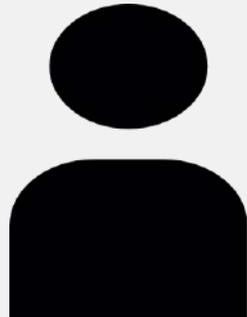
# 学生時代（中学生）、長距離走の授業は好きでしたか？



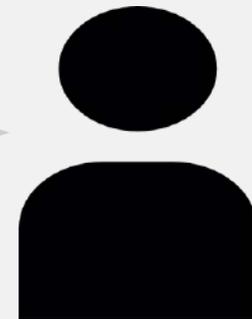
自分のペースで黙々と走るのが好きだったから



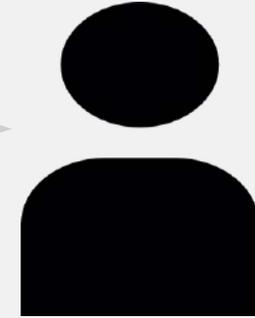
努力で速くなるから  
他の人より速かったから



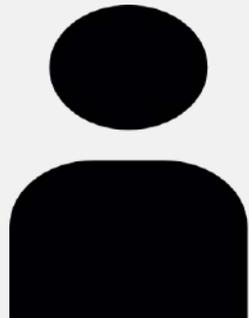
みんなと走ることが楽しかったから



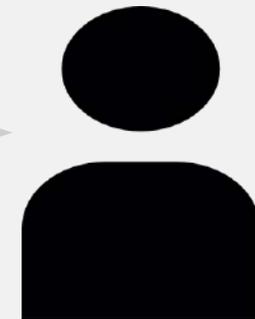
しんどいから。苦手だから。



遅いから  
タイム計測があるから



半袖・半ズボンで走らされる  
から



毎回の授業で自分が感じたことを分析することはとても良いと思います。色々な走り方をしていると聞き、走るという事に対していろいろな角度から考える事を学ぶことで、他の事に対しても活用してくれたらとても良い学びになるかと思います。

昔は学校の周りを走ったり、校内のマラソン大会があつてただただ走るような授業だったのであまり面白くもなかったが、今の授業の仕方は面白そうだと思う。特にパシュート走とかけひき走が楽しそうだと思えました。パシュート走は昔にはないようなみんなが協力するような形であり、面白いと思います。またかけひき走はその名の通り色んなところで駆け引きが行われてとても興味深いなと思えました。

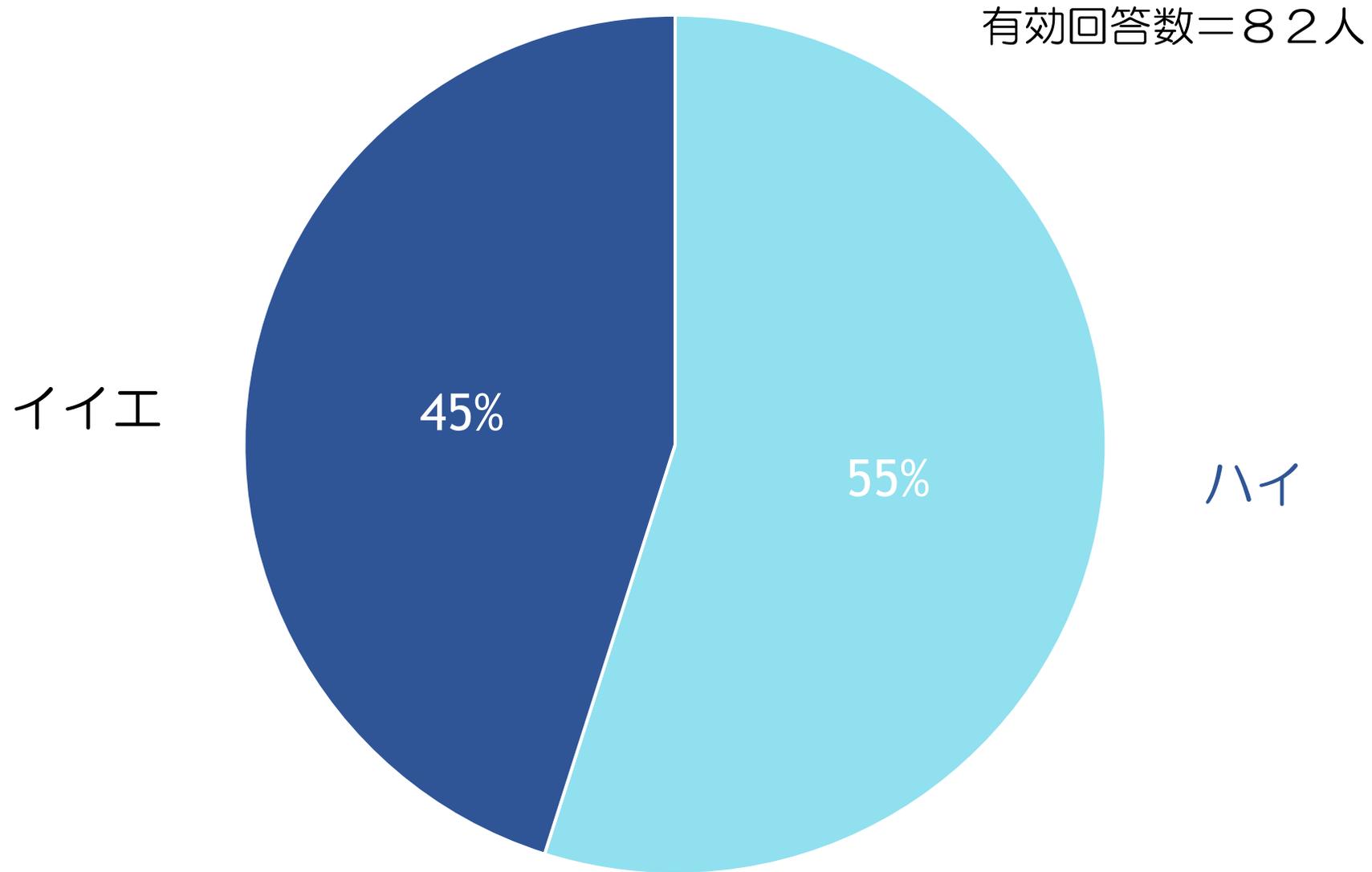
パシュート競技においては、いわゆる個人種目のような孤独感や苦痛を味わうことなく、一体感や団結力が生まれ、ラグビーで有名な"One for All, All for one"精神で、上記のような感覚が薄れ、精神的にも体力的にも高いパフォーマンスを発揮できるような気がする。

昔はただトラックをひたすら走るだけだったので、多くの種類があり感心しました。

計画を立ててみんなで、コミュニケーションを通しながら行うことが良いと思った。

チームシャトルランのように長距離走をチームで行うのは、子供からも楽しかったとよくいっていたのでとてもいいと思いました。

「嫌い・どちらかという嫌い」とお答えになった保護者のみなさまに  
お子様から授業の話を聞いて、学生時代このような授業であれば好きになれましたか？

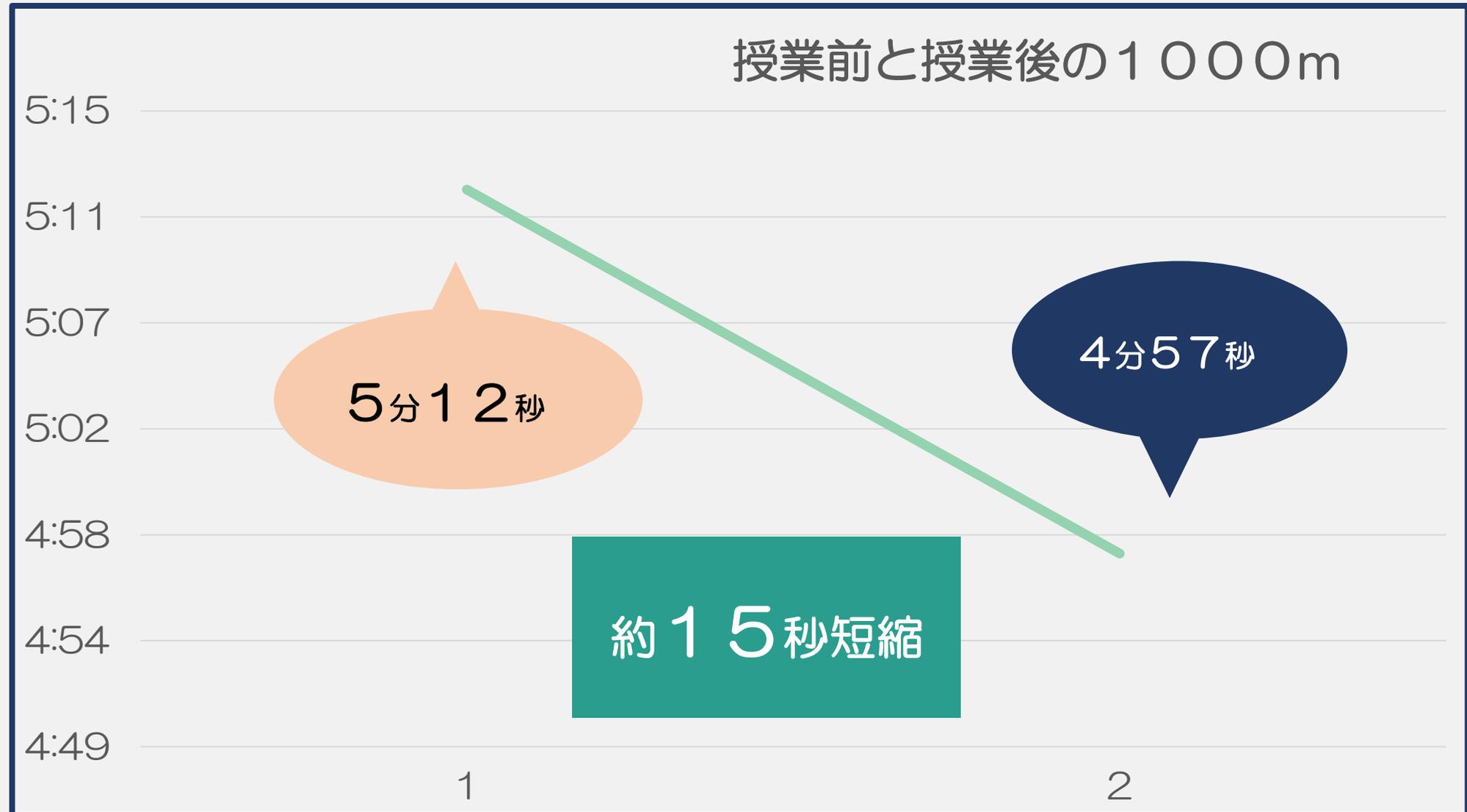


2

## タイム短縮

他者と比較しない。自己記録更新が目的

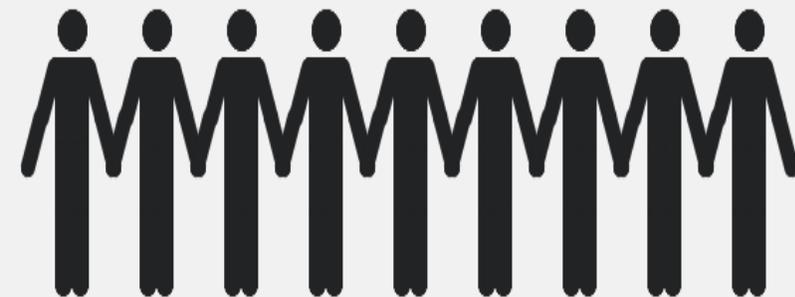
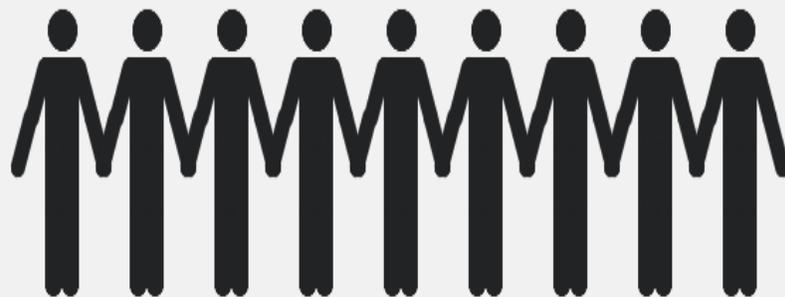
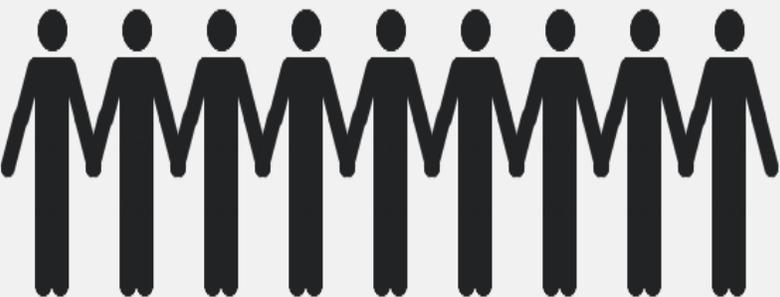
# 授業前と授業後の1000mタイム



# 上位層と中位層と下位層

速い

遅い



上位層

中位層

下位層

4分17秒 >>>> 4分13秒

約4秒短縮

5分13秒 >>>> 5分00秒

約13秒短縮

6分05秒 >>>> 5分37秒

約28秒短縮

# 授業前と授業後の1000mタイム

速くなった	99人 (86.09%)
遅くなった	15人 (13.04%)
あまり変わらない	1人 (0.87%)

# 「今回の授業」と「過去の授業の比較」

(男子のみ：前任校別習)

## 本校での取り組み

4分39秒 → 4分30秒

9秒短縮 (短縮率3.23%)

速くなった	44人 (86%)
遅くなった	7人 (14%)
あまり変わらない	0人

## 前任校での取り組み タイム計測・分析中心授業

4分12秒 → 4分10秒

2秒短縮 (短縮率0.79%)

速くなった	24人 (38%)
遅くなった	18人 (29%)
あまり変わらない	20人 (33%)

①

長距離走を

肯定的に捉えてほしい

保健体育に対する  
「見方・考え方」が変わった

②

タイム短縮

他者と比較しない。自己記録更新が目的

体育嫌いを  
無くす「チャンス」かも？

実生活の「リアル」に  
落とし込むため、生徒もイメージが付きやすい

パフォーマンス課題の

可能性について

# パフォーマンス課題 ～ゴール・役割（例）～



栄養士



保健でも可能！

# 保健（2年：喫煙と健康）

<b>GOAL</b> (目的・ゴール)	市長として市民の意見を政策に反映させる 市内の喫煙率を下げるための独自政策
<b>ROLE</b> (自身の役割)	市長
<b>AUDIENCE</b> (相手・対象)	市民
<b>SITUATION</b> (状況設定)	附属府附属市の市長に就任。健康意識の高い一部の市民から喫煙率の高さについて「悩み相談」が入る
<b>PERFORMANCE</b> (完成作品)	ワークシート
<b>STANDARDS</b> (観点など)	ループリック表参照

保健でも可能！

# パフォーマンス課題（2年：走り高跳び・計画書）

思考力、判断力、表現力を育むパフォーマンス課題

走り高跳び総括① (B i B ii D ii)

単元序盤 (B i)    カテゴリ    単元終盤 (B i)

助走

踏み切り

●課題克服個人練習メニュー（30分間）B ii

時間 (分)	内容	ポイント (解説)

なぜこのようなメニューに? (B ii)

個人練習実施後の振り返り (D ii)

●単元序盤と終盤の踏切（起こし回転）スクショ

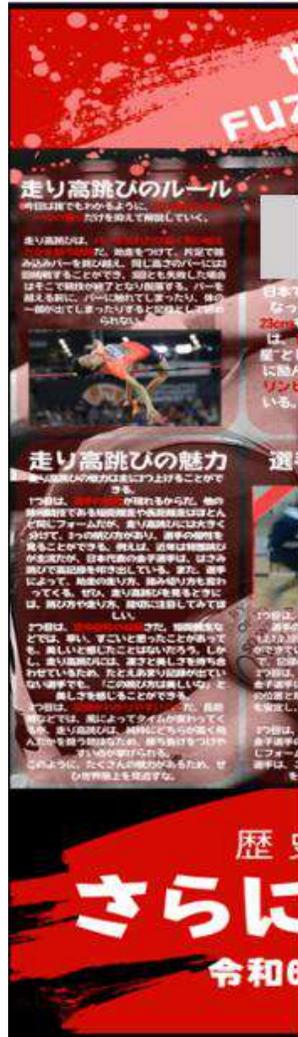
シンキングツール  
\*キャンディーチャート  
自己課題発見

「体育理論」と絡めることもできる!

自己課題解決

根拠や理由

計画の振り返り



## 世界陸上 FUZOKU IKEDA 走り高跳び

### 選手紹介

目標...cm  
自己ベスト...120cm

①助走  
②バーの高  
③バーの高  
④バーを越え、体の一部が落ちる  
令和6

### この一瞬で自分の壁

### 走り高跳びの特性 (魅力)

走り高跳びの魅力は、飛ぶ一瞬に凝っている様々な技術である。走り高跳びは、5秒くらいで結果が出る。だから、この一瞬に何が出来るかが記録の鍵になる。具体的には、起こし回転やJ字助走、内傾などである。これらをつかんで出来るかが記録につながる。自分自身、走り高跳びを体験してきて、まるでジェットコスターのようにこの一瞬の時間で様々なことを意識して、それが結びついたとき、きれいに飛ぶことができた。他の競技も面白い。でも、これだけ短い時間にたくさんの方が詰まった興味深い競技はあるのだろうか。飛ぶ高さや空中姿勢、おなさんはこの2つに着目していると思う。しかし、それ以外にも助走や踏み切りにもたくさんの方があって、今回はおなさんにそこを注目してほしい。先程述べたように、僕は走り高跳びを経験した。その中で、高く飛ぶためには、助走で内傾する、J字助走に踏み切りしても、起こし回転で飛ぶなどと助走と踏み切りを意識することで、高さが高くなって、空中であれほどの力が生まれていることに気がついた。だから、確かに飛ぶ高さなどもいいが、それまで助走など、ただ記録にこだわるのではなく、それまでのプロセスに着目してあげてほしい。そうしたら、選手の姿も面白くなりますよ。

## 世界陸上 -FUZOKU IKEDA-

# -走り高跳び-

令和6年8月1日(月) 17:00~開始

選手紹介

目標記録:110cm 自己ベスト:120cm

### 選手のプロフィール

高跳びの歴史  
走り高跳びの歴史は、木下代治によって、1901年に初めて行われた。その後、1905年に初めて世界記録が樹立された。

高跳びの世界記録  
男女合戦の世界記録は2m45cmで、これは1987年に樹立された。

### ルール

- 助走をつけて、片足で踏み込みバーを飛び越える。
- 同じ高さのバーには3回挑戦することができる。
- 3回とも失敗した場合はそこで競技が終了。
- バーを落としたり、両足で跳んだりすると認められない。
- 最も高いバーを飛び越えた選手が勝者。
- 同条件で並んだ場合は、その高さでの失敗回数が少ない選手が勝者となる。
- それでも同じ場合は同順位。

### 走り高跳びの特性

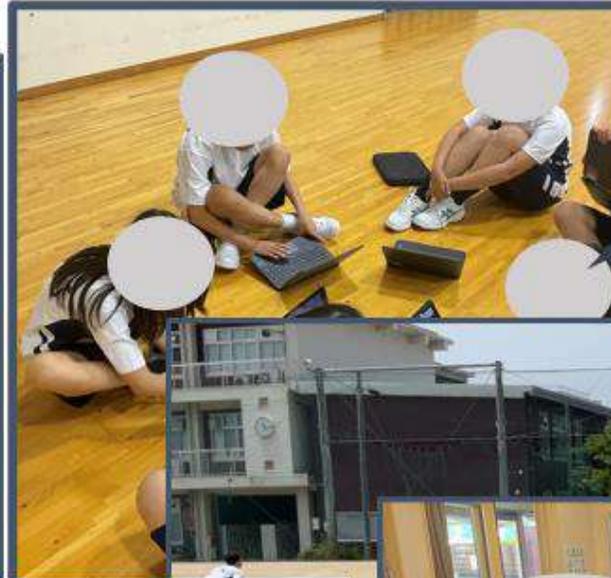
走り高跳びという競技は、一見バーを飛び越すという単純な種目に思えるかもしれませんが、実ははさみ跳び・ベリーロール・背面跳びという3種類の跳び方があり、よりバーを高く跳び越すために日々選手たちは研究を重ねているんです。主にプロの選手達が跳ぶのは背面跳びで、背面跳びは体がずっとバーより高くなくても良いので、より高く跳ぶことにエネルギーを使えるので高く跳べます。このように、色々な跳び方があるのが奥深い競技と言えますよね。また、走り高跳びの評は助走であり、内傾することで勢いをつけて、跳躍を補助しているんです。また、人によって跳び方が変わったりして色々な跳び方を見ることが出来ます！あなたも走り高跳びを観戦して走り高跳びの奥深さを体感しませんか？

無我夢中で、バーを飛び越せ！

などが必要となります。そのため、試合中はお互い相手の記録や無効試技数などを意識するため、バチバチした雰囲気を感じられます。

参考文献  
<https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202003/jhs-003-006.pdf> 日本陸上競技連盟「走り高跳び」  
閲覧日：2024年2月8日

計画を  
他者に伝える  
場面（表現）



◎40分計画シート（準備・片付け含む）(B i ii)

◎40分計画シート（準備・片付け含む）(B i ii)

チームの課題や活動理由(狙い) (B i)

走者が塁に入る前に、ボールを塁に送るために自分の位置を  
理由 いつも相手投手を見ていて、捕手が守る位置に、どこに投げるべきか、またボールが打たれずに走者が塁に到達するまでから。

時間	活動内容 (B ii)	留意点 (B ii)
3分間	キャッチの練習 (フライ)	
3分間	キャッチの練習 (ゴロ)	
3分間	バッティングの練習	
3分間	キャッチの練習 (フライ)	
3分間	キャッチの練習 (ゴロ)	
15分間	ミニ試合 (できたら他のチームと(他のチームと計画したチーム内でミニ試合をする))	
2分間	ミニ試合をしてどうだったかを話し合う(反省会)	
6分間	反省会で考えたことを実施する(キャッチボールの2人以上でしかできない練習は反省会が終わったときにやる)	

課題克服のための練習計画

人数がいつもの試合より少ないので、打ったボールをちゃんとキャッチできるように練習する。できるだけアウトを取らせない！  
☆なるべく近くにいる人がボールを取りそこねた時に移動する

◎計画実施後の振り返り (D ii) 100~800字以内

◎計画実施後の振り返り (D ii) 100~800字以内

練習計画実行後の振り返り

思ったよりうまくいきました。反省会で課題にあった練習をすることができました。最初は（だれもこの塁にいない状態のとき）にならないようにするために、バックアップのキャッチの練習も敵役の人ができるバッティングの練習ができたのは、反省会をして課題に対して良かったなと思いました。他の単元でも

◎実技試験の振り返り (D iii) 100~800字以内

◎実技試験の振り返り (D iii) 100~800字以内

一度ボールを落としてしまいましたが、うまくいきました。練習を続けたことにより、とてもしっかりと打てるようになった。キャッチするときの手と手の間にボールが入ってしまうのでなかなかキャッチできなかった。手でお花をつくるような感じでキャッチしよう！と手にお花がさりました。実技試験の前に「フワッキャッチを頑張ろう！」とつくってなかったらさっさとボールをずっとキャッチできなかった。最初のときのキャッチボールと実技試験のときの

相手がボールをキャッチする時になるべく動かずに受け取れる場所に投げるのが難しかった。相手のいる位置よりも遠い所に投げてしまったりすることが実技試験の時にあった。でも、取るのが苦手だったゴロはちゃんと取ることができた。キャッチボールをしていて、相手がちゃんと自分の所に投げてくれるからと言って、動かずにただ立ち止まっているだけだったら、本番の試合の時に守備をするのに失敗してしまうため、積極的に自分から動くということが大切だと思った。

計画を実行



計画を実行の振り返り

## 保健体育

単元（体づくり運動：ラジオ体操）

夏休み

地域での朝のラジオ体操の参加率を  
上げるためにポスター作成

## 総合的な学習の時間

1年生・わがまち  
夏休み中に地域に貢献し、2学期に発表

早朝の

# ラジオ体操

参加自由

ラジオ体操で心も体も元気よく！

本格的な夏が始まりました！  
ラジオ体操をご存知ですか？

ラジオ体操には様々な効果があります。身体にだけでなく、心にも良い効果があるそうです。今年の夏から、ラジオ体操を一緒にやってみませんか？

開催場所：  
開催期間：7月21日～8月31日（※日曜日休み）  
時間：6時半～



知識を問う  
パフォーマンス課題



定期テスト廃止



単元テスト

知識を問う  
パフォーマンス課題



定期テスト廃止



単元テスト

# 可能性豊富なパフォーマンス課題

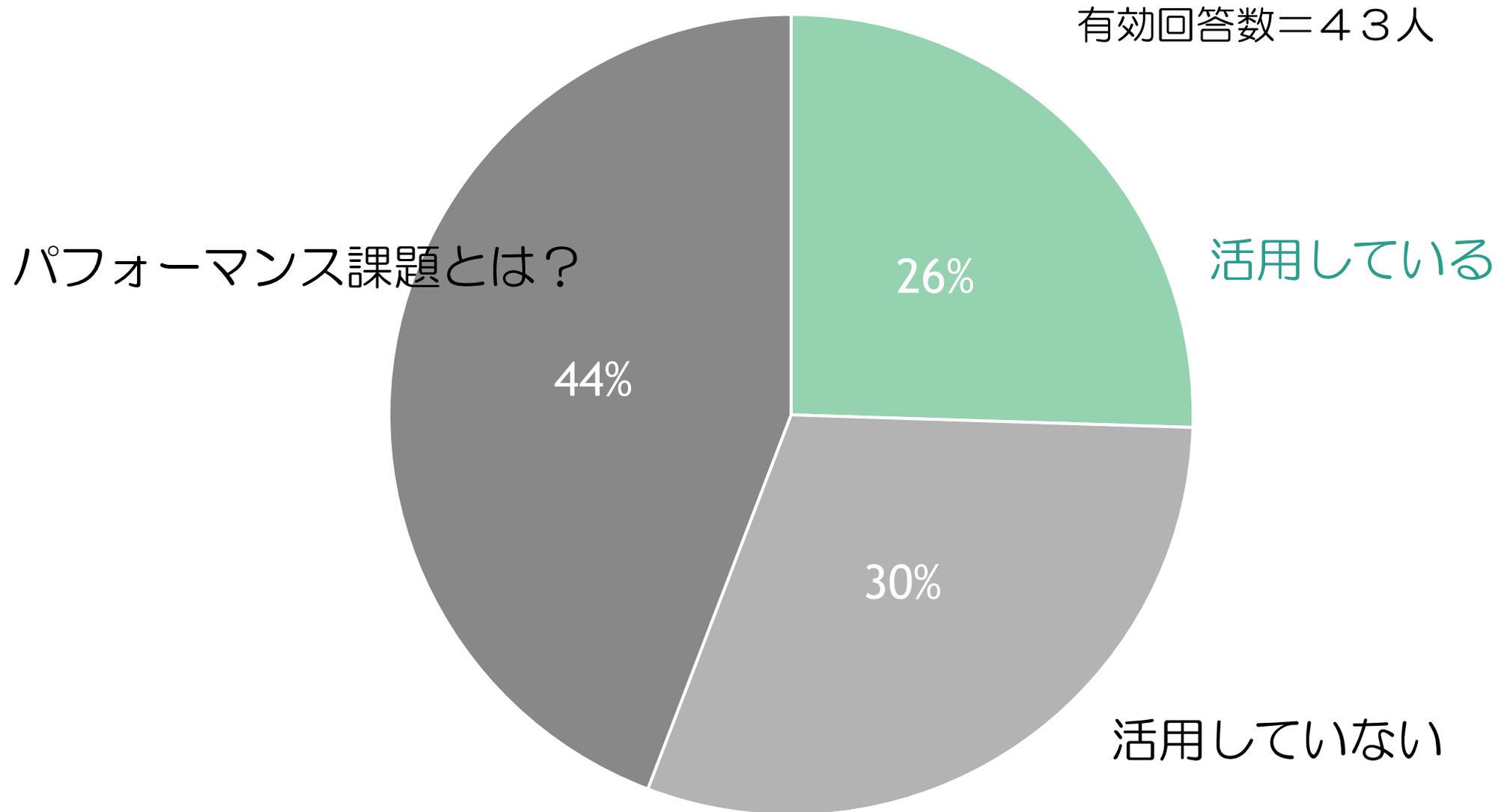
知識を問う  
パフォーマンス課題

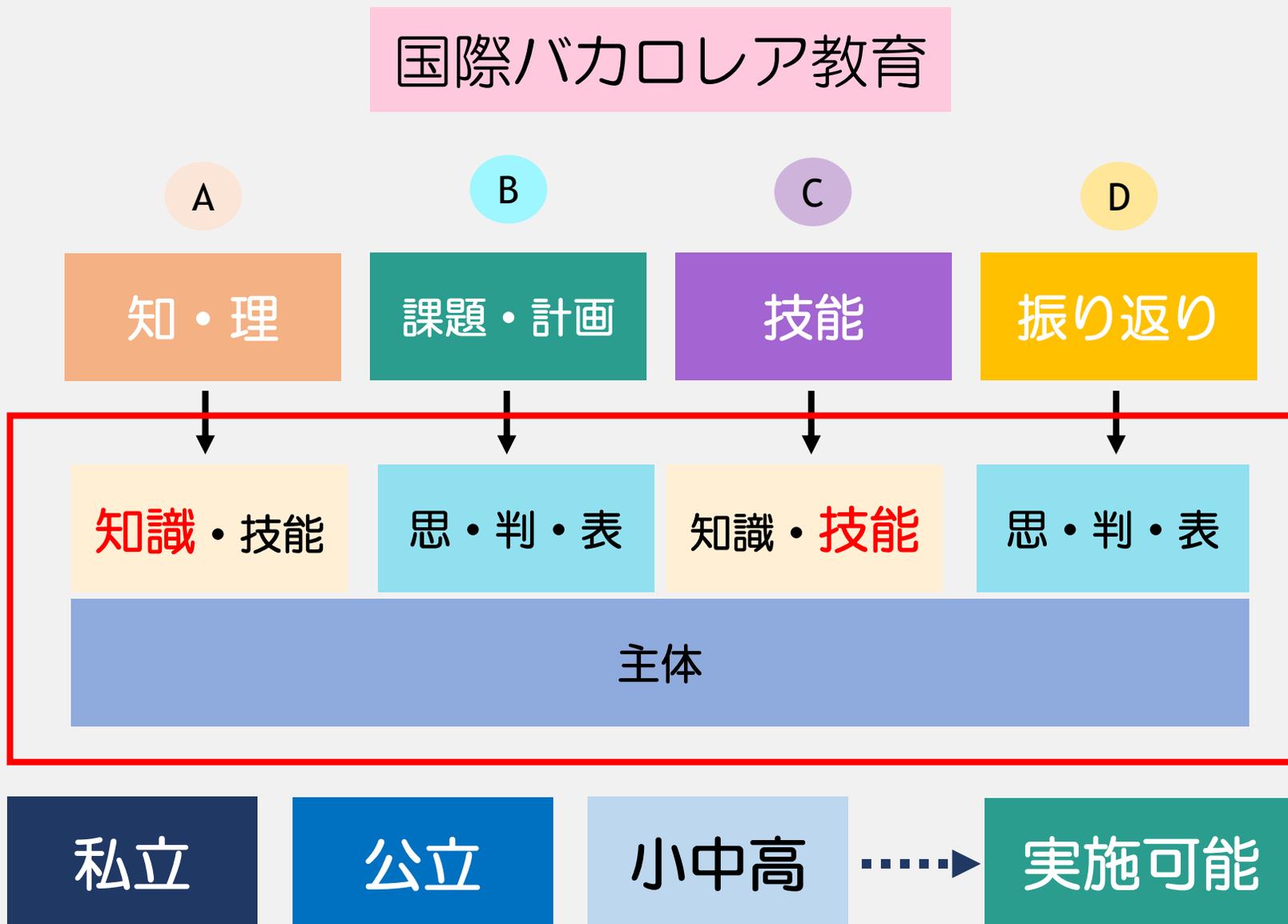


定期テスト廃止



単元テスト





中学・高校における積極的・効果的に取り組むための持久走授業の在り方  
(富岡凌平・小川剛司・澤田和夫)

保健体育教育の未来をつくる  
OECD Education 2030プロジェクト  
OECDカリキュラム国際調査

探究保健体育教師の今と未来20講

教科の「深い学び」を実現する  
パフォーマンス課題

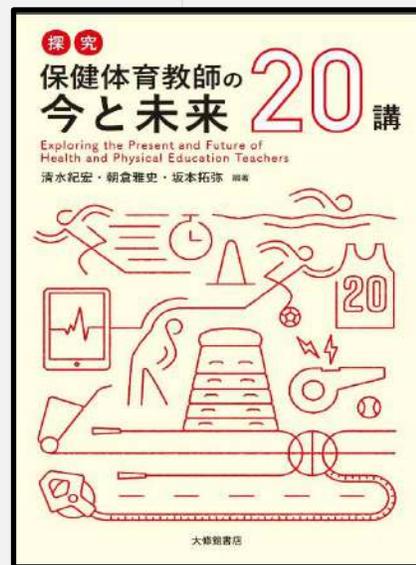
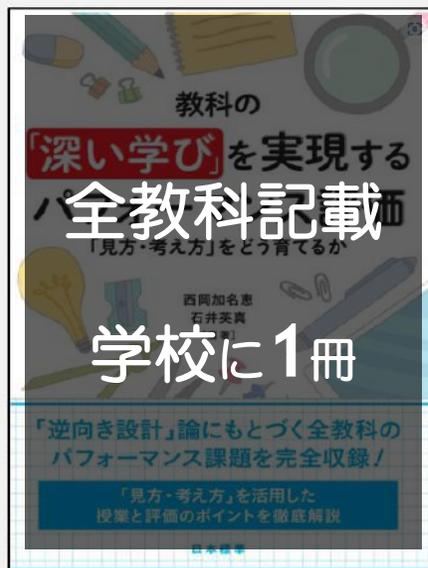
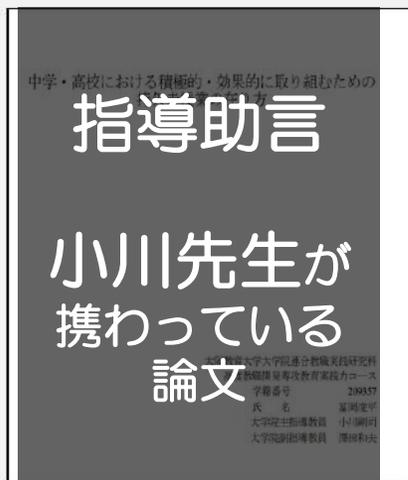
これからの体育科教育はどうあるべきか

中学校学習指導要領解説 保健体育編

体育科教育 2016、1

体育科教育 2010、12

# 参考文献



中学・高校における積極的・効果的に取り組むための  
持久走授業の在り方

大阪教育大学大学院連合教職実践研究科

高度教職開発専攻教育実践力コース

学籍番号 209357

氏名 富岡凌平

大学院主指導教員 小川剛司

大学院副指導教員 澤田和夫



教科の

# 「深い学び」を実現する パフォーマンス評価

「見方・考え方」をどう育てるか



西岡加名恵  
石井英真  
[編著]

「逆向き設計」論にもとづく全教科の  
パフォーマンス課題を完全収録!

「見方・考え方」を活用した  
授業と評価のポイントを徹底解説

日本標準

ありがとうございました！



本日は、イケトークにご参加いただきありがとうございました。  
本日使用した Podlet やいただいたリフレクションを共有させていただきます。  
ぜひ、ご活用ください。

話し合っていた Podlet



意見・感想・提案

- 生涯スポーツの観点から、長距離走を肯定的にさせるために振り返りの時間をしっかりとり、記事を書かせるのはすごく良い取り組みだと思いました。良いワードがたくさん出ていましたね。
- 本日は貴重なお話しありがとうございました。長距離走の授業を生徒が前向きに取り組むためにはどのようにすればいいのか課題でした。先生の授業計画や環境整備がとても丁寧で2学期の授業でとりこんでみたいと思いました。他者との比較よりも自分との対話を意識した授業をしていきたいと思えます。
- 貴重なお話をありがとうございました。お話にもあったように、長距離走に対してネガティブに考える生徒が多いので、いろいろな種類を行うのはとても良いと思いました。ぜひ参考にさせていただきたいと思えます。
- ありがとうございました。パフォーマンス課題に取り組んだことがなかったので、今後取り組んでいきたいと思いました。長距離走の特性に応じた内容で、とても勉強になりました。
- 長距離走という捉えをジョギングという形で子どもたちが捉え直しているのは非常に良いと思えます。体育からスポーツへの捉え直しとも言えるのかなと思いました。
- 非常に争奪が多く、子どもたちが楽しんでいるであろうと思いました。  
だからこそ、子どもたちにさらに選択して追究させてあげる時間をもっとあればいいなと思いました。

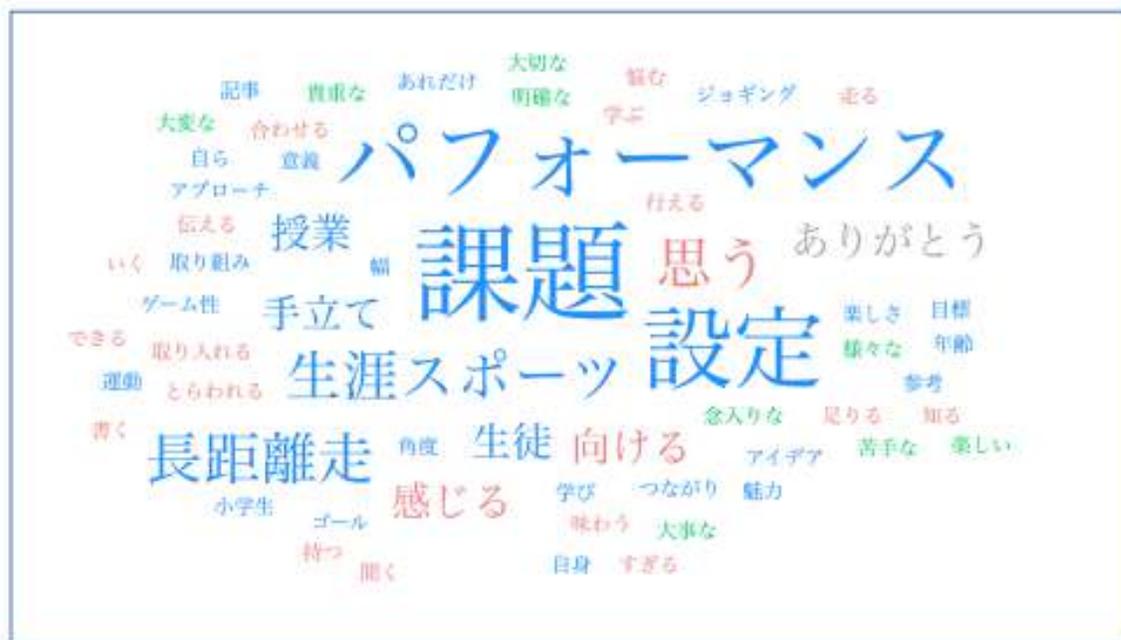
- ・目標を明確に設定しゴールに向けた手立てを念入りに準備することで、生徒たちが生涯スポーツに向けた取り組みを自ら進んで行えるととても素晴らしい実践に感じました。

#### 疑問・質問

- ・タブレットをグラウンドに持っていきのが難しい現状にあります。どのように活用されていますか？
- ・先生が長距離走の授業を行う際に意識しているポイントはありますか？声かけや環境整備などあれば教えていただきたいです。
- ・パフォーマンス課題を設定した良さはどこにあったと感じられていますか。
- ・課題は子供の文脈に沿ったものであったのか。  
パフォーマンス課題に取り組む子供達の主体性が見えたか？簡潔に言えば、FUZOKU RUN を作りたいと子供達が感じていたのか・・・
- ①授業内での実技時間はどのくらい確保することができたのか。  
②授業時数は何コマなのか。  
③知識の評価の取り方はどのようにしているのか。

参加者の方からいただいたリフレクションアンケートのご意見、ご感想

下の図は、感想を基に作成したテキストマイニングになります。



本日の学び（学びが深まったこと、新たな疑問など）

- ・授業の中でパフォーマンス課題の設定の仕方を学びました。
- ・パフォーマンス課題の設定に悩んでいた中で長距離走に対して記事を書いたり、ゲーム性を持たせたものを取り入れたり様々な角度からのアプローチを知ることができとても参考になりました。ありがとうございました。
- ・パフォーマンス課題を設定する意義についての理解が自分に足りていない。パフォーマンス課題という方法にとられすぎず、運動の魅力や生涯スポーツへのつながりを伝えていくことが大事なのかと思った。
- ・長距離走は自身が苦手と感じていた部分なので手立ての数を聞いて大変学びになりました。あれだけの幅があれば小学生も楽しくジョギングをするだろうなと思いました。低年齢から走る楽しさを味わわせることが生涯スポーツにおいても大切だと思いました。
- ・長距離走での授業アイデアであったりパフォーマンス課題の設定はぜひやってみたいと感じました。貴重な機会ありがとうございました。
- ・目標を明確に設定しゴールに向けた手立てを念入りに準備することで、生徒たちが生涯スポーツに向けた取り組みを自ら進んで行える。生徒感に合わせた課題の設定。

プレゼンターより

本日はお忙しい中、ご参加いただきありがとうございました。私自身もパフォーマンス課題を取り組み始めて約1年ですが、その中で確実に言えることはスポーツ（種目）への多様な関わり方を生徒に伝えることができたと感じています。

まずは、参考文献：教科の深い学びを実現するパフォーマンス評価で紹介されているような紙ベースで出来るような取り組み（ヒーローインタビューで答えよう）からはじめて、最終的にはICTを活用したパフォーマンス課題につなげていければいいのかなと思っています。まだまだ私自身も勉強中ですので、本日のつながりを大切にし共有させていただければ幸いです。

「思考力・判断力・表現力を  
育成するための  
パフォーマンス課題と評価」

Authenticity にフォーカスを置いた  
教科横断の英語パフォーマンス

大阪教育大学附属池田中学校 英語科 鳥居 敦子

# 英語科における「思考力・判断力・表現力」とは

- 外国語科の目標

→外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を・・・育成することを目指す

- 「思考力、判断力、表現力等」にかかわる目標

→コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあったりすることができる力を養う。

(中学校学習指導要領解説 外国語編 文部科学省 平成29年7月 より)

# 英語科における「思考力・判断力・表現力」とは

## <話題>

- 関心のある事柄: スポーツ、音楽、映画、テレビ番組、学校行事、休日の計画、日常の出来事
- 日常的な話題: 生徒の日々の生活にかかわる話題のうち、生徒自身や家族に関する事、生徒の興味・関心の対象となることや社会生活で必要なこと
- 社会的な話題: 社会で起こっている出来事や問題 (例: エネルギー問題・環境問題・人権・世界情勢・平和)

## <見方・考え方>

外国語で表現し伝えあうため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者とのかわりに着目してとらえ、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること

# 「AUTHENTICITY」 とは

- An authentic text is a stretch of real language, produced by a real speaker or writer for a real audience and designed to convey a real message of some sort (Morrow, 1977, p.13)
- authentic materials have been defined, “as those which have been produced for purposes other than to teach language” (Nunan 1988, p. 99).

# 「AUTHENTICITY」とは SLAの見地より

- authenticity of task: one in which the learners perform a real life task which is meaning focused, has a communicative purpose and aims to achieve intended effects.
- authenticity of language:
- authenticity of situation:

(Breenによる)

# TASKを中心とした実践

- 神戸市 TBLTの研究と実践（2017年に研究実践スタート）  
それまではP-P-Pの手法での授業（教科書ベース）
- 神戸市退職→大阪教育大学附属池田中学校（2021年～）  
TBLT→国際バカロレアと学習指導要領の融合

どちらにおいても、大切にしているのは

- ①他教科との連携
- ②authenticな課題

# どのように評価をするのか

- 「思考・判断・表現」の評価は、各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価するものである。
- 児童生徒が思考・判断・表現する場면을効果的に設計した上で、指導・評価することが求められる。具体的な評価の方法としては、ペーパーテストのみならず、論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動を取り入れたり・・・

# 知識及び技能を活用したAUTHENTICなタスク と総括的評価課題

- 知識・技能

「英語の特徴やきまりに関する事項」として「音声」，「符号」，  
「語，連語及び慣用表現」及び「文，文構造及び文法事項」

上記の「知識・技能」が活用できる，そして，目的や場面、状況を設定した，話題をよりauthenticなものにした総括的評価課題の実践についてここから報告

# 2021年から2024年の実践 (SPEAKING)

- **Interaction**

- Self-introduction
- Culture difference problems and solutions
- Counselling
- Debate
- Travel agency

- **Speech**

- Self-introduction
- Lecture
- Radio programme
- Culture introduction
- TV commercial

# 2021年から2024年の実践 (WRITING)

- Recipe
- Brochure
- Lyrics
- Journal
- Blog

# WRITING の実践例

## レシピの作成

1年生

- **G** (ゴール) : あなたの課題は災害にあったときに活用できるレシピを書いて届けることです。
- **R** (役割) : あなたは、パッククッキング本の著者です。
- **A** (受け手) : あなたの依頼人は、災害時に活用できる料理を知りたい地域社会の英語話者です。
- **S** (状況) : あなたは 冬の震災時に水やガスがあまりない中でも冷蔵庫ストックしてある材料を使って、安心できる栄養のある簡単な料理のレシピを書くという状況にいます。
- **P** (完成品) : あなたは、冬の震災時に使えるパッククッキングのレシピ本 を創作します。
- **S** (成功を評価する規準) : ①文法: 命令文, 可算・不可算名詞, 単数・複数名詞  
②語彙: 料理に関する基本的な語彙  
③情報のまとめ方 (理路整然・効果的)  
④目的や受け手に応じた書き方ができているか

なお、評価規準はバカロレアによる

## 外部講師（災害と食について）



# 教科書 READING

## Enjoy Sushi

Japan is famous for its sushi. You can enjoy many types, for example, *nigirizushi*, *makizushi* and *chirashizushi*. Here is an example of my favorite kind of sushi.

### *Kazarimakizushi*

I like *kazarimaki-zushi*. It is a kind of *makizushi* from Chiba. Beautiful images of flowers and animals are in this sushi. The colors come from vegetables and other foods.

Some kinds of sushi need special materials. Don't worry. You can easily make *kazarimakizushi* at home. You and your family will enjoy this sushi art.

### Recipe

1. Make five rolls of *dembu* rice and one roll of *tamagoyaki*.
2. Spread rice on a big piece of *nori*.
3. On the rice, place the rolls of *dembu* rice side by side.
4. Put the roll of *tamagoyaki* on top.
5. Carefully roll all six together.
6. Cut it. You'll see flowers.

type:種類 image:絵 material:用具 Don't worry:心配しないでください easily:簡単に  
recipe:レシピ roll:巻物 spread:広げる a big sheet of...:大きな一枚の... carefully:慎重に

Q1. 出てくる順番に ( ) に番号を書き入れなさい。

- |                   |     |
|-------------------|-----|
| (a) ここで紹介する寿司の作り方 | ( ) |
| (b) ここで紹介する寿司の特徴  | ( ) |
| (c) 一般的な寿司の説明     | ( ) |

# カレー（通常VER） のレシピ書き

# カレーの調理実習



# カレーの振り返り

## 今日の振り返り

できていなかったこと

- 人参の切り方をさいの目切りではなく、いちよう切りにすればよかった。
- ルーを入れるタイミングをお肉が茶色くなってからではなく、野菜に箸がささるまでと書けばよかった。
- 人参をもう少し小さく切ればよかった。

レシピに書けばよかったこと

- 切り方を厚さなどの数値を用いて、絵でかけばよかった。
- レシピを書くときにあくをとると書けば良かった。
- 先に肉をいためると書けばよかった。
- 炒める時間を書けばよかった。

## 今日の振り返り

- 人参の切り方は、さいの目切りではなく、いちよう切りの方が良かったです。
- ルーを入れるタイミングは、お肉が茶色くなってからではなく、野菜がお箸に刺さるくらい柔らかくなってからのの方が良かったです。
- レシピを書くときに「灰汁を取る」手順を作るべきでした。
- 先に肉を炒めた方が時間を短縮できると思いました。
- レシピに野菜を炒めるなどの時間を書き入れるべきでした。
- 野菜の切り方を、図や絵で表現してレシピに書き入れた方が良かったです。
- 野菜の切り方はあってもサイズが大きくなりすぎたのがあったので、目安となる大きさをレシピに書き入れる必要がありました。

# パッキング・栄養素等について 家庭科で学ぶ

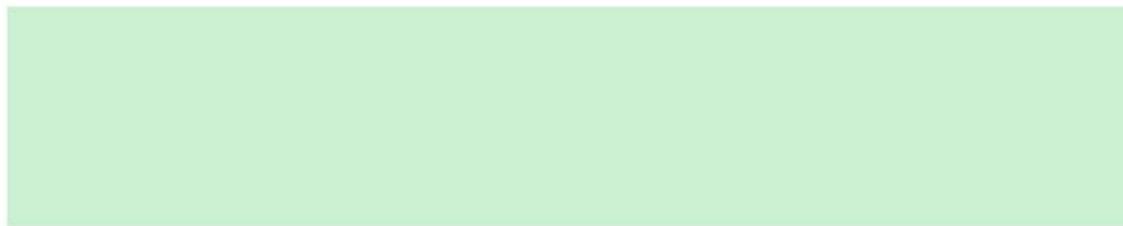


# パッキングの練習



# どんな単語が知りたいですか？

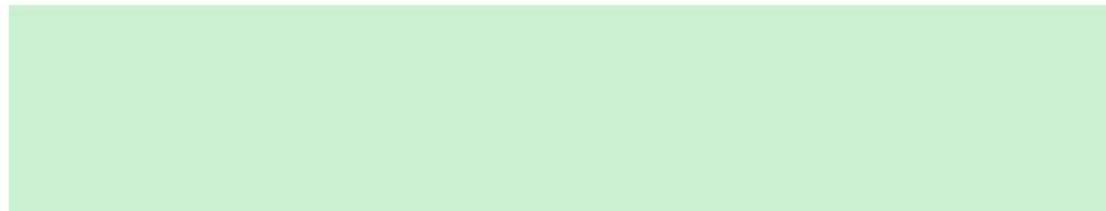
通常のカレーとパッククッキングのカレーとの違いは何ですか。



パッククッキングのカレーを作るときに使った動作は何ですか。



どのような単語が知りたいですか。

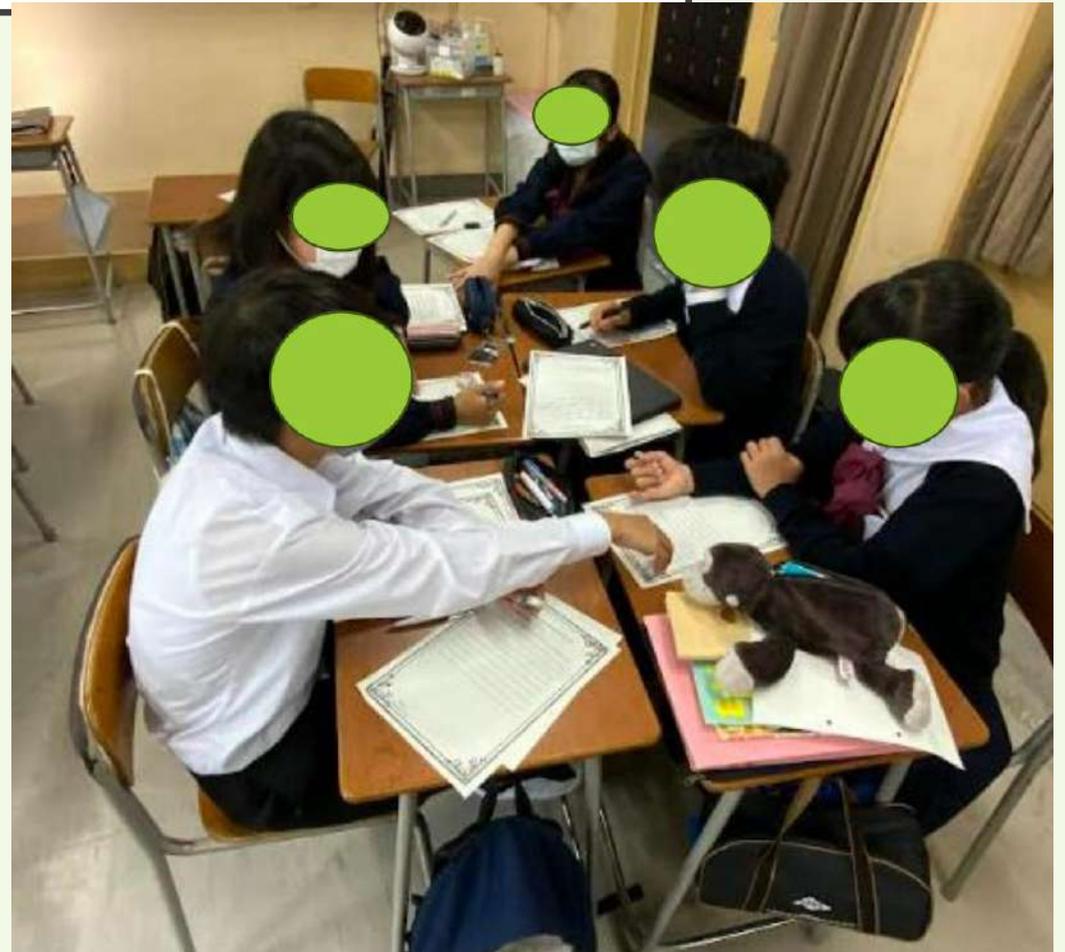


## Ingredients (材料)

ショウガ	Ginger	にんにく	garlic
シイタケ	shiitake mushroom	ネギ	green onion
ドライイースト	active dry yeast	ごぼう	burdock root
れんこん	lotus root	たけのこ	bamboo sprout
白菜	Chinese cabbage	きくらげ	wood ear mushroom
ブイヨン顆粒	granular bouillon	さつまいも	sweet potato
パン粉	Bread crumbs	乾燥わかめ	dried wakame seaweed
コーン缶	canned corn	大根	Japanese radish
かぼちゃパウダー	pumpkin powder	乾燥パセリ	dried parsley
乾燥バジル	dried basil	レーズン	raisin
山芋	Japanese yam	サバ缶	canned mackerel
肉の缶詰	canned beef	焼き鳥の缶詰	canned grilled chicken
高野豆腐	freeze-dried tofu	充填豆腐	aseptic packaging tofu
大豆ミート	plant based meat	長期保存牛乳	low perishability milk
梅干し	picked plum	粉末乾燥卵	powdered egg
ベーコン	bacon	ゴマ	sesame
ドライフルーツ	dried fruit	スパム缶	SPAM
ナッツ	nut	あずき缶	canned red bean
麩 (ふ)	wheat gluten	バニラエッセンス	vanilla extract
パスタ	pasta	ツナ缶	canned tuna
チョコレート	chocolate	豆乳	soy milk
チョコチップ	chocolate chip	スキムミルク	skim milk

## パッククッキングのレシピを書こう

- アレルギーのある人
- 持病のある人
- 宗教上食べられないものがある人
- 全ての人のために
- 幼児のために

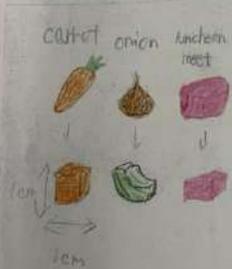


# Curry pilaf.

4/11/11



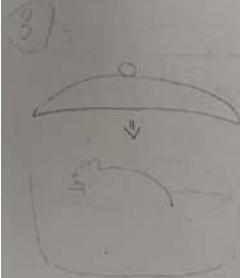
- rice (no wash rice) 1 cup
- carrot 1
- Onion 1
- luncheon meet 1/2 can
- Corn Can 1 can
- Curry powder. Teaspoon 15
- Salt 15 gram
- water 1500 ml



① Dice a vegetables and luncheon meet into 1cm



② Pour water in the bag. Put rice, curry powder, vegetables, luncheon meet, corn can in the bag. Mix. Bind the package at the top.

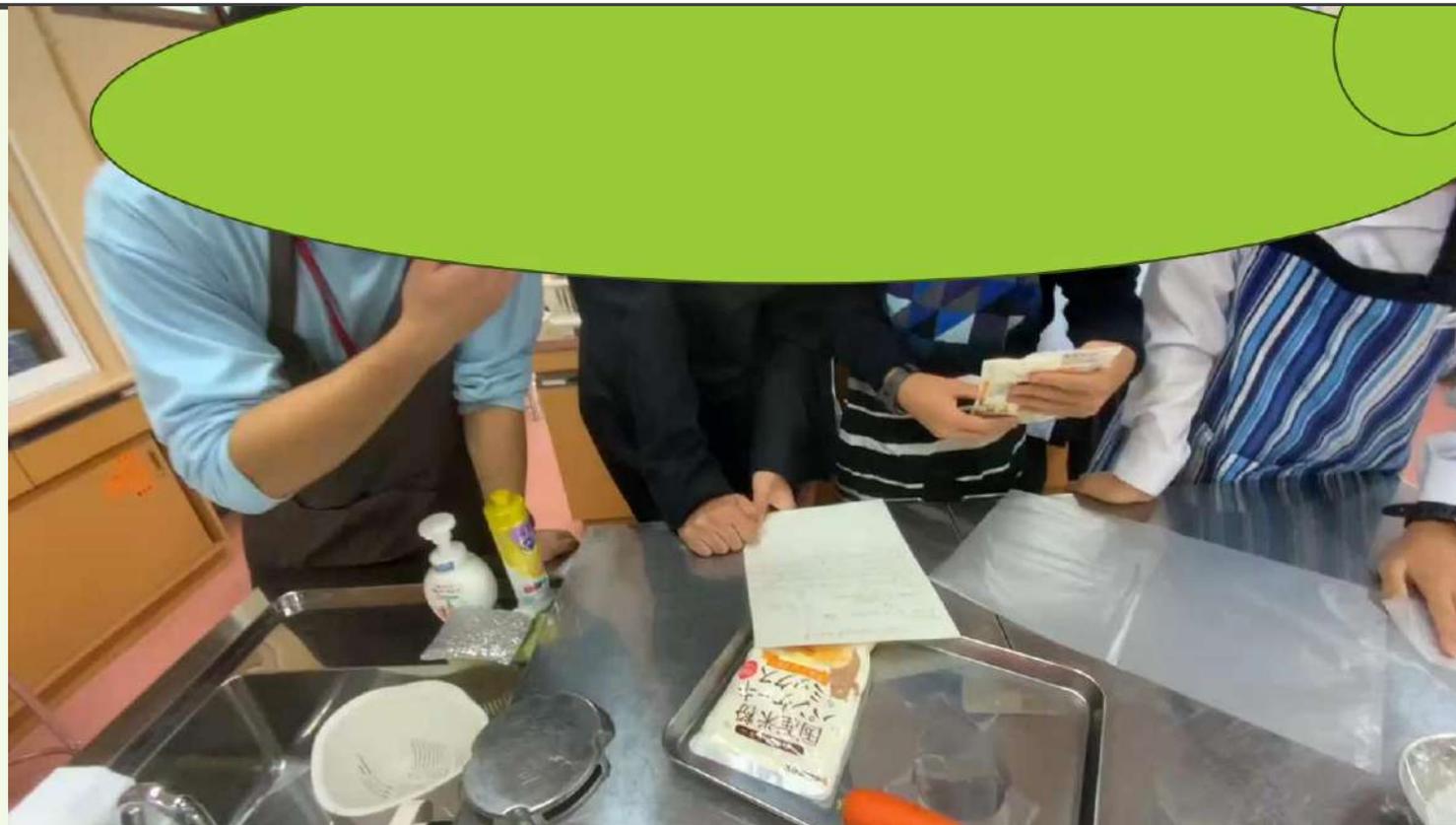


③ Pour water in pot. It's bring it a boil. Put the plastic bag in the pot. Leave it's 30 minutes.



④ Loosen it's finish

## 留学生を招いてレシピをもとに調理



# Reflection

前回レシピを作ってカレーを調理したときに材料がどのくらいいるのかがわかりにくかったり、切り方はどうするのがわからなかったりしたので今回レシピを作るときには量や切り方、材料などをイラストなども加えて細かいところまで記載することを注意しました。そのことで作るときにスムーズに量などがわかって良かったけれど、実際に災害が起こったときには量りがないかもしれないので、なるべくすべてを小さじ大きじ表記にして、わかりやすいようにしないといけないと思いました。また、小さじ大きじすらないということもありえるのでスプーンだと何杯分なのかや、だいたいどのような状態になるまで入れるなどの様々な表記方法をしていくと色々な場面でそのレシピが役に立つのかなと思いました。

また、班の違う人が書いたレシピだと英語の意味がよくわからないということもあったので班で実習をするときにはあらかじめ話しておいたり、難しい英語を使うのではなく簡単な英語をなるべく使うようにする、などといった工夫をしておくことも大切だと思いました。あまり難しい英語を使わずに簡単な英語をなるべく使ったレシピにすることで日本語はあまりわからないし、英語もそこまでわからないという人がいた場合にも役に立つのではないかと考えました。

このように、レシピを作るときには災害時にどのような人が困り、どうすればその問題は解決するのかということを考えることが大切なのだと思いました。そうすることで、沢山の人の必要のあるレシピになると思いました。

# SPEAKING の実践例①

## TVコマーシャル

2年生

- **G** (ゴール) : あなたの課題は環境問題の解決の一つになる商品を紹介するテレビCMを制作することです。
- **R** (役割) : あなたは、テレビCMの制作者です。
- **A** (受け手) : あなたの依頼人は、世界環境広告機構です。
- **S** (状況) : 世界環境広告機構の会議では、世界各国における環境問題についての議論と啓蒙活動を行っている。その会議に出席し、自分たちが作成したエシカル商品についてのTV commercialを提案し、その制作背景についての説明を行うことで、自分たちの制作したTV commercialを採用してもらえらるためのプロモーションを行う。
- **P** (完成品) : あなたは、30秒から1分程度のテレビCM を創作します。
- **S** (成功を評価する規準) : ①文法: 現在完了形、比較表現  
②語彙: 環境問題に関する語彙、商品説明のための語彙  
③発音・イントネーション  
④情報を明確に効果的に伝達できているか

なお、評価規準はバカロレアによる

# 家庭科

## エシカル消費とは

12 つくる責任  
つかう責任



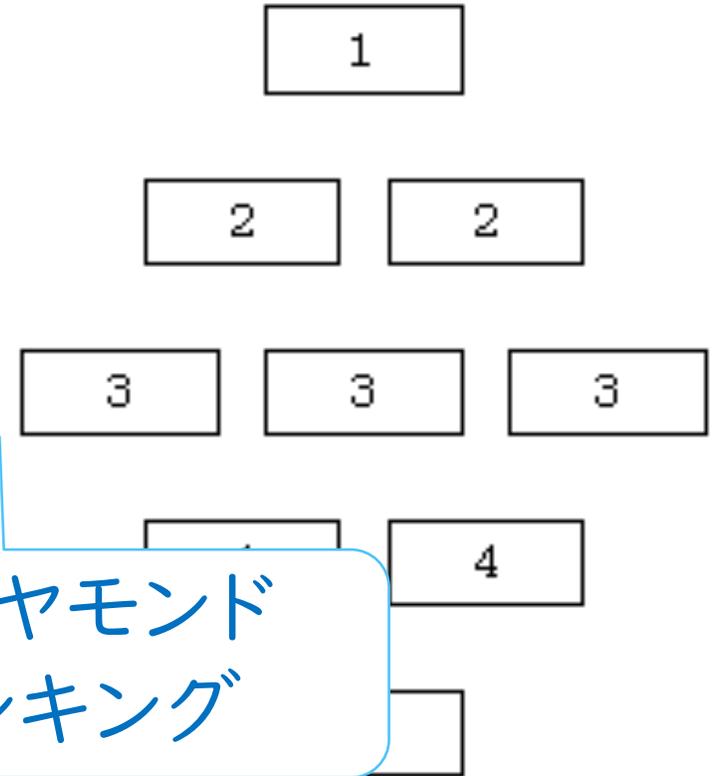
- 「エシカル」 → 直訳「倫理的な」という意味
- 「倫理的な」 → 法的な縛りはなくても、多くの人  
が正しいと思っていることで、本来人間が持つ良心から  
発生した社会的規範です。
- 今、世間で耳にするようになった「エシカル」とは、  
この一般的な意味合いが根底にありつつ、**地球環境や  
人、社会、地域に配慮した考え方**のことを指す。
- とりわけ、ここ最近日本ではエシカルな考え方に基づ  
く消費、「エシカル消費」が注目され始めています。



# 既製服を選ぶ時に重視することは？



好み  
メーカー  
サイズ  
価格  
流行  
デザイン  
製造国  
手入れの方法  
素材  
着用目的  
着心地  
品質



ダイヤモンド  
ランキング



## Reading text

Read the text about saving water.

## Saving water

We need it to drink, wash, cook and flush the toilet. Farmers need it to grow our food. Factories need it to make the products (and their packaging) that we buy. Power stations need it to produce the energy we use. Yes – it's water! And we use a lot.

*That's OK – there's a lot of water on our planet!*

True! But did you know that we can't use most of it? That's because it's salt water (in seas and oceans) or freshwater which is ice or in the ground. In total, we can use less than 1 per cent of all the water on the planet!



## So why is it a problem now?

Well, the world's population is increasing really fast, so more and more people are using water, and more and more water's being used to make food, products and energy for those people! And we mustn't forget that things like climate change and pollution are also bad for our water supply. We're starting to use more water than our planet can give us – which means one day, we might not have enough. So let's start saving water now!

# 水の問題

## READING

### Unusual endangered animals

We know a lot about the big, endangered animals like tigers and rhinos, but there are **thousands of animals in trouble**. These beautiful animals may not be famous, but they do need our help.



#### The lemur frog

This small frog is only about 4cm long. It is green in the day but brown at night! It lives in the rainforests in Central America, in Costa Rica, Panama and Colombia. It sleeps under leaves in the day and eats insects at night. It is endangered for two reasons: people are cutting down the rainforest where it lives and there is a disease that is killing many frogs around the world.

#### The tree kangaroo

This cute animal looks like something between a kangaroo, a lemur and a bear! It is bigger than a cat and has a long tail. It lives in the trees in Papua New Guinea, Indonesia and Australia, and is an excellent climber. It can jump down from a tree 18 metres high! But there are not many of them left. People are cutting down the forest where they live and hunting them for meat. Cars sometimes hit them on the road.



#### The coconut crab



This crab is really big! It can grow to one metre long! It lives on islands in the Pacific and Indian Oceans. When it is young it finds shells and lives in them, but when it is older it is very strong and doesn't need a shell for protection. It eats fruit and nuts, including coconuts which it finds on the floor. They can live for 60 years! Unfortunately, they are a popular food in restaurants, and there aren't many crabs left.

# 絶滅危惧種

We all need to buy stuff from time to time. But do we think about how our shopping affects people, animals and the environment? Here's how you can love fashion *and* the world we live in.

### Ethical shopping

We all need to eat, drink and wear clothes, don't we? But what do we know about the products that we buy in shops, in supermarkets or online? Many people in Britain want to know more about the products they buy. They want to know how people, animals and our planet are treated when food, drinks and clothes are produced.

### Fairtrade

The Fairtrade Foundation is an organisation based in the UK that helps farmers and workers in the poorer parts of the world to earn enough money to live comfortably. The organisation asks companies that grow products such as coffee or bananas to pay fair wages and to provide their workers with good conditions. The companies that follow these requirements then receive the Fairtrade certificate and can sell their products with the 'Fairtrade' mark to international consumers. About 5 million people benefit from Fairtrade in 58 countries. More than 90 different products including coffee, tea, bananas, chocolate, cocoa, juice, sugar and honey have the Fairtrade mark. There are over 4,500 Fairtrade certified products for sale in shops and supermarkets in the UK. Almost one in three bananas sold in the UK is Fairtrade!

### Free range and organic

Free range farming means that farm animals spend time outside rather than being inside 24 hours a day. Meat, eggs or dairy products, such as milk or cheese, can be free range. Some experts say that this type of farming is preferable because it is less cruel and the animals are healthier. Many people also think that free range food tastes better and is more nutritious than conventionally farmed food. Organic food is produced using few or no chemical fertilisers and pesticides. Some people feel that organic food is safer or healthier than conventional food and that it tastes better. You can see organic fruit and vegetables on sale in most British supermarkets. Both free range and organic food can be more expensive than other types of food but despite this they are very popular in the UK. However, a recent report showed that demand for organic food has fallen slightly since the economic recession began in Britain.

### Ethical clothing

Fashion is big global business. You can check the labels on your clothes to see which countries they are made in. Some clothing manufacturers have been accused of employing children and of allowing unsafe conditions in their factories. Following the collapse of a clothing factory in Bangladesh which killed a large number of workers, the British public have started to wake up to the question of where and how their clothes are produced. After this disaster a number of brands seen in the British shopping centres, including Primark, Marks and Spencer and H&M, have made a deal to give money each year to pay for factory inspections and to help make conditions safer for workers. People are becoming more and more interested in where their clothes are made, who they are made by, and in what conditions. They want their clothes to look good AND to be ethical. Most fashion manufacturers now have sections of their websites with information about their workers and their environmental policies.

# エシカルショッピング

## コマーシャルを作る際に気を付ける事

- 短い時間に伝えたいことを上手に入れる工夫。
- 嘘は言えない
- 誇張しすぎるとそれも嘘になる。
- 受動的なので、どんな人にとっても嫌な思いが  
しないもの



# Japanese vs English Commercials

“Have you seen an English Commercial?”

“Do you think Japanese and English commercials are similar or different?”

# Let's Watch:

どうぶつの森 / Animal Crossing Commercial  
from Japan and the UK

※ What are the differences between these  
two commercials?

Think about:

Colors, Actors, Theme, Story, Contents...

# High Context

- More Images
  - Larger Images
  - More Colors
- Celebrities
- Less information
- Indirect
  - Shows the product, but doesn't explain the product

# Low Context

- More Words
  - Smaller Images
  - More “clean”
- Explanation or story
- More Information
- Direct
  - Explains the product and why it is useful, or what happens if you use the product

Commercial Contents:

# Hook



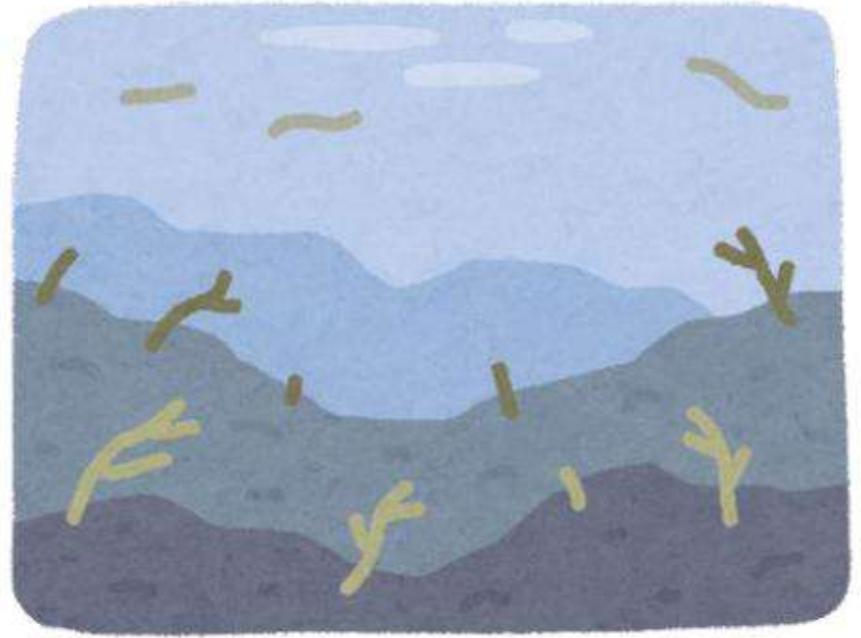
- Makes people interested
- Examples:
  - Asking a Question
  - Emotional Pull
  - Interesting images or scenes
  - Jokes



Commercial Contents:

# Problem

- Show the problem
- Connect the problem to your audience



Commercial Contents:

# Solution

- Show how **YOUR PRODUCT** is the solution
  - Show an image
  - Demonstration



Commercial Contents:

# Call to Action

- Tell your audience what to do
- Show where to buy your product
- Tell your audience the price



テーマ  
TAGLINE  
JINGLE  
STORY LINE

## TV Commercial for Ethical Products

1. What environmental issue are you going to introduce? Circle your topic  
\*Endangered animals \*Fossil fuels \*Global warming \*Deforestation  
\*Food waste \*Biodiversity loss \*Plastic pollution \*Overpopulation  
\*Other ( )

2. What ethical product are you going to introduce?

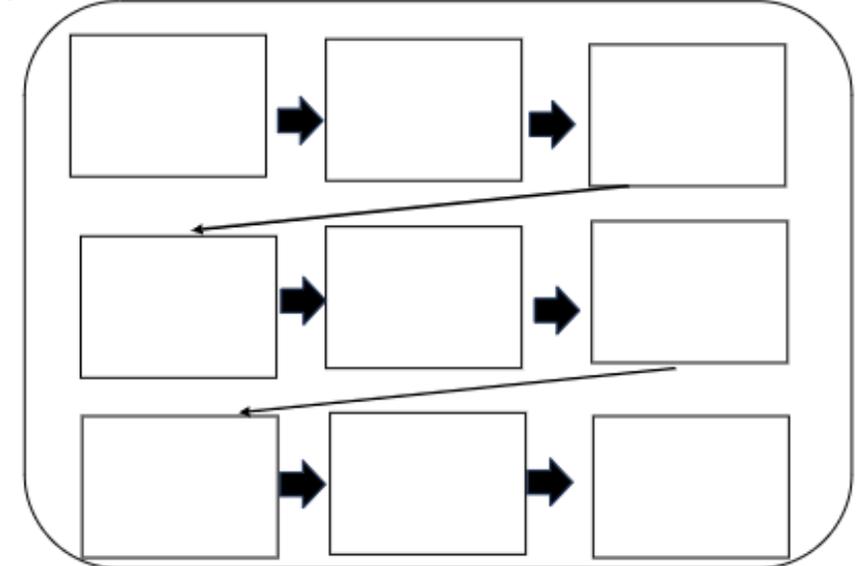
3. TV commercial (30 seconds)

- (1) What is a tagline for your TV commercial

- (2) What kind of jingle do you use?

- (3) What are the benefits of your product?

- (4) What story line do you make?





Don't waste food!

Don't waste food!

# WRITING の実践例③

## 平和の歌の歌詞作り

3年生

- **G** (ゴール) : あなたの課題は 世界の人と共有できる平和の歌の歌詞 を作ることです。
- **R** (役割) : あなたは, 作詞家 です。
- **A** (受け手) : あなたの依頼人は, 世界に発信する平和の曲を作って配信してほしいという国際的な団体 です。
- **S** (状況) : あなたは 依頼人からの依頼で, 同世代の世界中の人々に向けた平和を訴える英語の歌詞を作るという状況にいます。
- **P** (完成品) : あなたは, Aメロ4小節・Bメロ4小節・サビ4小節分の歌詞 を創作します。
- **S** (成功を評価する規準) : ①文法: 関係代名詞・分詞  
②語彙: 平和を形容する語彙  
③情報のまとめ方 (理路整然・効果的)  
④目的や受け手に応じた書き方ができているか  
なお, 評価規準はバカロレアによる

# WRITING の実践例③

## 映画と音楽の分析

3年生

- **G** (ゴール) : あなたの課題は映画と音楽の紹介と分析おすすめを書くことです。
- **R** (役割) : あなたは, ブログを書く人です。
- **A** (受け手) : あなたの読み手は, おすすめの音楽や映画はないかと探している音楽や映画に詳しい人です。
- **S** (状況) : あなたは 映画と音楽の紹介と分析を書くことで, 音楽や映画に精通している人にも「いいね」をブログしてもらいたいという状況にいます。
- **P** (完成品) : あなたは, 150語程度のブログを創作します。
- **S** (成功を評価する規準) : ①文法: 関係代名詞, 受動態  
②語彙: 映画や音楽を説明する語彙  
③情報のまとめ方 (理路整然・効果的)  
④目的や受け手に応じた書き方ができているか  
なお, 評価規準はバカロレアによる

# SPEAKING の実践例②

## ラジオ番組の一部を作ろう

3年生

- **G** (ゴール) : あなたの課題はラジオで音楽の紹介をすることです。
- **R** (役割) : あなたは, ラジオパーソナリティーです。
- **A** (受け手) : あなたの聞き手は, 10代のラジオリスナーです。
- **S** (状況) : あなたは 10代のラジオリスナーに音楽を紹介して, リスナーを勇気づけたいと  
思っている状況にいます。
- **P** (完成品) : あなたは, 2分ほどのラジオ番組の1コーナー を創作します。
- **S** (成功を評価する規準) : ①文法: 関係代名詞・分詞  
②語彙: 音楽に関する語彙・自分の経験を語る語彙  
③発音・イントネーション  
④受け手を意識して情報を明確に効果的に伝達できているか

なお, 評価規準はバカロレアによる

# READ THE PASSAGE AND FILL IN THE BOXES.

## Student A

Student A

### Stand by Me

This is the best song to listen to when you are feeling lonely. The powerful lyrics remind you of your true friends.

The song was a great hit when it came out in 1961. The movie Stand by Me used it as the theme song. After that, the song became more famous. Americans heard it more than seven million times on the radio.

Many artists have sung this song. The original version is by Ben E. King. The song is in English, but he also sang it in Japanese in 2011. He saw the news about the Great East Japan Earthquake. The news made him sad. He recorded this version to encourage people in difficult time.

## Student B

Student B

### True Colors

This is the best song to listen to when you need courage. You will believe in yourself.

The song comes from the second album of Cyndi Lauper, an American singer. It was the number one song in the United States for two weeks. The album sold seven million copies worldwide.

"True Colors" became a theme song for the 2003 Rugby World Cup in Australia and New Zealand. Lauper launched her "True Colors Tour" in 2007. The theme of the tour was to eliminate hate. Many other singers and bands joined the tour to support her.

You should read the lyrics while you listen. Then you will truly understand the power of this song.

Read the passage and fill in the boxes.

Yours

Title of the song	
The singer of the song	
What country does the song made?	
When does the writer recommend readers to listen to the song?	
How many people have listened the song?	
How does the song spread all over the world?	

# READ THE BLOG ABOUT “STAND BY ME”.

## “Stand by Me”

@ann8059

April 2, 8:24 a.m.

#Ben E. King #Stand by Me

I really like the song “Stand by Me”. Recently, I have been listening to it again. The lyrics are very powerful. The song starts in darkness. However, the lyrics move on from that. They say that if your friend is next to you, you do not need to be afraid. Together, you can bravely face darkness, dangers, and troubles. Together, you will be strong.

This song is very special to me. Last year, I broke my arm when I fell off my bicycle. I had an operation. I couldn't play the drums for more than a month. Unfortunately, this happened a week before the school festival. I couldn't perform on the stage with my music club band. I couldn't believe my bad luck. My life seemed so terrible.

One day, my friends from the band came to my house. We listened to the song “Stand by Me” together. This brought light back into my life. We realized that the song's theme was about a friendship like ours. We decided to play the song in our graduation concert.

Though the song is simple, we practiced it very hard. Sometimes we had arguments about small issues. Other times we got tired and wanted to give up. However, the song reminded us of our deep friendship. Our friendship and performance became stronger day by day.

When you are down or in trouble, listen to this song. Trust me. You can remember your close friends, and you will feel better.

### Gist-Reading

1. Scanning: Answer the questions below in English.

Q1. What song does the writer like?

Q2. What is the writer's name?

Q3. When did the writer post this blog?

Q4. How many paragraphs does this blog have?

2. Skimming: Fill in the boxes.

What does Ann write about in each paragraph?

1st	
2nd	
3rd	
4th	
5th	

### Detailed-Reading

(1) True or False?

- ① The lyric of “Stand by Me” are powerful. ( )
- ② The song starts in darkness. ( )
- ③ The writer broke her leg. ( )
- ④ The writer couldn't play the drum for a year. ( )
- ⑤ The writer listened to “Stand by Me” with friends. ( )
- ⑥ The writer and her friends practiced the song very hard because “Stand by Me” us not an easy song. ( )

(2) Answer the questions below in English.

- a. When did the writer break her arm?
- b. How did the writer break her arm?
- c. How did the writer feel at the time she couldn't play the drums because she broke her arm?
- d. Who came to the writer's house?
- e. What did the writer and her friends do in her house?
- f. What is the theme of the song “Stand by Me”?
- g. When did the writer play “Stand by Me”?
- h. When is the best time to listen to “Stand by Me”?

### <Summary>

The writer mentioned the lyrics of “Stand by Me” are         . She suggested that we should listen to this song when we are          or in         . The song reminds us of our          and we will feel better.

My Analysis of Wizard of Oz and “Over the Rainbow”

@annie417

May 5, 2024

The Wizard of Oz by L. Frank Baum and Noel Langley, which was produced in 1939 is categorized in the fantasy genre. This film is a classic. Television broadcasts of The Wizard of Oz began in 1956, which made this film one of America’s all-time favorites.

In this film, young Dorothy Gale, played by Judy Garland, wanders into the magical Land of Oz with her dog, Toto. She befriends a scarecrow, a tin man, and a lion during her journey to Emerald City. There, she and her companions would find the Wizard of Oz, who was supposed to help Dorothy return to her home in Kansas.

I really like the soundtrack, “Over the Rainbow” from this film. In this movie, Dorothy, acted by Judy Garland sings it to tell “the place where she won’t get in to trouble”. She sings as a traditional pop ballad, with a strong and powerful voice. An orchestral music is subtly noticed in the background with piano accompaniment.

First, the timbre of her voice is soft and sweet with a lot of vibratos. In addition, the string and wind instruments have soft tones to give the dreamy feeling. It has a slow rhythm, which was thought to be too slow for the film, at first. However, it is the vocal focus that makes the melody very defining of the character experiencing hope and captures the hearts of the audience.

The lyrics of the song is great too. I personally like the lyrics, “Somewhere over the rainbow, skies are blue, and the dreams that you dare to dream really do come true.” When I get depressed, these lyrics encourage me. The poetic device of this song is good, too. I really like the simile part “Where trouble melts like lemon drops.”

1. What song does the writer introduce?

2. What movie does the writer introduce?

3. What does Ann write about in each paragraph?

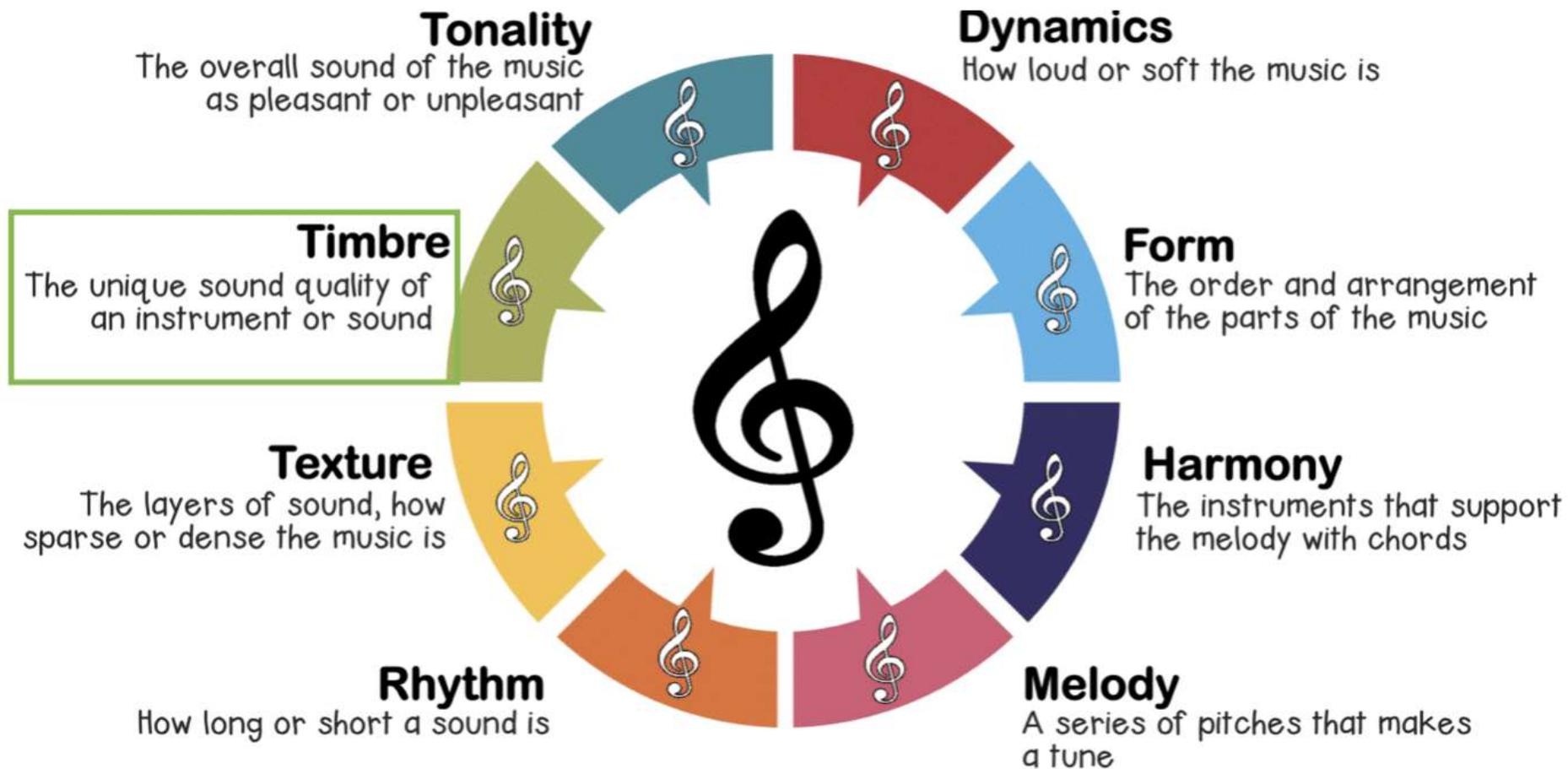
1 <sup>st</sup>	
2 <sup>nd</sup>	
3 <sup>rd</sup>	
4 <sup>th</sup>	
5 <sup>th</sup>	

4. Fill in the table about “Over the Rainbow”

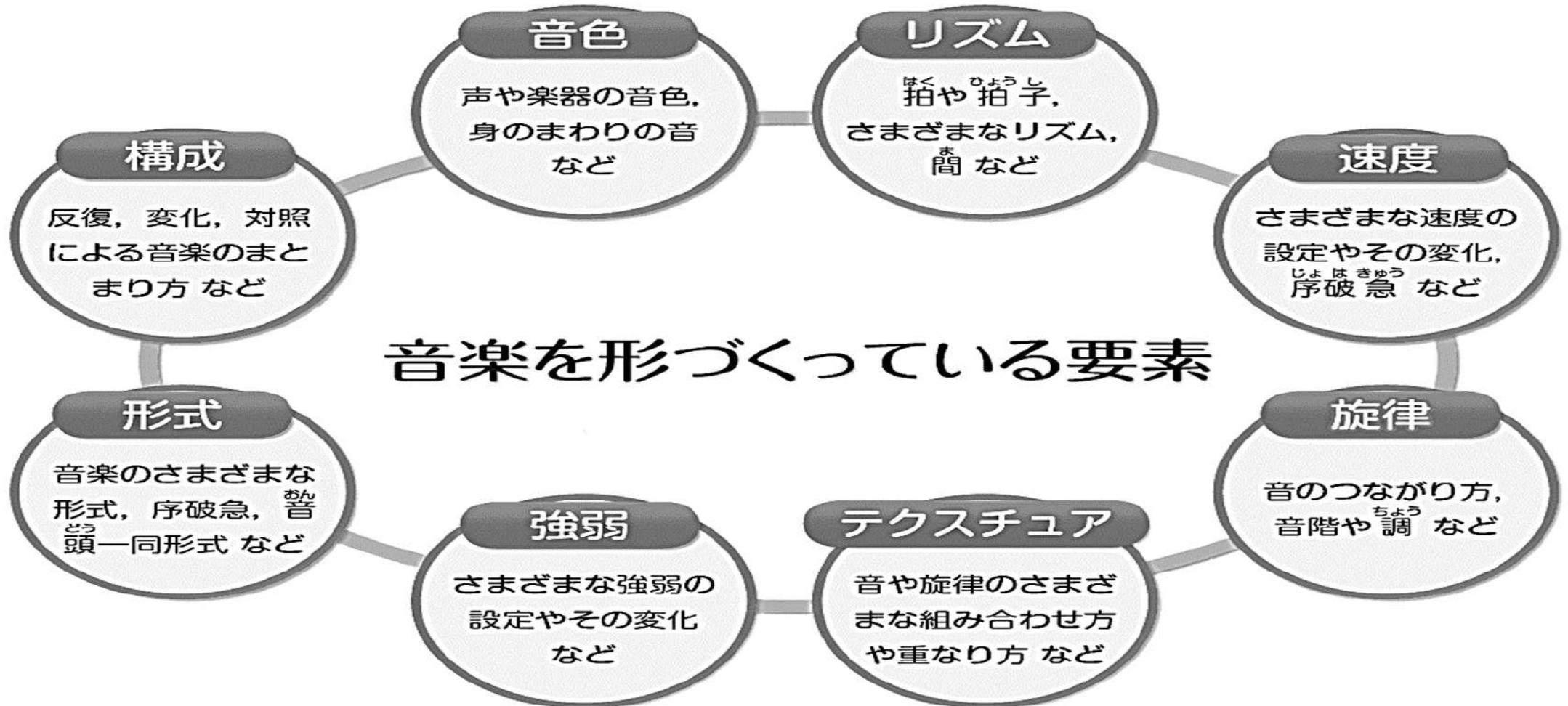
What character sings this song in the film?	
What actor sings this song in the film?	
What is the message of this song?	
What is the genre of this song?	
What musical instrument plays this song?	
What is the timbre of the song?	
What is the rhythm of the song?	

5. Fill in the table about “Wizard of Oz”

# WHAT ARE THE ELEMENTS OF “SOUND”?



# WHAT ARE THE ELEMENTS OF "SOUND"?



## 音色=TIMBRE

timbre	音色	smooth	なめらか
joyful	楽しそう	light	軽い
sharp	鋭い	heavy	重たい
round	丸みがある	reedy	弱い
bright	キラキラしている	raspy	(ギーギーした)不快な
dark	暗い	harsh	荒々しい
flat	平坦な	warm	暖かい

# 旋律 = MELODY

melody↵	旋律↵	ascending scale↵	上昇音階↵
piano↵	ピアノ(soft)↵	descending scale↵	下降音階↵
forte↵	フォルテ(loud)↵	minor↵	短調↵
mezzo piano↵	メゾピアノ(moderately soft)↵	major↵	長調↵
mezzo forte↵	(moderately loud)↵	rhythm↵	リズム↵
crescendo↵	だんだん大きく(gradually getting louder)↵	↵	↵
decrescendo↵	だんだん小さく(gradually getting softer)↵	↵	↵

# 考察

## ●この曲を演奏するポイント

The image shows a musical score with several staves. The first staff has a dynamic marking of *mp* and three vocal lines with lyrics: 1 な ない ろ の た に, 2 う つ く し いう み て, 3 す み れ い ろ し て. The second staff has lyrics: を た こ み ま え た ど て よ で な が れ て て い く た か ぜ の り ポ, な あ ふ れ て て い た よ は な の の ま か ち ど. The third staff has a red box around the lyrics *mf* cre - - - - - scen - - - - - do, with a circled 1 next to it. Below this, there are lyrics: わ に な っ て わ に な っ て. The fourth staff has a red box around a long note with a dynamic marking of *f*, and a circled 2 next to it. Below this, there are lyrics: か け て い っ た よ は る よ, お ど り つ て い た が よ れ, は る の ゆ う ぐ れ. The fifth staff has lyrics: は る よ と か け て い っ た よ, は る よ と か お な い て い た よ. There are green arrows pointing to the right at the bottom of the score.

なぜ、この部分に演奏記号を作曲者がつけたのか？

- ①歌詞にこめられた作詞者の思い
- ②旋律の動き
- ③作曲者の思いや意図



- ④自分は、どのように演奏表現したいと考えているか

# Analysis of "Town of Flower"

1 な ない ろのたに  
2 うつくしいうみて  
3 すみれいろして

を こ え て な が れ て い く か ぜ の り ポ  
を た こ み た で な あ ふ れ て い た か は な の ま ち  
を た こ み た で な あ ふ れ て い た か は な の ま ち

① *mf* cre - - - - - scen - - - - - do

② *f* *mp*

わ に な っ て わ に な っ て

か け て い っ た よ ー は る よ  
お ど っ て い た よ ー は る よ  
は る の ゆ う ぐ れ ー ひ と り

は る よ と か け て い っ た よ  
は る よ と お ど っ て い た よ  
さ び し く な い て い っ た よ

## ~Let's analyze ①~

Why did the composer write the dynamic signs on this part? Think the **composer's thoughts for the song** relating **the hope for the lyrics** and **melodic motion**.

①

Writer's hope in the lyrics	
Melodic motion	
Composer's thoughts for the song	

②

Writer's hope in the lyrics	
Melodic motion	
Composer's thoughts for the song	

## ~Let's analyze ②~

Overall, how do you feel the timbre of this song? How do you feel and why do you think so?



## WHAT LES MISERABLES' "DO YOU HEAR THE PEOPLE SING?" SPEAKS TO US



Are you moved by epic stories of people fighting for their lives for freedom and love? Les Misérables by Tom Hooper and William Nicholson, which was produced in 2012 is categorized in the musical and romance genre. It was first released in Japan in 2012 and it has passed just 11 years since it was released.

### INTRODUCTION OF THE SONG

I really like the soundtrack, "Do you hear the people the sing?" from this film. In this movie, Enjolras, acted by Aaron Tveit, and the other revolutionaries sing this song. The song is a rallying cry for revolution, so it is very powerful and cheers everyone up. The song in this film is usually played with trumpet, drum and flute

### ANALYSIS OF THE SONG

First, the timbre of the song is heavy and sharp and you might think it is sad music at first. However, it powerfully evokes the idea of the decision and resistance of the characters in the film and has a strong rhythm. In addition, the tone of the voice is very deep, giving the audience a sense of grandeur and the importance of believing in myself. Also, the tempo is moderately fast, which adds to the sense of danger and dynamic. When you listen to this song, you may even feel like a soldier fighting for everything!

### SUMMARY

This song is a powerful anthem against injustice. If you feel the need to fight for what you believe in, this song could really give you courage." You will certainly be able to act following your own beliefs.



### STORY LINE OF THE FILM

In this film, Jean Valjean, played by Hugh Jackman, is put in prison for the crime of stealing bread, and after he leaves the prison and meets the generous bishop, he decides to live honestly. And after that, he promised a poor factory worker, Fantine, to take care of her daughter Cosette.

However, Valjean was involved in the June Rebellion in Paris, where Cosette fell in love with a young revolutionary, Marius.

Valjean had to choose between his own safety and the chance to allow Cosette and Marius to be together.

### ANALYSIS OF THE LYRICS

The lyrics of the song are also great. I personally like the "when the beating of your heart echoes the beating of the drums" part. When I first heard the song which was sung by my older sister, I was amazed to find that this song had so much power and encouraged me. I believe that its powerful words and melody have made everyone feel strong.



音楽に時間に平和を訴える曲作りを行う→それをもとにして、歌詞を考える



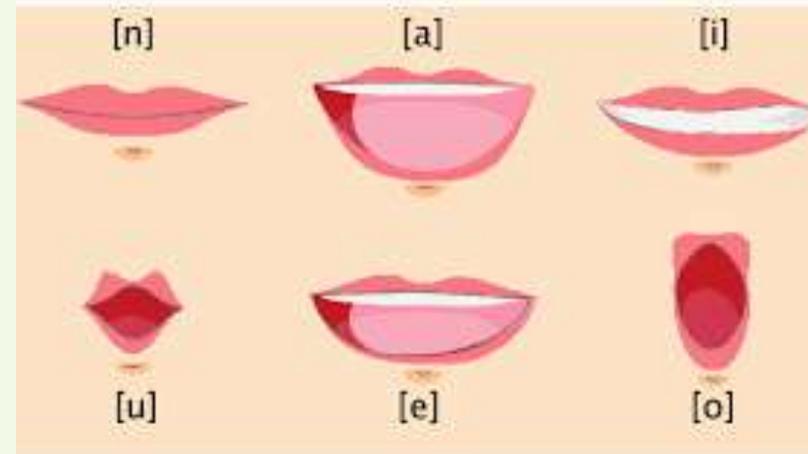
# WHAT IS A SYLLABLE?

- A syllable is a vowel sound in a word
  - VOWELS: A, E, I, O, U (Y)
- All Japanese かな are one syllable
  - キ ラ ン = 3 Syllables
- English syllables are one vowel, and connected consonants (Non-vowel sounds)
  - Ki Ran

# HOW TO COUNT NUMBER OF SYLLABLES IN A WORD

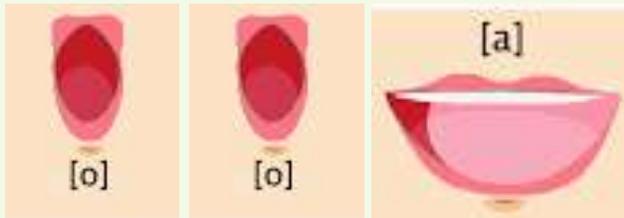
1. Count the number of vowel sounds in a word

Pho to graph



2. Feeling or listening to a word

Pho to graph



3. Checking using a dictionary or database

<https://www.howmanysyllables.com/>

**photograph**

/ 'fou tə ,græf , - ,graf / PHONETIC RESPELLING 🔊 ☆

# photograph

/ 'fou tə ,græf, - ,graf / **PHONETIC RESPELLING**



LET'S COUNT

We are the ones to make a brighter day, so  
let's start giving

# WHAT IS STRESS?

1. Which sentence is the longest?
2. How many “beats” are in each sentence?

Dogs chase cats

Dogs are chasing cats

The Dogs will chase the cats?

## WHAT IS STRESS

- In Japanese, most syllables have the same “stress”

わたしはキランです

- In English, syllables and words have different “stresses”

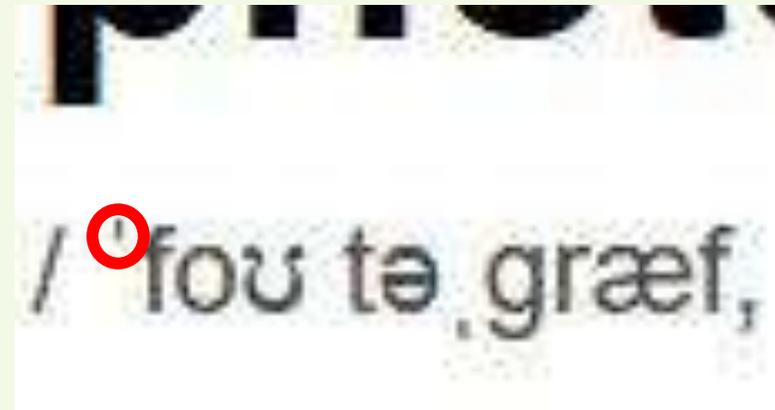
I am Kiran

※ Is the stress the stronger sound or weaker sound?

# HOW TO STRESS

**Pho** to graph

Look it up in a dictionary



MATCHED THE STRESSED SYLLABLE OF  
YOUR LYRIC TO THE 1<sup>ST</sup> AND 3<sup>RD</sup> BEAT

♩ = 80

A musical staff in 4/4 time with a tempo of 80 beats per minute. The staff contains four quarter notes. Above the staff, the numbers 1, 2, 3, and 4 are written in red, indicating the beats. The numbers 1 and 3 are circled in blue, corresponding to the first and third notes on the staff.

twinkle, sunlight, moonlight

書きたいテーマ

【 平和～みんなが  
幸せな世界を作ろ  
う！～】

場所・風景

garden sunlight up so high  
Even the dark night comes, the moon light will  
shine on you  
rainbow up high above us

出来事

ww2 peace War→R.I.P. fighting  
won't bring plus

色・香り・

pink sea  
all the colors gathering

気持ち (比喩を使って)

seeing a twinkle in the sky  
bright sun shining us the sunlight is covering all of us  
We aren't chickens but peace will bring everything.  
But nothing will win against your life

その他

people prays for things believe future  
another place, home, money but nothing wins against your life  
the twilights never come done and so does us  
believe to make this world a better place

# 表現技法

( ) ( ) ( ), oh, ( ) ( ) ( ),  
 Oh, ( ) ( ) ( ) ( ),  
 Stand by me.

僕のそばに居て  
居て  
 僕のそばに居て、僕のそばに居て

If the sky that we look upon,  
 Should tumble and fall,  
 Or the mountain should crumble to the sea.  
 I won't ( ), I won't ( ),  
 No, I won't shed a tear,  
Just as long as you stand,  
 Stand by me.

もし、僕たちが見ている空が崩れて落ちたら  
 山が海の中に崩れ落ちたら  
 僕は泣かない、泣かない  
 いや、涙は流さない  
 ただ、君が僕のそばに居る限りは、そばに居る  
 限りは

And darling, darling,  
 ( ) ( ) ( ), oh, ( ) ( ) ( ),  
 Oh, stand now, stand by me,  
 Stand by me.

ねえ君、僕のそばに居て  
 僕のそばに居て  
居て  
 僕のそばに居て、僕のそばに居て

歌詞の表現技法：反復法 - Refrain

誇張法-hyperbole

Shining through,  
 I see your true ( ),  
 And that's why I love you,  
 So don't be afraid to let them ( ),  
 Your true colors,  
 True colors are beautiful,  
 Like a ( ).

輝きにあふれてる  
 あなたの本当の色が見える  
 だからあなたを愛してる  
 見せることを恐れないで  
 あなたの本当の色を  
 本当の色 美しいわ  
 まるで虹のように

Show me a smile then,  
 Don't be unhappy, can't remember,  
 When I last saw you laughing,

笑顔を見せて  
 不幸せそうにしないで 思い出せないの  
 あなたが笑ったのをいつ最後に見たのか  
もしこの世界があなたを狂わせて  
 限界まで抱え込んでしまったら  
 私を呼んで  
 私がそばにいるから

\*\* If this world makes you crazy,  
 And you've taken all you can ( ),  
 You call me up,  
 Because you know I'll be ( ).

\*\*\* And I'll see your true ( ),  
 Shining through,  
 I see your true ( ),  
 And that's why I love you,  
 So don't be afraid to let them show,  
 Your true ( ),  
 True colors are beautiful,  
 Like a rainbow.

でも私には見えるの あなたの本当の色が  
 輝きにあふれてる  
 あなたの本当の色が見える  
 だからあなたを愛してる  
 だから見せることを恐れないで  
 あなたの本当の色を  
 本当の色 美しいわ

\* repeat

\*\* repeat

True colors, true colors, shining through.

\* repeat

☆歌詞の表現技法：脚韻法・ライム - Rhyme

サビ

*mf*  
Look at the view with water full of holes *f* the wind is swaying me and

*mf*  
fill yo-ur-self one more time this time don't think for your past and look high a-bove the

## 成果と課題

### 成果

- ①さまざまな教材を取り入れることで、だんだんと多角的にものを見ることができるようになり、インタビューテストで、即興の質問に対して即興で論理的に話すことができるようになってきている。
- ②聞き手意識ができるようになった。

課題（知識・技能が習得され活用できているか??）

#### (1) 形成的評価（フィードバック）

ライティングは、ロイロノートで第1稿から提出をさせて、コメントを入れられるが、スピーキングのフィードバックを効果的にするのが難しい（特に個別の発音・イントネーション指導）

#### (2) 語彙について

##### ①同義語の指導

同じ「悪い」でも、badかterribleかawfulか（badを繰り返し使う）

##### ②自動翻訳ツールや生成AIとの関係

## 自動翻訳ソフトやWEB翻訳，生成AIの弊害 とどのように向き合うのか

例1)

私の趣味は，おいしい食べ物を食べることです。

→My hobby is eating delicious food.(生成AI, DeepL)

\*食べることはhobbyではない

例2)

私は昨日トムによく会った

→I saw Tom often yesterday. (生成AI)

\*oftenとyesterday (oftenは習慣や長い期間にわたる頻度では？)

→自分の言いたいことを正しく言えているかどうかを判断できる語彙力は必要

## この後議論したいこと

### (1) 思考力・判断力・表現力を育成する課題

どのようなパフォーマンス課題を取り組んでいるか。おすすめのものがあれば教えてほしい

### (2) 知識・技能の活用

#### ①語彙指導と活用について

文脈にあった語彙を使えるためにはどうすればいいか？

(私は、紙の辞書か電子辞書で、調べたものについては文も一緒にひかえさせている)

#### ②発音・イントネーション指導について

教科書の音読だけでなく、特にイントネーションについてどう個別に指導をしたらよいのか。

本日は、イケトークにご参加いただきありがとうございました。  
 本日使用した Padlet やいただいたリフレクションを共有させていただきます。  
 ぜひ、ご活用ください。  
 話し合いで活用した Padlet

**実践内容に関する意見・感想・質問・疑問 (意見感想は黄色で、質問・疑問は青で)**

生徒だけでなく、保護者も巻き込むという取り組みが新鮮だと思いました。

家庭料や音楽の知識だけ利用するのではなく、実際に自作のレシドからカレールを作ったり曲を作ったりして、まさに「authentic」な教科指導形態になっていると感じました。どの実践も興味深く、ぜひ取り入れてみたいと思いました。

さまざまな実践を紹介いただきましたが、どれも興味深く楽しさを感じました。特に「他教科との連携」を大切に展開されることで、こんなにも子どもの学びが広がるのだと驚きました。ありがとうございました。

先日、小学校英語を見学しました。自分の好きな日本の文化を紹介するというプレゼンを作っているときに、教師が「タブレットを使ってもいいよ」と言うと児童はホッとした様子でgoogle翻訳を使い始めました。あらかじめ用意した日本語からの翻訳なので、小学生が扱うには難しすぎる単語ばかりを並べた文章になっていたし、聞き手も理解できないのでは？と問いました。改めて主語動詞を指摘した文章を自分で作ってみて、そのときにわからない単語や表現が出てきたら知りたい単語を辞書で調べて、その後発音の仕方をタブレットで聞ける、という方法なら、その単語との出会いに意味があり、読解力が向上するかもしれないと先生が文法全般を機能的に理解していたので、どの単語がどの意味で、どの場面でこれから使えるのかという学習は必要ではないと思いました。鼻息先生もなるべく紙の辞書を使うよう指導されているということなので、音響指導もとても大切だと再認識した瞬間でした。

たくさん興味深い実践を聴き、英語科は、教科横断的な授業/アクティビティのアイデアの可能性が無限だということに改めて感じました。学年によってパフォーマンス課題の難易度が変わると思うのですが、どのようなことを意識して設定、判断されているのか気になりました。

机上の学習にとどまらず、実践、unitにまで繋げている方法が興味です。カレールを2回作る、という繰り返しも興味です。生徒が「授業も興味を覚えることはない(から英語を勉強する価値がわからない)」と思うことがありますが、「いや」すぐに必要です。使ったがよ！」と返すことができます。必然性を見出すということですね。

パフォーマンステストは以前は事前に紙やmenu、memoなどで提出させ、チェックしたものを返し、それを生徒は「覚えて」ました。ただ、そうすると、5、6文ほどの自分についてのことでも「見ないと言えない(自信がない)」生徒が多かったです。なので今年の1年生から事前チェックを無くしました。「言ってるよ！」というその場でなんとか言いつける組を褒めたいからです。(テストの後、書いたものをチェックしています)

**各校のパフォーマンス課題の取組み**

(2学期末課題予定)  
 AIの單元では、ロボット作りをさせる予定です。学年教師が日常学習で関わっていることを、ロボット制作委員の立場になってフォローするというもの。途中、ハズレングラフ等として全部画や家の広さ等の追加情報を提示し、必要に合うロボットを設計できればと思っています。

**語彙指導をどうパフォーマンス課題につなげるか**

**スピーキングの形成的評価 (音声)**

ある程度、作ることが出来たら中間発表をすること、その発表で相互評価することなどもおもしろいと思います。実践したわけではないので、新しい様子には言葉もありません。

翻訳を使う生徒が増えたと感じています。「この単語の意味なんだった？」と聞いて「知らん。忘れた。」などの返事が。話す機会を聞く側も分かる単語の活用が必要だと改めて感じました。「相手意識」の観点でも必要だと思っています。

バッククッキングの授業では、早い段階で両手両足をさせて、その中から手元のことを考えさせていたことが印象的でした。失敗を恐れずにトライする生徒が増っているのは素晴らしいと思います。知識技能を他の場面でもかという意味では他教科との連携は重要ですね。学校の規模によっては難しいです。

**公報**  
 賞状を発表ありがとうございました。よく練られた計画のもとに進められた指導だな、と感じました。ここからは質問です。個人別には「思考・判断・表現」の評価は「知識・技能」とは分けて考えるのいうのが妥当であったように理解しています。生成の範囲としては、「思考・判断・表現」の評価に「知識・技能」の使用が言われるべきか？というお考えですか？例えば、評価基準の中に「文法」が含まれていましたが、最初に文法の得り方を教えるということですか？(現在完了を必ず使いますよ、等)  
 これら各部分の理解では「目的、場面、状況」を考えて、それに沿ったような文法事項を授業主が自分から提供し、判断して決定し、それを使って表現するというのが「思考・判断・表現」の評価に値すると考えているのですが、いかがでしょうか。

パフォーマンス課題の評価について教えてください。言語活動では使用する言語材料も生徒に考えさせなければならず、と聞きました。私自身も実際の評価のために使用する言語材料がある程度は教師の方から示すほうがいいとは思っています。言語材料を示すことの是非、また言語材料を示した場合、思考・判断・表現の評価には、適切な文法事項を使っているかどうかについてどのように評価するのについて教えてください。

子どもたちがやってみたいと思うような課題設定の仕方が素晴らしいと思います。外部講師の方や他教科との連携など、念入り丁寧な指導をありがとうございます。子どもたちが目標達成のために、何度も練習する過程も大切にされており、とても勉強になりました。GRASPSを子どもたちと共有するやり方、参考にさせていただきますたいと思います。

分割(基礎/標準/発展)で授業を進めています。個人タスクはまた取り組みやすいですが、グループタスクになると難しいと感じています。

今日は、大変興味深い実践報告をさせていただきありがとうございました。他教科と連携しながら実践することで、よりauthenticな授業になり、生徒がくいついてくる感覚だと感じました。質問ですが、テレビのやり取りが準備をするにあたり、作る前に何か見本を見せるなどなさると思うのですが、どのようなものを提示されたのですか？音聲との連携されていた授業がありました。評価は、音楽と英語のどちらからされるのですか？

目的段階次を明確にしたパフォーマンス課題をできるだけ設定したいと思いつつ悩んでいたもので、GRASPSはなかなか参考にならないと感じました。他教科との連携も期待です。自分が実践するときにハードルが高いと感じてしまう部分はあるのですが、例えば今年でやっている企画立案型のキャリア/体験学習と他の考えなど、工夫次第で取り組める余地はあるが準備をめぐることができました。

小学校の英語担当として、どのように中学校へ移っていきは良いのかということも考えたくて参加させていただきました。Authenticという観点も大切にしたい。学習に取り組みの必要性を感じました。生徒の皆さんが積極的に参加されている様子も印象的でした。

先生が、教科書をうまく料理して、子どもたちにあわせておられると思うのですが、設定されているゴールや状況は、どのようにして考えておられますか？ヒントをもらえるとありがたいです。

グループワークの評価について、グループのメンバーは全て同じ評価にされていますか。グループの中で、活動量やアイデアの量が異なっていることがありませんか？

本日はありがとうございました。昨日初任研でお願いさせていただいたパフォーマンス課題に挑戦、目的のものも学びたいと思い参加させていただきました。印象的だったのは、教科書断片的な学びです。英語の授業で現実の生活との結びつきが難しいなと思っていました。報告をいただけることができました。ゴールや評価基準、ルーブリックの作成から授業作りを行っていくことなどからまずはじめにどう思います。それぞれの活動への目的を明確にして、ただ英語を学ぶだけでなく英語を使って課題に取り組みるような授業展開をできるように取り組んでいこうと思います。

GRASPSという課題設定の仕方について、そもそもゴールなどのように設定するのでしょうか。課題の導入や設定の仕方でも、鼻息先生が工夫されていることなどあれば教えてください。また、1つの課題に対してどれくらいの時間をかけているのでしょうか。本日はありがとうございました。

## 意見・感想・提案

・生徒だけでなく、保護者も巻き込むという取り組みが斬新だと思いました。

家庭科や音楽の知識だけを利用するのではなく、実際に自作のレシピからカレーを作ったり曲を制作したりしていて、まさに” Authentic” な教科横断型授業になっていると感じました。どの実践例も興味深く、ぜひ取り入れてみたいと思いました。

・さまざまな実践を紹介いただきましたが、どれも興味深く楽しさを感じました。特に「他教科との連携」を大切に展開されることで、こんなにも子どもたちの学びが広がるのだなと驚きました。ありがとうございました。

先日、小学校英語を見学しました。自分の好きな日本の文化を紹介するというプレゼンを作っているときに、教師が「タブレットを使ってもいいよ」と言うと児童はホッとした様子で google 翻訳を使い始めました。あらかじめ用意した日本語からの翻訳なので、小学生が扱うには難しすぎる単語ばかりを並べた文章になっているし、聞き手も理解できないのでは？と思いました。せめて主語動詞を意識した文章を自分で作ってみて、そのときにわからない単語や表現が出てきたら知りたい単語を辞書で調べて、その後発音の仕方をタブレットで調べる、という方法なら、その単語との出会いに意味があり、語彙力が向上するかもしれませんが文章全部を機械的に翻訳していたので、どの単語がどの意味で、どの場面でこれから使えるのかという学習にはなっていないと思いました。鳥居先生もなるべく紙の辞書を使うよう指導されているということなので、辞書指導もとても大切だと再認識した瞬間でした。

・”たくさんの興味深い実践例を聴き、英語科は、教科横断的な授業・アクティビティのアイデアや可能性が無限だということを改めて感じました。

学年によってパフォーマンス課題の難易度が変わると思うのですが、どのようなことを意識して設定、判断されているのか気になりました。”

・”机上の学習にとどまらず、実践、action にまで繋げている方法が良いですね。カレーを2回作る、という繰り返しも素敵です。生徒が「将来も英語を使うことはない（から英語を勉強する意義がわからない）」と言うことがありますが、「いや！すぐに必要だよ。使うんだよ！」と返すことができます。必然性を生み出すということですね。パフォーマンステストは以前は事前に紙や sky menu, teams など提出させ、チェックしたものを返し、それを生徒は「覚えて」ました。ただ、そうすると、5, 6文ほどの自分についてのことでも「見ないと言えない（自信がない）」生徒が多かったです。なので今年の1年生から事前チェックを無くしました。「言ってやる！」というその場でなんとか言い切る態度を養いたいからです。（テストの後、書いたものをチェックしています）

・翻訳を使う生徒が増えたと感じています。「この英単語の意味なんだっけ？」と聞いても「知らん。忘れた。」などの返事が…。話す側も聞く側も分かる単語の活用が必要だと改めて感じました。「相手意識」の観点でも必要だと思います。

・パッキングの授業では、早い段階で調理実習をさせて、その中から学んだことを考えさせていたことが印象的でした。失敗を恐れずにトライする生徒が育っているのは素晴らしいと思いました。

知識技能を他の場面でいかすという意味では他教科との連携は重要ですね。学校の規模によっては難しいです。

・貴重な発表ありがとうございました。よく練られた計画のもとに進められた指導だな、と感心しました。ここからは質問です。個人的には「思考・判断・表現」の評価は「知識・技能」とは分けて考えるというのが妥当であったように理解しています。生成の意図としては、「思考・判断・表現」の評価に「知識・技能」の使用が含まれるべき？というお考えですか？例えば、評価基準の中に「文法」が含まれていましたが、最初に文法の縛りを与えるということですか？（現在完了を必ず使いましょう。等）

これまた自分の理解では「目的、場面、状況」を与えて、それに見合うような文法事項を児童生徒自身が自らが思考、判断して決定し、それを使って表現するというのが「思考・判断・表現」の評価に値すると考えているのですが、いかがでしょう。

・パフォーマンス課題の評価について教えて下さい。言語活動では使用する言語材料も生徒に考えさせなければならない、と聞きました。私自身は実際の評価のためには使用する言語材料をある程度は教師の方から示すほうが良いと

は思っていました。言語材料を示すことの是非、また言語材料を示した場合、思考・判断・表現の評価には、適切な文法表現を使っているかどうかについてどのように評価するのかについて教えて下さい。

・子どもたちがやってみたいと思うような課題設定の仕方が素晴らしいなと思いました。外部講師の方や他教科との連携など、念入りに丁寧に中間的な指導を加え、子どもたちが目標達成のために、何度も試行錯誤する過程も大切にされており、とても勉強になりました。GRASPSを子どもたちと共有するやり方、参考にさせていただきたいと思いました。

・分割（基礎／標準・発展）で授業を進めています。個人タスクはまだ取り組みやすいですが、グループタスクになると難しいなと感じています。

・今日は、大変興味深い実践報告をしていただきありがとうございました。他教科と連携しながら実践することで、より authentic な授業になり、生徒がくいついてくる授業だと感じました。

質問ですが、テレビCMやラジオ番組作りをするにあたり、作る前に何か見本を見せるなどをなさると思うのですが、どのようなものを提示されたのですか？

音楽との連携されていた授業がありました。評価は、音楽と英語のどちらもされるのですか。”

・目的場面状況を明確にしたパフォーマンス課題をできるだけ設定したいと思いつつ悩んでいたもので、GRASPSは分かりやすく参考にしたいと思いました。他教科との連携も理想的です。自分が実践するとなるとハードルが高いと感じてしまう部分はあるのですが、例えば今2年生で行っている企画立案型のキャリア体験学習と絡めて考えるなど、工夫次第で取り組める余地はあるか等思考をめぐらすことができました。

・小学校の英語担当として、どのように中学校へ繋げていけば良いのかということを考えて来て参加させていただきました。

Authenticityという視点を大切にされていて、学習に取り組む必然性を感じましたし、生徒の皆さんが積極的に参加されている様子が想像できました。

先生が、教科書をうまく料理して、子どもたちにおろしておられると思うのですか、設定されているゴールや状況は、どのようにして考えておられますか？ヒントをもらえるとありがたいです。

・グループワークの評価について、グループのメンバーは全て同じ評価にされていますか。グループの中で、活動量やアイデアの量が異なっていることがあります。

・本日はありがとうございました。昨日初任研でお伺いさせていただきパフォーマンス課題に触れ、自科目のものも学びたいと思い参加させていただきました。印象的だったのは、教科横断的な学びです。英語の授業で現実の生活との結びつけ方が難しいなと思っていましたが、視野を広げることができました。ゴールや評価基準、ルーブリックの作成から授業作りを行っていくことなどからまずははじめていこうと思います。それぞれの活動への目的を意識して、ただ英語を学ぶだけでなく英語を使って課題に取り組めるような授業展開ができるように取り組んでいこうと思います。

・”GRASPSという課題設定の仕方について、そもそものGやRはどのように設定するのでしょうか。課題の導入や設定の仕方で、鳥居先生が工夫していることなどあれば教えていただきたいです。また、1つの課題に対してどれくらいの時数をかけているのでしょうか。

本日はありがとうございました。

#### 各校のパフォーマンス課題の取り組み

- ・（2学期実践予定…）

AIの単位では、ロボット作りをさせる予定です。学年教師が日常生活で困っていることを、ロボット制作会社の立場になってフォローするというもの。途中、ハプニング要素として金額面や家の広さ等の追加情報を提示し、需要に合うロボットを提供できればと思っています。”

”ある程度、作品ができた頃に中間発表をすることと、その発表で相互評価することかもしれません。

実践したわけではないので、あまり偉そうには言えませんが。

参加者の方からいただいたリフレクションアンケートのご意見、ご感想

下の図は、感想を基に作成したテキストマイニングになります。



①本日の学び（学びが深まったこと、新たな疑問など）

- ・ありがとうございました。
- ・実践報告がとても参考になりました。
- ・パソコンを使って単語や文を考えると、いったん自分で調べて表現してごらん、その後必ずNSか私にその表現がおかしくないか聞いてねと言っております。外国語教室に1人一冊和英辞典を用意しており、それで調べてもいいと伝えております。小学生なので、なかなか知っている、学習した単語で、自分の言いたいことを伝えるのは難しく、パソコン等で調べて自分の言いたいことは、こんな表現があるのかという新たな発見と、さてその表現を使って、伝えたい相手に伝わるのかということの間にジレンマがあるのも事実です。語彙指導の難しさの悩みに共感しました。課題設定のアイデア、たくさん提供していただき、ありがとうございました！楽しかったです！
- ・実践的な授業展開を共有してもらい、今後の授業の参考になりました。ただ、低学力の子をサポートしたくて夏休みなどの長期休業時に来校させても、結局夏休みの課題提出をさせることで精一杯となり、根本的な解決には至りません。いっそ夏休みの宿題を無くしたほうがよいのかと思いつつも、担当教科だけの話ではなく、現実的ではありません。底上げができれば全体の学力も上がり、結果さらにレベルの高い授業もできるかと思いますが。
- 本校でも、夏休みの課題では、ワーク類や単語を出しています。ライティングやスピーキングの課題は、授業中にしか行いません。私は個人的に、夏休みのそういったドリル類の積み重ねも大切だと考えております。
- ・ゴールにつながる課題をいくつも丁寧に設定されていることが素晴らしかったです。
- ・元々想定していましたが、出たり入ったりで、ご迷惑をおかけしました。それでも非常に学びのある催しでした。ありがとうございました。
- ・課題設定の仕方にいつも悩んでいたのが GRASPS を使用した具体例をいくつもお話しいただけてとても参考になりました。

- ・教科横断の視点によって、子どもの学びが広がることを改めて感じました。魅力ある実践をたくさん紹介いただき、小学校ではどんなことができるか、またよく考えようと思いました。
- ・思考判断表現のパフォーマンス評価に、GRASPSが参考になりました。
- ・いろいろな実践を紹介して頂き大変勉強になりました。いかに authentic な英語授業をしていくか、大変参考になりました。
- ・教科横断的な学び、語彙指導について
- ・教職を目指している大学生です。英語科のパフォーマンス課題について、GRASPSに基づいた興味深い実践例を知ることができました。また、生成AIやインターネットが発展し続けている現代ならではの課題・懸念点も認識することができ、今後の大学生活でも知見を広げ検討したいと思いました。
- ・沢山実践例を示していただき、アイデアを得ることができました。家庭科や音楽等他教科とのつながりも興味深かったですが、ラジオ放送やテレビCM作りなど実生活に基づいたパフォーマンス課題はとても素晴らしい案だと思います。有意義な時間になりました。ありがとうございました。
- ・2学期のパフォーマンス課題についていろいろ考えていましたが、このルームからたくさんの「使ってみたい」情報が手に入りました。夏休み中にこの情報を活かしながら教材研究をしていきたいと思います。また、他教科との連携も挑戦してみたいと思います。たくさんの失敗もあると思いますが、PDCAサイクルを大切にしていきたいです。
- ・パフォーマンス活動において、どのような部分が思考判断表現等の項目として考えるべきなのか、また見取り方などについても理解が深まりました。また、現代ではAI技術が発達していますが、どのような場面で使うのかを考えるという視点が得られました。
- ・鳥居先生の実践を聞かせていただき、AUTHENTICITYという考えに基づいた指導を徹底的にされていると感じました。それを実現しているのは、先生のアイディア力であったり、見通す力であったりすると思います。夏休み中にしっかりと今日の学びを自分に落とし込んで、2学期以降の実践に繋げていこうと考えています。



# 不登校課題を抱える生徒支援 ～課題の見える化～

大阪教育大学附属池田中学校

養護教諭 吉田かえで

[yoshida-k14@cc.osaka-kyoiku.ac.jp](mailto:yoshida-k14@cc.osaka-kyoiku.ac.jp)

# 本日の内容



不登校課題  
の現状



課題の  
見える化



本校での  
試行錯誤

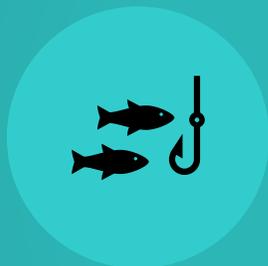


生徒支援

# 本日の内容



不登校課題  
の現状



課題の  
見える化



本校での  
試行錯誤



生徒支援

# 不登校とは

---

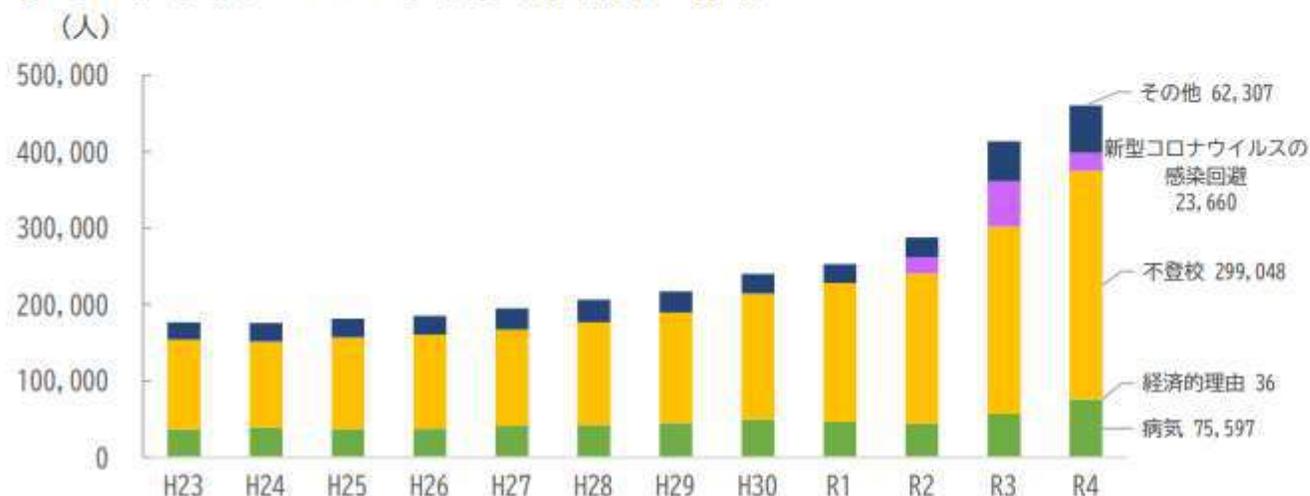
何らかの**心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景**により、**登校しないあるいはしたくてもできない状況**にあるために年間30日以上欠席した者のうち、**病気や経済的理由による者を除いたもの**

不登校問題に関する調査研究協力者会議 設置 平成15年3月に報告 (2003. 10)

# 小・中学校における長期欠席の状況について

- 小・中学校における長期欠席者数は460,648人(前年度413,750人)。
- このうち不登校によるものは299,048人(前年度244,940人)、  
新型コロナウイルスの感染回避によるものは23,660人(前年度59,316人)となっている。

## 小・中学校における長期欠席者数の推移



※ 令和元年度調査までは、年度間に30日以上欠席した児童生徒について調査。

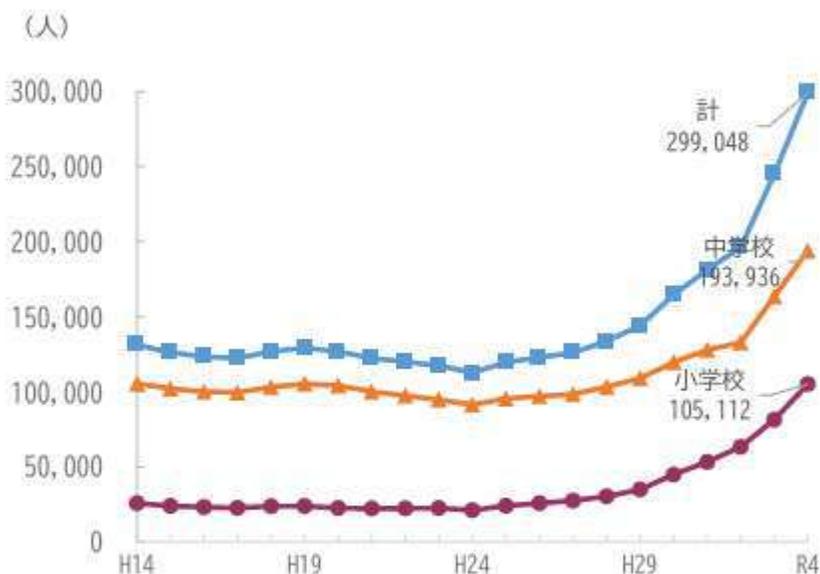
※ 令和2年度調査から「児童・生徒指導要録」の「欠席日数」欄及び「出席停止・忌引き等の日数」欄の合計の日数により、年度間に30日以上登校しなかった児童生徒について調査。

※ 令和2年度調査から、長期欠席の理由に「新型コロナウイルスの感染回避」を追加。

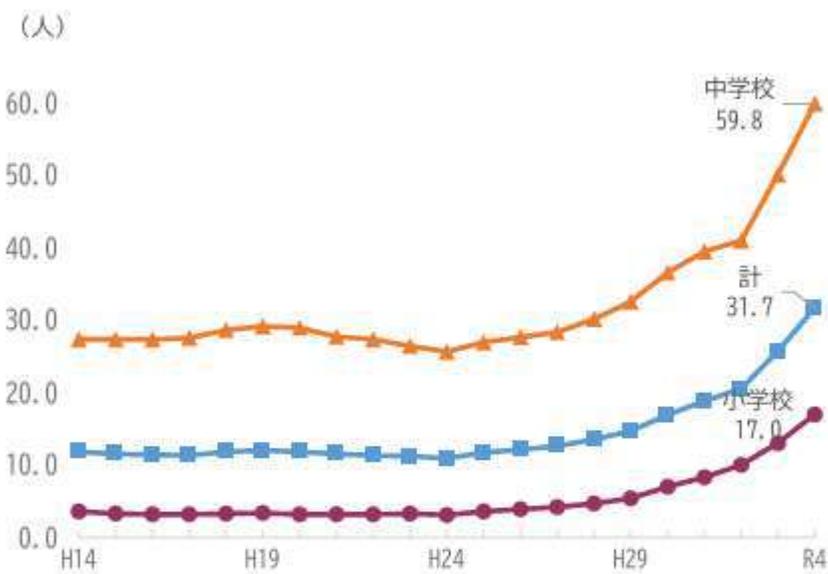
# 小・中学校における不登校の状況について

- 小・中学校における長期欠席者のうち、不登校児童生徒数は299,048人(前年度244,940人)であり、児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数は31.7人(前年度25.7人)。
- 不登校児童生徒数は10年連続で増加し、過去最多となっている。

## 不登校児童生徒数の推移



## 不登校児童生徒数の推移 (1,000人当たり不登校児童生徒数)



## 不登校児童生徒数(上段)と1,000人当たりの不登校児童生徒数(下段)

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
小学校	25,869	24,077	23,318	22,709	23,825	23,927	22,652	22,327	22,463	22,622	21,243	24,175	25,864	27,583	30,448	35,032	44,841	53,350	63,350	81,498	105,112
	3.6	3.3	3.2	3.2	3.3	3.4	3.2	3.2	3.2	3.3	3.1	3.6	3.9	4.2	4.7	5.4	7.0	8.3	10.0	13.0	17.0
中学校	105,383	102,149	100,040	99,578	103,069	105,328	104,153	100,105	97,428	94,836	91,446	95,442	97,033	98,408	103,235	108,999	119,687	127,922	132,777	163,442	193,936
	27.3	27.3	27.3	27.5	28.6	29.1	28.9	27.7	27.3	26.4	25.6	26.9	27.6	28.3	30.1	32.5	36.5	39.4	40.9	50.0	59.8
計	131,252	126,226	123,358	122,287	126,894	129,255	126,805	122,432	119,891	117,458	112,689	119,617	122,897	125,991	133,683	144,031	164,528	181,272	196,127	244,940	299,048
	11.8	11.5	11.4	11.3	11.8	12.0	11.8	11.5	11.3	11.2	10.9	11.7	12.1	12.6	13.5	14.7	16.9	18.8	20.5	25.7	31.7

# 学年別不登校児童生徒数



中学生計  
163,442人

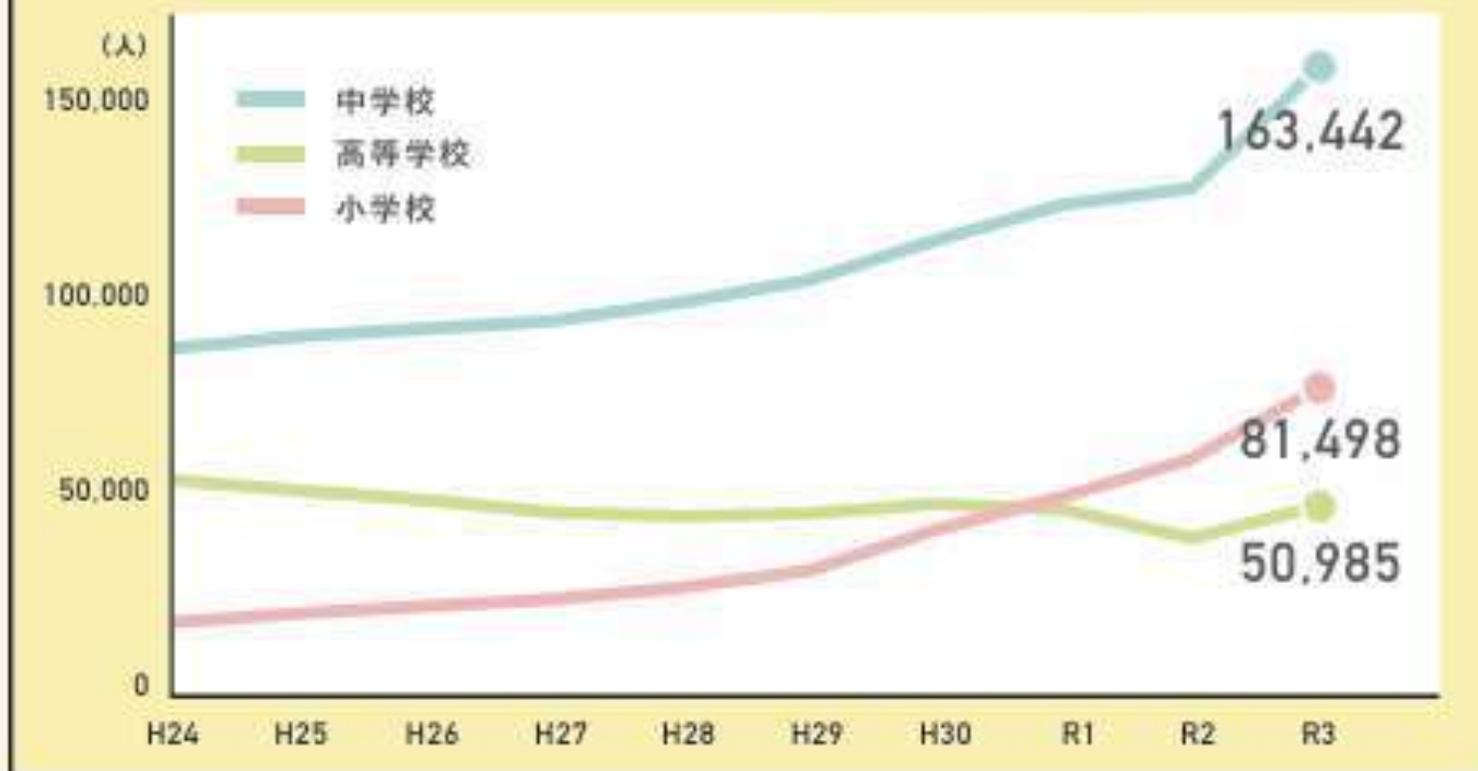
【セット】誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策についてCOCOLOプラン  
令和5年3月

[https://www.mext.go.jp/content/2023\\_0418-mxt\\_jidou02-000028870-cc.pdf](https://www.mext.go.jp/content/2023_0418-mxt_jidou02-000028870-cc.pdf)

## 不登校児童生徒数の推移

不登校の児童生徒の約半数が、長期（年間90日以上）欠席。  
中学校では不登校傾向の生徒が不登校の生徒の3倍との調査も。

※日本財団「不登校傾向にある子どもの実態調査」(H30)



不登校傾向の中学生

163.442人×3

=490.3267人?

【セット】誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策についてCOCOLOプラン

令和5年3月

[https://www.mext.go.jp/content/2023\\_0418-mxt\\_jidou02-000028870-cc.pdf](https://www.mext.go.jp/content/2023_0418-mxt_jidou02-000028870-cc.pdf)

○小・中・高の不登校が約30万人に急増。90日以上の不登校であるにもかかわらず、学校内外の専門機関等で相談・指導等を受けられていない小・中学生が4.6万人に。

⇒不登校により学びにアクセスできない子供たちをゼロにすることを目指し、

1. 不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整える
2. 心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援する
3. 学校の風土の「見える化」を通じて、学校を「みんなが安心して学べる」場所にする

ことにより、誰一人取り残されない学びの保障を社会全体で実現するためのプランを、文部科学大臣の下、とりまとめ。

○今後、こども政策の司令塔であるこども家庭庁等とも連携しつつ、今すぐできる取組から、直ちに実行。また、文部科学大臣を本部長とする「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策推進本部」を、こども家庭庁の参画も得ながら、文部科学省に設置。進捗状況を管理しつつ取組を不断に改善。

### 主な取組

#### 1. 不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整える

仮に不登校になったとしても、小・中・高等を通じて、学びたいと思った時に多様な学びにつながることができるよう、個々のニーズに応じた受け皿を整備。

- 不登校特例校の設置促進（早期に全ての都道府県・指定都市に、将来的には分教室も含め全国300校設置を目指し、設置事例や支援内容等を全国に提示。「不登校特例校」の名称について、関係者に意見を募り、より子供たちの目線に立ったものへ改称）。
- 校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム等）の設置促進（落ち着いた空間で学習・生活できる環境を学校内に設置）
- 教育支援センターの機能強化（業務委託等を通して、NPOやフリースクール等との連携を強化。オンラインによる広域支援。メタバースの活用について、実践事例を踏まえ研究）
- 高等学校等における柔軟で質の高い学びの保障（不登校の生徒も学びを続けて卒業することができるような学び方を可能に）
- 多様な学びの場、居場所の確保（こども家庭庁とも連携。学校・教育委員会等とNPO・フリースクールの連携強化。夜間中学や、公民館・図書館等も活用。自宅等での学習を成績に反映）

### 実効性を高める取組

- エビデンスに基づきケースに応じた対応を可能にするための調査の実施（一人一人の児童生徒が不登校となった要因や、学びの状況等を分析・把握）
- 学校における働き方改革の推進 ○文部科学大臣を本部長とする「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策推進本部」の設置

#### 2. 心の小さなSOSを見逃さず「チーム学校」で支援する

不登校になる前に、「チーム学校」による支援を実施するため1人1台端末を活用し、小さなSOSに早期に気付くことができるようにするとともに、不登校の保護者も支援。

- 1人1台端末を活用し、心や体調の変化の早期発見を推進（健康観察にICT活用）
- 「チーム学校」による早期支援(教師やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、養護教諭等が専門性を発揮して連携。こども家庭庁とも連携しつつ、福祉部局と教育委員会の連携を強化)
- 一人で悩みを抱え込まないよう保護者を支援（相談窓口整備。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが保護者を支援）

#### 3. 学校の風土の「見える化」を通して、学校を「みんなが安心して学べる」場所にする

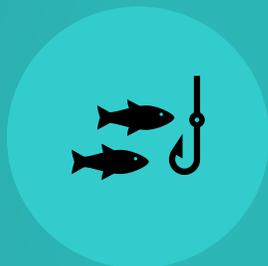
学校の風土と欠席日数には関連を示すデータあり。学校の風土を「見える化」して、関係者が共通認識を持って取り組めるように学校を安心して学べる場所に。

- 学校の風土を「見える化」(風土等を把握するためのツールを整理し、全国へ提示)
- 学校で過ごす時間の中で最も長い「授業」を改善（子供たちの特性に合った柔軟な学びを実現）
- いじめ等の問題行動に対する毅然とした対応の徹底
- 児童生徒が主体的に参画した校則等の見直しの推進
- 快適で温かみのある学校環境整備
- 学校を、障害や国籍言語等の違いに関わらず、共生社会を学ぶ場に

# 本日の内容



不登校課題  
の現状



課題の  
見える化



本校での  
試行錯誤



生徒支援

# 見える化とは？

見える化とは課題解決に向かうこと

- 1 個人の経験や思いによって対応していたことを、支援として共有できる
- 2 見えるようになった物事から、どう課題解決を図るのか
- 3 スタッフが、課題を共有し、組織として行動できるか

子どもの  
SOS

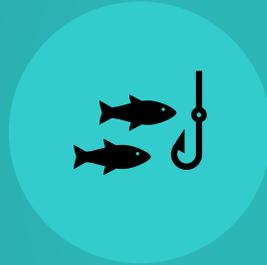
学校風土

- 1 シンプル（情報をしぼる）
- 2 タイムリー
- 3 見やすい
- 4 見たくなる

# 本日の内容



不登校課題  
の現状



課題の  
見える化



本校での  
試行錯誤



生徒支援

# R5の方針

## インクルーシブ 教育の推進

- 学びのユニバーサルデザインUDL
- 課題カレンダー
- 学校風土の醸成

## 情報共有

- データ管理の一元化
- 組織化・意識化

## 個別支援の充実

- チーム学年
- 学び支援シート
- 支援のバリエーション

# ○ R5やってみた×

わかりにくかった

## インクルーシブ 教育の推進

- UDL教員・生徒の評価○
- 課題カレンダー評価低い  
→課題の見える化の代替案
- 学校風土の醸成  
→大きすぎて何から？
- 生徒アンケート→学校生活の困り感  
(学習準備段階・学習活動・音・発表活動・資料作成)

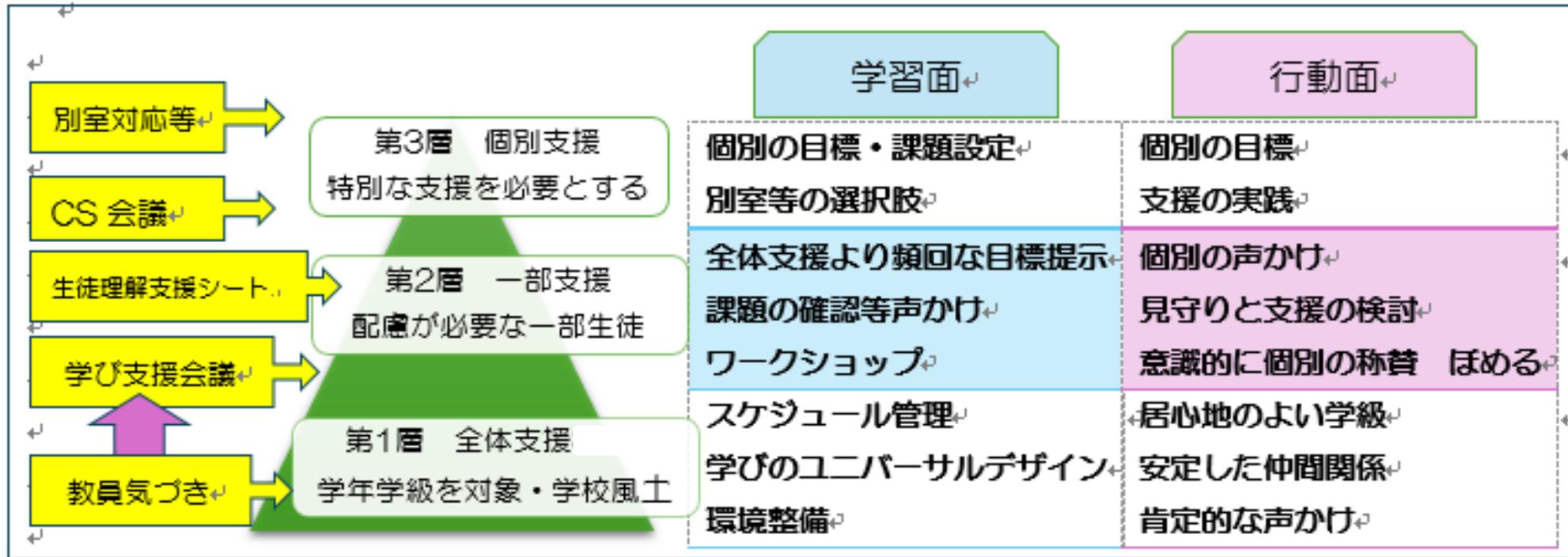
## 情報共有

- データ管理の一元化  
→担当者の技術不足、処理時間不足、共有の目的が明確でなかった。多すぎるデータ。
- 組織化・意識化→支援会議内容が経過報告に偏り。生徒情報共有時間の時間が少ない。職員会議共有内容が明確でない。

## 個別支援の 充実

- 学び支援シートを簡易なもの（負担軽減のため）にしたが、CS会議で内容が深まらなかった。
- 組織体制としての別室支援
- 役割が明確でなかった

# R6学び支援方針



# R6 重点目標

## 【R6 重点目標】

### ① 多層的な支援と役割；

全職員 第1層（85%）への日常的なアプローチ

学び支援 第2層・第3層（15%） 見守り・調整・個別支援計画・チーム支援

### ② チーム支援の充実（学び支援会議の活用）

要支援者の早期発見→アセスメント・支援計画・評価

### ③ 不登校課題を抱える生徒支援の充実

持続可能な本校の在り方を体制化

# 会議の変更

	学び支援会議	学び支援委員会	CS会議	情報共有 (SC)
目的	①生徒及び支援・評価の状況の確認 ②学習活動等学び支援の企画・実施・評価		個別支援に関する評価、目標設定、役割分担	SCとの情報共有により、校内との連携を図る
開催	時間割内 水曜日 4限	臨時 1・2回/学期程度	臨時	水曜日3限
参加者	学年支援 3名 CD 1名	管理職 主席 学年支援 CD	学び支援委員 当該学年団 CD	SC CD (養護教諭)
内容			当該生徒のアセスメント →生徒支援目標・役割の決定	SC支援生徒を中心に、
				担任へのメールを廃止し、TEAMSによる共有へ変更

# R6 1学期

## 第1層 学校風土の見える化

PTA子育て支援講演会 あったかご（欠席者用かご）

生徒アンケート（比較評価しやすいシンプルなもの、安心できる学校か）  
別室利用者 アンケート

## 第2層 情報共有

学び支援会議（1回/週）遅刻欠席状況の週毎確認（ミマモルメシート作成）  
職員会議 → 共有の目的（授業での配慮）

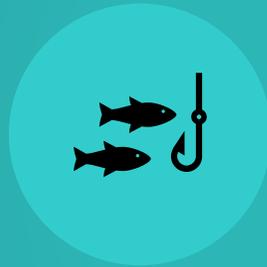
## 第3層 学び支援シート簡易版→生徒理解支援シート（文科省）に変更

対象者の決定→学年会→CS会議（目的の明確化）  
別室体制 別室の利用の手引きの作成 予定カレンダー作成

# 本日の内容



不登校課題  
の現状



課題の  
見える化

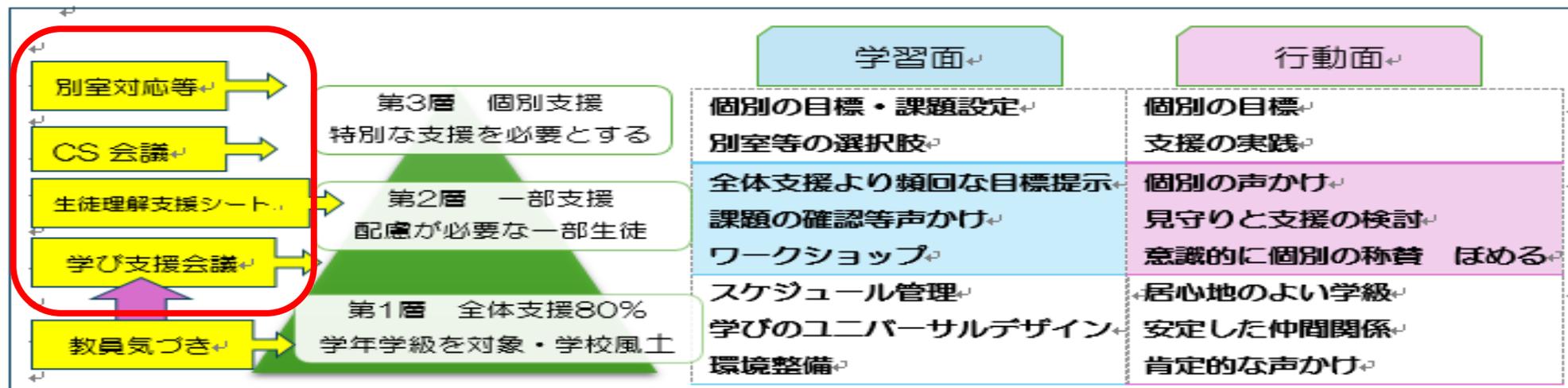


本校での  
試行錯誤



生徒支援

# 1層→2層へのつながりの見える化



本校でも3層へは対応を考えやすい  
 →3層対応になってから支援 →2層対象者支援が希薄（気づきを支援に変換）

# 【最終版】不登校要因調査報告書240507

公益社団法人 子どもの発達科学研究所 浜松医科大学 子どものこころの発達研究センター

文部科学省委託事業  
不登校の要因分析に関する調査研究  
報告書  
  
令和6年3月公表  
  
公益社団法人 子どもの発達科学研究所  
浜松医科大学 子どものこころの発達研究センター

実施数		教師調査		児童生徒調査		保護者調査	
		調査 A	調査 B	調査 A	調査 B	調査 A	調査 B
吹田市 (大阪府)	指定校	1,365	64	1,373	48	(未実施)	11
	その他	(未実施)	522	(未実施)	48	(未実施)	62
府中市(広島県)		8 (未実施)	69	380	11	357	7
延岡市(宮崎県)		5,913	140	5,238	156	2,923	45
山梨県	小中学校	11,785	559	7,796	356	6,498	203
	高校	4,448	70	3,523	76	2,013	21
合計		23,519	1,424	18,310	695	11,791	349

[https://www.mext.go.jp/content/20240322-mxt\\_jidou02-000028870\\_02.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20240322-mxt_jidou02-000028870_02.pdf)

# 調査における不登校の関連要因の分類

---

- きっかけ要因：動的要因→積極的支援の介入・支援の対象
- 背景要因：静的要因→変化が難しいもの (Gubbels et al., 2019)
- 保護因子：不登校のリスクを軽減しうる要因 (Ulaş & Seçer, 2024)

[https://www.mext.go.jp/content/20240322-mxt\\_jidou02-000028870\\_02.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20240322-mxt_jidou02-000028870_02.pdf)

## 「きっかけ要因」について（児童生徒回答）

質問項目	不登校でない児童生徒	R4不登校の児童生徒	違い (オッズ比)	オッズと95%信頼区間
いじめ被害	15.0%	26.2%	2.00	
いじめ加害	8.7%	2.6%	0.28	
いじめ以外の友人関係のトラブル	16.6%	24.8%	1.66	
仲の良い友だちがいない	7.4%	19.9%	3.13	
先生と合わなかった	14.3%	35.9%	3.35	
先生から厳しく怒られた、体調があった	7.5%	16.7%	2.45	
授業が分からない	35.4%	47.0%	1.62	
授業が簡単すぎた	11.3%	7.2%	0.61	
成績が下がった	41.6%	37.9%	0.86	
宿題ができない	24.5%	50.0%	3.08	
将来の進路の悩み	36.1%	27.0%	0.66	
部活動の問題	19.4%	19.0%	0.97	
学校の決まりのこと（制服・給食・行事等）	13.8%	38.6%	3.94	
入学、進級、転校など	7.0%	24.9%	4.40	
声や音がうるさい、いやなおい	23.7%	40.3%	2.17	
インターネット、ゲームの影響	22.9%	42.3%	2.47	
学校とは違ったこと（遊び）をしたい	22.0%	30.3%	1.54	
からだの不調	34.0%	68.9%	4.29	
気持ちの落ち込み、いらいら	49.2%	76.5%	3.35	
朝起きられない、夜眠れない	36.4%	70.3%	4.13	
家での生活がかわった	3.8%	9.3%	2.57	
親のこと（親と仲が悪いなど）	15.9%	27.3%	1.99	
家族の世話や家事	7.7%	7.2%	0.94	

### （3）児童生徒回答からわかる不登校の関連要因

不登校でない児童生徒本人（15,191名）と、R4不登校の児童生徒本人（239名）の回答

不登校でない児童生徒には「あなたは前の学年の1年間、学校や家で、次のようなときに、つらいと感じたことはありましたか。」と質問

R4不登校の児童生徒には「あなたが最初に学校に行きづらい、休みたいと感じ始めたとき、学校や家で、次のようなときに、つらいと感じたことはありましたか。」

※違い（オッズ比）の推定は、ロジスティック回帰分析（単回帰分析）による。

ここでのオッズ比は、値が大きいほど、よりR4不登校との関連の程度が大きい（R4不登校児童生徒において、より回答割合が高い）ことを示す。

オッズ比のマーカーについて、グレーは不登校でない児童生徒と不登校の児童生徒の回答に統計的な有意差がないことを示し、青は不登校の児童生徒の方が、有意に回答割合が低いこと、赤は不登校の児童生徒の方が、有意に回答割合が高いことを示す。

### (教師回答)

不登校と関連がみられた要因	不登校と関連がみられなかった要因
友達と関わることが少ない、学業の不振、 <b>成績の低下</b> 、宿題ができていない等、進路に関わる不安や問題、部活動等におけるトラブル、 <b>制服・給食・行事等への不適応</b> 、入学・転編入学・進級時の不適応、 <b>ゲーム・スマホへの依存・依存傾向</b> 、あそび・非行、体調不良の訴え、 <b>不安・抑うつ</b> の訴え、学校での居眠り等、家庭の生活環境の急激な変化、親子の関わり方、家庭内の不和、学校・家庭外でのトラブル、特別な教育的支援ニーズ、発達障がいの診断・疑い、身体的疾患・障がい・睡眠障害の診断・疑い、 <b>心理・精神的な問題の診断・疑い</b> 、 <b>感覚過敏</b> 、性自認等の違和感、要対協・要保護・準要保護対象者、家族の介護・介助、ひとり親・共働き家庭、 <b>きょうだいの不登校</b>	いじめ被害、友人関係トラブル、教職員との反抗・反発、教職員とのトラブル・叱責等、外国籍等

### (児童生徒回答)

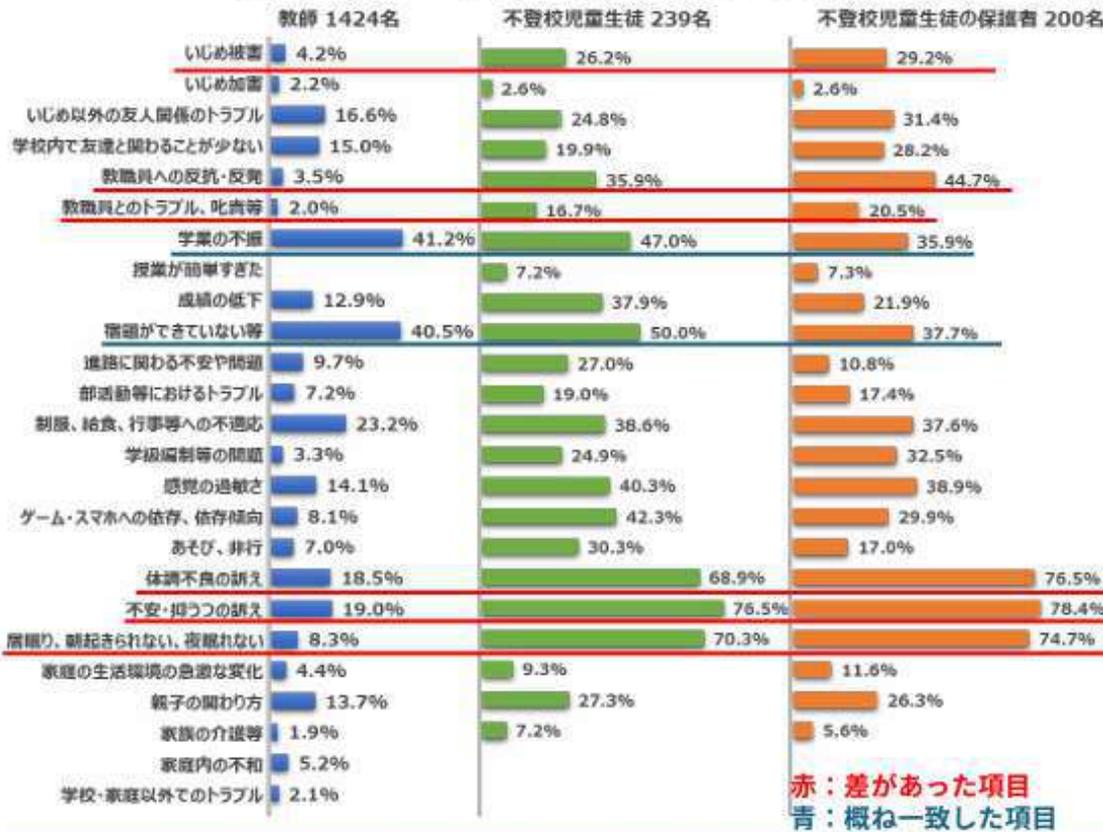
不登校と関連がみられた要因	不登校と関連がみられなかった要因
いじめ被害、いじめ以外の友人関係トラブル、 <b>仲の良い友達がい</b> ない、 <b>先生と合わな</b> かった、先生から厳しく怒られた・体罰、授業が分からない、 <b>宿題が</b> できない、 <b>学校の決まりのこと</b> （制服・給食・行事等）、 <b>入学・進級・転校</b> など、声や音がうるさい・いやなにおい、インターネット・ゲームの影響、学校とは違ったこと（遊び）をしたい、 <b>からだの不調</b> 、 <b>気持ちの落ち込み・いら</b> いら、 <b>夜眠れ</b> ない・ <b>朝起き</b> られない、家での生活が変わった、親のこと（親と仲が悪いなど）	授業が簡単すぎた、成績が下がった、クラブ活動・部活動の問題、家族の世話や家事

※太字はオッズ比が特に大きいもの

[https://www.mext.go.jp/content/20240322-mxt\\_jidou02-000028870\\_02.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20240322-mxt_jidou02-000028870_02.pdf)

# (1) 不登校の関連要因について

## きっかけ要因に関する教師・児童生徒・保護者の回答の比較



教師が令和4年度不登校として報告し、かつ児童生徒も年間欠席30日以上と回答した239名、および保護者も年間欠席30日以上と回答した200名の結果を記載。「学業の不振」、「宿題の提出」については、三者の回答割合が比較的近い値であった。一方、「いじめ被害」、「教職員への反抗・反発」、「教職員からの叱責」等については、教師と児童生徒・保護者の回答割合に違いがみられた。また、「体調不良」、「不安・抑うつ」、「居眠り、朝起きられない、夜眠れない」といった心身不調・生活リズム不調については、児童生徒や保護者は約7~8割が回答しているのに対し、教師の回答割合は2割弱と低かった。

## 教師回答による不登校児童生徒と不登校でない児童生徒の違い

質問項目	不登校でない児童生徒	R4不登校の児童生徒	違い (オッズ比)
いじめ被害	3.9%	4.2%	1.09
いじめ加害	3.8%	2.2%	0.56
いじめ以外の友人関係のトラブル	15.9%	16.6%	1.05
学校内で友達と関わることが少ない	2.9%	15.0%	5.97*
教職員への反抗・反発	2.6%	3.5%	1.35*
教職員とのトラブル、叱責等	1.7%	2.0%	1.21
学業の不振	11.7%	41.2%	5.26*
成績の低下	1.5%	12.9%	9.93*
宿題ができていない等	11.1%	40.5%	5.44*
進路に関わる不安や問題	1.7%	9.7%	6.20*
部活動等におけるトラブル	2.6%	7.2%	2.88*
制服、給食、行事等への不応	1.5%	23.2%	20.40*
入学、転編入学、進級時の不応	0.5%	3.3%	6.44*
ゲーム・スマホへの依存、依存傾向	0.8%	8.1%	10.95*
あそび、非行	1.5%	7.0%	5.06*
体調不良の訴え	4.5%	18.5%	4.80*
不安・抑うつ	2.3%	19.0%	9.75*
学校での居眠り等	4.8%	8.3%	1.80*
家庭の生活環境の急激な変化	1.7%	4.4%	2.74*
親子の関わり方	2.3%	13.7%	6.65*
家庭内の不和	1.0%	5.2%	5.38*
学校・家庭以外でのトラブル	0.8%	2.1%	2.67*
特別な教育的支援のニーズ	5.8%	20.8%	4.27*
発達障がい診断・疑い	5.3%	20.6%	4.64*
身体的疾患・障がい、睡眠障害の診断・疑い	1.8%	10.0%	5.98*
心理・精神的な問題の診断・疑い	1.5%	12.3%	9.12*
感覚過敏・純麻	1.8%	14.1%	9.00*
外国籍、重国籍、日本語以外	1.4%	1.1%	0.74
要対協、要保護、準要保護	0.5%	2.0%	4.31*
性自認、性的指向、性表現の違和感	4.7%	11.7%	2.67*
家族の介護・介助	0.7%	1.9%	2.67*
ひとり親・共働き家庭	3.8%	18.2%	5.57*
きょうだいの不登校	1.8%	27.7%	20.37*

## 児童生徒本人回答による不登校児童生徒と不登校でない児童生徒の違い

質問項目	不登校でない児童生徒	R4不登校の児童生徒	違い (オッズ比)
いじめ被害	15.0%	26.2%	2.00*
いじめ加害	8.7%	2.6%	0.28*
いじめ以外の友人関係のトラブル	16.6%	24.8%	1.66*
仲の良い友だちがいない	7.4%	19.9%	3.13*
先生と合わなかった	14.3%	35.9%	3.35*
先生から厳しく怒られた、体罰があった	7.5%	16.7%	2.45*
授業が分からない	35.4%	47.0%	1.62*
授業が簡単すぎた	11.3%	7.2%	0.61
成績が下がった	41.6%	37.9%	0.86
宿題ができない	24.5%	50.0%	3.08*
将来の進路の悩み	36.1%	27.0%	0.66*
部活動の問題	19.4%	19.0%	0.97
学校の決まりのこと(制服・給食・行事等)	13.8%	38.6%	3.94*
入学、進級、転校など	7.0%	24.9%	4.40*
声や音がうるさい、いやなおい	23.7%	40.3%	2.17*
インターネット、ゲームの影響	22.9%	42.3%	2.47*
学校とは違ったこと(遊び)をしたい	22.0%	30.3%	1.54*
からだの不調	34.0%	68.9%	4.29*
気持ちの落ち込み、いらいら	49.2%	76.5%	3.35*
朝起きられない、夜眠れない	36.4%	70.3%	4.13*
家での生活がかわった	3.8%	9.3%	2.57*
親のこと(親と仲が悪いなど)	15.9%	27.3%	1.99*
家族の世話や家事	7.7%	7.2%	0.94

\*統計的に有意 (p<.05)

青：教師・児童生徒ともに不登校との関連がみられた項目

赤：教師のみで関連がみられた項目

緑：児童生徒のみで関連がみられた項目

※どちらか一方でしか該当していないものは除く

## (1) 不登校の関連要因について

**【いじめ被害及び友達とのトラブルの予防】** 児童生徒回答では、不登校の児童生徒の26.2%がいじめ被害を訴えている（不登校でない児童生徒は15.0%）。また、不登校の児童生徒で「いじめ以外の友人関係のトラブル」を訴えている者は24.8%（不登校でない児童生徒は16.6%）であり、友人関係の問題は不登校のリスクを高めると考えられる。いじめや友達関係トラブルが起きにくい集団作り、対人スキルを学ぶ機会の提供が重要であり、集団に馴染めず、孤立している児童生徒に対して早期に支援することが不登校の予防として必要である。

**【教師の行動、学校風土の改善】** 児童生徒回答において、不登校の児童生徒は「先生から厳しく怒られた・体罰」が16.7%（不登校でない児童生徒は7.5%）、「先生と合わなかった」が35.9%（不登校でない児童生徒は14.3%）であり、教師の態度や指導方法が不登校の要因になっている可能性がある。また、児童生徒回答・教師回答ともに、「学校のきまり（制服・給食・行事等への不適応）」が不登校と関連している（オッズ比：児童生徒3.94、教師20.40）。こうした学校のルール設定、活動の設定、教師の態度や指導方法は、学校風土を形作る要素である。学校風土の向上は不登校の予防につながるものであり、COCOLOプランで述べられている学校風土の見える化、校則等の見直しの推進、快適で温かみのある学校としての環境整備などが必要である。

**【授業改善、学習支援の充実】** 「学業の不振」「宿題の提出」は、教師・児童生徒・保護者の三者でほぼ一致して回答割合が高かった。児童生徒回答では、不登校の児童生徒の47.0%が「授業がわからない」、37.9%が「成績が下がった」、50.0%が「宿題ができない」と回答している。加えて、不登校でない児童生徒についても成績が下がったと感じている児童生徒が多く、授業改善や学習支援の充実は不可欠であろう。

**【児童生徒の体調、メンタルヘルス、生活リズムへの注目】** 児童生徒回答では、「からだの不調」「気持ちの落ち込み・いらいら」「夜眠れない・朝起きられない」といった体調、メンタルヘルス、生活リズムの不調が、それぞれ不登校の児童生徒の7割前後に見られた。一方、それらが2割未満であった教師回答から考えると、教師には児童生徒の不調を正確に捉えることは難しいかもしれない。よって、デジタル端末の活用など、児童生徒の不調に早期に気づく仕組みが必要である。ただし、デジタル端末等を利用した児童生徒の心や体調の変化に気づく仕組みは、それを活用する教師の知識と支援体制が伴わなければならない。

**【背景要因へのアプローチ】** 教師回答によると、発達特性、障がい、家庭の困難さなどが不登校と関連することが明らかになった。これらは、合理的配慮、特別支援教育をはじめとする、長期間の継続的支援が必要なものである。こうした要因をもつ児童生徒が多く不登校になっている場合、その学校、地域における特別支援教育の在り方、支援システムの構築、保護者への支援について検討が必要であろう。

## (2) 無気力・不安群について

教師回答から、教師が把握可能な要因が明らかでない場合に「無気力・不安」を主たる要因として報告されている可能性が示唆された。

一方で、教師回答による「不安・抑うつ」の訴えや児童生徒回答による「気持ちの落ち込み・いらいら」の割合は「無気力・不安」群とそれ以外の群で変わらず、メンタルヘルスの問題の有無によって分けられている訳ではないことが示唆された。

## (3) 相談・指導等を受けていないと報告された不登校の児童生徒の状況

相談・指導等を受けていないと報告された児童生徒は、受けたと報告された児童生徒と比較して、「学業不振」や「宿題の問題」が多くみられた。学業不振等がある不登校になっている児童生徒の中には、勉強が分かったり、宿題をうまくこなせたりすることで再登校が可能になる場合もあると考えられるため、不登校時の相談・指導は非常に重要であろう。

また、相談・指導等を受けていないと報告された児童生徒は「要対協・要保護」「ひとり親・共働き」といった家庭的な背景要因をもつ割合が高く、相談・指導が届きにくい可能性があり、注意が必要である。

# 調査から見える不登校課題の背景

- ① 不登校の課題の有無に関わらず、成績に関する回答は高い。  
不登校の生徒は**宿題や授業内容がわからないとの回答** → 学習支援の充実
- ② いじめ**以外**の**友人関係のトラブル**を訴える → 友人関係が不登校のリスク↑  
→ 集団作り、対人スキル学ぶ機会と孤立している生徒の支援
- ③ **教師の態度や指導方法**が要因となっている可能性 学校風土に教師の態度が含まれる  
→ 快適で温かい学校風土 学校の決まり
- ③ **体調・メンタルヘルス**は教師が不調を正確にとらえることは難しい  
→ 心身の変化に気づく仕組み→デジタルツール
- ④ 発達特性障がい家庭の**困難さ**が不登校と関連 → 支援システムの見直し

# 状態把握のためのデータとは？

## 調査から見える視点

---

- ① 友人関係・孤立
- ② 学校の決まりや行事への不適應がないか
- ③ 教職員との関係
- ④ 学習状況
- ⑤ 心身の不調（日々の観察）
- ⑤-2 保健室利用・遅刻・欠席
- ⑥ 発達特性・障がい
- ⑦ 家庭の養育状況（服装・食事等）

# スクリーニング

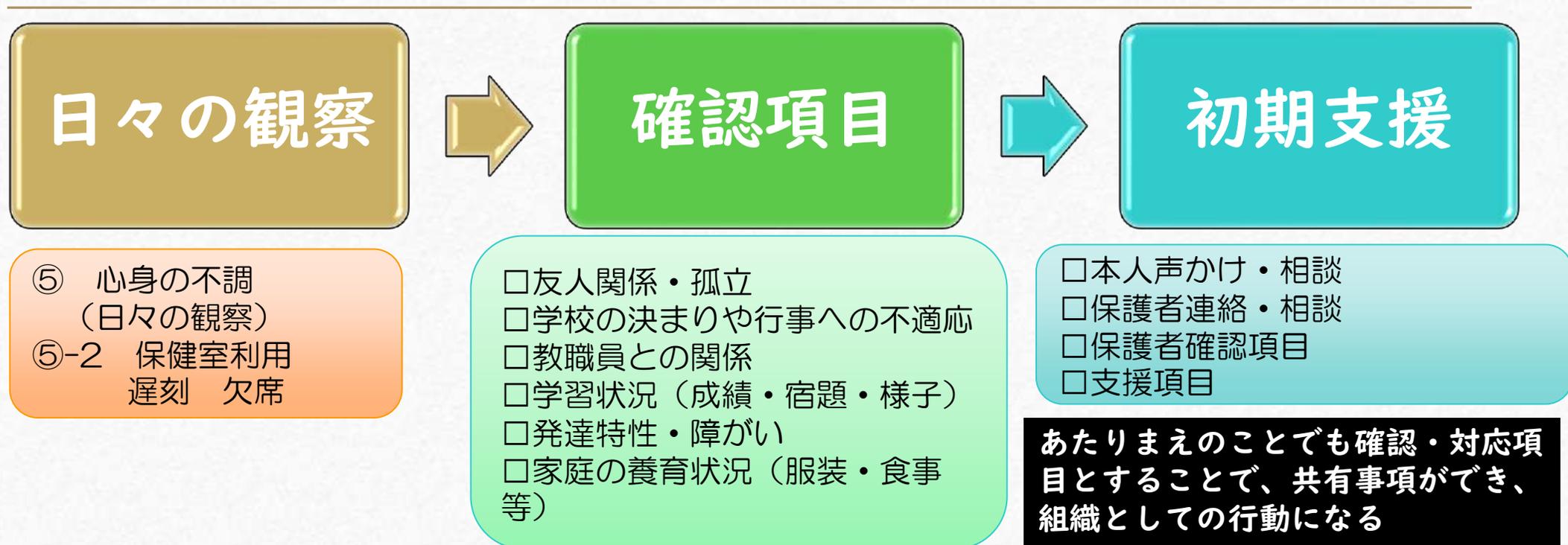
---

シンプル

タイムリー

事実

# スクリーニング～支援への手順



# 1人1台端末を活用した健康観察・教育相談システム一覧



## 1人1台端末を活用した心や体調の変化の早期発見を推進

**趣旨**

- こどもの自殺対策緊急強化プラン（令和5年6月2日） 1人1台端末の活用等により、自殺リスクの把握や適切な支援につなげるため、有償・無償で利用できるシステムやその活用方法、マニュアル等を整理・作成し、全国の教育委員会等に周知し、全国の学校での実施を目指す。
- 誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）（令和5年3月31日） 1人1台端末を活用した心や体調の変化の早期発見を推進とされており、これらを踏まえ、1人1台端末を活用した児童生徒の心や体調の変化の早期発見や適切な支援につなげるためのシステム・マニュアル等について、下記の通り整理した。

**無償**

会社名	システム名	機能	機能詳細
Google	Google フォーム	健康観察 相談窓口	・アンケート機能（健康観察に活用） ・記述式アンケート機能等を用いた相談窓口 ・リンク、QRコード、メールによるフォームの共有 ・Google スプレッドシート等へのデータのエクスポート ・Google Apps Script を利用したアラート機能等の実装
Google	Looker Studio (Google Looker Studio in a minute YouTube)	データの可視化	・Google スプレッドシート等のデータソースから表やグラフ等を作成し、データを可視化 ・データの自動更新や様々なフォーマットのグラフにより、多様な角度からの迅速な分析が可能に
Microsoft	Microsoft Forms	健康観察 相談窓口	・アンケート機能（健康観察に活用） ・記述式アンケート機能等を用いた相談窓口 ・リンク、QRコード、メールによるフォームの共有 ・Microsoft Excel へのデータのエクスポート ・Microsoft Excel のマクロによるアラート機能
Microsoft	Reflect (Microsoft Teams for Education) Reflect - YouTube	健康観察	・既存の質問項目を選択して、アンケートを簡単に作成 ・文字だけでなくキャラクターを使った選択肢 ・健康観察等に特化した、Microsoft Forms をより簡単に利用

**有償**

会社名	システム名	料金（生徒1人あたり月額）※	機能	機能詳細（他の機能含む）
一般社団法人 RAMPS	RAMPS (RAMPS オンライン)	18,000円（消費税別） 1ヶ月あたり1,500円（消費税別）	健康観察 相談窓口	自校に1人1台端末の導入が前提のスクリーニング指標を中心とした構成（国内の研究知見を参考に）1次検査は子どもがゲームで10分以内で完了。2次検査では教員が端末の画面を操作して行う問診（自校に1人1台端末の導入が前提）1次検査の結果、1週間以内の相談実施。学年全体での相談実施と連携して行う。データ分析・可視化・自動レポート作成機能の実装。日報以上の高まる時期や学校の個別傾向等をグラフで可視化。毎年実施の調査と連携した2次元、請求・発行有償版を全国の学校で8年間の教育現場への導入実績
公益社団法人 子どもの発達科学研 実用	アイトゥ（アイトゥ 健康観察） アイトゥ（アイトゥ 相談窓口）	12,000円（消費税別） 1ヶ月あたり1,000円（消費税別）	健康観察 相談窓口	・毎月10程度の頻度で入力して、子どもの心身の状態を把握し、必要な支援や早期対応が可能 ・研究に基づいた10項目のスクリーニング項目を基に、児童の心身の状態を把握し、必要に応じて支援策を提示 ・「相談窓口」として、児童の心身の状態を把握し、必要に応じて支援策を提示 ・アイトゥ（アイトゥ 健康観察）と連携し、多面的なアセスメントを実施。子どもの心身の状態を把握する（EBSアセスメント）と併用することで、子どもの心身の状態についてより深く把握し、また、子どもの心身の状態を把握し、必要に応じて支援策を提示 ・アイトゥ（アイトゥ 健康観察）と連携し、多面的なアセスメントを実施。子どもの心身の状態を把握する（EBSアセスメント）と併用することで、子どもの心身の状態についてより深く把握し、また、子どもの心身の状態を把握し、必要に応じて支援策を提示
公益社団法人 子どもの発達科学研 実用	SDV 健康観察 相談窓口	10,000円（消費税別） 1ヶ月あたり800円（消費税別）	健康観察 相談窓口	・早期発見とモニタリングを目的とした科学的根拠に基づいたスクリーニング ・各多岐のフィードバックシートで、児童の心身の状態を把握し、必要に応じて支援策を提示 ・科学的根拠に基づいたスクリーニング項目を基に、児童の心身の状態を把握し、必要に応じて支援策を提示 ・子どもたちの回家後すぐに相談実施を促すことで、早期介入を実現。変化を察知 ・科学的根拠に基づいたスクリーニング項目を基に、児童の心身の状態を把握し、必要に応じて支援策を提示 ・子どもたちの回家後すぐに相談実施を促すことで、早期介入を実現。変化を察知 ・科学的根拠に基づいたスクリーニング項目を基に、児童の心身の状態を把握し、必要に応じて支援策を提示

1人1台端末を活用した健康観察\_教育相談システム一覧 令和5年7月

[https://www.mext.go.jp/content/20231120-mxt\\_jidou02-000032767\\_03.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20231120-mxt_jidou02-000032767_03.pdf)

## 参考資料

掲載ページ	年	発行元	名称	URL
5.6	20231004	文部科学省	令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20231004-mxt_jidou01-100002753_2.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20231004-mxt_jidou01-100002753_2.pdf</a>
7.8.9	20230331	文部科学省	【セット】誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策について COCOLOプラン	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20230418-mxt_jidou02-000028870-cc.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20230418-mxt_jidou02-000028870-cc.pdf</a>
31	20230331	文部科学省	1人1台端末を活用した健康観察_教育相談システム一覧	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20230808-mxt_jidou02-000028870_11.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20230808-mxt_jidou02-000028870_11.pdf</a>
	20230331	文部科学省	【別添2】学校風土の把握ツール	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20230801-mxt_jidou02-000028870_8.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20230801-mxt_jidou02-000028870_8.pdf</a>
	20230331	文部科学省	緊急対策パッケージ231020保護	<a href="https://www.mext.go.jp/content/000258018.pdf">https://www.mext.go.jp/content/000258018.pdf</a>
21.22.23.24	20240527	文部科学省	【最終版】不登校要因調査報告書240507	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20240322-mxt_jidou02-000028870_02.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20240322-mxt_jidou02-000028870_02.pdf</a>
25.26	202403	文部科学省	【最終版】不登校要因調査報告書 概要版_2404	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20240322-mxt_jidou02-000028870_01.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20240322-mxt_jidou02-000028870_01.pdf</a>
	20231016	文部科学省	資料2 いじめ・不登校対策に関する取組	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20231016-mxt_jidou02-000028870_003.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20231016-mxt_jidou02-000028870_003.pdf</a>
	20231117	文部科学省	不登校児童生徒への支援に対する基本的な考え方（別紙）	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20231120-mxt_jidou02-000032767_01.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20231120-mxt_jidou02-000032767_01.pdf</a>
	20231117	文部科学省	不登校児童生徒等の学び継続事業（別添1）	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20231120-mxt_jidou02-000032767_02.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20231120-mxt_jidou02-000032767_02.pdf</a>
	20231117	文部科学省	不登校児童生徒等の早期発見_早期支援事業（別添2）	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20231120-mxt_jidou02-000032767_03.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20231120-mxt_jidou02-000032767_03.pdf</a>
	20231117	文部科学省	コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的推進（別添3）	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20231120-mxt_jidou02-000032767_04.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20231120-mxt_jidou02-000032767_04.pdf</a>
	20231117	文部科学省	1人1台端末における相談窓口の周知について（別添4）	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20231120-mxt_jidou02-000032767_05.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20231120-mxt_jidou02-000032767_05.pdf</a>
	200310	文部科学省	不登校への対応について	<a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/futoukou/main.htm">https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/futoukou/main.htm</a>

# 1層支援→2層支援 へのつなぎの見える化



本日は、イケトークにご参加いただきありがとうございました。

本日使用した Padlet やいただいたリフレクションを共有させていただきます。

ぜひ、ご活用ください。

## 話し合いで活用した Padlet

### 意見・感想・提案

(例) 大教大附属池田中 中田未来  
生徒だけでなく、保護者も巻き込むという取り組みが斬新だと思いました。

ありがとうございました。2層支援が必要な生徒は見つかるようになったが、手立てが漠然としていて、具体的に踏み出せていないことが課題です。この2層支援を見える化したいです。

不登校の要因調査結果を見て、教員と本人及び保護者に感覚の乖離があることがとてもよく分かりました。保健室にくる不定愁訴と思われる子どもたちの「体調が悪い」をしっかりと拾っていく必要性を感じました。

R5年度の振り返りのところは、同じだと思いながら聴かせていただきました。それを受けての6年度の方針に、参考にしたいところが沢山ありました。第1層2層への手立てに視点を置くことや日々の取り組み、枠組みの構造化については校内で整理していきたいところです。

本日はありがとうございました。課題のみある化への取り組みのため、会議を増やして配慮事項を一分で確認してる、という会議の進め方がとても参考になりました。欠席増加傾向になった時、配慮の方法は担任と学年主任に任せていますが、しんどそうな時に声をかけたりしました。会議での先生方のアウトプットの仕方を変えてみよう、と思います。

発表ありがとうございました。  
教員がまず生徒の状況を共有するために会議を週1回に設定された変化はとても大きく有効だと思いました。中学校や高校などは教科制なので、タイムリーに把握できることにつながると思います。欠席や遅刻の資料などは誰がどのように準備されていますか？

### 質問・疑問

聞き逃していたら申し訳ございません。  
週1の学び支援会議のメンバー構成はどのようになっていますか？教えていただきたいです。

「あったかご」「ミマモルメシート」「別室利用の手引」についてもう少し詳しく知りたいと思いました。

スライド18  
R6の取り組みとして「あったかご」と記載されていますがどのようなものですか？  
また第2層 情報共有  
授業での配慮を職員会議で共有されていますが具体的にどのようなことをされていますか？またそれは誰が作成されていますか？(担任?)

不登校気味の支援としては、解決策と一緒に考える信頼できる人を増やすため、「選択肢を多様にする」ことにトライしていますが、池田中は、具体的にどのように、支援の場所、人、コトをされていますか？

【以下 感想・意見・提案】

ありがとうございました。  
不登校はもちろん休みがちな子どもたちをどのように学校へ向かせるか...本校でも難しい課題です。なぜ学校を休みがちなのかといった理由や背景はわかりにくいし、先生個々の児童の様子や情報は量が多いため、スクリーニングをもとに職員共有を行い、支援へ繋げるのはとても良いと思いました

日々の業務の中、貴重な実践報告の準備など、ありがとうございました。  
たくさんの業務や課題がある中で、teamsなどを活用し、いかにして時間を捻出し、短時間で最大限の情報共有や支援会議を行うかといった工夫が大変勉強になりました。  
ありがとうございました。

本日はありがとうございます。  
teamsなどを使って他の先生方にも見えるように共有をされていることを知り、大変参考になりました。限られた時間の中でいかに重要な情報を伝えるかが大事だと学ぶことができました。

吉田先生、ありがとうございました。  
私も、不登校支援に悩む養護教諭の1人です。今まで自分の経験でどうにか支援できていたこともありましたが、複雑化する世の中のように子供たちの不登校の理由も様々になり、気づいたときにはもう不登校になっていたということも多いなど反省しています。  
このように手立てを見える化してくださったことで、私もやってみようと思えたり、他の教員にも説得力をもって伝えることができるなと思いました。

保護者と課題を共有することの難しさが、年々増している実感があります。課題認識を共有することが困難ではあるけれど、課題解決に向かって協力するためにできる事って何だろうと考える日々です。

子どもの健康管理について、子ども自身が教師に表現できるようデータ化すること【チェック項目など】ができたなら教師は子どもの体調不良について認識できるし、それにあった具体的な声かけができるのではないかと思います。  
また、子ども本人が教師へ伝えにくい内容であれば、保護者の連絡、もしくは保護者からの子どもの健康についてデータ入力できるアプリなどがあれば、共有することができ、教師も子どもへの具体的な対応の仕方を考えることができるのではないかと思います。

発表、ありがとうございました。2層支援が必要な生徒のため、学校全体で支援体制が整えられていることが素晴らしいと思いましたが、大変参考になりました。2層支援の生徒が増えていることに関して、本校でも具体的な支援方法を確立していくことが即急の課題であることを実感致しました。  
途中で抜けてしまい、申し訳ありませんでした。

吉田先生、ありがとうございました。不登校の状況調査の全体の結果から、自校の様子を結び付け、2層の支援について試行錯誤されているご様子がよくわかりました。大きな森の傾向も大事だし、そこから一本一本の木を見ていく...とても説得力があると思いました。最後の不登校の関連要因の調査、教師と保護者、子ども自身に差があるところが興味深かったです。教師からすれば、「本人の不応答」で処理されがちですが、そこには語りにくい思い、体の不調もある。第2層の子たちの支援を考えたときに、このずれを考えることがヒントになるのかも思ったりしました。

ありがとうございました。私はまだ生徒側で不登校について知らないことが多かったため、様々なお話を聞くことができて良かったです。児童・生徒、教員、保護者でそれぞれ不登校の関連要因について考えていることに違いがあると分かりました。

かえで先生、大変にご無沙汰しております。本日は大変に貴重なご実践の発表をありがとうございました。  
p.14のスライドにあるような、先生のトライ&エラーの過程や成果をととてもわかりやすくご紹介いただき、大変に勉強になりました。どの地域、どの校種においても不登校問題は難しい課題だと実感しています。  
勤務校でもSCさんをはじめとして、もっと校内の人的リソースを上手に活用できたらよいのですが..

本日はありがとうございました。  
1層から2層へのつなぎ方ですが、取り入れておられるスクリーニングシートが活かしてくるのではないかと感じました。生徒アンケートも実施されるとのこと、(その項目にも依りますが)児童生徒の深層にある不安感がアンケートから見えてくるとより支援しやすいのかなと思います。中学校では多くの先生が違う視点で生徒を見られるので、登校時間や朝の様子、休み時間の様子などを学年間で共有しておいて、意識して観察すれば、チームとしてそれらの生徒を救っていけると思います。

吉田先生、発表ありがとうございました。  
生徒1人ひとりの特性や状況に応じた対応が求められる中で、学校として構造化された組織的な対応・手立てを構築していく難しさを日々感じています。

## 【以下 感想・意見・提案】

実践したうえでの困り感や対応策などを聞くことが出来たので、本校でも考えながらやってみようと思います。不登校の関連要因アンケートで、教員・子ども・保護者のズレが気になりました。不登校になっている子どもの気持ちを汲み取れていないのではないかと、心配しています。(ただ、子どもとかかわる中で、「『なぜ休んでいるのか、理由がわからない』と子どもが言っている。」と言われることも多いですが、もしかすると、話をしたくないだけかもしれないとおもうようになりましたので、どうやって子どもの気持ちを出さしたらいいのかなど、悩んでいます。)

特に2層支援に関して、曖昧だった部分がすっきりと整理され、本校の取り組みにも活かせると思いました。失礼ながら途中抜けてしまい、全部聴きたかったと思います。申し訳ありませんでした。

### 意見・感想・提案（リフレクションより）

#### 〈プレゼンターの発表内容について〉

- ・日々たくさんの業務や課題がある中で、teamsなどを活用し、いかにして時間を捻出し、短時間で最大限の情報共有や支援会議を行うかといった工夫が大変勉強になりました。ありがとうございました。

便利なものももっとあるのでしょうか、試行錯誤の途上です。情報共有も以前はすべて提示することを考えていましたが、それぞれの役割で必要な情報は違い、その情報が必要なタイミングも違うことに気が付きました。

- ・校内での組織対応について、たくさん参考になりました。本校も週に一度コア会議と言う振り分け会議を行なっています。ともすれば情報共有で時間をとってしまうのですが、今日の学びから構造化を測っていきたいと思います。

こちらはまだ途上です。コア会議という名前がチーム支援の核になっている位置づけを感じます。その工夫を知りたいです。

- ・困難を感じていた3層目のへの支援の実際。

3層支援については、本校では、別室①と別室②の運営が主になります。別室①は校舎とは別棟ですので、校舎も負担に感じる生徒に勧めています。火金の9:00-12:00にしています。別室②は校舎内保健室横の部屋で、火水木金9:00-14:00です。生徒の状況に合わせて、安心して過ごせる場所を提供し、コミュニケーションを広げながら自立支援を行います。詳細はメールを頂ければ別途資料提供いたします。

- ・第2層の支援という視点、不登校要因に教師、本人、保護者に相違があるという点。組織的に活用するための見える化。を学ぶことができました。ありがとうございました。

この相違は、興味深く思いました。教師が気づきにくいことがある、教師の態度は学校風土を構成すると感じました。また、心身の体調不良は大事なサインであると、養護教諭としての役割を感じました。

#### 〈グループでの交流について〉

- ・支援員の先生のお話を聞くことができたのですが、ケース会議などに参加されたことがないということでした。幼稚園では、加配教員や、預かり保育担当の教員などいて、直接子どもや保護者に関わっている教員と支援に対する会議をしっかりと持つことが難しくなっていて、そこが課題だとはっきりと気がつくことができたので、工夫していきたいと思いました。

課題をみつけられて、すごいと思います。それぞれの役割で直接話せなくても、必要なことは情報共有しながらできると組織になりますよね。今は、データを共有することがしやすくなったと感じています。

- ・グループで分かれたときに、何分まで話すのか、確認できておらず、あと3分という状況で知ったので、せっかくご参加されたのに発言が不十分な状況だったため、終了が遅くなってしまいました。大変申し訳ありませんでした。

こちらの運営の課題です。ご負担おかけし申し訳ありませんでした。

- ・声かけは、校種や立場でだいぶ違うので、校種別にグルーピングするか、お題無しでグルーピングもらういいと思う。

そうですね。今後の運営の課題にさせていただきます。よりよい時間にしたいです。

- ・様々な学校での取組を共有することができて、勉強になりました。近年、不登校傾向の子の進学先に多いN中学校・N高等学校ですが、その実情も紹介いただけて、とても良かったです。

取り組みの共有内容やN中高等学校の実情、興味深いです。伺いたいです。

- ・第1層や第3層の生徒への支援の実践は数多く出てきましたが、第2層生徒への具体的なアプローチを実践されている方はなかなかおらず、難しさを感じました。

私もそうでした。今回、2層支援について考えることができ、よい機会となりました。それぞれ試されたことをぜひ共有させてください。

## 疑問・質問 (Padlet より)

- ・週1の学び支援会議のメンバー構成はどのようになっていますか？

学び支援担当各学年1名の3名+学び支援コーディネーター1名です。

会議の内容は、以下の4点です

- ①欠席遅刻状況（1週間分）の確認（学年ごと）をし、気になる生徒がいれば、声掛け等の確認
- ②各学年の全体の様子や気になる生徒について
- ③検討事項
- ④職員会議前は、共有すべき生徒の確認（共有シートへの記入）

・「あったかご」「ミマモルメシート」「別室利用の手引き」についてもう少し詳しく知りたいと思いました。

① あったかご

欠席者配付物かご「あったかご」(案)

1 目的  
安全安心の学校風土を醸成を目的とし、「居心地のよい学級」「安定した仲間関係」「肯定的な声かけ」の機会を積極的につくるために行う。

欠席した生徒	欠席していても、自分の配付物を丁寧に準備されていることが、クラスの一員としての感覚と、安心な気持ちを抱くことができる。→登校へのハードルが少し下がる。 登校時に「ありがとう」とコミュニケーションのきっかけとなる。
クラスの生徒	欠席している友のことを思いやり、お互いを大切に思う気持ちと行動ができる。 登校時に「これやで」とコミュニケーションのきっかけとなる。
全体	休んでいても大切にされる安心感がクラスのよい雰囲気につながる。

2 名前の由来

- ① 心が あったか ご
- ② 配付物が あった

3 方法

- ① 各クラスに かご (A4 サイズ) 5個ずつ配布
- ② クラスのカゴ置き場に重ねて置く
- ③ 朝学活で 担任の先生が欠席の確認をする
- ④ 欠席者の机にかごを 班の生徒が 置く
- ⑤ 登校時に班員が声をかける

第3層 個別支援  
特別な支援を必要とする

第2層 一部支援  
配慮が必要な一部生徒

第1層 全体支援80%  
学年学級を対象・学校風土



班の方へ

- ① お休みの友だちの机に置く
- ② 配布物を丁寧にたたんでかごにいれる

# あったかご

「配布物がちゃんとあった!」「あったかい気持ちを感じるかご」の意味からつけた名前です。  
 休むといろいろなことが気になったり心配になりますが、  
 このかごとおしてお互いのことを思いながら、お互いを大切にしたいですね。  
 あったかいクラス♡あったかい学校♡あったかご♡

**休んでいた方へ**  
 元気になってよかったです。学校に来てくれてありがとう!  
 配布物を確認してくださいね。  
 かごはクラスの指定の場所にもどしてください。  
 班の方に「ありがとう」の気持ちが伝わるとすてき♡



## ② ミマモルメシート

遅刻欠席連絡アプリから、データをダウンロードし、エクセルに、まとめます。

1週間分をまとめて1枚のシートにし、シートを毎週増やしています。

気になる生徒を色付けし、すぐに気になる生徒が会議で見つけやすくしています。

コーディネーターが作成しますが、継続するためには負担の少ないことを意識していますので、

色付けはしますが、あまり丁寧にはしていません。3学年分を10分以内で保存までできるようにしています。

	A	B	C	D	E	F	G	
1	欠席・遅刻日	クラス	名前	種別	理由1	理由2	入力者	備考
2	2024/6/13	3-A	A	欠席	体調不良	発熱(体温は備考へ)	母	
3	2024/6/14	3-A	B	遅刻	(登校時間を備考)	-	父	
4	2024/6/18	3-A	C	欠席	体調不良	吐き気/嘔吐	母	
5	2024/6/17	3-A	C	欠席	体調不良	頭痛	母	
6	2024/6/14	3-A	D	遅刻	(登校時間を備考)	通院	母	
7	2024/6/17	3-B	E	欠席	学校感染症	新型コロナウイルス感染症	母	
8	2024/6/13	3-B	E	欠席	通院	風邪様症状	母	
9	2024/6/14	3-B	E	欠席	学校感染症	新型コロナウイルス感染症	母	
10	2024/6/13	3-B	F	欠席	体調不良	風邪様症状	母	
11	2024/6/17	3-B	F	遅刻	(登校時間を備考)	体調不良	母	
12	2024/6/19	3-B	G	遅刻	(登校時間を備考)	吐き気/嘔吐	母	
13	2024/6/13	3-B	H	その他	(備考へ)	その他(詳細は備考へ)	母	
14	2024/6/14	3-B	I	欠席	体調不良	吐き気/嘔吐	母	
15	2024/6/19	3-B	I	欠席	体調不良	吐き気/嘔吐	母	
16	2024/6/13	3-B	I	欠席	体調不良	吐き気/嘔吐	母	
17	2024/6/18	3-B	I	欠席	体調不良	吐き気/嘔吐	母	
18	2024/6/17	3-B	I	欠席	体調不良	吐き気/嘔吐	母	
19	2024/6/17	3-B	J	欠席	体調不良	発熱(体温は備考へ)	母	
20	2024/6/18	3-B	J	欠席	体調不良	頭痛	母	
21	2024/6/14	3-C	J	欠席	通院	-	母	
22	2024/6/18	3-C	J	欠席	体調不良	頭痛	母	
23	2024/6/14	3-C	K	遅刻	(登校時間を備考)	体調不良	母	
24	2024/6/17	3-C	K	遅刻	(登校時間を備考)	体調不良	母	
25	2024/6/19	3-C	K	遅刻	(登校時間を備考)	体調不良	母	
26	2024/6/18	3-C	K	遅刻	(登校時間を備考)	体調不良	母	
27	2024/6/13	3-D	L	遅刻	(登校時間を備考)	体調不良	母	
28	2024/6/18	3-D	L	遅刻	(登校時間を備考)	その他	母	
29	2024/6/14	3-D	M	欠席	-	-	母	
30	2024/6/13	3-D	M	欠席	-	-	母	

### ③ 別室利用の手引き

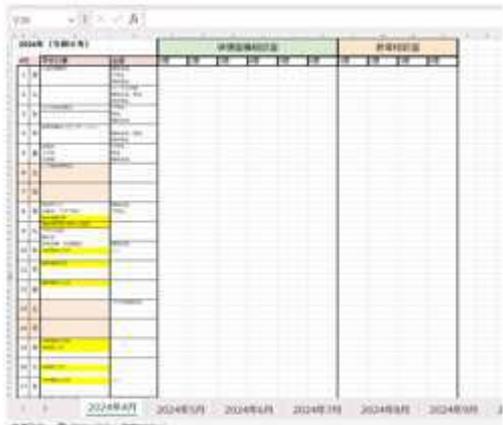
不登校支援別室方針を改訂しながら、持続可能な経営を模索しています。誰かの負担になりすぎず、自分ができるという形ではなく、仕組みとして継続できることを大切にしています。

• いつ在室しているかわからないという意見があり、利用状況を確認できるよう TEAMS で行いましたが、1 学期の半ばで使わなくなりました。データを開くための動作があり、現実的には負担でした。

• 職員室ホワイトボードに欠席調べがありますので、そこで兼ねることで、在校状況を確認することにしました。本来の欠席調べに加えて別室ホワイトボードを作ると、緊急時に混乱したり、動作がふえるので止めました。

## 2 利用予定表

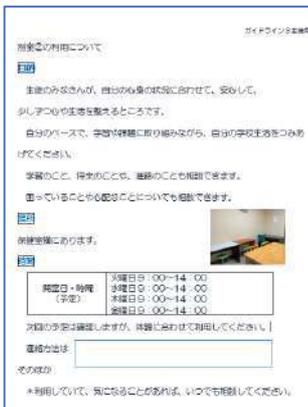
- ① Teams のチーム内に利用予定や登校を記入し、共有します。
- ② 職員室に別室ホワイトボード作成し、登校・下校を磁石で表示します。



• 教員向け利用ガイドは、予約表等の URL もいれ、できるだけ、見ればできるよう具体的に掲載しています。



• 生徒向け利用ガイド 対象生徒には毎月の別室開室カレンダーも渡しています。



開室日・時間 (予定)	火曜日から 土曜日まで
開室日	00~14:00
休室日	00~14:00
休室日	00~14:00
休室日	00~14:00

・授業での配慮を職員会議で共有されていますが、具体的にはどのようなことをされていますか？また、それは誰が作成されていますか？（担任）

・授業中の配慮例（例えば、音に敏感であるため、席を〇〇の位置がよい。他の音に反応し、教員の指示が聞こえないことがあるので、視覚表示なども工夫するとよい。他生徒への配慮）

・エクセルシートに「要配慮一覧」「要支援数計」「分類ルール」「各月毎の報告内容 4月・5月・・・」とシートを作成し、会議時にその当該月シート（色表示）を確認してもらいます。口頭の内容は消えてしましますが、シートの確認は、会議に参加してない方も再確認したい方も自分のタイミングで確認できます。時間も事前に準備することで、時間を限定できます。また、学年全体の特記事項も記載欄を作成しています。学期末は支援生徒の状況報告も入れました。

シートの管理はコーディネーターが行いますが、各学年の生徒の状況や全体の様子は、学年支援担当が記入します。

・学び支援関係のマニュアルや予約表等は、リンクまとめて掲載し、見つけやすくなっています。

・不登校気味の支援としては、解決策と一緒に考える信頼できる人を増やすため、「選択肢を多様にする」ことにトライしていますが、池田中は、具体的にどのように、支援の場所、人、コトをされていますか？

選択肢を多様にすることは、児童生徒にとって、誰かに相談できる可能性が増えるので素敵な取り組みだと思えます。本校では、通常の公立学校より職員数が少なく、やるべきことは多いので、マンパワーとしては、非常に弱いです。通常のスタッフに加えて、養護助教諭や大学院生の実習受け入れ等を行いながら、工夫はしています。

具体的な支援として、現状では、各学年の教員が支援の中心となりながら、より外部機関や個別支援が必要な場合はコーディネーターも関わります。保健室では、自分の心身の様子について問診票を記入させながら、生徒自身が休養など自分にとっての必要な方法を考え選択し、行動することを支援するという方針で、丁寧な対応を行います。そのため、保健室も相談の選択肢としては大きいと思います。生徒アンケートでは、家族や塾の先生、先輩なども相談相手として回答していました。

生徒が家や学校に安心の場所があるかを確認しながら、必要に応じて、安心の場所や人を、学年と相談しながら、整えていくようにしています。

不登校課題を抱える生徒支援は、個別の状況に応じて、柔軟に対応することが求められます。その中で関わっていると、ついついたくさんのことをしたくなります。昨年度からコーディネーターの役割を担う中で一番学んだことは、「持続可能で誰もが関わるができる」方法を探すことです。自分だからできることは継続できないし、誰かが負担であるという仕組みは続きません。働き方改革のなか、自分や同僚の限られた時間の中で、どう時間や資源を使うかが求められます。今年は保健室業務をスリム化できたらと思っています。スリム化した分、生徒の支援が丁寧にできたらいいなとイメージしています。

今回の交流で、それぞれいろいろやりたいことや、やるべきことを頭の中でイメージされたと思います。私も自分なりに課題が見つかりました。でも増やすためには何かを減らす。その1動作は必要か、使う人が見なくなる仕組みか、などなど、持続可能な仕組みづくりを模索したいと思います。

ありがとうございました。

詳細やより興味を持ってくださる場合は、ぜひご連絡をおねがいいたします。また各校の工夫されていることなどあれば共有させてください。よろしくお願いいたします。

